年度	2021年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティⅠ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースMYキャリア専攻		
講師名	飛鳥　政明		
実務経験 教員紹介	40年以上の飲食関連全般の実務経験。「ホスピタリティ」関連は(株)オリエンタルランドグループで「ディズニー流のホスピタリティ」を17年指導経験あり。		

講義概要
あらゆる産業において、企業理念として「顧客満足」を掲げている会社が多いなか、この「顧客満足」を実践できる人財が必要となる。学生自身がホスピタリティの意味を理解し、どのような考え方、どのような言動を身につけなければならないかという理論および日常的なホスピタリティマインド発揮のための基盤の確立を目指す。
達成目標
学生が卒業後、社会人となり職場からも顧客からも信頼され、本人だけでなく会社からも必要とされる人財となるように学修を深める。そして自ら率先してホスピタリティを理解し実践できる人財にすることが目標。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料の事前予習
	授業計画	オリエンテーション、自己紹介、授業内容の説明、ルールなどを説明		授業計画	顧客満足とホスピタリティ（顧客の心理、顧客満足とは）
	事後学習	オリエンテーションの内容を復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
2	事前学習	「ホスピタリティ」とは何か考える	10	事前学習	自身がクレームを受けたことの有無
	授業計画	「ホスピタリティ」と「サービス」の違いを理解する		授業計画	クレーム対応とは？自身の体験を基に検証。2度と起こさないためには
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
3	事前学習	「ホスピタリティ」産業とは	11	事前学習	アルバイト先での環境について
	授業計画	「ホスピタリティ」産業にはどのようなものがあるか考える		授業計画	職場環境（従業員満足、メンタルヘルス、ハラスメント）を考える
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
4	事前学習	配布資料の確認	12	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	人財育成とホスピタリティ（ホスピタリティを発揮できる人財の育成）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
5	事前学習	配布資料の確認と予習	13	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	企業と社会（企業の社会的責任とホスピタリティ、コンプライアンス）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
6	事前学習	自分の心の知能指数とは	14	事前学習	過去の配布資料の再確認
	授業計画	ホスピタリティの原点とはなにか。その為には、まず自分を知ること		授業計画	前期配布資料のまとめと復習。前期試験の概要説明
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	試験対策の復習
7	事前学習	配布資料の確認と予習	15	事前学習	筆記試験の予習
	授業計画	交流分析、自我状態（心のなりたち・エゴグラム）を知る		授業計画	筆記試験の実施と前期のまとめとフィードバックを行う
	事後学習	エゴグラムをチェックリストの確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	コミュニケーションはなぜ必要？			
	授業計画	コミュニケーションとホスピタリティ（聴き方、話し方）			
	事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：100%　＜(その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本ホスピタリティ協会
　　タイトル　ホスピタリティ検定
　　出版社　　(株)経済法令研究会

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	小池　勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT 企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
前期のホスピタリティⅠで学んだことをベースに、「サービス」や「ホスピタリティ」がお客様や従業員自身に与える様々な影響を考察する。その上で、日本の「おもてなし」や西欧の「ホスピタリティ」の心がどこから生まれてきているのか、その歴史や文化的な背景を学び、「ホスピタリティ」とは何かを、より深く学んでいく。
達成目標
ホスピタリティの学びを通じて、仕事をお客様のためだけでなく、自分のため、会社のため、社会のためと重ねて捉える考え方を理解する。そして同時に、マーケティングにおけるホスピタリティの重要性を理解する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	観光における日本の魅力を考える
	授業計画	講義ガイダンス 「ホスピタリティⅠ」の振り返り		授業計画	ホスピタリティとおもてなし 訪日外国人誘客に与える影響について
	事後学習	ホスピタリティの意味を再確認する		事後学習	おもてなしの長所と短所を理解する
2	事前学習	やりがいとは何かを考えておく	10	事前学習	４P 分析を復習しておく
	授業計画	「感情労働」とは何か接客活動における感情のコントロール		授業計画	ホスピタリティが「製品」に与える影響について事例から考える
	事後学習	感情管理の重要性を理解する		事後学習	付加価値について理解する
3	事前学習	良いサービスの事例を考える	11	事前学習	顧客は何に対して対価を払うのか
	授業計画	「サービス」と「ホスピタリティ」の違い 提供のプロセスを理解する		授業計画	ホスピタリティが「価格」に与える影響について事例から考える
	事後学習	1 対多と 1 対 1 の違いを理解する		事後学習	なぜ高価でも買ってしまうのか
4	事前学習	お客様とはどのような人かを考える	12	事前学習	「無人化」の長所短所を考える
	授業計画	「顧客」とは誰か 顧客の立場になって考え行動する		授業計画	ホスピタリティが「流通」に与える影響について 事例から考える
	事後学習	顧客の視点を理解する		事後学習	流通に人間が介在する意味とは
5	事前学習	「品質」の意味を調べる	13	事前学習	製品購入の決め手は何かを考える
	授業計画	サービス品質を考える「真実の瞬間」評判はどう生まれるのか		授業計画	ホスピタリティが「販売促進」に与える影響について事例から考える
	事後学習	身近な「真実の瞬間」を考えてみる		事後学習	ホスピタリティは販売促進に有効か
6	事前学習	顧客が満足する要素を調べる	14	事前学習	ホスピタリティの重要性を整理する
	授業計画	顧客満足と顧客エンゲージメント 顧客と企業の結びつきを考える		授業計画	後期振り返り 現代ビジネスにおける ホスピタリティの重要性について
	事後学習	「顧客満足」の重要性を理解する		事後学習	ホスピタリティが注目される理由
7	事前学習	従業員が満足する要素を調べる	15	事前学習	重要語句の意味を整理しておく
	授業計画	従業員満足と従業員エンゲージメント従業員と企業の結びつきを考える		授業計画	定期試験　ホスピタリティがマーケティングに与える影響について考える
	事後学習	「従業員満足」の重要性を理解する		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	企業の存在価値とは何かを考える			
	授業計画	地域社会とホスピタリティ 企業と地域社会の結びつきを考える			
	事後学習	企業の存在価値を理解する			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（平常点）＞：20%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講義において適宜参考図書を例示する
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティング I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界で経営企画職でサービスマーケティング・インターナルマーケティング。起業後は Twitter 活用 SNS マーケティングと会社経営		

講義概要
ビジネスにおいて「顧客（※）の欲する商品サービスを提供すること」は企業にとって当然の使命となる。そのため「どのような仕組みや仕掛けによってそれを実現するか」を考え、実行することが重要。当該講義ではビジネスパーソンとして活躍するためのマーケティング知識・情報を習得することを目的とする。
達成目標
（１）用語に慣れる：ビジネスシーンにおける用語＝ビジネス用語はもとより、マーケティングに関する専門用語にも慣れる。（２）定義をおさえる：用語とともに、ビジネスシーンで使われる事象や用語の定義をおさえる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事例調査
	授業計画	ガイダンスおよび「マーケティングの定義」		授業計画	人を理解する３つの視点②「価値観」:「価値」「価値観」「価値基準」
	事後学習	環境の変化と生活の変化		事後学習	自分にとって価値あるもの
2	事前学習	ビジネス	10	事前学習	コトラーの「価値基準」
	授業計画	「環境の変化」と「マーケティングの必要性」		授業計画	マーケティングにおける顧客が感じる価値①:「4 つのコスト」
	事後学習	商品サービスが売れない理由		事後学習	自分が感じるコスト
3	事前学習	消費行動の変化	11	事前学習	自分が感じるベネフィット
	授業計画	環境変化による「生活・消費活動の変化」の関係性		授業計画	マーケティングにおける顧客が感じる価値②:「5 つのベネフィット」
	事後学習	消費活動の繋がりと派生		事後学習	特定商品に感じるベネフィット
4	事前学習	消費活動の繋がりと派生	12	事前学習	購買に影響を与える要素
	授業計画	「変化の指標」とマーケティングによる「意味と価値」づくり		授業計画	購買行動に影響を与える「5 つの要素」とは
	事後学習	商品サービスの意味と価値を探る		事後学習	自分の購買に影響を与えるもの
5	事前学習	欲求	13	事前学習	購買活動に関する情報処理
	授業計画	「人」の層別理解と、人を理解する３つの視点①「欲求」		授業計画	①消費者情報処理モデル②購買行動の基本（AIDMA など）
	事後学習	自身が抱く欲求を明確にする		事後学習	自分が商品を買うまでを図解
6	事前学習	商品サービスを５つの欲求に分類	14	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	「マズローの欲求階層説・自己実現論」と演習		授業計画	第１回～第 13 回講義の振り返りと要点の確認
	事後学習	ニーズとウォンツ		事後学習	試験に向けた学習
7	事前学習	欲求階層説・自己実現論の復習	15	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	人を理解する３つの視点①「欲求」:「ニーズ」と「ウォンツ」		授業計画	定期試験
	事後学習	欲求階層とニーズの関連性		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ニーズとウォンツの関連性			
	授業計画	「マーケットイン」と「プロダクトアウト」			
	事後学習	ウォンツをデマンズに進化させる			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜(その他）＞：0%

教科書　著者名　　大山秀一
　　タイトル　これだけは知っておきたい「マーケティング」の基本と常識
　　出版社　　フォレスト出版
参考書　著者名　　原尻淳一
　　タイトル　マーケティング・フレームワーク
　　出版社　　日本経済新聞出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	マーケティングⅡ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界で経営企画職でサービスマーケティング・インターナルマーケティング。起業後はTwitter 活用 SNS マーケティングと会社経営		

講義概要
前期同様に「用語」や「定義」をおさえ、マーケティング全般に関する知識を修めるとともに、就職活動や採用後の実践（現場）において「どのように学んだことを活用できるか？」を想定しながら演習を行う。演習については個人・ペア・チーム形式をとり、積極的な発言や取組みが求められる。
達成目標
（１）前期に修めたものも踏まえ、用語・定義をおさえる。（２）マーケティングマインド（マーケティング視点・思考）を養う。（３）就職活動における業界・企業の研究分析でも活かせるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	ブランドとブランドイメージの違い
	授業計画	①顧客満足②顧客生涯価値③CRM		授業計画	「ブランド」とは何か（企業・商品サービスなど）①
	事後学習	ES（従業員満足度）		事後学習	ブランドがあると思う商品サービス
2	事前学習	顧客インサイト	10	事前学習	ブランディング
	授業計画	①カスタマーエクスペリエンス②顧客のペルソナ		授業計画	「ブランド」とは何か（ブランディング）②
	事後学習	自分をペルソナ化		事後学習	自分をブランディング
3	事前学習	マーケティングの歴史	11	事前学習	費用・予算・投資とは
	授業計画	近代マーケティングの変遷（マーケティング 1.0～4.0）		授業計画	マーケティングにおける ROI（費用対効果／投資利益率）
	事後学習	マーケティングの本質		事後学習	講義資料の見直し
4	事前学習	マーケティングの種類	12	事前学習	企業研究・分析
	授業計画	マーケティングの種類と体系（各種マーケティング紹介）		授業計画	①マーケティング視点の企業研究②組織体制とマーケティング機能
	事後学習	マーケティング・ミックス		事後学習	特定企業の研究・分析
5	事前学習	プロダクトサイクル	13	事前学習	業界研究・分析
	授業計画	プロダクトマーケティングとサービスマーケティング①		授業計画	マーケティング視点での業界研究・分析と求人選び
	事後学習	特定商品のプロダクトサイクル調査		事後学習	特定業界の研究・分析
6	事前学習	財の体系化	14	事前学習	後期テキストの振り返り
	授業計画	プロダクトマーケティングとサービスマーケティング②		授業計画	第１回目～第１３回目講義の振り返りと質疑応答
	事後学習	商品群の財の体系化		事後学習	前期テキストの振り返り
7	事前学習	広告と広報の違い	15	事前学習	前期・後期テキスト内容確認
	授業計画	マーケティングプロモーション（広告・宣伝・広報）①		授業計画	定期試験
	事後学習	PC 画面の広告とスマホ画面の広告		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	リーチとは			
	授業計画	マーケティングプロモーション（広告・宣伝・広報）②			
	事後学習	プロモーションミックスとは			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名　　大山秀一
　　タイトル　これだけは知っておきたい「マーケティング」の基本と常識
　　出版社　　フォレスト出版
参考書　著者名　　原尻淳一
　　タイトル　マーケティング・フレームワーク
　　出版社　　日本経済新聞出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経営学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	畠　裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場の設計 23 年、同本社事業企画で 3 年、同部門の海外生産拠点で 15 年実務経験。		

講義概要
過去の経営者たちの知恵の集大成である経営学を学ぶことにより、会社の役割、組織、経営の考え方、社会環境の変化などの基礎知識を広く理解する。経営学の教科書をもとに進めるが、ビジネスに興味が持てるような身近な実例を紹介する。経営学Ⅰの講義内容は次の通り。①経営学全般、②イノベーション論、③マーケティング論
達成目標
経営学の導入段階として、経営を取り巻く社会構造や経営に関する基礎的な考え方を理解することを目的とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の講義の復習
	授業計画	オリエンテーション、講義なし		授業計画	マーケティング概要、基本サイクル STP、市場分析
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	基本サイクル STP について
2	事前学習	1 限目の講義の復習	10	事前学習	9 限目の講義の復習
	授業計画	経営をめぐる２１世紀の変化（VUCA の時代、働き方改革など）		授業計画	マーケティング 4P、価格の心理学、プロスペクト理論について
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	マーケティング 4P の事例研究
3	事前学習	2 限目の講義の復習	11	事前学習	10 限目の講義の復習
	授業計画	経営をめぐる２１世紀の変化（VUCA の時代、働き方改革など）		授業計画	取引数単純化の原理、商社の機能について
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	商流、物流について
4	事前学習	3 限目の講義の復習	12	事前学習	11 限目の講義の復習
	授業計画	経営学の基本 6 分野と歴史、会社の役割、社会責任 CSR について		授業計画	ジレットモデル、ロックインとは
	事後学習	課題：経営学基本６分野とは？		事後学習	ジレットモデルの実例調査
5	事前学習	4 限目の講義の復習	13	事前学習	12 限目の講義の復習
	授業計画	組織の 3 要素と PM 理論、リーダーシップ理論		授業計画	持続可能な開発目標 SDGｓ、エシカル消費について
	事後学習	課題：組織の 3 要素、PM 理論		事後学習	SDGｓの事例調査
6	事前学習	5 限目の講義の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	イノベーションの意味、歴史、基本プロセス		授業計画	ビジネスモデルキャンバス
	事後学習	課題発見に必要な共感マップ作製		事後学習	ビジネスモデルキャンバス事例研究
7	事前学習	6 限目の講義の復習	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	デザイン思考、プロトタイピング手法		授業計画	期末試験
	事後学習	デザインとアートの違い		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	7 限目の講義の復習			
	授業計画	発想に必要な掛け算思考、PEST 分析			
	事後学習	掛け算思考トレーニング			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　中川功一
　　タイトル　日常が学びに変わる！　経営学の本
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　沼上　幹
　　タイトル　ゼロからの経営戦略
　　出版社　　ミネルバ書房

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	畠　裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場設計 23 年、国内事業企画 3 年、同部門の海外生産拠点で会社経営を 15 年実務経験。		

講義概要
経営学Ⅰに引き続き、経営学の教科書をもとに会社の役割、組織、経営の考え方などの基礎知識を理解する。さらに経営に必要な財務会計を紹介し、現実の生きた経営について学ぶ。経営学Ⅱの講義内容は次の通り。①事業システム論、②経営戦略論、③組織行動論、④経営組織論、⑤財務会計
達成目標
経営に関する基礎的な考え方及び専門的な知識の概略を理解することを目的とする。経営学を通じて多角的な視点での思考ができるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の講義の復習
	授業計画	ビジネスモデルキャンバス作成演習		授業計画	組織行動論、マズローの欲求 5 段階説
	事後学習	１時限目の復習		事後学習	自己決定理論 SDT とは
2	事前学習	1 限目の講義の復習	10	事前学習	9 限目の講義の復習
	授業計画	フリーミアム、プラットフォーム戦略		授業計画	キャリアアンカーとは、PDCA
	事後学習	フリーミアム事例調査		事後学習	戦略立案の PDCA
3	事前学習	2 限目の講義の復習	11	事前学習	10 限目の講義の復習
	授業計画	アウトソーシング戦略、パートナシップ戦略		授業計画	サイモンの意思決定理論、チーム力を高めるグループシンク
	事後学習	アップルの競争力が強い理由		事後学習	チーム力、判断力を高める方法
4	事前学習	3 限目の講義の復習	12	事前学習	11 限目の講義の復習
	授業計画	トヨタ生産方式、損益分岐点		授業計画	経営組織論、分業と調整
	事後学習	損益分岐点の求め方		事後学習	分業のメリットについて
5	事前学習	4 限目の講義の復習	13	事前学習	12 限目の講義の復習
	授業計画	経営戦略とは、ハーレーダビッドソン、アサヒビールの戦略		授業計画	機能別組織と事業部制組織、官僚制組織と有機的組織
	事後学習	経営戦略の立案プロセス		事後学習	官僚制組織のメリットとデメリットについて
6	事前学習	5 限目の講義の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	現状分析手法 SWOT＆TOWS 分析		授業計画	経営に必要な財務会計（Ｐ／ＬとＢ／Ｓ）
	事後学習	SWOT＆TOWS 分析事例		事後学習	財務諸表の見方
7	事前学習	6 限目の講義の復習	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	ポーターの５要因分析、リソース・ベースド・ビュー		授業計画	期末試験
	事後学習	５要因分析の分析の例		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	7 限目の講義の復習			
	授業計画	ゲーム理論ベースの経営戦略、win-win			
	事後学習	ゲーム理論が教える望ましい戦略			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　中川功一
　　タイトル　日常が学びに変わる！　経営学の本
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　大津　広一
　　タイトル　ビジネススクールで身につける会計×戦略思考
　　出版社　　日本経済新聞出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅠ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	井上由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
学生と社会人との違いを認識し、ビジネスシーンでの身だしなみや最低限守るべきマナー・ルールを学ぶとともに、日本社会で信頼され、活躍できる人材の育成を目指す。また、多国籍の集団の中で、良好な人間関係を築くための対面およびオンラインコミュニケーションを学び、日常生活でも実践できるよう指導する。
達成目標
ビジネススーツを正しく着こなす。好印象の挨拶・お辞儀などの基本動作が出来るようになる。就業マナーや会社組織、敬語の使い分け、電話応対の基本知識を理解し、実践できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	他国出身の友達を 5 人　紹介準備
	授業計画	講義の進め方とルール、当科目の学習目的を理解し目標をたてる		授業計画	指示の受け方　報告・連絡・相談と 5 W3H
	事後学習	3 か月後の姿を言語化する		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
2	事前学習	自己紹介の内容となる材料を集める	10	事前学習	敬語置き換え一覧表を印刷する
	授業計画	共に過ごす未来を意識した自己紹介の準備方法		授業計画	ビジネス会話の基本　敬語の種類と動詞の置き換え一覧表作成
	事後学習	1 分間自己紹介の準備をする		事後学習	敬語置き換え一覧表を覚える
3	事前学習	自己紹介を声に出して 5 回練習する	11	事前学習	フォームを使って敬語小テスト
	授業計画	学生と社会人の違いを５つの視点で比較する		授業計画	敬語の使い分け　内と外　間違いやすい敬語
	事後学習	フォームで自己紹介内容を報告		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
4	事前学習	外出準備の行動を言語化する	12	事前学習	日常生活で敬語会話を積極的に実践
	授業計画	大人としての自己責任　第一印象の重要性　メラビアンの法則		授業計画	ビジネスコミュニケーションの優先順位と使い分け
	事後学習	第一印象要点を 200 字でまとめる		事後学習	フォームで敬語会話の実践報告
5	事前学習	身だしなみチェック表を記入する	13	事前学習	興味のある日本企業の HP を探す
	授業計画	おしゃれと身だしなみの違い　スーツの着方　準備と手入れ方法		授業計画	電話応対①　電話のかけ方マナー　電話メモの取り方
	事後学習	スーツの手入れと靴磨きをする		事後学習	アポ電話の台詞を用意する
6	事前学習	姿勢の良い人の特徴を観察する	14	事前学習	電話応対会話資料を印刷する
	授業計画	正しい姿勢での立ち方・座り方・お辞儀・入退出動作実習		授業計画	電話応対②　電話の取り次ぎ　状況別応対シミュレーション
	事後学習	1 日 3 回各 1 分間壁立ち姿勢確認		事後学習	配布資料を確認しノートを整備する
7	事前学習	身近な人の役職を調べる	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	日本企業のタテ組織、ヨコ組織　人間関係構築の基本		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームで役職名問題を解く		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布資料を確認しノート整備			
	授業計画	シーン別挨拶の実習　オンライン画面の映り方イメージアップ法			
	事後学習	初対面の相手への挨拶練習 10 回			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われる図解ビジネスマナー
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	井上由美子		
実務経験教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
ビジネスマナーⅠで学習した内容理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。社会人常識マナー検定 3 級レベルの過去問題集を参考書として、社会常識やビジネスコミュニケーション力の向上と、ビジネスマナー知識の定着を図る。就職活動に向けて、自己と向き合い長所・短所が明確になる。
達成目標
ビジネスマナーが「わかる」レベルから「出来る」レベルに近づく。卒業後の進路に向けて、希望する進路先の情報を集め読み取ることが出来る。自己肯定感を高め、進路決定に向けて自ら行動出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題
	授業計画	前期の成長と変化を振り返り､後期の目標設定をする		授業計画	1 分間の自己 PR 発表とフィードバック
	事後学習	近い未来の姿を言語化する		事後学習	他者の自己 PR を評価する
2	事前学習	社会常識　同じ意味の言葉を整理	10	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『働く目的』について		授業計画	企業研究の目的と方法　情報を読み解くコツ
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	興味を持った企業情報をレポート
3	事前学習	社会常識　反対の意味の言葉を整理	11	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『企業研究の目的と必要性』		授業計画	面接の形式と評価のポイント　基本動作実習
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	笑顔と姿勢のトレーニング
4	事前学習	都道府県名と県庁所在地一覧作成	12	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	働くときの基礎知識　賃金や保障に関する法律を学ぶ		授業計画	就職面接　ロールプレイング　入室から退出まで
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	名のりの練習　30 回
5	事前学習	身近な人の仕事について話を聞く	13	事前学習	社会常識　総合問題①
	授業計画	自己分析の目的と職種研究　①身近な人たちの職業から学ぶ		授業計画	就職面接　ロールプレイング　自己 PR・長所・短所
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
6	事前学習	社会常識　カタカナ用語	14	事前学習	社会常識　総合問題②
	授業計画	仕事と自分を結びつける　やりたい仕事と出来る仕事		授業計画	就職面接　ロールプレイング　学生時代に頑張ったこと
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
7	事前学習	社会常識　ビジネス計算	15	事前学習	定期試験準備をする
	授業計画	学生時代に頑張ったことについて振り返り、自己 PR の材料を見つける		授業計画	定期試験
	事後学習	他者の良いところを見つけ言語化		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題			
	授業計画	他者評価分析　長所・強み・短所・弱みに落とし込む			
	事後学習	自己 PR を 250 字で書く			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 3 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーションⅠ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては、プレゼンテーションを学問として捉え、基礎要件となる心得及びアウトライン作成をいちばんの目的としている。目的や聴き手を意識した内容作成及び論理的な事例に基づくアウトライン作成を学習した上で、プレゼンテーションの心構えを理解及び適切な仕組み作りができる学習内容となっている。
達成目標
自己紹介や謝罪、依頼など日常生活における様々な場面において、言葉遣いや構成などを体系的に理解した上で適切に表現できるようにする。また、プレゼンテーションの基礎知識を習得し、簡単な発表ができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	ロジカルストーリーの作成
	授業計画	プレゼンテーションをはじめよう（目的と成功の法則）		授業計画	シナリオの構築⑤（多様なシナリオ演繹法と弁証法）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	目標達成計画表の作成	10	事前学習	演繹法と弁証法例文作成
	授業計画	プレゼンにおける３P 分析①（目的と目標分析）		授業計画	シナリオの構築⑥（多様なシナリオ帰納法と論理法）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	男女や国籍などの違い一覧作成	11	事前学習	帰納法と論理法例文作成
	授業計画	プレゼンにおける３P 分析②（聴き手分析と多様な価値観）		授業計画	デリバリー①（プレゼン流伝わる敬語と抑揚）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
4	事前学習	プレゼンのリスク一覧作成	12	事前学習	敬語練習文作成
	授業計画	プレゼンにおける３P 分析③（場所と環境におけるリスク対策）		授業計画	デリバリー②（効果的な３つの用途別ボディランゲージ）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ドラマとプレゼンの違い探し	13	事前学習	国の違いによるジェスチャー調査
	授業計画	シナリオの構築①（三部構成の納得マジック）		授業計画	発表準備（アウトライン作成と表現法振り返り）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	発表準備
6	事前学習	三部構成文章作成①	14	事前学習	発表準備
	授業計画	シナリオの構築②（イントロダクションと第一印象）		授業計画	プレゼンテーション発表「コロナ禍ですすめたい〇〇」
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	三部構成文章作成②	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	シナリオの構築③（ボディにおけるロジックと客観的データの重要性）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	印象の良い挨拶			
	授業計画	シナリオの構築④（コンクルージョンと想いの構築）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅡ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては、プレゼン場面で「意図ある表現」ができる構成力を養うことを目的としている。そのため、前半はスピーチ発表を行い、表現力とメッセージの重要性の理解に努める。後半は社内プレゼンをテーマとし、会社側のニーズを踏まえた相手主体の発表内容作成ができる学習内容とする。
達成目標
メッセージを明確にし、伝えるために必要な表現力（声量・アクセント）や構成を用いたスピーチができる。限定的なビジネス場面ではあるが、相手のニーズを理解した社内プレゼン（スライド使用・ビジネス用語）ができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	学校情報をパンフで確認
	授業計画	スピーチ表現①声量やアクセント、スピード（映像から比較し表現理解）		授業計画	プレゼンテーション③発表準備（「学校説明」発表をグループ準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	スピーチ映像を確認	10	事前学習	発表準備
	授業計画	スピーチ表現②表現練習（複数スピーチ映像を真似て適切な表現を理解）		授業計画	プレゼンテーション④発表「学校説明」（発表、採点、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
3	事前学習	商品広告や CM を確認	11	事前学習	社内プレゼン情報収集
	授業計画	スピーチ表現③メッセージの重要性（広告や CM を事例に比較理解）		授業計画	プレゼンテーション⑤社内プレゼン概論（通常プレゼン違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	課題テーマの情報収集	12	事前学習	提案の構成内容を確認
	授業計画	スピーチ表現④メッセージ作成（複数テーマのメッセージ及び構成作成）		授業計画	プレゼンテーション⑥社内プレゼンスライド（通常プレゼン違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	発表テーマ選定	13	事前学習	テーマ情報収集
	授業計画	スピーチ表現⑤発表準備（テーマ選定、メッセージ、構成、表現練習）		授業計画	プレゼンテーション⑦発表準備（スライドやセリフ等グループ準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	発表準備	14	事前学習	発表準備
	授業計画	スピーチ表現⑥スピーチコンテスト（発表、採点評価、FB）		授業計画	プレゼンテーション⑧発表「セブンイレブンでの新サービス提案」
	事後学習	自己発表内容振り返り		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	前回のプレゼン講義内容確認	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	プレゼンテーション①プレゼン復習（概要及び専門用語）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	課題情報収集			
	授業計画	プレゼンテーション②メディアリサーチ（発表に必要な情報収集方法）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　佐々木繁範
　　タイトル　思いが伝わる心が動くスピーチの教科書
　　出版社　　ダイヤモンド社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
年々増加する外国人旅行者に対応するための接客英会話をシーン別に学びます。販売業務に関連するフレーズや語彙を中心に、グループやペアでのロールプレイや発表でのアウトプットの練習を通して実践的におもてなし英語を習得します。また、接客における日本と英語圏との文化の違いについても学びます。
達成目標
・英語の丁寧な表現に慣れる ・販売業務に必要なフレーズや単語を覚える ・外国人旅行者と自信を持ってコミュニケーションが取れるようになる ・海外との文化の違いを学ぶ

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	自己紹介とシラバスの確認		授業計画	Chapter 1 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	テキストの確認		事後学習	音声を使用し復習
2	事前学習	テキストで内容を確認	10	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（１）		授業計画	Chapter 2 商品紹介（１）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
3	事前学習	音声を使用し確認	11	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（２）		授業計画	Chapter 2 商品紹介（２）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
4	事前学習	音声を使用し確認	12	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（３）		授業計画	Chapter 2 商品紹介（３）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
5	事前学習	音声を使用し確認	13	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 ペアでのダイアログ発表		授業計画	Chapter 2 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
6	事前学習	音声を使用し確認	14	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（４）		授業計画	Chapter 1 & 2 の復習と期末試験準備
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
7	事前学習	音声を使用し確認	15	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（５）		授業計画	期末試験
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	音声を使用し確認			
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（６）			
	事後学習	音声を使用し復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：20%　＜（発表）＞：50%

教科書　著者名　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【販売編】
　　出版社　株式会社アルク
参考書　著者名　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【おもてなし編】
　　出版社　株式会社アルク

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
年々増加する外国人旅行者に対応するための接客英会話をシーン別に学びます。販売業務に関連するフレーズや語彙を中心に、グループやペアでのロールプレイや発表でのアウトプットの練習を通して実践的におもてなし英語を習得します。また、接客における日本と英語圏との文化の違いについても学びます。
達成目標
・英語の丁寧な表現に慣れる ・販売業務に必要なフレーズや単語を覚える ・外国人旅行者と自信を持ってコミュニケーションが取れるようになる ・海外との文化の違いを学ぶ

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	シラバスの確認		授業計画	Chapter 4 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	テキストの確認		事後学習	音声を使用し復習
2	事前学習	テキストで内容を確認	10	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 衣料品・化粧品販売（１）		授業計画	Chapter 5 家電販売（１）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
3	事前学習	音声を使用し確認	11	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 衣料品・化粧品販売（２）		授業計画	Chapter 5 家電販売（２）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
4	事前学習	音声を使用し確認	12	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 衣料品・化粧品販売（３）		授業計画	Chapter 5 家電販売（３）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
5	事前学習	音声を使用し確認	13	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 ペアでのダイアログ発表		授業計画	Chapter 5 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
6	事前学習	音声を使用し確認	14	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 4 食料品・雑貨販売（１）		授業計画	Chapter 3 - 5 の復習と期末試験準備
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
7	事前学習	音声を使用し確認	15	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 4 食料品・雑貨販売（２）		授業計画	期末試験
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	音声を使用し確認			
	授業計画	Chapter 4 食料品・雑貨販売（３）			
	事後学習	音声を使用し復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：20%　＜（発表）＞：50%

教科書　著者名　　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【販売編】
　　出版社　　株式会社アルク
参考書　著者名　　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【おもてなし編】
　　出版社　　株式会社アルク

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	簿記Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記･簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か　意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	売掛金・買掛金について調べる
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし､勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B) の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	子記録債権･電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（３）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権･債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表　簿記Ｉの具体的作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳　株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権･債務の記帳　これからの時代の債権・債務を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（２）　貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務的種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（１）決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（２）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、WORD の基本操作を習得し、一般的な文書作成ができるようになること、CS 検定 WORD3 級取得ができる PC スキルが身につけられる内容となっている。また、タイピングではブラインドタッチができるなど PC 操作の基礎力を磨く。
達成目標
ブラインドタッチで一般的な速度での文字入力ができる。WORD の専門用語がわかり、基本的な PC 操作ができる。また、速くはなくても一般的な文書であれば正確に作成ができるようになることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	PC 操作基本、タイピング位置確認の講義及び入力練習		授業計画	CS 検定課題１文字入力①、Word（ワードアート、画像挿入）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	Word 基礎知識（概論、起動、終了、文書を開く、閉じる）		授業計画	CS 検定課題１文字入力②、Word 便利機能（置換、PDF ファイル）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、Word 文字入力（IME 設定、文字変換、単語登録）		授業計画	CS 検定 3 級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、文書作成①（文章入力、範囲選択、文字削除）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word3 級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、文書作成②（文字コピー、配置、装飾、保存、印刷）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word3 級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、Word 振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 Word 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、Word 表作成（表作成、レイアウト、スタイル）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、Word 文書編集（書式設定、段組み設定）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist Word 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、EXCEL の基本操作を習得し、一般的な文書作成ができるようになること、CS 検定 EXCEL3 級取得ができる PC スキルが身につけられる内容となっている。また、タイピングではブラインドタッチで文書入力をスムーズにできるなど PC 操作の基礎力を磨く。
達成目標
ブラインドタッチで一般的な速度での文字入力ができる。EXCEL の専門用語がわかり、基本的な PC 操作ができる。また、スムーズに一般的な文書であれば正確に作成ができるようになることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	PC 操作基本、タイピング位置確認の思い出し、文書入力練習		授業計画	CS 検定課題１①、数式や関数（数式使用・関数使用）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	EXCEL 基礎知識（概論、起動、終了、ブックを開く、閉じる）		授業計画	CS 検定課題１②、数式や関数（条件付き関数）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、ワークシートとブック（作成・移動・書式設定）		授業計画	CS 検定 3 級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、ワークシートとブック（オプションと表示）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL3 級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、ワークシートとブック（設定変更・印刷・保存）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL3 級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、EXCEL 振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 EXCEL 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、セルやセル範囲（データの挿入・設定）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、テーブルの作成（作成・変更・抽出・並べ替え）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist EXCEL 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	異文化コミュニケーションⅠ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では、異文化とは、国境を越えたところにある他国の文化というステレオタイプを取り払い、私たちが社会生活を送る上でこれまで常識としてきたこと、当たり前のように思ってきたものの見方や考え方、行動・生活様式とは異なる常識や世界観に焦点をあて、異質な人々とのコミュニケーションのために必要な知識を身につける。
達成目標
・異文化理解に必要な知識を身につけ、視野を広げ、コミュニケーションの喜びを知る。 ・ユニバーサルマナーについて知り、実生活に役立てる。 ・異文化に興味・関心をもち自ら積極的に関わろうとする好奇心を育てる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	異文化課題プリント⑧
	授業計画	異文化理解① 異文化定義、世界と日本の多様化現状		授業計画	異文化理解⑨ メディアと文化・戦争の記憶
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
2	事前学習	異文化課題プリント①	10	事前学習	異文化課題プリント⑨
	授業計画	異文化理解②トータルカルチャーとサブカルチャー		授業計画	異文化理解⑩ 世界の人種と民族について学ぶ
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
3	事前学習	異文化課題プリント②	11	事前学習	異文化課題プリント⑩
	授業計画	異文化理解③ 異文化コミュニケーション能力とは		授業計画	異文化理解⑪ ネイションとナショナリズム
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
4	事前学習	異文化課題プリント③	12	事前学習	異文化課題プリント⑪
	授業計画	異文化理解④ ことばと権力･言語と文化の結びつき		授業計画	異文化理解⑫ 人種主義と差別について考える
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
5	事前学習	異文化課題プリント④	13	事前学習	異文化課題プリント⑫
	授業計画	異文化理解⑤ 非言語コミュニケーション		授業計画	異文化理解⑬ マイノリティとマジョリティ
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
6	事前学習	異文化課題プリント⑤	14	事前学習	異文化課題プリント⑬
	授業計画	異文化理解⑥ 様々な「時」と空間の捉え方		授業計画	異文化理解⑭ 前期講義内容の振り返り
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
7	事前学習	異文化課題プリント⑥	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	異文化理解⑦ 異文化接触とアイデンティティ		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	異文化課題プリント⑦			
	授業計画	異文化理解⑧ メディア・コミュニケーション			
	事後学習	レポート作成			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　池田理知子編著
　　タイトル　よくわかる異文化コミュニケーション
　　出版社　　ミネルヴァ書房

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	異文化コミュニケーションⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では、異文化とは、前期で学んだ異質な人々とのコミュニケーションのために必要な知識を実生活でどのように活かしていくのか、アウトプットのための方法としてのユニバーサルマナーについて学ぶ。社会人として多様な人々との人間関係構築及び仕事や生活面での適切な行動ができるスキル習得を目指す。
達成目標
多様な人々が存在することを認識し、受け入れることができる。ユニバーサルマナーの必要性を認識した行動ができる。特に視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者、高齢者、外国人への知識を持ち、適切なサポートができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	オリエンテーション：概要説明、異文化コミュニケーション意義・復習		授業計画	ユニバーサルマナー⑤ 障害者理解（知的障害者）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	前回講義内容確認	10	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	異文化理解⑮ 中央と周縁～都市と地方の違い～		授業計画	ユニバーサルマナー⑥ 障害者理解（発達障害者）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	前回講義内容確認	11	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	異文化理解⑯ ジェンダーとは何かについて考える		授業計画	ユニバーサルマナー⑦ 障害者理解（精神障害者）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	視覚障害者情報収集	12	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	異文化理解⑰ グローバル化と格差社会のゆくえ		授業計画	ユニバーサルマナー⑧ 高齢者理解と対応
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習	13	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	ユニバーサルマナー① ユニバーサルマナーの定義と概要		授業計画	ユニバーサルマナー⑨ 性的マイノリティの理解と対応
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習	14	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	ユニバーサルマナー② 障害者理解（視覚障害）		授業計画	ユニバーサルマナー⑩外国人への対応・ユニバーサルデザイン
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	ユニバーサルマナー③ 障害者理解（聴覚障害）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習			
	授業計画	ユニバーサルマナー④ 障害者理解（身体障害）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　紀薫子、井上滋樹
　　タイトル　改訂版ユニバーサルサービス基本テキスト
　　出版社　　日本能率協会マネジメントセンター

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定 4 級・5 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新国内時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。政治に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題について話題に出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０日本時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動:国会議事堂見学(インタビュー、撮影、レポート)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「政治」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「政治」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史前期(調査･討論･事例紹介)		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（欧米）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策５級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①TPP について（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策５級②社会・環境/国際（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の政治（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の政治（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」入門編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定 3 級・4 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新海外時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。経済に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題について話題に出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０世界時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動:銀座ブランド店見学(インタビュー、撮影、レポート)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「経済」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「経済」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史中期(調査･討論･事例紹介)		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（アジア）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策３・４級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①働き方改革について（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策３・４級②社会･環境/国際（過去問実践９
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②1 億総活躍社会（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の経済（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本時事能力検定協会監修
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」基礎編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネス検定対策Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義の目的は通常講義での基礎学習を伸ばすべく、好奇心を育成し、スキル向上の目標として資格取得を推奨する狙いがあります。そのため、前半に目標設定をすべく好奇心育成のきっかけとなる体験型講義を実施、後半に対象資格対策講義を予定しております。本講義は、マナー資格取得を目標とする内容となっております。
達成目標
通常講義での学習を向上させる手段として資格取得を目標としてた学習習慣を身につける。マナーを「使う」ことを意識した学習ができる。マナー力向上をすべく、資格取得を目標に継続した学習をすることができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	マナー課題プリント⑧
	授業計画	講義オリエンテーション：意義、学習内容、学習の流れ		授業計画	秘書検定①（時間計測、課題ごとのポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	マナー課題プリント①	10	事前学習	マナー課題プリント⑨
	授業計画	マナー復習：敬語、動作、ビジネス場面、接遇場面		授業計画	秘書検定②（時間計測、課題ごとのポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	マナー課題プリント②	11	事前学習	マナー課題プリント⑩
	授業計画	マナー体験学習①校内事務職員マナー体験講座		授業計画	ビジネス実務マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	マナー課題プリント③	12	事前学習	マナー課題プリント⑪
	授業計画	マナー体験学習②現役企業人マナー体験講座（NPO 法人紹介）		授業計画	ビジネス実務マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	マナー課題プリント④	13	事前学習	マナー課題プリント⑫
	授業計画	マナー体験学習③元 CA 一流のマナー体験講座		授業計画	接遇マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	マナー課題プリント⑤	14	事前学習	マナー課題プリント⑬
	授業計画	マナー関連資格：資格概要（試験内容、取得条件、学習法）		授業計画	接遇マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	マナー課題プリント⑥	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	社会人常識マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ごとのポイント確認）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	マナー課題プリント⑦			
	授業計画	社会人常識マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ごとのポイント確認）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	キャリア形成論Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義は、多様な価値観の混在する世界の中で生き抜くために必要な社会人基礎力を身につけることを目的とする。社会で自立するため、そして周囲の人を助けられるような人になることを目指し、計画性、表現力、主体性、ストレス耐性を身につけられるよう実践ワークを通じ学んでいく。
達成目標
・目標設定と目標達成のための現実的な取り組みの実践。・自己理解と社会常識に沿う行動の学習と実践。 ・多様な価値観の習得とストレス耐性の向上。　　・言葉を介した自己表現力の向上と文章表現力の向上。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	目標設定シート見直し
	授業計画	オリエンテーション 講義内容、到達目標説明		授業計画	目標設定振り返り③ 目標達成状況評価と改善案の策定
	事後学習	目標について考えてくる		事後学習	モニタリング＆目標設定シート完成
2	事前学習	自分の長所・短所を考えてくる	10	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	目標設定と自分についての振り返り キャリアについての事例紹介		授業計画	人間関係形成力を身につける③ SST の実践と振り返り
	事後学習	目標設定シートの完成		事後学習	感想シート記入
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	現代社会問題ピックアップ
	授業計画	人間関係形成力を身につける① グループワーク（合意形成）		授業計画	自分の考えを説明する＆文章化する③ 「現代社会の問題」
	事後学習	フィードバックシートの作成		事後学習	意見文の完成
4	事前学習	休み中に一つチャレンジする	12	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	自分の考えを説明する＆文章化する ①「チャレンジ状況の説明」		授業計画	多様性を知る②なんのために働くのか （グループワーク）
	事後学習	他の人の話を聞いて考えたこと		事後学習	振り返りシート記入
5	事前学習	目標設定シート見直し	13	事前学習	目標設定シート見直し
	授業計画	目標設定振り返り② 目標達成状況評価と改善案の策定		授業計画	目標設定振り返り④ 目標達成状況評価と改善案の策定
	事後学習	モニタリング＆目標設定シート完成		事後学習	モニタリング＆目標設定シート完成
6	事前学習	対処に困った出来事の抽出	14	事前学習	前期講義資料のまとめ
	授業計画	人間関係形成力を身につける② 場面や状況に応じた対応事例の検討		授業計画	前期講義内容の復習 ストレスマネジメント
	事後学習	講義内容の振り返り		事後学習	講義ノート見直し
7	事前学習	ニュース記事ピックアップ	15	事前学習	講義内容復習
	授業計画	自分の考えを説明する＆文章化する ②「ニュース記事」		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	意見文の完成		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	講義内容の事前学習			
	授業計画	多様性を知る① 人生の価値観（グループワーク）			
	事後学習	振り返りシート記入			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　深尾紀子
　　タイトル　就職活動のための文章表現力基本テキスト
　　出版社　　日本能率協会マネジメントセンター

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	キャリア形成論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
キャリアとは、社会で他の人と協力しながら自分らしく生きていくプロセスのことを指す。前期に引き続き、この講義では、いまある自分自身を認め、客観的な視点を身につけ、個人やグループでのワークを通し、目指す自分の将来像について明確にするための様々な方法について学び実践する。
達成目標
講義やワークを通し、自己理解を深め、自分を客観的に見る視点を身につける。あるがままの自己を肯定し、他者との関係性の中で自分らしさを見出し、自分自身の望む将来のイメージをつかみ、明確にしていく。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	前期講義内容の復習 自己イメージと後期の目標確認		授業計画	応募書類の作成② 伝わる書類作成のポイント
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容をふまえた応募書類の作成
2	事前学習	自分の悩みの切り出し	10	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	自分を客観視する① 人の話を聴く力と基本的信頼感について		授業計画	応募書類の作成③ 志望動機・自己 PR の書き方
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容をふまえた応募書類修正
3	事前学習	自分の安心体験の切り出し	11	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	自分を客観視する②人と温かくかかわる＆事実の正確な理解		授業計画	応募書類の作成④ 応募書類内容の見直しとまとめ
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容をふまえた応募書類修正
4	事前学習	講義資料の事前熟読	12	事前学習	作成した応募書類の読み込み
	授業計画	自分を客観視する③人と温かくかかわる＆感情と願望の受けとめ方		授業計画	面接対策①面接で大切なこと、実践ワークと振り返り
	事後学習	講義内容の復習と自身の振り返り		事後学習	面接実践内容の復習
5	事前学習	講義資料の事前チェック	13	事前学習	面接練習
	授業計画	悩みを相談する進路について相談する＆自分の目標の明確化		授業計画	面接対策② 集団面接練習。過去学習内容の実践。
	事後学習	自身の進路の悩みまとめ		事後学習	面接練習内容の復習
6	事前学習	講義内容の下調べ	14	事前学習	後期学習内容資料の整理
	授業計画	働き方について知る 企業・業種・職種についての基本情報の理解		授業計画	後期講義内容の復習 自身の目標到達状況の振り返り
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	後期講義内容の復習
7	事前学習	自分の興味ある会社チェック	15	事前学習	定期試験対策学習
	授業計画	会社について知る 企業研究の意味と情報収集の方法		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容をふまえた企業研究		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	応募書類必要物の収集と準備			
	授業計画	応募書類の作成① 履歴書・自己紹介シートの書き方			
	事後学習	講義内容をふまえた応募書類の作成			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅰ（世界遺産）	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースMYキャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
この地球で人類は、様々な信仰を持ち、多様な文化や自然環境の下で生活をしています。しかし実生活においては、日常の中でそれらについて考えを巡らすことはほぼないのが現状です。世界遺産について学ぶことはそんな日常から一歩外に踏み出し、異文化を知り、視野を広げるチャンスです。楽しみながら学んでいきましょう。
達成目標
前期は主に、世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産について学ぶ。写真やDVD等を用いたり、スライド発表なども取り入れながら、世界遺産にまつわる知識を身に着け、世界遺産検定3級合格を目指す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産とは何か 世界遺産の概要説明と導入		授業計画	日本の世界遺産 厳島神社・『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産の基礎知識 世界遺産条約と世界遺産の条件		授業計画	日本の世界遺産 長崎と天草地方・琉球王国のグスク他
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	11	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 知床・白神山地・小笠原諸島・屋久島		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう①
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	12	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 平泉・日光の社寺・富岡製糸場と絹産業遺産群		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう②
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	13	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 明治日本の産業革命・ル・コルビジェの作品・富士山		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう③
	事後学習	復習テスト		事後学習	発表内容のフィードバック
6	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	14	事前学習	前期講義資料見直し
	授業計画	日本の世界遺産 白川郷・五箇山・古都京都・紀伊山地の霊場と参詣道		授業計画	前期講義内容復習 世界遺産の基礎知識から日本の世界遺産まで
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	15	事前学習	前期講義内容復習
	授業計画	日本の世界遺産 法隆寺地域の仏教建造物群他		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる			
	授業計画	日本の世界遺産 姫路城・石見銀山と文化的景観・広島平和記念碑			
	事後学習	復習テスト			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　きほんを学ぶ世界遺産100　世界遺産検定3級公式テキスト
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版
参考書　著者名
　　タイトル　世界遺産検定公式過去問題集
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅰ（販売士）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
メーカー、卸売業、小売業、最終消費者という流通経路の基礎を学ぶ。特に小売業の業務に特化したリテールマーケティングを学び、接客や取扱商品の知識、経済の動きなどを考えた店舗経営のノウハウを学ぶ。流通論Ⅰでは「小売業の類型」を中心に学ぶ。
達成目標
小売業の特性、接客や取扱商品の知識を学んで、「日本商工会議所主催　リテールマーケティング検定 3 級」の知識を身に着けることを目標とする。この授業を通して検定合格レベルの知識習得を目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	流通論概要、流通とは何か、現在の流通の概要と重要性について		授業計画	小売業の類型⑧店舗別小売業の基本知識について②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型①小売業の定義と役割について		授業計画	小売業の類型⑨店舗別小売業の基本知識について③
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型②組織小売業の種類と役割について		授業計画	小売業の類型⑩店舗別小売業の基本知識について④
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型③チェーンストアの特長について		授業計画	小売業の類型⑪店舗別小売業の基本知識について⑤
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型④販売形態の種類と特徴について		授業計画	小売業の類型⑫店舗別小売業の基本知識について⑥
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型⑤インターネット社会と小売業の関係について		授業計画	小売業の類型⑬商店街とショッピングセンターについて
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	小売業の類型⑥業種と業態の違い、専業店について		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	小売業の類型⑦店舗別小売業の基本知識について①			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　ユーキャン販売士検定試験研究会
　　タイトル　販売士検定 3 級速習テキスト＆問題集
　　出版社　　自由国民社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅱ（世界遺産）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
この地球で人類は、様々な信仰を持ち、多様な文化や自然環境の下で生活をしています。しかし実生活においては、日常の中でそれらについて考えを巡らすことはほぼないのが現状です。世界遺産について学ぶことはそんな日常から一歩外に踏み出し、異文化を知り、視野を広げるチャンスです。楽しみながら学んでいきましょう。
達成目標
世界遺産の現状と課題について知り、世界で起きていることがらについての当事者意識を育む。 学んだ知識を定着させ、世界遺産検定 2 級・3 級合格を目指す。異文化への理解を深め多様な価値観を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	前期講義内容復習 世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑧ 人権を尊重し、差別をなくすために
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義① 法隆寺の木造建築に学ぶ		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑨　合掌造りから文化・自然・観光の共生を考える
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義② 姫路城を残してきた人々の働き		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑩　文化と生活を守るための新たな人のつながり
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
4	事前学習	前回学習内容復習	12	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義③　気候変動の影響を世界遺産から考える		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑪ 遺跡保存のための人材育成について
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
5	事前学習	前回学習内容復習	13	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義④ 世界遺産の観光地化について考える		授業計画	世界遺産まとめ①　自分が気になる世界遺産について調べる
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
6	事前学習	前回学習内容復習	14	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑤ 自然保護のためにできること		授業計画	世界遺産まとめ②　自分が気になる世界遺産について調べて発表する
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
7	事前学習	前回学習内容復習	15	事前学習	後期講義内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑥「平和のとりで」を築くことについて考える		授業計画	定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回学習内容復習			
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑦　戦争の記憶から平和な社会をつくるために			
	事後学習	復習テスト			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　きほんを学ぶ世界遺産 100　世界遺産検定 3 級公式テキスト
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版
参考書　著者名
　　タイトル　世界遺産検定公式過去問題集
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版

年度	2021年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅱ（販売士）	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
メーカー、卸売業、小売業、最終消費者という流通経路の基礎を学ぶ。特に小売業の業務に特化したリテールマーケティングを学び、接客や取扱商品の知識、経済の動きなどを考えた店舗経営のノウハウを学ぶ。流通論Ⅱでは「マーチャンダイジング」「マーケティング」を中心に学ぶ。
達成目標
小売業の特性、接客や取扱商品の知識を学んで、「日本商工会議所主催　リテールマーケティング検定3級」の知識を身に着けることを目標とする。この授業を通して検定合格レベルの知識習得を目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング①商品の分類と本体要素		授業計画	マーケティング②顧客満足経営と顧客維持政策
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング②マーチャンダイジングの基本		授業計画	マーケティング③商圏設定と立地、出店の基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング③商品計画、販売計画の策定		授業計画	マーケティング④インバウンドに対するプロモーション①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング④仕入計画の基本、発注、物流の基本		授業計画	マーケティング⑤インバウンドに対するプロモーション②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング⑤価格設定の基本、利益構造		授業計画	マーケティング⑥売り場の形態と売り場作りの基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング⑥在庫管理の基本と、販売管理の基本		授業計画	マーケティング⑦照明・光源・色彩の考え方
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	マーチャンダイジング⑦POS システムと活用方法		授業計画	単位認定のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	マーケティング①顧客満足経営と顧客維持政策			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　ユーキャン販売士検定試験研究会
　　タイトル　販売士検定3級速習テキスト&問題集
　　出版社　　自由国民社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
「資格取得」を通して、自身の価値観形成及び適正理解をする。そのため、PC・漢字・マナー・簿記・外国語等複数の学習を行い、それぞれに応じた知識習得をする。また、学習計画やモチベーションの管理法を学び、社会人生活に適応する方法を学習する。
達成目標
各資格の特徴を知り、それに応じた学習内容及び学習法について知る。自身の興味を知り、資格取得に向けた学習計画を立て、実行する。それに応じた進路計画を立て、希望の進路に行けるよう行動する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	IT 用語プリント⑤
	授業計画	外国語講義①TOEIC 文法傾向と必要学習		授業計画	PC 講義⑤模擬問題実践（MOS2016Word、Excel）
	事後学習	講義復習課題		事後学習	模擬問題振り返り
2	事前学習	外国語プリント②	10	事前学習	簿記用語プリント①
	授業計画	外国語講義②TOEIC 語彙傾向と必要学習		授業計画	簿記講義①簿記基本ルール（仕訳と実践練習）
	事後学習	講義復習課題		事後学習	講義復習課題
3	事前学習	外国語プリント③	11	事前学習	簿記用語プリント②
	授業計画	外国語講義③TOEIC リスニング傾向と必要学習		授業計画	簿記講義②簿記基本ルール（試算表と決算表を作成）
	事後学習	講義復習課題		事後学習	講義復習課題
4	事前学習	外国語プリント④	12	事前学習	簿記用語プリント③
	授業計画	外国語講義④TOEIC 過去問題実践と解説		授業計画	簿記講義③簿記検定問題実践（全経簿記 3 級）
	事後学習	過去問題振り返り		事後学習	検定問題振り返り
5	事前学習	IT 用語プリント①	13	事前学習	自己分析表プリント
	授業計画	PC 講義①Word 基本操作（文書入力、挿入等）		授業計画	キャリア形成講義①価値観分析とシート作成
	事後学習	講義復習課題		事後学習	キャリアシート完成
6	事前学習	IT 用語プリント②	14	事前学習	目標設定シート
	授業計画	PC 講義②Word 基本操作（図形、表、ワードアート等）		授業計画	キャリア形成講義②PDCA サイクルと目標設定
	事後学習	講義復習課題		事後学習	目標設定シート完成
7	事前学習	IT 用語プリント③	15	事前学習	復習
	授業計画	PC 講義③EXCEL 基本操作（表作成、挿入等）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義復習課題		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	IT 用語プリント④			
	授業計画	PC 講義④EXCEL 基本操作（計算式、グラフ作成等）			
	事後学習	講義復習課題			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
「就職活動」を通して、自身の価値観形成及び適正理解をする。そのため、SPI・履歴書作成・価値観理解・面接練習等複数の学習を行い、それぞれに応じた知識習得をする。また、学習計画やモチベーションの管理法を学び、就職活動に適応する方法を学習する。
達成目標
就職活動における必要なタスクを知り、それに応じた準備について知る。自身の興味や適性を知り、進路活動に向けたスケジュールを立て、実行する。それに応じた進路計画を立て、希望の進路に行けるよう行動する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	SPI 練習問題
	授業計画	就職活動とは:ハローワーク職員による講和とスケジュール確認		授業計画	SPI 対策③(学力及び性格模擬問題実践及び解説)
	事後学習	講義復習課題		事後学習	模擬問題振り返り
2	事前学習	職業情報収集	10	事前学習	自己分析シート作成
	授業計画	働くことを考える:職業デザインの多様性と価値基準		授業計画	面接応対①(面接の目的と自己 PR 解答作成)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	インターン情報収集	11	事前学習	筆記履歴書作成
	授業計画	インターン研修①概要説明・意義・目的・今後の流れ		授業計画	面接応対②（エントリーシートと志望理由作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	マナー課題プリント	12	事前学習	PC 履歴書作成
	授業計画	インターン研修②マナー講義(良い人間関係を作る言葉遣い)		授業計画	面接応対③（模擬面接大会と全体振り返り）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	模擬面接振り返り
5	事前学習	マナー課題プリント	13	事前学習	説明会情報収集
	授業計画	インターン研修③企業研修準備(企業分析・概要・役割・目的)		授業計画	就職活動実践：説明会検索方法と基本マナー
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	企業研修準備	14	事前学習	説明会準備
	授業計画	課外活動①企業研修（企業の方講義、実践・FB)		授業計画	課外活動②合同説明会参加（実践及び FB)
	事後学習	レポート作成		事後学習	説明会レポート作成
7	事前学習	SPI 情報収集	15	事前学習	復習
	授業計画	SPI 対策①(計算問題分野傾向と実践練習)		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	SPI 読解問題確認			
	授業計画	SPI 対策②(読解及び語彙問題分野傾向と実践練習)			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（ 課題・小テスト ）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティング戦略	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界でのサービスマーケティング・インターナルマーケティング。 現在は Twitter 活用し、動画配信者の認知度アップ・チャンネル登録者アップの SNS マーケティング		

講義概要
昨年度学んだ「マーケティング」「経営学」をふまえ、企業が目的を実現するための指針・土台となる「経営戦略」のうち「マーケティング戦略」を学ぶ。ビジネスパーソンとして、経営者による経営戦略から「どのような指針・土台をもとにマーケティングを展開していくか？」をビジネスフレームワークを用いて理解していく。
達成目標
（1）用語や定義に慣れる：経営・マーケティング戦略における用語や定義に慣れる。（2）フレームワークの活用：ビジネスフレームワークの「目的」や「使いどころ」を把握し、実践に使えるよう理解を進める。

授業計画

1	事前学習	マーケティング	9	事前学習	興味関心ある企業調査
	授業計画	ガイダンスおよび「マーケティング戦略の定義」		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」の作成演習と発表①
	事後学習	環境の変化と生活の変化		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
2	事前学習	ビジネス	10	事前学習	企業調査
	授業計画	「環境の変化」と「マーケティング戦略の必要性」		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」の作成演習と発表②
	事後学習	商品サービスが売れない理由		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
3	事前学習	消費行動の変化	11	事前学習	競合他社調査
	授業計画	環境変化による「生活・消費活動の変化」の関係性		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」で競合他社比較
	事後学習	消費活動の繋がりと派生		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
4	事前学習	消費活動の繋がりと派生	12	事前学習	企業研究・分析
	授業計画	「変化の指標」とマーケティングによる「意味と価値」づくり		授業計画	①マーケティング視点の企業研究②組織体制とマーケティング機能
	事後学習	商品サービスの意味と価値を探る		事後学習	特定企業の研究・分析
5	事前学習	商品サービスの意味と価値を探る	13	事前学習	業界研究・分析
	授業計画	演習：環境と商品サービスの意味と価値の変化①		授業計画	マーケティング視点での業界研究・分析と求人選び
	事後学習	商品購入までの流れと繋がり		事後学習	特定業界の研究・分析
6	事前学習	価値	14	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	演習：環境と商品サービスの意味と価値の変化②		授業計画	第１回～第 13 回講義の振り返りと要点の確認
	事後学習	価値のある・なし		事後学習	試験に向けた学習
7	事前学習	ビジネスモデル	15	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	フレームワークとビジネスモデル・ビジネスモデルキャンバス（BMC）		授業計画	定期試験
	事後学習	ビジネスモデルキャンバス		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	顧客満足			
	授業計画	「ビジネスモデルキャンバス作成事例」と演習			
	事後学習	各要素の繋がりと派生			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名　　オリヴァー・ガスマンほか
　　タイトル　ビジネスモデルナビゲーター
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　近藤哲朗
　　タイトル　ビジネスモデル 2.0 図鑑
　　出版社　　株式会社 KADOKAWA

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営戦略	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界で経営企画職でサービスマーケティング・インターナルマーケティング。起業後は Twitter 活用 SNS マーケティングと会社経営		

講義概要
「利益を出している企業には共通点（ビジネスモデル）がある」という視点から、経営戦略に基づいて創造される「ビジネスモデル」にはどのようなものがあるのか？を「ビジネスモデルナビゲーター・５５パターンカード」を用いて理解していきます。ビジネスモデルを知り、就職活動での企業選択や志望動機作成にも役立てる。
達成目標
５５パターンあるビジネスモデルのうち、とくに有名な企業や身近な商品サービスを扱うビジネスモデルを抽出。そのビジネスモデルの「仕組み」や「特長」について理解し、他の学生・学年にプレゼンテーションを実施。

授業計画

1	事前学習	ビジネスモデルとは何か	9	事前学習	フランチャイズ
	授業計画	ビジネスモデルの定義と必要性について共有し、５５パターンカード説明		授業計画	ビジネスモデル「フランチャイズ」の説明と演習
	事後学習	興味が持てたビジネスモデルを調査		事後学習	直販との違い
2	事前学習	フレームのメリットデメリット	10	事前学習	Amazon 社のビジネス
	授業計画	ビジネスモデル「クロスセル」の説明と演習		授業計画	ビジネスモデル「ロングテール」の説明と演習
	事後学習	アップセル		事後学習	楽天と Amazon の比較
3	事前学習	定額制サービス	11	事前学習	興味ある企業のビジネスモデル
	授業計画	ビジネスモデル「サブスクリプション」の説明と演習		授業計画	興味ある企業のビジネスモデルを作成、５５パターンカードも引用
	事後学習	課金システム		事後学習	経営資源の流れとステークホルダー
4	事前学習	無料で貰える・使える商品サービス	12	事前学習	興味ある企業の競合他社調査
	授業計画	ビジネスモデル「フリーミアム」の説明と演習		授業計画	興味ある企業と競合他社のビジネスモデルと比較と図解化
	事後学習	シェアリングとは		事後学習	ビジネスモデルの相違点抽出
5	事前学習	ミニマリスト	13	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	ビジネスモデル「シェアリングエコノミーサービス」の 説明と演習		授業計画	興味ある企業のビジネスモデル図解のプレゼンテーションと 評価
	事後学習	レンタルとシェアの違い		事後学習	フィードバックを受けて再構築
6	事前学習	消費者の「モノを持たない価値」	14	事前学習	後期テキストの振り返り
	授業計画	習ったビジネスモデルを活用して「新しいビジネス」を作る		授業計画	第１回目～第１３回目講義の振り返りと質疑応答
	事後学習	経営資源の流れを図解		事後学習	前期テキストの振り返り
7	事前学習	新しいビジネスの価値提案	15	事前学習	前期・後期テキスト内容確認
	授業計画	新しいビジネスの図解化とプレゼンテーション準備		授業計画	定期試験
	事後学習	プレゼンのタイムマネジメント		事後学習	テキスト見直し
8	事前学習	プレゼン準備			
	授業計画	「新しいビジネス」のプレゼンテーション実施と評価			
	事後学習	評価を踏まえて再構築			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名　　オリヴァー・ガスマンほか
　　タイトル　ビジネスモデルナビゲーター
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　近藤哲朗
　　タイトル　ビジネスモデル 2.0 図鑑
　　出版社　　株式会社 KADOKAWA

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅢ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	井上由美子		
実務経験教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
1 年次に学んだビジネスマナーの理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。就職活動において企業と接する際に必要となるビジネスメールのやり取りや、携帯電話のマナーと応対、名刺の取り扱いなどを習得する。企業訪問の際の振る舞いや受付方法を学ぶ。社会人の常識として知っておきたい基礎用語を学習する。
達成目標
ビジネスメールのマナーを守って企業の人事担当とやり取りが出来る。ビジネス文書送付の際の添え状を作成出来る。郵便物の宛名を正しく書ける。報告書やレポートの書き方、社会人常識基礎用語がわかる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	会社訪問体験を書き出す
	授業計画	1 年間の成長を振り返り 2 年次の学習目標を設定する		授業計画	会社訪問の準備　受付での振る舞いロールプレイング
	事後学習	1 年次の復習ポイントを洗いだす		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
2	事前学習	3 か月後の姿を言語化する	10	事前学習	名刺デザインを考える
	授業計画	オンラインコミュニケーションの身だしなみ画面越しの会話テクニック		授業計画	名刺交換　紹介の仕方５つのケースロールプレイング
	事後学習	オンラインの際の背景を整える		事後学習	名刺を 5 枚作成する
3	事前学習	自己 PR の準備をする	11	事前学習	日本企業の役職を復習しておく
	授業計画	内定に繋がる自己アピール　仕事に繋がる自己紹介の準備方法		授業計画	様々な場面の席次　応接室･会議室･エレベーター・車など
	事後学習	自己 PR を修正し内容を整える		事後学習	フォームを使って小テスト
4	事前学習	身近なビジネス文書を集める	12	事前学習	雑談の話題を見つける
	授業計画	ビジネス文書の基本形　履歴書送付状（下書き）作成　宛名書き実習		授業計画	心の壁を取り除く雑談力の伸ばし方ショートスピーチ
	事後学習	PC で添え状を作成する		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
5	事前学習	メールの利用体験を書き出す	13	事前学習	5W3H について予習しておく
	授業計画	ビジネスメールのマナー　面接のお礼メールを下書き		授業計画	日報・報告書の役割と書き方　守秘義務と情報の取り扱い
	事後学習	お礼メール下書きを PC 入力する		事後学習	授業内容を報告書形式でまとめる
6	事前学習	1 年次の電話応対を復習する	14	事前学習	配布資料を読んでおく
	授業計画	携帯電話のマナーと活用　挨拶･基本動作実習		授業計画	各種資料を引用・要約する際のルール著作権
	事後学習	電話応対定型句集を作成する		事後学習	引用を使ってレポートを作成する
7	事前学習	頭語・結語について調べる	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	ビジネスコミュニケーションツールの使い分け		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	具体的な訪問先を見つけておく			
	授業計画	訪問アポイントメントの取り方　メールの場合、電話の場合の実習			
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われるビジネスマナー完全版
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅣ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	井上由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
2 年間の総仕上げとして、社会人として知っておきたい大人のマナーについて学習する。ビジネスマナーは勿論のこと、冠婚葬祭の基礎知識、食事のマナー、ビジネスチャンスに繋がる季節の行事や日本のしきたりなど、人として高評価を得られるような知識に触れ、日本社会に対しての理解を深めるとともに人間力を磨く。
達成目標
冠婚葬祭の目的や意義を理解し、ビジネスマンとして対応出来るようになる。会食の席で堂々とふるまえるような食事のマナーを学び、品格ある行動が出来るようになる。社会人常識マナー検定 2 級レベルの知識を身につける。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題
	授業計画	ビジネスマナーⅠ・Ⅱ・Ⅲの振り返りと今後の課題を確認		授業計画	和食のマナー　日本料理の基礎知識 箸使いの作法
	事後学習	ビジネスマナーⅣの目標を設定する		事後学習	箸使いの練習をする
2	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句①	10	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭の目的と意義　冠婚葬祭とビジネスの関係		授業計画	西洋料理のマナー　食事の仕方とカトラリーの使い方
	事後学習	自国の通過儀礼について調べる		事後学習	ナイフ・フォークで食事をする
3	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句②	11	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭　日本の主な通過儀礼「冠」のしきたり		授業計画	中華料理のマナー　中華料理の基礎知識と回転卓の作法
	事後学習	自国の結婚について調べる		事後学習	食事のマナーについてレポート作成
4	事前学習	社会常識　欧文略語	12	事前学習	社会常識　総合問題①
	授業計画	冠婚葬祭　「婚」のしきたり　招待客としてのマナー		授業計画	縦書きのビジネス文書　案内状・招待状・お礼状
	事後学習	自国の葬儀について調べる		事後学習	お礼状を出す相手を決める
5	事前学習	社会常識　主要国名と首都名	13	事前学習	社会常識　総合問題②
	授業計画	冠婚葬祭　「葬」のしきたり　ビジネスにおける訃報対応		授業計画	縦書き手書きのお礼状　下書き文章を作成する
	事後学習	自国の季節行事について調べる		事後学習	筆ペンを準備する
6	事前学習	税金や社会保障制度に関する用語	14	事前学習	社会常識　総合問題③
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり①　季節の行事		授業計画	筆ペンの使い方実習　お礼状を清書し仕上げる
	事後学習	自国と日本の行事を比較する		事後学習	フォームを使って授業内容報告
7	事前学習	社会常識　時事問題	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり②　暦と二十四節気		授業計画	定期試験
	事後学習	冠婚葬祭の学習レポートを作成する		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題			
	授業計画	食事のマナー　食文化と歴史　食事とビジネスの関係			
	事後学習	フォームを使って授業内容報告			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 2 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーションⅢ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては２つの目的を持って取り組む。１つは就職活動場面においての適切な表現方法の習得。もう１つはプレゼンテーションにおいて 1 年次はグループ発表がメインだったが、個人でのスライド作成、構成作成、表現ができることを目標に個人での発表を行う。
達成目標
就職活動において企業側の意図を想定した応答ができ、効果的に自分自身をアピールできる。プレゼンテーションにおいて、単独でパワーポイントによる資料作成、構成作成、表現ができる。どちらも論理的表現ができる。

授業計画

1	事前学習	現在の就職活動の整理	9	事前学習	スティーブジョブスの情報収集
	授業計画	就職活動表現①自己 PR:場面に応じた自己紹介及び就活での効果的 PR		授業計画	プレゼンテーション④表現２：孫正義動画から表現法理解、実践
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	志望理由作成	10	事前学習	TED 動画視聴
	授業計画	就職活動表現②志望理由:様々な業種に応じた理由の違い及び実践練習		授業計画	プレゼンテーション⑤表現３:TED 動画から表現法理解、実践
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	就活質問解答準備	11	事前学習	過去自身の作成スライドを確認
	授業計画	就職活動表現③その他質問:企業心理の分析及びそれに応じた解答作成		授業計画	プレゼンテーション⑥スライド作成:5 秒でわかるスライド作成法
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	就活態度の確認	12	事前学習	ジェスチャーの意義を確認
	授業計画	就職活動表現④態度・言葉遣い:面接や電話応答での動作理解及び実践		授業計画	プレゼンテーション⑦表現動作：人を惹きつけるジェスチャー講義
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	面接想定練習	13	事前学習	発表テーマ選定
	授業計画	就職活動表現⑤模擬面接会（面接、評価、FB）		授業計画	プレゼンテーション⑧発表準備（構成・セリフ作成、スライド準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	前回プレゼン講義内容整理	14	事前学習	発表準備
	授業計画	プレゼンテーション①決意表明:1 年の決意表明を構成、表現を動画撮影		授業計画	プレゼンテーション⑨個人発表（発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
7	事前学習	プレゼンテーション専門用語確認	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	プレゼンテーション②プレゼンテーションのアウトライン確認		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	チームワーク考察			
	授業計画	プレゼンテーション③表現１:ジョブス動画から表現法理解、実践			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　カーマイン・ガロ
　　タイトル　スティーブジョブス驚異のプレゼン
　　出版社　　日経 BP 社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅣ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においてはプレゼンテーションを軸とした様々な表現方法を学習する。プレゼンテーションの他にも企画書や CM 動画作成などを通して場面に応じた柔軟な表現力獲得を目指す。またその過程でのグループ作業を通してチームビルディングに必要な知識を学習する。
達成目標
受容、共感を用いて相手の気持ちを重視した傾聴ができる。チームの役割を把握したグループ作業ができる。CM,企画書、スピーチ、ビジネスプレゼン等場面での表現ができる。効果的な発声やアクセントができる。

授業計画

1	事前学習	前回スピーチ講義内容確認	9	事前学習	自身作成の CM 内容理解
	授業計画	スピーチ①表現法：呼吸法、発声法及び表現方法の理解、実践		授業計画	チームビルディング④：CM 講評会（視聴、発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	スピーチ発表準備	10	事前学習	前回ビジネスプレゼン内容確認
	授業計画	スピーチ②スピーチコンテスト（発表、評価、FB）		授業計画	ビジネスプレゼン①言葉遣い・動作：ビジネス場面における作法の理解
	事後学習	自身発表振り返り		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ビジネス文書予習	11	事前学習	構成についてポイント確認
	授業計画	ビジネス文書①ビジネス文書作成ルール		授業計画	ビジネスプレゼン②社外プレゼン（社内プレゼンとの違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	企画書案予習	12	事前学習	スライド作成法振り返り
	授業計画	ビジネス文書②企画書作成（目的と作成方法）		授業計画	ビジネスプレゼン③社外プレゼンスライド作成
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	企画書発表準備	13	事前学習	テーマ選定
	授業計画	ビジネス文書③企画発表（企画書⇒スライド作成）		授業計画	ビジネスプレゼン④社外プレゼン発表準備（発表、評価、FB）
	事後学習	自身発表振り返り		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	チームワークのポイント確認	14	事前学習	発表準備
	授業計画	チームビルディング①基礎概論：グループとチームの違い		授業計画	ビジネスプレゼン⑤発表会（発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	チームワークのポイント確認	15	事前学習	期末試験範囲の復習
	授業計画	チームビルディング②実践：企業研修での複数タスクの実践練習		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	有名 CM 視聴及び感想作成			
	授業計画	チームビルディング③CM 作成：役割分担、メッセージ確認し動画撮影			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　前田鎌利
　　タイトル　社外プレゼンの資料作成術
　　出版社　　ダイヤモンド社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本の社会や文化について英語で説明ができるよう、適切な言語知識を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の２級または 3 級の資格取得,TOEIC600 点取得を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語での自己紹介･当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の基礎 日本の都市、地方 2
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の地勢１		授業計画	英語表現の基礎 日本の交通
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の地勢２		授業計画	英語表現の基礎 日本のインフラストラクチャー
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（古代から中世）1		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活文化１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（古代から中世）2		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活文化２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（近代）３		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（近代）４		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の基礎 日本の都市、地方１			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　江口裕之
　　タイトル　英語で語る日本事情 2020
　　出版社　　The Japan Times
参考書　著者名　　山口百々男
　　タイトル　英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産
　　出版社　　三修社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
英語と日本語を対比させながら、適切な言語表現と文法などの言語知識を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の 3 級または２級の資格取得、TOEIC800 点取得を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産４
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の慣習・儀式１		授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産５
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の慣習・儀式２		授業計画	英語表現の基礎 日本の観光地
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の宗教１		授業計画	英語表現の基礎 日本の観光の課題
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の宗教２		授業計画	英語表現の基礎 インバウンドデザイン
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産１		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産２		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産３			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	卒業演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では卒業研究課題作成に向け、テーマ選定のためのアプローチ方法や課題作成の基本ルールについて、文章作成のワークを通じて学習する。提示した素材ごとに各自が取り組みたいテーマを設定し、それについて掘り下げて追及する練習を行う。また説得力のある文章構成に必要な要素について学習し研究課題の選定に活かす。
達成目標
卒業研究課題の設定を目標とする。ニュース、日常生活、好きなこと、学習内容の中から項目ごとに研究課題を設定し、仮の研究背景や目的について追及し、文章化する練習を行うことで最適な研究課題を見つけ出す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究とは何かテーマの探し方、情報収集の仕方と実践練習		授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「日常生活１」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
2	事前学習	学習内容の予習	10	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究の基本事項① 引用文の扱い方、文体、内容		授業計画	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「日常生活２」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
3	事前学習	学習内容の予習	11	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究課題設定の基本事項② 研究背景、目的、文章構成の方法		授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「講義内容１」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
4	事前学習	学習内容の予習	12	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究課題設定の基本事項③ 研究の進め方、展開方法		授業計画	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「講義内容２」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
5	事前学習	学習内容の予習	13	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース１」		授業計画	前回学習内容の復習 卒業研究の目的の再確認・補足事項
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
6	事前学習	学習内容の予習	14	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース２」		授業計画	卒業研究課題作成の基本事項確認 テーマの決定
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
7	事前学習	学習内容の予習	15	事前学習	前期学習内容の復習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなもの１」		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	学習内容の予習			
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなもの２」			
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では卒業研究課題設定に向け、テーマ選定のためのアプローチ方法や課題作成の基本ルールについて、文章作成のワークを通じて学習する。提示した素材ごとに各自が取り組みたいテーマを設定し、それについて掘り下げて追及する。また説得力のある文章構成に必要な要素について学習し課題作成に活かす。
達成目標
卒業研究課題の追求と文章作成。自らの活動体験に基づき、得た気づきの中から個人もしくはグループで課題を設定する。もしくは、講義内で取り上げた身近なテーマを題材とし、追求し卒業研究課題を決定する。

授業計画

1	事前学習	卒業研究のための事前準備	9	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究課題の確認と諸注意　今後のスケジュールの確認と卒論作成		授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑧
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
2	事前学習	卒業研究のための事前準備	10	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク①		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章初稿提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
3	事前学習	卒業研究のための事前準備	11	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク②		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章校正
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
4	事前学習	卒業研究のための事前準備	12	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク③		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
5	事前学習	卒業研究のための事前準備	13	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究構成概要の提出 個人またはグループでのワーク④		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章最終校正
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
6	事前学習	卒業研究のための事前準備	14	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑤		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章最終提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
7	事前学習	卒業研究のための事前準備	15	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑥		授業計画	定期試験
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	定期試験見直し
8	事前学習	卒業研究のための事前準備			
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑦			
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：50%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　酒井聡樹
　　タイトル　これからレポート・卒論を書く若者のために
　　出版社　　共立出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では作成した卒業研究文を基に、卒業研究発表のためのスライドの作成及びプレゼンテーション準備を行う。この 2 年間での学びを活かし、より人の心に伝わる、人の心を動かす発表を目指し、スライドの機能およびプレゼンテーションの流れについて改めて振り返りながら専門学校の学びの集大成として一つの形にまとめる。
達成目標
卒業研究課題の引き続きの追求と卒業研究文を基に、スライドを用いた卒業研究発表の作成準備と発表の実行。専門学校 2 年間の学びの集大成の成果として発表を行うことで、自身の学びを将来に繋げる。

授業計画

1	事前学習	卒業研究文の見直し	9	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究発表概要 今後のスケジュール確認とスライド構成概要説明		授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑧
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
2	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	10	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク①		授業計画	卒業研究発表スライド完成 卒業研究発表スライド初稿提出
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
3	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	11	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク②		授業計画	卒業研究発表予行演習① 卒業研究発表スライドの内容見直しと修正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
4	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	12	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク③		授業計画	卒業研究発表スライド作成 卒業研究発表スライドの再校正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
5	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	13	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究発表スライド構成概要の提出 個人またはグループでのワーク④		授業計画	卒業研究発表会予行演習② 卒業研究課題の調査結果文章最終校正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
6	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	14	事前学習	卒業研究発表のための最終準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑤		授業計画	卒業研究発表会 卒業研究発表の評価とフィードバック
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表内容振り返り
7	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	15	事前学習	後期講義内容の見直し
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑥		授業計画	定期試験
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	定期試験見直し
8	事前学習	卒業研究発表のための事前準備			
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑦			
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：20%　＜（　課題・小テスト　）＞：60%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　酒井聡樹
　　タイトル　これからレポート・卒論を書く若者のために
　　出版社　　共立出版

年度	2021年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティ経営論Ⅰ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースMYキャリア専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
「ホスピタリティ」の概念や理念が、どのように企業経営に活かされているのか。当講義では、顧客満足、従業員満足を追求している企業の実例をケーススタディとして用いながら、「ホスピタリティ」とは何か、CS、ESとの関係性などを経営者の視点から考えることを学ぶ。
達成目標
サービスプロフィットチェーンにおける「CSとESの関係」、「利益向上とESの関係」、「ESを高めるために重要なこと」などを経営者の視点から論理的に考察し、将来の自分の仕事に活かすことを目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリント通読	9	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	ホスピタリティとは何か、「相手の立場に立って考える」ことの重要性		授業計画	従業員満足を高める要因について①「トータルリワード（総報酬）」
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリント通読	10	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	サービスレベルとホスピタリティ①5段階のサービスレベル		授業計画	従業員満足を高める要因について②「働きやすい企業ランキング」分析
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリント通読	11	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	サービスレベルとホスピタリティ②サービスプロフィットチェーンとは		授業計画	従業員満足を高める要因について③「働きやすい企業ランキング」分析
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリント通読	12	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	顧客満足度とは何か①顧客満足度と売上・利益の関係性		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリント通読	13	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	顧客満足度とは何か②ホスピタリティと顧客満足度の関係		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリント通読	14	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	企業ケーススタディ①、グランドハイアット東京の経営理念・行動指針		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析③
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリント通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	企業ケーススタディ②、加賀屋のホスピタリティ・ケーススタディ①		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリント通読			
	授業計画	企業ケーススタディ②、加賀屋のホスピタリティ・ケーススタディ②			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティ経営論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
前期に学習した「ホスピタリティ経営論Ⅰ」を更に発展させ、「ホスピタリティサービスを提供できる人材を育てられること」を主眼に置き、学習する。スタッフの視点だけではなく、経営者としての視点が身に着けられるよう、顧客・従業員エンゲージメントや、企業理念がホスピタリティに与える影響を学ぶ。
達成目標
「ホスピタリティサービスを提供できる人材を育てられること」を理解できるようになり、より経営的な視点からホスピタリティを捉え、将来企業でマネジメント職に就いた場合に活かせる考え方を身に着けることを目指す。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリント通読	9	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	前期内容　復習､ES→ホスピタリティ→サービスレベル→CS の連鎖		授業計画	ケーススタディ② 「大東建託」のホスピタリティと研修制度②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリント通読	10	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント①より高い従業員満足を得るための条件とは		授業計画	ケーススタディ③ 「星野リゾート」のホスピタリティマネジメント①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリント通読	11	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント②　総報酬と ES の関係性について		授業計画	ケーススタディ③ 「星野リゾート」のホスピタリティマネジメント②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリント通読	12	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント③顧客エンゲージメントとの関係		授業計画	観光業のホスピタリティ、インバウンドビジネスの概要①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリント通読	13	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	経営戦略基礎、「理念の共有」とホスピタリティの関係		授業計画	観光業のホスピタリティ、インバウンドビジネスの概要②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリント通読	14	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	企業ケーススタディ①　「TESSEI」のホスピタリティと現場力①		授業計画	ホスピタリティ経営について総復習、理念の共有・研修・実践について
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリント通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	企業ケーススタディ①　「TESSEI」のホスピタリティと現場力②		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリント通読			
	授業計画	ケーススタディ②　「大東建託」のホスピタリティと研修制度①			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、WORD の操作をビジネスレベルで使えるようになることを目的とする。そのため、場面に応じたルールや使用する言葉を理解し、ビジネスメールが作成できること、CS 検定 WORD２級取得ができる PC スキルが身につけられる内容となっている。
達成目標
ブラインドタッチで平均以上での文字入力ができる。ビジネス場面における適切なメールを作成することができる。CS 検定 2 級レベルの WORD での操作ができ、ビジネス場面において通用するレベルの PC 操作ができる。

授業計画

1	事前学習	PC 起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネス用語①（敬語、尊敬語、謙譲語）		授業計画	CS 検定課題１文字入力①、Word 振り返り③（ワードアート、画像）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネス用語②（ビジネスメール専門用語、構成）		授業計画	CS 検定課題１文字入力②、Word 振り返り④表作成（設定等）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、ビジネスメール①（就活場面メール）		授業計画	CS 検定２級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、ビジネスメール②（同僚や社内メール）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word２級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、ビジネスメール③（取引先やお客様等社外メール）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word２級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、ビジネスメール振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 Word 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、Word 振り返り①文書作成（配置装飾等基本操作）Word 表作成（表作成、レイアウト、スタイル）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、Word 振り返り②文書編集（書式設定、段組み設定）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist Word 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、PC 操作をビジネスレベルで使えるようになることを目的とする。目的は二つ、一つは WORD を使用しての社内・社外文書、議事録を作成できること。もう一つは EXCEL をビジネス場面で使用できること。そのため、EXCEL は CS 検定 WORD２級取得ができる PC スキルが身につけられる内容となっている。
達成目標
ブラインドタッチで平均以上での文字入力ができる。ビジネス場面における適切な社内・社外文書・議事録を作成できる。CS 検定 2 級レベルの EXCEL での操作ができ、ビジネス場面において通用する PC 操作ができる。

授業計画

1	事前学習	PC 起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネスマナー講義①社内･社外文書（目的・ビジネス用語・構成）		授業計画	CS 検定課題１①､EXCEL 振り返り③（数式・関数）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、社内文書作成（会議等お知らせ）		授業計画	CS 検定課題１②､EXCEL 振り返り④（グラフ作成）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、社外文書作成（会議等お知らせ）		授業計画	CS 検定２級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネスマナー講義②会議議事録（目的・ビジネス用語、構成）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL２級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、会議議事録作成（実際の討論後作成）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL２級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、社内・社外文書作成振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 EXCEL 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、EXCEL 振り返り①（ワークシート・ブック）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、EXCEL 振り返り②（セル・テーブル）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist EXCEL 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	消費者行動論	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
人間の心理面に焦点をあて、市場で製品が売れる課程を理解していく。特に、その課程において企業や店舗がどのように関わっているのか、人が選択する際の「くせ」（不合理）を伝統経済学やマーケティング、行動経済学等幅広い視点から理解できる内容とする。
達成目標
人間心理に基づいた購買行動を理解することで、今後の仕事における顧客心理に基づいた応対や企画はもちろん、普段のアルバイト接客や買い物、自身の学習計画の履行等で広く活用していくことを目標とする。

授業計画

1	事前学習	マーケティング用語を調べる	9	事前学習	男女の違い調査
	授業計画	マーケティング基礎講義：1.0-4.0 マーケティング比較		授業計画	消費者行動③男女別マーケティングと事例紹介
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
2	事前学習	ホスピタリティ用語を調べる	10	事前学習	認知学用語を調べる
	授業計画	ホスピタリティ基礎講義:顧客満足とは		授業計画	消費者行動④ニューロンマーケティングと事例紹介
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
3	事前学習	経済学用語を調べる	11	事前学習	EC 用語を調べる
	授業計画	経済学基礎講義：機会費用、希少性、代替え財等法則		授業計画	最新消費者行動①AIDMA と AISAS の購買行動
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
4	事前学習	経済学用語を調べる２	12	事前学習	EC 用語を調べる 2
	授業計画	行動経済学講義①:伝統経済学との違い		授業計画	最新消費者行動②EC マーケティングとショールーミング
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
5	事前学習	行動経済学用語調べる１	13	事前学習	2025 年調査
	授業計画	行動経済学講義②:ヒューリスティックとシステマティック		授業計画	最新消費者行動③2025 年における消費者行動
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
6	事前学習	行動経済学用語を調べる２	14	事前学習	流行用語を調べる
	授業計画	行動経済学講義③:プロスペクト理論とナッジ理論		授業計画	イノベーションと流行の関係、流行を作ろう
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
7	事前学習	購入パターン調査	15	事前学習	これまでのテスト範囲の復習
	授業計画	消費者行動①購買意思決定プロセスと事例紹介		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	定期試験解答内容の確認
8	事前学習	カラー用語を調べる			
	授業計画	消費者行動②カラーマーケティングと事例紹介			
	事後学習	学習内容復習課題			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　田中洋
　　タイトル　消費者行動論
　　出版社　　中央経済社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	イベントマネジメント	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的はイベントマネジメントに必要な知識を身につけることで企画力・立案力・関係者との交渉力・管理力等総合的人間力の向上を図ることである。そのため、スポーツ・観光におけるイベント企画・開催を通して、スキルを身につける体験型の講義内容としている。
達成目標
イベント開催に必要な段取り、必要なスキルを理解する。飲み会の幹事からビジネスのプロジェクトにいたるまで、基本の構成が同じであることを理解し、日常生活における様々なイベント開催に積極的な姿勢で参加ができる。

授業計画

1	事前学習	イベント企画情報収集	9	事前学習	イベント準備
	授業計画	イベントマネジメント①概論（定義、必要なスキル）		授業計画	スポーツイベント⑤校内スポーツ大会開催（当日進行管理）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	イベント振り返り
2	事前学習	イベントマネジメント情報収集	10	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント②企画力（目的、メリット、メッセージ）		授業計画	観光イベント①外国人観光客の現状と人気スポット
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	イベントマネジメント情報収集	11	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント③交渉力（傾聴、共感等スキルトレーニング）		授業計画	観光イベント②観光スポット調査（浅草インタビュー）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	レポート作成
4	事前学習	イベントマネジメント情報収集	12	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント④計画立案(効率、実現性、管理)		授業計画	観光イベント③観光スポット調査（鎌倉インタビュー）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	レポート作成
5	事前学習	スポーツイベント情報収集	13	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	スポーツイベント①オリンピックビジネスと経済効果		授業計画	観光イベント④イベント準備（学内留学生観光イベント立案）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	スポーツイベント情報収集	14	事前学習	イベント準備
	授業計画	スポーツイベント②オリンピック競技体験（アーチェリー）		授業計画	観光イベント⑤学内留学生観光イベント開催
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	スポーツイベント情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	スポーツイベント③オリンピック競技体験（テニス）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	スポーツイベント情報収集			
	授業計画	スポーツイベント③イベント準備(校内スポーツ大会立案)			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定準 2 級・3 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新国内時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。社会問題・環境問題に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題の話題が出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０日本時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動:ゴミ処理場見学(インタビュー、撮影、レポート)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「社会・環境」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「社会・環境」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史後期(調査･討論･事例紹介)		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（アフリカ）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策準２級・２級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①再生可能エネルギー（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策準２級・２級②社会・環境/国際（過去問実践９
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の社会・環境（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の社会・環境（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本時事能力検定協会監修
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」発展編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定 1 級・2 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新海外時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。国際問題に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題の話題が出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０世界時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動：お寺・教会比較見学（インタビュー、撮影、レポート）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「国際問題」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「国際問題」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史近代（調査・討論・事例紹介）		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（紛争と戦争）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策１・２級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①AI と将来の仕事（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策１・２級②社会・環境/国際（過去問実践９
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の宗教（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の宗教（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本時事能力検定協会監修
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」発展編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	接遇外国語 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
日常的な英会話に必要な「文法知識」を整理すると共に、会話の練習を行うことで、「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、自分自身の力で発話をし、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit①		授業計画	Unit⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit②		授業計画	Unit⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③		授業計画	Unit⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④		授業計画	Unit⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤		授業計画	Unit⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥		授業計画	Unit⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）、（中級編）
　　出版社　　Cambridge University Press

年度	2021年度	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースMYキャリア専攻		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
「文法知識」を整理すると共に、時制の差について理解し、自分自身の言葉として発話できる為の「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くが「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、学習を行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、時制の差を理解し、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit①		授業計画	Unit⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit②		授業計画	Unit⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③		授業計画	Unit⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④		授業計画	Unit⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤		授業計画	Unit⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥		授業計画	Unit⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）、（中級編）
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	就職ケーススタディⅠ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義は、変化に柔軟に対応し、前向きに生きていくために必要な社会生活スキルの向上と発展を目的とする。社会人として必要な計画性、表現力、主体性、ストレス耐性を身につけられるよう実際の職場を想定したワークを通じ学ぶ。また文章での自己表現やグループワークを通しコミュニケーション力を高め、自分らしい働き方を探る。
達成目標
・自己理解を深め、進路に向けて具体的な行動に移す ・ビジネス場面で必要なコミュニケーション力と文章表現力を向上させる。 ・目標達成の方法について体系的に理解を深め実践の習慣をつける。

授業計画

1	事前学習	目標設定シートの作成	9	事前学習	目標設定シートの見直し
	授業計画	1 年時の振り返り 卒業後の進路に向けての目標設定シート作成		授業計画	目標設定の評価中間チェック② 実行と実績振り返り
	事後学習	目標設定シートの完成		事後学習	目標設定シートの再策定
2	事前学習	応募書類の見直し	10	事前学習	最近気になるニュースのチェック
	授業計画	ビジネス文書の書き方①履歴書の書き方復習・送付状の作成方法		授業計画	ビジネス文書の書き方② 報告書・意見書の作成
	事後学習	講義内容の復習と実践練習		事後学習	講義内課題の完成
3	事前学習	就活で困った事例の抽出	11	事前学習	アルバイトでよくある事例抽出
	授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）① 就職活動でよくある場面の対応		授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）③ 労働法と社会保障制度
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	講義内容の復習と実生活への活用
4	事前学習	企業の社会的意義について考える	12	事前学習	企業研究事前準備
	授業計画	企業研究①職種別の仕事内容の理解 グループワーク		授業計画	企業研究④業種別の業務内容の理解 サービスの仕事Ⅰ
	事後学習	CSR 活動について調べる		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	目標設定シートの見直し	13	事前学習	企業研究事前準備
	授業計画	目標設定の評価中間チェック① 実行状況と実績振り返り		授業計画	企業研究⑤業種別の業務内容の理解 サービスの仕事Ⅱ
	事後学習	目標設定シートの再策定		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	企業研究事前準備	14	事前学習	前期講義内容見直し
	授業計画	企業研究②業種別の業務内容の理解 ものを作る仕事Ⅰ		授業計画	金銭管理の基礎知識 ライフイベントマネジメントプランを立てる
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	ライフマネジメントプランの完成
7	事前学習	企業研究事前準備	15	事前学習	前期講義内容の見直し
	授業計画	企業研究③業種別の業務内容の理解 ものを作る仕事Ⅱ		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	アルバイトでよくある事例抽出			
	授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)② 職場で起こりうる事例への対応			
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	就職ケーススタディⅡ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義では、職業生活をおくる、という視点から社会を取り巻く様々な状況について知り、ワークライフバランスを図りながら自分らしく働くために必要な知識を身につける。また、実際の自分の状況に照らし合わせて具体的にどのように生活を送ることができるか金銭面や法制度の活用方法についてもシュミレーションし、将来に備える。
達成目標
・卒業後の社会生活のイメージの形成と、前向きな取り組み姿勢の基盤を作る。 ・資金計画も含めた人生設計の方法について学ぶ。 ・ビジネス場面で必要なコミュニケーション力と文章表現力の向上

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	目標設定シートの見直し
	授業計画	後期講義内容の概要説明 自分自身の将来イメージ		授業計画	目標設定の評価中間チェック 実行と実績振り返りと再作成
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	目標設定シートの再策定
2	事前学習	目標設定シートの作成	10	事前学習	事前課題について考えてくる
	授業計画	前期の振り返りと卒業後の進路についての目標設定シート作成		授業計画	ビジネス文書の書き方③ 論理的に説明した文章
	事後学習	目標設定シートの完成		事後学習	論理的に説明した文章の書き方
3	事前学習	就活で困った事例の抽出	11	事前学習	講義内容についての事前学習
	授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）① 仕事でよくある場面の対応①		授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）③ 労働法と社会保障制度復習
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	講義内容の復習と就活への活用
4	事前学習	企業の社会的意義について考える	12	事前学習	講義内容について事前に調べてくる
	授業計画	企業研究①企業の社会的意義を学ぶ CSR 活動事例紹介		授業計画	金銭管理の基礎知識 ライフイベントマネジメントプラン
	事後学習	CSR 活動について調べる		事後学習	ライフマネジメントプランの完成
5	事前学習	CSR 活動発表準備	13	事前学習	先輩への質問内容を考えてくる
	授業計画	自分ならこんな CSR 活動を考える 自分のプラン発表		授業計画	企業人に聞く 学生時代にやっておくべきこと
	事後学習	発表内容の感想・まとめ		事後学習	講義内容の復習と実生活への活用
6	事前学習	社内と社外での敬語の使い方復習	14	事前学習	前期講義内容見直し
	授業計画	ビジネス文書の書き方② 社内文書・社外文書の書き方		授業計画	前期講義内容の総復習
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	前期講義内容の復習
7	事前学習	バイト先で対応に困った事例抽出	15	事前学習	前期講義内容の見直し
	授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)② 仕事でよくある場面の対応②		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	福利厚生についての事前学習			
	授業計画	企業研究②様々な福利厚生 福利厚生と社会保障制度			
	事後学習	講義内容の復習と就活への活用			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：30%　＜（課題・小テスト）＞：40%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅲ（簿記）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記･簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	売掛金・買掛金について調べる
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし､勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B) の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅲ（組織論）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	福田　幸俊		
実務経験 教員紹介	・東証 1 部上場企業の組織運営、補佐として 12 年に渡る経験あり。 ・経営コンサルタントとして 30 社以上の企業指導の経験あり。		

講義概要
経営だけに問わず社会で広く活動するための必要な組織について学ぶ。組織学の系譜をたとり現在に至るまでの流れをたどり同時に組織と組織論の限界を理解する。理論と現実の社会で起こっている事象をリンクし理論の正しさと同時に現実とのギャップについても認識し最適な組織の在り方を学ぶ。
達成目標
前半は組織論の基本と構造を中心に学び構造改善のためのちゅうもくすべき箇所・方法を理解する。後半はキャリア形成と組織文化について学び、組織論Ⅱで実施する実際の企業への組織改善提案となる基礎を身に着ける

授業計画

1	事前学習	PREP 法を復習する	9	事前学習	機能別組織とは
	授業計画	オリエンテーション（自己紹介、講義最終の目標とルールの提示）		授業計画	組織の適切な大きさ、肥大化と硬直化、パーキンソンの法則
	事後学習	一人の組織は存在するか考察する		事後学習	肥大化硬直化の改善さ実例
2	事前学習	意思決定とは何か調べる	10	事前学習	官僚制の歴史
	授業計画	組織の定義の考察、3 要素と組織意思決定のプロセスを		授業計画	インセティブシステムと官僚制組織の改善
	事後学習	コミュニケーション方法		事後学習	改善方法を提案する
3	事前学習	自らの労働体験と給料を振り返る	11	事前学習	自らをジョブデザインをする
	授業計画	誘因と貢献、組織の境界、組織と環境		授業計画	ライフスタイルとジョブデザイン、コミュニケーション、技術論
	事後学習	誘因と貢献のバランス		事後学習	自らのジョブデザインの見直し
4	事前学習	ドメインについての復習	12	事前学習	組織構造と文化
	授業計画	環境の戦略的選択、限定された合理化、囚人のジレンマ		授業計画	行動環境と組織文化の定義、形成、機能、革新
	事後学習	囚人のジレンマの脱出法		事後学習	マッキンゼーの 7S
5	事前学習	組織の外部資源依存とは何か	13	事前学習	自己承認欲求の例を上げる
	授業計画	不確実性への対応方法と利害者パワーとは何か、その対応方法		授業計画	モチベーション理論（マズロー、アダルファー多）
	事後学習	外部資源依存の危険性		事後学習	自己実現のための障害を考える
6	事前学習	組織を統治するためのポイント	14	事前学習	リーダーシップの具体例
	授業計画	個体群生態学モデル、スペシャリストとジェネラリスト、慣性の法則		授業計画	マネジメントコントロール、リーダーシップ、職場集団のダイナミックス
	事後学習	変革に失敗した会社例		事後学習	リーダーシップ限界例
7	事前学習	ステークホルダーとは何か	15	事前学習	授業の総括
	授業計画	組織の目標の作り方、コンフリクトと暫定解決、目標の変化		授業計画	定期試験
	事後学習	コンフリクトの重要性		事後学習	自己採点。復習。
8	事前学習	スタッフとは何か			
	授業計画	組織の有効性と能率、有効性を図るモデル、ラインとスタッフの違い			
	事後学習	組織図上のスタッフ部門の確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名　　桑田耕太郎・田尾雅夫
　　タイトル　組織論
　　出版社　　有斐閣アルマ
参考書　著者名
　　タイトル　中小企業白書、日本経済新聞、日経 MJ などを適宜使用する
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅲ（秘書検定）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	椙山　裕子		
実務経験教員紹介	メーカーでの勤務経験		

講義概要
日本の会社で働くにあたり、日本のビジネスマナーを学ぶことがとても重要です。秘書検定の実問題を解いていくことを通して、各状況に応じた上司や来客に対するふるまい方や、職務知識の習得を目指します。職場にて、周囲の人に対する思いやりや気遣いができ、上司の適切なサポートができるように学んでいきます。
達成目標
秘書検定の試験内容、時間配分、解き方を把握し、３級の試験合格を目指します。さらに問題が解けるだけではなく、難しい日本語表現を理解し、場面に応じた適切な言い方やふるまい方について理解します。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	オリエンテーション（講義の進め方、注意事項等）		授業計画	第 118 回過去問１～１７解説。役職の順位、福利厚生。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	10	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問１～１０解説。秘書とは？秘書検定とは？等		授業計画	第 118 回過去問１８～３５解説。上司への言葉遣い、事務用品の名称等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
3	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	11	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問１１～２３解説。専門用語とその意味。等		授業計画	第 117 回過去問１～１７解説。お礼の品の送り方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	12	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問２４～３５解説。上司と客へのあいさつの仕方。等		授業計画	第 117 回過去問１８～３５解説。客から用件を伺う際の振舞い方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	13	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 120 回過去問１～１７解説。秘書の仕事に対する心がけ。等		授業計画	第 116 回過去問１～１７解説。パーティーでの身だしなみ。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	14	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 120 回過去問１８～３５解説。尊敬語、謙譲語、封筒の敬称。等		授業計画	第 116 回過去問１８～３５解説。名刺へのメモの仕方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	15	事前学習	講義スライドを見直す。
	授業計画	第 119 回過去問１～１６解説。ミスを注意された時の心持ち。等		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく			
	授業計画	第 119 回過去問１７～３５解説。来客へのお茶出しの仕方。等			
	事後学習	講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　実務技能検定協会
　　タイトル　秘書検定３級実問題集
　　出版社　早稲田教育出版
参考書　著者名　佐藤一明
　　タイトル　秘書検定３級に面白いほど受かる本
　　出版社　KADOKAWA

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ（簿記）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	子記録債権･電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（３）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権･債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表　簿記Ｉの具体的作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳　株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権･債務の記帳　これからの時代の債権・債務を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（２）　貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務的種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（１）決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	範囲の復習をしっかりやろう
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（２）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ（組織論）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	福田　幸俊		
実務経験 教員紹介	・東証 1 部上場企業の組織運営、補佐として 12 年に渡る経験あり。 ・経営コンサルタントとして 30 社以上の企業指導の経験あり。		

講義概要
経営のライフサイクルと変革につき学ぶ。特に公的組織とボランタリー組織を中心としつつ、第三セクターの成功要因としっぱだけに問わず社会で広く活理論の正しさと同時に現実とのギャップについても認識し最適な組織の在り方を講義と議論を並行して行い模索する。なお人的資源管理は別講義で詳細を補うこととする。
達成目標
経営学の一環の観点からコンフリクトを受け入れ、リーダーシップを発揮しつつ、全体の価値観を変えることができること、高い倫理を保ち、組織を守りつつ変革できる組織設立の提言ができるようになる。

授業計画

1	事前学習	創業を仮定したスケジュール	9	事前学習	ヒューマンサービスとは何か
	授業計画	創業から経営安定までのイベント（ダーウィンの海他）		授業計画	ヒューマンサービス組織と官僚制組織の特徴
	事後学習	創業失敗のリスク		事後学習	両者の長所、短所を比較する
2	事前学習	ライフサイクルモデルとは	10	事前学習	プロボノとは何か
	授業計画	組織のサイフサイクルモデル。組織構造、組織文化両面からのアプローチ		授業計画	プロシェッションとプロボノ、経営管理の課題
	事後学習	会社を例にあげたＬＣＭの位置関係		事後学習	なぜプロボノが盛んになるのか
3	事前学習	抵抗勢力とは何か	11	事前学習	ボランタリスムの発祥
	授業計画	組織発展のモデルと組織変革への障害（抵抗勢力）		授業計画	ボランタリスム、収益組織とボランタリー組織の違い
	事後学習	劇的に発展した会社例の例示		事後学習	ボランタリー組織の実態
4	事前学習	慣性の法則の復習	12	事前学習	ボランタリー組織の収入源
	授業計画	戦略的組織変革の必要性と移行プロセスのマネジメント		授業計画	ボランタリー組織運用の課題と組織への支援策
	事後学習	移行失敗時のリスク		事後学習	ボランタリー組織への公的支援
5	事前学習	組織にとってのイノベーション	13	事前学習	ネットワーク組織とは何か
	授業計画	組織の自己学習、経営者と管理者の役割の違いと内容		授業計画	ネットワーク組織とインターネットの活用と課題
	事後学習	プレイングマネジャーとは		事後学習	インターネットの在り方
6	事前学習	公的セクターとは	14	事前学習	経営学とは何か
	授業計画	公的セクターの成り立ち、長所と欠点、将来性		授業計画	経営学と組織論の位置づけを総括し、課題を考える
	事後学習	将来性のつき自らの意見を考察する		事後学習	授業の総括を行う
7	事前学習	資本主義と社会主義	15	事前学習	試験準備
	授業計画	行政サービスの構造（夜警国家と福祉国家、社会主義）		授業計画	定期試験
	事後学習	各国の行政サービスの実態		事後学習	自己採点、復習
8	事前学習	世界の高齢化社会の実態			
	授業計画	日本における超高齢社会と地方自治の実態と将来			
	事後学習	自国の地方自治への提言			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名　　桑田耕太郎・田尾雅夫
　　タイトル　組織論
　　出版社　　有斐閣アルマ
参考書　著者名
　　タイトル　中小企業白書、日本経済新聞、日経 MJ などを適宜使用する
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ（秘書検定）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	椙山　裕子		
実務経験 教員紹介	メーカーでの勤務経験		

講義概要
日本の会社で働くにあたり、日本のビジネスマナーを学ぶことがとても重要です。秘書検定の実問題を解いていくことを通して、各状況に応じた上司や来客に対するふるまい方や、職務知識の習得を目指します。職場にて、周囲の人に対する思いやりや気遣いができ、上司の適切なサポートができるように学んでいきます。
達成目標
秘書検定の試験内容、時間配分、解き方を把握し、２級の試験合格を目指します。さらに問題が解けるだけではなく、難しい日本語表現を理解し、場面に応じた適切な言い方やふるまい方ができるようになります。

授業計画

1	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	9	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	後輩の指導。社内文書と書き方。ファイリング。弔事、葬儀について。		授業計画	コンピューター用語。電子メール。秘書の身だしなみ。上司の出張。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	10	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	補佐機能の本質。接遇用語。電話応対。社内文書。上書きの書き方。		授業計画	お茶の出し方。結婚祝い、慶事と種類。訃報を受けた時の対応。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
3	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	11	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	カタカナ語、略語。秘文書の扱い方。企業秘密。郵送方法。雑誌整理。		授業計画	説明と忠告。メモの作成。名刺整理。報告・説明・断り方・苦情処理。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	12	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	尊敬語、謙譲語。来客対応。上書き、宛名。		授業計画	文書の種類。財務用語。上司について知る範囲と印鑑の扱い。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	13	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	郵便の種類。会社用語。環境整備、職場のレイアウト。		授業計画	スケジュール管理。コンピューター用語。来客の案内・対応。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	14	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	二重敬語。上司の出張。不意の客の対応。会議の開催案内。		授業計画	カタログ整理。内線電話の対応。会議用語、手紙。小切手と手形。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	15	事前学習	講義スライドを見直す。
	授業計画	グラフの種類と書き方。秘書の仕事の限界。経営用語。		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく			
	授業計画	法律用語。複数の業務の依頼。業務の引継ぎ。予約のある客の対応。			
	事後学習	講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　佐藤一明
　　タイトル　秘書検定２級に面白いほど受かる本
　　出版社　　KADOKAWA
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅲ（世界遺産）	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースMYキャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
この地球で人類は、様々な信仰を持ち、多様な文化や自然環境の下で生活をしています。しかし実生活においては、日常の中でそれらについて考えを巡らすことはほぼないのが現状です。世界遺産について学ぶことはそんな日常から一歩外に踏み出し、異文化を知り、視野を広げるチャンスです。楽しみながら学んでいきましょう。
達成目標
世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産について学び、視野を広げるとともに世界遺産の価値を知る。 学んだ知識を定着させ、世界遺産検定3級合格を目指す。異文化への理解を深め多様な価値観を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産とは何か 世界遺産の概要説明と導入		授業計画	日本の世界遺産 厳島神社・『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産の基礎知識 世界遺産条約と世界遺産の条件		授業計画	日本の世界遺産 長崎と天草地方・琉球王国のグスク他
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	11	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 知床・白神山地・小笠原諸島・屋久島		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう①
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	12	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 平泉・日光の社寺・富岡製糸場と絹産業遺産群		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう②
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	13	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 明治日本の産業革命・ル・コルビジェの作品・富士山		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう③
	事後学習	復習テスト		事後学習	発表内容のフィードバック
6	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	14	事前学習	前期講義資料見直し
	授業計画	日本の世界遺産 白川郷・五箇山・古都京都・紀伊山地の霊場と参詣道		授業計画	前期講義内容復習 世界遺産の基礎知識から日本の世界遺産まで
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	15	事前学習	前期講義内容復習
	授業計画	日本の世界遺産 法隆寺地域の仏教建造物群他		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験内容の復習
8	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる			
	授業計画	日本の世界遺産 姫路城・石見銀山と文化的景観・広島平和記念碑			
	事後学習	復習テスト			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　きほんを学ぶ世界遺産100　世界遺産検定3級公式テキスト
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版
参考書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　世界遺産検定公式過去問題集
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅲ（販売士）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
メーカー、卸売業、小売業、最終消費者という流通経路の基礎を学ぶ。特に小売業の業務に特化したリテールマーケティングを学び、接客や取扱商品の知識、経済の動きなどを考えた店舗経営のノウハウを学ぶ。流通論Ⅰでは「小売業の類型」を中心に学ぶ。
達成目標
小売業の特性、接客や取扱商品の知識を学んで、「日本商工会議所主催　リテールマーケティング検定 3 級」の知識を身に着けることを目標とする。この授業を通して検定合格レベルの知識習得を目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	流通論概要、流通とは何か、現在の流通の概要と重要性について		授業計画	小売業の類型⑧店舗別小売業の基本知識について②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型①小売業の定義と役割について		授業計画	小売業の類型⑨店舗別小売業の基本知識について③
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型②組織小売業の種類と役割について		授業計画	小売業の類型⑩店舗別小売業の基本知識について④
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型③チェーンストアの特長について		授業計画	小売業の類型⑪店舗別小売業の基本知識について⑤
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型④販売形態の種類と特徴について		授業計画	小売業の類型⑫店舗別小売業の基本知識について⑥
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型⑤インターネット社会と小売業の関係について		授業計画	小売業の類型⑬商店街とショッピングセンターについて
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	小売業の類型⑥業種と業態の違い、専業店について		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	小売業の類型⑦店舗別小売業の基本知識について①			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　ユーキャン販売士検定試験研究会
　　タイトル　販売士検定 3 級速習テキスト＆問題集
　　出版社　　自由国民社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅳ（世界遺産）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
この地球で人類は、様々な信仰を持ち、多様な文化や自然環境の下で生活をしています。しかし実生活においては、日常の中でそれらについて考えを巡らすことはほぼないのが現状です。世界遺産について学ぶことはそんな日常から一歩外に踏み出し、異文化を知り、視野を広げるチャンスです。楽しみながら学んでいきましょう。
達成目標
世界遺産の現状と課題について知り、世界で起きていることがらについての当事者意識を育む。 学んだ知識を定着させ、世界遺産検定 2 級・3 級合格を目指す。異文化への理解を深め多様な価値観を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	前期講義内容復習 世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑧ 人権を尊重し、差別をなくすために
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義① 法隆寺の木造建築に学ぶ		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑨ 合掌造りから文化・自然・観光の共生を考える
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義② 姫路城を残してきた人々の働き		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑩ 文化と生活を守るための新たな人のつながり
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
4	事前学習	前回学習内容復習	12	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義③ 気候変動の影響を世界遺産から考える		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑪ 遺跡保存のための人材育成について
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
5	事前学習	前回学習内容復習	13	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義④ 世界遺産の観光地化について考える		授業計画	世界遺産まとめ① 自分が気になる世界遺産について調べる
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
6	事前学習	前回学習内容復習	14	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑤ 自然保護のためにできること		授業計画	世界遺産まとめ② 自分が気になる世界遺産について調べて発表する
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
7	事前学習	前回学習内容復習	15	事前学習	後期講義内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑥「平和のとりで」を築くことについて考える		授業計画	定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	前回学習内容復習			
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑦ 戦争の記憶から平和な社会をつくるために			
	事後学習	復習テスト			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　きほんを学ぶ世界遺産 100　世界遺産検定 3 級公式テキスト
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版
参考書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　世界遺産検定公式過去問題集
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅳ（販売士）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
メーカー、卸売業、小売業、最終消費者という流通経路の基礎を学ぶ。特に小売業の業務に特化したリテールマーケティングを学び、接客や取扱商品の知識、経済の動きなどを考えた店舗経営のノウハウを学ぶ。流通論Ⅱでは「マーチャンダイジング」「マーケティング」を中心に学ぶ。
達成目標
小売業の特性、接客や取扱商品の知識を学んで、「日本商工会議所主催　リテールマーケティング検定 3 級」の知識を身に着けることを目標とする。この授業を通して検定合格レベルの知識習得を目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング①商品の分類と本体要素		授業計画	マーケティング②顧客満足経営と顧客維持政策
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング②マーチャンダイジングの基本		授業計画	マーケティング③商圏設定と立地、出店の基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング③商品計画、販売計画の策定		授業計画	マーケティング④インバウンドに対するプロモーション①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング④仕入計画の基本、発注、物流の基本		授業計画	マーケティング⑤インバウンドに対するプロモーション②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング⑤価格設定の基本、利益構造		授業計画	マーケティング⑥売り場の形態と売り場作りの基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング⑥在庫管理の基本と、販売管理の基本		授業計画	マーケティング⑦照明・光源・色彩の考え方
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	マーチャンダイジング⑦POS システムと活用方法		授業計画	単位認定のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	マーケティング①顧客満足経営と顧客維持政策			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　ユーキャン販売士検定試験研究会
　　タイトル　販売士検定 3 級速習テキスト＆問題集
　　出版社　　自由国民社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティⅠ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	飛鳥　政明		
実務経験教員紹介	40年以上の飲食関連全般の実務経験。「ホスピタリティ」関連は(株)オリエンタルランドグループで「ディズニー流のホスピタリティ」を17年指導経験あり。		

講義概要
あらゆる産業において、企業理念として「顧客満足」を掲げている会社が多いなか、この「顧客満足」を実践できる人財が必要となる。学生自身がホスピタリティの意味を理解し、どのような考え方、どのような言動を身につけなければならないかという理論および日常的なホスピタリティマインド発揮のための基盤の確立を目指す。
達成目標
学生が卒業後、社会人となり職場からも顧客からも信頼され、本人だけでなく会社からも必要とされる人財となるように学修を深める。そして自ら率先してホスピタリティを理解し実践できる人財にすることが目標。

授業計画

1	事前学習	本講義で学ぶ内容を理解する	9	事前学習	配布資料の事前予習
	授業計画	オリエンテーション、自己紹介、授業内容の説明、ルールなどを説明		授業計画	顧客満足とホスピタリティ（顧客の心理、顧客満足とは）
	事後学習	オリエンテーションの内容を復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
2	事前学習	「ホスピタリティ」とは何か考える	10	事前学習	自身がクレームを受けたことの有無
	授業計画	「ホスピタリティ」と「サービス」の違いを理解する		授業計画	クレーム対応とは？自身の体験を基に検証。2度と起こさないためには
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
3	事前学習	「ホスピタリティ」産業とは	11	事前学習	アルバイト先での環境について
	授業計画	「ホスピタリティ」産業にはどのようなものがあるか考える		授業計画	職場環境（従業員満足、メンタルヘルス、ハラスメント）を考える
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
4	事前学習	配布資料の確認	12	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	人財育成とホスピタリティ（ホスピタリティを発揮できる人財の育成）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
5	事前学習	配布資料の確認と予習	13	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	企業と社会（企業の社会的責任とホスピタリティ、コンプライアンス）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
6	事前学習	自分の心の知能指数とは	14	事前学習	過去の配布資料の再確認
	授業計画	ホスピタリティの原点とはなにか。その為には、まず自分を知ること		授業計画	前期配布資料のまとめと復習。前期試験の概要説明
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	試験対策の復習
7	事前学習	配布資料の確認と予習	15	事前学習	筆記試験の予習
	授業計画	交流分析、自我状態（心のなりたち・エゴグラム）を知る		授業計画	筆記試験の実施と前期のまとめとフィードバックを行う
	事後学習	エゴグラムをチェックリストの確認		事後学習	講義内容の復習
8	事前学習	コミュニケーションはなぜ必要？			
	授業計画	コミュニケーションとホスピタリティ（聴き方、話し方）			
	事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：100%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本ホスピタリティ協会
　　タイトル　ホスピタリティ検定
　　出版社　　(株)経済法令研究会

年度	2021年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティⅡ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	小池　勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
前期のホスピタリティⅠで学んだことをベースに、「サービス」や「ホスピタリティ」がお客様や従業員自身に与える様々な影響を考察する。その上で、日本の「おもてなし」や西欧の「ホスピタリティ」の心がどこから生まれてきているのか、その歴史や文化的な背景を学び、「ホスピタリティ」とは何かを、より深く学んでいく。
達成目標
ホスピタリティの学びを通じて、仕事をお客様のためだけでなく、自分のため、会社のため、社会のためと重ねて捉える考え方を理解する。そして同時に、マーケティングにおけるホスピタリティの重要性を理解する。

授業計画

1	事前学習	前期の学習内容を復習しておく	9	事前学習	観光における日本の魅力を考える
	授業計画	講義ガイダンス 「ホスピタリティⅠ」の振り返り		授業計画	ホスピタリティとおもてなし 訪日外国人誘客に与える影響について
	事後学習	ホスピタリティの意味を再確認する		事後学習	おもてなしの長所と短所を理解する
2	事前学習	やりがいとは何かを考えておく	10	事前学習	４P分析を復習しておく
	授業計画	「感情労働」とは何か接客活動における感情のコントロール		授業計画	ホスピタリティが「製品」に与える影響について事例から考える
	事後学習	感情管理の重要性を理解する		事後学習	付加価値について理解する
3	事前学習	良いサービスの事例を考える	11	事前学習	顧客は何に対して対価を払うのか
	授業計画	「サービス」と「ホスピタリティ」の違い提供のプロセスを理解する		授業計画	ホスピタリティが「価格」に与える影響について事例から考える
	事後学習	1対多と1対1の違いを理解する		事後学習	なぜ高価でも買ってしまうのか
4	事前学習	お客様とはどのような人かを考える	12	事前学習	「無人化」の長所短所を考える
	授業計画	「顧客」とは誰か 顧客の立場になって考え行動する		授業計画	ホスピタリティが「流通」に与える影響について事例から考える
	事後学習	顧客の視点を理解する		事後学習	流通に人間が介在する意味とは
5	事前学習	「品質」の意味を調べる	13	事前学習	製品購入の決め手は何かを考える
	授業計画	サービス品質を考える「真実の瞬間」評判はどう生まれるのか		授業計画	ホスピタリティが「販売促進」に与える影響について事例から考える
	事後学習	身近な「真実の瞬間」を考えてみる		事後学習	ホスピタリティは販売促進に有効か
6	事前学習	顧客が満足する要素を調べる	14	事前学習	ホスピタリティの重要性を整理する
	授業計画	顧客満足と顧客エンゲージメント 顧客と企業の結びつきを考える		授業計画	後期振り返り現代ビジネスにおけるホスピタリティの重要性について
	事後学習	「顧客満足」の重要性を理解する		事後学習	ホスピタリティが注目される理由
7	事前学習	従業員が満足する要素を調べる	15	事前学習	重要語句の意味を整理しておく
	授業計画	従業員満足と従業員エンゲージメント従業員と企業の結びつきを考える		授業計画	定期試験ホスピタリティがマーケティングに与える影響について考える
	事後学習	「従業員満足」の重要性を理解する		事後学習	講義の重要ポイントを振り返る
8	事前学習	企業の存在価値とは何かを考える			
	授業計画	地域社会とホスピタリティ 企業と地域社会の結びつきを考える			
	事後学習	企業の存在価値を理解する			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（平常点）＞：20%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講義において適宜参考図書を例示する
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティングⅠ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界でのサービスマーケティング・インターナルマーケティング。 現在は Twitter 活用し、動画配信者の認知度アップ・チャンネル登録者アップの SNS マーケティング		

講義概要
ビジネスにおいて「顧客（※）の欲する商品サービスを提供すること」は企業にとって当然の使命となる。そのため「どのような仕組みや仕掛けによってそれを実現するか」を考え、実行することが重要。当該講義ではビジネスパーソンとして活躍するためのマーケティング知識・情報を習得することを目的とする。
達成目標
（１）用語に慣れる：ビジネスシーンにおける用語＝ビジネス用語はもとより、マーケティングに関する専門用語にも慣れる。（２）定義をおさえる：用語とともに、ビジネスシーンで使われる事象や用語の定義をおさえる。

授業計画

1	事前学習	マーケティング	9	事前学習	事例調査
	授業計画	ガイダンスおよび「マーケティングの定義」		授業計画	人を理解する３つの視点②「価値観」:「価値」「価値観」「価値基準」
	事後学習	環境の変化と生活の変化		事後学習	自分にとって価値あるもの
2	事前学習	ビジネス	10	事前学習	コトラーの「価値基準」
	授業計画	「環境の変化」と「マーケティングの必要性」		授業計画	マーケティングにおける顧客が感じる価値①:「4 つのコスト」
	事後学習	商品サービスが売れない理由		事後学習	自分が感じるコスト
3	事前学習	消費行動の変化	11	事前学習	自分が感じるベネフィット
	授業計画	環境変化による「生活・消費活動の変化」の関係性		授業計画	マーケティングにおける顧客が感じる価値②:「5 つのベネフィット」
	事後学習	消費活動の繋がりと派生		事後学習	特定商品に感じるベネフィット
4	事前学習	消費活動の繋がりと派生	12	事前学習	購買に影響を与える要素
	授業計画	「変化の指標」とマーケティングによる「意味と価値」づくり		授業計画	購買行動に影響を与える「5 つの要素」とは
	事後学習	商品サービスの意味と価値を探る		事後学習	自分の購買に影響を与えるもの
5	事前学習	欲求	13	事前学習	購買活動に関する情報処理
	授業計画	「人」の層別理解と、人を理解する３つの視点①「欲求」		授業計画	①消費者情報処理モデル②購買行動の基本（AIDMA など）
	事後学習	自身が抱く欲求を明確にする		事後学習	自分が商品を買うまでを図解
6	事前学習	商品サービスを５つの欲求に分類	14	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	「マズローの欲求階層説・自己実現論」と演習		授業計画	第１回～第 13 回講義の振り返りと要点の確認
	事後学習	ニーズとウォンツ		事後学習	試験に向けた学習
7	事前学習	欲求階層説・自己実現論の復習	15	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	人を理解する３つの視点①「欲求」:「ニーズ」と「ウォンツ」		授業計画	定期試験
	事後学習	欲求階層とニーズの関連性		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ニーズとウォンツの関連性			
	授業計画	「マーケットイン」と「プロダクトアウト」			
	事後学習	ウォンツをデマンズに進化させる			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　大山秀一
　　タイトル　これだけは知っておきたい「マーケティング」の基本と常識
　　出版社　　フォレスト出版
参考書　著者名　　原尻淳一
　　タイトル　マーケティング・フレームワーク
　　出版社　　日本経済新聞出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	マーケティングⅡ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	谷口　幸広		
実務経験教員紹介	娯楽業界で経営企画職でサービスマーケティング・インターナルマーケティング。起業後はTwitter活用SNSマーケティングと会社経営		

講義概要
前期同様に「用語」や「定義」をおさえ、マーケティング全般に関する知識を修めるとともに、就職活動や採用後の実践（現場）において「どのように学んだことを活用できるか？」を想定しながら演習を行う。演習については個人・ペア・チーム形式をとり、積極的な発言や取組みが求められる。
達成目標
（１）前期に修めたものも踏まえ、用語・定義をおさえる。（２）マーケティングマインド（マーケティング視点・思考）を養う。（３）就職活動における業界・企業の研究分析でも活かせるようにする。

授業計画

1	事前学習	復習：顧客インサイト	9	事前学習	ブランドとブランドイメージの違い
	授業計画	①顧客満足②顧客生涯価値③CRM		授業計画	「ブランド」とは何か（企業・商品サービスなど）①
	事後学習	ES（従業員満足度）		事後学習	ブランドがあると思う商品サービス
2	事前学習	顧客インサイト	10	事前学習	ブランディング
	授業計画	①カスタマーエクスペリエンス②顧客のペルソナ		授業計画	「ブランド」とは何か（ブランディング）②
	事後学習	自分をペルソナ化		事後学習	自分をブランディング
3	事前学習	マーケティングの歴史	11	事前学習	費用・予算・投資とは
	授業計画	近代マーケティングの変遷(マーケティング1.0～4.0)		授業計画	マーケティングにおけるROI(費用対効果／投資利益率)
	事後学習	マーケティングの本質		事後学習	講義資料の見直し
4	事前学習	マーケティングの種類	12	事前学習	企業研究・分析
	授業計画	マーケティングの種類と体系(各種マーケティング紹介)		授業計画	①マーケティング視点の企業研究②組織体制とマーケティング機能
	事後学習	マーケティング・ミックス		事後学習	特定企業の研究・分析
5	事前学習	プロダクトサイクル	13	事前学習	業界研究・分析
	授業計画	プロダクトマーケティングとサービスマーケティング①		授業計画	マーケティング視点での業界研究・分析と求人選び
	事後学習	特定商品のプロダクトサイクル調査		事後学習	特定業界の研究・分析
6	事前学習	財の体系化	14	事前学習	後期テキストの振り返り
	授業計画	プロダクトマーケティングとサービスマーケティング②		授業計画	第１回目～第１３回目講義の振り返りと質疑応答
	事後学習	商品群の財の体系化		事後学習	前期テキストの振り返り
7	事前学習	広告と広報の違い	15	事前学習	前期・後期テキスト内容確認
	授業計画	マーケティングプロモーション（広告・宣伝・広報）①		授業計画	定期試験
	事後学習	PC画面の広告とスマホ画面の広告		事後学習	テキスト見直し
8	事前学習	リーチとは			
	授業計画	マーケティングプロモーション（広告・宣伝・広報）②			
	事後学習	プロモーションミックスとは			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　大山秀一
　　タイトル　これだけは知っておきたい「マーケティング」の基本と常識
　　出版社　フォレスト出版
参考書　著者名　原尻淳一
　　タイトル　マーケティング・フレームワーク
　　出版社　日本経済新聞出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経営学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	畠　裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場の設計 23 年、同本社事業企画で 3 年、同部門の海外生産拠点で 15 年実務経験。		

講義概要
過去の経営者たちの知恵の集大成である経営学を学ぶことにより、会社の役割、組織、経営の考え方、社会環境の変化などの基礎知識を広く理解する。経営学の教科書をもとに進めるが、ビジネスに興味が持てるような身近な実例を紹介する。経営学Ⅰの講義内容は次の通り。①経営学全般、②イノベーション論、③マーケテイング論
達成目標
経営学の導入段階として、経営を取り巻く社会構造や経営に関する基礎的な考え方を理解することを目的とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の講義の復習
	授業計画	オリエンテーション、講義なし		授業計画	マーケテイング概要、基本サイクル STP、市場分析
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	基本サイクル STP について
2	事前学習	1 限目の講義の復習	10	事前学習	9 限目の講義の復習
	授業計画	経営をめぐる２１世紀の変化（VUCA の時代、働き方改革など）		授業計画	マーケテイング 4P、価格の心理学、プロスペクト理論について
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	マーケテイング 4P の事例研究
3	事前学習	2 限目の講義の復習	11	事前学習	10 限目の講義の復習
	授業計画	経営をめぐる２１世紀の変化（VUCA の時代、働き方改革など）		授業計画	取引数単純化の原理、商社の機能について
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	商流、物流について
4	事前学習	3 限目の講義の復習	12	事前学習	11 限目の講義の復習
	授業計画	経営学の基本 6 分野と歴史､会社の役割、社会責任 CSR について		授業計画	ジレットモデル、ロックインとは
	事後学習	課題：経営学基本６分野とは？		事後学習	ジレットモデルの実例調査
5	事前学習	4 限目の講義の復習	13	事前学習	12 限目の講義の復習
	授業計画	組織の 3 要素と PM 理論、リーダーシップ理論		授業計画	持続可能な開発目標 SDGｓ､エシカル消費について
	事後学習	課題：組織の 3 要素、PM 理論		事後学習	SDGｓの事例調査
6	事前学習	5 限目の講義の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	イノベーションの意味、歴史、基本プロセス		授業計画	ビジネスモデルキャンバス
	事後学習	課題発見に必要な共感マップ作製		事後学習	ビジネスモデルキャンバス事例研究
7	事前学習	6 限目の講義の復習	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	デザイン思考､プロトタイピング手法		授業計画	期末試験
	事後学習	デザインとアートの違い		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	7 限目の講義の復習			
	授業計画	発想に必要な掛け算思考、PEST 分析			
	事後学習	掛け算思考トレーニング			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　中川功一
　　タイトル　日常が学びに変わる！　経営学の本
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　沼上　幹
　　タイトル　ゼロからの経営戦略
　　出版社　　ミネルバ書房

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	畠　裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場設計 23 年、国内事業企画 3 年、同部門の海外生産拠点で会社経営を 15 年実務経験。		

講義概要
経営学Ⅰに引き続き、経営学の教科書をもとに会社の役割、組織、経営の考え方などの基礎知識を理解する。さらに経営に必要な財務会計を紹介し、現実の生きた経営について学ぶ。経営学Ⅱの講義内容は次の通り。①事業システム論、②経営戦略論、③組織行動論、④経営組織論、⑤財務会計
達成目標
経営に関する基礎的な考え方及び専門的な知識の概略を理解することを目的とする。経営学を通じて多角的な視点での思考ができるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の講義の復習
	授業計画	ビジネスモデルキャンバス作成演習		授業計画	組織行動論、マズローの欲求 5 段階説
	事後学習	１時限目の復習		事後学習	自己決定理論 SDT とは
2	事前学習	1 限目の講義の復習	10	事前学習	9 限目の講義の復習
	授業計画	フリーミアム、プラットフォーム戦略		授業計画	キャリアアンカーとは、PDCA
	事後学習	フリーミアム事例調査		事後学習	戦略立案の PDCA
3	事前学習	2 限目の講義の復習	11	事前学習	10 限目の講義の復習
	授業計画	アウトソーシング戦略、パートナシップ戦略		授業計画	サイモンの意思決定理論、チーム力を高めるグループシンク
	事後学習	アップルの競争力が強い理由		事後学習	チーム力、判断力を高める方法
4	事前学習	3 限目の講義の復習	12	事前学習	11 限目の講義の復習
	授業計画	トヨタ生産方式、損益分岐点		授業計画	経営組織論、分業と調整
	事後学習	損益分岐点の求め方		事後学習	分業のメリットについて
5	事前学習	4 限目の講義の復習	13	事前学習	12 限目の講義の復習
	授業計画	経営戦略とは、ハーレーダビッドソン、アサヒビールの戦略		授業計画	機能別組織と事業部制組織、官僚制組織と有機的組織
	事後学習	経営戦略の立案プロセス		事後学習	官僚制組織のメリットとデメリットについて
6	事前学習	5 限目の講義の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	現状分析手法 SWOT＆TOWS 分析		授業計画	経営に必要な財務会計（Ｐ／ＬとＢ／Ｓ）
	事後学習	SWOT＆TOWS 分析事例		事後学習	財務諸表の見方
7	事前学習	6 限目の講義の復習	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	ポーターの５要因分析、リソース・ベースド・ビュー		授業計画	期末試験
	事後学習	５要因分析の分析の例		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	7 限目の講義の復習			
	授業計画	ゲーム理論ベースの経営戦略、win-win			
	事後学習	ゲーム理論が教える望ましい戦略			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：10%

教科書　著者名　　中川功一
　　タイトル　日常が学びに変わる！　経営学の本
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　大津　広一
　　タイトル　ビジネススクールで身につける会計×戦略思考
　　出版社　　日本経済新聞出版

年度	2021年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅠ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴37年　イメージコンサルタント歴15年　話し方指導16年　ビジネスマナー講師歴10年		

講義概要
学生と社会人との違いを認識し、ビジネスシーンでの身だしなみや最低限守るべきマナー・ルールを学ぶとともに、日本社会で信頼され、活躍できる人材の育成を目指す。また、多国籍の集団の中で、良好な人間関係を築くための対面およびオンラインコミュニケーションを学び、日常生活でも実践できるよう指導する。
達成目標
ビジネススーツを正しく着こなす。好印象の挨拶・お辞儀などの基本動作が出来るようになる。就業マナーや会社組織、敬語の使い分け、電話応対の基本知識を理解し、実践できるようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	他国出身の友達を5人　紹介準備
	授業計画	講義の進め方とルール、当科目の学習目的を理解し目標をたてる		授業計画	指示の受け方　報告・連絡・相談と5W3H
	事後学習	3か月後の姿を言語化する		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
2	事前学習	自己紹介の内容となる材料を集める	10	事前学習	敬語置き換え一覧表を印刷する
	授業計画	共に過ごす未来を意識した自己紹介の準備方法		授業計画	ビジネス会話の基本　敬語の種類と動詞の置き換え一覧表作成
	事後学習	1分間自己紹介の準備をする		事後学習	敬語置き換え一覧表を覚える
3	事前学習	自己紹介を声に出して5回練習する	11	事前学習	フォームを使って敬語小テスト
	授業計画	学生と社会人の違いを５つの視点で比較する		授業計画	敬語の使い分け　内と外　間違いやすい敬語
	事後学習	フォームで自己紹介内容を報告		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
4	事前学習	外出準備の行動を言語化する	12	事前学習	日常生活で敬語会話を積極的に実践
	授業計画	大人としての自己責任　第一印象の重要性　メラビアンの法則		授業計画	ビジネスコミュニケーションの優先順位と使い分け
	事後学習	第一印象要点を200字でまとめる		事後学習	フォームで敬語会話の実践報告
5	事前学習	身だしなみチェック表を記入する	13	事前学習	興味のある日本企業のHPを探す
	授業計画	おしゃれと身だしなみの違い　スーツの着方　準備と手入れ方法		授業計画	電話応対①　電話のかけ方マナー　電話メモの取り方
	事後学習	スーツの手入れと靴磨きをする		事後学習	アポ電話の台詞を用意する
6	事前学習	姿勢の良い人の特徴を観察する	14	事前学習	電話応対会話資料を印刷する
	授業計画	正しい姿勢での立ち方・座り方・お辞儀・入退出動作実習		授業計画	電話応対②　電話の取り次ぎ　状況別応対シミュレーション
	事後学習	1日3回各1分間壁立ち姿勢確認		事後学習	配布資料を確認しノートを整備する
7	事前学習	身近な人の役職を調べる	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	日本企業のタテ組織、ヨコ組織　人間関係構築の基本		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームで役職名問題を解く		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	配布資料を確認しノート整備			
	授業計画	シーン別挨拶の実習　オンライン画面の映り方イメージアップ法			
	事後学習	初対面の相手への挨拶練習10回			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われる図解ビジネスマナー
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	井上　由美子		
実務経験教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
ビジネスマナーⅠで学習した内容理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。社会人常識マナー検定 3 級レベルの過去問題集を参考書として、社会常識やビジネスコミュニケーション力の向上と、ビジネスマナー知識の定着を図る。就職活動に向けて、自己と向き合い長所・短所が明確になる。
達成目標
ビジネスマナーが「わかる」レベルから「出来る」レベルに近づく。卒業後の進路に向けて、希望する進路先の情報を集め読み取ることが出来る。自己肯定感を高め、進路決定に向けて自ら行動出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題
	授業計画	前期の成長と変化を振り返り、後期の目標設定をする		授業計画	1 分間の自己 PR 発表とフィードバック
	事後学習	近い未来の姿を言語化する		事後学習	他者の自己 PR を評価する
2	事前学習	社会常識　同じ意味の言葉を整理	10	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『働く目的』について		授業計画	企業研究の目的と方法　情報を読み解くコツ
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	興味を持った企業情報をレポート
3	事前学習	社会常識　反対の意味の言葉を整理	11	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『企業研究の目的と必要性』		授業計画	面接の形式と評価のポイント　基本動作実習
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	笑顔と姿勢のトレーニング
4	事前学習	都道府県名と県庁所在地一覧作成	12	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	働くときの基礎知識　賃金や保障に関する法律を学ぶ		授業計画	就職面接　ロールプレイング　入室から退出まで
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	名のりの練習　30 回
5	事前学習	身近な人の仕事について話を聞く	13	事前学習	社会常識　総合問題①
	授業計画	自己分析の目的と職種研究　①身近な人たちの職業から学ぶ		授業計画	就職面接　ロールプレイング　自己 PR・長所・短所
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
6	事前学習	社会常識　カタカナ用語	14	事前学習	社会常識　総合問題②
	授業計画	仕事と自分を結びつける　やりたい仕事と出来る仕事		授業計画	就職面接　ロールプレイング　学生時代に頑張ったこと
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
7	事前学習	社会常識　ビジネス計算	15	事前学習	定期試験準備をする
	授業計画	学生時代に頑張ったことについて振り返り、自己 PR の材料を見つける		授業計画	定期試験
	事後学習	他者の良いところを見つけ言語化		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題			
	授業計画	他者評価分析　長所・強み・短所・弱みに落とし込む			
	事後学習	自己 PR を 250 字で書く			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 3 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2021年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーションⅠ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては、プレゼンテーションを学問として捉え、基礎要件となる心得及びアウトライン作成をいちばんの目的としている。目的や聴き手を意識した内容作成及び論理的な事例に基づくアウトライン作成を学習した上で、プレゼンテーションの心構えを理解及び適切な仕組み作りができる学習内容となっている。
達成目標
自己紹介や謝罪、依頼など日常生活における様々な場面において、言葉遣いや構成などを体系的に理解した上で適切に表現できるようにする。また、プレゼンテーションの基礎知識を習得し、簡単な発表ができる。

授業計画

1	事前学習	プレゼンテーション用語確認	9	事前学習	ロジカルストーリーの作成
	授業計画	プレゼンテーションをはじめよう（目的と成功の法則）		授業計画	シナリオの構築⑤（多様なシナリオ演繹法と弁証法）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	目標達成計画表の作成	10	事前学習	演繹法と弁証法例文作成
	授業計画	プレゼンにおける３P分析①（目的と目標分析）		授業計画	シナリオの構築⑥（多様なシナリオ帰納法と論理法）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	男女や国籍などの違い一覧作成	11	事前学習	帰納法と論理法例文作成
	授業計画	プレゼンにおける３P分析②（聴き手分析と多様な価値観）		授業計画	デリバリー①（プレゼン流伝わる敬語と抑揚）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
4	事前学習	プレゼンのリスク一覧作成	12	事前学習	敬語練習文作成
	授業計画	プレゼンにおける３P分析③（場所と環境におけるリスク対策）		授業計画	デリバリー②（効果的な３つの用途別ボディランゲージ）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ドラマとプレゼンの違い探し	13	事前学習	国の違いによるジェスチャー調査
	授業計画	シナリオの構築①（三部構成の納得マジック）		授業計画	発表準備（アウトライン作成と表現法振り返り）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	発表準備
6	事前学習	三部構成文章作成①	14	事前学習	発表準備
	授業計画	シナリオの構築②（イントロダクションと第一印象）		授業計画	プレゼンテーション発表「コロナ禍ですすめたい〇〇」
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	三部構成文章作成②	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	シナリオの構築③（ボディにおけるロジックと客観的データの重要性）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	印象の良い挨拶			
	授業計画	シナリオの構築④（コンクルージョンと想いの構築）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　八幡紕芦史
　　タイトル　パーフェクトプレゼンテーション
　　出版社　　アクセス・ビジネス・コンサルティング会社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅡ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては、プレゼン場面で「意図ある表現」ができる構成力を養うことを目的としている。そのため、前半はスピーチ発表を行い、表現力とメッセージの重要性の理解に努める。後半は社内プレゼンをテーマとし、会社側のニーズを踏まえた相手主体の発表内容作成ができる学習内容とする。
達成目標
メッセージを明確にし、伝えるために必要な表現力（声量・アクセント）や構成を用いたスピーチができる。限定的なビジネス場面ではあるが、相手のニーズを理解した社内プレゼン（スライド使用・ビジネス用語）ができる。

授業計画

1	事前学習	スピーチ表現方法確認	9	事前学習	学校情報をパンフで確認
	授業計画	スピーチ表現①声量やアクセント、スピード（映像から比較し表現理解）		授業計画	プレゼンテーション③発表準備（「学校説明」発表をグループ準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	スピーチ映像を確認	10	事前学習	発表準備
	授業計画	スピーチ表現②表現練習（複数スピーチ映像を真似て適切な表現を理解）		授業計画	プレゼンテーション④発表「学校説明」（発表、採点、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
3	事前学習	商品広告やCMを確認	11	事前学習	社内プレゼン情報収集
	授業計画	スピーチ表現③メッセージの重要性（広告やCMを事例に比較理解）		授業計画	プレゼンテーション⑤社内プレゼン概論（通常プレゼン違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	課題テーマの情報収集	12	事前学習	提案の構成内容を確認
	授業計画	スピーチ表現④メッセージ作成（複数テーマのメッセージ及び構成作成）		授業計画	プレゼンテーション⑥社内プレゼンスライド（通常プレゼン違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	発表テーマ選定	13	事前学習	テーマ情報収集
	授業計画	スピーチ表現⑤発表準備（テーマ選定、メッセージ、構成、表現練習）		授業計画	プレゼンテーション⑦発表準備（スライドやセリフ等グループ準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	発表準備	14	事前学習	発表準備
	授業計画	スピーチ表現⑥スピーチコンテスト（発表、採点評価、FB）		授業計画	プレゼンテーション⑧発表「セブンイレブンでの新サービス提案」
	事後学習	自己発表内容振り返り		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	前回のプレゼン講義内容確認	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	プレゼンテーション①プレゼン復習（概要及び専門用語）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	課題情報収集			
	授業計画	プレゼンテーション②メディアリサーチ（発表に必要な情報収集方法）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　佐々木繁範
　　タイトル　思いが伝わる心が動くスピーチの教科書
　　出版社　　ダイヤモンド社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語（英語） I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	山北　麻美		
実務経験 教員紹介	英語・日本語講師(小学校・短期大学・企業・個人）語学・留学カウンセリング(企業・学生) 児童英語テキスト・マニュアル作成 異文化理解及び英会話研修(企業）留学生サポート		

講義概要
本講義では、外国語とその文化に触れ理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感・習得する。Listening/Speaking 技能を中心とし、基本的な挨拶や自己紹介、質問の仕方などをグループワークや実践で練習する。
達成目標
・英語を使って挨拶や受け答えができるようになる。 ・英語圏の文化や行事を知り興味を持ち、さらに日本文化にも目を向けるようになる。 ・怖がらずに進んで英語で話したり反応できるようになる。

授業計画

1	事前学習	英語で話す心構えを準備する	9	事前学習	復習
	授業計画	オリエンテーション･自己紹介･daily questions		授業計画	Daily Routine　発表 What/How を使った疑問文
	事後学習	復習		事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	復習	10	事前学習	復習
	授業計画	自己紹介・人称・所有格・初対面の挨拶および質問		授業計画	日々の活動 ① 現在進行形の文章の理解と練習
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習	11	事前学習	復習
	授業計画	世界の国々・国籍・Be 動詞 ① 単語と文法の理解・練習		授業計画	日々の活動　②現在進行形の文章　グループワークで発表
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習	12	事前学習	復習
	授業計画	家族①5W1H／和製英語 単語と文法の理解・練習		授業計画	過去形② 過去形の文章の理解と練習
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
5	事前学習	復習	13	事前学習	復習
	授業計画	家族②5W1H／発表 ロールプレイ・ペアワーク		授業計画	配布資料の確認と予習
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	人の説明①形容詞･一般動詞／連想ゲーム 単語と文法の理解・練習		授業計画	前期のまとめ 文法および習った事の復習
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
7	事前学習	復習	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	人の説明②形容詞･一般動詞／連想ゲーム ロールプレイ・ペアワーク		授業計画	定期試験
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	難しかった内容の復習
8	事前学習	復習			
	授業計画	教室にあるもの①前置詞 単語と文法の理解・練習			
	事後学習	ポイントの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（発表・授業態度）＞：20%

教科書　著者名　井口紀子
　　タイトル　1 から出直し書き込み式英語 book
　　出版社　成美堂出版
参考書　著者名　Susan Stempleski
　　タイトル　Talk time1
　　出版社　Oxford

年度	2021年度	学期	後期
科目名	外国語（英語）Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	山北　麻美		
実務経験 教員紹介	英語・日本語講師(小学校・短期大学・企業・個人）語学・留学カウンセリング(企業・学生) 児童英語テキスト・マニュアル作成 異文化理解及び英会話研修(企業）留学生サポート		

講義概要
本講義では、外国語とその文化に触れ理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感・習得する。Listening/Speaking技能を中心とし、基本的な挨拶や自己紹介、質問の仕方などをグループワークや実践で練習する。
達成目標
・英語を使って挨拶や受け答えができるようになる。 ・英語圏の文化や行事を知り興味を持ち、さらに日本文化にも目を向けるようになる。 ・怖がらずに進んで英語で話したり反応できるようになる。

授業計画

1	事前学習	復習	9	事前学習	復習
	授業計画	家① There is の文章や家の中の場所について理解と練習		授業計画	歌から学ぶさまざまな表現 三人称単数・一般動詞など
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	復習	10	事前学習	復習
	授業計画	家②　家の中にあるものの単語や前置詞の理解と練習		授業計画	発表の準備　英語を話す国について知ったうえで発表したい内容を考える
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習	11	事前学習	復習
	授業計画	趣味　趣味の聞き方・伝え方の練習 ロールプレイ		授業計画	発表の準備 presentationの内容を考え英文にする
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習	12	事前学習	復習
	授業計画	スポーツ Halloween		授業計画	発表（presentation） 持ち時間を使って英語で発表する
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
5	事前学習	復習	13	事前学習	復習
	授業計画	趣味・スポーツ can/cannot を使って自分の事を表現する		授業計画	クリスマス　海外のクリスマスと日本の比較・クリスマスカード
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	どんな種類・どれくらい(回数）などの表現①		授業計画	後期の総復習(文法・単語・表現を使って会話練習）
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
7	事前学習	復習	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	どんな種類・どれくらい(回数）などの表現②　Q&A		授業計画	定期試験
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	難しかった内容の復習
8	事前学習	復習			
	授業計画	どんな種類・どれくらい(回数）などの表現③　サンクスギビング			
	事後学習	ポイントの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（発表・授業態度）＞：20%

教科書　著者名　井口紀子
　　タイトル　1から出直し書き込み式英語book
　　出版社　成美堂出版
参考書　著者名　Susan Stempleski
　　タイトル　Talk time1
　　出版社　Oxford

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
このクラスでは、「趣味」や「好きな食べ物」など、身近な事柄について、出来る限り英語で会話が出来るよう、練習を行う。会話を広げる為の、質問の仕方や、ネイティブスピーカーが使用している、より自然な語彙についても授業内で紹介する。
達成目標
日本人学習者の多くが、英語で発話をする際に、ミスを恐れてしまい発話が出来なくなってしまう為、英語で発話する事を恐れずに、身近なトピックについて、可能な限り英語で発話が出来るようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック①		授業計画	トピック⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック②		授業計画	トピック⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック③		授業計画	トピック⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック④		授業計画	トピック⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック⑤		授業計画	トピック⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック⑥		授業計画	トピック⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	トピック⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
このクラスでは、「趣味」や「好きな食べ物」など、身近な事柄について、簡易な単語や英文法を使用して英語で会話が出来るよう、練習を行う。会話を広げる為の、質問の仕方や、ネイティブスピーカーが使用している、より自然な語彙についても授業内で紹介する。
達成目標
日本人学習者の多くが、英語で発話をする際に、ミスを恐れてしまい発話が出来なくなってしまう為、英語で発話する事を恐れずに、身近なトピックについて、可能な限り英語で発話が出来るようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック①		授業計画	トピック⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック②		授業計画	トピック⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック③		授業計画	トピック⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック④		授業計画	トピック⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック⑤		授業計画	トピック⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック⑥		授業計画	トピック⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	トピック⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	トピック⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	簿記Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記･簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か　意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	売掛金・買掛金について調べる
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし､勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B) の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	子記録債権･電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（３）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権･債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表　簿記Ｉの具体的作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳　株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権･債務の記帳　これからの時代の債権・債務を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（２）　貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務的種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（１）決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	範囲の復習をしっかりやろう
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（２）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅰ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、WORDの基本操作を習得し、一般的な文書作成ができるようになること、CS検定WORD3級取得ができるPCスキルが身につけられる内容となっている。また、タイピングではブラインドタッチができるなどPC操作の基礎力を磨く。
達成目標
ブラインドタッチで一般的な速度での文字入力ができる。WORDの専門用語がわかり、基本的なPC操作ができる。また、速くはなくても一般的な文書であれば正確に作成ができるようになることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	PC起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	PC 操作基本、タイピング位置確認の講義及び入力練習		授業計画	CS検定課題１文字入力①、Word（ワードアート、画像挿入）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	Word基礎知識（概論、起動、終了、文書を開く、閉じる）		授業計画	CS検定課題１文字入力②、Word便利機能（置換、PDFファイル）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、Word文字入力（IME設定、文字変換、単語登録）		授業計画	CS検定3級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、文書作成①（文章入力、範囲選択、文字削除）		授業計画	文書課題作成、CS検定Word3級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、文書作成②（文字コピー、配置、装飾、保存、印刷）		授業計画	文書課題作成、CS検定Word3級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、Word振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前Word操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、Word 表作成（表作成、レイアウト、スタイル）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、Word文書編集（書式設定、段組み設定）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist Word 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、EXCELの基本操作を習得し、一般的な文書作成ができるようになること、CS検定EXCEL3級取得ができるPCスキルが身につけられる内容となっている。また、タイピングではブラインドタッチで文書入力をスムーズにできるなどPC操作の基礎力を磨く。
達成目標
ブラインドタッチで一般的な速度での文字入力ができる。EXCELの専門用語がわかり、基本的なPC操作ができる。また、スムーズに一般的な文書であれば正確に作成ができるようになることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	PC起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	PC 操作基本、タイピング位置確認の思い出し、文書入力練習		授業計画	CS検定課題１①、数式や関数（数式使用・関数使用）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	EXCEL基礎知識（概論、起動、終了、ブックを開く、閉じる）		授業計画	CS検定課題１②、数式や関数（条件付き関数）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、ワークシートとブック（作成・移動・書式設定）		授業計画	CS検定3級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、ワークシートとブック（オプションと表示）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL3 級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、ワークシートとブック（設定変更・印刷・保存）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL3 級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、EXCEL振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 EXCEL 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、セルやセル範囲（データの挿入・設定）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、テーブルの作成（作成・変更・抽出・並べ替え）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist EXCEL 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	異文化コミュニケーションⅠ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では、異文化とは、国境を越えたところにある他国の文化というステレオタイプを取り払い、私たちが社会生活を送る上でこれまで常識としてきたこと、当たり前のように思ってきたものの見方や考え方、行動・生活様式とは異なる常識や世界観に焦点をあて、異質な人々とのコミュニケーションのために必要な知識を身につける。
達成目標
・異文化理解に必要な知識を身につけ、視野を広げ、コミュニケーションの喜びを知る。 ・ユニバーサルマナーについて知り、実生活に役立てる。 ・異文化に興味・関心をもち自ら積極的に関わろうとする好奇心を育てる。

授業計画

1	事前学習	異文化定義情報収集	9	事前学習	異文化課題プリント⑧
	授業計画	異文化理解① 異文化定義、世界と日本の多様化現状		授業計画	異文化理解⑨ メディアと文化・戦争の記憶
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
2	事前学習	異文化課題プリント①	10	事前学習	異文化課題プリント⑨
	授業計画	異文化理解②　トータルカルチャーとサブカルチャー		授業計画	異文化理解⑩ 世界の人種と民族について学ぶ
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
3	事前学習	異文化課題プリント②	11	事前学習	異文化課題プリント⑩
	授業計画	異文化理解③ 異文化コミュニケーション能力とは		授業計画	異文化理解⑪ ネイションとナショナリズム
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
4	事前学習	異文化課題プリント③	12	事前学習	異文化課題プリント⑪
	授業計画	異文化理解④ ことばと権力・言語と文化の結びつき		授業計画	異文化理解⑫ 人種主義と差別について考える
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
5	事前学習	異文化課題プリント④	13	事前学習	異文化課題プリント⑫
	授業計画	異文化理解⑤ 非言語コミュニケーション		授業計画	異文化理解⑬ マイノリティとマジョリティ
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
6	事前学習	異文化課題プリント⑤	14	事前学習	異文化課題プリント⑬
	授業計画	異文化理解⑥ 様々な「時」と空間の捉え方		授業計画	異文化理解⑭ 前期講義内容の振り返り
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
7	事前学習	異文化課題プリント⑥	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	異文化理解⑦ 異文化接触とアイデンティティ		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容確認		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	異文化課題プリント⑦			
	授業計画	異文化理解⑧ メディア・コミュニケーション			
	事後学習	レポート作成			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　池田理知子編著
　　タイトル　よくわかる異文化コミュニケーション
　　出版社　　ミネルヴァ書房

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	異文化コミュニケーションⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では、異文化とは、前期で学んだ異質な人々とのコミュニケーションのために必要な知識を実生活でどのように活かしていくのか、アウトプットのための方法としてのユニバーサルマナーについて学ぶ。社会人として多様な人々との人間関係構築及び仕事や生活面での適切な行動ができるスキル習得を目指す。
達成目標
多様な人々が存在することを認識し、受け入れることができる。ユニバーサルマナーの必要性を認識した行動ができる。特に視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者、高齢者、外国人への知識を持ち、適切なサポートができる。

授業計画

1	事前学習	前期講義内容確認	9	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	オリエンテーション：概要説明、異文化コミュニケーション意義・復習		授業計画	ユニバーサルマナー⑤ 障害者理解（知的障害者）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	前回講義内容確認	10	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	異文化理解⑮ 中央と周縁～都市と地方の違い～		授業計画	ユニバーサルマナー⑥ 障害者理解（発達障害者）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	前回講義内容確認	11	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	異文化理解⑯ ジェンダーとは何かについて考える		授業計画	ユニバーサルマナー⑦ 障害者理解（精神障害者）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	視覚障害者情報収集	12	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	異文化理解⑰ グローバル化と格差社会のゆくえ		授業計画	ユニバーサルマナー⑧ 高齢者理解と対応
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習	13	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	ユニバーサルマナー① ユニバーサルマナーの定義と概要		授業計画	ユニバーサルマナー⑨ 性的マイノリティの理解と対応
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習	14	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	ユニバーサルマナー② 障害者理解（視覚障害）		授業計画	ユニバーサルマナー⑩外国人への対応・ユニバーサルデザイン
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	ユニバーサルマナー③ 障害者理解（聴覚障害）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習			
	授業計画	ユニバーサルマナー④ 障害者理解（身体障害）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　紀薫子、井上滋樹
　　タイトル　改訂版ユニバーサルサービス基本テキスト
　　出版社　　日本能率協会マネジメントセンター

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定 4 級・5 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新国内時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。政治に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題について話題に出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０日本時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動:国会議事堂見学(インタビュー、撮影、レポート)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「政治」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「政治」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史前期(調査･討論･事例紹介)		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（欧米）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策５級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①TPP について（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策５級②社会・環境/国際（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の政治（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の政治（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」入門編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定 3 級・4 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新海外時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。経済に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題について話題に出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０世界時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動:銀座ブランド店見学(インタビュー、撮影、レポート)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「経済」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「経済」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史中期(調査･討論･事例紹介)		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（アジア）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策３・４級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①働き方改革について（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策３・４級②社会･環境/国際（過去問実践９
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②1 億総活躍社会（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の経済（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本時事能力検定協会監修
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」基礎編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネス検定対策Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義の目的は通常講義での基礎学習を伸ばすべく、好奇心を育成し、スキル向上の目標として資格取得を推奨する狙いがあります。そのため、前半に目標設定をすべく好奇心育成のきっかけとなる体験型講義を実施、後半に対象資格対策講義を予定しております。本講義は、マナー資格取得を目標とする内容となっております。
達成目標
通常講義での学習を向上させる手段として資格取得を目標としてた学習習慣を身につける。マナーを「使う」ことを意識した学習ができる。マナー力向上をすべく、資格取得を目標に継続した学習をすることができる。

授業計画

1	事前学習	マナー講義内容整理	9	事前学習	マナー課題プリント⑧
	授業計画	講義オリエンテーション：意義、学習内容、学習の流れ		授業計画	秘書検定①（時間計測、課題ごとのポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	マナー課題プリント①	10	事前学習	マナー課題プリント⑨
	授業計画	マナー復習：敬語、動作、ビジネス場面、接遇場面		授業計画	秘書検定②（時間計測、課題ごとのポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	マナー課題プリント②	11	事前学習	マナー課題プリント⑩
	授業計画	マナー体験学習①校内事務職員マナー体験講座		授業計画	ビジネス実務マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	マナー課題プリント③	12	事前学習	マナー課題プリント⑪
	授業計画	マナー体験学習②現役企業人マナー体験講座（NPO 法人紹介）		授業計画	ビジネス実務マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	マナー課題プリント④	13	事前学習	マナー課題プリント⑫
	授業計画	マナー体験学習③元 CA 一流のマナー体験講座		授業計画	接遇マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	マナー課題プリント⑤	14	事前学習	マナー課題プリント⑬
	授業計画	マナー関連資格：資格概要（試験内容、取得条件、学習法）		授業計画	接遇マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	マナー課題プリント⑥	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	社会人常識マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ごとのポイント確認）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	マナー課題プリント⑦			
	授業計画	社会人常識マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ごとのポイント確認）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	キャリア形成論Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義は、多様な価値観の混在する世界の中で生き抜くために必要な社会人基礎力を身につけることを目的とする。社会で自立するため、そして周囲の人を助けられるような人になることを目指し、計画性、表現力、主体性、ストレス耐性を身につけられるよう実践ワークを通じ学んでいく。
達成目標
・目標設定と目標達成のための現実的な取り組みの実践。　・自己理解と社会常識に沿う行動の学習と実践。 ・多様な価値観の習得とストレス耐性の向上。　・言葉を介した自己表現力の向上と文章表現力の向上。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	目標設定シート見直し
	授業計画	オリエンテーション 講義内容、到達目標説明		授業計画	目標設定振り返り③ 目標達成状況評価と改善案の策定
	事後学習	目標について考えてくる		事後学習	モニタリング＆目標設定シート完成
2	事前学習	自分の長所・短所を考えてくる	10	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	目標設定と自分についての振り返り キャリアについての事例紹介		授業計画	人間関係形成力を身につける③ SST の実践と振り返り
	事後学習	目標設定シートの完成		事後学習	感想シート記入
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	現代社会問題ピックアップ
	授業計画	人間関係形成力を身につける① グループワーク（合意形成）		授業計画	自分の考えを説明する＆文章化する③ 「現代社会の問題」
	事後学習	フィードバックシートの作成		事後学習	意見文の完成
4	事前学習	休み中に一つチャレンジする	12	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	自分の考えを説明する＆文章化する ①「チャレンジ状況の説明」		授業計画	多様性を知る②なんのために働くのか （グループワーク）
	事後学習	他の人の話を聞いて考えたこと		事後学習	振り返りシート記入
5	事前学習	目標設定シート見直し	13	事前学習	目標設定シート見直し
	授業計画	目標設定振り返り② 目標達成状況評価と改善案の策定		授業計画	目標設定振り返り④ 目標達成状況評価と改善案の策定
	事後学習	モニタリング＆目標設定シート完成		事後学習	モニタリング＆目標設定シート完成
6	事前学習	対処に困った出来事の抽出	14	事前学習	前期講義資料のまとめ
	授業計画	人間関係形成力を身につける② 場面や状況に応じた対応事例の検討		授業計画	前期講義内容の復習 ストレスマネジメント
	事後学習	講義内容の振り返り		事後学習	講義ノート見直し
7	事前学習	ニュース記事ピックアップ	15	事前学習	講義内容復習
	授業計画	自分の考えを説明する＆文章化する ②「ニュース記事」		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	意見文の完成		事後学習	試験内容振り返り
8	事前学習	講義内容の事前学習			
	授業計画	多様性を知る① 人生の価値観（グループワーク）			
	事後学習	振り返りシート記入			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　深尾紀子
　　タイトル　就職活動のための文章表現力基本テキスト
　　出版社　　日本能率協会マネジメントセンター

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	キャリア形成論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
キャリアとは、社会で他の人と協力しながら自分らしく生きていくプロセスのことを指す。前期に引き続き、この講義では、いまある自分自身を認め、客観的な視点を身につけ、個人やグループでのワークを通し、目指す自分の将来像について明確にするための様々な方法について学び実践する。
達成目標
講義やワークを通し、自己理解を深め、自分を客観的に見る視点を身につける。あるがままの自己を肯定し、他者との関係性の中で自分らしさを見出し、自分自身の望む将来のイメージをつかみ、明確にしていく。

授業計画

1	事前学習	前期学習内容プリントの見直し	9	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	前期講義内容の復習 自己イメージと後期の目標確認		授業計画	応募書類の作成② 伝わる書類作成のポイント
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容をふまえた応募書類の作成
2	事前学習	自分の悩みの切り出し	10	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	自分を客観視する① 人の話を聴く力と基本的信頼感について		授業計画	応募書類の作成③ 志望動機・自己 PR の書き方
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容をふまえた応募書類修正
3	事前学習	自分の安心体験の切り出し	11	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	自分を客観視する②人と温かくかかわる＆事実の正確な理解		授業計画	応募書類の作成④ 応募書類内容の見直しとまとめ
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容をふまえた応募書類修正
4	事前学習	講義資料の事前熟読	12	事前学習	作成した応募書類の読み込み
	授業計画	自分を客観視する③人と温かくかかわる＆感情と願望の受けとめ方		授業計画	面接対策①面接で大切なこと、実践ワークと振り返り
	事後学習	講義内容の復習と自身の振り返り		事後学習	面接実践内容の復習
5	事前学習	講義資料の事前チェック	13	事前学習	面接練習
	授業計画	悩みを相談する　進路について相談する＆自分の目標の明確化		授業計画	面接対策② 集団面接練習。過去学習内容の実践。
	事後学習	自身の進路の悩みまとめ		事後学習	面接練習内容の復習
6	事前学習	講義内容の下調べ	14	事前学習	後期学習内容資料の整理
	授業計画	働き方について知る　企業・業種・職種についての基本情報の理解		授業計画	後期講義内容の復習 自身の目標到達状況の振り返り
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	後期講義内容の復習
7	事前学習	自分の興味ある会社チェック	15	事前学習	定期試験対策学習
	授業計画	会社について知る 企業研究の意味と情報収集の方法		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容をふまえた企業研究		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	応募書類必要物の収集と準備			
	授業計画	応募書類の作成① 履歴書・自己紹介シートの書き方			
	事後学習	講義内容をふまえた応募書類の作成			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅰ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
この地球で人類は、様々な信仰を持ち、多様な文化や自然環境の下で生活をしています。しかし実生活においては、日常の中でそれらについて考えを巡らすことはほぼないのが現状です。世界遺産について学ぶことはそんな日常から一歩外に踏み出し、異文化を知り、視野を広げるチャンスです。楽しみながら学んでいきましょう。
達成目標
前期は主に、世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産について学ぶ。写真やDVD等を用いたり、スライド発表なども取り入れながら、世界遺産にまつわる知識を身に着け、世界遺産検定3級合格を目指す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産とは何か 世界遺産の概要説明と導入		授業計画	日本の世界遺産　厳島神社・『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産の基礎知識 世界遺産条約と世界遺産の条件		授業計画	日本の世界遺産 長崎と天草地方・琉球王国のグスク他
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	11	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 知床・白神山地・小笠原諸島・屋久島		授業計画	日本の宝ピックアップ　地域の歴史や文化について調べて紹介しよう①
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	12	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産　平泉・日光の社寺・富岡製糸場と絹産業遺産群		授業計画	日本の宝ピックアップ　地域の歴史や文化について調べて紹介しよう②
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	13	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産　明治日本の産業革命・ル・コルビジェの作品・富士山		授業計画	日本の宝ピックアップ　地域の歴史や文化について調べて紹介しよう③
	事後学習	復習テスト		事後学習	発表内容のフィードバック
6	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	14	事前学習	前期講義資料見直し
	授業計画	日本の世界遺産　白川郷・五箇山・古都京都・紀伊山地の霊場と参詣道		授業計画	前期講義内容復習　世界遺産の基礎知識から日本の世界遺産まで
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	15	事前学習	前期講義内容復習
	授業計画	日本の世界遺産 法隆寺地域の仏教建造物群他		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験内容の復習
8	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる			
	授業計画	日本の世界遺産　姫路城・石見銀山と文化的景観・広島平和記念碑			
	事後学習	復習テスト			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　きほんを学ぶ世界遺産100　世界遺産検定3級公式テキスト
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版
参考書　著者名
　　タイトル　世界遺産検定公式過去問題集
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
この地球で人類は、様々な信仰を持ち、多様な文化や自然環境の下で生活をしています。しかし実生活においては、日常の中でそれらについて考えを巡らすことはほぼないのが現状です。世界遺産について学ぶことはそんな日常から一歩外に踏み出し、異文化を知り、視野を広げるチャンスです。楽しみながら学んでいきましょう。
達成目標
世界遺産の現状と課題について知り、世界で起きていることがらについての当事者意識を育む。 学んだ知識を定着させ、世界遺産検定 2 級・3 級合格を目指す。 異文化への理解を深め多様な価値観を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	前期講義内容復習　世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑧ 人権を尊重し、差別をなくすために
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義① 法隆寺の木造建築に学ぶ		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑨　合掌造りから文化・自然・観光の共生を考える
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義② 姫路城を残してきた人々の働き		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑩　文化と生活を守るための新たな人のつながり
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
4	事前学習	前回学習内容復習	12	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義③　気候変動の影響を世界遺産から考える		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑪ 遺跡保存のための人材育成について
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
5	事前学習	前回学習内容復習	13	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義④ 世界遺産の観光地化について考える		授業計画	世界遺産まとめ①　自分が気になる世界遺産について調べる
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
6	事前学習	前回学習内容復習	14	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑤ 自然保護のためにできること		授業計画	世界遺産まとめ②　自分が気になる世界遺産について調べて発表する
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
7	事前学習	前回学習内容復習	15	事前学習	後期講義内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑥「平和のとりで」を築くことについて考える		授業計画	定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	前回学習内容復習			
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑦　戦争の記憶から平和な社会をつくるために			
	事後学習	復習テスト			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　きほんを学ぶ世界遺産 100　世界遺産検定 3 級公式テキスト
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版
参考書　著者名
　　タイトル　世界遺産検定公式過去問題集
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
「資格取得」を通して、自身の価値観形成及び適正理解をする。そのため、PC・漢字・マナー・簿記・外国語等複数の学習を行い、それぞれに応じた知識習得をする。また、学習計画やモチベーションの管理法を学び、社会人生活に適応する方法を学習する。
達成目標
各資格の特徴を知り、それに応じた学習内容及び学習法について知る。自身の興味を知り、資格取得に向けた学習計画を立て、実行する。それに応じた進路計画を立て、希望の進路に行けるよう行動する。

授業計画

1	事前学習	外国語プリント①	9	事前学習	IT 用語プリント⑤
	授業計画	外国語講義①TOEIC 文法傾向と必要学習		授業計画	PC 講義⑤模擬問題実践（MOS2016Word、Excel）
	事後学習	講義復習課題		事後学習	模擬問題振り返り
2	事前学習	外国語プリント②	10	事前学習	簿記用語プリント①
	授業計画	外国語講義②TOEIC 語彙傾向と必要学習		授業計画	簿記講義①簿記基本ルール（仕訳と実践練習）
	事後学習	講義復習課題		事後学習	講義復習課題
3	事前学習	外国語プリント③	11	事前学習	簿記用語プリント②
	授業計画	外国語講義③TOEIC リスニング傾向と必要学習		授業計画	簿記講義②簿記基本ルール（試算表と決算表を作成）
	事後学習	講義復習課題		事後学習	講義復習課題
4	事前学習	外国語プリント④	12	事前学習	簿記用語プリント③
	授業計画	外国語講義④TOEIC 過去問題実践と解説		授業計画	簿記講義③簿記検定問題実践（全経簿記 3 級）
	事後学習	過去問題振り返り		事後学習	検定問題振り返り
5	事前学習	IT 用語プリント①	13	事前学習	自己分析表プリント
	授業計画	PC 講義①Word 基本操作（文書入力、挿入等）		授業計画	キャリア形成講義①価値観分析とシート作成
	事後学習	講義復習課題		事後学習	キャリアシート完成
6	事前学習	IT 用語プリント②	14	事前学習	目標設定シート
	授業計画	PC 講義②Word 基本操作（図形、表、ワードアート等）		授業計画	キャリア形成講義②PDCA サイクルと目標設定
	事後学習	講義復習課題		事後学習	目標設定シート完成
7	事前学習	IT 用語プリント③	15	事前学習	復習
	授業計画	PC 講義③EXCEL 基本操作（表作成、挿入等）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義復習課題		事後学習	振り返り
8	事前学習	IT 用語プリント④			
	授業計画	PC 講義④EXCEL 基本操作（計算式、グラフ作成等）			
	事後学習	講義復習課題			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
「就職活動」を通して、自身の価値観形成及び適正理解をする。そのため、SPI・履歴書作成・価値観理解・面接練習等複数の学習を行い、それぞれに応じた知識習得をする。また、学習計画やモチベーションの管理法を学び、就職活動に適応する方法を学習する。
達成目標
就職活動における必要なタスクを知り、それに応じた準備について知る。自身の興味や適性を知り、進路活動に向けたスケジュールを立て、実行する。それに応じた進路計画を立て、希望の進路に行けるよう行動する。

授業計画

1	事前学習	就職活動スケジュールについて知る	9	事前学習	SPI練習問題
	授業計画	就職活動とは:ハローワーク職員による講和とスケジュール確認		授業計画	SPI対策③(学力及び性格模擬問題実践及び解説)
	事後学習	講義復習課題		事後学習	模擬問題振り返り
2	事前学習	職業情報収集	10	事前学習	自己分析シート作成
	授業計画	働くことを考える:職業デザインの多様性と価値基準		授業計画	面接応対①(面接の目的と自己PR解答作成)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	インターン情報収集	11	事前学習	筆記履歴書作成
	授業計画	インターン研修①概要説明・意義・目的・今後の流れ		授業計画	面接応対②（エントリーシートと志望理由作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	マナー課題プリント	12	事前学習	PC履歴書作成
	授業計画	インターン研修②マナー講義(良い人間関係を作る言葉遣い)		授業計画	面接応対③（模擬面接大会と全体振り返り）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	模擬面接振り返り
5	事前学習	マナー課題プリント	13	事前学習	説明会情報収集
	授業計画	インターン研修③企業研修準備(企業分析・概要・役割・目的)		授業計画	就職活動実践：説明会検索方法と基本マナー
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	企業研修準備	14	事前学習	説明会準備
	授業計画	課外活動①企業研修（企業の方講義、実践・FB)		授業計画	課外活動②合同説明会参加（実践及びFB)
	事後学習	レポート作成		事後学習	説明会レポート作成
7	事前学習	SPI情報収集	15	事前学習	復習
	授業計画	SPI対策①(計算問題分野傾向と実践練習)		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	SPI読解問題確認			
	授業計画	SPI対策②(読解及び語彙問題分野傾向と実践練習)			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティング戦略	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	谷口　幸広		
実務経験教員紹介	娯楽業界でのサービスマーケティング・インターナルマーケティング。現在は Twitter 活用し、動画配信者の認知度アップ・チャンネル登録者アップの SNS マーケティング		

講義概要
昨年度学んだ「マーケティング」「経営学」をふまえ、企業が目的を実現するための指針・土台となる「経営戦略」のうち「マーケティング戦略」を学ぶ。ビジネスパーソンとして、経営者による経営戦略から「どのような指針・土台をもとにマーケティングを展開していくか？」をビジネスフレームワークを用いて理解していく。
達成目標
（１）用語や定義に慣れる：経営・マーケティング戦略における用語や定義に慣れる。（２）フレームワークの活用：ビジネスフレームワークの「目的」や「使いどころ」を把握し、実践に使えるよう理解を進める。

授業計画

1	事前学習	マーケティング	9	事前学習	興味関心ある企業調査
	授業計画	ガイダンスおよび「マーケティング戦略の定義」		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」の作成演習と発表①
	事後学習	環境の変化と生活の変化		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
2	事前学習	ビジネス	10	事前学習	企業調査
	授業計画	「環境の変化」と「マーケティング戦略の必要性」		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」の作成演習と発表②
	事後学習	商品サービスが売れない理由		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
3	事前学習	消費行動の変化	11	事前学習	競合他社調査
	授業計画	環境変化による「生活・消費活動の変化」の関係性		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」で競合他社比較
	事後学習	消費活動の繋がりと派生		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
4	事前学習	消費活動の繋がりと派生	12	事前学習	企業研究・分析
	授業計画	「変化の指標」とマーケティングによる「意味と価値」づくり		授業計画	①マーケティング視点の企業研究②組織体制とマーケティング機能
	事後学習	商品サービスの意味と価値を探る		事後学習	特定企業の研究・分析
5	事前学習	商品サービスの意味と価値を探る	13	事前学習	業界研究・分析
	授業計画	演習：環境と商品サービスの意味と価値の変化①		授業計画	マーケティング視点での業界研究・分析と求人選び
	事後学習	商品購入までの流れと繋がり		事後学習	特定業界の研究・分析
6	事前学習	価値	14	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	演習：環境と商品サービスの意味と価値の変化②		授業計画	第１回～第 13 回講義の振り返りと要点の確認
	事後学習	価値のある・なし		事後学習	試験に向けた学習
7	事前学習	ビジネスモデル	15	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	フレームワークとビジネスモデル・ビジネスモデルキャンバス（BMC）		授業計画	定期試験
	事後学習	ビジネスモデルキャンバス		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	顧客満足			
	授業計画	「ビジネスモデルキャンバス作成事例」と演習			
	事後学習	各要素の繋がりと派生			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　オリヴァー・ガスマンほか
　　タイトル　ビジネスモデルナビゲーター
　　出版社　翔泳社
参考書　著者名　近藤哲朗
　　タイトル　ビジネスモデル 2.0 図鑑
　　出版社　株式会社 KADOKAWA

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営戦略	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界で経営企画職でサービスマーケティング・インターナルマーケティング。起業後は Twitter 活用 SNS マーケティングと会社経営		

講義概要
「利益を出している企業には共通点（ビジネスモデル）がある」という視点から、経営戦略に基づいて創造される「ビジネスモデル」にはどのようなものがあるのか？を「ビジネスモデルナビゲーター・５５パターンカード」を用いて理解していきます。ビジネスモデルを知り、就職活動での企業選択や志望動機作成にも役立てる。
達成目標
５５パターンあるビジネスモデルのうち、とくに有名な企業や身近な商品サービスを扱うビジネスモデルを抽出。そのビジネスモデルの「仕組み」や「特長」について理解し、他の学生・学年にプレゼンテーションを実施。

授業計画

1	事前学習	ビジネスモデルとは何か	9	事前学習	フランチャイズ
	授業計画	ビジネスモデルの定義と必要性について共有し、５５パターンカード説明		授業計画	ビジネスモデル「フランチャイズ」の説明と演習
	事後学習	興味が持てたビジネスモデルを調査		事後学習	直販との違い
2	事前学習	フレームのメリットデメリット	10	事前学習	Amazon 社のビジネス
	授業計画	ビジネスモデル「クロスセル」の説明と演習		授業計画	ビジネスモデル「ロングテール」の説明と演習
	事後学習	アップセル		事後学習	楽天と Amazon の比較
3	事前学習	定額制サービス	11	事前学習	興味ある企業のビジネスモデル
	授業計画	ビジネスモデル「サブスクリプション」の説明と演習		授業計画	興味ある企業のビジネスモデルを作成、５５パターンカードも引用
	事後学習	課金システム		事後学習	経営資源の流れとステークホルダー
4	事前学習	無料で貰える・使える商品サービス	12	事前学習	興味ある企業の競合他社調査
	授業計画	ビジネスモデル「フリーミアム」の説明と演習		授業計画	興味ある企業と競合他社のビジネスモデルと比較と図解化
	事後学習	シェアリングとは		事後学習	ビジネスモデルの相違点抽出
5	事前学習	ミニマリスト	13	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	ビジネスモデル「シェアリングエコノミーサービス」の 説明と演習		授業計画	興味ある企業のビジネスモデル図解のプレゼンテーションと 評価
	事後学習	レンタルとシェアの違い		事後学習	フィードバックを受けて再構築
6	事前学習	消費者の「モノを持たない価値」	14	事前学習	後期テキストの振り返り
	授業計画	習ったビジネスモデルを活用して「新しいビジネス」を作る		授業計画	第１回目～第１３回目講義の振り返りと質疑応答
	事後学習	経営資源の流れを図解		事後学習	前期テキストの振り返り
7	事前学習	新しいビジネスの価値提案	15	事前学習	前期・後期テキスト内容確認
	授業計画	新しいビジネスの図解化とプレゼンテーション準備		授業計画	定期試験
	事後学習	プレゼンのタイムマネジメント		事後学習	テキスト見直し
8	事前学習	プレゼン準備			
	授業計画	「新しいビジネス」のプレゼンテーション実施と評価			
	事後学習	評価を踏まえて再構築			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　オリヴァー・ガスマンほか
　　タイトル　ビジネスモデルナビゲーター
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　近藤哲朗
　　タイトル　ビジネスモデル 2.0 図鑑
　　出版社　　株式会社 KADOKAWA

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅢ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
1 年次に学んだビジネスマナーの理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。就職活動において企業と接する際に必要となるビジネスメールのやり取りや、携帯電話のマナーと応対、名刺の取り扱いなどを習得する。企業訪問の際の振る舞いや受付方法を学ぶ。社会人の常識として知っておきたい基礎用語を学習する。
達成目標
ビジネスメールのマナーを守って企業の人事担当とやり取りが出来る。ビジネス文書送付の際の添え状を作成出来る。郵便物の宛名を正しく書ける。報告書やレポートの書き方、社会人常識基礎用語がわかる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	会社訪問体験を書き出す
	授業計画	1 年間の成長を振り返り 2 年次の学習目標を設定する		授業計画	会社訪問の準備　受付での振る舞いロールプレイング
	事後学習	1 年次の復習ポイントを洗いだす		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
2	事前学習	3 か月後の姿を言語化する	10	事前学習	名刺デザインを考える
	授業計画	オンラインコミュニケーションの身だしなみ　画面越しの会話テクニック		授業計画	名刺交換　紹介の仕方５つのケースロールプレイング
	事後学習	オンラインの際の背景を整える		事後学習	名刺を 5 枚作成する
3	事前学習	自己 PR の準備をする	11	事前学習	日本企業の役職を復習しておく
	授業計画	内定に繋がる自己アピール　仕事に繋がる自己紹介の準備方法		授業計画	様々な場面の席次　応接室･会議室･エレベーター・車など
	事後学習	自己 PR を修正し内容を整える		事後学習	フォームを使って小テスト
4	事前学習	身近なビジネス文書を集める	12	事前学習	雑談の話題を見つける
	授業計画	ビジネス文書の基本形　履歴書送付状（下書き）作成　宛名書き実習		授業計画	心の壁を取り除く雑談力の伸ばし方ショートスピーチ
	事後学習	PC で添え状を作成する		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
5	事前学習	メールの利用体験を書き出す	13	事前学習	５W3H について予習しておく
	授業計画	ビジネスメールのマナー　面接のお礼メールを下書き		授業計画	日報・報告書の役割と書き方　守秘義務と情報の取り扱い
	事後学習	お礼メール下書きを PC 入力する		事後学習	授業内容を報告書形式でまとめる
6	事前学習	1 年次の電話応対を復習する	14	事前学習	配布資料を読んでおく
	授業計画	携帯電話のマナーと活用　挨拶･基本動作実習		授業計画	各種資料を引用・要約する際のルール著作権
	事後学習	電話応対定型句集を作成する		事後学習	引用を使ってレポートを作成する
7	事前学習	頭語・結語について調べる	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	ビジネスコミュニケーションツールの使い分け		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	具体的な訪問先を見つけておく			
	授業計画	訪問アポイントメントの取り方　メールの場合、電話の場合の実習			
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われるビジネスマナー完全版
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅣ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
2 年間の総仕上げとして、社会人として知っておきたい大人のマナーについて学習する。ビジネスマナーは勿論のこと、冠婚葬祭の基礎知識、食事のマナー、ビジネスチャンスに繋がる季節の行事や日本のしきたりなど、人として高評価を得られるような知識に触れ、日本社会に対しての理解を深めるとともに人間力を磨く。
達成目標
冠婚葬祭の目的や意義を理解し、ビジネスマンとして対応出来るようになる。会食の席で堂々とふるまえるような食事のマナーを学び、品格ある行動が出来るようになる。社会人常識マナー検定 2 級レベルの知識を身につける。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題
	授業計画	ビジネスマナーⅠ・Ⅱ・Ⅲの振り返りと今後の課題を確認		授業計画	和食のマナー　日本料理の基礎知識 箸使いの作法
	事後学習	ビジネスマナーⅣの目標を設定する		事後学習	箸使いの練習をする
2	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句①	10	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭の目的と意義　冠婚葬祭とビジネスの関係		授業計画	西洋料理のマナー　食事の仕方とカトラリーの使い方
	事後学習	自国の通過儀礼について調べる		事後学習	ナイフ・フォークで食事をする
3	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句②	11	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭　日本の主な通過儀礼「冠」のしきたり		授業計画	中華料理のマナー　中華料理の基礎知識と回転卓の作法
	事後学習	自国の結婚について調べる		事後学習	食事のマナーについてレポート作成
4	事前学習	社会常識　欧文略語	12	事前学習	社会常識　総合問題①
	授業計画	冠婚葬祭　「婚」のしきたり　招待客としてのマナー		授業計画	縦書きのビジネス文書　案内状・招待状・お礼状
	事後学習	自国の葬儀について調べる		事後学習	お礼状を出す相手を決める
5	事前学習	社会常識　主要国名と首都名	13	事前学習	社会常識　総合問題②
	授業計画	冠婚葬祭　「葬」のしきたり　ビジネスにおける訃報対応		授業計画	縦書き手書きのお礼状　下書き文章を作成する
	事後学習	自国の季節行事について調べる		事後学習	筆ペンを準備する
6	事前学習	税金や社会保障制度に関する用語	14	事前学習	社会常識　総合問題③
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり①　季節の行事		授業計画	筆ペンの使い方実習　お礼状を清書し仕上げる
	事後学習	自国と日本の行事を比較する		事後学習	フォームを使って授業内容報告
7	事前学習	社会常識　時事問題	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり②　暦と二十四節気		授業計画	定期試験
	事後学習	冠婚葬祭の学習レポートを作成する		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題			
	授業計画	食事のマナー　食文化と歴史　食事とビジネスの関係			
	事後学習	フォームを使って授業内容報告			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 2 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーションⅢ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては２つの目的を持って取り組む。１つは就職活動場面においての適切な表現方法の習得。もう１つはプレゼンテーションにおいて 1 年次はグループ発表がメインだったが、個人でのスライド作成、構成作成、表現ができることを目標に個人での発表を行う。
達成目標
就職活動において企業側の意図を想定した応答ができ、効果的に自分自身をアピールできる。プレゼンテーションにおいて、単独でパワーポイントによる資料作成、構成作成、表現ができる。どちらも論理的表現ができる。

授業計画

1	事前学習	現在の就職活動の整理	9	事前学習	スティーブジョブスの情報収集
	授業計画	就職活動表現①自己 PR:場面に応じた自己紹介及び就活での効果的 PR		授業計画	プレゼンテーション④表現２：孫正義動画から表現法理解、実践
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	志望理由作成	10	事前学習	TED 動画視聴
	授業計画	就職活動表現②志望理由:様々な業種に応じた理由の違い及び実践練習		授業計画	プレゼンテーション⑤表現３:TED 動画から表現法理解、実践
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	就活質問解答準備	11	事前学習	過去自身の作成スライドを確認
	授業計画	就職活動表現③その他質問:企業心理の分析及びそれに応じた解答作成		授業計画	プレゼンテーション⑥スライド作成:5 秒でわかるスライド作成法
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	就活態度の確認	12	事前学習	ジェスチャーの意義を確認
	授業計画	就職活動表現④態度・言葉遣い:面接や電話応答での動作理解及び実践		授業計画	プレゼンテーション⑦表現動作：人を惹きつけるジェスチャー講義
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	面接想定練習	13	事前学習	発表テーマ選定
	授業計画	就職活動表現⑤模擬面接会（面接、評価、FB）		授業計画	プレゼンテーション⑧発表準備（構成・セリフ作成、スライド準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	前回プレゼン講義内容整理	14	事前学習	発表準備
	授業計画	プレゼンテーション①決意表明:1 年の決意表明を構成、表現を動画撮影		授業計画	プレゼンテーション⑨個人発表（発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
7	事前学習	プレゼンテーション専門用語確認	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	プレゼンテーション②プレゼンテーションのアウトライン確認		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	チームワーク考察			
	授業計画	プレゼンテーション③表現１:ジョブス動画から表現法理解、実践			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　カーマイン・ガロ
　　タイトル　スティーブジョブス驚異のプレゼン
　　出版社　　日経 BP 社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅣ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においてはプレゼンテーションを軸とした様々な表現方法を学習する。プレゼンテーションの他にも企画書やCM動画作成などを通して場面に応じた柔軟な表現力獲得を目指す。またその過程でのグループ作業を通してチームビルディングに必要な知識を学習する。
達成目標
受容、共感を用いて相手の気持ちを重視した傾聴ができる。チームの役割を把握したグループ作業ができる。CM,企画書、スピーチ、ビジネスプレゼン等場面での表現ができる。効果的な発声やアクセントができる。

授業計画

1	事前学習	前回スピーチ講義内容確認	9	事前学習	自身作成のCM内容理解
	授業計画	スピーチ①表現法：呼吸法、発声法及び表現方法の理解、実践		授業計画	チームビルディング④：CM講評会（視聴、発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	スピーチ発表準備	10	事前学習	前回ビジネスプレゼン内容確認
	授業計画	スピーチ②スピーチコンテスト（発表、評価、FB）		授業計画	ビジネスプレゼン①言葉遣い・動作：ビジネス場面における作法の理解
	事後学習	自身発表振り返り		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ビジネス文書予習	11	事前学習	構成についてポイント確認
	授業計画	ビジネス文書①ビジネス文書作成ルール		授業計画	ビジネスプレゼン②社外プレゼン（社内プレゼンとの違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	企画書案予習	12	事前学習	スライド作成法振り返り
	授業計画	ビジネス文書②企画書作成（目的と作成方法）		授業計画	ビジネスプレゼン③社外プレゼンスライド作成
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	企画書発表準備	13	事前学習	テーマ選定
	授業計画	ビジネス文書③企画発表（企画書⇒スライド作成）		授業計画	ビジネスプレゼン④社外プレゼン発表準備（発表、評価、FB）
	事後学習	自身発表振り返り		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	チームワークのポイント確認	14	事前学習	発表準備
	授業計画	チームビルディング①基礎概論：グループとチームの違い		授業計画	ビジネスプレゼン⑤発表会（発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	チームワークのポイント確認	15	事前学習	期末試験範囲の復習
	授業計画	チームビルディング②実践：企業研修での複数タスクの実践練習		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	有名CM視聴及び感想作成			
	授業計画	チームビルディング③CM 作成：役割分担、メッセージ確認し動画撮影			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　前田鎌利
　　タイトル　社外プレゼンの資料作成術
　　出版社　　ダイヤモンド社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	山北　麻美		
実務経験 教員紹介	英語・日本語講師(小学校・短期大学・企業・個人）語学・留学カウンセリング(企業・学生) 児童英語テキスト・マニュアル作成、異文化理解及び英会話研修(企業）留学生サポート		

講義概要
本講義では、外国語とその文化に触れ理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感・習得する。Listening/Speaking 技能を中心とし、基本的な挨拶や自己紹介、質問の仕方などをグループワークや実践で練習する。
達成目標
・英語を使って挨拶や受け答えができるようになる。 ・英語圏の文化や行事を知り興味を持ち、さらに日本文化にも目を向けるようになる。 ・怖がらずに進んで英語で話したり反応できるようになる。

授業計画

1	事前学習	英語で話す心構えを準備する	9	事前学習	復習
	授業計画	オリエンテーション･自己紹介･daily questions		授業計画	海外での英語①ホテルで使う表現・さまざまな宿泊施設
	事後学習	復習		事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	復習	10	事前学習	復習
	授業計画	Daily Activities① 一般動詞の普通文・疑問文		授業計画	海外での英語②ホテルで使う表現・さまざまな宿泊施設
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習	11	事前学習	復習
	授業計画	Daily Activities② 過去形の疑問文・否定文		授業計画	Quantities 単位の表現法・海外の食料品について
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習	12	事前学習	復習
	授業計画	Vacation①疑問詞のついた過去形の疑問分の Q&A		授業計画	海外の日常動画から文化と表現を学ぶ 発表の準備
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
5	事前学習	復習	13	事前学習	復習
	授業計画	Vacation②休暇の過ごし方と思い出について Q&A		授業計画	発表の準備および発表
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	洋服・身の回りの英語 比較級を使った様々な表現		授業計画	前期のまとめ 文法および習った事の復習
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
7	事前学習	復習	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	shopping①基本的なやりとりと海外の風習・気を付ける事		授業計画	定期試験
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	難しかった内容の復習
8	事前学習	復習			
	授業計画	shopping②基本的なやりとりと海外の風習・気を付ける事			
	事後学習	ポイントの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（発表・授業態度）＞：20%

教科書　著者名　　井口紀子
　　タイトル　1から出直し書き込み式英語 book
　　出版社　　成美堂出版
参考書　著者名　　Susan Stempleski
　　タイトル　Talk time１，２
　　出版社　　Oxford

年度	2021年度	学期	後期
科目名	外国語Ⅳ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	山北　麻美		
実務経験 教員紹介	英語・日本語講師(小学校・短期大学・企業・個人) 語学・留学カウンセリング(企業・学生) 児童英語テキスト・マニュアル作成、異文化理解及び英会話研修(企業) 留学生サポート		

講義概要
本講義では、外国語とその文化に触れ理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感・習得する。Listening/Speaking技能を中心とし、基本的な挨拶や自己紹介、質問の仕方などをグループワークや実践で練習する。
達成目標
・英語を使って挨拶や受け答えができるようになる。 ・英語圏の文化や行事を知り興味を持ち、さらに日本文化にも目を向けるようになる。 ・怖がらずに進んで英語で話したり反応できるようになる。

授業計画

1	事前学習	復習	9	事前学習	復習
	授業計画	道案内①　他人に道案内できるような基本的な表現を身につける		授業計画	Cooking① 料理にまつわる英語 thanks giving
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	復習	10	事前学習	復習
	授業計画	道案内②　建物内の位置表現や解らない時の尋ね方		授業計画	Cooking②自　分の好きなものの作り方を英語で表現する
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習	11	事前学習	復習
	授業計画	乗換①基本的な乗換につかう表現を身につける		授業計画	発表の準備 presentationの内容を考え英文にする
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習	12	事前学習	復習
	授業計画	乗換② 他人に乗換方法を教えるときの表現		授業計画	発表（presentation） 持ち時間を使って英語で発表する
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
5	事前学習	復習	13	事前学習	復習
	授業計画	病気・体調不良① 病名やbody partsなど基本的な単語		授業計画	クリスマス 海外のクリスマスと日本の比較(動画)
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	病気･体調不良②　持病や体調不良の時に説明できるような基本表現		授業計画	後期の総復習(文法・単語・表現を使って会話練習)
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
7	事前学習	復習	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	トラブル　災害･忘れ物などトラブルの際に伝えられる表現		授業計画	定期試験
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	難しかった内容の復習
8	事前学習	復習			
	授業計画	歌から学ぶさまざまな表現　・サンクスギビング　提案・お願いなど			
	事後学習	ポイントの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（発表・授業態度）＞：20%

教科書　著者名　井口紀子
　　タイトル　1から出直し書き込み式英語book
　　出版社　成美堂出版
参考書　著者名　Susan Stempleski
　　タイトル　Talk time1, 2
　　出版社　Oxford

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
年々増加する外国人旅行者に対応するための接客英会話をシーン別に学びます。販売業務に関連するフレーズや語彙を中心に、グループやペアでのロールプレイや発表でのアウトプットの練習を通して実践的におもてなし英語を習得します。また、接客における日本と英語圏との文化の違いについても学びます。
達成目標
・英語の丁寧な表現に慣れる ・販売業務に必要なフレーズや単語を覚える ・外国人旅行者と自信を持ってコミュニケーションが取れるようになる ・海外との文化の違いを学ぶ

授業計画

1	事前学習	テキストの確認	9	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	自己紹介とシラバスの確認		授業計画	Chapter 1 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	テキストの確認		事後学習	音声を使用し復習
2	事前学習	テキストで内容を確認	10	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（１）		授業計画	Chapter 2 商品紹介（１）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
3	事前学習	音声を使用し確認	11	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（２）		授業計画	Chapter 2 商品紹介（２）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
4	事前学習	音声を使用し確認	12	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（３）		授業計画	Chapter 2 商品紹介（３）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
5	事前学習	音声を使用し確認	13	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 ペアでのダイアログ発表		授業計画	Chapter 2 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
6	事前学習	音声を使用し確認	14	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（４）		授業計画	Chapter 1 & 2 の復習と期末試験準備
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
7	事前学習	音声を使用し確認	15	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（５）		授業計画	期末試験
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	音声を使用し確認			
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（６）			
	事後学習	音声を使用し復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：20%　＜（発表）＞：50%

教科書　著者名　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【販売編】
　　出版社　株式会社アルク
参考書　著者名　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【おもてなし編】
　　出版社　株式会社アルク

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
年々増加する外国人旅行者に対応するための接客英会話をシーン別に学びます。販売業務に関連するフレーズや語彙を中心に、グループやペアでのロールプレイや発表でのアウトプットの練習を通して実践的におもてなし英語を習得します。また、接客における日本と英語圏との文化の違いについても学びます。
達成目標
・英語の丁寧な表現に慣れる ・販売業務に必要なフレーズや単語を覚える ・外国人旅行者と自信を持ってコミュニケーションが取れるようになる ・海外との文化の違いを学ぶ

授業計画

1	事前学習	テキストの確認	9	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	シラバスの確認		授業計画	Chapter 4 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	テキストの確認		事後学習	音声を使用し復習
2	事前学習	テキストで内容を確認	10	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 衣料品・化粧品販売（１）		授業計画	Chapter 5 家電販売（１）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
3	事前学習	音声を使用し確認	11	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 衣料品・化粧品販売（２）		授業計画	Chapter 5 家電販売（２）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
4	事前学習	音声を使用し確認	12	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 衣料品・化粧品販売（３）		授業計画	Chapter 5 家電販売（３）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
5	事前学習	音声を使用し確認	13	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 ペアでのダイアログ発表		授業計画	Chapter 5 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
6	事前学習	音声を使用し確認	14	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 4 食料品・雑貨販売（１）		授業計画	Chapter 3 - 5 の復習と期末試験準備
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
7	事前学習	音声を使用し確認	15	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 4 食料品・雑貨販売（２）		授業計画	期末試験
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	音声を使用し確認			
	授業計画	Chapter 4 食料品・雑貨販売（３）			
	事後学習	音声を使用し復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：20%　＜（発表）＞：50%

教科書　著者名　　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【販売編】
　　出版社　　株式会社アルク
参考書　著者名　　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【おもてなし編】
　　出版社　　株式会社アルク

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	卒業演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では卒業研究課題作成に向け、テーマ選定のためのアプローチ方法や課題作成の基本ルールについて、文章作成のワークを通じて学習する。提示した素材ごとに各自が取り組みたいテーマを設定し、それについて掘り下げて追及する練習を行う。また説得力のある文章構成に必要な要素について学習し研究課題の選定に活かす。
達成目標
卒業研究課題の設定を目標とする。ニュース、日常生活、好きなこと、学習内容の中から項目ごとに研究課題を設定し、仮の研究背景や目的について追及し、文章化する練習を行うことで最適な研究課題を見つけ出す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究とは何か　テーマの探し方、情報収集の仕方と実践練習		授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「日常生活１」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
2	事前学習	学習内容の予習	10	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究の基本事項① 引用文の扱い方、文体、内容		授業計画	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「日常生活２」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
3	事前学習	学習内容の予習	11	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究課題設定の基本事項② 研究背景、目的、文章構成の方法		授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「講義内容１」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
4	事前学習	学習内容の予習	12	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究課題設定の基本事項③ 研究の進め方、展開方法		授業計画	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「講義内容２」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
5	事前学習	学習内容の予習	13	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース１」		授業計画	前回学習内容の復習 卒業研究の目的の再確認・補足事項
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
6	事前学習	学習内容の予習	14	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース２」		授業計画	卒業研究課題作成の基本事項確認 テーマの決定
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
7	事前学習	学習内容の予習	15	事前学習	前期学習内容の復習
	授業計画	前回学習内容の復習　題材別研究テーマ設定「好きなもの１」		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	学習内容の予習			
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなもの２」			
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では卒業研究課題設定に向け、テーマ選定のためのアプローチ方法や課題作成の基本ルールについて、文章作成のワークを通じて学習する。提示した素材ごとに各自が取り組みたいテーマを設定し、それについて掘り下げて追及する。また説得力のある文章構成に必要な要素について学習し課題作成に活かす。
達成目標
卒業研究課題の追求と文章作成。自らの活動体験に基づき、得た気づきの中から個人もしくはグループで課題を設定する。もしくは、講義内で取り上げた身近なテーマを題材とし、追求し卒業研究課題を決定する。

授業計画

1	事前学習	卒業研究のための事前準備	9	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究課題の確認と諸注意　今後のスケジュールの確認と卒論作成		授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑧
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
2	事前学習	卒業研究のための事前準備	10	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク①		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章初稿提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
3	事前学習	卒業研究のための事前準備	11	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク②		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章校正
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
4	事前学習	卒業研究のための事前準備	12	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク③		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
5	事前学習	卒業研究のための事前準備	13	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究構成概要の提出 個人またはグループでのワーク④		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章最終校正
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
6	事前学習	卒業研究のための事前準備	14	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑤		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章最終提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
7	事前学習	卒業研究のための事前準備	15	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑥		授業計画	定期試験
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	定期試験見直し
8	事前学習	卒業研究のための事前準備			
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑦			
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：50%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　酒井聡樹
　　タイトル　これからレポート・卒論を書く若者のために
　　出版社　　共立出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では作成した卒業研究文を基に、卒業研究発表のためのスライドの作成及びプレゼンテーション準備を行う。この 2 年間での学びを活かし、より人の心に伝わる、人の心を動かす発表を目指し、スライドの機能およびプレゼンテーションの流れについて改めて振り返りながら専門学校の学びの集大成として一つの形にまとめる。
達成目標
卒業研究課題の引き続きの追求と卒業研究文を基に、スライドを用いた卒業研究発表の作成準備と発表の実行。専門学校 2 年間の学びの集大成の成果として発表を行うことで、自身の学びを将来に繋げる。

授業計画

1	事前学習	卒業研究文の見直し	9	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究発表概要　今後のスケジュール確認とスライド構成概要説明		授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑧
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
2	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	10	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク①		授業計画	卒業研究発表スライド完成 卒業研究発表スライド初稿提出
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
3	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	11	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク②		授業計画	卒業研究発表予行演習①　卒業研究発表スライドの内容見直しと修正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
4	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	12	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク③		授業計画	卒業研究発表スライド作成 卒業研究発表スライドの再校正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
5	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	13	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究発表スライド構成概要の提出 個人またはグループでのワーク④		授業計画	卒業研究発表会予行演習② 卒業研究課題の調査結果文章最終校正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
6	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	14	事前学習	卒業研究発表のための最終準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑤		授業計画	卒業研究発表会 卒業研究発表の評価とフィードバック
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表内容振り返り
7	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	15	事前学習	後期講義内容の見直し
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑥		授業計画	定期試験
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	定期試験見直し
8	事前学習	卒業研究発表のための事前準備			
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑦			
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：20%　＜（　課題・小テスト　）＞：60%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　酒井聡樹
　　タイトル　これからレポート・卒論を書く若者のために
　　出版社　　共立出版

年度	2021年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティ経営論Ⅰ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
「ホスピタリティ」の概念や理念が、どのように企業経営に活かされているのか。当講義では、顧客満足、従業員満足を追求している企業の実例をケーススタディとして用いながら、「ホスピタリティ」とは何か、CS、ESとの関係性などを経営者の視点から考えることを学ぶ。
達成目標
サービスプロフィットチェーンにおける「CSとESの関係」、「利益向上とESの関係」、「ESを高めるために重要なこと」などを経営者の視点から論理的に考察し、将来の自分の仕事に活かすことを目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリント通読	9	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	ホスピタリティとは何か、「相手の立場に立って考える」ことの重要性		授業計画	従業員満足を高める要因について①「トータルリワード（総報酬）」
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリント通読	10	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	サービスレベルとホスピタリティ①5段階のサービスレベル		授業計画	従業員満足を高める要因について②「働きやすい企業ランキング」分析
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリント通読	11	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	サービスレベルとホスピタリティ②サービスプロフィットチェーンとは		授業計画	従業員満足を高める要因について③「働きやすい企業ランキング」分析
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリント通読	12	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	顧客満足度とは何か①顧客満足度と売上・利益の関係性		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリント通読	13	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	顧客満足度とは何か②ホスピタリティと顧客満足度の関係		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリント通読	14	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	企業ケーススタディ①、グランドハイアット東京の経営理念・行動指針		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析③
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリント通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	企業ケーススタディ②、加賀屋のホスピタリティ・ケーススタディ①		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリント通読			
	授業計画	企業ケーススタディ②、加賀屋のホスピタリティ・ケーススタディ②			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティ経営論Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
前期に学習した「ホスピタリティ経営論Ⅰ」を更に発展させ、「ホスピタリティサービスを提供できる人材を育てられること」を主眼に置き、学習する。スタッフの視点だけではなく、経営者としての視点が身に着けられるよう、顧客・従業員エンゲージメントや、企業理念がホスピタリティに与える影響を学ぶ。
達成目標
「ホスピタリティサービスを提供できる人材を育てられること」を理解できるようになり、より経営的な視点からホスピタリティを捉え、将来企業でマネジメント職に就いた場合に活かせる考え方を身に着けることを目指す。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリント通読	9	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	前期内容　復習､ES→ホスピタリティ→サービスレベル→CSの連鎖		授業計画	ケーススタディ②「大東建託」のホスピタリティと研修制度②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリント通読	10	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント①より高い従業員満足を得るための条件とは		授業計画	ケーススタディ③「星野リゾート」のホスピタリティマネジメント①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリント通読	11	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント②　総報酬とESの関係性について		授業計画	ケーススタディ③「星野リゾート」のホスピタリティマネジメント②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリント通読	12	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント③顧客エンゲージメントとの関係		授業計画	観光業のホスピタリティ、インバウンドビジネスの概要①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリント通読	13	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	経営戦略基礎、「理念の共有」とホスピタリティの関係		授業計画	観光業のホスピタリティ、インバウンドビジネスの概要②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリント通読	14	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	企業ケーススタディ①「TESSEI」のホスピタリティと現場力①		授業計画	ホスピタリティ経営について総復習、理念の共有・研修・実践について
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリント通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	企業ケーススタディ①「TESSEI」のホスピタリティと現場力②		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリント通読			
	授業計画	ケーススタディ②「大東建託」のホスピタリティと研修制度①			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、WORD の操作をビジネスレベルで使えるようになることを目的とする。そのため、場面に応じたルールや使用する言葉を理解し、ビジネスメールが作成できること、CS 検定 WORD２級取得ができる PC スキルが身につけられる内容となっている。
達成目標
ブラインドタッチで平均以上での文字入力ができる。ビジネス場面における適切なメールを作成することができる。CS 検定 2 級レベルの WORD での操作ができ、ビジネス場面において通用するレベルの PC 操作ができる。

授業計画

1	事前学習	PC 起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネス用語①（敬語、尊敬語、謙譲語）		授業計画	CS 検定課題１文字入力①、Word 振り返り③（ワードアート、画像）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネス用語②（ビジネスメール専門用語、構成）		授業計画	CS 検定課題１文字入力②、Word 振り返り④表作成（設定等）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、ビジネスメール①（就活場面メール）		授業計画	CS 検定２級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、ビジネスメール②（同僚や社内メール）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word２級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、ビジネスメール③（取引先やお客様等社外メール）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word２級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、ビジネスメール振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 Word 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、Word 振り返り①文書作成（配置装飾等基本操作）Word 表作成（表作成、レイアウト、スタイル）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、Word 振り返り②文書編集（書式設定、段組み設定）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist Word 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、PC 操作をビジネスレベルで使えるようになることを目的とする。目的は二つ、一つは WORD を使用しての社内・社外文書、議事録を作成できること。もう一つは EXCEL をビジネス場面で使用できること。そのため、EXCEL は CS 検定 WORD２級取得ができる PC スキルが身につけられる内容となっている。
達成目標
ブラインドタッチで平均以上での文字入力ができる。ビジネス場面における適切な社内・社外文書・議事録を作成できる。CS 検定 2 級レベルの EXCEL での操作ができ、ビジネス場面において通用する PC 操作ができる。

授業計画

1	事前学習	PC 起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネスマナー講義①社内･社外文書（目的・ビジネス用語・構成）		授業計画	CS 検定課題１①､EXCEL 振り返り③（数式・関数）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、社内文書作成（会議等お知らせ）		授業計画	CS 検定課題１②､EXCEL 振り返り④（グラフ作成）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、社外文書作成（会議等お知らせ）		授業計画	CS 検定２級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネスマナー講義②会議議事録（目的・ビジネス用語、構成）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL２級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、会議議事録作成（実際の討論後作成）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL２級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、社内・社外文書作成振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 EXCEL 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、EXCEL 振り返り①（ワークシート・ブック）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、EXCEL 振り返り②（セル・テーブル）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist EXCEL 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	消費者行動論	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
人間の心理面に焦点をあて、市場で製品が売れる課程を理解していく。特に、その課程において企業や店舗がどのように関わっているのか、人が選択する際の「くせ」（不合理）を伝統経済学やマーケティング、行動経済学等幅広い視点から理解できる内容とする。
達成目標
人間心理に基づいた購買行動を理解することで、今後の仕事における顧客心理に基づいた応対や企画はもちろん、普段のアルバイト接客や買い物、自身の学習計画の履行等で広く活用していくことを目標とする。

授業計画

1	事前学習	マーケティング用語を調べる	9	事前学習	男女の違い調査
	授業計画	マーケティング基礎講義：1.0-4.0 マーケティング比較		授業計画	消費者行動③男女別マーケティングと事例紹介
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
2	事前学習	ホスピタリティ用語を調べる	10	事前学習	認知学用語を調べる
	授業計画	ホスピタリティ基礎講義:顧客満足とは		授業計画	消費者行動④ニューロンマーケティングと事例紹介
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
3	事前学習	経済学用語を調べる	11	事前学習	EC 用語を調べる
	授業計画	経済学基礎講義：機会費用、希少性、代替え財等法則		授業計画	最新消費者行動①AIDMA と AISAS の購買行動
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
4	事前学習	経済学用語を調べる２	12	事前学習	EC 用語を調べる 2
	授業計画	行動経済学講義①:伝統経済学との違い		授業計画	最新消費者行動②EC マーケティングとショールーミング
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
5	事前学習	行動経済学用語調べる１	13	事前学習	2025 年調査
	授業計画	行動経済学講義②:ヒューリスティックとシステマティック		授業計画	最新消費者行動③2025 年における消費者行動
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
6	事前学習	行動経済学用語を調べる２	14	事前学習	流行用語を調べる
	授業計画	行動経済学講義③:プロスペクト理論とナッジ理論		授業計画	イノベーションと流行の関係、流行を作ろう
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
7	事前学習	購入パターン調査	15	事前学習	これまでのテスト範囲の復習
	授業計画	消費者行動①購買意思決定プロセスと事例紹介		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	定期試験解答内容の確認
8	事前学習	カラー用語を調べる			
	授業計画	消費者行動②カラーマーケティングと事例紹介			
	事後学習	学習内容復習課題			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　田中洋
　　タイトル　消費者行動論
　　出版社　　中央経済社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	イベントマネジメント	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的はイベントマネジメントに必要な知識を身につけることで企画力・立案力・関係者との交渉力・管理力等総合的人間力の向上を図ることである。そのため、スポーツ・観光におけるイベント企画・開催を通して、スキルを身につける体験型の講義内容としている。
達成目標
イベント開催に必要な段取り、必要なスキルを理解する。飲み会の幹事からビジネスのプロジェクトにいたるまで、基本の構成が同じであることを理解し、日常生活における様々なイベント開催に積極的な姿勢で参加ができる。

授業計画

1	事前学習	イベント企画情報収集	9	事前学習	イベント準備
	授業計画	イベントマネジメント①概論（定義、必要なスキル）		授業計画	スポーツイベント⑤校内スポーツ大会開催（当日進行管理）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	イベント振り返り
2	事前学習	イベントマネジメント情報収集	10	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント②企画力（目的、メリット、メッセージ）		授業計画	観光イベント①外国人観光客の現状と人気スポット
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	イベントマネジメント情報収集	11	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント③交渉力（傾聴、共感等スキルトレーニング）		授業計画	観光イベント②観光スポット調査（浅草インタビュー）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	レポート作成
4	事前学習	イベントマネジメント情報収集	12	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント④計画立案（効率、実現性、管理）		授業計画	観光イベント③観光スポット調査（鎌倉インタビュー）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	レポート作成
5	事前学習	スポーツイベント情報収集	13	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	スポーツイベント①オリンピックビジネスと経済効果		授業計画	観光イベント④イベント準備（学内留学生観光イベント立案）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	スポーツイベント情報収集	14	事前学習	イベント準備
	授業計画	スポーツイベント②オリンピック競技体験（アーチェリー）		授業計画	観光イベント⑤学内留学生観光イベント開催
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	スポーツイベント情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	スポーツイベント③オリンピック競技体験（テニス）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	スポーツイベント情報収集			
	授業計画	スポーツイベント③イベント準備（校内スポーツ大会立案）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定準 2 級・3 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新国内時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。社会問題・環境問題に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題の話題が出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０日本時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動:ゴミ処理場見学（インタビュー、撮影、レポート）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「社会・環境」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「社会・環境」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史後期(調査･討論･事例紹介)		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（アフリカ）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策準２級・２級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①再生可能エネルギー（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策準２級・２級②社会・環境/国際（過去問実践９
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の社会・環境（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の社会・環境（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本時事能力検定協会監修
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」発展編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定１級・2 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新海外時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。国際問題に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題の話題が出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０世界時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動：お寺・教会比較見学（インタビュー、撮影、レポート）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「国際問題」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「国際問題」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史近代（調査・討論・事例紹介）		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（紛争と戦争）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策１・２級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①AI と将来の仕事（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策１・２級②社会・環境/国際（過去問実践９
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の宗教（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の宗教（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本時事能力検定協会監修
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」発展編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	企業リサーチⅠ（簿記）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記･簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か 意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	売掛金・買掛金について調べる
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし､勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B) の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	企業リサーチⅠ（組織論）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	福田　幸俊		
実務経験 教員紹介	・東証 1 部上場企業の組織運営、補佐として 12 年に渡る経験あり。 ・経営コンサルタントとして 30 社以上の企業指導の経験あり。		

講義概要
経営だけに問わず社会で広く活動するための必要な組織について学ぶ。組織学の系譜をたとり現在に至るまでの流れをたどり同時に組織と組織論の限界を理解する。理論と現実の社会で起こっている事象をリンクし理論の正しさと同時に現実とのギャップについても認識し最適な組織の在り方を学ぶ。
達成目標
前半は組織論の基本と構造を中心に学び構造改善のためのちゅうもくすべき箇所・方法を理解する。後半はキャリア形成と組織文化について学び、組織論Ⅱで実施する実際の企業への組織改善提案となる基礎を身に着ける

授業計画

1	事前学習	PREP 法を復習する	9	事前学習	機能別組織とは
	授業計画	オリエンテーション（自己紹介、講義最終の目標とルールの提示）		授業計画	組織の適切な大きさ、肥大化と硬直化、パーキンソンの法則
	事後学習	一人の組織は存在するか考察する		事後学習	肥大化硬直化の改善さ実例
2	事前学習	意思決定とは何か調べる	10	事前学習	官僚制の歴史
	授業計画	組織の定義の考察、3 要素と組織意思決定のプロセスを		授業計画	インセティブシステムと官僚制組織の改善
	事後学習	コミュニケーション方法		事後学習	改善方法を提案する
3	事前学習	自らの労働体験と給料を振り返る	11	事前学習	自らをジョブデザインをする
	授業計画	誘因と貢献、組織の境界、組織と環境		授業計画	ライフスタイルとジョブデザイン、コミュニケーション、技術論
	事後学習	誘因と貢献のバランス		事後学習	自らのジョブデザインの見直し
4	事前学習	ドメインについての復習	12	事前学習	組織構造と文化
	授業計画	環境の戦略的選択、限定された合理化、囚人のジレンマ		授業計画	行動環境と組織文化の定義、形成、機能、革新
	事後学習	囚人のジレンマの脱出法		事後学習	マッキンゼーの 7S
5	事前学習	組織の外部資源依存とは何か	13	事前学習	自己承認欲求の例を上げる
	授業計画	不確実性への対応方法と利害者パワーとは何か、その対応方法		授業計画	モチベーション理論（マズロー、アダルファー多）
	事後学習	外部資源依存の危険性		事後学習	自己実現のための障害を考える
6	事前学習	組織を統治するためのポイント	14	事前学習	リーダーシップの具体例
	授業計画	個体群生態学モデル、スペシャリストとジェネラリスト、慣性の法則		授業計画	マネジメントコントロール、リーダーシップ、職場集団のダイナミックス
	事後学習	変革に失敗した会社例		事後学習	リーダーシップ限界例
7	事前学習	ステークホルダーとは何か	15	事前学習	授業の総括
	授業計画	組織の目標の作り方、コンフリクトと暫定解決、目標の変化		授業計画	定期試験
	事後学習	コンフリクトの重要性		事後学習	自己採点。復習。
8	事前学習	スタッフとは何か			
	授業計画	組織の有効性と能率、有効性を図るモデル、ラインとスタッフの違い			
	事後学習	組織図上のスタッフ部門の確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　桑田耕太郎・田尾雅夫
　　タイトル　組織論
　　出版社　有斐閣アルマ
参考書　著者名
　　タイトル　中小企業白書、日本経済新聞、日経 MJ などを適宜使用する
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	企業リサーチⅠ（秘書検定）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	椙山　裕子		
実務経験 教員紹介	メーカーでの勤務経験		

講義概要
日本の会社で働くにあたり、日本のビジネスマナーを学ぶことがとても重要です。秘書検定の実問題を解いていくことを通して、各状況に応じた上司や来客に対するふるまい方や、職務知識の習得を目指します。職場にて、周囲の人に対する思いやりや気遣いができ、上司の適切なサポートができるように学んでいきます。
達成目標
秘書検定の試験内容、時間配分、解き方を把握し、３級の試験合格を目指します。さらに問題が解けるだけではなく、難しい日本語表現を理解し、場面に応じた適切な言い方やふるまい方について理解します。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	オリエンテーション（講義の進め方、注意事項等）		授業計画	第 118 回過去問１～１７解説。役職の順位、福利厚生。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	10	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問１～１０解説。秘書とは？秘書検定とは？等		授業計画	第 118 回過去問１８～３５解説。上司への言葉遣い、事務用品の名称等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
3	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	11	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問１１～２３解説。専門用語とその意味。等		授業計画	第 117 回過去問１～１７解説。お礼の品の送り方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	12	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問２４～３５解説。上司と客へのあいさつの仕方。等		授業計画	第 117 回過去問１８～３５解説。客から用件を伺う際の振舞い方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	13	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 120 回過去問１～１７解説。秘書の仕事に対する心がけ。等		授業計画	第 116 回過去問１～１７解説。パーティーでの身だしなみ。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	14	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 120 回過去問１８～３５解説。尊敬語、謙譲語、封筒の敬称。等		授業計画	第 116 回過去問１８～３５解説。名刺へのメモの仕方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	15	事前学習	講義スライドを見直す。
	授業計画	第 119 回過去問１～１６解説。ミスを注意された時の心持ち。等		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく			
	授業計画	第 119 回過去問１７～３５解説。来客へのお茶出しの仕方。等			
	事後学習	講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　実務技能検定協会
　　タイトル　秘書検定３級実問題集
　　出版社　早稲田教育出版
参考書　著者名　佐藤一明
　　タイトル　秘書検定３級に面白いほど受かる本
　　出版社　KADOKAWA

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	企業リサーチⅡ（簿記）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	子記録債権･電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（３）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権･債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表　簿記Ｉの具体的作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳　株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権･債務の記帳　これからの時代の債権・債務を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（２）　貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務的種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（１）決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	範囲の復習をしっかりやろう
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（２）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	企業リサーチⅡ（組織論）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	福田　幸俊		
実務経験 教員紹介	・東証 1 部上場企業の組織運営、補佐として 12 年に渡る経験あり。 ・経営コンサルタントとして 30 社以上の企業指導の経験あり。		

講義概要
経営のライフサイクルと変革につき学ぶ。特に公的組織とボランタリー組織を中心としつつ、第三セクターの成功要因としっぱだけに問わず社会で広く活理論の正しさと同時に現実とのギャップについても認識し最適な組織の在り方を講義と議論を並行して行い模索する。なお人的資源管理は別講義で詳細を補うこととする。
達成目標
経営学の一環の観点からコンフリクトを受け入れ、リーダーシップを発揮しつつ、全体の価値観を変えることができること、高い倫理を保ち、組織を守りつつ変革できる組織設立の提言ができるようになる。

授業計画

1	事前学習	創業を仮定したスケジュール	9	事前学習	ヒューマンサービスとは何か
	授業計画	創業から経営安定までのイベント（ダーウィンの海他）		授業計画	ヒューマンサービス組織と官僚制組織の特徴
	事後学習	創業失敗のリスク		事後学習	両者の長所、短所を比較する
2	事前学習	ライフサイクルモデルとは	10	事前学習	プロボノとは何か
	授業計画	組織のサイフサイクルモデル。組織構造、組織文化両面からのアプローチ		授業計画	プロシェッションとプロボノ、経営管理の課題
	事後学習	会社を例にあげたＬＣＭの位置関係		事後学習	なぜプロボノが盛んになるのか
3	事前学習	抵抗勢力とは何か	11	事前学習	ボランタリスムの発祥
	授業計画	組織発展のモデルと組織変革への障害（抵抗勢力）		授業計画	ボランタリスム、収益組織とボランタリー組織の違い
	事後学習	劇的に発展した会社例の例示		事後学習	ボランタリー組織の実態
4	事前学習	慣性の法則の復習	12	事前学習	ボランタリー組織の収入源
	授業計画	戦略的組織変革の必要性と移行プロセスのマネジメント		授業計画	ボランタリー組織運用の課題と組織への支援策
	事後学習	移行失敗時のリスク		事後学習	ボランタリー組織への公的支援
5	事前学習	組織にとってのイノベーション	13	事前学習	ネットワーク組織とは何か
	授業計画	組織の自己学習、経営者と管理者の役割の違いと内容		授業計画	ネットワーク組織とインターネットの活用と課題
	事後学習	プレイングマネジャーとは		事後学習	インターネットの在り方
6	事前学習	公的セクターとは	14	事前学習	経営学とは何か
	授業計画	公的セクターの成り立ち、長所と欠点、将来性		授業計画	経営学と組織論の位置づけを総括し、課題を考える
	事後学習	将来性のつき自らの意見を考察する		事後学習	授業の総括を行う
7	事前学習	資本主義と社会主義	15	事前学習	試験準備
	授業計画	行政サービスの構造（夜警国家と福祉国家、社会主義）		授業計画	定期試験
	事後学習	各国の行政サービスの実態		事後学習	自己採点、復習
8	事前学習	世界の高齢化社会の実態			
	授業計画	日本における超高齢社会と地方自治の実態と将来			
	事後学習	自国の地方自治への提言			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　桑田耕太郎・田尾雅夫
　　タイトル　組織論
　　出版社　　有斐閣アルマ
参考書　著者名
　　タイトル　中小企業白書、日本経済新聞、日経 MJ などを適宜使用する
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	企業リサーチⅡ（秘書検定）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	椙山　裕子		
実務経験 教員紹介	メーカーでの勤務経験		

講義概要
日本の会社で働くにあたり、日本のビジネスマナーを学ぶことがとても重要です。秘書検定の実問題を解いていくことを通して、各状況に応じた上司や来客に対するふるまい方や、職務知識の習得を目指します。職場にて、周囲の人に対する思いやりや気遣いができ、上司の適切なサポートができるように学んでいきます。
達成目標
秘書検定の試験内容、時間配分、解き方を把握し、２級の試験合格を目指します。さらに問題が解けるだけではなく、難しい日本語表現を理解し、場面に応じた適切な言い方やふるまい方ができるようになります。

授業計画

1	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	9	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	後輩の指導。社内文書と書き方。ファイリング。弔事、葬儀について。		授業計画	コンピューター用語。電子メール。秘書の身だしなみ。上司の出張。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	10	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	補佐機能の本質。接遇用語。電話応対。社内文書。上書きの書き方。		授業計画	お茶の出し方。結婚祝い、慶事と種類。訃報を受けた時の対応。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
3	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	11	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	カタカナ語、略語。秘文書の扱い方。企業秘密。郵送方法。雑誌整理。		授業計画	説明と忠告。メモの作成。名刺整理。報告・説明・断り方・苦情処理。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	12	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	尊敬語、謙譲語。来客対応。上書き、宛名。		授業計画	文書の種類。財務用語。上司について知る範囲と印鑑の扱い。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	13	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	郵便の種類。会社用語。環境整備、職場のレイアウト。		授業計画	スケジュール管理。コンピューター用語。来客の案内・対応。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	14	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	二重敬語。上司の出張。不意の客の対応。会議の開催案内。		授業計画	カタログ整理。内線電話の対応。会議用語、手紙。小切手と手形。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	15	事前学習	講義スライドを見直す。
	授業計画	グラフの種類と書き方。秘書の仕事の限界。経営用語。		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく			
	授業計画	法律用語。複数の業務の依頼。業務の引継ぎ。予約のある客の対応。			
	事後学習	講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　佐藤一明
　　タイトル　秘書検定２級に面白いほど受かる本
　　出版社　KADOKAWA
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	接遇外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
日常的な英会話に必要な「文法知識」を整理すると共に、会話の練習を行うことで、「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、自分自身の力で発話をし、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit①		授業計画	Unit⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit②		授業計画	Unit⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③		授業計画	Unit⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④		授業計画	Unit⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤		授業計画	Unit⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥		授業計画	Unit⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）、（中級編）
　　出版社　　Cambridge University Press

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
「文法知識」を整理すると共に、時制の差について理解し、自分自身の言葉として発話できる為の「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くが「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、学習を行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、時制の差を理解し、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit①		授業計画	Unit⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit②		授業計画	Unit⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③		授業計画	Unit⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④		授業計画	Unit⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤		授業計画	Unit⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥		授業計画	Unit⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）、（中級編）
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	就職ケーススタディⅠ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義は、変化に柔軟に対応し、前向きに生きていくために必要な社会生活スキルの向上と発展を目的とする。社会人として必要な計画性、表現力、主体性、ストレス耐性を身につけられるよう実際の職場を想定したワークを通じ学ぶ。また文章での自己表現やグループワークを通しコミュニケーション力を高め、自分らしい働き方を探る。
達成目標
・自己理解を深め、進路に向けて具体的な行動に移す。 ・ビジネス場面で必要なコミュニケーション力と文章表現力を向上させる。 ・目標達成の方法について体系的に理解を深め実践の習慣をつける。

授業計画

1	事前学習	目標設定シートの作成	9	事前学習	目標設定シートの見直し
	授業計画	1年時の振り返り　卒業後の進路に向けての目標設定シート作成		授業計画	目標設定の評価中間チェック② 実行と実績振り返り
	事後学習	目標設定シートの完成		事後学習	目標設定シートの再策定
2	事前学習	応募書類の見直し	10	事前学習	最近気になるニュースのチェック
	授業計画	ビジネス文書の書き方①　履歴書の書き方復習・送付状の作成方法		授業計画	ビジネス文書の書き方② 報告書・意見書の作成
	事後学習	講義内容の復習と実践練習		事後学習	講義内課題の完成
3	事前学習	就活で困った事例の抽出	11	事前学習	アルバイトでよくある事例抽出
	授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）① 就職活動でよくある場面の対応		授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）③ 労働法と社会保障制度
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	講義内容の復習と実生活への活用
4	事前学習	企業の社会的意義について考える	12	事前学習	企業研究事前準備
	授業計画	企業研究①職種別の仕事内容の理解 グループワーク		授業計画	企業研究④業種別の業務内容の理解 サービスの仕事Ⅰ
	事後学習	CSR活動について調べる		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	目標設定シートの見直し	13	事前学習	企業研究事前準備
	授業計画	目標設定の評価中間チェック① 実行状況と実績振り返り		授業計画	企業研究⑤業種別の業務内容の理解 サービスの仕事Ⅱ
	事後学習	目標設定シートの再策定		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	企業研究事前準備	14	事前学習	前期講義内容見直し
	授業計画	企業研究②業種別の業務内容の理解 ものを作る仕事Ⅰ		授業計画	金銭管理の基礎知識　ライフイベントマネジメントプランを立てる
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	ライフマネジメントプランの完成
7	事前学習	企業研究事前準備	15	事前学習	前期講義内容の見直し
	授業計画	企業研究③業種別の業務内容の理解 ものを作る仕事Ⅱ		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	アルバイトでよくある事例抽出			
	授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)② 職場で起こりうる事例への対応			
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	就職ケーススタディⅡ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義では、職業生活をおくる、という視点から社会を取り巻く様々な状況について知り、ワークライフバランスを図りながら自分らしく働くために必要な知識を身につける。また、実際の自分の状況に照らし合わせて具体的にどのように生活を送ることができるか金銭面や法制度の活用方法についてもシュミレーションし、将来に備える。
達成目標
・卒業後の社会生活のイメージの形成と、前向きな取り組み姿勢の基盤を作る。 ・資金計画も含めた人生設計の方法について学ぶ。 ・ビジネス場面で必要なコミュニケーション力と文章表現力の向上

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	目標設定シートの見直し
	授業計画	後期講義内容の概要説明 自分自身の将来イメージ		授業計画	目標設定の評価中間チェック 実行と実績振り返りと再作成
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	目標設定シートの再策定
2	事前学習	目標設定シートの作成	10	事前学習	事前課題について考えてくる
	授業計画	前期の振り返りと卒業後の進路についての目標設定シート作成		授業計画	ビジネス文書の書き方③ 論理的に説明した文章
	事後学習	目標設定シートの完成		事後学習	論理的に説明した文章の書き方
3	事前学習	就活で困った事例の抽出	11	事前学習	講義内容についての事前学習
	授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）① 仕事でよくある場面の対応①		授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）③ 労働法と社会保障制度復習
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	講義内容の復習と就活への活用
4	事前学習	企業の社会的意義について考える	12	事前学習	講義内容について事前に調べてくる
	授業計画	企業研究①企業の社会的意義を学ぶ CSR活動事例紹介		授業計画	金銭管理の基礎知識 ライフイベントマネジメントプラン
	事後学習	CSR活動について調べる		事後学習	ライフマネジメントプランの完成
5	事前学習	CSR活動発表準備	13	事前学習	先輩への質問内容を考えてくる
	授業計画	自分ならこんなCSR活動を考える 自分のプラン発表		授業計画	企業人に聞く 学生時代にやっておくべきこと
	事後学習	発表内容の感想・まとめ		事後学習	講義内容の復習と実生活への活用
6	事前学習	社内と社外での敬語の使い方復習	14	事前学習	前期講義内容見直し
	授業計画	ビジネス文書の書き方② 社内文書・社外文書の書き方		授業計画	前期講義内容の総復習
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	前期講義内容の復習
7	事前学習	バイト先で対応に困った事例抽出	15	事前学習	前期講義内容の見直し
	授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)② 仕事でよくある場面の対応②		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	福利厚生についての事前学習			
	授業計画	企業研究②様々な福利厚生 福利厚生と社会保障制度			
	事後学習	講義内容の復習と就活への活用			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：40%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	メディアリテラシーⅠ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
この講義では世界遺産について学ぶことを通して、多様な文化や自然について DVD や学習動画などを用いて世界のいまについての知識を身につけるとともに、華やかに映る世界遺産の裏側で起きている様々な課題や自然保護の問題について取り上げ、メディアの果たすべき役割について取り上げます。
達成目標
世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産の現状と課題について学ぶ。資料作成の際の著作権等の扱いについて理解を深めるとともに、スライドの作成方法、zoom での画面共有方法についての知識を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産とは何か 世界遺産の概要説明と導入		授業計画	日本の文化遺産の現状と課題『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群他
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産の基礎知識 世界遺産条約と世界遺産の条件		授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 長崎と天草地方・琉球王国のグスク他
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	11	事前学習	Google スライドの使い方
	授業計画	日本の自然遺産の現状と課題 知床・白神山地・小笠原諸島・屋久島		授業計画	日本の宝ピックアップ Google スライドの使用方法についての理解
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	12	事前学習	Google スライドの使い方
	授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 平泉・富岡製糸場と絹産業遺産群他		授業計画	日本の宝ピックアップ Google スライドを使用した発表資料作成
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	13	事前学習	Google スライドの使い方
	授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 明治日本の産業革命遺産・富士山他		授業計画	日本の宝ピックアップ　作成した Google スライドの共有と発表
	事後学習	復習テスト		事後学習	発表内容のフィードバック
6	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	14	事前学習	前期講義資料見直し
	授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 紀伊山地の霊場と参詣道他		授業計画	日本の世界遺産総復習 メディアを用いた学習
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	15	事前学習	前期講義内容復習
	授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 法隆寺地域の仏教建造物群他		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験内容の復習
8	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる			
	授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 姫路城・広島平和記念碑他			
	事後学習	復習テスト			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　きほんを学ぶ世界遺産 100　世界遺産検定 3 級公式テキスト
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版
参考書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　世界遺産検定公式過去問題集
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版

年度	2021年度	学期	後期
科目名	メディアリテラシーⅡ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースキャリアプランニング専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
この講義では世界遺産について学ぶことを通して、多様な文化や自然について DVD や学習動画などを用いて世界のいまについての知識を身につけるとともに、華やかに映る世界遺産の裏側で起きている様々な課題や自然保護の問題について取り上げ、メディアの果たすべき役割について取り上げます。
達成目標
世界遺産の現状と課題について、事実の正確な理解ができるようになる。メディアによる取り上げ方の違いに気づき、自分の頭で考え判断する力をつける。自分が発信者となった時の正確な伝達方法を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	前期講義内容復習世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑧ 人権を尊重し、差別をなくすために
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義① 法隆寺の木造建築に学ぶ		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑨合掌造りから文化・自然・観光の共生を考える
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義② 姫路城を残してきた人々の働き		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑩文化と生活を守るための新たな人のつながり
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
4	事前学習	前回学習内容復習	12	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義③気候変動の影響を世界遺産から考える		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑪ 遺跡保存のための人材育成について
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
5	事前学習	前回学習内容復習	13	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義④ 世界遺産の観光地化について考える		授業計画	世界遺産まとめ①自分が気になる世界遺産について調べる
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
6	事前学習	前回学習内容復習	14	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑤ 自然保護のためにできること		授業計画	世界遺産まとめ②自分が気になる世界遺産について調べて発表する
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
7	事前学習	前回学習内容復習	15	事前学習	後期講義内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑥「平和のとりで」を築くことについて考える		授業計画	定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	前回学習内容復習			
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑦戦争の記憶から平和な社会をつくるために			
	事後学習	復習テスト			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期・通常
科目名	マーケティング戦略	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界でのサービスマーケティング・インターナルマーケティング。 現在は Twitter 活用し、動画配信者の認知度アップ・チャンネル登録者アップの SNS マーケティング		

講義概要
昨年度学んだ「マーケティング」「経営学」をふまえ、企業が目的を実現するための指針・土台となる「経営戦略」のうち「マーケティング戦略」を学ぶ。ビジネスパーソンとして、経営者による経営戦略から「どのような指針・土台をもとにマーケティングを展開していくか？」をビジネスフレームワークを用いて理解していく。
達成目標
（1）用語や定義に慣れる：経営・マーケティング戦略における用語や定義に慣れる。（2）フレームワークの活用：ビジネスフレームワークの「目的」や「使いどころ」を把握し、実践に使えるよう理解を進める。

授業計画

1	事前学習	マーケティング	9	事前学習	興味関心ある企業調査
	授業計画	ガイダンスおよび「マーケティング戦略の定義」		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」の作成演習と発表①
	事後学習	環境の変化と生活の変化		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
2	事前学習	ビジネス	10	事前学習	企業調査
	授業計画	「環境の変化」と「マーケティング戦略の必要性」		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」の作成演習と発表②
	事後学習	商品サービスが売れない理由		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
3	事前学習	消費行動の変化	11	事前学習	競合他社調査
	授業計画	環境変化による「生活・消費活動の変化」の関係性		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」で競合他社比較
	事後学習	消費活動の繋がりと派生		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
4	事前学習	消費活動の繋がりと派生	12	事前学習	企業研究・分析
	授業計画	「変化の指標」とマーケティングによる「意味と価値」づくり		授業計画	①マーケティング視点の企業研究②組織体制とマーケティング機能
	事後学習	商品サービスの意味と価値を探る		事後学習	特定企業の研究・分析
5	事前学習	商品サービスの意味と価値を探る	13	事前学習	業界研究・分析
	授業計画	演習：環境と商品サービスの意味と価値の変化①		授業計画	マーケティング視点での業界研究・分析と求人選び
	事後学習	商品購入までの流れと繋がり		事後学習	特定業界の研究・分析
6	事前学習	価値	14	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	演習：環境と商品サービスの意味と価値の変化②		授業計画	第１回～第 13 回講義の振り返りと要点の確認
	事後学習	価値のある・なし		事後学習	試験に向けた学習
7	事前学習	ビジネスモデル	15	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	フレームワークとビジネスモデル・ビジネスモデルキャンバス（BMC）		授業計画	定期試験
	事後学習	ビジネスモデルキャンバス		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	顧客満足			
	授業計画	「ビジネスモデルキャンバス作成事例」と演習			
	事後学習	各要素の繋がりと派生			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　オリヴァー・ガスマンほか
　　タイトル　ビジネスモデルナビゲーター
　　出版社　翔泳社
参考書　著者名　近藤哲朗
　　タイトル　ビジネスモデル 2.0 図鑑
　　出版社　株式会社 KADOKAWA

年度	2021年度	学期	後期・通常
科目名	経営戦略	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界で経営企画職でサービスマーケティング・インターナルマーケティング。起業後はTwitter活用SNSマーケティングと会社経営		

講義概要
「利益を出している企業には共通点（ビジネスモデル）がある」という視点から、経営戦略に基づいて創造される「ビジネスモデル」にはどのようなものがあるのか？を「ビジネスモデルナビゲーター・５５パターンカード」を用いて理解していきます。ビジネスモデルを知り、就職活動での企業選択や志望動機作成にも役立てる。
達成目標
５５パターンあるビジネスモデルのうち、とくに有名な企業や身近な商品サービスを扱うビジネスモデルを抽出。そのビジネスモデルの「仕組み」や「特長」について理解し、他の学生・学年にプレゼンテーションを実施。

授業計画

1	事前学習	ビジネスモデルとは何か	9	事前学習	フランチャイズ
	授業計画	ビジネスモデルの定義と必要性について共有し、５５パターンカード説明		授業計画	ビジネスモデル「フランチャイズ」の説明と演習
	事後学習	興味が持てたビジネスモデルを調査		事後学習	直販との違い
2	事前学習	フレームのメリットデメリット	10	事前学習	Amazon社のビジネス
	授業計画	ビジネスモデル「クロスセル」の説明と演習		授業計画	ビジネスモデル「ロングテール」の説明と演習
	事後学習	アップセル		事後学習	楽天とAmazonの比較
3	事前学習	定額制サービス	11	事前学習	興味ある企業のビジネスモデル
	授業計画	ビジネスモデル「サブスクリプション」の説明と演習		授業計画	興味ある企業のビジネスモデルを作成、５５パターンカードも引用
	事後学習	課金システム		事後学習	経営資源の流れとステークホルダー
4	事前学習	無料で貰える・使える商品サービス	12	事前学習	興味ある企業の競合他社調査
	授業計画	ビジネスモデル「フリーミアム」の説明と演習		授業計画	興味ある企業と競合他社のビジネスモデルと比較と図解化
	事後学習	シェアリングとは		事後学習	ビジネスモデルの相違点抽出
5	事前学習	ミニマリスト	13	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	ビジネスモデル「シェアリングエコノミーサービス」の説明と演習		授業計画	興味ある企業のビジネスモデル図解のプレゼンテーションと評価
	事後学習	レンタルとシェアの違い		事後学習	フィードバックを受けて再構築
6	事前学習	消費者の「モノを持たない価値」	14	事前学習	後期テキストの振り返り
	授業計画	習ったビジネスモデルを活用して「新しいビジネス」を作る		授業計画	第１回目～第１３回目講義の振り返りと質疑応答
	事後学習	経営資源の流れを図解		事後学習	前期テキストの振り返り
7	事前学習	新しいビジネスの価値提案	15	事前学習	前期・後期テキスト内容確認
	授業計画	新しいビジネスの図解化とプレゼンテーション準備		授業計画	定期試験
	事後学習	プレゼンのタイムマネジメント		事後学習	テキスト見直し
8	事前学習	プレゼン準備			
	授業計画	「新しいビジネス」のプレゼンテーション実施と評価			
	事後学習	評価を踏まえて再構築			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　オリヴァー・ガスマンほか
　　タイトル　ビジネスモデルナビゲーター
　　出版社　翔泳社
参考書　著者名　近藤哲朗
　　タイトル　ビジネスモデル2.0図鑑
　　出版社　株式会社KADOKAWA

年度	2021 年度	学期	前期・通常
科目名	ビジネスマナーⅢ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
1 年次に学んだビジネスマナーの理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。就職活動において企業と接する際に必要となるビジネスメールのやり取りや、携帯電話のマナーと応対、名刺の取り扱いなどを習得する。企業訪問の際の振る舞いや受付方法を学ぶ。社会人の常識として知っておきたい基礎用語を学習する。
達成目標
ビジネスメールのマナーを守って企業の人事担当とやり取りが出来る。ビジネス文書送付の際の添え状を作成出来る。郵便物の宛名を正しく書ける。報告書やレポートの書き方、社会人常識基礎用語がわかる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	会社訪問体験を書き出す
	授業計画	1 年間の成長を振り返り 2 年次の学習目標を設定する		授業計画	会社訪問の準備　受付での振る舞いロールプレイング
	事後学習	1 年次の復習ポイントを洗いだす		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
2	事前学習	3 か月後の姿を言語化する	10	事前学習	名刺デザインを考える
	授業計画	オンラインコミュニケーションの身だしなみ 画面越しの会話テクニック		授業計画	名刺交換　紹介の仕方５つのケースロールプレイング
	事後学習	オンラインの際の背景を整える		事後学習	名刺を 5 枚作成する
3	事前学習	自己 PR の準備をする	11	事前学習	日本企業の役職を復習しておく
	授業計画	内定に繋がる自己アピール　仕事に繋がる自己紹介の準備方法		授業計画	様々な場面の席次　応接室･会議室･エレベーター・車など
	事後学習	自己 PR を修正し内容を整える		事後学習	フォームを使って小テスト
4	事前学習	身近なビジネス文書を集める	12	事前学習	雑談の話題を見つける
	授業計画	ビジネス文書の基本形　履歴書送付状（下書き）作成　宛名書き実習		授業計画	心の壁を取り除く雑談力の伸ばし方ショートスピーチ
	事後学習	PC で添え状を作成する		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
5	事前学習	メールの利用体験を書き出す	13	事前学習	５W3H について予習しておく
	授業計画	ビジネスメールのマナー　面接のお礼メールを下書き		授業計画	日報・報告書の役割と書き方　守秘義務と情報の取り扱い
	事後学習	お礼メール下書きを PC 入力する		事後学習	授業内容を報告書形式でまとめる
6	事前学習	1 年次の電話応対を復習する	14	事前学習	配布資料を読んでおく
	授業計画	携帯電話のマナーと活用　挨拶･基本動作実習		授業計画	各種資料を引用・要約する際のルール著作権
	事後学習	電話応対定型句集を作成する		事後学習	引用を使ってレポートを作成する
7	事前学習	頭語・結語について調べる	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	ビジネスコミュニケーションツールの使い分け		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	具体的な訪問先を見つけておく			
	授業計画	訪問アポイントメントの取り方　メールの場合、電話の場合の実習			
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われるビジネスマナー完全版
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	後期・通常
科目名	ビジネスマナーⅣ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
2 年間の総仕上げとして、社会人として知っておきたい大人のマナーについて学習する。ビジネスマナーは勿論のこと、冠婚葬祭の基礎知識、食事のマナー、ビジネスチャンスに繋がる季節の行事や日本のしきたりなど、人として高評価を得られるような知識に触れ、日本社会に対しての理解を深めるとともに人間力を磨く。
達成目標
冠婚葬祭の目的や意義を理解し、ビジネスマンとして対応出来るようになる。会食の席で堂々とふるまえるような食事のマナーを学び、品格ある行動が出来るようになる。社会人常識マナー検定 2 級レベルの知識を身につける。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題
	授業計画	ビジネスマナーⅠ・Ⅱ・Ⅲの振り返りと今後の課題を確認		授業計画	和食のマナー　日本料理の基礎知識 箸使いの作法
	事後学習	ビジネスマナーⅣの目標を設定する		事後学習	箸使いの練習をする
2	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句①	10	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭の目的と意義　冠婚葬祭とビジネスの関係		授業計画	西洋料理のマナー　食事の仕方とカトラリーの使い方
	事後学習	自国の通過儀礼について調べる		事後学習	ナイフ・フォークで食事をする
3	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句②	11	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭　日本の主な通過儀礼「冠」のしきたり		授業計画	中華料理のマナー　中華料理の基礎知識と回転卓の作法
	事後学習	自国の結婚について調べる		事後学習	食事のマナーについてレポート作成
4	事前学習	社会常識　欧文略語	12	事前学習	社会常識　総合問題①
	授業計画	冠婚葬祭　「婚」のしきたり　招待客としてのマナー		授業計画	縦書きのビジネス文書　案内状・招待状・お礼状
	事後学習	自国の葬儀について調べる		事後学習	お礼状を出す相手を決める
5	事前学習	社会常識　主要国名と首都名	13	事前学習	社会常識　総合問題②
	授業計画	冠婚葬祭　「葬」のしきたり　ビジネスにおける訃報対応		授業計画	縦書き手書きのお礼状　下書き文章を作成する
	事後学習	自国の季節行事について調べる		事後学習	筆ペンを準備する
6	事前学習	税金や社会保障制度に関する用語	14	事前学習	社会常識　総合問題③
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり①　季節の行事		授業計画	筆ペンの使い方実習　お礼状を清書し仕上げる
	事後学習	自国と日本の行事を比較する		事後学習	フォームを使って授業内容報告
7	事前学習	社会常識　時事問題	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり②　暦と二十四節気		授業計画	定期試験
	事後学習	冠婚葬祭の学習レポートを作成する		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題			
	授業計画	食事のマナー　食文化と歴史　食事とビジネスの関係			
	事後学習	フォームを使って授業内容報告			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 2 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2021 年度	学期	前期・通常
科目名	プレゼンテーションⅢ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては２つの目的を持って取り組む。１つは就職活動場面においての適切な表現方法の習得。もう１つはプレゼンテーションにおいて 1 年次はグループ発表がメインだったが、個人でのスライド作成、構成作成、表現ができることを目標に個人での発表を行う。
達成目標
就職活動において企業側の意図を想定した応答ができ、効果的に自分自身をアピールできる。プレゼンテーションにおいて、単独でパワーポイントによる資料作成、構成作成、表現ができる。どちらも論理的表現ができる。

授業計画

1	事前学習	現在の就職活動の整理	9	事前学習	スティーブジョブスの情報収集
	授業計画	就職活動表現①自己 PR:場面に応じた自己紹介及び就活での効果的 PR		授業計画	プレゼンテーション④表現２：孫正義動画から表現法理解、実践
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	志望理由作成	10	事前学習	TED 動画視聴
	授業計画	就職活動表現②志望理由:様々な業種に応じた理由の違い及び実践練習		授業計画	プレゼンテーション⑤表現３:TED 動画から表現法理解、実践
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	就活質問解答準備	11	事前学習	過去自身の作成スライドを確認
	授業計画	就職活動表現③その他質問:企業心理の分析及びそれに応じた解答作成		授業計画	プレゼンテーション⑥スライド作成:5 秒でわかるスライド作成法
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	就活態度の確認	12	事前学習	ジェスチャーの意義を確認
	授業計画	就職活動表現④態度・言葉遣い:面接や電話応答での動作理解及び実践		授業計画	プレゼンテーション⑦表現動作：人を惹きつけるジェスチャー講義
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	面接想定練習	13	事前学習	発表テーマ選定
	授業計画	就職活動表現⑤模擬面接会（面接、評価、FB）		授業計画	プレゼンテーション⑧発表準備（構成・セリフ作成、スライド準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	前回プレゼン講義内容整理	14	事前学習	発表準備
	授業計画	プレゼンテーション①決意表明:1 年の決意表明を構成、表現を動画撮影		授業計画	プレゼンテーション⑨個人発表（発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
7	事前学習	プレゼンテーション専門用語確認	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	プレゼンテーション②プレゼンテーションのアウトライン確認		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	チームワーク考察			
	授業計画	プレゼンテーション③表現１:ジョブス動画から表現法理解、実践			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　カーマイン・ガロ
　　タイトル　スティーブジョブス驚異のプレゼン
　　出版社　　日経 BP 社

年度	2021 年度	学期	後期・通常
科目名	プレゼンテーションⅣ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においてはプレゼンテーションを軸とした様々な表現方法を学習する。プレゼンテーションの他にも企画書や CM 動画作成などを通して場面に応じた柔軟な表現力獲得を目指す。またその過程でのグループ作業を通してチームビルディングに必要な知識を学習する。
達成目標
受容、共感を用いて相手の気持ちを重視した傾聴ができる。チームの役割を把握したグループ作業ができる。CM,企画書、スピーチ、ビジネスプレゼン等場面での表現ができる。効果的な発声やアクセントができる。

授業計画

1	事前学習	前回スピーチ講義内容確認	9	事前学習	自身作成の CM 内容理解
	授業計画	スピーチ①表現法：呼吸法、発声法及び表現方法の理解、実践		授業計画	チームビルディング④：CM 講評会（視聴、発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	スピーチ発表準備	10	事前学習	前回ビジネスプレゼン内容確認
	授業計画	スピーチ②スピーチコンテスト（発表、評価、FB）		授業計画	ビジネスプレゼン①言葉遣い・動作：ビジネス場面における作法の理解
	事後学習	自身発表振り返り		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ビジネス文書予習	11	事前学習	構成についてポイント確認
	授業計画	ビジネス文書①ビジネス文書作成ルール		授業計画	ビジネスプレゼン②社外プレゼン（社内プレゼンとの違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	企画書案予習	12	事前学習	スライド作成法振り返り
	授業計画	ビジネス文書②企画書作成（目的と作成方法）		授業計画	ビジネスプレゼン③社外プレゼンスライド作成
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	企画書発表準備	13	事前学習	テーマ選定
	授業計画	ビジネス文書③企画発表（企画書⇒スライド作成）		授業計画	ビジネスプレゼン④社外プレゼン発表準備（発表、評価、FB）
	事後学習	自身発表振り返り		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	チームワークのポイント確認	14	事前学習	発表準備
	授業計画	チームビルディング①基礎概論：グループとチームの違い		授業計画	ビジネスプレゼン⑤発表会（発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	チームワークのポイント確認	15	事前学習	期末試験範囲の復習
	授業計画	チームビルディング②実践：企業研修での複数タスクの実践練習		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	有名 CM 視聴及び感想作成			
	授業計画	チームビルディング③CM 作成：役割分担、メッセージ確認し動画撮影			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　前田鎌利
　　タイトル　社外プレゼンの資料作成術
　　出版社　　ダイヤモンド社

年度	2021 年度	学期	前期・通常
科目名	外国語演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本の社会や文化について英語で説明ができるよう、適切な言語知識を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の２級または 3 級の資格取得,TOEIC600 点取得を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語での自己紹介･当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の基礎 日本の都市、地方 2
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の地勢１		授業計画	英語表現の基礎 日本の交通
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の地勢２		授業計画	英語表現の基礎 日本のインフラストラクチャー
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（古代から中世）1		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活文化１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（古代から中世）2		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活文化２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（近代）３		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（近代）４		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の基礎 日本の都市、地方１			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　江口裕之
　　タイトル　英語で語る日本事情 2020
　　出版社　　The Japan Times
参考書　著者名　　山口百々男
　　タイトル　英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産
　　出版社　　三修社

年度	2021 年度	学期	後期・通常
科目名	外国語演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
英語と日本語を対比させながら、適切な言語表現と文法などの言語知識を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の 3 級または２級の資格取得、TOEIC800 点取得を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産４
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の慣習・儀式１		授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産５
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の慣習・儀式２		授業計画	英語表現の基礎 日本の観光地
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の宗教１		授業計画	英語表現の基礎 日本の観光の課題
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の宗教２		授業計画	英語表現の基礎 インバウンドデザイン
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産１		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産２		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産３			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期・集中
科目名	卒業演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では卒業研究課題作成に向け、テーマ選定のためのアプローチ方法や課題作成の基本ルールについて、文章作成のワークを通じて学習する。提示した素材ごとに各自が取り組みたいテーマを設定し、それについて掘り下げて追及する練習を行う。また説得力のある文章構成に必要な要素について学習し研究課題の選定に活かす。
達成目標
卒業研究課題の設定を目標とする。ニュース、日常生活、好きなこと、学習内容の中から項目ごとに研究課題を設定し、仮の研究背景や目的について追及し、文章化する練習を行うことで最適な研究課題を見つけ出す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究とは何か テーマの探し方､情報収集の仕方と実践練習		授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「日常生活１」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
2	事前学習	学習内容の予習	10	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究の基本事項① 引用文の扱い方、文体、内容		授業計画	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「日常生活２」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
3	事前学習	学習内容の予習	11	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究課題設定の基本事項② 研究背景、目的、文章構成の方法		授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「講義内容１」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
4	事前学習	学習内容の予習	12	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究課題設定の基本事項③ 研究の進め方、展開方法		授業計画	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「講義内容２」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
5	事前学習	学習内容の予習	13	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース１」		授業計画	前回学習内容の復習 卒業研究の目的の再確認・補足事項
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
6	事前学習	学習内容の予習	14	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース２」		授業計画	卒業研究課題作成の基本事項確認 テーマの決定
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
7	事前学習	学習内容の予習	15	事前学習	前期学習内容の復習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなもの１」		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	学習内容の予習			
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなもの２」			
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期・通常
科目名	卒業演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では卒業研究課題設定に向け、テーマ選定のためのアプローチ方法や課題作成の基本ルールについて、文章作成のワークを通じて学習する。提示した素材ごとに各自が取り組みたいテーマを設定し、それについて掘り下げて追及する。また説得力のある文章構成に必要な要素について学習し課題作成に活かす。
達成目標
卒業研究課題の追求と文章作成。自らの活動体験に基づき、得た気づきの中から個人もしくはグループで課題を設定する。もしくは、講義内で取り上げた身近なテーマを題材とし、追求し卒業研究課題を決定する。

授業計画

1	事前学習	卒業研究のための事前準備	9	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究課題の確認と諸注意 今後のスケジュールの確認と卒論作成		授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑧
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
2	事前学習	卒業研究のための事前準備	10	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク①		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章初稿提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
3	事前学習	卒業研究のための事前準備	11	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク②		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章校正
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
4	事前学習	卒業研究のための事前準備	12	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク③		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
5	事前学習	卒業研究のための事前準備	13	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究構成概要の提出 個人またはグループでのワーク④		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章最終校正
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
6	事前学習	卒業研究のための事前準備	14	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑤		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章最終提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
7	事前学習	卒業研究のための事前準備	15	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑥		授業計画	定期試験
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	定期試験見直し
8	事前学習	卒業研究のための事前準備			
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑦			
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：50%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　酒井聡樹
　　タイトル　これからレポート・卒論を書く若者のために
　　出版社　　共立出版

年度	2021 年度	学期	後期・集中
科目名	卒業演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では作成した卒業研究文を基に、卒業研究発表のためのスライドの作成及びプレゼンテーション準備を行う。この 2 年間での学びを活かし、より人の心に伝わる、人の心を動かす発表を目指し、スライドの機能およびプレゼンテーションの流れについて改めて振り返りながら専門学校の学びの集大成として一つの形にまとめる。
達成目標
卒業研究課題の引き続きの追求と卒業研究文を基に、スライドを用いた卒業研究発表の作成準備と発表の実行。専門学校 2 年間の学びの集大成の成果として発表を行うことで、自身の学びを将来に繋げる。

授業計画

1	事前学習	卒業研究文の見直し	9	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究発表概要 今後のスケジュール確認とスライド構成概要説明		授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑧
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
2	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	10	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク①		授業計画	卒業研究発表スライド完成 卒業研究発表スライド初稿提出
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
3	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	11	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク②		授業計画	卒業研究発表予行演習①　卒業研究発表スライドの内容見直しと修正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
4	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	12	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク③		授業計画	卒業研究発表スライド作成 卒業研究発表スライドの再校正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
5	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	13	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究発表スライド構成概要の提出 個人またはグループでのワーク④		授業計画	卒業研究発表会予行演習② 卒業研究課題の調査結果文章最終校正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
6	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	14	事前学習	卒業研究発表のための最終準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑤		授業計画	卒業研究発表会 卒業研究発表の評価とフィードバック
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表内容振り返り
7	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	15	事前学習	後期講義内容の見直し
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑥		授業計画	定期試験
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	定期試験見直し
8	事前学習	卒業研究発表のための事前準備			
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑦			
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：20%　＜（　課題・小テスト　）＞：60%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　酒井聡樹
　　タイトル　これからレポート・卒論を書く若者のために
　　出版社　　共立出版

年度	2021年度	学期	前期・集中
科目名	ホスピタリティ経営論Ⅰ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
「ホスピタリティ」の概念や理念が、どのように企業経営に活かされているのか。当講義では、顧客満足、従業員満足を追求している企業の実例をケーススタディとして用いながら、「ホスピタリティ」とは何か、CS、ESとの関係性などを経営者の視点から考えることを学ぶ。
達成目標
サービスプロフィットチェーンにおける「CSとESの関係」、「利益向上とESの関係」、「ESを高めるために重要なこと」などを経営者の視点から論理的に考察し、将来の自分の仕事に活かすことを目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリント通読	9	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	ホスピタリティとは何か、「相手の立場に立って考える」ことの重要性		授業計画	従業員満足を高める要因について①「トータルリワード（総報酬）」
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリント通読	10	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	サービスレベルとホスピタリティ①5段階のサービスレベル		授業計画	従業員満足を高める要因について②「働きやすい企業ランキング」分析
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリント通読	11	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	サービスレベルとホスピタリティ②サービスプロフィットチェーンとは		授業計画	従業員満足を高める要因について③「働きやすい企業ランキング」分析
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリント通読	12	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	顧客満足度とは何か①顧客満足度と売上・利益の関係性		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリント通読	13	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	顧客満足度とは何か②ホスピタリティと顧客満足度の関係		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリント通読	14	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	企業ケーススタディ①、グランドハイアット東京の経営理念・行動指針		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析③
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリント通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	企業ケーススタディ②、加賀屋のホスピタリティ・ケーススタディ①		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリント通読			
	授業計画	企業ケーススタディ②、加賀屋のホスピタリティ・ケーススタディ②			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期・集中
科目名	ホスピタリティ経営論Ⅱ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
前期に学習した「ホスピタリティ経営論Ⅰ」を更に発展させ、「ホスピタリティサービスを提供できる人材を育てられること」を主眼に置き、学習する。スタッフの視点だけではなく、経営者としての視点が身に着けられるよう、顧客・従業員エンゲージメントや、企業理念がホスピタリティに与える影響を学ぶ。
達成目標
「ホスピタリティサービスを提供できる人材を育てられること」を理解できるようになり、より経営的な視点からホスピタリティを捉え、将来企業でマネジメント職に就いた場合に活かせる考え方を身に着けることを目指す。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリント通読	9	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	前期内容　復習､ES→ホスピタリティ→サービスレベル→CSの連鎖		授業計画	ケーススタディ②「大東建託」のホスピタリティと研修制度②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリント通読	10	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント①より高い従業員満足を得るための条件とは		授業計画	ケーススタディ③「星野リゾート」のホスピタリティマネジメント①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリント通読	11	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント②　総報酬とESの関係性について		授業計画	ケーススタディ③「星野リゾート」のホスピタリティマネジメント②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリント通読	12	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント③顧客エンゲージメントとの関係		授業計画	観光業のホスピタリティ、インバウンドビジネスの概要①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリント通読	13	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	経営戦略基礎、「理念の共有」とホスピタリティの関係		授業計画	観光業のホスピタリティ、インバウンドビジネスの概要②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリント通読	14	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	企業ケーススタディ①「TESSEI」のホスピタリティと現場力①		授業計画	ホスピタリティ経営について総復習、理念の共有・研修・実践について
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリント通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	企業ケーススタディ①「TESSEI」のホスピタリティと現場力②		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリント通読			
	授業計画	ケーススタディ②「大東建託」のホスピタリティと研修制度①			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期・通常
科目名	情報処理Ⅲ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、WORDの操作をビジネスレベルで使えるようになることを目的とする。そのため、場面に応じたルールや使用する言葉を理解し、ビジネスメールが作成できること、CS検定WORD２級取得ができるPCスキルが身につけられる内容となっている。
達成目標
ブラインドタッチで平均以上での文字入力ができる。ビジネス場面における適切なメールを作成することができる。CS検定2級レベルのWORDでの操作ができ、ビジネス場面において通用するレベルのPC操作ができる。

授業計画

1	事前学習	PC起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネス用語①（敬語、尊敬語、謙譲語）		授業計画	CS検定課題１文字入力①、Word振り返り③（ワードアート、画像）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネス用語②（ビジネスメール専門用語、構成）		授業計画	CS検定課題１文字入力②、Word振り返り④表作成（設定等）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、ビジネスメール①（就活場面メール）		授業計画	CS検定２級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、ビジネスメール②（同僚や社内メール）		授業計画	文書課題作成、CS検定Word２級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、ビジネスメール③（取引先やお客様等社外メール）		授業計画	文書課題作成、CS検定Word２級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、ビジネスメール振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前Word操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、Word 振り返り①文書作成（配置装飾等基本操作）Word表作成（表作成、レイアウト、スタイル）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、Word 振り返り②文書編集（書式設定、段組み設定）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist Word 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期・通常
科目名	情報処理Ⅳ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、PC操作をビジネスレベルで使えるようになることを目的とする。目的は二つ、一つはWORDを使用しての社内・社外文書、議事録を作成できること。もう一つはEXCELをビジネス場面で使用できること。そのため、EXCELはCS検定WORD２級取得ができるPCスキルが身につけられる内容となっている。
達成目標
ブラインドタッチで平均以上での文字入力ができる。ビジネス場面における適切な社内・社外文書・議事録を作成できる。CS検定2級レベルのEXCELでの操作ができ、ビジネス場面において通用するPC操作ができる。

授業計画

1	事前学習	PC起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネスマナー講義①社内･社外文書（目的・ビジネス用語・構成）		授業計画	CS検定課題１①､EXCEL振り返り③（数式・関数）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、社内文書作成（会議等お知らせ）		授業計画	CS検定課題１②､EXCEL振り返り④（グラフ作成）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、社外文書作成（会議等お知らせ）		授業計画	CS検定２級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネスマナー講義②会議議事録（目的・ビジネス用語、構成）		授業計画	文書課題作成、CS検定EXCEL２級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、会議議事録作成（実際の討論後作成）		授業計画	文書課題作成、CS検定EXCEL２級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、社内・社外文書作成振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前EXCEL操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、EXCEL 振り返り①（ワークシート・ブック）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、EXCEL 振り返り②（セル・テーブル）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist EXCEL 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期・通常
科目名	消費者行動論	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
人間の心理面に焦点をあて、市場で製品が売れる課程を理解していく。特に、その課程において企業や店舗がどのように関わっているのか、人が選択する際の「くせ」（不合理）を伝統経済学やマーケティング、行動経済学等幅広い視点から理解できる内容とする。
達成目標
人間心理に基づいた購買行動を理解することで、今後の仕事における顧客心理に基づいた応対や企画はもちろん、普段のアルバイト接客や買い物、自身の学習計画の履行等で広く活用していくことを目標とする。

授業計画

1	事前学習	マーケティング用語を調べる	9	事前学習	男女の違い調査
	授業計画	マーケティング基礎講義：1.0-4.0 マーケティング比較		授業計画	消費者行動③男女別マーケティングと事例紹介
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
2	事前学習	ホスピタリティ用語を調べる	10	事前学習	認知学用語を調べる
	授業計画	ホスピタリティ基礎講義：顧客満足とは		授業計画	消費者行動④ニューロンマーケティングと事例紹介
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
3	事前学習	経済学用語を調べる	11	事前学習	EC 用語を調べる
	授業計画	経済学基礎講義：機会費用、希少性、代替え財等法則		授業計画	最新消費者行動①AIDMA と AISAS の購買行動
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
4	事前学習	経済学用語を調べる２	12	事前学習	EC 用語を調べる 2
	授業計画	行動経済学講義①：伝統経済学との違い		授業計画	最新消費者行動②EC マーケティングとショールーミング
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
5	事前学習	行動経済学用語調べる１	13	事前学習	2025 年調査
	授業計画	行動経済学講義②：ヒューリスティックとシステマティック		授業計画	最新消費者行動③2025 年における消費者行動
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
6	事前学習	行動経済学用語を調べる２	14	事前学習	流行用語を調べる
	授業計画	行動経済学講義③：プロスペクト理論とナッジ理論		授業計画	イノベーションと流行の関係、流行を作ろう
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
7	事前学習	購入パターン調査	15	事前学習	これまでのテスト範囲の復習
	授業計画	消費者行動①購買意思決定プロセスと事例紹介		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	定期試験解答内容の確認
8	事前学習	カラー用語を調べる			
	授業計画	消費者行動②カラーマーケティングと事例紹介			
	事後学習	学習内容復習課題			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　田中洋
　　タイトル　消費者行動論
　　出版社　　中央経済社

年度	2021 年度	学期	前期・集中
科目名	イベントマネジメント	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的はイベントマネジメントに必要な知識を身につけることで企画力・立案力・関係者との交渉力・管理力等総合的人間力の向上を図ることである。そのため、スポーツ・観光におけるイベント企画・開催を通して、スキルを身につける体験型の講義内容としている。
達成目標
イベント開催に必要な段取り、必要なスキルを理解する。飲み会の幹事からビジネスのプロジェクトにいたるまで、基本の構成が同じであることを理解し、日常生活における様々なイベント開催に積極的な姿勢で参加ができる。

授業計画

1	事前学習	イベント企画情報収集	9	事前学習	イベント準備
	授業計画	イベントマネジメント①概論（定義、必要なスキル）		授業計画	スポーツイベント⑤校内スポーツ大会開催（当日進行管理）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	イベント振り返り
2	事前学習	イベントマネジメント情報収集	10	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント②企画力（目的、メリット、メッセージ）		授業計画	観光イベント①外国人観光客の現状と人気スポット
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	イベントマネジメント情報収集	11	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント③交渉力（傾聴、共感等スキルトレーニング）		授業計画	観光イベント②観光スポット調査（浅草インタビュー）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	レポート作成
4	事前学習	イベントマネジメント情報収集	12	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント④計画立案(効率、実現性、管理)		授業計画	観光イベント③観光スポット調査（鎌倉インタビュー）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	レポート作成
5	事前学習	スポーツイベント情報収集	13	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	スポーツイベント①オリンピックビジネスと経済効果		授業計画	観光イベント④イベント準備（学内留学生観光イベント立案）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	スポーツイベント情報収集	14	事前学習	イベント準備
	授業計画	スポーツイベント②オリンピック競技体験（アーチェリー）		授業計画	観光イベント⑤学内留学生観光イベント開催
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	スポーツイベント情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	スポーツイベント③オリンピック競技体験（テニス）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	スポーツイベント情報収集			
	授業計画	スポーツイベント③イベント準備(校内スポーツ大会立案)			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期・集中
科目名	時事研究Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定準 2 級・3 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新国内時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。社会問題・環境問題に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題の話題が出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０日本時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動:ゴミ処理場見学（インタビュー、撮影、レポート）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「社会・環境」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「社会・環境」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史後期(調査･討論･事例紹介)		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（アフリカ）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策準２級・２級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①再生可能エネルギー（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策準２級・２級②社会・環境/国際（過去問実践９
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の社会・環境（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の社会・環境（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本時事能力検定協会監修
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」発展編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021 年度	学期	後期・集中
科目名	時事研究Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定 1 級・2 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新海外時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。国際問題に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題の話題が出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０世界時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動：お寺・教会比較見学（インタビュー、撮影、レポート）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「国際問題」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「国際問題」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史近代（調査・討論・事例紹介）		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（紛争と戦争）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策１・２級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①AI と将来の仕事（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策１・２級②社会・環境/国際（過去問実践９
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の宗教（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の宗教（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本時事能力検定協会監修
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」発展編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021年度	学期	前期・集中
科目名	接遇外国語Ⅰ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
日常的な英会話に必要な「文法知識」を整理すると共に、会話の練習を行うことで、「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、自分自身の力で発話をし、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit①		授業計画	Unit⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit②		授業計画	Unit⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③		授業計画	Unit⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④		授業計画	Unit⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤		授業計画	Unit⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥		授業計画	Unit⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）、（中級編）
　　出版社　　Cambridge University Press

年度	2021 年度	学期	後期・集中
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
「文法知識」を整理すると共に、時制の差について理解し、自分自身の言葉として発話できる為の「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くが「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、学習を行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、時制の差を理解し、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit①		授業計画	Unit⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit②		授業計画	Unit⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③		授業計画	Unit⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④		授業計画	Unit⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤		授業計画	Unit⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥		授業計画	Unit⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）、（中級編）
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期・通常
科目名	就職ケーススタディⅠ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義は、変化に柔軟に対応し、前向きに生きていくために必要な社会生活スキルの向上と発展を目的とする。社会人として必要な計画性、表現力、主体性、ストレス耐性を身につけられるよう実際の職場を想定したワークを通じ学ぶ。また文章での自己表現やグループワークを通しコミュニケーション力を高め、自分らしい働き方を探る。
達成目標
・自己理解を深め、進路に向けて具体的な行動に移す。 ・ビジネス場面で必要なコミュニケーション力と文章表現力を向上させる。 ・目標達成の方法について体系的に理解を深め実践の習慣をつける。

授業計画

1	事前学習	目標設定シートの作成	9	事前学習	目標設定シートの見直し
	授業計画	1 年時の振り返り 卒業後の進路に向けての目標設定シート作成		授業計画	目標設定の評価中間チェック② 実行と実績振り返り
	事後学習	目標設定シートの完成		事後学習	目標設定シートの再策定
2	事前学習	応募書類の見直し	10	事前学習	最近気になるニュースのチェック
	授業計画	ビジネス文書の書き方① 履歴書の書き方復習・送付状の作成方法		授業計画	ビジネス文書の書き方② 報告書・意見書の作成
	事後学習	講義内容の復習と実践練習		事後学習	講義内課題の完成
3	事前学習	就活で困った事例の抽出	11	事前学習	アルバイトでよくある事例抽出
	授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）① 就職活動でよくある場面の対応		授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）③ 労働法と社会保障制度
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	講義内容の復習と実生活への活用
4	事前学習	企業の社会的意義について考える	12	事前学習	企業研究事前準備
	授業計画	企業研究①職種別の仕事内容の理解 グループワーク		授業計画	企業研究④業種別の業務内容の理解 サービスの仕事Ⅰ
	事後学習	CSR 活動について調べる		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	目標設定シートの見直し	13	事前学習	企業研究事前準備
	授業計画	目標設定の評価中間チェック① 実行状況と実績振り返り		授業計画	企業研究⑤業種別の業務内容の理解 サービスの仕事Ⅱ
	事後学習	目標設定シートの再策定		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	企業研究事前準備	14	事前学習	前期講義内容見直し
	授業計画	企業研究②業種別の業務内容の理解 ものを作る仕事Ⅰ		授業計画	金銭管理の基礎知識 ライフイベントマネジメントプランを立てる
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	ライフマネジメントプランの完成
7	事前学習	企業研究事前準備	15	事前学習	前期講義内容の見直し
	授業計画	企業研究③業種別の業務内容の理解 ものを作る仕事Ⅱ		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	アルバイトでよくある事例抽出			
	授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)② 職場で起こりうる事例への対応			
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期・通常
科目名	就職ケーススタディⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース　ホテリエ・キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義では、職業生活をおくる、という視点から社会を取り巻く様々な状況について知り、ワークライフバランスを図りながら自分らしく働くために必要な知識を身につける。また、実際の自分の状況に照らし合わせて具体的にどのように生活を送ることができるか金銭面や法制度の活用方法についてもシュミレーションし、将来に備える。
達成目標
・卒業後の社会生活のイメージの形成と、前向きな取り組み姿勢の基盤を作る。 ・資金計画も含めた人生設計の方法について学ぶ。 ・ビジネス場面で必要なコミュニケーション力と文章表現力の向上

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	目標設定シートの見直し
	授業計画	後期講義内容の概要説明 自分自身の将来イメージ		授業計画	目標設定の評価中間チェック 実行と実績振り返りと再作成
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	目標設定シートの再策定
2	事前学習	目標設定シートの作成	10	事前学習	事前課題について考えてくる
	授業計画	前期の振り返りと卒業後の進路についての目標設定シート作成		授業計画	ビジネス文書の書き方③ 論理的に説明した文章
	事後学習	目標設定シートの完成		事後学習	論理的に説明した文章の書き方
3	事前学習	就活で困った事例の抽出	11	事前学習	講義内容についての事前学習
	授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）① 仕事でよくある場面の対応①		授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）③ 労働法と社会保障制度復習
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	講義内容の復習と就活への活用
4	事前学習	企業の社会的意義について考える	12	事前学習	講義内容について事前に調べてくる
	授業計画	企業研究①企業の社会的意義を学ぶ CSR 活動事例紹介		授業計画	金銭管理の基礎知識 ライフイベントマネジメントプラン
	事後学習	CSR 活動について調べる		事後学習	ライフマネジメントプランの完成
5	事前学習	CSR 活動発表準備	13	事前学習	先輩への質問内容を考えてくる
	授業計画	自分ならこんな CSR 活動を考える 自分のプラン発表		授業計画	企業人に聞く 学生時代にやっておくべきこと
	事後学習	発表内容の感想・まとめ		事後学習	講義内容の復習と実生活への活用
6	事前学習	社内と社外での敬語の使い方復習	14	事前学習	前期講義内容見直し
	授業計画	ビジネス文書の書き方② 社内文書・社外文書の書き方		授業計画	前期講義内容の総復習
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	前期講義内容の復習
7	事前学習	バイト先で対応に困った事例抽出	15	事前学習	前期講義内容の見直し
	授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)② 仕事でよくある場面の対応②		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	福利厚生についての事前学習			
	授業計画	企業研究②様々な福利厚生 福利厚生と社会保障制度			
	事後学習	講義内容の復習と就活への活用			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：40%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅲ（簿記）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記･簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か　意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	売掛金・買掛金について調べる
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし､勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B）の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅲ（組織論）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	福田　幸俊		
実務経験 教員紹介	・東証 1 部上場企業の組織運営、補佐として 12 年に渡る経験あり。 ・経営コンサルタントとして 30 社以上の企業指導の経験あり。		

講義概要
経営だけに問わず社会で広く活動するための必要な組織について学ぶ。組織学の系譜をたとり現在に至るまでの流れをたどり同時に組織と組織論の限界を理解する。理論と現実の社会で起こっている事象をリンクし理論の正しさと同時に現実とのギャップについても認識し最適な組織の在り方を学ぶ。
達成目標
前半は組織論の基本と構造を中心に学び構造改善のためのちゅうもくすべき箇所・方法を理解する。後半はキャリア形成と組織文化について学び、組織論Ⅱで実施する実際の企業への組織改善提案となる基礎を身に着ける

授業計画

1	事前学習	PREP 法を復習する	9	事前学習	機能別組織とは
	授業計画	オリエンテーション（自己紹介、講義最終の目標とルールの提示）		授業計画	組織の適切な大きさ、肥大化と硬直化、パーキンソンの法則
	事後学習	一人の組織は存在するか考察する		事後学習	肥大化硬直化の改善さ実例
2	事前学習	意思決定とは何か調べる	10	事前学習	官僚制の歴史
	授業計画	組織の定義の考察、3 要素と組織意思決定のプロセスを		授業計画	インセティブシステムと官僚制組織の改善
	事後学習	コミュニケーション方法		事後学習	改善方法を提案する
3	事前学習	自らの労働体験と給料を振り返る	11	事前学習	自らをジョブデザインをする
	授業計画	誘因と貢献、組織の境界、組織と環境		授業計画	ライフスタイルとジョブデザイン、コミュニケーション、技術論
	事後学習	誘因と貢献のバランス		事後学習	自らのジョブデザインの見直し
4	事前学習	ドメインについての復習	12	事前学習	組織構造と文化
	授業計画	環境の戦略的選択、限定された合理化、囚人のジレンマ		授業計画	行動環境と組織文化の定義、形成、機能、革新
	事後学習	囚人のジレンマの脱出法		事後学習	マッキンゼーの 7S
5	事前学習	組織の外部資源依存とは何か	13	事前学習	自己承認欲求の例を上げる
	授業計画	不確実性への対応方法と利害者パワーとは何か、その対応方法		授業計画	モチベーション理論（マズロー、アダルファー多）
	事後学習	外部資源依存の危険性		事後学習	自己実現のための障害を考える
6	事前学習	組織を統治するためのポイント	14	事前学習	リーダーシップの具体例
	授業計画	個体群生態学モデル、スペシャリストとジェネラリスト、慣性の法則		授業計画	マネジメントコントロール、リーダーシップ、職場集団のダイナミックス
	事後学習	変革に失敗した会社例		事後学習	リーダーシップ限界例
7	事前学習	ステークホルダーとは何か	15	事前学習	授業の総括
	授業計画	組織の目標の作り方、コンフリクトと暫定解決、目標の変化		授業計画	定期試験
	事後学習	コンフリクトの重要性		事後学習	自己採点。復習。
8	事前学習	スタッフとは何か			
	授業計画	組織の有効性と能率、有効性を図るモデル、ラインとスタッフの違い			
	事後学習	組織図上のスタッフ部門の確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　桑田耕太郎・田尾雅夫
　　タイトル　組織論
　　出版社　　有斐閣アルマ
参考書　著者名
　　タイトル　中小企業白書、日本経済新聞、日経 MJ などを適宜使用する
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅲ（秘書検定）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	椙山　裕子		
実務経験教員紹介	メーカーでの勤務経験		

講義概要
日本の会社で働くにあたり、日本のビジネスマナーを学ぶことがとても重要です。秘書検定の実問題を解いていくことを通して、各状況に応じた上司や来客に対するふるまい方や、職務知識の習得を目指します。職場にて、周囲の人に対する思いやりや気遣いができ、上司の適切なサポートができるように学んでいきます。
達成目標
秘書検定の試験内容、時間配分、解き方を把握し、３級の試験合格を目指します。さらに問題が解けるだけではなく、難しい日本語表現を理解し、場面に応じた適切な言い方やふるまい方について理解します。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	オリエンテーション（講義の進め方、注意事項等）		授業計画	第 118 回過去問１～１７解説。役職の順位、福利厚生。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	10	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問１～１０解説。秘書とは？秘書検定とは？等		授業計画	第 118 回過去問１８～３５解説。上司への言葉遣い、事務用品の名称等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
3	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	11	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問１１～２３解説。専門用語とその意味。等		授業計画	第 117 回過去問１～１７解説。お礼の品の送り方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	12	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問２４～３５解説。上司と客へのあいさつの仕方。等		授業計画	第 117 回過去問１８～３５解説。客から用件を伺う際の振舞い方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	13	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 120 回過去問１～１７解説。秘書の仕事に対する心がけ。等		授業計画	第 116 回過去問１～１７解説。パーティーでの身だしなみ。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	14	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 120 回過去問１８～３５解説。尊敬語、謙譲語、封筒の敬称。等		授業計画	第 116 回過去問１８～３５解説。名刺へのメモの仕方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	15	事前学習	講義スライドを見直す。
	授業計画	第 119 回過去問１～１６解説。ミスを注意された時の心持ち。等		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく			
	授業計画	第 119 回過去問１７～３５解説。来客へのお茶出しの仕方。等			
	事後学習	講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　実務技能検定協会
　　タイトル　秘書検定３級実問題集
　　出版社　早稲田教育出版
参考書　著者名　佐藤一明
　　タイトル　秘書検定３級に面白いほど受かる本
　　出版社　KADOKAWA

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ（簿記）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	子記録債権･電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（３）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権･債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表　簿記Ｉの具体的作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳　株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権･債務の記帳　これからの時代の債権・債務を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（２）　貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務的種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（１）決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	範囲の復習をしっかりやろう
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（２）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ（組織論Ⅰ）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	福田　幸俊		
実務経験 教員紹介	・東証 1 部上場企業の組織運営、補佐として 12 年に渡る経験あり。 ・経営コンサルタントとして 30 社以上の企業指導の経験あり。		

講義概要
経営のライフサイクルと変革につき学ぶ。特に公的組織とボランタリー組織を中心としつつ、第三セクターの成功要因としっぱだけに問わず社会で広く活理論の正しさと同時に現実とのギャップについても認識し最適な組織の在り方を講義と議論を並行して行い模索する。なお人的資源管理は別講義で詳細を補うこととする。
達成目標
経営学の一環の観点からコンフリクトを受け入れ、リーダーシップを発揮しつつ、全体の価値観を変えることができること、高い倫理を保ち、組織を守りつつ変革できる組織設立の提言ができるようになる。

授業計画

1	事前学習	創業を仮定したスケジュール	9	事前学習	ヒューマンサービスとは何か
	授業計画	創業から経営安定までのイベント（ダーウィンの海他）		授業計画	ヒューマンサービス組織と官僚制組織の特徴
	事後学習	創業失敗のリスク		事後学習	両者の長所、短所を比較する
2	事前学習	ライフサイクルモデルとは	10	事前学習	プロボノとは何か
	授業計画	組織のサイフサイクルモデル。組織構造、組織文化両面からのアプローチ		授業計画	プロシェッションとプロボノ、経営管理の課題
	事後学習	会社を例にあげたＬＣＭの位置関係		事後学習	なぜプロボノが盛んになるのか
3	事前学習	抵抗勢力とは何か	11	事前学習	ボランタリスムの発祥
	授業計画	組織発展のモデルと組織変革への障害（抵抗勢力）		授業計画	ボランタリスム、収益組織とボランタリー組織の違い
	事後学習	劇的に発展した会社例の例示		事後学習	ボランタリー組織の実態
4	事前学習	慣性の法則の復習	12	事前学習	ボランタリー組織の収入源
	授業計画	戦略的組織変革の必要性と移行プロセスのマネジメント		授業計画	ボランタリー組織運用の課題と組織への支援策
	事後学習	移行失敗時のリスク		事後学習	ボランタリー組織への公的支援
5	事前学習	組織にとってのイノベーション	13	事前学習	ネットワーク組織とは何か
	授業計画	組織の自己学習、経営者と管理者の役割の違いと内容		授業計画	ネットワーク組織とインターネットの活用と課題
	事後学習	プレイングマネジャーとは		事後学習	インターネットの在り方
6	事前学習	公的セクターとは	14	事前学習	経営学とは何か
	授業計画	公的セクターの成り立ち、長所と欠点、将来性		授業計画	経営学と組織論の位置づけを総括し、課題を考える
	事後学習	将来性のつき自らの意見を考察する		事後学習	授業の総括を行う
7	事前学習	資本主義と社会主義	15	事前学習	試験準備
	授業計画	行政サービスの構造（夜警国家と福祉国家、社会主義）		授業計画	定期試験
	事後学習	各国の行政サービスの実態		事後学習	自己採点、復習
8	事前学習	世界の高齢化社会の実態			
	授業計画	日本における超高齢社会と地方自治の実態と将来			
	事後学習	自国の地方自治への提言			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　桑田耕太郎・田尾雅夫
　　タイトル　組織論
　　出版社　　有斐閣アルマ
参考書　著者名
　　タイトル　中小企業白書、日本経済新聞、日経 MJ などを適宜使用する
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ（秘書検定）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	椙山　裕子		
実務経験 教員紹介	メーカーでの勤務経験		

講義概要
日本の会社で働くにあたり、日本のビジネスマナーを学ぶことがとても重要です。秘書検定の実問題を解いていくことを通して、各状況に応じた上司や来客に対するふるまい方や、職務知識の習得を目指します。職場にて、周囲の人に対する思いやりや気遣いができ、上司の適切なサポートができるように学んでいきます。
達成目標
秘書検定の試験内容、時間配分、解き方を把握し、２級の試験合格を目指します。さらに問題が解けるだけではなく、難しい日本語表現を理解し、場面に応じた適切な言い方やふるまい方ができるようになります。

授業計画

1	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	9	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	後輩の指導。社内文書と書き方。ファイリング。弔事、葬儀について。		授業計画	コンピューター用語。電子メール。秘書の身だしなみ。上司の出張。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	10	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	補佐機能の本質。接遇用語。電話応対。社内文書。上書きの書き方。		授業計画	お茶の出し方。結婚祝い、慶事と種類。訃報を受けた時の対応。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
3	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	11	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	カタカナ語、略語。秘文書の扱い方。企業秘密。郵送方法。雑誌整理。		授業計画	説明と忠告。メモの作成。名刺整理。報告・説明・断り方・苦情処理。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	12	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	尊敬語、謙譲語。来客対応。上書き、宛名。		授業計画	文書の種類。財務用語。上司について知る範囲と印鑑の扱い。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	13	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	郵便の種類。会社用語。環境整備、職場のレイアウト。		授業計画	スケジュール管理。コンピューター用語。来客の案内・対応。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	14	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	二重敬語。上司の出張。不意の客の対応。会議の開催案内。		授業計画	カタログ整理。内線電話の対応。会議用語、手紙。小切手と手形。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	15	事前学習	講義スライドを見直す。
	授業計画	グラフの種類と書き方。秘書の仕事の限界。経営用語。		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく			
	授業計画	法律用語。複数の業務の依頼。業務の引継ぎ。予約のある客の対応。			
	事後学習	講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　佐藤一明
　　タイトル　秘書検定２級に面白いほど受かる本
　　出版社　　KADOKAWA
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅲ（世界遺産）	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコースMYキャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
この地球で人類は、様々な信仰を持ち、多様な文化や自然環境の下で生活をしています。しかし実生活においては、日常の中でそれらについて考えを巡らすことはほぼないのが現状です。世界遺産について学ぶことはそんな日常から一歩外に踏み出し、異文化を知り、視野を広げるチャンスです。楽しみながら学んでいきましょう。
達成目標
世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産について学び、視野を広げるとともに世界遺産の価値を知る。 学んだ知識を定着させ、世界遺産検定3級合格を目指す。 異文化への理解を深め多様な価値観を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産とは何か 世界遺産の概要説明と導入		授業計画	日本の世界遺産 厳島神社・『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産の基礎知識 世界遺産条約と世界遺産の条件		授業計画	日本の世界遺産 長崎と天草地方・琉球王国のグスク他
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	11	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 知床・白神山地・小笠原諸島・屋久島		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう①
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	12	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 平泉・日光の社寺・富岡製糸場と絹産業遺産群		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう②
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	13	事前学習	Googleスライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 明治日本の産業革命・ル・コルビジェの作品・富士山		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう③
	事後学習	復習テスト		事後学習	発表内容のフィードバック
6	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	14	事前学習	前期講義資料見直し
	授業計画	日本の世界遺産 白川郷・五箇山・古都京都・紀伊山地の霊場と参詣道		授業計画	前期講義内容復習 世界遺産の基礎知識から日本の世界遺産まで
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	15	事前学習	前期講義内容復習
	授業計画	日本の世界遺産 法隆寺地域の仏教建造物群他		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験内容の復習
8	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる			
	授業計画	日本の世界遺産 姫路城・石見銀山と文化的景観・広島平和記念碑			
	事後学習	復習テスト			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　きほんを学ぶ世界遺産100　世界遺産検定3級公式テキスト
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版
参考書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　世界遺産検定公式過去問題集
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅲ（販売士）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
メーカー、卸売業、小売業、最終消費者という流通経路の基礎を学ぶ。特に小売業の業務に特化したリテールマーケティングを学び、接客や取扱商品の知識、経済の動きなどを考えた店舗経営のノウハウを学ぶ。流通論Ⅰでは「小売業の類型」を中心に学ぶ。
達成目標
小売業の特性、接客や取扱商品の知識を学んで、「日本商工会議所主催　リテールマーケティング検定 3 級」の知識を身に着けることを目標とする。この授業を通して検定合格レベルの知識習得を目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	流通論概要、流通とは何か、現在の流通の概要と重要性について		授業計画	小売業の類型⑧店舗別小売業の基本知識について②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型①小売業の定義と役割について		授業計画	小売業の類型⑨店舗別小売業の基本知識について③
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型②組織小売業の種類と役割について		授業計画	小売業の類型⑩店舗別小売業の基本知識について④
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型③チェーンストアの特長について		授業計画	小売業の類型⑪店舗別小売業の基本知識について⑤
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型④販売形態の種類と特徴について		授業計画	小売業の類型⑫店舗別小売業の基本知識について⑥
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型⑤インターネット社会と小売業の関係について		授業計画	小売業の類型⑬商店街とショッピングセンターについて
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	小売業の類型⑥業種と業態の違い、専業店について		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	小売業の類型⑦店舗別小売業の基本知識について①			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　ユーキャン販売士検定試験研究会
　　タイトル　販売士検定 3 級速習テキスト＆問題集
　　出版社　　自由国民社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅳ（世界遺産）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
この地球で人類は、様々な信仰を持ち、多様な文化や自然環境の下で生活をしています。しかし実生活においては、日常の中でそれらについて考えを巡らすことはほぼないのが現状です。世界遺産について学ぶことはそんな日常から一歩外に踏み出し、異文化を知り、視野を広げるチャンスです。楽しみながら学んでいきましょう。
達成目標
世界遺産の現状と課題について知り、世界で起きていることがらについての当事者意識を育む。 学んだ知識を定着させ、世界遺産検定 2 級・3 級合格を目指す。 異文化への理解を深め多様な価値観を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	前期講義内容復習 世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑧ 人権を尊重し、差別をなくすために
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義① 法隆寺の木造建築に学ぶ		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑨　合掌造りから文化・自然・観光の共生を考える
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義② 姫路城を残してきた人々の働き		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑩　文化と生活を守るための新たな人のつながり
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
4	事前学習	前回学習内容復習	12	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義③　気候変動の影響を世界遺産から考える		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑪ 遺跡保存のための人材育成について
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
5	事前学習	前回学習内容復習	13	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義④ 世界遺産の観光地化について考える		授業計画	世界遺産まとめ①　自分が気になる世界遺産について調べる
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
6	事前学習	前回学習内容復習	14	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑤ 自然保護のためにできること		授業計画	世界遺産まとめ②　自分が気になる世界遺産について調べて発表する
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
7	事前学習	前回学習内容復習	15	事前学習	後期講義内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑥　「平和のとりで」を築くことについて考える		授業計画	定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	前回学習内容復習			
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑦　戦争の記憶から平和な社会をつくるために			
	事後学習	復習テスト			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　　きほんを学ぶ世界遺産 100　世界遺産検定 3 級公式テキスト
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版
参考書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　　世界遺産検定公式過去問題集
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅳ（販売士）	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース MY キャリア専攻		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
メーカー、卸売業、小売業、最終消費者という流通経路の基礎を学ぶ。特に小売業の業務に特化したリテールマーケティングを学び、接客や取扱商品の知識、経済の動きなどを考えた店舗経営のノウハウを学ぶ。流通論Ⅱでは「マーチャンダイジング」「マーケティング」を中心に学ぶ。
達成目標
小売業の特性、接客や取扱商品の知識を学んで、「日本商工会議所主催　リテールマーケティング検定 3 級」の知識を身に着けることを目標とする。この授業を通して検定合格レベルの知識習得を目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング①商品の分類と本体要素		授業計画	マーケティング②顧客満足経営と顧客維持政策
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング②マーチャンダイジングの基本		授業計画	マーケティング③商圏設定と立地、出店の基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング③商品計画、販売計画の策定		授業計画	マーケティング④インバウンドに対するプロモーション①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング④仕入計画の基本、発注、物流の基本		授業計画	マーケティング⑤インバウンドに対するプロモーション②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング⑤価格設定の基本、利益構造		授業計画	マーケティング⑥売り場の形態と売り場作りの基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング⑥在庫管理の基本と、販売管理の基本		授業計画	マーケティング⑦照明・光源・色彩の考え方
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	マーチャンダイジング⑦POS システムと活用方法		授業計画	単位認定のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	マーケティング①顧客満足経営と顧客維持政策			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　ユーキャン販売士検定試験研究会
　　タイトル　販売士検定 3 級速習テキスト＆問題集
　　出版社　　自由国民社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2020年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティⅠ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	飛鳥　政明		
実務経験 教員紹介	40年以上の飲食関連全般の実務経験。「ホスピタリティ」関連は(株)オリエンタルランドグループで「ディズニー流のホスピタリティ」を17年指導経験あり。		

講義概要
あらゆる産業において、企業理念として「顧客満足」を掲げている会社が多いなか、この「顧客満足」を実践できる人財が必要となる。学生自身がホスピタリティの意味を理解し、どのような考え方、どのような言動を身につけなければならないかという理論および日常的なホスピタリティマインド発揮のための基盤の確立を目指す。
達成目標
学生が卒業後、社会人となり職場からも顧客からも信頼され、本人だけでなく会社からも必要とされる人財となるように学修を深める。そして自ら率先してホスピタリティを理解し実践できる人財にすることが目標。

授業計画

1	事前学習	本講義で学ぶ内容を理解する	9	事前学習	配布資料の事前予習
	授業計画	オリエンテーション、自己紹介、授業内容の説明、ルールなどを説明		授業計画	顧客満足とホスピタリティ（顧客の心理、顧客満足とは）
	事後学習	オリエンテーションの内容を復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
2	事前学習	「ホスピタリティ」とは何か考える	10	事前学習	自身がクレームを受けたことの有無
	授業計画	「ホスピタリティ」と「サービス」の違いを理解する		授業計画	クレーム対応とは？自身の体験を基に検証。2度と起こさないためには
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
3	事前学習	「ホスピタリティ」産業とは	11	事前学習	アルバイト先での環境について
	授業計画	「ホスピタリティ」産業にはどのようなものがあるか考える		授業計画	職場環境（従業員満足、メンタルヘルス、ハラスメント）を考える
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
4	事前学習	配布資料の確認	12	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	人財育成とホスピタリティ（ホスピタリティを発揮できる人財の育成）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
5	事前学習	配布資料の確認と予習	13	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	企業と社会（企業の社会的責任とホスピタリティ、コンプライアンス）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
6	事前学習	自分の心の知能指数とは	14	事前学習	過去の配布資料の再確認
	授業計画	ホスピタリティの原点とはなにか。その為には、まず自分を知ること		授業計画	前期配布資料のまとめと復習。前期試験の概要説明
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	試験対策の復習
7	事前学習	配布資料の確認と予習	15	事前学習	筆記試験の予習
	授業計画	交流分析、自我状態（心のなりたち・エゴグラム）を知る		授業計画	筆記試験の実施と前期のまとめとフィードバックを行う
	事後学習	エゴグラムをチェックリストの確認		事後学習	講義内容の復習
8	事前学習	コミュニケーションはなぜ必要？			
	授業計画	コミュニケーションとホスピタリティ（聴き方、話し方）			
	事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：100%　＜＞：%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本ホスピタリティ協会
　　タイトル　ホスピタリティ検定
　　出版社　　(株)経済法令研究会

年度	2020年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティⅡ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	小池　勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
前期のホスピタリティⅠで学んだことをベースに、「サービス」や「ホスピタリティ」がお客様や従業員自身に与える様々な影響を考察する。その上で、日本の「おもてなし」や西欧の「ホスピタリティ」の心がどこから生まれてきているのか、その歴史や文化的な背景を学び、「ホスピタリティ」とは何かを、より深く学んでいく。
達成目標
ホスピタリティの学びを通じて、仕事をお客様のためだけでなく、自分のため、会社のため、社会のためと重ねて捉える考え方を理解する。そして同時に、マーケティングにおけるホスピタリティの重要性を理解する。

授業計画

1	事前学習	前期の学習内容を復習しておく	9	事前学習	観光における日本の魅力を考える
	授業計画	講義ガイダンス 「ホスピタリティⅠ」の振り返り		授業計画	ホスピタリティとおもてなし 訪日外国人誘客に与える影響について
	事後学習	ホスピタリティの意味を再確認する		事後学習	おもてなしの長所と短所を理解する
2	事前学習	やりがいとは何かを考えておく	10	事前学習	４P分析を復習しておく
	授業計画	「感情労働」とは何か 接客活動における感情のコントロール		授業計画	ホスピタリティが「製品」に与える影響について 事例から考える
	事後学習	感情管理の重要性を理解する		事後学習	付加価値について理解する
3	事前学習	良いサービスの事例を考える	11	事前学習	顧客は何に対して対価を払うのか
	授業計画	「サービス」と「ホスピタリティ」の違い　提供のプロセスを理解する		授業計画	ホスピタリティが「価格」に与える影響について　事例から考える
	事後学習	1対多と1対1の違いを理解する		事後学習	なぜ高価でも買ってしまうのか
4	事前学習	お客様とはどのような人かを考える	12	事前学習	「無人化」の長所短所を考える
	授業計画	「顧客」とは誰か 顧客の立場になって考え行動する		授業計画	ホスピタリティが「流通」に与える影響について　事例から考える
	事後学習	顧客の視点を理解する		事後学習	流通に人間が介在する意味とは
5	事前学習	「品質」の意味を調べる	13	事前学習	製品購入の決め手は何かを考える
	授業計画	サービス品質を考える　「真実の瞬間」評判はどう生まれるのか		授業計画	ホスピタリティが「販売促進」に与える影響について事例から考える
	事後学習	身近な「真実の瞬間」を考えてみる		事後学習	ホスピタリティは販売促進に有効か
6	事前学習	顧客が満足する要素を調べる	14	事前学習	ホスピタリティの重要性を整理する
	授業計画	顧客満足と顧客エンゲージメント 顧客と企業の結びつきを考える		授業計画	後期振り返り　現代ビジネスにおけるホスピタリティの重要性について
	事後学習	「顧客満足」の重要性を理解する		事後学習	ホスピタリティが注目される理由
7	事前学習	従業員が満足する要素を調べる	15	事前学習	重要語句の意味を整理しておく
	授業計画	従業員満足と従業員エンゲージメント 従業員と企業の結びつきを考える		授業計画	定期試験 ホスピタリティがマーケティングに与える影響について考える
	事後学習	「従業員満足」の重要性を理解する		事後学習	講義の重要ポイントを振り返る
8	事前学習	企業の存在価値とは何かを考える			
	授業計画	地域社会とホスピタリティ 企業と地域社会の結びつきを考える			
	事後学習	企業の存在価値を理解する			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（平常点）＞：20%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講義において適宜参考図書を例示する
　　タイトル
　　出版社

年度	2020 年度	学期	前期
科目名	マーケティングⅠ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界でのサービスマーケティング・インターナルマーケティング。 現在は Twitter 活用し、動画配信者の認知度アップ・チャンネル登録者アップの SNS マーケティング		

講義概要
ビジネスにおいて「顧客（※）の欲する商品サービスを提供すること」は企業にとって当然の使命となる。そのため「どのような仕組みや仕掛けによってそれを実現するか」を考え、実行することが重要。当該講義ではビジネスパーソンとして活躍するためのマーケティング知識・情報を習得することを目的とする。
達成目標
（１）用語に慣れる：ビジネスシーンにおける用語＝ビジネス用語はもとより、マーケティングに関する専門用語にも慣れる。（２）定義をおさえる：用語とともに、ビジネスシーンで使われる事象や用語の定義をおさえる。

授業計画

1	事前学習	マーケティング	9	事前学習	事例調査
	授業計画	ガイダンスおよび「マーケティングの定義」		授業計画	人を理解する３つの視点②「価値観」:「価値」「価値観」「価値基準」
	事後学習	環境の変化と生活の変化		事後学習	自分にとって価値あるもの
2	事前学習	ビジネス	10	事前学習	コトラーの「価値基準」
	授業計画	「環境の変化」と「マーケティングの必要性」		授業計画	マーケティングにおける顧客が感じる価値①:「4 つのコスト」
	事後学習	商品サービスが売れない理由		事後学習	自分が感じるコスト
3	事前学習	消費行動の変化	11	事前学習	自分が感じるベネフィット
	授業計画	環境変化による「生活・消費活動の変化」の関係性		授業計画	マーケティングにおける顧客が感じる価値②:「5 つのベネフィット」
	事後学習	消費活動の繋がりと派生		事後学習	特定商品に感じるベネフィット
4	事前学習	消費活動の繋がりと派生	12	事前学習	購買に影響を与える要素
	授業計画	「変化の指標」とマーケティングによる「意味と価値」づくり		授業計画	購買行動に影響を与える「5 つの要素」とは
	事後学習	商品サービスの意味と価値を探る		事後学習	自分の購買に影響を与えるもの
5	事前学習	欲求	13	事前学習	購買活動に関する情報処理
	授業計画	「人」の層別理解と、人を理解する３つの視点①「欲求」		授業計画	①消費者情報処理モデル②購買行動の基本（AIDMA など）
	事後学習	自身が抱く欲求を明確にする		事後学習	自分が商品を買うまでを図解
6	事前学習	商品サービスを５つの欲求に分類	14	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	「マズローの欲求階層説・自己実現論」と演習		授業計画	第１回～第 13 回講義の振り返りと要点の確認
	事後学習	ニーズとウォンツ		事後学習	試験に向けた学習
7	事前学習	欲求階層説・自己実現論の復習	15	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	人を理解する３つの視点①「欲求」:「ニーズ」と「ウォンツ」		授業計画	定期試験
	事後学習	欲求階層とニーズの関連性		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ニーズとウォンツの関連性			
	授業計画	「マーケットイン」と「プロダクトアウト」			
	事後学習	ウォンツをデマンズに進化させる			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜(その他)＞：0%

教科書　著者名　　大山秀一
　　タイトル　これだけは知っておきたい「マーケティング」の基本と常識
　　出版社　　フォレスト出版
参考書　著者名　　原尻淳一
　　タイトル　マーケティング・フレームワーク
　　出版社　　日本経済新聞出版社

年度	2020年度	学期	後期
科目名	マーケティングⅡ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界で経営企画職でサービスマーケティング・インターナルマーケティング。起業後はTwitter活用SNSマーケティングと会社経営		

講義概要
前期同様に「用語」や「定義」をおさえ、マーケティング全般に関する知識を修めるとともに、就職活動や採用後の実践（現場）において「どのように学んだことを活用できるか？」を想定しながら演習を行う。演習については個人・ペア・チーム形式をとり、積極的な発言や取組みが求められる。
達成目標
（１）前期に修めたものも踏まえ、用語・定義をおさえる。（２）マーケティングマインド（マーケティング視点・思考）を養う。（３）就職活動における業界・企業の研究分析でも活かせるようにする。

授業計画

1	事前学習	復習：顧客インサイト	9	事前学習	ブランドとブランドイメージの違い
	授業計画	①顧客満足②顧客生涯価値③CRM		授業計画	「ブランド」とは何か（企業・商品サービスなど）①
	事後学習	ES（従業員満足度）		事後学習	ブランドがあると思う商品サービス
2	事前学習	顧客インサイト	10	事前学習	ブランディング
	授業計画	①カスタマーエクスペリエンス②顧客のペルソナ		授業計画	「ブランド」とは何か（ブランディング）②
	事後学習	自分をペルソナ化		事後学習	自分をブランディング
3	事前学習	マーケティングの歴史	11	事前学習	費用・予算・投資とは
	授業計画	近代マーケティングの変遷（マーケティング1.0～4.0）		授業計画	マーケティングにおけるROI（費用対効果／投資利益率）
	事後学習	マーケティングの本質		事後学習	講義資料の見直し
4	事前学習	マーケティングの種類	12	事前学習	企業研究・分析
	授業計画	マーケティングの種類と体系（各種マーケティング紹介）		授業計画	①マーケティング視点の企業研究②組織体制とマーケティング機能
	事後学習	マーケティング・ミックス		事後学習	特定企業の研究・分析
5	事前学習	プロダクトサイクル	13	事前学習	業界研究・分析
	授業計画	プロダクトマーケティングとサービスマーケティング①		授業計画	マーケティング視点での業界研究・分析と求人選び
	事後学習	特定商品のプロダクトサイクル調査		事後学習	特定業界の研究・分析
6	事前学習	財の体系化	14	事前学習	後期テキストの振り返り
	授業計画	プロダクトマーケティングとサービスマーケティング②		授業計画	第１回目～第１３回目講義の振り返りと質疑応答
	事後学習	商品群の財の体系化		事後学習	前期テキストの振り返り
7	事前学習	広告と広報の違い	15	事前学習	前期・後期テキスト内容確認
	授業計画	マーケティングプロモーション（広告・宣伝・広報）①		授業計画	定期試験
	事後学習	PC画面の広告とスマホ画面の広告		事後学習	テキスト見直し
8	事前学習	リーチとは			
	授業計画	マーケティングプロモーション（広告・宣伝・広報）②			
	事後学習	プロモーションミックスとは			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜(その他)＞：0%

教科書　著者名　　大山秀一
　　タイトル　これだけは知っておきたい「マーケティング」の基本と常識
　　出版社　　フォレスト出版
参考書　著者名　　原尻淳一
　　タイトル　マーケティング・フレームワーク
　　出版社　　日本経済新聞出版社

年度	2020 年度	学期	前期
科目名	経営学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	畠　裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場の設計 23 年、同本社事業企画で 3 年、同部門の海外生産拠点で 15 年実務経験。		

講義概要
過去の経営者たちの知恵の集大成である経営学を学ぶことにより、会社の役割、組織、経営の考え方、社会環境の変化などの基礎知識を広く理解する。経営学の教科書をもとに進めるが、ビジネスに興味が持てるような身近な実例を紹介する。経営学Ⅰの講義内容は次の通り。①経営学全般、②イノベーション論、③マーケテイング論
達成目標
経営学の導入段階として、経営を取り巻く社会構造や経営に関する基礎的な考え方を理解することを目的とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の講義の復習
	授業計画	オリエンテーション、講義なし		授業計画	マーケテイング概要、基本サイクル STP、市場分析
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	基本サイクル STP について
2	事前学習	1 限目の講義の復習	10	事前学習	9 限目の講義の復習
	授業計画	経営をめぐる２１世紀の変化（VUCA の時代、働き方改革など）		授業計画	マーケテイング 4P、価格の心理学、プロスペクト理論について
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	マーケテイング 4P の事例研究
3	事前学習	2 限目の講義の復習	11	事前学習	10 限目の講義の復習
	授業計画	経営をめぐる２１世紀の変化（VUCA の時代、働き方改革など）		授業計画	取引数単純化の原理、商社の機能について
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	商流、物流について
4	事前学習	3 限目の講義の復習	12	事前学習	11 限目の講義の復習
	授業計画	経営学の基本 6 分野と歴史､会社の役割、社会責任 CSR について		授業計画	ジレットモデル、ロックインとは
	事後学習	課題：経営学基本６分野とは？		事後学習	ジレットモデルの実例調査
5	事前学習	4 限目の講義の復習	13	事前学習	12 限目の講義の復習
	授業計画	組織の 3 要素と PM 理論、リーダーシップ理論		授業計画	持続可能な開発目標 SDGｓ､エシカル消費について
	事後学習	課題：組織の 3 要素、PM 理論		事後学習	SDGｓの事例調査
6	事前学習	5 限目の講義の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	イノベーションの意味、歴史、基本プロセス		授業計画	ビジネスモデルキャンバス
	事後学習	課題発見に必要な共感マップ作製		事後学習	ビジネスモデルキャンバス事例研究
7	事前学習	6 限目の講義の復習	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	デザイン思考､プロトタイピング手法		授業計画	期末試験
	事後学習	デザインとアートの違い		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	7 限目の講義の復習			
	授業計画	発想に必要な掛け算思考、PEST 分析			
	事後学習	掛け算思考トレーニング			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　中川功一
　　タイトル　日常が学びに変わる！　経営学の本
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　沼上　幹
　　タイトル　ゼロからの経営戦略
　　出版社　　ミネルバ書房

年度	2020 年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	畠　裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場設計 23 年、国内事業企画 3 年、同部門の海外生産拠点で会社経営を 15 年実務経験。		

講義概要
経営学Ⅰに引き続き、経営学の教科書をもとに会社の役割、組織、経営の考え方などの基礎知識を理解する。さらに経営に必要な財務会計を紹介し、現実の生きた経営について学ぶ。経営学Ⅱの講義内容は次の通り。①事業システム論、②経営戦略論、③組織行動論、④経営組織論、⑤財務会計
達成目標
経営に関する基礎的な考え方及び専門的な知識の概略を理解することを目的とする。経営学を通じて多角的な視点での思考ができるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の講義の復習
	授業計画	ビジネスモデルキャンバス作成演習		授業計画	組織行動論、マズローの欲求 5 段階説
	事後学習	１時限目の復習		事後学習	自己決定理論 SDT とは
2	事前学習	1 限目の講義の復習	10	事前学習	9 限目の講義の復習
	授業計画	フリーミアム、プラットフォーム戦略		授業計画	キャリアアンカーとは、PDCA
	事後学習	フリーミアム事例調査		事後学習	戦略立案の PDCA
3	事前学習	2 限目の講義の復習	11	事前学習	10 限目の講義の復習
	授業計画	アウトソーシング戦略、パートナシップ戦略		授業計画	サイモンの意思決定理論、チーム力を高めるグループシンク
	事後学習	アップルの競争力が強い理由		事後学習	チーム力、判断力を高める方法
4	事前学習	3 限目の講義の復習	12	事前学習	11 限目の講義の復習
	授業計画	トヨタ生産方式、損益分岐点		授業計画	経営組織論、分業と調整
	事後学習	損益分岐点の求め方		事後学習	分業のメリットについて
5	事前学習	4 限目の講義の復習	13	事前学習	12 限目の講義の復習
	授業計画	経営戦略とは、ハーレーダビッドソン、アサヒビールの戦略		授業計画	機能別組織と事業部制組織、官僚制組織と有機的組織
	事後学習	経営戦略の立案プロセス		事後学習	官僚制組織のメリットとデメリットについて
6	事前学習	5 限目の講義の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	現状分析手法 SWOT＆TOWS 分析		授業計画	経営に必要な財務会計（Ｐ／ＬとＢ／Ｓ）
	事後学習	SWOT＆TOWS 分析事例		事後学習	財務諸表の見方
7	事前学習	6 限目の講義の復習	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	ポーターの５要因分析、リソース・ベースド・ビュー		授業計画	期末試験
	事後学習	５要因分析の分析の例		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	7 限目の講義の復習			
	授業計画	ゲーム理論ベースの経営戦略、win-win			
	事後学習	ゲーム理論が教える望ましい戦略			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：10%

教科書　著者名　　中川功一
　　タイトル　日常が学びに変わる！　経営学の本
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　大津　広一
　　タイトル　ビジネススクールで身につける会計×戦略思考
　　出版社　　日本経済新聞出版

年度	2020年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅠ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	井上由美子		
実務経験教員紹介	アナウンサー歴37年　イメージコンサルタント歴15年　話し方指導16年　ビジネスマナー講師歴10年		

講義概要
学生と社会人との違いを認識し、ビジネスシーンでの身だしなみや最低限守るべきマナー・ルールを学ぶとともに、日本社会で信頼され、活躍できる人材の育成を目指す。また、多国籍の集団の中で、良好な人間関係を築くための対面およびオンラインコミュニケーションを学び、日常生活でも実践できるよう指導する。
達成目標
ビジネススーツを正しく着こなす。好印象の挨拶・お辞儀などの基本動作が出来るようになる。就業マナーや会社組織、敬語の使い分け、電話応対の基本知識を理解し、実践できるようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	他国出身の友達を5人　紹介準備
	授業計画	講義の進め方とルール、当科目の学習目的を理解し目標をたてる		授業計画	指示の受け方　報告・連絡・相談と5W3H
	事後学習	3か月後の姿を言語化する		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
2	事前学習	自己紹介の内容となる材料を集める	10	事前学習	敬語置き換え一覧表を印刷する
	授業計画	共に過ごす未来を意識した自己紹介の準備方法		授業計画	ビジネス会話の基本　敬語の種類と動詞の置き換え一覧表作成
	事後学習	1分間自己紹介の準備をする		事後学習	敬語置き換え一覧表を覚える
3	事前学習	自己紹介を声に出して5回練習する	11	事前学習	フォームを使って敬語小テスト
	授業計画	学生と社会人の違いを５つの視点で比較する		授業計画	敬語の使い分け　内と外　間違いやすい敬語
	事後学習	フォームで自己紹介内容を報告		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
4	事前学習	外出準備の行動を言語化する	12	事前学習	日常生活で敬語会話を積極的に実践
	授業計画	大人としての自己責任　第一印象の重要性　メラビアンの法則		授業計画	ビジネスコミュニケーションの優先順位と使い分け
	事後学習	第一印象要点を200字でまとめる		事後学習	フォームで敬語会話の実践報告
5	事前学習	身だしなみチェック表を記入する	13	事前学習	興味のある日本企業のHPを探す
	授業計画	おしゃれと身だしなみの違い　スーツの着方　準備と手入れ方法		授業計画	電話応対①　電話のかけ方マナー　電話メモの取り方
	事後学習	スーツの手入れと靴磨きをする		事後学習	アポ電話の台詞を用意する
6	事前学習	姿勢の良い人の特徴を観察する	14	事前学習	電話応対会話資料を印刷する
	授業計画	正しい姿勢での立ち方・座り方・お辞儀・入退出動作実習		授業計画	電話応対②　電話の取り次ぎ　状況別応対シミュレーション
	事後学習	1日3回各1分間壁立ち姿勢確認		事後学習	配布資料を確認しノートを整備する
7	事前学習	身近な人の役職を調べる	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	日本企業のタテ組織、ヨコ組織　人間関係構築の基本		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームで役職名問題を解く		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	配布資料を確認しノート整備			
	授業計画	シーン別挨拶の実習　オンライン画面の映り方イメージアップ法			
	事後学習	初対面の相手への挨拶練習10回			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われる図解ビジネスマナー
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2020 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅡ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	井上由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
ビジネスマナーⅠで学習した内容理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。社会人常識マナー検定 3 級レベルの過去問題集を参考書として、社会常識やビジネスコミュニケーション力の向上と、ビジネスマナー知識の定着を図る。就職活動に向けて、自己と向き合い長所・短所が明確になる。
達成目標
ビジネスマナーが「わかる」レベルから「出来る」レベルに近づく。卒業後の進路に向けて、希望する進路先の情報を集め読み取ることが出来る。自己肯定感を高め、進路決定に向けて自ら行動出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題
	授業計画	前期の成長と変化を振り返り､後期の目標設定をする		授業計画	1 分間の自己 PR 発表とフィードバック
	事後学習	近い未来の姿を言語化する		事後学習	他者の自己 PR を評価する
2	事前学習	社会常識　同じ意味の言葉を整理	10	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『働く目的』について		授業計画	企業研究の目的と方法　情報を読み解くコツ
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	興味を持った企業情報をレポート
3	事前学習	社会常識　反対の意味の言葉を整理	11	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『企業研究の目的と必要性』		授業計画	面接の形式と評価のポイント　基本動作実習
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	笑顔と姿勢のトレーニング
4	事前学習	都道府県名と県庁所在地一覧作成	12	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	働くときの基礎知識　賃金や保障に関する法律を学ぶ		授業計画	就職面接　ロールプレイング　入室から退出まで
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	名のりの練習　30 回
5	事前学習	身近な人の仕事について話を聞く	13	事前学習	社会常識　総合問題①
	授業計画	自己分析の目的と職種研究　①身近な人たちの職業から学ぶ		授業計画	就職面接　ロールプレイング　自己 PR・長所・短所
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
6	事前学習	社会常識　カタカナ用語	14	事前学習	社会常識　総合問題②
	授業計画	仕事と自分を結びつける　やりたい仕事と出来る仕事		授業計画	就職面接　ロールプレイング　学生時代に頑張ったこと
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
7	事前学習	社会常識　ビジネス計算	15	事前学習	定期試験準備をする
	授業計画	学生時代に頑張ったことについて振り返り、自己 PR の材料を見つける		授業計画	定期試験
	事後学習	他者の良いところを見つけ言語化		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題			
	授業計画	他者評価分析　長所・強み・短所・弱みに落とし込む			
	事後学習	自己 PR を 250 字で書く			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 3 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2020年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーションⅠ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては、プレゼンテーションを学問として捉え、基礎要件となる心得及びアウトライン作成をいちばんの目的としている。目的や聴き手を意識した内容作成及び論理的な事例に基づくアウトライン作成を学習した上で、プレゼンテーションの心構えを理解及び適切な仕組み作りができる学習内容となっている。
達成目標
自己紹介や謝罪、依頼など日常生活における様々な場面において、言葉遣いや構成などを体系的に理解した上で適切に表現できるようにする。また、プレゼンテーションの基礎知識を習得し、簡単な発表ができる。

授業計画

1	事前学習	プレゼンテーション用語確認	9	事前学習	ロジカルストーリーの作成
	授業計画	プレゼンテーションをはじめよう（目的と成功の法則）		授業計画	シナリオの構築⑤（多様なシナリオ演繹法と弁証法）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	目標達成計画表の作成	10	事前学習	演繹法と弁証法例文作成
	授業計画	プレゼンにおける３P分析①（目的と目標分析）		授業計画	シナリオの構築⑥（多様なシナリオ帰納法と論理法）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	男女や国籍などの違い一覧作成	11	事前学習	帰納法と論理法例文作成
	授業計画	プレゼンにおける３P分析②（聴き手分析と多様な価値観）		授業計画	デリバリー①（プレゼン流伝わる敬語と抑揚）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
4	事前学習	プレゼンのリスク一覧作成	12	事前学習	敬語練習文作成
	授業計画	プレゼンにおける３P分析③（場所と環境におけるリスク対策）		授業計画	デリバリー②（効果的な３つの用途別ボディランゲージ）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ドラマとプレゼンの違い探し	13	事前学習	国の違いによるジェスチャー調査
	授業計画	シナリオの構築①（三部構成の納得マジック）		授業計画	発表準備（アウトライン作成と表現法振り返り）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	発表準備
6	事前学習	三部構成文章作成①	14	事前学習	発表準備
	授業計画	シナリオの構築②（イントロダクションと第一印象）		授業計画	プレゼンテーション発表「コロナ禍ですすめたい〇〇」
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	三部構成文章作成②	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	シナリオの構築③（ボディにおけるロジックと客観的データの重要性）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	印象の良い挨拶			
	授業計画	シナリオの構築④（コンクルージョンと想いの構築）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　八幡紕芦史
　　タイトル　パーフェクトプレゼンテーション
　　出版社　　アクセス・ビジネス・コンサルティング会社

年度	2020年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅡ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては、プレゼン場面で「意図ある表現」ができる構成力を養うことを目的としている。そのため、前半はスピーチ発表を行い、表現力とメッセージの重要性の理解に努める。後半は社内プレゼンをテーマとし、会社側のニーズを踏まえた相手主体の発表内容作成ができる学習内容とする。
達成目標
メッセージを明確にし、伝えるために必要な表現力（声量・アクセント）や構成を用いたスピーチができる。限定的なビジネス場面ではあるが、相手のニーズを理解した社内プレゼン（スライド使用・ビジネス用語）ができる。

授業計画

1	事前学習	スピーチ表現方法確認	9	事前学習	学校情報をパンフで確認
	授業計画	スピーチ表現①声量やアクセント、スピード（映像から比較し表現理解）		授業計画	プレゼンテーション③発表準備（「学校説明」発表をグループ準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	スピーチ映像を確認	10	事前学習	発表準備
	授業計画	スピーチ表現②表現練習（複数スピーチ映像を真似て適切な表現を理解）		授業計画	プレゼンテーション④発表「学校説明」（発表、採点、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
3	事前学習	商品広告やCMを確認	11	事前学習	社内プレゼン情報収集
	授業計画	スピーチ表現③メッセージの重要性（広告やCMを事例に比較理解）		授業計画	プレゼンテーション⑤社内プレゼン概論（通常プレゼン違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	課題テーマの情報収集	12	事前学習	提案の構成内容を確認
	授業計画	スピーチ表現④メッセージ作成（複数テーマのメッセージ及び構成作成）		授業計画	プレゼンテーション⑥社内プレゼンスライド（通常プレゼン違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	発表テーマ選定	13	事前学習	テーマ情報収集
	授業計画	スピーチ表現⑤発表準備（テーマ選定、メッセージ、構成、表現練習）		授業計画	プレゼンテーション⑦発表準備（スライドやセリフ等グループ準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	発表準備	14	事前学習	発表準備
	授業計画	スピーチ表現⑥スピーチコンテスト（発表、採点評価、FB）		授業計画	プレゼンテーション⑧発表「セブンイレブンでの新サービス提案」
	事後学習	自己発表内容振り返り		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	前回のプレゼン講義内容確認	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	プレゼンテーション①プレゼン復習（概要及び専門用語）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	課題情報収集			
	授業計画	プレゼンテーション②メディアリサーチ（発表に必要な情報収集方法）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　佐々木繁範
　　タイトル　思いが伝わる心が動くスピーチの教科書
　　出版社　　ダイヤモンド社

年度	2020年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅰ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
年々増加する外国人旅行者に対応するための接客英会話をシーン別に学びます。販売業務に関連するフレーズや語彙を中心に、グループやペアでのロールプレイや発表でのアウトプットの練習を通して実践的におもてなし英語を習得します。また、接客における日本と英語圏との文化の違いについても学びます。
達成目標
・英語の丁寧な表現に慣れる ・販売業務に必要なフレーズや単語を覚える ・外国人旅行者と自信を持ってコミュニケーションが取れるようになる ・海外との文化の違いを学ぶ

授業計画

1	事前学習	テキストの確認	9	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	自己紹介とシラバスの確認		授業計画	Chapter 1 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	テキストの確認		事後学習	音声を使用し復習
2	事前学習	テキストで内容を確認	10	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（１）		授業計画	Chapter 2 商品紹介（１）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
3	事前学習	音声を使用し確認	11	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（２）		授業計画	Chapter 2 商品紹介（２）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
4	事前学習	音声を使用し確認	12	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（３）		授業計画	Chapter 2 商品紹介（３）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
5	事前学習	音声を使用し確認	13	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 ペアでのダイアログ発表		授業計画	Chapter 2 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
6	事前学習	音声を使用し確認	14	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（４）		授業計画	Chapter 1 & 2 の復習と期末試験準備
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
7	事前学習	音声を使用し確認	15	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（５）		授業計画	期末試験
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	音声を使用し確認			
	授業計画	Chapter 1 来客・レジ対応の英語（６）			
	事後学習	音声を使用し復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：20%　＜（発表）＞：50%

教科書　著者名　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【販売編】
　　出版社　株式会社アルク
参考書　著者名　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【おもてなし編】
　　出版社　株式会社アルク

年度	2020年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
年々増加する外国人旅行者に対応するための接客英会話をシーン別に学びます。販売業務に関連するフレーズや語彙を中心に、グループやペアでのロールプレイや発表でのアウトプットの練習を通して実践的におもてなし英語を習得します。また、接客における日本と英語圏との文化の違いについても学びます。
達成目標
・英語の丁寧な表現に慣れる ・販売業務に必要なフレーズや単語を覚える ・外国人旅行者と自信を持ってコミュニケーションが取れるようになる ・海外との文化の違いを学ぶ

授業計画

1	事前学習	テキストの確認	9	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	シラバスの確認		授業計画	Chapter 4 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	テキストの確認		事後学習	音声を使用し復習
2	事前学習	テキストで内容を確認	10	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 衣料品・化粧品販売（１）		授業計画	Chapter 5 家電販売（１）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
3	事前学習	音声を使用し確認	11	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 衣料品・化粧品販売（２）		授業計画	Chapter 5 家電販売（２）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
4	事前学習	音声を使用し確認	12	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 衣料品・化粧品販売（３）		授業計画	Chapter 5 家電販売（３）
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
5	事前学習	音声を使用し確認	13	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 3 ペアでのダイアログ発表		授業計画	Chapter 5 ペアでのダイアログ発表
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
6	事前学習	音声を使用し確認	14	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 4 食料品・雑貨販売（１）		授業計画	Chapter 3 - 5 の復習と期末試験準備
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	音声を使用し復習
7	事前学習	音声を使用し確認	15	事前学習	音声を使用し確認
	授業計画	Chapter 4 食料品・雑貨販売（２）		授業計画	期末試験
	事後学習	音声を使用し復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	音声を使用し確認			
	授業計画	Chapter 4 食料品・雑貨販売（３）			
	事後学習	音声を使用し復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：20%　＜（発表）＞：50%

教科書　著者名　　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【販売編】
　　出版社　　株式会社アルク
参考書　著者名　　英語出版編集部
　　タイトル　キクタン接客英会話【おもてなし編】
　　出版社　　株式会社アルク

年度	2020年度	学期	前期
科目名	簿記Ⅰ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記･簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か　意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	売掛金・買掛金について調べる
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし､勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B）の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2020年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	子記録債権･電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（３）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権･債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表　簿記Ｉの具体的作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳　株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権･債務の記帳　これからの時代の債権・債務を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（２）　貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務的種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（１）決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	範囲の復習をしっかりやろう
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（２）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2020 年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、WORD の基本操作を習得し、一般的な文書作成ができるようになること、CS 検定 WORD3 級取得ができる PC スキルが身につけられる内容となっている。また、タイピングではブラインドタッチができるなど PC 操作の基礎力を磨く。
達成目標
ブラインドタッチで一般的な速度での文字入力ができる。WORD の専門用語がわかり、基本的な PC 操作ができる。また、速くはなくても一般的な文書であれば正確に作成ができるようになることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	PC 起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	PC 操作基本、タイピング位置確認の講義及び入力練習		授業計画	CS 検定課題１文字入力①、Word（ワードアート、画像挿入）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	Word 基礎知識（概論、起動、終了、文書を開く、閉じる）		授業計画	CS 検定課題１文字入力②、Word 便利機能（置換、PDF ファイル）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、Word 文字入力（IME 設定、文字変換、単語登録）		授業計画	CS 検定 3 級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、文書作成①（文章入力、範囲選択、文字削除）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word3 級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、文書作成②（文字コピー、配置、装飾、保存、印刷）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word3 級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、Word 振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 Word 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、Word 表作成（表作成、レイアウト、スタイル）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、Word 文書編集（書式設定、段組み設定）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist Word 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2020年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、EXCELの基本操作を習得し、一般的な文書作成ができるようになること、CS検定EXCEL3級取得ができるPCスキルが身につけられる内容となっている。また、タイピングではブラインドタッチで文書入力をスムーズにできるなどPC操作の基礎力を磨く。
達成目標
ブラインドタッチで一般的な速度での文字入力ができる。EXCELの専門用語がわかり、基本的なPC操作ができる。また、スムーズに一般的な文書であれば正確に作成ができるようになることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	PC起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	PC 操作基本、タイピング位置確認の思い出し、文書入力練習		授業計画	CS検定課題１①、数式や関数（数式使用・関数使用）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	EXCEL基礎知識（概論、起動、終了、ブックを開く、閉じる）		授業計画	CS検定課題１②、数式や関数（条件付き関数）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、ワークシートとブック（作成・移動・書式設定）		授業計画	CS検定3級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、ワークシートとブック（オプションと表示）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL3 級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、ワークシートとブック（設定変更・印刷・保存）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL3 級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、EXCEL振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 EXCEL 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、セルやセル範囲（データの挿入・設定）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、テーブルの作成（作成・変更・抽出・並べ替え）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist EXCEL 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2020年度	学期	前期
科目名	異文化コミュニケーションⅠ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では、異文化とは、国境を越えたところにある他国の文化というステレオタイプを取り払い、私たちが社会生活を送る上でこれまで常識としてきたこと、当たり前のように思ってきたものの見方や考え方、行動・生活様式とは異なる常識や世界観に焦点をあて、異質な人々とのコミュニケーションのために必要な知識を身につける。
達成目標
・異文化理解に必要な知識を身につけ、視野を広げ、コミュニケーションの喜びを知る。 ・ユニバーサルマナーについて知り、実生活に役立てる。 ・異文化に興味・関心をもち自ら積極的に関わろうとする好奇心を育てる。

授業計画

1	事前学習	異文化定義情報収集	9	事前学習	異文化課題プリント⑧
	授業計画	異文化理解① 異文化定義、世界と日本の多様化現状		授業計画	異文化理解⑨ メディアと文化・戦争の記憶
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
2	事前学習	異文化課題プリント①	10	事前学習	異文化課題プリント⑨
	授業計画	異文化理解②トータルカルチャーとサブカルチャー		授業計画	異文化理解⑩ 世界の人種と民族について学ぶ
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
3	事前学習	異文化課題プリント②	11	事前学習	異文化課題プリント⑩
	授業計画	異文化理解③ 異文化コミュニケーション能力とは		授業計画	異文化理解⑪ ネイションとナショナリズム
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
4	事前学習	異文化課題プリント③	12	事前学習	異文化課題プリント⑪
	授業計画	異文化理解④ ことばと権力・言語と文化の結びつき		授業計画	異文化理解⑫ 人種主義と差別について考える
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
5	事前学習	異文化課題プリント④	13	事前学習	異文化課題プリント⑫
	授業計画	異文化理解⑤ 非言語コミュニケーション		授業計画	異文化理解⑬ マイノリティとマジョリティ
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
6	事前学習	異文化課題プリント⑤	14	事前学習	異文化課題プリント⑬
	授業計画	異文化理解⑥ 様々な「時」と空間の捉え方		授業計画	異文化理解⑭ 前期講義内容の振り返り
	事後学習	講義内容確認		事後学習	講義内容確認
7	事前学習	異文化課題プリント⑥	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	異文化理解⑦ 異文化接触とアイデンティティ		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容確認		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	異文化課題プリント⑦			
	授業計画	異文化理解⑧ メディア・コミュニケーション			
	事後学習	レポート作成			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　池田理知子編著
　　タイトル　よくわかる異文化コミュニケーション
　　出版社　　ミネルヴァ書房

年度	2020年度	学期	後期
科目名	異文化コミュニケーションⅡ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では、異文化とは、前期で学んだ異質な人々とのコミュニケーションのために必要な知識を実生活でどのように活かしていくのか、アウトプットのための方法としてのユニバーサルマナーについて学ぶ。社会人として多様な人々との人間関係構築及び仕事や生活面での適切な行動ができるスキル習得を目指す。
達成目標
多様な人々が存在することを認識し、受け入れることができる。ユニバーサルマナーの必要性を認識した行動ができる。特に視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者、高齢者、外国人への知識を持ち、適切なサポートができる。

授業計画

1	事前学習	前期講義内容確認	9	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	オリエンテーション：概要説明、異文化コミュニケーション意義・復習		授業計画	ユニバーサルマナー⑤ 障害者理解（知的障害者）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	前回講義内容確認	10	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	異文化理解⑮ 中央と周縁～都市と地方の違い～		授業計画	ユニバーサルマナー⑥ 障害者理解（発達障害者）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	前回講義内容確認	11	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	異文化理解⑯ ジェンダーとは何かについて考える		授業計画	ユニバーサルマナー⑦ 障害者理解（精神障害者）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	視覚障害者情報収集	12	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	異文化理解⑰ グローバル化と格差社会のゆくえ		授業計画	ユニバーサルマナー⑧ 高齢者理解と対応
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習	13	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	ユニバーサルマナー① ユニバーサルマナーの定義と概要		授業計画	ユニバーサルマナー⑨ 性的マイノリティの理解と対応
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習	14	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習
	授業計画	ユニバーサルマナー② 障害者理解（視覚障害）		授業計画	ユニバーサルマナー⑩外国人への対応・ユニバーサルデザイン
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	ユニバーサルマナー③ 障害者理解（聴覚障害）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ユニバーサルマナー事前学習			
	授業計画	ユニバーサルマナー④ 障害者理解（身体障害）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　紀薫子、井上滋樹
　　タイトル　改訂版ユニバーサルサービス基本テキスト
　　出版社　　日本能率協会マネジメントセンター

年度	2020 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定 4 級・5 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新国内時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。政治に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題について話題に出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０日本時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動:国会議事堂見学(インタビュー、撮影、レポート)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「政治」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「政治」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史前期(調査･討論･事例紹介)		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（欧米）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策５級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①TPP について（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策５級②社会・環境/国際（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の政治（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の政治（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」入門編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2020 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定 3 級・4 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新海外時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。経済に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題について話題に出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０世界時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動:銀座ブランド店見学(インタビュー、撮影、レポート)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「経済」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「経済」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史中期(調査･討論･事例紹介)		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（アジア）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策３・４級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①働き方改革について（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策３・４級②社会･環境/国際（過去問実践９
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②1 億総活躍社会（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の経済（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本時事能力検定協会監修
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」基礎編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2020年度	学期	前期
科目名	ビジネス検定対策Ⅰ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義の目的は通常講義での基礎学習を伸ばすべく、好奇心を育成し、スキル向上の目標として資格取得を推奨する狙いがあります。そのため、前半に目標設定をすべく好奇心育成のきっかけとなる体験型講義を実施、後半に対象資格対策講義を予定しております。本講義は、マナー資格取得を目標とする内容となっております。
達成目標
通常講義での学習を向上させる手段として資格取得を目標としてた学習習慣を身につける。マナーを「使う」ことを意識した学習ができる。マナー力向上をすべく、資格取得を目標に継続した学習をすることができる。

授業計画

1	事前学習	マナー講義内容整理	9	事前学習	マナー課題プリント⑧
	授業計画	講義オリエンテーション：意義、学習内容、学習の流れ		授業計画	秘書検定①（時間計測、課題ごとのポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	マナー課題プリント①	10	事前学習	マナー課題プリント⑨
	授業計画	マナー復習：敬語、動作、ビジネス場面、接遇場面		授業計画	秘書検定②（時間計測、課題ごとのポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	マナー課題プリント②	11	事前学習	マナー課題プリント⑩
	授業計画	マナー体験学習①校内事務職員マナー体験講座		授業計画	ビジネス実務マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	マナー課題プリント③	12	事前学習	マナー課題プリント⑪
	授業計画	マナー体験学習②現役企業人マナー体験講座（NPO法人紹介）		授業計画	ビジネス実務マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	マナー課題プリント④	13	事前学習	マナー課題プリント⑫
	授業計画	マナー体験学習③元CA一流のマナー体験講座		授業計画	接遇マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	マナー課題プリント⑤	14	事前学習	マナー課題プリント⑬
	授業計画	マナー関連資格：資格概要（試験内容、取得条件、学習法）		授業計画	接遇マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ポイント確認）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	マナー課題プリント⑥	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	社会人常識マナー検定①模擬問題（時間計測、課題ごとのポイント確認）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	マナー課題プリント⑦			
	授業計画	社会人常識マナー検定②模擬問題（時間計測、課題ごとのポイント確認）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2020 年度	学期	前期
科目名	キャリア形成論Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義は、多様な価値観の混在する世界の中で生き抜くために必要な社会人基礎力を身につけることを目的とする。社会で自立するため、そして周囲の人を助けられるような人になることを目指し、計画性、表現力、主体性、ストレス耐性を身につけられるよう実践ワークを通じ学んでいく。
達成目標
・目標設定と目標達成のための現実的な取り組みの実践。　・自己理解と社会常識に沿う行動の学習と実践。 ・多様な価値観の習得とストレス耐性の向上。　・言葉を介した自己表現力の向上と文章表現力の向上。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	目標設定シート見直し
	授業計画	オリエンテーション 講義内容、到達目標説明		授業計画	目標設定振り返り③ 目標達成状況評価と改善案の策定
	事後学習	目標について考えてくる		事後学習	モニタリング＆目標設定シート完成
2	事前学習	自分の長所・短所を考えてくる	10	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	目標設定と自分についての振り返り キャリアについての事例紹介		授業計画	人間関係形成力を身につける③ SST の実践と振り返り
	事後学習	目標設定シートの完成		事後学習	感想シート記入
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	現代社会問題ピックアップ
	授業計画	人間関係形成力を身につける① グループワーク（合意形成）		授業計画	自分の考えを説明する＆文章化する③ 「現代社会の問題」
	事後学習	フィードバックシートの作成		事後学習	意見文の完成
4	事前学習	休み中に一つチャレンジする	12	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	自分の考えを説明する＆文章化する ①「チャレンジ状況の説明」		授業計画	多様性を知る②なんのために働くのか （グループワーク）
	事後学習	他の人の話を聞いて考えたこと		事後学習	振り返りシート記入
5	事前学習	目標設定シート見直し	13	事前学習	目標設定シート見直し
	授業計画	目標設定振り返り② 目標達成状況評価と改善案の策定		授業計画	目標設定振り返り④ 目標達成状況評価と改善案の策定
	事後学習	モニタリング＆目標設定シート完成		事後学習	モニタリング＆目標設定シート完成
6	事前学習	対処に困った出来事の抽出	14	事前学習	前期講義資料のまとめ
	授業計画	人間関係形成力を身につける② 場面や状況に応じた対応事例の検討		授業計画	前期講義内容の復習 ストレスマネジメント
	事後学習	講義内容の振り返り		事後学習	講義ノート見直し
7	事前学習	ニュース記事ピックアップ	15	事前学習	講義内容復習
	授業計画	自分の考えを説明する＆文章化する ②「ニュース記事」		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	意見文の完成		事後学習	試験内容振り返り
8	事前学習	講義内容の事前学習			
	授業計画	多様性を知る① 人生の価値観（グループワーク）			
	事後学習	振り返りシート記入			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　深尾紀子
　　タイトル　就職活動のための文章表現力基本テキスト
　　出版社　　日本能率協会マネジメントセンター

年度	2020年度	学期	後期
科目名	キャリア形成論Ⅱ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
キャリアとは、社会で他の人と協力しながら自分らしく生きていくプロセスのことを指す。前期に引き続き、この講義では、いまある自分自身を認め、客観的な視点を身につけ、個人やグループでのワークを通し、目指す自分の将来像について明確にするための様々な方法について学び実践する。
達成目標
講義やワークを通し、自己理解を深め、自分を客観的に見る視点を身につける。あるがままの自己を肯定し、他者との関係性の中で自分らしさを見出し、自分自身の望む将来のイメージをつかみ、明確にしていく。

授業計画

1	事前学習	前期学習内容プリントの見直し	9	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	前期講義内容の復習 自己イメージと後期の目標確認		授業計画	応募書類の作成② 伝わる書類作成のポイント
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容をふまえた応募書類の作成
2	事前学習	自分の悩みの切り出し	10	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	自分を客観視する①人の話を聴く力と基本的信頼感について		授業計画	応募書類の作成③ 志望動機・自己PRの書き方
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容をふまえた応募書類修正
3	事前学習	自分の安心体験の切り出し	11	事前学習	応募書類必要物事前準備
	授業計画	自分を客観視する②　人と温かくかかわる＆事実の正確な理解		授業計画	応募書類の作成④ 応募書類内容の見直しとまとめ
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容をふまえた応募書類修正
4	事前学習	講義資料の事前熟読	12	事前学習	作成した応募書類の読み込み
	授業計画	自分を客観視する③　人と温かくかかわる＆感情と願望の受けとめ方		授業計画	面接対策①　面接で大切なこと、実践ワークと振り返り
	事後学習	講義内容の復習と自身の振り返り		事後学習	面接実践内容の復習
5	事前学習	講義資料の事前チェック	13	事前学習	面接練習
	授業計画	悩みを相談する　進路について相談する＆自分の目標の明確化		授業計画	面接対策② 集団面接練習。過去学習内容の実践。
	事後学習	自身の進路の悩みまとめ		事後学習	面接練習内容の復習
6	事前学習	講義内容の下調べ	14	事前学習	後期学習内容資料の整理
	授業計画	働き方について知る　企業・業種・職種についての基本情報の理解		授業計画	後期講義内容の復習 自身の目標到達状況の振り返り
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	後期講義内容の復習
7	事前学習	自分の興味ある会社チェック	15	事前学習	定期試験対策学習
	授業計画	会社について知る 企業研究の意味と情報収集の方法		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容をふまえた企業研究		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	応募書類必要物の収集と準備			
	授業計画	応募書類の作成① 履歴書・自己紹介シートの書き方			
	事後学習	講義内容をふまえた応募書類の作成			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2020 年度	学期	前期
科目名	課程演習 I	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
日常的な英会話に必要な「文法知識」を整理すると共に、会話の練習を行うことで、「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。出席率と期末テストの結果を基に評価を行う。
達成目標
英語が必要な場面において、失敗を恐れずに、自分自身の力で発話をし、英語でのコミュニケーション自体が楽しめるようになることを目標とする。月に一度、欧米学生との交流会を行い、英語を使用する場面を設ける。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	交流会の振り返り
	授業計画	言語の 4 技能・語学力の推移・文法知識・文法運用能力の違いについて		授業計画	比較級 1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	単純現在形		授業計画	比較級 2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	単純過去形		授業計画	not as … as （原級を用いた比較）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	現在完了形		授業計画	欧米学生交流会
	事後学習	授業の復習		事後学習	交流会の振り返り
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	未来形：be going to + 動詞の原形		授業計画	最上級
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	形容詞		授業計画	時を表す前置詞
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	副詞		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	欧米学生交流会			
	事後学習	交流会の振り返り			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）
　　出版社　Cambridge University Press

年度	2020 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
「文法知識」を整理すると共に、時制の差について理解し、自分自身の言葉として発話できる為の「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くが「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、学習を行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、時制の差を理解し、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	期間を表す前置詞		授業計画	I will と I'm going to
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	before/ after/ during/ while		授業計画	欧米学生交流会
	事後学習	授業の復習		事後学習	交流会の振り返り
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	現在進行形と単純現在形１		授業計画	受動態１
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	現在完了形と過去形２		授業計画	可算名詞の前に置く a/an や some の用法
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	欧米学生交流会		授業計画	可算名詞と不可算名詞１
	事後学習	交流会の振り返り		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	現在完了形と過去形１		授業計画	可算名詞と不可算名詞２
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	現在完了形と過去形２		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	現在完了進行形			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）、（中級編）
　　出版社　　Cambridge University Press

年度	2020 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
「資格取得」を通して、自身の価値観形成及び適正理解をする。そのため、PC・漢字・マナー・簿記・外国語等複数の学習を行い、それぞれに応じた知識習得をする。また、学習計画やモチベーションの管理法を学び、社会人生活に適応する方法を学習する。
達成目標
各資格の特徴を知り、それに応じた学習内容及び学習法について知る。自身の興味を知り、資格取得に向けた学習計画を立て、実行する。それに応じた進路計画を立て、希望の進路に行けるよう行動する。

授業計画

1	事前学習	外国語プリント①	9	事前学習	IT 用語プリント⑤
	授業計画	外国語講義①TOEIC 文法傾向と必要学習		授業計画	PC 講義⑤模擬問題実践（MOS2016Word、Excel）
	事後学習	講義復習課題		事後学習	模擬問題振り返り
2	事前学習	外国語プリント②	10	事前学習	簿記用語プリント①
	授業計画	外国語講義②TOEIC 語彙傾向と必要学習		授業計画	簿記講義①簿記基本ルール（仕訳と実践練習）
	事後学習	講義復習課題		事後学習	講義復習課題
3	事前学習	外国語プリント③	11	事前学習	簿記用語プリント②
	授業計画	外国語講義③TOEIC リスニング傾向と必要学習		授業計画	簿記講義②簿記基本ルール（試算表と決算表を作成）
	事後学習	講義復習課題		事後学習	講義復習課題
4	事前学習	外国語プリント④	12	事前学習	簿記用語プリント③
	授業計画	外国語講義④TOEIC 過去問題実践と解説		授業計画	簿記講義③簿記検定問題実践（全経簿記 3 級）
	事後学習	過去問題振り返り		事後学習	検定問題振り返り
5	事前学習	IT 用語プリント①	13	事前学習	自己分析表プリント
	授業計画	PC 講義①Word 基本操作（文書入力、挿入等）		授業計画	キャリア形成講義①価値観分析とシート作成
	事後学習	講義復習課題		事後学習	キャリアシート完成
6	事前学習	IT 用語プリント②	14	事前学習	目標設定シート
	授業計画	PC 講義②Word 基本操作（図形、表、ワードアート等）		授業計画	キャリア形成講義②PDCA サイクルと目標設定
	事後学習	講義復習課題		事後学習	目標設定シート完成
7	事前学習	IT 用語プリント③	15	事前学習	復習
	授業計画	PC 講義③EXCEL 基本操作（表作成、挿入等）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義復習課題		事後学習	振り返り
8	事前学習	IT 用語プリント④			
	授業計画	PC 講義④EXCEL 基本操作（計算式、グラフ作成等）			
	事後学習	講義復習課題			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2020 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
「就職活動」を通して、自身の価値観形成及び適正理解をする。そのため、SPI・履歴書作成・価値観理解・面接練習等複数の学習を行い、それぞれに応じた知識習得をする。また、学習計画やモチベーションの管理法を学び、就職活動に適応する方法を学習する。
達成目標
就職活動における必要なタスクを知り、それに応じた準備について知る。自身の興味や適性を知り、進路活動に向けたスケジュールを立て、実行する。それに応じた進路計画を立て、希望の進路に行けるよう行動する。

授業計画

1	事前学習	就職活動スケジュールについて知る	9	事前学習	SPI 練習問題
	授業計画	就職活動とは:ハローワーク職員による講和とスケジュール確認		授業計画	SPI 対策③(学力及び性格模擬問題実践及び解説)
	事後学習	講義復習課題		事後学習	模擬問題振り返り
2	事前学習	職業情報収集	10	事前学習	自己分析シート作成
	授業計画	働くことを考える:職業デザインの多様性と価値基準		授業計画	面接応対①(面接の目的と自己 PR 解答作成)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	インターン情報収集	11	事前学習	筆記履歴書作成
	授業計画	インターン研修①概要説明・意義・目的・今後の流れ		授業計画	面接応対②（エントリーシートと志望理由作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	マナー課題プリント	12	事前学習	PC 履歴書作成
	授業計画	インターン研修②マナー講義(良い人間関係を作る言葉遣い)		授業計画	面接応対③（模擬面接大会と全体振り返り）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	模擬面接振り返り
5	事前学習	マナー課題プリント	13	事前学習	説明会情報収集
	授業計画	インターン研修③企業研修準備(企業分析・概要・役割・目的)		授業計画	就職活動実践：説明会検索方法と基本マナー
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	企業研修準備	14	事前学習	説明会準備
	授業計画	課外活動①企業研修（企業の方講義、実践・FB)		授業計画	課外活動②合同説明会参加（実践及び FB)
	事後学習	レポート作成		事後学習	説明会レポート作成
7	事前学習	SPI 情報収集	15	事前学習	復習
	授業計画	SPI 対策①(計算問題分野傾向と実践練習)		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	SPI 読解問題確認			
	授業計画	SPI 対策②(読解及び語彙問題分野傾向と実践練習)			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティング戦略	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界でのサービスマーケティング・インターナルマーケティング。現在は Twitter 活用し、動画配信者の認知度アップ・チャンネル登録者アップの SNS マーケティング		

講義概要
昨年度学んだ「マーケティング」「経営学」をふまえ、企業が目的を実現するための指針・土台となる「経営戦略」のうち「マーケティング戦略」を学ぶ。ビジネスパーソンとして、経営者による経営戦略から「どのような指針・土台をもとにマーケティングを展開していくか？」をビジネスフレームワークを用いて理解していく。
達成目標
（1）用語や定義に慣れる：経営・マーケティング戦略における用語や定義に慣れる。（2）フレームワークの活用：ビジネスフレームワークの「目的」や「使いどころ」を把握し、実践に使えるよう理解を進める。

授業計画

1	事前学習	マーケティング	9	事前学習	興味関心ある企業調査
	授業計画	ガイダンスおよび「マーケティング戦略の定義」		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」の作成演習と発表①
	事後学習	環境の変化と生活の変化		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
2	事前学習	ビジネス	10	事前学習	企業調査
	授業計画	「環境の変化」と「マーケティング戦略の必要性」		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」の作成演習と発表②
	事後学習	商品サービスが売れない理由		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
3	事前学習	消費行動の変化	11	事前学習	競合他社調査
	授業計画	環境変化による「生活・消費活動の変化」の関係性		授業計画	「ビジネスモデルキャンバス」で競合他社比較
	事後学習	消費活動の繋がりと派生		事後学習	ビジネスモデルキャンバスの再編成
4	事前学習	消費活動の繋がりと派生	12	事前学習	企業研究・分析
	授業計画	「変化の指標」とマーケティングによる「意味と価値」づくり		授業計画	①マーケティング視点の企業研究②組織体制とマーケティング機能
	事後学習	商品サービスの意味と価値を探る		事後学習	特定企業の研究・分析
5	事前学習	商品サービスの意味と価値を探る	13	事前学習	業界研究・分析
	授業計画	演習：環境と商品サービスの意味と価値の変化①		授業計画	マーケティング視点での業界研究・分析と求人選び
	事後学習	商品購入までの流れと繋がり		事後学習	特定業界の研究・分析
6	事前学習	価値	14	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	演習：環境と商品サービスの意味と価値の変化②		授業計画	第 1 回～第 13 回講義の振り返りと要点の確認
	事後学習	価値のある・なし		事後学習	試験に向けた学習
7	事前学習	ビジネスモデル	15	事前学習	講義内容の復習
	授業計画	フレームワークとビジネスモデル・ビジネスモデルキャンバス（BMC）		授業計画	定期試験
	事後学習	ビジネスモデルキャンバス		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	顧客満足			
	授業計画	「ビジネスモデルキャンバス作成事例」と演習			
	事後学習	各要素の繋がりと派生			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜(その他)＞：0%

教科書　著者名　オリヴァー・ガスマンほか
　　タイトル　ビジネスモデルナビゲーター
　　出版社　翔泳社
参考書　著者名　近藤哲朗
　　タイトル　ビジネスモデル 2.0 図鑑
　　出版社　株式会社 KADOKAWA

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営戦略	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	谷口　幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界で経営企画職でサービスマーケティング・インターナルマーケティング。起業後は Twitter 活用 SNS マーケティングと会社経営		

講義概要
「利益を出している企業には共通点（ビジネスモデル）がある」という視点から、経営戦略に基づいて創造される「ビジネスモデル」にはどのようなものがあるのか？を「ビジネスモデルナビゲーター・５５パターンカード」を用いて理解していきます。ビジネスモデルを知り、就職活動での企業選択や志望動機作成にも役立てる。
達成目標
５５パターンあるビジネスモデルのうち、とくに有名な企業や身近な商品サービスを扱うビジネスモデルを抽出。そのビジネスモデルの「仕組み」や「特長」について理解し、他の学生・学年にプレゼンテーションを実施。

授業計画

1	事前学習	ビジネスモデルとは何か	9	事前学習	フランチャイズ
	授業計画	ビジネスモデルの定義と必要性について共有し、５５パターンカード説明		授業計画	ビジネスモデル「フランチャイズ」の説明と演習
	事後学習	興味が持てたビジネスモデルを調査		事後学習	直販との違い
2	事前学習	フレームのメリットデメリット	10	事前学習	Amazon 社のビジネス
	授業計画	ビジネスモデル「クロスセル」の説明と演習		授業計画	ビジネスモデル「ロングテール」の説明と演習
	事後学習	アップセル		事後学習	楽天と Amazon の比較
3	事前学習	定額制サービス	11	事前学習	興味ある企業のビジネスモデル
	授業計画	ビジネスモデル「サブスクリプション」の説明と演習		授業計画	興味ある企業のビジネスモデルを作成、５５パターンカードも引用
	事後学習	課金システム		事後学習	経営資源の流れとステークホルダー
4	事前学習	無料で貰える・使える商品サービス	12	事前学習	興味ある企業の競合他社調査
	授業計画	ビジネスモデル「フリーミアム」の説明と演習		授業計画	興味ある企業と競合他社のビジネスモデルと比較と図解化
	事後学習	シェアリングとは		事後学習	ビジネスモデルの相違点抽出
5	事前学習	ミニマリスト	13	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	ビジネスモデル「シェアリングエコノミーサービス」の説明と演習		授業計画	興味ある企業のビジネスモデル図解のプレゼンテーションと評価
	事後学習	レンタルとシェアの違い		事後学習	フィードバックを受けて再構築
6	事前学習	消費者の「モノを持たない価値」	14	事前学習	後期テキストの振り返り
	授業計画	習ったビジネスモデルを活用して「新しいビジネス」を作る		授業計画	第１回目～第１３回目講義の振り返りと質疑応答
	事後学習	経営資源の流れを図解		事後学習	前期テキストの振り返り
7	事前学習	新しいビジネスの価値提案	15	事前学習	前期・後期テキスト内容確認
	授業計画	新しいビジネスの図解化とプレゼンテーション準備		授業計画	定期試験
	事後学習	プレゼンのタイムマネジメント		事後学習	テキスト見直し
8	事前学習	プレゼン準備			
	授業計画	「新しいビジネス」のプレゼンテーション実施と評価			
	事後学習	評価を踏まえて再構築			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜(その他)＞：0%

教科書　著者名　　オリヴァー・ガスマンほか
　　タイトル　ビジネスモデルナビゲーター
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　近藤哲朗
　　タイトル　ビジネスモデル 2.0 図鑑
　　出版社　　株式会社 KADOKAWA

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅢ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
1 年次に学んだビジネスマナーの理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。就職活動において企業と接する際に必要となるビジネスメールのやり取りや、携帯電話のマナーと応対、名刺の取り扱いなどを習得する。企業訪問の際の振る舞いや受付方法を学ぶ。社会人の常識として知っておきたい基礎用語を学習する。
達成目標
ビジネスメールのマナーを守って企業の人事担当とやり取りが出来る。ビジネス文書送付の際の添え状を作成出来る。郵便物の宛名を正しく書ける。報告書やレポートの書き方、社会人常識基礎用語がわかる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	会社訪問体験を書き出す
	授業計画	1 年間の成長を振り返り 2 年次の学習目標を設定する		授業計画	会社訪問の準備　受付での振る舞いロールプレイング
	事後学習	1 年次の復習ポイントを洗いだす		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
2	事前学習	3 か月後の姿を言語化する	10	事前学習	名刺デザインを考える
	授業計画	オンラインコミュニケーションの身だしなみ画面越しの会話テクニック		授業計画	名刺交換　紹介の仕方５つのケースロールプレイング
	事後学習	オンラインの際の背景を整える		事後学習	名刺を 5 枚作成する
3	事前学習	自己 PR の準備をする	11	事前学習	日本企業の役職を復習しておく
	授業計画	内定に繋がる自己アピール　仕事に繋がる自己紹介の準備方法		授業計画	様々な場面の席次　応接室･会議室･エレベーター・車など
	事後学習	自己 PR を修正し内容を整える		事後学習	フォームを使って小テスト
4	事前学習	身近なビジネス文書を集める	12	事前学習	雑談の話題を見つける
	授業計画	ビジネス文書の基本形　履歴書送付状（下書き）作成　宛名書き実習		授業計画	心の壁を取り除く雑談力の伸ばし方ショートスピーチ
	事後学習	PC で添え状を作成する		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
5	事前学習	メールの利用体験を書き出す	13	事前学習	５W3H について予習しておく
	授業計画	ビジネスメールのマナー　面接のお礼メールを下書き		授業計画	日報・報告書の役割と書き方　守秘義務と情報の取り扱い
	事後学習	お礼メール下書きを PC 入力する		事後学習	授業内容を報告書形式でまとめる
6	事前学習	1 年次の電話応対を復習する	14	事前学習	配布資料を読んでおく
	授業計画	携帯電話のマナーと活用　挨拶･基本動作実習		授業計画	各種資料を引用・要約する際のルール著作権
	事後学習	電話応対定型句集を作成する		事後学習	引用を使ってレポートを作成する
7	事前学習	頭語・結語について調べる	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	ビジネスコミュニケーションツールの使い分け		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	具体的な訪問先を見つけておく			
	授業計画	訪問アポイントメントの取り方　メールの場合、電話の場合の実習			
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われるビジネスマナー完全版
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅣ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
2 年間の総仕上げとして、社会人として知っておきたい大人のマナーについて学習する。ビジネスマナーは勿論のこと、冠婚葬祭の基礎知識、食事のマナー、ビジネスチャンスに繋がる季節の行事や日本のしきたりなど、人として高評価を得られるような知識に触れ、日本社会に対しての理解を深めるとともに人間力を磨く。
達成目標
冠婚葬祭の目的や意義を理解し、ビジネスマンとして対応出来るようになる。会食の席で堂々とふるまえるような食事のマナーを学び、品格ある行動が出来るようになる。社会人常識マナー検定 2 級レベルの知識を身につける。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題
	授業計画	ビジネスマナーⅠ・Ⅱ・Ⅲの振り返りと今後の課題を確認		授業計画	和食のマナー　日本料理の基礎知識 箸使いの作法
	事後学習	ビジネスマナーⅣの目標を設定する		事後学習	箸使いの練習をする
2	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句①	10	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭の目的と意義　冠婚葬祭とビジネスの関係		授業計画	西洋料理のマナー　食事の仕方とカトラリーの使い方
	事後学習	自国の通過儀礼について調べる		事後学習	ナイフ・フォークで食事をする
3	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句②	11	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭　日本の主な通過儀礼「冠」のしきたり		授業計画	中華料理のマナー　中華料理の基礎知識と回転卓の作法
	事後学習	自国の結婚について調べる		事後学習	食事のマナーについてレポート作成
4	事前学習	社会常識　欧文略語	12	事前学習	社会常識　総合問題①
	授業計画	冠婚葬祭　「婚」のしきたり　招待客としてのマナー		授業計画	縦書きのビジネス文書　案内状・招待状・お礼状
	事後学習	自国の葬儀について調べる		事後学習	お礼状を出す相手を決める
5	事前学習	社会常識　主要国名と首都名	13	事前学習	社会常識　総合問題②
	授業計画	冠婚葬祭　「葬」のしきたり　ビジネスにおける訃報対応		授業計画	縦書き手書きのお礼状　下書き文章を作成する
	事後学習	自国の季節行事について調べる		事後学習	筆ペンを準備する
6	事前学習	税金や社会保障制度に関する用語	14	事前学習	社会常識　総合問題③
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり①　季節の行事		授業計画	筆ペンの使い方実習　お礼状を清書し仕上げる
	事後学習	自国と日本の行事を比較する		事後学習	フォームを使って授業内容報告
7	事前学習	社会常識　時事問題	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり②　暦と二十四節気		授業計画	定期試験
	事後学習	冠婚葬祭の学習レポートを作成する		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題			
	授業計画	食事のマナー　食文化と歴史　食事とビジネスの関係			
	事後学習	フォームを使って授業内容報告			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 2 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーションⅢ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては２つの目的を持って取り組む。１つは就職活動場面においての適切な表現方法の習得。もう１つはプレゼンテーションにおいて 1 年次はグループ発表がメインだったが、個人でのスライド作成、構成作成、表現ができることを目標に個人での発表を行う。
達成目標
就職活動において企業側の意図を想定した応答ができ、効果的に自分自身をアピールできる。プレゼンテーションにおいて、単独でパワーポイントによる資料作成、構成作成、表現ができる。どちらも論理的表現ができる。

授業計画

1	事前学習	現在の就職活動の整理	9	事前学習	スティーブジョブスの情報収集
	授業計画	就職活動表現①自己 PR:場面に応じた自己紹介及び就活での効果的 PR		授業計画	プレゼンテーション④表現２：孫正義動画から表現法理解、実践
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	志望理由作成	10	事前学習	TED 動画視聴
	授業計画	就職活動表現②志望理由:様々な業種に応じた理由の違い及び実践練習		授業計画	プレゼンテーション⑤表現３:TED 動画から表現法理解、実践
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	就活質問解答準備	11	事前学習	過去自身の作成スライドを確認
	授業計画	就職活動表現③その他質問:企業心理の分析及びそれに応じた解答作成		授業計画	プレゼンテーション⑥スライド作成:5 秒でわかるスライド作成法
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	就活態度の確認	12	事前学習	ジェスチャーの意義を確認
	授業計画	就職活動表現④態度・言葉遣い:面接や電話応答での動作理解及び実践		授業計画	プレゼンテーション⑦表現動作：人を惹きつけるジェスチャー講義
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	面接想定練習	13	事前学習	発表テーマ選定
	授業計画	就職活動表現⑤模擬面接会（面接、評価、FB）		授業計画	プレゼンテーション⑧発表準備（構成・セリフ作成、スライド準備）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	前回プレゼン講義内容整理	14	事前学習	発表準備
	授業計画	プレゼンテーション①決意表明:1 年の決意表明を構成、表現を動画撮影		授業計画	プレゼンテーション⑨個人発表（発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
7	事前学習	プレゼンテーション専門用語確認	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	プレゼンテーション②プレゼンテーションのアウトライン確認		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	チームワーク考察			
	授業計画	プレゼンテーション③表現１:ジョブス動画から表現法理解、実践			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　カーマイン・ガロ
　　タイトル　スティーブジョブス驚異のプレゼン
　　出版社　　日経 BP 社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅣ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においてはプレゼンテーションを軸とした様々な表現方法を学習する。プレゼンテーションの他にも企画書や CM 動画作成などを通して場面に応じた柔軟な表現力獲得を目指す。またその過程でのグループ作業を通してチームビルディングに必要な知識を学習する。
達成目標
受容、共感を用いて相手の気持ちを重視した傾聴ができる。チームの役割を把握したグループ作業ができる。CM,企画書、スピーチ、ビジネスプレゼン等場面での表現ができる。効果的な発声やアクセントができる。

授業計画

1	事前学習	前回スピーチ講義内容確認	9	事前学習	自身作成の CM 内容理解
	授業計画	スピーチ①表現法：呼吸法、発声法及び表現方法の理解、実践		授業計画	チームビルディング④：CM 講評会（視聴、発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	スピーチ発表準備	10	事前学習	前回ビジネスプレゼン内容確認
	授業計画	スピーチ②スピーチコンテスト（発表、評価、FB）		授業計画	ビジネスプレゼン①言葉遣い・動作：ビジネス場面における作法の理解
	事後学習	自身発表振り返り		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ビジネス文書予習	11	事前学習	構成についてポイント確認
	授業計画	ビジネス文書①ビジネス文書作成ルール		授業計画	ビジネスプレゼン②社外プレゼン（社内プレゼンとの違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	企画書案予習	12	事前学習	スライド作成法振り返り
	授業計画	ビジネス文書②企画書作成（目的と作成方法）		授業計画	ビジネスプレゼン③社外プレゼンスライド作成
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	企画書発表準備	13	事前学習	テーマ選定
	授業計画	ビジネス文書③企画発表（企画書⇒スライド作成）		授業計画	ビジネスプレゼン④社外プレゼン発表準備（発表、評価、FB）
	事後学習	自身発表振り返り		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	チームワークのポイント確認	14	事前学習	発表準備
	授業計画	チームビルディング①基礎概論：グループとチームの違い		授業計画	ビジネスプレゼン⑤発表会（発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	チームワークのポイント確認	15	事前学習	期末試験範囲の復習
	授業計画	チームビルディング②実践：企業研修での複数タスクの実践練習		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	有名 CM 視聴及び感想作成			
	授業計画	チームビルディング③CM 作成：役割分担、メッセージ確認し動画撮影			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　前田鎌利
　　タイトル　社外プレゼンの資料作成術
　　出版社　　ダイヤモンド社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本の社会や文化について英語で説明ができるよう、適切な言語知識を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の２級または 3 級の資格取得,TOEIC600 点取得を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語での自己紹介･当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の基礎 日本の都市、地方 2
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の地勢１		授業計画	英語表現の基礎 日本の交通
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の地勢２		授業計画	英語表現の基礎 日本のインフラストラクチャー
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（古代から中世）1		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活文化１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（古代から中世）2		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活文化２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	0
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（近代）３		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（近代）４		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の基礎 日本の都市、地方１			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　江口裕之
　　タイトル　英語で語る日本事情 2020
　　出版社　　The Japan Times
参考書　著者名　　山口百々男
　　タイトル　英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産
　　出版社　　三修社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
英語と日本語を対比させながら、適切な言語表現と文法などの言語知識を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の 3 級または２級の資格取得、TOEIC800 点取得を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産４
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の慣習・儀式１		授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産５
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の慣習・儀式２		授業計画	英語表現の基礎 日本の観光地
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の宗教１		授業計画	英語表現の基礎 日本の観光の課題
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の宗教２		授業計画	英語表現の基礎 インバウンドデザイン
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産１		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産２		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産３			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	卒業演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では卒業研究課題作成に向け、テーマ選定のためのアプローチ方法や課題作成の基本ルールについて、文章作成のワークを通じて学習する。提示した素材ごとに各自が取り組みたいテーマを設定し、それについて掘り下げて追及する練習を行う。また説得力のある文章構成に必要な要素について学習し研究課題の選定に活かす。
達成目標
卒業研究課題の設定を目標とする。ニュース、日常生活、好きなこと、学習内容の中から項目ごとに研究課題を設定し、仮の研究背景や目的について追及し、文章化する練習を行うことで最適な研究課題を見つけ出す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究とは何か テーマの探し方、情報収集の仕方と実践練習		授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「日常生活１」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
2	事前学習	学習内容の予習	10	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究の基本事項① 引用文の扱い方、文体、内容		授業計画	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「日常生活２」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
3	事前学習	学習内容の予習	11	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究課題設定の基本事項② 研究背景、目的、文章構成の方法		授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「講義内容１」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
4	事前学習	学習内容の予習	12	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究課題設定の基本事項③ 研究の進め方、展開方法		授業計画	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「講義内容２」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
5	事前学習	学習内容の予習	13	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース１」		授業計画	前回学習内容の復習 卒業研究の目的の再確認・補足事項
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
6	事前学習	学習内容の予習	14	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース２」		授業計画	卒業研究課題作成の基本事項確認 テーマの決定
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
7	事前学習	学習内容の予習	15	事前学習	前期学習内容の復習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなもの１」		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	学習内容の予習			
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「好きなもの２」			
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	須賀　春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では卒業研究課題設定に向け、テーマ選定のためのアプローチ方法や課題作成の基本ルールについて、文章作成のワークを通じて学習する。提示した素材ごとに各自が取り組みたいテーマを設定し、それについて掘り下げて追及する。また説得力のある文章構成に必要な要素について学習し課題作成に活かす。
達成目標
卒業研究課題の追求と文章作成。自らの活動体験に基づき、得た気づきの中から個人もしくはグループで課題を設定する。もしくは、講義内で取り上げた身近なテーマを題材とし、追求し卒業研究課題を決定する。

授業計画

1	事前学習	卒業研究のための事前準備	9	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究課題の確認と諸注意 今後のスケジュールの確認と卒論作成		授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑧
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
2	事前学習	卒業研究のための事前準備	10	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク①		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章初稿提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
3	事前学習	卒業研究のための事前準備	11	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク②		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章校正
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
4	事前学習	卒業研究のための事前準備	12	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク③		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
5	事前学習	卒業研究のための事前準備	13	事前学習	卒業研究のための事前準備
	授業計画	卒業研究構成概要の提出 個人またはグループでのワーク④		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章最終校正
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
6	事前学習	卒業研究のための事前準備	14	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑤		授業計画	卒業研究課題作成 卒業研究課題の調査結果文章最終提出
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	資料研究、卒業研究課題作成
7	事前学習	卒業研究のための事前準備	15	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑥		授業計画	定期試験
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成		事後学習	定期試験見直し
8	事前学習	卒業研究のための事前準備			
	授業計画	卒業研究および卒業研究課題設定のための個別またはグループワーク⑦			
	事後学習	資料研究、卒業研究課題作成			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：50%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　酒井聡樹
　　タイトル　これからレポート・卒論を書く若者のために
　　出版社　　共立出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	須賀　春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では作成した卒業研究文を基に、卒業研究発表のためのスライドの作成及びプレゼンテーション準備を行う。この 2 年間での学びを活かし、より人の心に伝わる、人の心を動かす発表を目指し、スライドの機能およびプレゼンテーションの流れについて改めて振り返りながら専門学校の学びの集大成として一つの形にまとめる。
達成目標
卒業研究課題の引き続きの追求と卒業研究文を基に、スライドを用いた卒業研究発表の作成準備と発表の実行。専門学校 2 年間の学びの集大成の成果として発表を行うことで、自身の学びを将来に繋げる。

授業計画

1	事前学習	卒業研究文の見直し	9	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究発表概要 今後のスケジュール確認とスライド構成概要説明		授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑧
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
2	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	10	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク①		授業計画	卒業研究発表スライド完成 卒業研究発表スライド初稿提出
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
3	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	11	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク②		授業計画	卒業研究発表予行演習①卒業研究発表スライドの内容見直しと修正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
4	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	12	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク③		授業計画	卒業研究発表スライド作成 卒業研究発表スライドの再校正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
5	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	13	事前学習	卒業研究発表のための事前準備
	授業計画	卒業研究発表スライド構成概要の提出 個人またはグループでのワーク④		授業計画	卒業研究発表会予行演習② 卒業研究課題の調査結果文章最終校正
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表スライドの準備
6	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	14	事前学習	卒業研究発表のための最終準備
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑤		授業計画	卒業研究発表会 卒業研究発表の評価とフィードバック
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	卒業研究発表内容振り返り
7	事前学習	卒業研究発表のための事前準備	15	事前学習	後期講義内容の見直し
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑥		授業計画	定期試験
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備		事後学習	定期試験見直し
8	事前学習	卒業研究発表のための事前準備			
	授業計画	卒業研究および卒業研究発表のための個別またはグループワーク⑦			
	事後学習	卒業研究発表スライドの準備			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：20%　＜（　課題・小テスト　）＞：60%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　酒井聡樹
　　タイトル　これからレポート・卒論を書く若者のために
　　出版社　　共立出版

年度	2021年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティ経営論Ⅰ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
「ホスピタリティ」の概念や理念が、どのように企業経営に活かされているのか。当講義では、顧客満足、従業員満足を追求している企業の実例をケーススタディとして用いながら、「ホスピタリティ」とは何か、CS、ESとの関係性などを経営者の視点から考えることを学ぶ。
達成目標
サービスプロフィットチェーンにおける「CSとESの関係」、「利益向上とESの関係」、「ESを高めるために重要なこと」などを経営者の視点から論理的に考察し、将来の自分の仕事に活かすことを目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリント通読	9	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	ホスピタリティとは何か、「相手の立場に立って考える」ことの重要性		授業計画	従業員満足を高める要因について①「トータルリワード（総報酬）」
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリント通読	10	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	サービスレベルとホスピタリティ①5段階のサービスレベル		授業計画	従業員満足を高める要因について②「働きやすい企業ランキング」分析
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリント通読	11	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	サービスレベルとホスピタリティ②サービスプロフィットチェーンとは		授業計画	従業員満足を高める要因について③「働きやすい企業ランキング」分析
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリント通読	12	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	顧客満足度とは何か①顧客満足度と売上・利益の関係性		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリント通読	13	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	顧客満足度とは何か②ホスピタリティと顧客満足度の関係		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリント通読	14	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	企業ケーススタディ①、グランドハイアット東京の経営理念・行動指針		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析③
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリント通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	企業ケーススタディ②、加賀屋のホスピタリティ・ケーススタディ①		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリント通読			
	授業計画	企業ケーススタディ②、加賀屋のホスピタリティ・ケーススタディ②			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティ経営論Ⅱ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
前期に学習した「ホスピタリティ経営論Ⅰ」を更に発展させ、「ホスピタリティサービスを提供できる人材を育てられること」を主眼に置き、学習する。スタッフの視点だけではなく、経営者としての視点が身に着けられるよう、顧客・従業員エンゲージメントや、企業理念がホスピタリティに与える影響を学ぶ。
達成目標
「ホスピタリティサービスを提供できる人材を育てられること」を理解できるようになり、より経営的な視点からホスピタリティを捉え、将来企業でマネジメント職に就いた場合に活かせる考え方を身に着けることを目指す。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリント通読	9	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	前期内容　復習､ES→ホスピタリティ→サービスレベル→CSの連鎖		授業計画	ケーススタディ②「大東建託」のホスピタリティと研修制度②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリント通読	10	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント①より高い従業員満足を得るための条件とは		授業計画	ケーススタディ③「星野リゾート」のホスピタリティマネジメント①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリント通読	11	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント②　総報酬とESの関係性について		授業計画	ケーススタディ③「星野リゾート」のホスピタリティマネジメント②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリント通読	12	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント③顧客エンゲージメントとの関係		授業計画	観光業のホスピタリティ、インバウンドビジネスの概要①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリント通読	13	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	経営戦略基礎、「理念の共有」とホスピタリティの関係		授業計画	観光業のホスピタリティ、インバウンドビジネスの概要②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリント通読	14	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	企業ケーススタディ①「TESSEI」のホスピタリティと現場力①		授業計画	ホスピタリティ経営について総復習、理念の共有・研修・実践について
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリント通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	企業ケーススタディ①「TESSEI」のホスピタリティと現場力②		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリント通読			
	授業計画	ケーススタディ②「大東建託」のホスピタリティと研修制度①			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、WORD の操作をビジネスレベルで使えるようになることを目的とする。そのため、場面に応じたルールや使用する言葉を理解し、ビジネスメールが作成できること、CS 検定 WORD２級取得ができる PC スキルが身につけられる内容となっている。
達成目標
ブラインドタッチで平均以上での文字入力ができる。ビジネス場面における適切なメールを作成することができる。CS 検定 2 級レベルの WORD での操作ができ、ビジネス場面において通用するレベルの PC 操作ができる。

授業計画

1	事前学習	PC 起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネス用語①（敬語、尊敬語、謙譲語）		授業計画	CS 検定課題１文字入力①、Word 振り返り③（ワードアート、画像）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネス用語②（ビジネスメール専門用語、構成）		授業計画	CS 検定課題１文字入力②、Word 振り返り④表作成（設定等）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、ビジネスメール①（就活場面メール）		授業計画	CS 検定２級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、ビジネスメール②（同僚や社内メール）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word２級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、ビジネスメール③（取引先やお客様等社外メール）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word２級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、ビジネスメール振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 Word 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、Word 振り返り①文書作成（配置装飾等基本操作）Word 表作成（表作成、レイアウト、スタイル）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、Word 振り返り②文書編集（書式設定、段組み設定）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist Word 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、PC 操作をビジネスレベルで使えるようになることを目的とする。目的は二つ、一つは WORD を使用しての社内・社外文書、議事録を作成できること。もう一つは EXCEL をビジネス場面で使用できること。そのため、EXCEL は CS 検定 WORD２級取得ができる PC スキルが身につけられる内容となっている。
達成目標
ブラインドタッチで平均以上での文字入力ができる。ビジネス場面における適切な社内・社外文書・議事録を作成できる。CS 検定 2 級レベルの EXCEL での操作ができ、ビジネス場面において通用する PC 操作ができる。

授業計画

1	事前学習	PC 起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネスマナー講義①社内･社外文書（目的・ビジネス用語・構成）		授業計画	CS 検定課題１①､EXCEL 振り返り③（数式・関数）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、社内文書作成（会議等お知らせ）		授業計画	CS 検定課題１②､EXCEL 振り返り④（グラフ作成）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、社外文書作成（会議等お知らせ）		授業計画	CS 検定２級各課題内容確認＆過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネスマナー講義②会議議事録（目的・ビジネス用語、構成）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL２級過去問題①実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、会議議事録作成（実際の討論後作成）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 EXCEL２級過去問題②実践＆解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、社内・社外文書作成振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 EXCEL 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、EXCEL 振り返り①（ワークシート・ブック）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	定期試験解答確認
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習			
	授業計画	文書入力練習⑤、EXCEL 振り返り②（セル・テーブル）			
	事後学習	講義学習内容を操作確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　富士通エフ・オー・エム株式会社
　　タイトル　Microsoft Office Specialist EXCEL 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	消費者行動論	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
人間の心理面に焦点をあて、市場で製品が売れる課程を理解していく。特に、その課程において企業や店舗がどのように関わっているのか、人が選択する際の「くせ」（不合理）を伝統経済学やマーケティング、行動経済学等幅広い視点から理解できる内容とする。
達成目標
人間心理に基づいた購買行動を理解することで、今後の仕事における顧客心理に基づいた応対や企画はもちろん、普段のアルバイト接客や買い物、自身の学習計画の履行等で広く活用していくことを目標とする。

授業計画

1	事前学習	マーケティング用語を調べる	9	事前学習	男女の違い調査
	授業計画	マーケティング基礎講義：1.0-4.0 マーケティング比較		授業計画	消費者行動③男女別マーケティングと事例紹介
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
2	事前学習	ホスピタリティ用語を調べる	10	事前学習	認知学用語を調べる
	授業計画	ホスピタリティ基礎講義：顧客満足とは		授業計画	消費者行動④ニューロンマーケティングと事例紹介
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
3	事前学習	経済学用語を調べる	11	事前学習	EC 用語を調べる
	授業計画	経済学基礎講義：機会費用、希少性、代替え財等法則		授業計画	最新消費者行動①AIDMA と AISAS の購買行動
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
4	事前学習	経済学用語を調べる２	12	事前学習	EC 用語を調べる 2
	授業計画	行動経済学講義①：伝統経済学との違い		授業計画	最新消費者行動②EC マーケティングとショールーミング
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
5	事前学習	行動経済学用語調べる１	13	事前学習	2025 年調査
	授業計画	行動経済学講義②：ヒューリスティックとシステマティック		授業計画	最新消費者行動③2025 年における消費者行動
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
6	事前学習	行動経済学用語を調べる２	14	事前学習	流行用語を調べる
	授業計画	行動経済学講義③：プロスペクト理論とナッジ理論		授業計画	イノベーションと流行の関係、流行を作ろう
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
7	事前学習	購入パターン調査	15	事前学習	これまでのテスト範囲の復習
	授業計画	消費者行動①購買意思決定プロセスと事例紹介		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	定期試験解答内容の確認
8	事前学習	カラー用語を調べる			
	授業計画	消費者行動②カラーマーケティングと事例紹介			
	事後学習	学習内容復習課題			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　田中洋
　　タイトル　消費者行動論
　　出版社　　中央経済社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	イベントマネジメント	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的はイベントマネジメントに必要な知識を身につけることで企画力・立案力・関係者との交渉力・管理力等総合的人間力の向上を図ることである。そのため、スポーツ・観光におけるイベント企画・開催を通して、スキルを身につける体験型の講義内容としている。
達成目標
イベント開催に必要な段取り、必要なスキルを理解する。飲み会の幹事からビジネスのプロジェクトにいたるまで、基本の構成が同じであることを理解し、日常生活における様々なイベント開催に積極的な姿勢で参加ができる。

授業計画

1	事前学習	イベント企画情報収集	9	事前学習	イベント準備
	授業計画	イベントマネジメント①概論（定義、必要なスキル）		授業計画	スポーツイベント⑤校内スポーツ大会開催（当日進行管理）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	イベント振り返り
2	事前学習	イベントマネジメント情報収集	10	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント②企画力（目的、メリット、メッセージ）		授業計画	観光イベント①外国人観光客の現状と人気スポット
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	イベントマネジメント情報収集	11	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント③交渉力（傾聴、共感等スキルトレーニング）		授業計画	観光イベント②観光スポット調査（浅草インタビュー）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	レポート作成
4	事前学習	イベントマネジメント情報収集	12	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	イベントマネジメント④計画立案(効率、実現性、管理)		授業計画	観光イベント③観光スポット調査（鎌倉インタビュー）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	レポート作成
5	事前学習	スポーツイベント情報収集	13	事前学習	観光イベント情報収集
	授業計画	スポーツイベント①オリンピックビジネスと経済効果		授業計画	観光イベント④イベント準備（学内留学生観光イベント立案）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	スポーツイベント情報収集	14	事前学習	イベント準備
	授業計画	スポーツイベント②オリンピック競技体験（アーチェリー）		授業計画	観光イベント⑤学内留学生観光イベント開催
	事後学習	レポート作成		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	スポーツイベント情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	スポーツイベント③オリンピック競技体験（テニス）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	スポーツイベント情報収集			
	授業計画	スポーツイベント③イベント準備(校内スポーツ大会立案)			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定準 2 級・3 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新国内時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。社会問題・環境問題に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題の話題が出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０日本時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動:ゴミ処理場見学(インタビュー、撮影、レポート)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「社会・環境」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０日本時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「社会・環境」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史後期(調査･討論･事例紹介)		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（アフリカ）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策準２級・２級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①再生可能エネルギー（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策準２級・２級②社会・環境/国際（過去問実践９
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の社会・環境（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の社会・環境（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本時事能力検定協会監修
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」発展編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	沢井　裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は２つある。１つは国内・国外の一般的な時事常識を理解し、視野を広げた上で適切な意見を言えるようになるなど就職活動や社会に出るための準備をすること。もう１つはその学習の成果として定期的にニュース時事検定を目標とし知識習得の向上に努めることです。主に検定 1 級・2 級の取得を目標とする。
達成目標
一般的な最新海外時事を広く理解できる。国内外の歴史についての知識を持つ。国際問題に興味を持ち、自分の生活と結びつけて捉えられる。時事問題の話題が出た際、相手の立場に考慮し、周囲と意見を交わせる。

授業計画

1	事前学習	ニュース情報収集	9	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	近代時事２０２０世界時事①事例ニュース紹介＆討論		授業計画	課外活動：お寺・教会比較見学（インタビュー、撮影、レポート）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	ニュース情報収集	10	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事②事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「国際問題」発表準備（スライド、セリフ作成）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ニュース情報収集	11	事前学習	発表準備
	授業計画	近代時事２０２０世界時事③事例ニュース紹介＆討論		授業計画	時事テーマプレゼン「国際問題」発表、評価、FB
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
4	事前学習	ニュース情報収集	12	事前学習	これまでの講義内容整理
	授業計画	歴史的時事①日本史近代（調査・討論・事例紹介）		授業計画	振り返り（時事ニュースを就活で活かす対策）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	ニュース情報収集	13	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	歴史的時事②世界（紛争と戦争）調査、討論、事例紹介		授業計画	ニュース検定対策１・２級①政治/経済/暮らし（過去問実践）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	ニュース情報収集	14	事前学習	ニュース情報収集
	授業計画	現代ピックアップ時事①AI と将来の仕事（調査、討論、事例紹介）		授業計画	ニュース検定対策１・２級②社会・環境/国際（過去問実践９
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
7	事前学習	ニュース情報収集	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	現代ピックアップ時事②日本の宗教（調査、討論、事例紹介）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	ニュース情報収集			
	授業計画	現代ピックアップ時事③世界の宗教（調査、討論、事例紹介）			
	事後学習	講義内容復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本時事能力検定協会監修
　　タイトル　2019 年度版ニュース検定公式テキスト＆問題集「時事力」発展編
　　出版社　　毎日新聞出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	接遇外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
日常的な英会話に必要な「文法知識」を整理すると共に、会話の練習を行うことで、「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、自分自身の力で発話をし、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit①		授業計画	Unit⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit②		授業計画	Unit⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③		授業計画	Unit⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④		授業計画	Unit⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤		授業計画	Unit⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥		授業計画	Unit⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）、（中級編）
　　出版社　　Cambridge University Press

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
「文法知識」を整理すると共に、時制の差について理解し、自分自身の言葉として発話できる為の「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くが「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、学習を行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、時制の差を理解し、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit①		授業計画	Unit⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit②		授業計画	Unit⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③		授業計画	Unit⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④		授業計画	Unit⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤		授業計画	Unit⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥		授業計画	Unit⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）、（中級編）
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	就職ケーススタディⅠ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	須賀　春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義は、変化に柔軟に対応し、前向きに生きていくために必要な社会生活スキルの向上と発展を目的とする。社会人として必要な計画性、表現力、主体性、ストレス耐性を身につけられるよう実際の職場を想定したワークを通じ学ぶ。また文章での自己表現やグループワークを通しコミュニケーション力を高め、自分らしい働き方を探る。
達成目標
・自己理解を深め、進路に向けて具体的な行動に移す。 ・ビジネス場面で必要なコミュニケーション力と文章表現力を向上させる。 ・目標達成の方法について体系的に理解を深め実践の習慣をつける。

授業計画

1	事前学習	目標設定シートの作成	9	事前学習	目標設定シートの見直し
	授業計画	1 年時の振り返り　卒業後の進路に向けての目標設定シート作成		授業計画	目標設定の評価中間チェック② 実行と実績振り返り
	事後学習	目標設定シートの完成		事後学習	目標設定シートの再策定
2	事前学習	応募書類の見直し	10	事前学習	最近気になるニュースのチェック
	授業計画	ビジネス文書の書き方①　履歴書の書き方復習・送付状の作成方法		授業計画	ビジネス文書の書き方② 報告書・意見書の作成
	事後学習	講義内容の復習と実践練習		事後学習	講義内課題の完成
3	事前学習	就活で困った事例の抽出	11	事前学習	アルバイトでよくある事例抽出
	授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）① 就職活動でよくある場面の対応		授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）③ 労働法と社会保障制度
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	講義内容の復習と実生活への活用
4	事前学習	企業の社会的意義について考える	12	事前学習	企業研究事前準備
	授業計画	企業研究①職種別の仕事内容の理解 グループワーク		授業計画	企業研究④業種別の業務内容の理解 サービスの仕事Ⅰ
	事後学習	CSR 活動について調べる		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	目標設定シートの見直し	13	事前学習	企業研究事前準備
	授業計画	目標設定の評価中間チェック① 実行状況と実績振り返り		授業計画	企業研究⑤業種別の業務内容の理解 サービスの仕事Ⅱ
	事後学習	目標設定シートの再策定		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	企業研究事前準備	14	事前学習	前期講義内容見直し
	授業計画	企業研究②業種別の業務内容の理解 ものを作る仕事Ⅰ		授業計画	金銭管理の基礎知識ライフイベントマネジメントプランを立てる
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	ライフマネジメントプランの完成
7	事前学習	企業研究事前準備	15	事前学習	前期講義内容の見直し
	授業計画	企業研究③業種別の業務内容の理解 ものを作る仕事Ⅱ		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	アルバイトでよくある事例抽出			
	授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)② 職場で起こりうる事例への対応			
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	就職ケーススタディⅡ	単位	2単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
本講義では、職業生活をおくる、という視点から社会を取り巻く様々な状況について知り、ワークライフバランスを図りながら自分らしく働くために必要な知識を身につける。また、実際の自分の状況に照らし合わせて具体的にどのように生活を送ることができるか金銭面や法制度の活用方法についてもシュミレーションし、将来に備える。
達成目標
・卒業後の社会生活のイメージの形成と、前向きな取り組み姿勢の基盤を作る。 ・資金計画も含めた人生設計の方法について学ぶ。 ・ビジネス場面で必要なコミュニケーション力と文章表現力の向上

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	目標設定シートの見直し
	授業計画	後期講義内容の概要説明 自分自身の将来イメージ		授業計画	目標設定の評価中間チェック 実行と実績振り返りと再作成
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	目標設定シートの再策定
2	事前学習	目標設定シートの作成	10	事前学習	事前課題について考えてくる
	授業計画	前期の振り返りと卒業後の進路についての目標設定シート作成		授業計画	ビジネス文書の書き方③ 論理的に説明した文章
	事後学習	目標設定シートの完成		事後学習	論理的に説明した文章の書き方
3	事前学習	就活で困った事例の抽出	11	事前学習	講義内容についての事前学習
	授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）① 仕事でよくある場面の対応①		授業計画	JST（ジョブスキルトレーニング）③ 労働法と社会保障制度復習
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	講義内容の復習と就活への活用
4	事前学習	企業の社会的意義について考える	12	事前学習	講義内容について事前に調べてくる
	授業計画	企業研究①企業の社会的意義を学ぶ CSR活動事例紹介		授業計画	金銭管理の基礎知識 ライフイベントマネジメントプラン
	事後学習	CSR活動について調べる		事後学習	ライフマネジメントプランの完成
5	事前学習	CSR活動発表準備	13	事前学習	先輩への質問内容を考えてくる
	授業計画	自分ならこんなCSR活動を考える 自分のプラン発表		授業計画	企業人に聞く 学生時代にやっておくべきこと
	事後学習	発表内容の感想・まとめ		事後学習	講義内容の復習と実生活への活用
6	事前学習	社内と社外での敬語の使い方復習	14	事前学習	前期講義内容見直し
	授業計画	ビジネス文書の書き方② 社内文書・社外文書の書き方		授業計画	前期講義内容の総復習
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	前期講義内容の復習
7	事前学習	バイト先で対応に困った事例抽出	15	事前学習	前期講義内容の見直し
	授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)② 仕事でよくある場面の対応②		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習と実生活への活用		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	福利厚生についての事前学習			
	授業計画	企業研究②様々な福利厚生 福利厚生と社会保障制度			
	事後学習	講義内容の復習と就活への活用			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：30%　＜（その他）＞：40%

教科書　著者名　　講師自作プリント
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	須賀　春菜		
実務経験教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
この地球で人類は、様々な信仰を持ち、多様な文化や自然環境の下で生活をしています。しかし実生活においては、日常の中でそれらについて考えを巡らすことはほぼないのが現状です。世界遺産について学ぶことはそんな日常から一歩外に踏み出し、異文化を知り、視野を広げるチャンスです。楽しみながら学んでいきましょう。
達成目標
世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産について学び、視野を広げるとともに世界遺産の価値を知る。 学んだ知識を定着させ、世界遺産検定 3 級合格を目指す。 異文化への理解を深め多様な価値観を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産とは何か 世界遺産の概要説明と導入		授業計画	日本の世界遺産　厳島神社・『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産の基礎知識 世界遺産条約と世界遺産の条件		授業計画	日本の世界遺産 長崎と天草地方・琉球王国のグスク他
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	11	事前学習	Google スライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 知床・白神山地・小笠原諸島・屋久島		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう①
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	12	事前学習	Google スライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 平泉・日光の社寺・富岡製糸場と絹産業遺産群		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう②
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	13	事前学習	Google スライドの使い方
	授業計画	日本の世界遺産 明治日本の産業革命・ル・コルビジェの作品・富士山		授業計画	日本の宝ピックアップ 地域の歴史や文化について調べて紹介しよう③
	事後学習	復習テスト		事後学習	発表内容のフィードバック
6	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	14	事前学習	前期講義資料見直し
	授業計画	日本の世界遺産 白川郷・五箇山・古都京都・紀伊山地の霊場と参詣道		授業計画	前期講義内容復習 世界遺産の基礎知識から日本の世界遺産まで
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	15	事前学習	前期講義内容復習
	授業計画	日本の世界遺産 法隆寺地域の仏教建造物群他		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験内容の復習
8	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる			
	授業計画	日本の世界遺産 姫路城・石見銀山と文化的景観・広島平和記念碑			
	事後学習	復習テスト			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（ 課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　　きほんを学ぶ世界遺産 100　世界遺産検定 3 級公式テキスト
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版
参考書　著者名　　世界遺産検定事務局
　　タイトル　　世界遺産検定公式過去問題集
　　出版社　　株式会社　マイナビ出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
身近な事柄について会話をする為に必要な「語彙力」を強化すると共に、会話の練習を行う事で、「文法運用能力」を高める事を目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」と言う事が多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。
達成目標
身近な事柄について会話をする為に必要な「語彙力」を強化すると共に、会話の練習を行う事で、「文法運用能力」を高める事を目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」と言う事が多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit①		授業計画	Unit⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit②		授業計画	Unit⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③		授業計画	Unit⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④		授業計画	Unit⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤		授業計画	Unit⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥		授業計画	Unit⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名　Michael McCarthy, Felicity O'Dell
　　タイトル　English Vocabulary in Use: Pre-Intermediate and Intermediate
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
日常的な英会話に必要な「文法知識」を整理すると共に、会話の練習を行う事で、「文法運用能力」を高める事を目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」と言う事が多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。出席率と期末テストの結果を基に評価を行う。
達成目標
英語が必要な場面において、失敗を恐れずに、自分自身の力で発話をし、英語でのコミュニケーション自体が楽しめるようになる事を目標とする。月に一度、欧米学生との交流会を行い、英語を使用する場面を設ける。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	交流会の振り返り
	授業計画	言語の 4 技能・語学力の推移・文法知識・文法運用能力の違いについて		授業計画	比較級 1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	単純現在形		授業計画	比較級 2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	単純過去形		授業計画	not as … as （原級を用いた比較）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	現在完了形		授業計画	欧米学生交流会
	事後学習	授業の復習		事後学習	交流会の振り返り
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	交流会の振り返り
	授業計画	未来形：be going to + 動詞の原形		授業計画	最上級
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	形容詞		授業計画	時を表す前置詞
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	副詞		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	欧米学生交流会			
	事後学習	交流会の振り返り			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）
　　出版社　Cambridge University Press

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	インターグローバルコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
「文法知識」を整理すると共に、時制の差について理解し、自分自身の言葉として発話出来る為の「文法運用能力」を高める事を目標とする。日本人学習者の多くが「知っている」にも関わらず、「使えない」と言う事が多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、学習を行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、時制の差を理解し、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	期間を表す前置詞		授業計画	I will と I'm going to
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	before/ after/ during/ while		授業計画	欧米学生交流会
	事後学習	授業の復習		事後学習	交流会の振り返り
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	現在進行形と単純現在形１		授業計画	受動態１
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	現在完了形と過去形２		授業計画	可算名詞の前に置く a/an や some の用法
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	欧米学生交流会		授業計画	可算名詞と不可算名詞１
	事後学習	交流会の振り返り		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	現在完了形と過去形１		授業計画	可算名詞と不可算名詞２
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	現在完了形と過去形２		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	現在完了進行形			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）、（中級編）
　　出版社　　Cambridge University Press

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティⅠ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	小池　勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT 企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
一般的に「ホスピタリティ」とは「おもてなし」や「心配り」など、サービスの延長線上にあるもの、もしくはサービスを補充するものとして混同、誤解されている場合が多い。本講義では、ホスピタリティ産業と呼ばれる業界の様々な事例を紹介しながら、サービスとホスピタリティの違い、ホスピタリティとは何かについて学んでいく。
達成目標
サービスが一定水準のコトを提供する「1 対多」の技術であるのに対し、ホスピタリティは「1 対 1」の関係構築に関する能力である。顧客に対して発揮されるホスピタリティとは何かを理解し、自らも実践できるようになる。

授業計画

1	事前学習	「ホスピタリティ」の語源を調べる	9	事前学習	他人に「貢献」した経験を振り返る
	授業計画	なぜ「ホスピタリティ」を学ぶのか、その意味を考える		授業計画	人に「貢献する」にはどのように考え行動すべきか（映像学習）
	事後学習	重要語句の概念を整理する		事後学習	映像を見た感想をまとめる
2	事前学習	「産業分類」とは何かを調べる	10	事前学習	宿泊施設の種類について調べる
	授業計画	「産業の空洞化」とサービス化社会」の到来		授業計画	ホスピタリティ産業研究① 宿泊業の業態・職種について
	事後学習	重要語句の意味を整理する		事後学習	興味ある企業・仕事を調べてみる
3	事前学習	ホスピタリティの事例を調べる	11	事前学習	航空業界の職種について調べる
	授業計画	「相手の立場になって感が行動する」とは、どのようなことか		授業計画	ホスピタリティ産業研究② 航空業界の業種・職種について
	事後学習	共感、信頼、貢献の意味を整理する		事後学習	興味ある企業・仕事を調べてみる
4	事前学習	「共感」の意味を調べる	12	事前学習	旅行業界の職種について調べる
	授業計画	これからの時代に「なぜ共感力が重要な能力なのか」を考える		授業計画	ホスピタリティ産業研究③ 旅行業界の業種・職種について
	事後学習	「共感」とは何かを理解する		事後学習	興味ある企業・仕事を調べてみる
5	事前学習	自分が「共感」した事例を調べる	13	事前学習	取り上げる注目企業を調べる
	授業計画	「共感」が、どのように人の行動に影響を与えるか（映像学習）		授業計画	ホスピタリティ産業研究④　いま注目のホスピタリティ企業（映像学習）
	事後学習	映像を見た感想をまとめる		事後学習	成長要因を理解する
6	事前学習	「信頼」の意味を調べる	14	事前学習	これまでの講義内容を整理する
	授業計画	「信頼する」「信頼される」とは、どのようなことかを考える		授業計画	これからの時代における「ホスピタリティ」の重要性について
	事後学習	「信頼」とは何かを理解する		事後学習	講義全般の振り返り
7	事前学習	自分が「信頼する人」は誰かを知る	15	事前学習	重要語句の意味を理解しておく
	授業計画	「信頼関係」をどのように構築するかを考える（映像学習）		授業計画	定期試験（ホスピタリティの重要性を理解する）
	事後学習	映像を見た感想をまとめる		事後学習	講義の重要ポイントを振り返る
8	事前学習	「貢献」の意味を調べる			
	授業計画	「人を助ける」「人の役に立つ」とは、どのようなことかを考える			
	事後学習	「貢献」とは何かを理解する			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（平常点）＞：20%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講義において適宜参考図書を例示する
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティⅡ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
ビジネスマナーで学習した内容を土台としてホスピタリティを学ぶ。なぜ「ホスピタリティ」を学ぶのかを理解し、心のこもったおもてなしの出来る人間力を育む。ホスピタリティを実践する３つのポイントを学習しホスピタリティの基礎を身につける。
達成目標
ホスピタリティを実践するための土台となる身だしなみ・言葉づかい・電話応対・挨拶が出来る。気配りや心配りを実践するための感じる力や先読みする価値を理解する。感動を伴うサービスの具体例がわかる。

授業計画

1	事前学習	自分のお気に入りを話せるよう準備	9	事前学習	ホスピタリティ体験を思い出す
	授業計画	グループディスカッション「なぜホスピタリティを学ぶのか」		授業計画	これまでに自分が体験したホスピタリティ体験を発表する
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	フォームを使って授業内容報告
2	事前学習	配布資料を音読する	10	事前学習	ディズニーランドについて調べる
	授業計画	ホスピタリティをめぐる様々な言葉からその在り方を探る①		授業計画	ホスピタリティ実践事例から学ぶ「オリエンタルランド」①
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	フォームを使って授業内容報告
3	事前学習	配布資料を音読する	11	事前学習	ディズニーシーについて調べる
	授業計画	ホスピタリティをめぐる様々な言葉からその在り方を探る②		授業計画	ホスピタリティ実践事例から学ぶ「オリエンタルランド」②
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	フォームを使って授業内容報告
4	事前学習	基本マナーの確認チェック	12	事前学習	大切な人の誕生日祝いを企画する
	授業計画	ホスピタリティを実践する 3 つのステップ１　基本のマナー		授業計画	ケーススタディ「誕生日を祝う」ホスピタリティサービス
	事後学習	敬語チェックテスト		事後学習	フォームを使って授業内容報告
5	事前学習	好感を持たれる服装を準備する	13	事前学習	プロポーズの演出を考える
	授業計画	ホスピタリティを実践する 3 つのステップ２　気配りとは		授業計画	ケーススタディ「プロポーズの演出を頼まれたら」
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	フォームを使って授業内容報告
6	事前学習	サプライズのアイデアを考える	14	事前学習	加賀屋について調べる
	授業計画	ホスピタリティを実践する 3 つのステップ３　心配りとは		授業計画	ホスピタリティ実践事例から学ぶ「加賀屋」①
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	フォームを使って授業内容報告
7	事前学習	感謝したい相手をピックアップする	15	事前学習	講義の復習
	授業計画	ホスピタリティ・マインドの育て方５つの感謝		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ノートの点検・充実			
	授業計画	確認テスト			
	事後学習	確認テストの振り返り			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　林田正光　監修
　　タイトル　図解版ホスピタリティの教科書
　　出版社　　あさ出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティングⅠ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	善福　大		
実務経験 教員紹介	人材派遣会社にて経営管理部に所属し経営戦略、組織管理、マーケティング方針の策定を行う。		

講義概要
マーケティングは「売れる仕組み」を考えることです。仕組みは「誰に」「何を」「どのように」を基本に様々な課題についての考え方が必要です。この考え方は様々なビジネスの場面で活用が可能です。本講義ではマーケティングを学ぶことで基本的なビジネス思考を身に着けます。
達成目標
マーケティングのフレームワークから分析手法まで基本的な知識を身に着けます。またマーケティング課題に関する取り組み方を事例をもとに学び、様々なビジネス場面における考え方を身に着けます。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	マーケティングとは何か。マーケティングの意味を伝える。		授業計画	マーケティングにおける目標（KPI と KGI について）
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	自分の KPI を立ててみる
2	事前学習	講義資料の確認	10	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	顧客、市場とは何か。アンゾフのマトリックス		授業計画	売上分析の方法（よくある効果測定の方法をしる）
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
3	事前学習	講義資料の確認	11	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	市場分析の手法（３C 分析、ファイブフォース）		授業計画	プロモーション活動の基本。プロモーションにおける大切な考え方。
	事後学習	３C 分析、５F の復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
4	事前学習	講義資料の確認	12	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	自社の強みとは（SWOT、STP 策定）		授業計画	最近の PR 活動について、流行の PR 手法を知る
	事後学習	SWOT、STP 策定の復習		事後学習	実際の PR 活動を調べてくる
5	事前学習	講義資料の確認	13	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	マーケティングリサーチとは何か。どんな手法があるか		授業計画	BtoB マーケティングとは何か、会社同士のやり取りをしる
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
6	事前学習	講義資料の確認	14	事前学習	前期資料の確認
	授業計画	マーケティングミックスの策定（４P の基本）		授業計画	前期のまとめと総復習を行う。前期講義の質問を受ける。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の確認
7	事前学習	前講義の復習	15	事前学習	前期資料の復習
	授業計画	マーケティングミックスの策定(実際の４P 分析)		授業計画	試験日
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	試験の復習
8	事前学習	講義資料の確認			
	授業計画	マーケティングミックスの策定(ブランディングとは何か)			
	事後学習	ブランディングについて復習する			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　中野崇
　　タイトル　いちばんやさしいマーケティングの教本
　　出版社　　株式会社インプレス
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	マーケティングⅡ	単位	2単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	善福　大		
実務経験 教員紹介	人材派遣会社にて経営管理部に所属し経営戦略、組織管理、マーケティング方針の策定を行う。		

講義概要
マーケティングは対面でのやり取りではなくデジタル技術を活用したマーケティングが現在の主流となっています。本講義では現代のマーケティングとして主流であるインターネットなどITを活用したデジタルマーケティングについて学び、現代マーケティングの基礎を学びます。
達成目標
デジタルマーケティングについての基礎を学び、これからのマーケティングがどのように行われていくのかを知りデジタル社会に通用する知識を身に着けます。またITを発信する側の考えを知りビジネス理解を深めます。

授業計画

1	事前学習	事前講義資料の確認	9	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	前期マーケティングのおさらいとこれからのマーケティング		授業計画	新たなサービス提供方法であるサブスクリプションについて学ぶ
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
2	事前学習	事前講義資料の確認	10	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	マーケティングにおける世界観を構築するブランディングについて		授業計画	デジタルマーケティングにおける価値観の伝え方
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
3	事前学習	事前講義資料の確認	11	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	デジタルマーケティングでの顧客へのアプローチの仕方を知る		授業計画	つながりとコミュニティマーケティングについて学ぶ
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
4	事前学習	事前講義資料の確認	12	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	変化するインターネット検索におけるSEOについて知る		授業計画	ＳＤＧｓから学ぶ社会を考えたマーケティング手法について学ぶ
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
5	事前学習	事前講義資料の確認	13	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	デジタル化が進む中で日本社会におけるDX問題について学ぶ		授業計画	マーケティングの未来、これからのマーケティングについて学ぶ
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
6	事前学習	事前講義資料の確認	14	事前学習	後期資料の確認
	授業計画	ECサイトの仕組みとDtoCについて学ぶ		授業計画	後期授業の総復習
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
7	事前学習	事前講義資料の確認	15	事前学習	後期資料の読み込み
	授業計画	リアルとデジタルを統合するユーザー体験型の仕組みについて学ぶ		授業計画	テスト
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	テストの復習
8	事前学習	事前講義資料の確認			
	授業計画	消費スタイルの変化とシェアリングエコノミーについて学ぶ			
	事後学習	講義資料の読み込み			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　押切孝雄
　　タイトル　デジタルマーケティングの教室
　　出版社　マイナビ
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経営学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	畠先生		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場の設計 23 年、同本社事業企画で 3 年、同部門の海外生産拠点で 15 年実務経験。		

講義概要
過去の経営者たちの知恵の集大成である経営学を学ぶことにより、会社の役割、組織、経営の考え方、社会環境の変化などの基礎知識を広く理解する。経営学の教科書をもとに進めるが、ビジネスに興味が持てるような身近な実例を紹介する。経営学Ⅰの講義内容は次の通り。①経営学全般、②イノベーション論、③マーケテイング論
達成目標
経営学の導入段階として、経営を取り巻く社会構造や経営に関する基礎的な考え方を理解することを目的とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の講義の復習
	授業計画	オリエンテーション、講義なし		授業計画	マーケテイング概要、基本サイクル STP、市場分析
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	基本サイクル STP について
2	事前学習	1 限目の講義の復習	10	事前学習	9 限目の講義の復習
	授業計画	経営をめぐる２１世紀の変化（VUCA の時代、働き方改革など）		授業計画	マーケテイング 4P、価格の心理学、プロスペクト理論について
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	マーケテイング 4P の事例研究
3	事前学習	2 限目の講義の復習	11	事前学習	10 限目の講義の復習
	授業計画	経営をめぐる２１世紀の変化（VUCA の時代、働き方改革など）		授業計画	取引数単純化の原理、商社の機能について
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	商流、物流について
4	事前学習	3 限目の講義の復習	12	事前学習	11 限目の講義の復習
	授業計画	経営学の基本 6 分野と歴史､会社の役割、社会責任 CSR について		授業計画	ジレットモデル、ロックインとは
	事後学習	課題：経営学基本６分野とは？		事後学習	ジレットモデルの実例調査
5	事前学習	4 限目の講義の復習	13	事前学習	12 限目の講義の復習
	授業計画	組織の 3 要素と PM 理論、リーダーシップ理論		授業計画	持続可能な開発目標 SDGｓ､エシカル消費について
	事後学習	課題：組織の 3 要素、PM 理論		事後学習	SDGｓの事例調査
6	事前学習	5 限目の講義の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	イノベーションの意味、歴史、基本プロセス		授業計画	ビジネスモデルキャンバス
	事後学習	課題発見に必要な共感マップ作製		事後学習	ビジネスモデルキャンバス事例研究
7	事前学習	6 限目の講義の復習	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	デザイン思考､プロトタイピング手法		授業計画	期末試験
	事後学習	デザインとアートの違い		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	7 限目の講義の復習			
	授業計画	発想に必要な掛け算思考、PEST 分析			
	事後学習	掛け算思考トレーニング			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　中川功一
　　タイトル　日常が学びに変わる！　経営学の本
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　沼上　幹
　　タイトル　ゼロからの経営戦略
　　出版社　　ミネルバ書房

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	畠先生		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場設計 23 年、国内事業企画 3 年、同部門の海外生産拠点で会社経営を 15 年実務経験。		

講義概要
経営学Ⅰに引き続き、経営学の教科書をもとに会社の役割、組織、経営の考え方などの基礎知識を理解する。さらに経営に必要な財務会計を紹介し、現実の生きた経営について学ぶ。経営学Ⅱの講義内容は次の通り。①事業システム論、②経営戦略論、③組織行動論、④経営組織論、⑤財務会計
達成目標
経営に関する基礎的な考え方及び専門的な知識の概略を理解することを目的とする。経営学を通じて多角的な視点での思考ができるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の講義の復習
	授業計画	ビジネスモデルキャンバス作成演習		授業計画	組織行動論、マズローの欲求 5 段階説
	事後学習	１時限目の復習		事後学習	自己決定理論 SDT とは
2	事前学習	1 限目の講義の復習	10	事前学習	9 限目の講義の復習
	授業計画	フリーミアム、プラットフォーム戦略		授業計画	キャリアアンカーとは、PDCA
	事後学習	フリーミアム事例調査		事後学習	戦略立案の PDCA
3	事前学習	2 限目の講義の復習	11	事前学習	10 限目の講義の復習
	授業計画	アウトソーシング戦略、パートナシップ戦略		授業計画	サイモンの意思決定理論、チーム力を高めるグループシンク
	事後学習	アップルの競争力が強い理由		事後学習	チーム力、判断力を高める方法
4	事前学習	3 限目の講義の復習	12	事前学習	11 限目の講義の復習
	授業計画	トヨタ生産方式、損益分岐点		授業計画	経営組織論、分業と調整
	事後学習	損益分岐点の求め方		事後学習	分業のメリットについて
5	事前学習	4 限目の講義の復習	13	事前学習	12 限目の講義の復習
	授業計画	経営戦略とは、ハーレーダビッドソン、アサヒビールの戦略		授業計画	機能別組織と事業部制組織、官僚制組織と有機的組織
	事後学習	経営戦略の立案プロセス		事後学習	官僚制組織のメリットとデメリットについて
6	事前学習	5 限目の講義の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	現状分析手法 SWOT＆TOWS 分析		授業計画	経営に必要な財務会計（Ｐ／ＬとＢ／Ｓ）
	事後学習	SWOT＆TOWS 分析事例		事後学習	財務諸表の見方
7	事前学習	6 限目の講義の復習	15	事前学習	講義の復習
	授業計画	ポーターの５要因分析、リソース・ベースド・ビュー		授業計画	期末試験
	事後学習	５要因分析の分析の例		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	7 限目の講義の復習			
	授業計画	ゲーム理論ベースの経営戦略、win-win			
	事後学習	ゲーム理論が教える望ましい戦略			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　中川功一
　　タイトル　日常が学びに変わる！　経営学の本
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　大津　広一
　　タイトル　ビジネススクールで身につける会計×戦略思考
　　出版社　　日本経済新聞出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅠ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
学生と社会人との違いを認識し、ビジネスシーンでの身だしなみや最低限守るべきマナー・ルールを学ぶとともに、日本社会で信頼され、活躍できる人材の育成を目指す。また、多国籍の集団の中で、良好な人間関係を築くための対面およびオンラインコミュニケーションを学び、日常生活でも実践できるよう指導する。
達成目標
ビジネススーツを正しく着こなす。好印象の挨拶・お辞儀などの基本動作が出来るようになる。就業マナーや会社組織、敬語の使い分け、電話応対の基本知識を理解し、実践できるようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	他国出身の友達を 5 人　紹介準備
	授業計画	講義の進め方とルール、当科目の学習目的を理解し目標をたてる		授業計画	指示の受け方　報告・連絡・相談と 5 W3H
	事後学習	3 か月後の姿を言語化する		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
2	事前学習	自己紹介の内容となる材料を集める	10	事前学習	敬語置き換え一覧表を印刷する
	授業計画	共に過ごす未来を意識した自己紹介の準備方法		授業計画	ビジネス会話の基本　敬語の種類と動詞の置き換え一覧表作成
	事後学習	1 分間自己紹介の準備をする		事後学習	敬語置き換え一覧表を覚える
3	事前学習	自己紹介を声に出して 5 回練習する	11	事前学習	フォームを使って敬語小テスト
	授業計画	学生と社会人の違いを５つの視点で比較する		授業計画	敬語の使い分け　内と外　間違いやすい敬語
	事後学習	フォームで自己紹介内容を報告		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
4	事前学習	外出準備の行動を言語化する	12	事前学習	日常生活で敬語会話を積極的に実践
	授業計画	大人としての自己責任　第一印象の重要性　メラビアンの法則		授業計画	ビジネスコミュニケーションの優先順位と使い分け
	事後学習	第一印象要点を 200 字でまとめる		事後学習	フォームで敬語会話の実践報告
5	事前学習	身だしなみチェック表を記入する	13	事前学習	興味のある日本企業の HP を探す
	授業計画	おしゃれと身だしなみの違い　スーツの着方　準備と手入れ方法		授業計画	電話応対①　電話のかけ方マナー　電話メモの取り方
	事後学習	スーツの手入れと靴磨きをする		事後学習	アポ電話の台詞を用意する
6	事前学習	姿勢の良い人の特徴を観察する	14	事前学習	電話応対会話資料を印刷する
	授業計画	正しい姿勢での立ち方・座り方・お辞儀・入退出動作実習		授業計画	電話応対②　電話の取り次ぎ　状況別応対シミュレーション
	事後学習	1 日 3 回各 1 分間壁立ち姿勢確認		事後学習	配布資料を確認しノートを整備する
7	事前学習	身近な人の役職を調べる	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	日本企業のタテ組織、ヨコ組織　人間関係構築の基本		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームで役職名問題を解く		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	配布資料を確認しノート整備			
	授業計画	シーン別挨拶の実習　オンライン画面の映り方イメージアップ法			
	事後学習	初対面の相手への挨拶練習 10 回			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われる図解ビジネスマナー
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅡ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
ビジネスマナーⅠで学習した内容理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。社会人常識マナー検定 3 級レベルの過去問題集を参考書として、社会常識やビジネスコミュニケーション力の向上と、ビジネスマナー知識の定着を図る。就職活動に向けて、自己と向き合い長所・短所が明確になる。
達成目標
ビジネスマナーが「わかる」レベルから「出来る」レベルに近づく。卒業後の進路に向けて、希望する進路先の情報を集め読み取ることが出来る。自己肯定感を高め、進路決定に向けて自ら行動出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題
	授業計画	前期の成長と変化を振り返り、後期の目標設定をする		授業計画	1 分間の自己 PR 発表とフィードバック
	事後学習	近い未来の姿を言語化する		事後学習	他者の自己 PR を評価する
2	事前学習	社会常識　同じ意味の言葉を整理	10	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『働く目的』について		授業計画	企業研究の目的と方法　情報を読み解くコツ
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	興味を持った企業情報をレポート
3	事前学習	社会常識　反対の意味の言葉を整理	11	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『企業研究の目的と必要性』		授業計画	面接の形式と評価のポイント　基本動作実習
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	笑顔と姿勢のトレーニング
4	事前学習	都道府県名と県庁所在地一覧作成	12	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	働くときの基礎知識　賃金や保障に関する法律を学ぶ		授業計画	就職面接　ロールプレイング　入室から退出まで
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	名のりの練習　30 回
5	事前学習	身近な人の仕事について話を聞く	13	事前学習	社会常識　総合問題①
	授業計画	自己分析の目的と職種研究　①身近な人たちの職業から学ぶ		授業計画	就職面接　ロールプレイング　自己 PR・長所・短所
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
6	事前学習	社会常識　カタカナ用語	14	事前学習	社会常識　総合問題②
	授業計画	仕事と自分を結びつける　やりたい仕事と出来る仕事		授業計画	就職面接　ロールプレイング　学生時代に頑張ったこと
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
7	事前学習	社会常識　ビジネス計算	15	事前学習	定期試験準備をする
	授業計画	学生時代に頑張ったことについて振り返り、自己 PR の材料を見つける		授業計画	定期試験
	事後学習	他者の良いところを見つけ言語化		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題			
	授業計画	他者評価分析　長所・強み・短所・弱みに落とし込む			
	事後学習	自己 PR を 250 字で書く			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 3 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2021年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーションⅠ	単位	2単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	梅澤　裕子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
身近な事象を例とし、他者と関わりながら、「思考力」と「論理的に伝達する力」を学んでいく。プレゼンテーション時に使用する日本語独特の言い方と語彙を学び、伝えたい事項を的確に表現する言語力と構成力を身に付けていくことを目指す。
達成目標
自分の考え方や主張を、相手に正確にわかりやすく伝達できるようになることを目指す。日常生活では使用しないような日本語の独特な語彙や言い回しを習得し、プレゼンテーション時に使いこなせるようにする。

授業計画

1	事前学習	プレゼンとは何かを考える。	9	事前学習	地域コミュニティについて調べる。
	授業計画	プレゼンテーションとは何かを理解する。		授業計画	地域コミュニティの必要性を考え話し合い発表する。
	事後学習	プレゼンとは何かを説明できる。		事後学習	自分の発表の見直し
2	事前学習	プレゼンとは何かを理解する。	10	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	プレゼンの流れを理解し、プレゼン独特の表現を学ぶ。		授業計画	日本にディズニーランドをまた作るとしたらどこがいいか話し合う。
	事後学習	日本語独特の表現を知る。		事後学習	自分の発表の見直し
3	事前学習	日本語独特の表現を覚える。	11	事前学習	外国人観光客について調べる。
	授業計画	プレゼンの組み立てを知り、序論について学ぶ。		授業計画	来日する外国人観光客に対し提供すべきサービスについて調べ話し合う。
	事後学習	序論の意味を理解する。		事後学習	自分の発表の見直し
4	事前学習	with コロナの働き方を調べる。	12	事前学習	教育無償化とは何か調べる。
	授業計画	with コロナの働き方を調べ、それについて話し合う。		授業計画	教育無償化とは何か調べ、必要性を考え話し合う。
	事後学習	自分の発表の見直し		事後学習	自分の発表の見直し
5	事前学習	少子化について調べる。	13	事前学習	コンビニのサービスを考える。
	授業計画	少子化の現状と原因について学び、話し合い発表する。		授業計画	コンビニのサービスでほしいものを考え上司に伝える話し方を考える。
	事後学習	自分の発表の見直し		事後学習	自分の発表の見直し
6	事前学習	日本の給食について調べる。	14	事前学習	グローバル化とは何か調べる。
	授業計画	給食と弁当のどちらがいいか話し合い発表する。		授業計画	グローバル化について議論しまとめる。
	事後学習	自分の発表の見直し。		事後学習	自分の発表の見直し
7	事前学習	外国人労働者受入れを調べる。	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	外国人労働者受入れについて調べ、メリットとデメリットを話し合う。		授業計画	定期試験
	事後学習	自分の発表の見直し。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	地方活性化について調べる。			
	授業計画	地方活性化について調べ、話し合い発表する。			
	事後学習	自分の発表の見直し			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　仁科浩美
　　タイトル　留学生のための考えを伝え合うプレゼンテーション
　　出版社　くろしお出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅡ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	梅澤　裕子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期のプレゼンテーションⅡの応用。身近な事象を例とし、他者と関わりながら、「思考力」と「論理的に伝達する力」を学んでいく。プレゼンテーション時に使用する日本語独特の言い方と語彙を学び、伝えたい事項を的確に表現する言語力と構成力を身に付けていくことを目指す。
達成目標
自分の考え方や主張を、相手に正確にわかりやすく伝達できるようになることを目指す。日常生活では使用しないような日本語の独特な語彙や言い回しを習得し、プレゼンテーション時に使いこなせるようにする。

授業計画

1	事前学習	前期の復習	9	事前学習	日本に輸入したい商品を調べる。
	授業計画	学校紹介。ボディランゲージを考える。		授業計画	ボディランゲージや話し方に気を付けて商品紹介をする。
	事後学習	家で自分の発表の振り返りをする。		事後学習	発表の見直し
2	事前学習	貧困の定義について調べる。	10	事前学習	環境問題について調べてくる。
	授業計画	貧困の定義について確認し、各自が考える「貧困」について話し合う。		授業計画	世界の環境問題について学び、解決策を考えて発表する。
	事後学習	自分の発表の見直し		事後学習	自国の環境問題を調べてくる。
3	事前学習	講義資料の見直し	11	事前学習	「食品ロス」について調べる。
	授業計画	「多文化共生社会」について考えてグループで発表をする。		授業計画	日本の食品ロスについて知り、減らすためにどうすればいいか発表する。
	事後学習	発表の見直し		事後学習	自国のロスについて調べる。
4	事前学習	自分のライフプランを考えてくる。	12	事前学習	「SDGｓ」について調べる。
	授業計画	「ワークライフバランス」について知り、理想を発表する。		授業計画	持続可能な社会について調べ、話し合い、発表する。
	事後学習	発表の見直し		事後学習	発表の見直し
5	事前学習	自国の社会保障制度を調べる。	13	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	日本の社会保障制度を知り、いい点と悪い点について発表する。		授業計画	大きな政府と小さい政府について話し合い発表する。
	事後学習	自国の制度について作成する。		事後学習	発表の見直し
6	事前学習	格差社会について調べる。	14	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	格差社会について調べ、原因と改善点を話し合い発表する。		授業計画	「東京」都の新しい名前を考えて発表する。
	事後学習	発表の見直し		事後学習	定期試験に向けての振り返り
7	事前学習	講義資料の見直し	15	事前学習	試験準備
	授業計画	「豊かさ」について考え、話し合い発表する。		授業計画	定期試験
	事後学習	発表の見直し		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	配布プリントを読んでくる。			
	授業計画	AI にとってかわる仕事について考え、話し合い発表する。			
	事後学習	AI の役割について調べる。			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　仁科浩美
　　タイトル　留学生のための考えを伝え合うプレゼンテーション
　　出版社　　くろしお出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	松尾先生		
実務経験 教員紹介	大学院・企業・日本語学校で研究員、ビジネスパーソン、大学進学希望学生に対して、日本語を基礎から超級まで幅広く指導。		

講義概要
経営、芸術、文学、文化、学者などの分野から日本人の著名人を取り上げ、人物を含め成功の秘訣、背景知識を学びつつ、読解力、語彙力、質問に対して正しく応答する力を養っていく。
達成目標
日本語能力中上級レベルの語彙文法を定着させ、長文の読解力を伸ばす。また日本の文化、社会についての知識を深めることで、日常のコミュニケーションを円滑にできるようにする。

授業計画

1	事前学習	プリント本文や資料語彙調べ	9	事前学習	プリント本文や資料語彙調べ
	授業計画	松下幸之助の生い立ちや経営理念を知り、経営者として成功した秘訣を読み解く		授業計画	中上級日本語表現のポイント整理と実践問題④
	事後学習	プリントにある文法を復習		事後学習	授業中に整理した文法を復習
2	事前学習	プリント本文や資料語彙調べ	10	事前学習	プリント本文や資料語彙調べ
	授業計画	広岡浅子の生きた時代を知り、ジェンダー不平等を乗り越えた生き方を読み解く		授業計画	中上級日本語表現のポイント整理と実践問題⑤
	事後学習	プリントにある文法を復習		事後学習	授業中に整理した文法を復習
3	事前学習	プリント本文や資料語彙調べ	11	事前学習	教科書語彙調べ
	授業計画	安藤忠雄の建築のすばらしさを知り、世界的な建築家への過程を読み解く		授業計画	宮沢賢治を通じて、彼の理想と実践の生き方を読み解く
	事後学習	プリントにある文法を復習		事後学習	プリントにある文法を復習
4	事前学習	プリント本文や資料語彙調べ	12	事前学習	教科書語彙調べ
	授業計画	伊藤若冲の絵画の特徴を知り、奇想の画家と呼ばれる彼の一生を読み解く		授業計画	実際に文学作品を読み、文学に触れる
	事後学習	プリントにある文法を復習		事後学習	プリントにある文法を復習
5	事前学習	プリント本文や資料語彙調べ	13	事前学習	教科書語彙調べ
	授業計画	藤田嗣治の国籍を変えた人間の苦悩画家としての成功と挫折を読み解く		授業計画	又吉直樹を通じて、二つの職業で生きていくことについて話し合う
	事後学習	プリントにある文法を復習		事後学習	プリントにある文法を復習
6	事前学習	プリント本文や資料語彙調べ	14	事前学習	教科書語彙調べ
	授業計画	中上級日本語表現のポイント整理と実践問題①		授業計画	特撮の神様と言われた円谷英二を知り日本の動画の歴史を知る
	事後学習	授業中に整理した文法を復習		事後学習	プリントにある文法を復習
7	事前学習	プリント本文や資料語彙調べ	15	事前学習	復習
	授業計画	中上級日本語表現のポイント整理と実践問題②		授業計画	期末テスト
	事後学習	授業中に整理した文法を復習		事後学習	振り返り
8	事前学習	プリント本文や資料語彙調べ			
	授業計画	中上級日本語表現のポイント整理と実践問題③			
	事後学習	授業中に整理した文法を復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　石川智・米本和弘
　　タイトル　The Great Japanese　人物で学ぶ日本語
　　出版社　　くろしお出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	松尾先生		
実務経験 教員紹介	大学院・企業・日本語学校で、研究員、ビジネスパーソン、大学進学希望学生に対して、基礎から超級まで幅広く指導経験。		

講義概要
著名な日本人を通じて、人物をその業績や背景を学びつつ、上級日本語力をつけていく。そのうえで、自分たちで調べて発表できるようにしていく。更に、上級レベルの文を読みこなしていくための表現を整理して学んでいく。
達成目標
日本語上級話者レベルの語彙文法を定着させ、読解力、発表する力を習得する。自分たちで調べることで日本への理解を深める。

授業計画

1	事前学習	教科書語彙調べ	9	事前学習	練習
	授業計画	三宅一生のデザイナーとしての発想の源を知り、成功した秘訣を読み解く		授業計画	発表
	事後学習	プリントにある文法を復習		事後学習	なし
2	事前学習	教科書語彙調べ	10	事前学習	練習
	授業計画	坂本龍馬を通じて、彼の生きた激動時代と信念を知る。		授業計画	発表
	事後学習	プリントにある文法を復習		事後学習	なし
3	事前学習	教科書語彙調べ	11	事前学習	プリント予習
	授業計画	くまもんというゆるキャラを知り、ゆるキャラとその役割を読み解く		授業計画	上級日本語表現へのポイント整理①
	事後学習	プリントにある文法を復習		事後学習	復習
4	事前学習	教科書語彙調べ	12	事前学習	プリント予習
	授業計画	国枝慎吾を通じて、障がい者スポーツにおける精神力の作り方を読み解く		授業計画	上級日本語表現へのポイント整理②
	事後学習	プリントにある文法を復習		事後学習	なし
5	事前学習	教科書語彙調べ	13	事前学習	プリント予習
	授業計画	野口英世を通じて、海外で細菌研究に没頭した苦労と努力を知る。		授業計画	上級日本語表現へのポイント整理③
	事後学習	プリントにある文法を復習		事後学習	なし
6	事前学習	教科書語彙調べ	14	事前学習	プリント予習
	授業計画	ドナルドキーンについて知り、日本人とは何かを考える。		授業計画	上級日本語表現へのポイント整理④
	事後学習	授業中に整理した文法を復習		事後学習	復習
7	事前学習	なし	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	著名な日本人について発表準備		授業計画	期末試験
	事後学習	発表準備		事後学習	振り返り
8	事前学習	練習			
	授業計画	著名な日本人について発表準備			
	事後学習	発表準備			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名　　石川智・米本和弘
　　タイトル　The Great Japanese　人物で学ぶ日本語
　　出版社　　くろしお出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	簿記Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記･簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か　意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	売掛金・買掛金について調べる
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし､勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B）の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	子記録債権･電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（３）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権･債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表　簿記Ｉの具体的作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳　株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権･債務の記帳　これからの時代の債権・債務を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（２）　貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務的種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（１）決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	範囲の復習をしっかりやろう
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（２）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	社会常識Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代社会の様々な問題について体系的に学習、および概観する。また、現代社会で、常識とされる知識についても演習形式で復習・確認をしていく。そして最新の時事用語や今、話題となっている人物や、最新事情についてもしっかり学習をしていく。
達成目標
ビジネスの場や社会生活で役に立つ現代の国際社会への理解を深める。世界や社会の出来事を学び、社会人として相応しい知識と能力を身に付け、教養を広げることで将来の選択肢を広げることが目的である。

授業計画

1	事前学習	科学技術の現状を調べる。	9	事前学習	地球温暖化を調べる。
	授業計画	科学技術の発達について理解し、説明できる。		授業計画	地球温暖化を含めた様々な環境問題を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
2	事前学習	生命倫理を調べる。	10	事前学習	環境保全の取り組みを調べる。
	授業計画	生命倫理について理解を深め、説明できる。		授業計画	国際的な環境保全活動と頑丈を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
3	事前学習	ジニ係数を調べる。	11	事前学習	社会保障の歴史を調べる。
	授業計画	不平等やその是正への取り組みを理解し、説明できる。		授業計画	社会保障制度の現状と課題を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
4	事前学習	法の性質を調べる。	12	事前学習	イギリスの社会保障を調べる。
	授業計画	法の下の平等について理解を深め、説明できる。		授業計画	イギリスの社会保障制度を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
5	事前学習	差別とは何かを調べる。	13	事前学習	アメリカの社会保障を調べる。
	授業計画	差別の歴史やその是正の取り組みを理解し、説明できる。		授業計画	アメリカの社会保障制度を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
6	事前学習	主要国の食料自給率を調べる。	14	事前学習	日本の社会保障を調べる。
	授業計画	食料問題や現状などを理解し、説明できる。		授業計画	日本の社会保障制度の現状と課題を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
7	事前学習	世界の資源状況を調べる。	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	資源枯渇問題や現状を理解し、説明できる。		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	再生可能エネルギーを調べる。			
	授業計画	主要国のエネルギー政策や現状を理解し、説明できる。			
	事後学習	配布プリントを読んでくる。			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	社会常識Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代社会の様々な問題について体系的に学習、および概観する。また、現代社会で、常識とされる知識についても演習形式で復習・確認をしていく。そして最新の時事用語や今、話題となっている人物や最新事情についてもしっかり学習をしていく。
達成目標
本講義では世界における様々な出来事について理解を深め、日本社会で社会人として働き始めた時に、周囲の社員とあるいは仕事で関係する人たちと自然に会話ができるまでの知識を身に着けることを目指す。

授業計画

1	事前学習	日本の財政状況を調べる。	9	事前学習	中東国々の経済体制を調べる。
	授業計画	日本経済の実態と特徴を理解し、説明できる。		授業計画	中東の経済・社会の特徴を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
2	事前学習	議院内閣制を調べる。	10	事前学習	EU を調べる
	授業計画	日本の政治体制の特徴を理解し、説明できる。		授業計画	EU の経済・社会体制の特徴を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
3	事前学習	高齢化率の定義を調べる。	11	事前学習	ブレグジットを調べる。
	授業計画	日本の高齢化率と高齢化の特徴を理解し、説明できる。		授業計画	英国の EU 離脱の背景と課題点を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
4	事前学習	主要国の合計特殊出生率を調べる。	12	事前学習	BRICS を調べる。
	授業計画	日本の少子化の現状とその特徴を理解し、説明できる。		授業計画	BRICS の経済・社会の特徴を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
5	事前学習	再生可能エネルギーを調べる。	13	事前学習	NEXT11 を調べる。
	授業計画	日本のエネルギー政策を理解し、説明できる。		授業計画	NEXT11 の国々の経済の特徴を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
6	事前学習	消費税の歴史を調べる。	14	事前学習	グローバル化を調べる。
	授業計画	消費税の歴史を理解し、消費増税について考える。		授業計画	グローバリゼーションとローカライゼーションについて考える。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
7	事前学習	働き方改革を調べる。	15	事前学習	講義の復習
	授業計画	働き方改革とは何かを理解し、説明できる。		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ASEAN を調べる。			
	授業計画	ASEAN の経済・社会の特徴を理解し、説明できる。			
	事後学習	配布プリントを読んでくる。			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社
参考書　著者名　朝日新聞社
　　タイトル　朝日キーワード就職 2021
　　出版社　朝日新聞出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	異文化コミュニケーションⅠ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	松尾　悦子		
実務経験 教員紹介	大学院・企業・日本語学校で、研究員、ビジネスパーソン、大学進学希望学生に対して、基礎から超級まで幅広く指導		

講義概要
時事問題やビジネス関連のニュースに対応できるように、必要な語彙および使い方などを解説する。後半は実際の記事を読み、ビジネスの場面で理解できるようにする。
達成目標
ビジネスニュースを読んで理解できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	予習
	授業計画	授業のやり方とウォーミングアップで自分の力を試す		授業計画	ビジネス関連語彙とニュース読解１
	事後学習	復習		事後学習	復習
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	経営企業関連ニュース語彙･例文解説１		授業計画	ビジネス関連語彙とニュース読解２
	事後学習	復習		事後学習	復習
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	経営企業関連ニュース語彙･例文解説２		授業計画	ビジネス関連語彙とニュース読解３
	事後学習	復習		事後学習	復習
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	経営企業関連ニュース語彙･例文解説３		授業計画	ビジネス関連語彙とニュース読解４
	事後学習	復習		事後学習	復習
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	経営企業関連ニュース語彙･例文解説４		授業計画	ビジネス関連語彙とニュース読解５
	事後学習	復習		事後学習	復習
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	経営企業関連ニュース語彙･例文解説５		授業計画	ビジネス関連語彙とニュース読解６
	事後学習	復習		事後学習	復習
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	中間テストとビジネス関連ニュース語彙・例文解説		授業計画	復習テスト
	事後学習	復習		事後学習	復習
8	事前学習	予習			
	授業計画	中間テストの解説、復習			
	事後学習	復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　松本節子他
　　タイトル　ニュースの日本語
　　出版社　　the JAPAN TIMES

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	文書能力演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	大石　久美子		
実務経験教員紹介	外資系航空会社における秘書実務、専門学校における国際秘書実務・ビジネス文書技法（検定を含む）の指導		

講義概要
学生はビジネスメール・文書に触れる経験が少ないため、社会に出て、メールや文書を手掛ける際、伝達事項が正確に伝えられない傾向にある。講義では口語と文語表現の相違点の理解・ビジネス文書の基本・押さえておくべき形式・マナー・使用する用語・慣用表現・構成要素を理解し、「文書を書く」という作業に重点におく。
達成目標
ビジネスメール・文書の基本と押さえておくべき形式・マナー（封筒の書き方・はがき・FAX・押印・用紙・押印）の書き方も含める）・慣用表現の理解。ビジネス文書の種類・メールの基本を理解する

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	テキスト（前文）の予習
	授業計画	オリエンテーション（講義の進め方、注意事項等）		授業計画	テキスト（序章）文書の構造・前文の慣用表現と結語
	事後学習	レポート		事後学習	慣用表現のテスト
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	テキスト（頭語～末文まで）の予習
	授業計画	ビジネス文書とは。敬体表現・常体表現・口語・文語表限について①		授業計画	序章一頭語・前文・末文・結語を使った文書の形式を手書きで作成
	事後学習	見かけるビジネス文書を探す		事後学習	手書き文書の提出
3	事前学習	講義資料の見直し	11	事前学習	ビジネスメールの基本を読んでおく
	授業計画	ビジネス文書とは。敬体表現・常体表現・口語・文語表限について②		授業計画	序章一ビジネスメールの基本（文語表現との相違点）
	事後学習	見かけるビジネス文書を探す		事後学習	口語文語表現の相違点の確認
4	事前学習	目にした文書の発表	12	事前学習	第１章を読んでおく
	授業計画	handout-授業の要点 P1～P2（句点・読点・ 曖昧表現）		授業計画	テキスト第１章一ビジネス文書の敬語・表現・マナーの基本
	事後学習	理解不足部分の質問		事後学習	敬語表現の確認
5	事前学習	handout を読んでくる	13	事前学習	気になる敬語表現を調べてくる
	授業計画	handout-件名の付け方・箇条書き/社内・社外文書・慣用表現①		授業計画	テキスト第１章　復習演習問題と解説（手書き文書）
	事後学習	慣用表現のテスト		事後学習	第１章　演習問題手書き文書の提出
6	事前学習	handout を読んでくる	14	事前学習	手書きの文書の返却と解説
	授業計画	handout-件名の付け方・箇条書き/社内・社外文書・慣用表現②		授業計画	テスト範囲（序章・第１章の敬語慣用表現の復習）
	事後学習	慣用表現のテスト		事後学習	期末テスト範囲の復習
7	事前学習	社内外の構成要素の復習	15	事前学習	期末範囲復習
	授業計画	テキスト（序章）社内外文書の復習とはがき・封筒の書き方①		授業計画	期末テスト一復習（第１章・第２章）含む一手書文書
	事後学習	はがきと封筒の書き方確認		事後学習	期末試験振り返り
8	事前学習	前回講義資料の確認			
	授業計画	テキスト（序章）社内外文書の復習とはがき・封筒の書き方②			
	事後学習	はがきと封筒の書き方確認			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　監修者：阿部　紘久
　　タイトル　しっかりした敬語・表現・マナーですぐに書けるビジネス文書の書き方
　　出版社　　永岡書店
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	文書能力演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	大石　久美子		
実務経験 教員紹介	外資系航空会社秘書・専門学校における国際秘書学科における秘書実務指導・事務・経理・ビジネス学科におけるビジネス文書検定の指導		

講義概要
正確な情報を確実に伝えるための演習。仕事を前にすすめ、仕事をサポートする社外文書の作成。丁寧な挨拶状・事務処理をすすめる社内文書の作成の習得。NG 表現の文書を適正な表現で作成する。口語表現と文語表現の相違点。ビジネス文書における敬語表現の習得。
達成目標
ビジネス文書特有の表現を用いて、読み手や組織に・理解・共感を与えるビジネス文書の作成を目標とする。慣用表現の的確な使い方・NG表現の訂正等、ビジネスの場面における文書運用能力を養成する。

授業計画

1	事前学習	第１章の復習	9	事前学習	挨拶状の提出
	授業計画	第２章(社外文書の書き方ー依頼(P72～P99)依頼・案内・交渉		授業計画	季節の挨拶（悔やみ状・会葬）文書の作成
	事後学習	見積もりの作成		事後学習	挨拶状の提出
2	事前学習	見積作成の提出	10	事前学習	挨拶状の返却
	授業計画	P100～P121(勧誘・申込み・承諾・断る)		授業計画	第５章（P260～P295)案内・回覧・依頼・業務報告・レポート
	事後学習	P122～P141 予習		事後学習	業務報告書提出
3	事前学習	予習の check	11	事前学習	業務報告書返却
	授業計画	P122～P141(詫び・弁解・抗議文)		授業計画	P296～P319(議事録・事故報告書・クレーム・始末書)
	事後学習	P142～P180 予習		事後学習	始末書の提出
4	事前学習	儀礼文書の説明	12	事前学習	始末書の返却
	授業計画	P142～P180(お祝い・お見舞い・お礼)文書の説明		授業計画	P320～P335(稟議書・提案書・企画書)
	事後学習	儀礼文書を作成してくる		事後学習	企画書の提出
5	事前学習	儀礼文書の提出	13	事前学習	企画書返却
	授業計画	社外文書の作成（P182～P200)通知・照会・回答)		授業計画	P338～P351(届出書・進退伺・退職願・事例・その他)
	事後学習	P204～P209 を予習		事後学習	退職願の提出
6	事前学習	P204～P209 の説明	14	事前学習	退職願の返却
	授業計画	P210～P226(注文・確認・請求書・見積書)		授業計画	総復習演習（慣用表現・ビジネス用語・質疑応答)
	事後学習	請求書を作成してくる		事後学習	期末テストの通達
7	事前学習	請求書の提出	15	事前学習	復習
	授業計画	契約書・委任状・内容証明の説明と契約書の作成		授業計画	期末テスト
	事後学習	講義資料の確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	契約書を提出			
	授業計画	第４章（社交文書）挨拶（P230～P243)			
	事後学習	挨拶状の作成			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　監修者：阿部　紘久
　　タイトル　しっかりした敬語・表現・マナーですぐに書けるビジネス文書の書き方
　　出版社　　永岡書店
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	善福 大		
実務経験 教員紹介	人材派遣会社にて経営管理部に所属し経営戦略、組織管理、マーケティング方針の策定を行う		

講義概要
マーケティングは「売れる仕組み」をどう作るのか考えることです。考えた売れる仕組みのアイデアを形にするために企業はビジネスモデルを作り上げます。本講義では企業が作り上げた売れる仕組みであるビジネスモデルの基本を学びマーケティングの理解を深めます。
達成目標
ビジネスモデルの作り方から見方、キーとなるポイントを知ることで各企業の売れる仕組みを学びます。またビジネスモデルを理解することで各企業の仕組み、販売努力を知り日本企業の理解を深めます。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	ビジネスモデルとは何か。ビジネスモデルを理解する		授業計画	コンテンツマーケティングとは何か。考え方を理解する。
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み、復習
2	事前学習	講義資料の確認	10	事前学習	講義資料を読む
	授業計画	これからのビジネスについて必要な考え方を学ぶ		授業計画	よく使われるコンテンツの種類や特徴を理解する。
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み、復習
3	事前学習	講義資料の確認	11	事前学習	講義資料を読む
	授業計画	世の中のビジネスモデルを事例をもとに学ぶ		授業計画	顧客視点のコンテンツを作るには何が重要か学ぶ。
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み、復習
4	事前学習	講義資料の確認	12	事前学習	講義資料を読む
	授業計画	ビジネスモデルキャンパスの大原則を知りビジネスの流れを知る		授業計画	読み手に響くコンテンツはどういうものか理解する。
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み、復習
5	事前学習	講義資料の確認	13	事前学習	講義資料を読む
	授業計画	価値と顧客の最適化を図る方法を学びマーケティングの理解を深める		授業計画	制作したコンテンツの魅力を最大化するために気をつけること
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み、復習
6	事前学習	講義資料の確認	14	事前学習	講義資料を読む
	授業計画	価値の届け方と収益モデルを学び、マーケティングを学びなおす		授業計画	目標を設定し PDCA サイクルをまわすためには何が必要か
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み、復習
7	事前学習	講義資料の確認	15	事前学習	講義資料を読む
	授業計画	ビジネスモデルを成立させる方法を知り、ビジネスの全体像をつかむ		授業計画	これから使われるコンテンツマーケティングとは何か
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み、復習
8	事前学習	講義資料の確認			
	授業計画	前期集中講義の総まとめにてビジネスモデルの理解を深める。			
	事後学習	講義資料の読み込み			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　亀山　將
　　タイトル　いちばんやさしいコンテンツマーケティングの教科書
　　出版社　　インプレス
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	畠　裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場の設計 23 年、同本社事業企画で 3 年、同部門の海外生産拠点で 15 年実務経験。		

講義概要
経営学ⅠとⅡで学んだ経営の考え方を基礎に、経営に必要な経理・財務の基礎知識を学ぶ。会社の会計情報（損益計算書 PL、貸借対照表 BS)の意味、見方などを学ぶ。さらに会計情報から会社経営の特徴を読み解く練習を行う。
達成目標
会社の経営状況を表す、損益計算書 PL、貸借対照表 BS などの財務諸表を読めるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	８限目の復習
	授業計画	社会課題研究：持続可能な開発目標 SDGs		授業計画	損益計算書 PL（1）
	事後学習	課題		事後学習	課題
2	事前学習	1 限目の復習	10	事前学習	９限目の復習
	授業計画	企業研究富士重工（1）富士重工の集中（ニッチ）戦略		授業計画	損益計算書 PL（2）トヨタ PL を読む
	事後学習	課題		事後学習	課題
3	事前学習	2 限目の復習	11	事前学習	１０限目の復習
	授業計画	企業研究富士重工（2）北米市場での成功		授業計画	貸借対照表 BS（1）
	事後学習	課題		事後学習	課題
4	事前学習	3 限目の復習	12	事前学習	１１限目の復習
	授業計画	企業研究ヤマト運輸（1）アマゾンとの利益取り合い構造		授業計画	貸借対照表 BS（2）トヨタ BS を読む
	事後学習	課題		事後学習	課題
5	事前学習	4 限目の復習	13	事前学習	１２限目の復習
	授業計画	企業研究ヤマト運輸（2）ヤマト運輸の経営課題の分析		授業計画	キャシュフロー計算書 CF
	事後学習	課題		事後学習	課題
6	事前学習	5 限目の復習	14	事前学習	１３限目の復習
	授業計画	ロジカルシンキング（プロジェクトスケジューリング）		授業計画	経営に必要な「会計力」と「戦略思考力」
	事後学習	課題		事後学習	課題
7	事前学習	6 限目の復習	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	財務･会計がわかればビジネスと社会がわかる		授業計画	試験
	事後学習	課題		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	７限目の復習			
	授業計画	企業経営に必要な 3 つの財務諸表			
	事後学習	課題			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　太田　康弘
　　タイトル　ビジネススクールで教える経営分析
　　出版社　　日本経済新聞出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅰ（会計学総論）	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	古屋　俊雄		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代のビジネス・スキルに不可欠となっている簿記の知識をさらに一歩高め、なぜそのような会計処理を行うのかといった理由や会計処理の違いによって生じる長所、短所などを理解することにより、会計の基本から実務で活用する技術までを解説する。
達成目標
就職試験で簿記の講義を受けた、簿記検定に合格したというアピールをしても、現実の仕事においては簿記の授業では解説していない事柄に直面することがある。よって本講義ではそのギャップを埋めることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	予習
	授業計画	オリエンテーション　会計学とは何か　学習目標など		授業計画	固定資産の減価償却　級数法　生産高比例法　取替法
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	売上原価の計算　継続記録法　棚卸計算法　個別法　先入先出法		授業計画	引当金　概念　設定要件　貸倒引当金一般債権
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	売上原価の計算　平均法(移動平均法総平均法)		授業計画	貸倒引当金　貸倒懸念債権　破産更生債権等
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	売上原価の計算　最終仕入原価法売価還元法		授業計画	損益計算書の作成　簿記一巡の手続き仕訳→損益計算書
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	売上原価の計算　商品評価損　継続性の原則　固定資産		授業計画	損益計算書の作成　勘定式と報告式売上高の部
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	固定資産の減価償却　旧定額法　新定率法　残存価額と備忘価値		授業計画	損益計算書の作成　売上原価　販売費および一般管理費
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	固定資産の減価償却　旧定率法　一定率の算定方法		授業計画	損益計算書の作成　営業外損益　特別損益項目
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
8	事前学習	予習			
	授業計画	固定資産の減価償却　250%定率法200%定率法			
	事後学習	講義資料の見直し			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：80%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　武田守
　　タイトル　会計の基本と実務
　　出版社　三修社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ（会計学総論）	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	古屋　俊雄		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代のビジネス・スキルに不可欠となっている簿記の知識をさらに一歩高め、なぜそのような会計処理を行うのかといった理由や会計処理の違いによって生じる長所、短所などを理解することにより、会計の基本から実務で活用する技術までを解説する。
達成目標
就職試験で簿記の講義を受けた、簿記検定に合格したというアピールをしても、現実の仕事においては簿記の授業では解説していない事柄に直面することがある。よって本講義ではそのギャップを埋めることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算 1		授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算 4
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算 2		授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算 5
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算 3		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法 1
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算 4		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法 2
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算 5		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法 3
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算 1		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法 4
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算 2		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法 5
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
8	事前学習	予習			
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算 3			
	事後学習	講義資料の見直し			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：80%　＜（　課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　武田守
　　タイトル　会計の基本と実務
　　出版社　三修社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	財務分析Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	古屋　俊雄		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代のビジネス・スキルに不可欠となっている簿記の知識をさらに一歩高め、なぜそのような会計処理を行うのかといった理由や会計処理の違いによって生じる長所、短所などを理解することにより、会計の基本から実務で活用する技術までを解説する。
達成目標
就職試験で簿記の講義を受けた、簿記検定に合格したというアピールをしても、現実の仕事においては簿記の授業では解説していない事柄に直面することがある。よって本講義ではそのギャップを埋めることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　簿記一巡の手続き　仕訳→貸借対照表		授業計画	会計学関連知識　法人税　法人税課税の概略
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　資産会計 PART 1		授業計画	会計学関連知識　法人税　申告調整に関する知識 1
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　資産会計 PART 2		授業計画	会計学関連知識　法人税　申告調整に関する知識 2
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　負債会計 PART 1		授業計画	会計学関連知識　法人税　申告調整に関する知識 3
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　純資産会計 PART 1		授業計画	会計学関連知識　所得税　所得税課税の概略
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　総合問題演習 1 初級編		授業計画	会計学関連知識　所得税　各種所得の計算 1
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　総合問題演習 1 中級編		授業計画	会計学関連知識　所得税　各種所得の計算 2
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
8	事前学習	予習			
	授業計画	損益計算書の分析　安全性の分析　２社比較			
	事後学習	講義資料の見直し			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：80%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　武田守
　　タイトル　会計の基本と実務
　　出版社　三修社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	財務分析Ⅱ	単位	2単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
実務的に使える財務諸表の分析能力の内、貸借対照表と損益計算書からの読み取りを学びます。「財務分析Ⅰ」では収益性の分析方法を中心に学び、実際の企業が公表している財務諸表（損益計算書を中心とする）を読み取り、分析力を身に付けます。
達成目標
企業の財務諸表から、特に収益性の分析し、同業他社と比較することで、その企業の優位性・劣後性を判断できる力を身に付ける。特に損益計算書を用いて同業他社の比較分析を行い、実例で使用した企業の分析力を付ける。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	前回授業の重要ポイント確認
	授業計画	財務分析の概要 財務分析の基礎を学ぶ		授業計画	収益性・損益性の分析 投資回収率③
	事後学習	本日授業の重要ポイント確認		事後学習	本日授業の重要ポイント確認
2	事前学習	前回授業の重要ポイント確認	10	事前学習	前回授業の重要ポイント確認
	授業計画	収益性・損益性の分析 売上高利益率①		授業計画	収益性・損益性の分析 投資回収率④
	事後学習	本日授業の重要ポイント確認		事後学習	本日授業の重要ポイント確認
3	事前学習	前回授業の重要ポイント確認	11	事前学習	前回授業の重要ポイント確認
	授業計画	収益性・損益性の分析 売上高利益率②		授業計画	企業分析 実例分析　収益性・損益性分析①
	事後学習	本日授業の重要ポイント確認		事後学習	本日授業の重要ポイント確認
4	事前学習	前回授業の重要ポイント確認	12	事前学習	前回授業の重要ポイント確認
	授業計画	収益性・損益性の分析 売上高利益率③		授業計画	企業分析 実例分析　収益性・損益性分析②
	事後学習	本日授業の重要ポイント確認		事後学習	本日授業の重要ポイント確認
5	事前学習	前回授業の重要ポイント確認	13	事前学習	前回授業の重要ポイント確認
	授業計画	収益性・損益性の分析 売上高利益率④		授業計画	企業分析 実例分析　収益性・損益性分析③
	事後学習	本日授業の重要ポイント確認		事後学習	本日授業の重要ポイント確認
6	事前学習	前回授業の重要ポイント確認	14	事前学習	前回授業の重要ポイント確認
	授業計画	収益性・損益性の分析 売上高利益率⑤		授業計画	企業分析 実例分析　収益性・損益性分析④
	事後学習	本日授業の重要ポイント確認		事後学習	教科書「キーワード」確認
7	事前学習	前回授業の重要ポイント確認	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	収益性・損益性の分析 投資回収率①		授業計画	定期試験
	事後学習	本日授業の重要ポイント確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回授業の重要ポイント確認			
	授業計画	収益性・損益性の分析 投資回収率②			
	事後学習	本日授業の重要ポイント確認			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜平常点＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経済学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義ではミクロ経済学の基礎を学ぶ。市場経済の機能を体系的に理解することが本講義の最大の目的である。利己的な人間同士が行う経済活動を前提としている現代の経済環境において、それが社会の成員全体の利益にかなうことがあることを理解する。さらにその上で、市場経済が持つ限界についても深く考える。
達成目標
需要曲線・供給曲線とその背後にある経済主体の行動について学び、現実の様々な経済現象や政策の効果を分析できるようになることを目標とする。個人や企業の経済行動を、経済学がどのように捉えているかを理解する。

授業計画

1	事前学習	経済とは何かを考えてみる。	9	事前学習	規制緩和の例を調べてみる。
	授業計画	経済学とは何か、その考え方を理解し、説明できる。		授業計画	規制と規制緩和の違いを理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
2	事前学習	分業とは何かを調べてみる。	10	事前学習	負の外部性とは何かを調べてみる。
	授業計画	分業のメリット・デメリットを理解し、説明できる。		授業計画	負の外部性とは何かを理解し、その特徴を説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
3	事前学習	需要とは何かを調べてみる。	11	事前学習	正の外部性とは何かを調べてみる。
	授業計画	需要と需要量の違いが理解でき、価格と需要との関係を説明できる。		授業計画	正の外部性とは何かを理解し、その特徴を説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
4	事前学習	供給とは何かを調べてみる。	12	事前学習	公共財とは何かを調べてみる。
	授業計画	供給と供給量の違いが理解でき、価格と供給との関係を説明できる。		授業計画	公共財とは何かを理解し、その特徴などを説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
5	事前学習	価格弾力性を調べてみる。	13	事前学習	貧困の実態を調べてみる。
	授業計画	需要と供給の価格弾力性を理解し、説明できる。		授業計画	貧困・福祉・格差問題を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
6	事前学習	労働市場とは何かを調べてみる。	14	事前学習	情報の非対称性とは何かを調べる。
	授業計画	労働市場の特徴と価格弾力性を理解し、説明できる。		授業計画	情報の非対称性とは何かを理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
7	事前学習	独占とは何かを調べてみる。	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	完全競争と独占の違いを理解し、説明できる。		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	寡占とは何かを調べてみる。			
	授業計画	市場における独占や寡占状態を理解し、説明できる。			
	事後学習	配布プリントを読んでくる。			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社
参考書　著者名　　ティモシー・テイラー
　　タイトル　スタンフォード大学で一番人気の経済学入門（ミクロ編）
　　出版社　　かんき出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経済学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義ではマクロ経済学の基礎を学ぶ。政府は国民のためにどんな政策を実施すべきかを理解することが本講義の最大の目的である。一国の経済や国際経済は、思わぬ動きをすることがある。その際、政府や日本銀行はどんな動きをするのかを理解する。さらにその上で、政府が持つ限界についても深く考える。
達成目標
GDP や GNP、さらに失業率や国際収支などその背後にある経済主体の行動と調整役である政府の政策について学び、現実の様々な経済現象や政策の効果を分析できるようになることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	GDP について調べる	9	事前学習	金融緩和・金融引き締めを調べる
	授業計画	マクロ経済とは何か、GDP を理解し、説明できる		授業計画	景気対策を理解し、日銀の金融政策を説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
2	事前学習	経済成長率とは何かを調べる	10	事前学習	貿易とは何かを調べる
	授業計画	名目・実質経済成長率を理解し、説明できる		授業計画	自由貿易を理解し、自由貿易のメリットを説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
3	事前学習	日本の失業率を調べる	11	事前学習	保護貿易とは何かを調べる
	授業計画	失業率と完全失業率が区別でき、説明できる		授業計画	保護貿易を理解し、保護貿易を説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
4	事前学習	CPI について調べる	12	事前学習	為替とは何かを調べる
	授業計画	インフレーション･デフレーションを理解し、説明できる		授業計画	外国為替市場の仕組みを理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
5	事前学習	国際収支とは何かを調べる	13	事前学習	ブレトンウッズ体制を調べる
	授業計画	国際収支とは何かを理解し、説明できる		授業計画	貿易と為替を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
6	事前学習	インフレーションとは何かを調べる	14	事前学習	好況と不況について調べる
	授業計画	インフレ率と失業率との相関関係を理解し、説明できる		授業計画	日本経済と世界経済を概観・現状を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
7	事前学習	財政とは何かを調べる	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	財政とは何かを理解し、財政政策の必要性を説明できる		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	マネーサプライとは何かを調べる			
	授業計画	景気対策を理解し、政府の金融政策を説明できる			
	事後学習	配布プリントを読んでくる。			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社
参考書　著者名　　ティモシー・テイラー
　　タイトル　スタンフォード大学で一番人気の経済学入門（マクロ編）
　　出版社　　かんき出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティング戦略	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	金森　尚人		
実務経験 教員紹介	これまで 40 年間海外政府機関において通商、マーケティング、観光を専門職として従事。また国内外（タイ、ミャンマー）の大学にて、日本ビジネススタンダードとビジネスマナーを指導。		

講義概要
昨年のマーケティング授業の知識を活かし、本講義ではマーケティング戦略手法を学んでいく。マーケティングを広義に捉えると、経営学と商業学の分野に関連を持つので、大変扱う範囲は広範である。あくまでマーケティング思考(論理的思考)を培い、現実社会の個人生活、社会活動に役立てるための講義をおこなう
達成目標
マーケティングの戦略手法を学び、論理的、合理的思考で個人生活において「勝つ確率」を最大限高めて快適に過ごせ、社会人としてのビジネス活動で、今後本講義で獲得した専門知識と論理的思考で実践的な適応をめざす

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	オリエンテーションおよびマーケティングの意味の復習		授業計画	競争市場のマーケティング戦略とは（２）「ターゲット戦略」を説明
	事後学習	マーケティングとは何かを復習		事後学習	該当講義の復習
2	事前学習	マーケティングミックスを予習	10	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	マーケティングミックスの復習と戦略における重要性		授業計画	競争市場のマーケティング戦略（３）「ポジショニング戦略」を説明
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
3	事前学習	マーケティングのフレームワーク	11	事前学習	事前に語彙を検索予習
	授業計画	マーケティング戦略に役立つフレームワーク グループディスカッション		授業計画	インターネットマーケティングとコンテクストマーケティング
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
4	事前学習	フレームワークを復習	12	事前学習	事前に語彙を検索予習
	授業計画	マーケティング戦略における STP		授業計画	ポストモダンマーケティングと経験マーケティングとは　ロールプレイ
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	PPT にて講義の復習
5	事前学習	フレームワークを復習	13	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	STP、4P, 3C, USP の関係性を検証		授業計画	コンテクストデザインマーケティングとは　ロールプレイ
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
6	事前学習	4P を予習	14	事前学習	PPT にてこれまでの授業のまとめ
	授業計画	スターバックスとニトリのケーススタディ　グループディスカッション		授業計画	授業のまとめ
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
7	事前学習	STP、4P を予習	15	事前学習	試験準備
	授業計画	各フレームワークの具体的な事例を紹介　コカ・コーラ、ユニクロ、花王		授業計画	定期試験
	事後学習	各フレームワークを復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	PPT にて予習			
	授業計画	競争市場のマーケティング戦略とは（１）「コンセプト戦略」を説明			
	事後学習	該当講義の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　講義において適宜 PPT にて講義を行い、学生にファイルを送信する。
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　沼上幹
　　タイトル　マーケティング戦略
　　出版社　　有斐閣アルマ

年度	2021年度	学期	後期
科目名	経営戦略	単位	2単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
「経営戦略」とは「企業が継続的、長期的に成長するための戦略」であり、企業の中心となる思考である。 授業を通じて、経営戦略を構成する重要な要素を学び、戦略的な視点から企業を見る力を身につける。 また、戦略策定に用いられるフレームワークを理解することでその策定に至るプロセスを学ぶ。
達成目標
経営戦略を策定する際に必要な様々なフレームワークを理解し、実際の企業の経営戦略の構築プロセスを理解すること、また企業が今後どのような戦略を取るべきか、自ら考える力を身に付けることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	企業経営の基本的な考え方、理念、ビジョン、ミッション		授業計画	競争戦略③ポーターの競争戦略：コスト・リーダーシップ戦略
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	経営戦略の基本：戦略と戦術の違い、経営戦略の3つの分類		授業計画	競争戦略④ポーターの競争戦略：集中戦略（ニッチ戦略）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	成長戦略①アンゾフの成長ベクトル理論とその他の企業戦略		授業計画	競争戦略⑤ブルーオーシャン戦略の概要と事例
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	成長戦略②多角化戦略とシナジー効果について		授業計画	その他の経営戦略①機能別戦略の基本と概要
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	成長戦略③PLC（プロダクト・ライフサイクル）		授業計画	その他の経営戦略②生産戦略の基本とトヨタ自動車の生産戦略
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	成長戦略④PPM（プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント）		授業計画	その他の経営戦略③イノベーション理論の基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	競争戦略①マイケル･ポーターの競争戦略理論の基本		授業計画	単位認定のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	競争戦略②ポーターの競争戦略:差別化戦略			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅢ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
1 年次に学んだビジネスマナーの理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。就職活動において企業と接する際に必要となるビジネスメールのやり取りや、携帯電話のマナーと応対、名刺の取り扱いなどを習得する。企業訪問の際の振る舞いや受付方法を学ぶ。社会人の常識として知っておきたい基礎用語を学習する。
達成目標
ビジネスメールのマナーを守って企業の人事担当とやり取りが出来る。ビジネス文書送付の際の添え状を作成出来る。郵便物の宛名を正しく書ける。報告書やレポートの書き方、社会人常識基礎用語がわかる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	会社訪問体験を書き出す
	授業計画	1 年間の成長を振り返り 2 年次の学習目標を設定する		授業計画	会社訪問の準備　受付での振る舞いロールプレイング
	事後学習	1 年次の復習ポイントを洗いだす		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
2	事前学習	3 か月後の姿を言語化する	10	事前学習	名刺デザインを考える
	授業計画	オンラインコミュニケーションの身だしなみ　画面越しの会話テクニック		授業計画	名刺交換　紹介の仕方５つのケースロールプレイング
	事後学習	オンラインの際の背景を整える		事後学習	名刺を 5 枚作成する
3	事前学習	自己 PR の準備をする	11	事前学習	日本企業の役職を復習しておく
	授業計画	内定に繋がる自己アピール　仕事に繋がる自己紹介の準備方法		授業計画	様々な場面の席次　応接室･会議室･エレベーター・車など
	事後学習	自己 PR を修正し内容を整える		事後学習	フォームを使って小テスト
4	事前学習	身近なビジネス文書を集める	12	事前学習	雑談の話題を見つける
	授業計画	ビジネス文書の基本形　履歴書送付状（下書き）作成　宛名書き実習		授業計画	心の壁を取り除く雑談力の伸ばし方ショートスピーチ
	事後学習	PC で添え状を作成する		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
5	事前学習	メールの利用体験を書き出す	13	事前学習	５W3H について予習しておく
	授業計画	ビジネスメールのマナー　面接のお礼メールを下書き		授業計画	日報・報告書の役割と書き方　守秘義務と情報の取り扱い
	事後学習	お礼メール下書きを PC 入力する		事後学習	授業内容を報告書形式でまとめる
6	事前学習	1 年次の電話応対を復習する	14	事前学習	配布資料を読んでおく
	授業計画	携帯電話のマナーと活用　挨拶･基本動作実習		授業計画	各種資料を引用・要約する際のルール著作権
	事後学習	電話応対定型句集を作成する		事後学習	引用を使ってレポートを作成する
7	事前学習	頭語・結語について調べる	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	ビジネスコミュニケーションツールの使い分け		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	具体的な訪問先を見つけておく			
	授業計画	訪問アポイントメントの取り方　メールの場合、電話の場合の実習			
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われるビジネスマナー完全版
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅣ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
2 年間の総仕上げとして、社会人として知っておきたい大人のマナーについて学習する。ビジネスマナーは勿論のこと、冠婚葬祭の基礎知識、食事のマナー、ビジネスチャンスに繋がる季節の行事や日本のしきたりなど、人として高評価を得られるような知識に触れ、日本社会に対しての理解を深めるとともに人間力を磨く。
達成目標
冠婚葬祭の目的や意義を理解し、ビジネスマンとして対応出来るようになる。会食の席で堂々とふるまえるような食事のマナーを学び、品格ある行動が出来るようになる。社会人常識マナー検定 2 級レベルの知識を身につける。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題
	授業計画	ビジネスマナーⅠ・Ⅱ・Ⅲの振り返りと今後の課題を確認		授業計画	和食のマナー　日本料理の基礎知識 箸使いの作法
	事後学習	ビジネスマナーⅣの目標を設定する		事後学習	箸使いの練習をする
2	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句①	10	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭の目的と意義　冠婚葬祭とビジネスの関係		授業計画	西洋料理のマナー　食事の仕方とカトラリーの使い方
	事後学習	自国の通過儀礼について調べる		事後学習	ナイフ・フォークで食事をする
3	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句②	11	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭　日本の主な通過儀礼「冠」のしきたり		授業計画	中華料理のマナー　中華料理の基礎知識と回転卓の作法
	事後学習	自国の結婚について調べる		事後学習	食事のマナーについてレポート作成
4	事前学習	社会常識　欧文略語	12	事前学習	社会常識　総合問題①
	授業計画	冠婚葬祭　「婚」のしきたり　招待客としてのマナー		授業計画	縦書きのビジネス文書　案内状・招待状・お礼状
	事後学習	自国の葬儀について調べる		事後学習	お礼状を出す相手を決める
5	事前学習	社会常識　主要国名と首都名	13	事前学習	社会常識　総合問題②
	授業計画	冠婚葬祭　「葬」のしきたり　ビジネスにおける訃報対応		授業計画	縦書き手書きのお礼状　下書き文章を作成する
	事後学習	自国の季節行事について調べる		事後学習	筆ペンを準備する
6	事前学習	税金や社会保障制度に関する用語	14	事前学習	社会常識　総合問題③
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり①　季節の行事		授業計画	筆ペンの使い方実習　お礼状を清書し仕上げる
	事後学習	自国と日本の行事を比較する		事後学習	フォームを使って授業内容報告
7	事前学習	社会常識　時事問題	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり②　暦と二十四節気		授業計画	定期試験
	事後学習	冠婚葬祭の学習レポートを作成する		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題			
	授業計画	食事のマナー　食文化と歴史　食事とビジネスの関係			
	事後学習	フォームを使って授業内容報告			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 2 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーションⅢ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	梅澤　裕子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
身近な事象を例とし、他者と関わりながら、「思考力」と「論理的に伝達する力」を学んでいく。プレゼンテーション時に使用する日本語独特の言い方と語彙を学び、伝えたい事項を的確に表現する言語力と構成力を身に付けていくことを目指す。
達成目標
昨年度学んだプレゼンテーションの基礎をもとに、就職活動や今後社会に出た際に使えるプレゼンの構成や思考力を身に付ける。また、日本社会で必要な、相手へ配慮した言い方も併せて覚えて使えるようにする。

授業計画

1	事前学習	昨年度学んだ格差社会の復習	9	事前学習	プリントを読んでくる。
	授業計画	所得格差以外の格差について調べ、その原因について話合う。		授業計画	デパートの売上を二倍に伸ばす施策を話し合って考える。
	事後学習	自分の発表の見直し		事後学習	自分の発表の見直し
2	事前学習	「年功序列」について調べる。	10	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	「年功序列」について調べ、良い点悪い点を話し合う。		授業計画	就活にリクルートスーツは必要か否か話し合って考える。
	事後学習	自分の発表の見直し		事後学習	自分の発表の見直し
3	事前学習	講義資料の見直し	11	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	「東京」都の新しい名前を考えて話し合う。		授業計画	食品業界がテイクアウトをする上で、利点と欠点は何か話し合う。
	事後学習	自分の発表の見直し		事後学習	自分の発表の見直し
4	事前学習	「食品ロス」について調べる。	12	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	「食品ロス」について調べ、その原因と改善案について話し合う。		授業計画	留学生の立場から、日本人が海外に誇れる強みを 3 つ探して発表する。
	事後学習	自分の発表の見直し		事後学習	レポート提出
5	事前学習	日本の会社の労働時間を調べる。	13	事前学習	過去オリンピック開催地を調べる。
	授業計画	日本の会社の労働時間を調べ、短縮するにはどうしたらいいか話し合う。		授業計画	2024 年のオリンピック開催地をどこにするか話し合って発表する。
	事後学習	自分の発表の見直し		事後学習	レポート提出
6	事前学習	講義資料の見直し	14	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	日本にディズニーランドをまた作るとしたらどこがいいか話し合う。		授業計画	レポート返却と試験対策。
	事後学習	自分の発表の見直し		事後学習	試験勉強
7	事前学習	講義資料の見直し	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	20 年後、こども関連ビジネスにはどのような変化があるか考える。		授業計画	定期試験
	事後学習	自分の発表の見直し		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	日本の給食を調べる。			
	授業計画	日本の給食のシステムを知り、給食と弁当を比較検討する。			
	事後学習	自国との比較を考える。			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅣ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	梅澤　裕子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期に引き続きテーマに沿ってケーススタディを学ぶ。グループで話し合いを設け。プレゼンテーション案を作成し発表する。また、今期はその都度レポート提出や PPT 作成を課し、各グループで作成した案を自分のことに落とし込みまとめる作業を行う。
達成目標
グループで討議した内容をまとめ、相手を納得させるプレゼンテーションを行うことを目標とする。就職後を見据え、学生としてではなく、一社会人としての話し方や振る舞いができることを目指す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	プリントを読んでくる。
	授業計画	オリエンテーション･ケーススタディ①		授業計画	ケーススタディ⑨
	事後学習	レポート提出		事後学習	PPT 作成
2	事前学習	プリントを読んでくる。	10	事前学習	プリントを読んでくる。
	授業計画	ケーススタディ②		授業計画	ケーススタディ⑩・PPT 作成
	事後学習	レポート提出		事後学習	各自作成の PPT 見直し
3	事前学習	プリントを読んでくる。	11	事前学習	PPT 作成
	授業計画	ケーススタディ③		授業計画	プレゼンテーション発表
	事後学習	レポート提出		事後学習	振り返り
4	事前学習	プリントを読んでくる。	12	事前学習	プリントを読んでくる。
	授業計画	ケーススタディ④		授業計画	ケーススタディ⑪・PPT 作成
	事後学習	レポート提出		事後学習	各自作成の PPT の見直し
5	事前学習	プリントを読んでくる。	13	事前学習	PPT 作成
	授業計画	ケーススタディ⑤		授業計画	プレゼンテーション発表
	事後学習	レポート提出		事後学習	各自作成の PPT の見直し
6	事前学習	プリントを読んでくる。	14	事前学習	今までの資料やレポートの見直し
	授業計画	ケーススタディ⑥		授業計画	試験対策
	事後学習	レポート提出		事後学習	試験準備
7	事前学習	プリントを読んでくる。	15	事前学習	試験準備
	授業計画	ケーススタディ⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	レポート提出		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	プリントを読んでくる。			
	授業計画	ケーススタディ⑧			
	事後学習	レポート提出 orPPT 作成			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	松尾先生		
実務経験教員紹介	大学院・企業・日本語学校で研究員、ビジネスパーソン、大学進学希望学生に対して、日本語を基礎から超級まで幅広く指導。		

講義概要
就職活動で必要となる日本語のなかで、特に自己 PR、学生時代力をいれたことなどを論理的に書けるように指導する。同時に、日本語表現にとどまらずビジネス習慣や日本事情を学習する。また就職後の高度な文書に対応できるように、上級日本語表現について学ぶ。
達成目標
就職活動で必要となる日本語を理解し、自己 PR 志望理由など論理的に書ける。またビジネスに必要な高度な語彙や言い回しを習得する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ
	授業計画	今後の目標と進路をどうするべきか考えて発表。		授業計画	ビジネス場面で話題にできるように日本の地理について学ぶ。
	事後学習	復習する		事後学習	復習する
2	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ	10	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ
	授業計画	自己の目標を具体的に考え書く。		授業計画	ビジネス場面で話題にできるように日本の地理について学ぶ。
	事後学習	復習する		事後学習	復習する
3	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ	11	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ
	授業計画	自己分析に関する書き方解説。実際に書く。		授業計画	上級ビジネス文書を読むために必要な表現を解説②
	事後学習	できなかったところを完成させる		事後学習	復習する
4	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ	12	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ
	授業計画	業界についての知識を知る。特殊用語の解説。		授業計画	上級ビジネス文書を読むために必要な表現を解説③
	事後学習	復習する		事後学習	復習する
5	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ	13	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ
	授業計画	自己 PR や学生時代力を入れてきたことについて書き方の解説		授業計画	上級ビジネス文書を読むために必要な表現を解説④
	事後学習	自己 PR を完成させる。		事後学習	復習する
6	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ	14	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ
	授業計画	志望理由の書き方を学び、企業のホームページから心に響く言葉を探す		授業計画	上級ビジネス文書を読むために必要な表現を解説⑤
	事後学習	心に響いた言葉を表にまとめ提出する		事後学習	復習する
7	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ	15	事前学習	復習
	授業計画	履歴書の言葉、送付状の書き方の解説		授業計画	試験
	事後学習	志望理由を書いて提出する		事後学習	復習
8	事前学習	プリントを読み語彙など事前調べ			
	授業計画	面接についての質問、答え方を学んでいく			
	事後学習	復習する			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名　　小島美智子監修　植木香・木下由紀子・藤井美音子
　　タイトル　伸ばす。就活能力・ビジネス日本語力
　　出版社　　国書刊行会
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	松尾先生		
実務経験 教員紹介	大学院・企業・日本語学校で、研究員、ビジネスパーソン、大学進学希望学生に対して、基礎から超級まで幅広く指導経験。		

講義概要
ビジネス場面での適切な待遇表現を使った応対の仕方を学ぶ。同時に、ビジネス習慣や日本事情を学習する。また就職後の高度な日本語に対応するための表現を体系的に解説し学習する。
達成目標
ビジネス日本語を、様々場面において適切に話したり、読んだりできる力を習得する。日本語上級者にふさわしい語彙、文法の習得を目指す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	練習
	授業計画	敬語（謙譲・尊敬・丁寧）を復習しビジネス場面の改まった表現を学ぶ。		授業計画	会話劇発表。
	事後学習	復習		事後学習	復習
2	事前学習	予習	10	事前学習	練習
	授業計画	社外の人への自己紹介、他己紹介を学ぶ。		授業計画	会話劇発表。
	事後学習	復習		事後学習	復習
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	適切な敬語を使い、正しい電話の受け方を学ぶ。		授業計画	上級日本語表現解説①
	事後学習	復習		事後学習	復習
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	電話をかける、取り次ぎを頼む、伝言を頼むなど電話応対を学ぶ。		授業計画	上級日本語表現解説②
	事後学習	復習		事後学習	復習
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	用件を伝え日時を確認し、適切な敬語を使ったアポイントの取り方を学ぶ。		授業計画	上級日本語表現解説③
	事後学習	復習		事後学習	復習
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	訪問時の挨拶から本題の切り出し方、締めくくりなど適切な対応を学ぶ。		授業計画	上級日本語表現解説④
	事後学習	復習		事後学習	復習
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	会議で意見を言う言い方、議長として議事進行の仕方を学ぶ。		授業計画	期末試験
	事後学習	復習		事後学習	復習
8	事前学習	予習			
	授業計画	会話劇（ビジネスシーン）を作成する/発表する。			
	事後学習	次回に合わせ練習する			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　小島美智子監修　植木香・木下由紀子・藤井美音子
　　タイトル　伸ばす。就活能力・ビジネス日本語力
　　出版社　　国書刊行会
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	卒業演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	丸山　直美		
実務経験 教員紹介	商社にて秘書業務・専門学校講師・ホテルのイメージコンサルタント業		

講義概要
前期講義目的は国際人になるためのマナーを理解し、世界の様々な国や地域の人々と接せる上で、無用な誤解や不快な思いを避け、互いの心に伝え合うために心得ておきたいプロトコール（交際儀礼）についてその基本理念を理解をする。異文化を受け入れ、知識とスキルを実社会で活用できることを学ぶ。
達成目標
前期はプロトコールの基本理念をについて理解をし、国際儀礼の歴史と背景・代表事例から活用のポイント学び、プロトコールにかかわる人々の役割が理解できるようになる。典型的な行事を通して興味を持てるようになる。

授業計画

1	事前学習	プロトコールの語源を調べる	9	事前学習	敬語の復習
	授業計画	オリエンテーション･「プロトコール」とは何かを学ぶ		授業計画	①言葉遣いと話し方のポイント・自己の印象を高める実践
	事後学習	重要語句を覚える		事後学習	報連相をマスター
2	事前学習	共通点・相違点を調べる	10	事前学習	自国の国歌を日本語に訳す
	授業計画	マナー・エチケット・プロトコールの違い・共通点を考える		授業計画	①国歌につて②小テスト（理解度を知る）②海外の人との会議の進め方
	事後学習	重要語句を覚える		事後学習	他国の国歌を理解
3	事前学習	自分が思うプロトコールを考える	11	事前学習	準備は何をするか考える
	授業計画	プロトコールの歴史的背景を学ぶ（日本・海外）		授業計画	会食のプロトコール　①会食当日進行席次を理解す
	事後学習	歴史的背景の感想		事後学習	準備進行の要点を整理する
4	事前学習	自国の宗教を紹介（文作成）	12	事前学習	会食の種類を調べる
	授業計画	宗教・文化の違い（歴史的背景を考え理解をする）		授業計画	パーティーの種類（各パーティーの特徴やマナー）を学ぶ
	事後学習	他国の宗教・文化の違いの感想		事後学習	特徴を覚える
5	事前学習	日本の常識を調べる	13	事前学習	誕生会の招待状を考える
	授業計画	日本と違う海外の常識･国際交流とプロトコールの活用を知る		授業計画	招待状のマナー（国内･海外）招待状の出し方
	事後学習	国際交流の大切なことをまとめる		事後学習	ルール・マナーをまとめる
6	事前学習	日本の席次を復習	14	事前学習	前期学習のまとめ
	授業計画	序列（公式席次など）右上席など基本知識の習得		授業計画	①前期試験前総まとめ要点確認授業（プロトコールとは）
	事後学習	理解度を再確認		事後学習	重要語句の意味を理解
7	事前学習	サミットとは	15	事前学習	重要ポイント学習
	授業計画	晩餐会・叙勲・サミット・ノーベル賞などを知る		授業計画	前期試験①筆記試験　（各項目の必須事項を理解・説明）
	事後学習	理解度を確認		事後学習	講義の重要項目を振りかえる
8	事前学習	好きな国旗３種選ぶ			
	授業計画	国旗の基本・取り扱い・掲げ方・国旗の序列・卓上旗について学ぶ			
	事後学習	国旗の注意点をまとめる			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	卒業演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	丸山　直美		
実務経験 教員紹介	商社にて秘書業務・専門学校講師・ホテルのイメージコンサルタント業		

講義概要
前期集中は国際人になるためのマナーを理解し、世界の様々な国や地域の人々と接せる上で、無用な誤解や不快な思いを避け、互いの心に伝え合うために心得ておきたいプロトコール（交際儀礼）についてその基本理念の理解を深める。実践内容をそれぞれの場面に相応しい形で、自然に身につけていく。
達成目標
卒業演習Ⅰで学んだプロトコールの基本理念をについてさらに理解をし、国際人として自分に自信を持て、実践できるようになる。実例を多く学習し好感度の高い所作・振る舞いを身につけられるようになる。

授業計画

1	事前学習	「晩餐会」の意味を調べる	9	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	①会食のプロトコール（国内外）②会食の種類と料理③ハラルの理解		授業計画	「プロトコール総論」①復習：重要項目確認
	事後学習	ディナーと晩餐会を整理する		事後学習	重要項目整理
2	事前学習	ホームパーティとは何か考える	10	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	①会食の種類 2②主賓の迎え方③贈り物・食物アレルギーの理解と知識		授業計画	「プロトコール総論」②復習：重要項目確認
	事後学習	アレルギーを調べる		事後学習	プロトコールとは何か理解する
3	事前学習	正装等ドレスコードを調べる	11	事前学習	コミュニケーションを調べる
	授業計画	国際的な場でのドレスコード･正装の知識を学ぶ		授業計画	コミュニケーション能力を高める①
	事後学習	ルールを整理する		事後学習	取り入れる内容を整理する
4	事前学習	自分の上着の着方をチェック	12	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	場に合う歩き方・エスコート・コート脱ぎ着と預け方一部実技		授業計画	コミュニケーション能力を高める②
	事後学習	実技復習		事後学習	取り入れる内容を整理する
5	事前学習	自国のお酒について調べる	13	事前学習	お客様へのおもてなしを振りかえる
	授業計画	ワインの基礎知識・酒類知識・お酒のマナーを学ぶ		授業計画	「テーブルマナーとコーディネート」復習と重要項目の確認
	事後学習	気づいたことを整理		事後学習	重要事項を振りかえる
6	事前学習	ビジネスランチのメリットを考える	14	事前学習	発表前の下準備をする
	授業計画	ビジネスランチマナー基本と「アフタヌーンティ」について		授業計画	プロトコールの重要性を理解し将来の目標を発表（まとめ）
	事後学習	感想をまとめる		事後学習	重要ポイントを振り返りまとめる
7	事前学習	コーディネートの意味を調べる	15	事前学習	全講義の振り返り
	授業計画	コーディネートの基本ー１（色彩理論）センスアップ		授業計画	試験
	事後学習	基本のまとめ		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	講義資料の見直し			
	授業計画	コーディネート基本ー２（table・cloth）基本　小テスト			
	事後学習	基本のまとめ			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（その他）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	丸山　直美		
実務経験 教員紹介	商社にて秘書業務・専門学校講師・ホテルのイメージコンサルタント業		

講義概要
後期は国際人になるためのマナーを理解し、世界の様々な国や地域の人々と接せる上で、互いの心に伝え合うために心得ておきたい交際儀礼についてその基本理念の理解を深める。異文化を受け入れ、知識とスキルを実社会で活用できることを学ぶ。日本の礼法と国際的な礼法を会得できるようにする。
達成目標
プロトコールの基本理念を理解をし、国際人として交流を楽ししみ、進んで身に付ける意識が持てる。日本の伝統、文化、慣習を理解することができ、他国の慣習や、文化を理解し基本的な国際マナー、ルールを会得。

授業計画

1	事前学習	ホテルの種類を調べる	9	事前学習	自国の葬儀を調べる
	授業計画	ビジネスマンの出張やホテル作法		授業計画	葬儀葬礼「葬」のしきたりとマナーとルール　日本 vs 海外
	事後学習	大人の作法をまとめる		事後学習	マナーとルールを理解
2	事前学習	自分の趣味６アイテムまとめる	10	事前学習	自国の祭りをまとめる
	授業計画	国際人としての趣味と暮らしの作法（活かす趣味の活用）		授業計画	①日本と世界の祭り・海外文化の知識 ②日本の習慣と世界のタブー
	事後学習	趣味・仕事の活用を整理する		事後学習	タブーについて理解をする
3	事前学習	自分の食べ方を観察	11	事前学習	紹介の仕方整理する
	授業計画	美しい食べ方　国内・海外（７つの基本と 48 の実例）		授業計画	会話の国際ルール・ビジネスやパーティーでの紹介の善し悪し
	事後学習	学び後改善点の整理		事後学習	間違いをまとめる
4	事前学習	茶の種類を調べる	12	事前学習	これまでの講義内容を整理する
	授業計画	プロトコールマナー：緑茶・紅茶・珈琲の正しい知識		授業計画	各国晩餐会・パーティーの画像を鑑賞し学びを深める
	事後学習	感想をまとめる		事後学習	画像観賞の感想
5	事前学習	授業ポイントを確認	13	事前学習	これまでの講義内容を整理する
	授業計画	質疑応答・レセプション総まとめ（小テスト）自己採点		授業計画	プロトコールのセキュリティと緊急対応・ユニバーサルマナー
	事後学習	疑問点。不明点を整理		事後学習	緊急対応の要点整理
6	事前学習	好きな日本料理をまとめる	14	事前学習	需要事項を復習・実技練習
	授業計画	和食の３大料理の特徴を学び外国人へ対応できるようにする		授業計画	①後期要点内容の復習　②実技「１」グループ
	事後学習	和食と季節感をまとめる		事後学習	実技の反省
7	事前学習	マナー問題を振りかえる	15	事前学習	重要語句の意味を理解する
	授業計画	マナー・プロトコール検定より抜粋問題ミニテスト解答説明		授業計画	①後期末試験　②実技「２」グループ
	事後学習	マナーとルールを理解		事後学習	講義の重要ポイントを振り返る
8	事前学習	自国の結婚を調べる			
	授業計画	結婚の変遷「婚」のしきたりとマナーとルール　日本 vs 海外			
	事後学習	マナーとルールを理解			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜(課題・小テスト)＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	組織論Ⅰ	単位	2単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	善福　大		
実務経験 教員紹介	人材派遣会社にて経営管理部に所属し経営戦略、組織管理、マーケティング方針の策定を行う。		

講義概要
働く上で会社や団体など様々な場面で「組織」に所属することが一般的です。組織を理解することはよりよく働くためには重要な要素です。本講義では「組織とは何か」を中心とし、組織構造からマネジメントまで幅広く抑え、組織行動の基本を身に着けます。
達成目標
組織とは何か、組織構造の基本、組織学習など実際の会社組織がどのように運営されているか、日本の会社組織をもとに基本的な考え方を身に着けます。また組織内で働く人材の動かし方や意思決定の方法、を学びます。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	経営・組織とは何か。組織の成り立ちを伝える		授業計画	組織として成長するには何が必要か、組織学習について知る。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
2	事前学習	講義資料を読む。	10	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	会社組織とは何か。現代社会の会社はどのような形があるのか知る		授業計画	組織の力を発揮するために外部組織との連携の重要さを知る。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
3	事前学習	講義資料を読む。	11	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	組織体制の種類。組織体制にはどのような種類があるのかを知る。		授業計画	組織を変えるためには何が必要か。組織変革について知る。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
4	事前学習	講義資料の確認	12	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	個人に能力を発揮してもらう。リーダーシップとは何か。		授業計画	組織イノベーションとは何か、組織開発について知る。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
5	事前学習	講義資料の確認	13	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	ベクトルを揃える。従業員の行動を揃えるためには何が必要か。		授業計画	人事評価制度など組織で働く上で必要な基本的な知識を身に着ける。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
6	事前学習	講義資料の確認	14	事前学習	前期講義資料を再度目を通す
	授業計画	より良い意思決定を行う。組織における意思決定は何を基準とするのか		授業計画	前期講義の総復習。質問などテストに向けたまとめ講義
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
7	事前学習	講義資料の確認	15	事前学習	講義の復習
	授業計画	環境と折り合う。組織は内部だけでなく環境にも左右されることを知る。		授業計画	テスト
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	特になし
8	事前学習	講義資料の確認			
	授業計画	個々人の成長を促すためには組織としてどうすれば良いか。			
	事後学習	講義資料の読み込み、復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　鈴木竜太
　　タイトル　はじめての経営学　経営組織論
　　出版社　　東洋経済新報社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	組織論Ⅱ	単位	2単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	善福　大		
実務経験 教員紹介	人材派遣会社にて経営管理部に所属し経営戦略、組織管理、マーケティング方針の策定を行う。		

講義概要
経営組織は、経営学や組織構造だけでなく実際に働く人材に関するマネジメントの知識が欠かせません。本講義では人材マネジメントについて学ぶため、日本の会社における採用、異動、人事評価、報酬など人材に関する理論と実例を教えます。
達成目標
会社組織における重要な人材管理についてリーダーシップやこれから必要となるマネジメント能力を身に着けます。またマネジメントだけでなく日本企業の人事評価や育成について知りこれから必要とされる人材像を学びます。

授業計画

1	事前学習	事前講義資料の確認	9	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	人材マネジメントとは何か。人材マネジメントの基本を学ぶ		授業計画	人材の流れである「リソースフロー」の入り口である採用について学ぶ
	事後学習	講義資料の確認		事後学習	講義資料の確認
2	事前学習	事前講義資料の確認	10	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	マネジメントの使命についてドラッガーから学ぶ		授業計画	適材適所の重要な手法である人事異動について学ぶ。
	事後学習	講義資料の確認		事後学習	講義資料の確認
3	事前学習	事前講義資料の確認	11	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	マネジメントの方法についてドラッガーから学ぶ		授業計画	人を育成する企業の投資活動である人材開発について学ぶ
	事後学習	講義資料の確認		事後学習	講義資料の確認
4	事前学習	事前講義資料の確認	12	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	マネジメントの戦略についてドラッガーから学ぶ		授業計画	組織の効果を高める計画的な取り組み組織開発について学ぶ
	事後学習	講義資料の確認		事後学習	講義資料の確認
5	事前学習	事前講義資料の確認	13	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	日本の会社の人事評価について一般的な考えを学ぶ		授業計画	働く人の視点から組織におけるキャリアや専門職について学ぶ
	事後学習	講義資料の確認		事後学習	講義資料の確認
6	事前学習	事前講義資料の確認	14	事前学習	後期講義資料の確認
	授業計画	賃金・退職金制度（外的報酬）による人材への影響を学ぶ		授業計画	後期講義の総復習、テスト前の総確認講義を行い後期講義の理解を深める
	事後学習	講義資料の確認		事後学習	講義資料の確認
7	事前学習	事前講義資料の確認	15	事前学習	後期講義資料の確認
	授業計画	働きがい（内的報酬）による人材へのアプローチ手法を学ぶ		授業計画	テスト
	事後学習	講義資料の確認		事後学習	テストの復習
8	事前学習	事前講義資料の確認			
	授業計画	人材マネジメントの方針を具現化した骨格である等級について学ぶ			
	事後学習	講義資料の確認			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　坪谷邦生
　　タイトル　人材マネジメント入門
　　出版社　　ディスカバートゥエンティワン

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	梅澤　裕子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今現在日本と諸外国を取り巻く様々な問題を学び、その語彙や概念を身に付けることによって自国や過去の世界との比較ができるようになることを目指す。今後の世界を担う社会人として必要な知識を、自分たちにとって身近な視点から学んでいく。
達成目標
過去から現在までを一連の流れとして理解し、日本と世界の抱える問題を自分のこととして理解することを目標とする。実際の新聞記事やインターネット記事等も使用し、自分で読めるようにしていく。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	現代日本の労働問題について。労働者を守る法律から働き方改革まで。		授業計画	地球環境問題について。各問題と今後へ向けての展望。
	事後学習	外国人労働者を受け入れる利点		事後学習	自国の現在の取り組みをまとめる。
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	日本の社会保障について調べる。
	授業計画	エネルギー問題について。ENEOS 等エネルギー関連企業の今後。		授業計画	世界と日本の社会保障制度と考え方について学ぶ。
	事後学習	自国のエネルギー事情を調べる。		事後学習	自国を振り返ってまとめる。
3	事前学習	講義資料の見直し	11	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	日本企業と農業について。現状と抱えている問題。		授業計画	人権保障とは何か。世界の人権保障の動きについて知る。
	事後学習	自国の農業事情について調べる		事後学習	SDGｓについて調べる。
4	事前学習	講義資料の見直し	12	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	東京一極集中から地方活性化まで。自国と比較して考える。		授業計画	青年期とその心理について。成人年齢引き上げについてまで。
	事後学習	発表の振り返り		事後学習	語彙の確認
5	事前学習	講義資料の見直し	13	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	日本の法律と各国の比較。話し合って紹介する。		授業計画	世界経済のグローバル化と国家間の連携について。
	事後学習	発表の振り返り		事後学習	昨年の時事研究の見直し
6	事前学習	講義資料の見直し	14	事前学習	自国の現在の社会問題を調べる。
	授業計画	世界の経済格差と南北問題について考える。		授業計画	新聞の読み方と実践。自国の問題について書いてみる。
	事後学習	フェアトレード商品を探す。		事後学習	新聞作成
7	事前学習	プリントを読む。	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	日本文化と世界の宗教について考える。自国文化について説明する。		授業計画	定期試験
	事後学習	自国文化について提出する。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	講義資料の見直し			
	授業計画	自立した消費者になるために。消費者問題を知る。			
	事後学習	発表の振り返り			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　帝国書院編集部
　　タイトル　ライブ！現代社会　2021
　　出版社　　株式会社　帝国書院
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	梅澤　裕子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期に引き続き、今現在日本と諸外国を取り巻く様々な問題を学び、その語彙や概念を身に付けることによって自国や過去の世界との比較ができるようになることを目指す。今後の世界を担う社会人として必要な知識を、自分たちにとって身近な視点から学んでいく。
達成目標
過去から現在までを一連の流れとして理解し、日本と世界の抱える問題を自分のこととして理解することを目標とする。実際の新聞記事やインターネット記事等も使用し、自分で読めるようにしていく。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	前期の内容確認･資本主義と社会主義		授業計画	一週間の新聞からわかる一週間の時事。
	事後学習	内容確認		事後学習	内容確認
2	事前学習	講義資料の確認	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	地域経済の広がりを学ぶ。英の EU 離脱まで。		授業計画	一週間の新聞からわかる一週間の時事。
	事後学習	内容確認		事後学習	内容確認
3	事前学習	講義資料の確認	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	戦後の国際情勢を学ぶ。		授業計画	一週間の新聞からわかる一週間の時事。
	事後学習	内容確認		事後学習	内容確認
4	事前学習	講義資料の確認	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	我々の権利を学ぶ。		授業計画	一週間の新聞からわかる一週間の時事。
	事後学習	内容確認		事後学習	内容確認
5	事前学習	講義資料の確認	13	事前学習	日々のニュースを追う（一週間分）
	授業計画	市場経済の考え方		授業計画	一週間の新聞からわかる一週間の時事。
	事後学習	内容確認		事後学習	内容確認
6	事前学習	講義資料の確認	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	新聞の読み方の復習と実践		授業計画	試験対策
	事後学習	新聞を読んでくる。（記事提供）		事後学習	試験準備
7	事前学習	講義資料の確認	15	事前学習	試験準備
	授業計画	一週間の新聞からわかる一週間の時事。		授業計画	定期試験
	事後学習	内容確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回の復習			
	授業計画	一週間の時事確認・GNP～GNH の用語確認			
	事後学習	内容確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　帝国書院編集部
　　タイトル　ライブ！現代社会　2021
　　出版社　　株式会社　帝国書院
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	計算能力演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	古屋　俊雄		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代のビジネス・スキルに不可欠となっている簿記の知識をさらに一歩高め、なぜそのような会計処理を行うのかといった理由や会計処理の違いによって生じる長所、短所などを理解することにより、会計の基本から実務で活用する技術までを解説する。
達成目標
就職試験で簿記の講義を受けた、簿記検定に合格したというアピールをしても、現実の仕事においては簿記の授業では解説していない事柄に直面することがある。よって本講義ではそのギャップを埋めることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	予習
	授業計画	会計学とは　数量･単価に関する計算　個別法　先入先出法		授業計画	損益計算書の作成　勘定式と報告式　売上高の部
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	平均法(移動平均法　総平均法)　最終仕入原価法		授業計画	損益計算書の作成　売上原価　販売費および一般管理費
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	売価還元法　商品評価損　企業会計原則　継続性の原則		授業計画	損益計算書の作成　営業外損益　特別損益項目
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	固定資産　取得原価　耐用年数　残存価額　備忘価値　定額法　新定額法		授業計画	損益計算書の作成　総合問題演習 1 初級編
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	旧定率法　250%定率法　200%定率法　定率法の長所と短所		授業計画	損益計算書の作成　総合問題演習 1 中級編
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	級数法　生産高比例法　取替法　法定耐用年数		授業計画	損益計算書の分析　収益性の分析　2 社比較
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	引当金の定義と種類　貸倒引当金　一般債権		授業計画	総復習および定期試験のための総復習問題　解説
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
8	事前学習	予習			
	授業計画	貸倒懸念債権　破産更生債権等の引当金設定			
	事後学習	講義資料の見直し			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：80%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　武田守
　　タイトル　会計の基本と実務
　　出版社　三修社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	計算能力演習Ⅳ	単位	2単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	古屋　俊雄		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代のビジネス・スキルに不可欠となっている簿記の知識をさらに一歩高め、なぜそのような会計処理を行うのかといった理由や会計処理の違いによって生じる長所、短所などを理解することにより、会計の基本から実務で活用する技術までを解説する。
達成目標
就職試験で簿記の講義を受けた、簿記検定に合格したというアピールをしても、現実の仕事においては簿記の授業では解説していない事柄に直面することがある。よって本講義ではそのギャップを埋めることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	予習	9	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算1		授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算4
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算2		授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算5
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算3		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法1
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算4		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法2
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算5		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法3
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算1		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法4
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算2		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法5
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
8	事前学習	予習			
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算3			
	事後学習	講義資料の見直し			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：80%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　武田守
　　タイトル　会計の基本と実務
　　出版社　三修社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	企業リサーチⅠ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、様々な会社形態を学ぶ。とりわけ現代の会社形態の主流となっている「株式会社」の誕生・特徴を理解することが最大の目的である。企業が利潤の最大化という目的を達成する上で株式会社という会社形態がなぜ優れているのか、株式会社の所有と経営の分離、コーポレート・ガバナンスを学ぶなか、理解を深めていく。
達成目標
①現代の様々な会社形態を理解する。②株式会社の誕生とその特徴を理解する③コーポレート・ガバナンスのあり方を理解する。

授業計画

1	事前学習	経済主体を調べる	9	事前学習	コングロマリットとは何かを調べる
	授業計画	経済主体と国民経済について		授業計画	企業の諸形態①コングロマリットについて
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
2	事前学習	企業とは何かを調べる	10	事前学習	多国籍企業を調べる
	授業計画	会社企業の諸形態について		授業計画	企業の諸形態②多国籍企業について
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
3	事前学習	持分会社を調べる	11	事前学習	ベンチャー企業を調べる
	授業計画	持分会社（合名・合資・合同）の違いについて		授業計画	企業の諸形態③ベンチャー企業について
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
4	事前学習	株式会社を調べる	12	事前学習	アウトソーシングとは何かを調べる
	授業計画	株式会社の誕生と特徴について		授業計画	企業の諸形態④アウトソーシング企業について
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
5	事前学習	株式会社の特徴を調べる	13	事前学習	世界の EMS 企業を調べる
	授業計画	株式会社の特徴①無限責任社員と有限責任社員について		授業計画	企業の諸形態⑤世界の ＥＭＳ企業について
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
6	事前学習	株主総会について調べる	14	事前学習	企業の目的とは何かを調べる
	授業計画	株式会社の特徴②株式会社の機関について		授業計画	企業の目的や存在意義について
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
7	事前学習	所有と経営の分離とは何かを調べる	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	株式会社の特徴③所有と経営の分離について		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	企業統治のあり方を調べる			
	授業計画	コーポレート･ガバナンス(企業統治)について			
	事後学習	配布プリントを読んでくる			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社
参考書　著者名　　特になし
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	企業リサーチⅡ	単位	2単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、ファンダメンタル分析を学ぶ。どのような企業に魅力を感じるか、それはなぜか、その企業を取り巻く環境はどのようであるか、業績はどうなっていると推定できるかなど、投資家やアナリストがファンダメンタル分析（財務諸表分析・企業価値評価）に取り組む意味やその理由を学ぶ。
達成目標
為替・証券投資に関わる理論と分析手法の理解して、実践を行うこと。ファンダメンタル分析を理解することを目指す。

授業計画

1	事前学習	株式会社の歴史を調べる	9	事前学習	損益計算書を調べる
	授業計画	株式会社の仕組みについて		授業計画	損益計算書の仕組みについて
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
2	事前学習	金融とは何かを調べる	10	事前学習	ファンダメンタル分析を調べる
	授業計画	企業の資金調達の仕組みについて		授業計画	ファンダメンタル分析
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
3	事前学習	日本の証券取引所を調べる	11	事前学習	トヨタを調べる
	授業計画	日本の証券市場と証券取引所について		授業計画	企業リサーチ①トヨタ自動車
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
4	事前学習	株式とは何かを調べる	12	事前学習	パナソニックを調べる
	授業計画	株式購入の仕組みについて		授業計画	企業リサーチ②パナソニック
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
5	事前学習	株式会社の特徴を調べる	13	事前学習	ファーストリテイリングを調べる
	授業計画	会社の種類について（合名・合資・合同の違い）		授業計画	企業リサーチ③ファーストリテイリング
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
6	事前学習	企業統治とは何かを調べる	14	事前学習	ソフトバンクグループを調べる
	授業計画	会社のコーポレートガバナンスについて		授業計画	企業リサーチ④SBC（ソフトバンクグループ）
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
7	事前学習	カバナンスを調べる	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	株主と経営者との関係について		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	貸借対照表を調べる			
	授業計画	貸借対照表の仕組みについて			
	事後学習	配布プリントを読んでくる。			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	接遇外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	松尾　悦子		
実務経験教員紹介	大学院・企業・日本語学校で研究員、ビジネスパーソン、大学進学希望学生に対して、日本語を基礎から超級まで幅広く指導。		

講義概要
ビジネスの場面では、敬語や独特の言い回しやを使うことが多く、実際にどのような状況で使うのか、わかりやすい例文や状況説明で解説していく。また、BJT ビジネス日本語能力試験の読解の問題に触れながら、ビジネス文書の読解力およびビジネス日本語のコミュニケーションスキルを向上させていく。
達成目標
上級表現を単に暗記するのではなく「腑に落ちて理解できる」そして使いこなせるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	復習
	授業計画	ウォーミングアップ		授業計画	BJT ビジネス日本語能力試験 語彙・文法問題を解放の解説
	事後学習	復習		事後学習	復習
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	重要表現（様子・付随行動）の解説と実践問題		授業計画	BJT ビジネス日本語能力試験 語彙・文法問題を解く
	事後学習	復習		事後学習	復習
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	重要表現（条件）の解説と実践問題		授業計画	BJT ビジネス日本語能力試験 表現読解問題を解放の解説
	事後学習	復習		事後学習	復習
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	重要表現（目的手段）の解説と実践問題		授業計画	BJT ビジネス日本語能力試験 表現読解問題を解く
	事後学習	復習		事後学習	復習
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	重要表現（原因理由）の解説と実践問題		授業計画	BJT ビジネス日本語能力試験 総合読解問題の解説
	事後学習	復習		事後学習	復習
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	重要表現（可能不可能）の解説と実践問題		授業計画	BJT ビジネス日本語能力試験 総合読解問題を解く
	事後学習	復習		事後学習	復習
7	事前学習	予習	15	事前学習	復習
	授業計画	重要表現（評価の基準）の解説と実践問題		授業計画	確認試験
	事後学習	復習		事後学習	振り返り
8	事前学習	復習			
	授業計画	確認試験			
	事後学習	振り返り			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　瀬川由美
　　タイトル　BJT ビジネス日本語能力テスト読解実力養成問題集
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名　　小川誉子・前田直子
　　タイトル　敬語を中心とした対人関係の表現
　　出版社　　スリーエーネットワーク

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	横田　真央		
実務経験教員紹介	生命保険会社での法人営業・個人営業		

講義概要
本講義では、日本の会社に入る際に必要なビジネスレベルの会話や、ビジネスメールで使う語彙や文法等を学ぶ。ロールプレイや、グループディスカッションでのアウトプットを繰り返していくことで、難易度の高い語彙を使用語彙として定着させていく。
達成目標
日本の会社で働くためのビジネスレベルの語彙や文法を理解し、正しい使い方ができるようにする。また、日本人独特の婉曲的な表現を学び、目上の人に対して失礼のない会話ができるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	オリエンテーション（講義のルール等）上司の話の聞き方、話しかけ方		授業計画	目上の人に弁解や、反論をする際の言葉遣い
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
2	事前学習	前回の講義内容の復習	10	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	自己分析、自己 PR（性格を表す語彙を学ぶ）		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　1
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
3	事前学習	前回の講義内容の復習	11	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	ビジネスの電話をかける際、受ける際の日本語　1		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　2
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
4	事前学習	前回の講義内容の復習	12	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	ビジネスの電話をかける際、受ける際の日本語　2		授業計画	目上の人と雑談をする際のテーマ、言葉遣い
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
5	事前学習	前回の講義内容の復習	13	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	上司に報告、連絡、相談をする際の言葉遣い		授業計画	グループでロールプレイ　目上の人と雑談をする場面
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
6	事前学習	前回の講義内容の復習	14	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	上司に依頼をする際、依頼を断る際の言葉遣い		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　3
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
7	事前学習	前回の講義内容の復習	15	事前学習	全講義内容の復習
	授業計画	アポイントを取る際の言葉遣い、メールの書き方		授業計画	定期試験
	事後学習	小テスト		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の講義内容の復習			
	授業計画	会議・打ち合わせをする際の言葉遣いとマナー			
	事後学習	小テスト			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：60%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　植木香・木下由紀子・藤井美音子
　　タイトル　伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力 日本で働くための「４つの能力」養成ワークブック
　　出版社　　国書刊行会

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	就職ケーススタディⅠ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	梅澤 裕子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
キャリアとは、社会で他の人と協力しながら自分らしく生きていくプロセスのことを指す。この講義では、これまでの自分について振り返り、自分自身について改めて考え、どんな自分に将来なりたいか、個人やグループでのワークを通しそのために必要なことについて学ぶ。
達成目標
講義やワークを通し、自己理解を深める。また、実際に職場や就労支援機関等への訪問や社会人の話を聞くなどしてキャリア形成についての知識、理解を深め、自分の将来についての具体的なイメージができるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	最近ストレスを感じたことを挙げる
	授業計画	キャリア形成とは？ 自分振り返りシートの作成		授業計画	ストレスについて知る ストレス解消法を探るワーク
	事後学習	振り返りシートの見直し		事後学習	身近な人へのインタビュー
2	事前学習	他者を意識するワーク	10	事前学習	インタビュー結果のまとめ
	授業計画	前回シート作成の続き　ペアワーク 「会話の良さに気付く」＆発表		授業計画	ストレスマネジメントとは ストレスとの上手な付き合い方を学ぶ
	事後学習	他者から見た自分について聞く		事後学習	講義内容の実践
3	事前学習	インタビュー内容のまとめ	11	事前学習	実践の結果まとめ
	授業計画	自分の長所・短所についてまとめる 具体的なエピソードをいれて発表		授業計画	約束について考えるワーク 約束を守るために必要なこととは
	事後学習	短所の表現を長所に変えてみる		事後学習	講義内容の実践
4	事前学習	社会のルールを洗い出す	12	事前学習	スケジュールツールの準備
	授業計画	ルールとマナーの違い「社会のルールを理解する」ワーク＆発表		授業計画	スケジュール帳の活用について スケジュール管理の方法紹介
	事後学習	自分でルールを作るなら？		事後学習	講義内容の実践
5	事前学習	前回課題の発表	13	事前学習	最近困ったことについての振り返り
	授業計画	マナーと常識について「考え方の異なる人と物事を進める」ワーク		授業計画	周囲に助けを求める 自分から発信できるようにするワーク
	事後学習	講義内容をふまえたインタビュー		事後学習	講義内容の実践
6	事前学習	インタビューのまとめ	14	事前学習	前回実践内容の結果報告
	授業計画	「自分の気持ちを把握する」ワーク 自分と他者の気持ちの違いを知る		授業計画	前期授業の振り返りとまとめ 定期試験対策について
	事後学習	振り返りシートの記入		事後学習	今期の学習内容の復習
7	事前学習	自分の気持ちの傾向のまとめ	15	事前学習	今期の学習内容の復習
	授業計画	気持ちの切り替えスイッチを見つける　身近な大人へインタビュー		授業計画	定期試験
	事後学習	インタビュー結果のまとめ		事後学習	定期試験の見直し
8	事前学習	前回課題の結果発表			
	授業計画	感情のコントロール方法について ロールプレイの実践			
	事後学習	振り返りシートの記入			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布プリント
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	就職ケーススタディⅡ	単位	2単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	梅澤 裕子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーなどを身につける。また、就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接などを通して、自己表現力・コミュニケーション能力を鍛える。
達成目標
自分の「根っこ」となるものを理解し、仕事もプライベートも含めた自分の人生（ライフキャリア）について、具体的に描き、主体的に行動する「キャリア形成力」を養うことを最大の目標とする。

授業計画

1	事前学習	働くことについて考える	9	事前学習	履歴書の書き方を調べる
	授業計画	働くとは？（求められる資質・社会人基礎力について）		授業計画	履歴書作成（志望動機欄以外）
	事後学習	授業の振り返り（復習）		事後学習	授業の振り返り（復習）
2	事前学習	自己分析をしてくる	10	事前学習	志望動機を作成してみる
	授業計画	自己理解ワーク（私の大切なもの探し）		授業計画	履歴書作成（志望動機作成のポイント）
	事後学習	授業の振り返り（復習）		事後学習	授業の振り返り（復習）
3	事前学習	自己を分析する	11	事前学習	面接の目的を調べる
	授業計画	自己理解ワーク（私ってどんな人）		授業計画	面接目的の理解と初歩的マナー
	事後学習	授業の振り返り（復習）		事後学習	授業の振り返り（復習）
4	事前学習	自己を分析する	12	事前学習	面接準備をする
	授業計画	自己理解ワーク（自分を知る手がかり）		授業計画	体験！模擬面接！！（自分の今を知ろう）
	事後学習	授業の振り返り（復習）		事後学習	授業の振り返り（復習）
5	事前学習	自己を分析する	13	事前学習	配布課題をやってくる
	授業計画	自己理解ワーク（過去を振り返ろう）		授業計画	筆記試験対策 ／作文作成・提出
	事後学習	授業の振り返り（復習）		事後学習	授業の振り返り（復習）
6	事前学習	自己を分析する	14	事前学習	面接準備をする
	授業計画	自己理解ワーク（なぜ働くの？）		授業計画	面接練習 ★履歴書提出
	事後学習	授業の振り返り（復習）		事後学習	授業の振り返り（復習）
7	事前学習	自己分析の内容をまとめる	15	事前学習	今期の学習内容の復習
	授業計画	まとめプリント作成(なりたい自分を見つけよう!)		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の振り返り（復習）		事後学習	定期試験の見直し
8	事前学習	マイナビ・リクナビを調べる			
	授業計画	就職活動の進め方（求人票の見方・応募書類等について）			
	事後学習	授業の振り返り（復習）			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料・その都度指示
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	古屋　俊雄		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代のビジネス・スキルに不可欠となっている簿記の知識をさらに一歩高め、なぜそのような会計処理を行うのかといった理由や会計処理の違いによって生じる長所、短所などを理解することにより、会計の基本から実務で活用する技術までを解説する。
達成目標
就職試験で簿記の講義を受けた、簿記検定に合格したというアピールをしても、現実の仕事においては簿記の授業では解説していない事柄に直面することがある。よって本講義ではそのギャップを埋めることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　簿記一巡の手続き　仕訳→貸借対照表		授業計画	会計学関連知識　法人税　法人税課税の概略
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　資産会計 PART 1		授業計画	会計学関連知識　法人税　申告調整に関する知識 1
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　資産会計 PART 2		授業計画	会計学関連知識　法人税　申告調整に関する知識 2
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　負債会計 PART 1		授業計画	会計学関連知識　法人税　申告調整に関する知識 3
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　純資産会計 PART 1		授業計画	会計学関連知識　所得税　所得税課税の概略
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　総合問題演習 1 初級編		授業計画	会計学関連知識　所得税　各種所得の計算 1
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	貸借対照表の作成　総合問題演習 1 中級編		授業計画	会計学関連知識　所得税　各種所得の計算 2
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
8	事前学習	予習			
	授業計画	損益計算書の分析　安全性の分析　２社比較			
	事後学習	講義資料の見直し			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：80%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　武田守
　　タイトル　会計の基本と実務
　　出版社　三修社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	善福　大		
実務経験 教員紹介	人材派遣会社にて経営管理部に所属し経営戦略、組織管理、マーケティング方針の策定を行う。		

講義概要
会社組織を深く理解するためには、組織体制だけでなく経営に関する知識も必要です。本講義では組織体制の復習を行いながら、経営とは何かといった基本的な知識、経営学、経営戦略、マーケティングまで広く浅く会社経営に関する流れを知り、ビジネスの基礎を教えます。
達成目標
組織体制の復習を行い、組織構造の理解を深めます。また経営学、経営戦略、マーケティング、生産管理までビジネスの基礎知識と併せて、日本の会社の特徴や経営手法を知り実社会への対応力を身につけます。

授業計画

1	事前学習	特にありません。	9	事前学習	なし
	授業計画	経営学とは何か。経営をするとはどういうことか基本的な考えを学ぶ		授業計画	コンテンツマーケティングとは何か。考え方を理解する。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
2	事前学習	講義資料の確認。	10	事前学習	講義資料を読む。
	授業計画	企業にはどういった種類があるのか、日本の企業の体制を学ぶ		授業計画	よく使われるコンテンツの種類や特徴を理解する。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
3	事前学習	講義資料の確認。	11	事前学習	講義資料を読む。
	授業計画	経営戦略とは何か。会社における戦略の意味を学ぶ。		授業計画	顧客視点のコンテンツを作るには何が重要か学ぶ。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
4	事前学習	講義資料の確認。	12	事前学習	講義資料を読む。
	授業計画	マーケティングとは何か。マーケティングの一連の流れを知る。		授業計画	読み手に響くコンテンツはどういうものか理解する。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
5	事前学習	講義資料の確認。	13	事前学習	講義資料を読む。
	授業計画	経営をするうえで重要なビジネスモデルとは何かを知る。		授業計画	制作したコンテンツの魅力を最大化するために気をつけること
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
6	事前学習	講義資料の確認。	14	事前学習	講義資料を読む。
	授業計画	生産管理とは何か。会社における管理業務を理解する		授業計画	目標を設定し PDCA サイクルをまわすためには何が必要か
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
7	事前学習	講義資料の確認。	15	事前学習	講義の振り返り
	授業計画	会社のお金に関する基本（金融、財務指標）を理解する		授業計画	試験
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	講義資料の確認。			
	授業計画	集中講義のまとめ。総復習にて理解を深める。			
	事後学習	講義資料の読み込み、復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　高橋伸夫
　　タイトル　大学 4 年間の経営学が 10 時間で学べる
　　出版社　角川書店
参考書　著者名　平野敦士カール
　　タイトル　大学 4 年間の経営学見るだけノート
　　出版社　宝島社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	大石　久美子		
実務経験教員紹介	外資系航空会社における秘書実務、専門学校における国際秘書実務・ビジネス文書技法（検定を含む）の指導		

講義概要
ビジネス文書の入門として、就職・進学の際に必要とされる（エントリーシート・小論文・研究計画書）表現演習から取り組む。ビジネスメールやビジネス文書で使用される語彙・表現を覚え、何をどのように書くべきかを考え文書を作成。タスクベースのテキストを使用し、状況把握した上で、適切な表現を用いたビジネス文書の作成。
達成目標
日本企業・日系企業への就職や進学を希望する学生に必要なビジネス文書（添え状を含む）を作成できるようにする。シーンごとのタスクをを仕上げることにより、状況にあったビジネス日本語の能力を養成する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	文書の返却と解説
	授業計画	オリエンテーション（講義の進め方、注意事項等）		授業計画	就職希望企業・進学希望大学（院）への添え状の作成②
	事後学習	レポート		事後学習	添え状提出
2	事前学習	前回講義資料の見直し	10	事前学習	添え状の返却と解説
	授業計画	エントリーシートを記入する前に。自己 PR を含めた自己紹介。		授業計画	エントリーシート・予想される質問への回答・字数制限内に書き上げる。
	事後学習	自己能力の棚卸しをしておく		事後学習	質問に回答した文書の提出
3	事前学習	自己能力の棚卸しの確認	11	事前学習	テキスト予習（ビジネスメール）
	授業計画	エントリーシート記入前の棚卸し。自分の能力を分析。敬体・常体表現。		授業計画	テキストービジネスメールの紹介とウォーミングアップの問題
	事後学習	自己 PR を考えてくる		事後学習	ウォーミングアップの記入を確認
4	事前学習	自己紹介と自己 PR の違い	12	事前学習	テキスト予習（社内外文書）
	授業計画	仕事に対するセールスポイントと性格から引き出す自己 PR の作成		授業計画	テキストをみながら社内文書・社外文書を書く（P28 まで）
	事後学習	セールスポイントの提出		事後学習	社内文書・社外文書の提出
5	事前学習	セールスポイントの返却	13	事前学習	提出文書の返却と解説
	授業計画	自己 PR、セールスポイントの解説、発表。		授業計画	第１課　お知らせ（社内）役立つ表現・状況を理解し, 文書を作成する。
	事後学習	レポート		事後学習	作成文書の提出
6	事前学習	講義資料の見直し	14	事前学習	作成文書の返却と解説
	授業計画	スキルの棚卸しから経験に基づく文章の作成①		授業計画	第２課お知らせ（社外）役立つ表現・練習問題・タスク
	事後学習	作成文書の提出		事後学習	タスクにある文書の復習
7	事前学習	講義資料の見直し	15	事前学習	期末復習
	授業計画	スキルの棚卸しから経験に基づく文章の作成②		授業計画	期末テスト（添え状・社内・社外文書・慣用表現）
	事後学習	作成文書の提出		事後学習	期末テスト振り返り
8	事前学習	文書の返却と解説			
	授業計画	就職希望企業・進学希望大学（院）への添え状の作成①			
	事後学習	添え状提出			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　村野節子・向山陽子・山辺真理子
　　タイトル　タスクで学ぶ日本語ビジネスメール・ビジネス文書
　　出版社　　株式会社　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	グローバル・エグゼクティブ・マネジメントコース		
講師名	大石　久美子		
実務経験教員紹介	外資系航空会社秘書・専門学校における国際秘書学科における秘書実務指導・事務・経理・ビジネス学科におけるビジネス文書検定の指導		

講義概要
ビジネスメールやビジネス文書をテキストで設定されたビジネスシーンを把握し、文書を作成する。テキストはタスクベースで構成されているため、ビジネスシーンの理解がしやすい。関連性をもたせたストーリー展開で仕事の流れを整理しながら文書を作成していく。
達成目標
ビジネス文書運用能力の養成を目標とする。「自ら考えて書く」という作業を繰り返すことで、ビジネスで使用される慣用表現に慣れる。その慣用表現がどの場面で使われるのか、また使うべきかを理解する。

授業計画

1	事前学習	前期の復習（ビジネス文書の構成）	9	事前学習	クレームの種類を発表
	授業計画	Unit1 Ⅰ課（社内文書）お知らせ一日程調整・歓迎会		授業計画	商品未着・未着のお詫び・数量の照会・不足のお詫び文書の作成
	事後学習	授業中に出てきた慣用表現の発表		事後学習	発表する文書を決める
2	事前学習	慣用表現の理解をチェック	10	事前学習	クレーム文書の発表
	授業計画	2 課（社外文書）お知らせ一練習 1/展示会のお知らせ		授業計画	8 課（社内会議）お知らせ・議事録の作成
	事後学習	展示会のお知らせの返信メール		事後学習	議事録の理解の check
3	事前学習	返信メールの発表	11	事前学習	記事録の書式について
	授業計画	3 課（お礼一社外）・営業日報（社内）		授業計画	議事録の復習・Unit ４（９課の説明一セミナーの依頼）
	事後学習	営業日報を書いてくる		事後学習	セミナーの依頼文を考えてくる
4	事前学習	営業日報の提出	12	事前学習	依頼分の発表
	授業計画	Unit 2-4 課　送付依頼（役立つ表現・練習問題）		授業計画	10 課（稟議書）説明と作成の書式
	事後学習	講義資料の確認		事後学習	稟議書に上げたいものを考えてくる
5	事前学習	返信メールを考えてくる	13	事前学習	稟議書の復習
	授業計画	5 課（納期延長依頼）役立つ表現・練習問題		授業計画	Unit5　一新規顧客開拓一11 課・12　課（社内会議・紹介依頼）
	事後学習	代金振り込み通知を考えてくる		事後学習	社内会議の議事録を作成してくる
6	事前学習	代金振込通知の発表	14	事前学習	社内会議の議事録提出
	授業計画	6 課（照会一在庫）役立つ表現・練習問題（納入と納品）		授業計画	Unit ６（報告書・始末書）始末書の説明
	事後学習	6 課までの確認テストの通知		事後学習	期末テストの通達
7	事前学習	6 課での復習	15	事前学習	復習
	授業計画	Unit1～Unit 2 までの復習と確認テスト		授業計画	期末テスト
	事後学習	講義資料の確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	確認テストの返却と解説			
	授業計画	Unit3～7 課クレームをうける（照会一商品未着）			
	事後学習	講義資料の確認			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　村山節子・向山陽子・山辺真理子
　　タイトル　タスクで学ぶ日本語ビジネス mail・ビジネス文書
　　出版社　　株式会社　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティⅠ	単位	2単位
学科コース	Business Management course		
講師名	飛鳥　政明		
実務経験 教員紹介	40年以上の飲食関連全般の実務経験。「ホスピタリティ」関連は(株)オリエンタルランドグループで「ディズニー流のホスピタリティ」を17年指導経験あり。		

講義概要
あらゆる産業において、企業理念として「顧客満足」を掲げている会社が多いなか、この「顧客満足」を実践できる人財が必要となる。学生自身がホスピタリティの意味を理解し、どのような考え方、どのような言動を身につけなければならないかという理論および日常的なホスピタリティマインド発揮のための基盤の確立を目指す。
達成目標
学生が卒業後、社会人となり職場からも顧客からも信頼され、本人だけでなく会社からも必要とされる人財となるように学修を深める。そして自ら率先してホスピタリティを理解し実践できる人財にすることが目標。

授業計画

1	事前学習	本講義で学ぶ内容を理解する	9	事前学習	配布資料の事前予習
	授業計画	オリエンテーション、自己紹介、授業内容の説明、ルールなどを説明		授業計画	顧客満足とホスピタリティ（顧客の心理、顧客満足とは）
	事後学習	オリエンテーションの内容を復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
2	事前学習	「ホスピタリティ」とは何か考える	10	事前学習	自身がクレームを受けたことの有無
	授業計画	「ホスピタリティ」と「サービス」の違いを理解する		授業計画	クレーム対応とは？自身の体験を基に検証。2度と起こさないためには
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
3	事前学習	「ホスピタリティ」産業とは	11	事前学習	アルバイト先での環境について
	授業計画	「ホスピタリティ」産業にはどのようなものがあるか考える		授業計画	職場環境（従業員満足、メンタルヘルス、ハラスメント）を考える
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
4	事前学習	配布資料の確認	12	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	人財育成とホスピタリティ（ホスピタリティを発揮できる人財の育成）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
5	事前学習	配布資料の確認と予習	13	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	企業と社会（企業の社会的責任とホスピタリティ、コンプライアンス）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
6	事前学習	自分の心の知能指数とは	14	事前学習	過去の配布資料の再確認
	授業計画	ホスピタリティの原点とはなにか。その為には、まず自分を知ること		授業計画	前期配布資料のまとめと復習。前期試験の概要説明
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	試験対策の復習
7	事前学習	配布資料の確認と予習	15	事前学習	筆記試験の予習
	授業計画	交流分析、自我状態（心のなりたち・エゴグラム）を知る		授業計画	筆記試験の実施と前期のまとめとフィードバックを行う
	事後学習	エゴグラムをチェックリストの確認		事後学習	講義内容の復習
8	事前学習	コミュニケーションはなぜ必要？			
	授業計画	コミュニケーションとホスピタリティ（聴き方、話し方）			
	事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：100%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本ホスピタリティ協会
　　タイトル　ホスピタリティ検定
　　出版社　　(株)経済法令研究会

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティⅡ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
一般的に、「ホスピタリティ」とは「おもてなし」や「心配り」など、サービスの延長線上にあるもの、もしくはサービスを補充するものとして混同・誤解されている場合が多い。本講義では、ホスピタリティ産業と呼ばれる業界の様々な事例を紹介しながら、サービスとホスピタリティの違いやホスピタリティの基本的な考え方を学ぶ。
達成目標
ホスピタリティの基本的な考え方を理解したうえで、ホスピタリティ産業にはどのような業種業態があるのか、そこで発揮されるべき「ホスピタリティ」はどんなことなのかを学び、普段の生活の中でも発揮できるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ガイダンス なぜ、「ホスピタリティ論」を学ぶのか		授業計画	業界・職業研究②（バス・鉄道・航空）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	モノ消費からコト消費の時代へ		授業計画	業界・職業研究③（旅館・ホテル）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	サービスとは何か？		授業計画	業界・職業研究④（テーマパーク）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	サービス品質の特徴と品質基準		授業計画	業界・職業研究⑤（飲食・小売）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ホスピタリティの定義とサービスとの関係		授業計画	業界・職業研究⑥（冠婚葬祭事業）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	ホスピタリティが生まれやすい企業文化とは？		授業計画	テスト対策
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト勉強
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	現状と今後の課題		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく			
	授業計画	業界・職業研究①（旅行）			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（授業態度）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　資料を随時配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティング I	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Everett Ofari		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Introduce students to the range of elements pertaining to marketing, including its definition, theories and application in the real world
達成目標
Students ought to be able to explain various aspects of marketing and apply them to what they know in their everyday lives.

授業計画

1	事前学習	Check the syllabus	9	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Market and marketing – Meaning		授業計画	Focus on personal selling - objectives, features
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Read the applicable pages	10	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	The difference between marketing and selling		授業計画	Sales forecasting - methods and categories
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Read the applicable pages	11	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Marketing system and process - systematic approach		授業計画	Marketing of consumer goods - characteristics of consumer goods
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Read the applicable pages	12	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Marketing functions - buying, assembling, storage, transportation, etc.		授業計画	Marketing of industrial goods - classification and features
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Read the applicable pages	13	事前学習	Review the applicable pages
	授業計画	Pricing and pricing objectives		授業計画	Review from Day 1 to Day 12
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Read the applicable pages	14	事前学習	Review the applicable pages
	授業計画	Branding - features, advantages and reasons for branding		授業計画	Review from Day 1 to Day 12
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Read the applicable pages	15	事前学習	Review
	授業計画	Forms of promotion - sales promotion, advertising, public relations, publicity, etc.		授業計画	Final Test
	事後学習	Review		事後学習	Review
8	事前学習	Read the applicable pages			
	授業計画	Focus on advertising - objectives, advantages and types			
	事後学習	Review			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%

教科書　著者名　Manmohan Joshi
　　タイトル　Essentials of Marketing
　　出版社　Bookboon (www.bookboon.com)
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	マーケティングⅡ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Everett Ofari		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Covers the meaning of marketing and how it connects to consumer behavior; Market segmentation, Targeting, & Positioning; B2B and B2C Marketing, Marketing Channels
達成目標
The program will provide real world examples to help students appreciate how marketing theory is applied by organizations big and small.

授業計画

1	事前学習	Check the syllabus	9	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Definition of Marketing		授業計画	E-commerce
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Read the applicable pages	10	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Why Study Marketing?		授業計画	Targeted and Mass marketing
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Read the applicable pages	11	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	The Value Proposition		授業計画	Positioning and Repositioning
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Read the applicable pages	12	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	The Marketing Plan		授業計画	Branding and Packaging
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Read the applicable pages	13	事前学習	Review the applicable pages
	授業計画	The Consumer’s Decision Making Process		授業計画	The Product Life Cycle
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Read the applicable pages	14	事前学習	Review the applicable pages
	授業計画	What Affects Consumer Decision Making		授業計画	Review from Day 1 to Day 13
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Read the applicable pages	15	事前学習	Review
	授業計画	Business to Business Marketing		授業計画	Final Test
	事後学習	Review		事後学習	0
8	事前学習	Read the applicable pages			
	授業計画	Ethics in Business to Business Marketing			
	事後学習	Review			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%

教科書　著者名　Tanner, J. & Raymond
　　タイトル　Principles of Marketing
　　出版社　University of Minnesota Open Textbook Library
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経営学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	畠　裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場設計 23 年、国内事業企画 3 年、同部門の海外生産拠点で会社経営を 15 年実務経験。		

講義概要
過去の経営者たちの知恵の集大成である経営学を学ぶことにより、会社の役割、組織、経営の考え方、社会環境の変化などの基礎知識を広く理解する。経営学の教科書をもとに進めるが、ビジネスに興味が持てるような身近な実例を紹介する。経営学Ⅰの講義内容は次の通り。①経営学全般、②イノベーション論、③マーケテイング論
達成目標
経営学の導入段階として、経営を取り巻く社会構造や経営に関する基礎的な考え方を理解することを目的とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の講義の復習
	授業計画	オリエンテーション、講義なし		授業計画	マーケテイング概要、基本サイクル STP、市場分析
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	基本サイクル STP について
2	事前学習	2 限目の講義の復習	10	事前学習	9 限目の講義の復習
	授業計画	経営をめぐる２１世紀の変化（VUCA の時代、働き方改革など）		授業計画	マーケテイング 4P、価格の心理学、プロスペクト理論について
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	マーケテイング 4P の事例研究
3	事前学習	2 限目の講義の復習	11	事前学習	10 限目の講義の復習
	授業計画	経営をめぐる２１世紀の変化（VUCA の時代、働き方改革など）		授業計画	取引数単純化の原理、商社の機能について
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	商流、物流について
4	事前学習	3 限目の講義の復習	12	事前学習	11 限目の講義の復習
	授業計画	経営学の基本 6 分野と歴史､会社の役割、社会責任 CSR について		授業計画	ジレットモデル、ロックインとは
	事後学習	課題：経営学基本６分野とは？		事後学習	ジレットモデルの実例調査
5	事前学習	4 限目の講義の復習	13	事前学習	12 限目の講義の復習
	授業計画	組織の 3 要素と PM 理論、リーダーシップ理論		授業計画	持続可能な開発目標 SDGｓ､エシカル消費について
	事後学習	課題：組織の 3 要素、PM 理論		事後学習	SDGｓの事例調査
6	事前学習	5 限目の講義の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	イノベーションの意味、歴史、基本プロセス		授業計画	ビジネスモデルキャンバス
	事後学習	課題発見に必要な共感マップ作製		事後学習	ビジネスモデルキャンバス事例研究
7	事前学習	6 限目の講義の復習	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	デザイン思考､プロトタイピング手法		授業計画	期末試験
	事後学習	デザインとアートの違い		事後学習	振り返り
8	事前学習	7 限目の講義の復習			
	授業計画	発想に必要な掛け算思考、PEST 分析			
	事後学習	掛け算思考トレーニング			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　中川功一
　　タイトル　日常が学びに変わる！　経営学の本
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　沼上　幹
　　タイトル　ゼロからの経営戦略
　　出版社　　ミネルバ書房

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	畠　裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場設計 23 年、国内事業企画 3 年、同部門の海外生産拠点で会社経営を 15 年実務経験。		

講義概要
経営学Ⅰに引き続き、経営学の教科書をもとに会社の役割、組織、経営の考え方などの基礎知識を理解する。さらに経営に必要な財務会計を紹介し、現実の生きた経営について学ぶ。経営学Ⅱの講義内容は次の通り。①事業システム論、②経営戦略論、③組織行動論、④経営組織論、⑤財務会計
達成目標
経営に関する基礎的な考え方及び専門的な知識の概略を理解することを目的とする。経営学を通じて多角的な視点での思考ができるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 限目の講義の復習
	授業計画	ビジネスモデルキャンバス作成演習		授業計画	組織行動論、マズローの欲求 5 段階説
	事後学習	１時限目の復習		事後学習	自己決定理論 SDT とは
2	事前学習	1 限目の講義の復習	10	事前学習	9 限目の講義の復習
	授業計画	フリーミアム、プラットフォーム戦略		授業計画	キャリアアンカーとは、PDCA
	事後学習	フリーミアム事例調査		事後学習	戦略立案の PDCA
3	事前学習	2 限目の講義の復習	11	事前学習	10 限目の講義の復習
	授業計画	アウトソーシング戦略、パートナシップ戦略		授業計画	サイモンの意思決定理論、チーム力を高めるグループシンク
	事後学習	アップルの競争力が強い理由		事後学習	チーム力、判断力を高める方法
4	事前学習	3 限目の講義の復習	12	事前学習	11 限目の講義の復習
	授業計画	トヨタ生産方式、損益分岐点		授業計画	経営組織論、分業と調整
	事後学習	損益分岐点の求め方		事後学習	分業のメリットについて
5	事前学習	4 限目の講義の復習	13	事前学習	12 限目の講義の復習
	授業計画	経営戦略とは、ハーレーダビッドソン、アサヒビールの戦略		授業計画	機能別組織と事業部制組織、官僚制組織と有機的組織
	事後学習	経営戦略の立案プロセス		事後学習	官僚制組織のメリットとデメリットについて
6	事前学習	5 限目の講義の復習	14	事前学習	13 限目の講義の復習
	授業計画	現状分析手法 SWOT＆TOWS 分析		授業計画	経営に必要な財務会計（Ｐ／ＬとＢ／Ｓ）
	事後学習	SWOT＆TOWS 分析事例		事後学習	財務諸表の見方
7	事前学習	6 限目の講義の復習	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	ポーターの５要因分析、リソース・ベースド・ビュー		授業計画	期末試験
	事後学習	５要因分析の分析の例		事後学習	振り返り
8	事前学習	7 限目の講義の復習			
	授業計画	ゲーム理論ベースの経営戦略、win-win			
	事後学習	ゲーム理論が教える望ましい戦略			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　中川功一
　　タイトル　日常が学びに変わる！　経営学の本
　　出版社　　翔泳社
参考書　著者名　　大津　広一
　　タイトル　ビジネススクールで身につける会計×戦略思考
　　出版社　　日本経済新聞出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅠ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
学生と社会人との違いを認識し、ビジネスシーンでの身だしなみや最低限守るべきマナー・ルールを学ぶとともに、日本社会で信頼され、活躍できる人材の育成を目指す。また、多国籍の集団の中で、良好な人間関係を築くための対面およびオンラインコミュニケーションを学び、日常生活でも実践できるよう指導する。
達成目標
ビジネススーツを正しく着こなす。好印象の挨拶・お辞儀などの基本動作が出来るようになる。就業マナーや会社組織、敬語の使い分け、電話応対の基本知識を理解し、実践できるようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	他国出身の友達を 5 人　紹介準備
	授業計画	講義の進め方とルール、当科目の学習目的を理解し目標をたてる		授業計画	指示の受け方　報告・連絡・相談と 5 W3H
	事後学習	3 か月後の姿を言語化する		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
2	事前学習	自己紹介の内容となる材料を集める	10	事前学習	敬語置き換え一覧表を印刷する
	授業計画	共に過ごす未来を意識した自己紹介の準備方法		授業計画	ビジネス会話の基本　敬語の種類と動詞の置き換え一覧表作成
	事後学習	1 分間自己紹介の準備をする		事後学習	敬語置き換え一覧表を覚える
3	事前学習	自己紹介を声に出して 5 回練習する	11	事前学習	フォームを使って敬語小テスト
	授業計画	学生と社会人の違いを５つの視点で比較する		授業計画	敬語の使い分け　内と外　間違いやすい敬語
	事後学習	フォームで自己紹介内容を報告		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
4	事前学習	外出準備の行動を言語化する	12	事前学習	日常生活で敬語会話を積極的に実践
	授業計画	大人としての自己責任　第一印象の重要性　メラビアンの法則		授業計画	ビジネスコミュニケーションの優先順位と使い分け
	事後学習	第一印象要点を 200 字でまとめる		事後学習	フォームで敬語会話の実践報告
5	事前学習	身だしなみチェック表を記入する	13	事前学習	興味のある日本企業の HP を探す
	授業計画	おしゃれと身だしなみの違い　スーツの着方　準備と手入れ方法		授業計画	電話応対①　電話のかけ方マナー　電話メモの取り方
	事後学習	スーツの手入れと靴磨きをする		事後学習	アポ電話の台詞を用意する
6	事前学習	姿勢の良い人の特徴を観察する	14	事前学習	電話応対会話資料を印刷する
	授業計画	正しい姿勢での立ち方・座り方・お辞儀・入退出動作実習		授業計画	電話応対②　電話の取り次ぎ　状況別応対シミュレーション
	事後学習	1 日 3 回各 1 分間壁立ち姿勢確認		事後学習	配布資料を確認しノートを整備する
7	事前学習	身近な人の役職を調べる	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	日本企業のタテ組織、ヨコ組織　人間関係構築の基本		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームで役職名問題を解く		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	配布資料を確認しノート整備			
	授業計画	シーン別挨拶の実習　オンライン画面の映り方イメージアップ法			
	事後学習	初対面の相手への挨拶練習 10 回			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われる図解ビジネスマナー
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅡ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
ビジネスマナーⅠで学習した内容理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。社会人常識マナー検定 3 級レベルの過去問題集を参考書として、社会常識やビジネスコミュニケーション力の向上と、ビジネスマナー知識の定着を図る。就職活動に向けて、自己と向き合い長所・短所が明確になる。
達成目標
ビジネスマナーが「わかる」レベルから「出来る」レベルに近づく。卒業後の進路に向けて、希望する進路先の情報を集め読み取ることが出来る。自己肯定感を高め、進路決定に向けて自ら行動出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題
	授業計画	前期の成長と変化を振り返り、後期の目標設定をする		授業計画	1 分間の自己 PR 発表とフィードバック
	事後学習	近い未来の姿を言語化する		事後学習	他者の自己 PR を評価する
2	事前学習	社会常識　同じ意味の言葉を整理	10	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『働く目的』について		授業計画	企業研究の目的と方法　情報を読み解くコツ
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	興味を持った企業情報をレポート
3	事前学習	社会常識　反対の意味の言葉を整理	11	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	グループディスカッション『企業研究の目的と必要性』		授業計画	面接の形式と評価のポイント　基本動作実習
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	笑顔と姿勢のトレーニング
4	事前学習	都道府県名と県庁所在地一覧作成	12	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	働くときの基礎知識　賃金や保障に関する法律を学ぶ		授業計画	就職面接　ロールプレイング　入室から退出まで
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	名のりの練習　30 回
5	事前学習	身近な人の仕事について話を聞く	13	事前学習	社会常識　総合問題①
	授業計画	自己分析の目的と職種研究　①身近な人たちの職業から学ぶ		授業計画	就職面接　ロールプレイング　自己 PR・長所・短所
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
6	事前学習	社会常識　カタカナ用語	14	事前学習	社会常識　総合問題②
	授業計画	仕事と自分を結びつける　やりたい仕事と出来る仕事		授業計画	就職面接　ロールプレイング　学生時代に頑張ったこと
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
7	事前学習	社会常識　ビジネス計算	15	事前学習	定期試験準備をする
	授業計画	学生時代に頑張ったことについて振り返り、自己 PR の材料を見つける		授業計画	定期試験
	事後学習	他者の良いところを見つけ言語化		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題			
	授業計画	他者評価分析　長所・強み・短所・弱みに落とし込む			
	事後学習	自己 PR を 250 字で書く			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 3 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーションⅠ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
実社会では、プレゼンテーションや会議等の場面において、人前で自分の意見を発表する機会があり、人前で発表をする際には、自分自身の意見を論理的に説明する必要がある。また、発表においては、非言語的な要素である、声の質や抑揚等も重要となる為、非言語要素についても留意しながら、プレゼンテーションを行う練習をする。
達成目標
メラビアンの法則等の非言語的な要素について留意しながら、Power Point 等の視覚教材を使用し、人前で、日本語及び英語の両言語でプレゼンテーションが行えるようになることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	パブリック・スピーキングについて／スピーチ課題発表		授業計画	スピーチ課題：Persuasive Speech
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	スピーチ課題：あなたの国（都市）について教えてください。		授業計画	スピーチ課題：Persuasive Speech
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	スピーチ課題：あなたの国（都市）について教えてください。		授業計画	スピーチ課題：Persuasive Speech
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	スピーチ課題：あなたの国（都市）について教えてください。		授業計画	スピーチ課題：Persuasive Speech
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	スピーチ課題：あなたの国（都市）について教えてください。		授業計画	スピーチ課題振り返り：Persuasive Speech
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	スピーチ課題振り返り：あなたの国（都市）について教えてください。		授業計画	これまでのスピーチ課題振り返り
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Persuasive Speech について／スピーチ課題		授業計画	これまでのスピーチ課題振り返り
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	スピーチ課題：Persuasive Speech			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：0%　＜（小テスト）＞：50%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅡ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
「より多くの人がベジタリアンになるべきだ」等の、身近ではあるが、社会性の高い時事問題について、グループ内で日本語で議論をし、メリット・デメリットを検討してもらった上で、賛成もしくは反対の結論を出し発表してもらう。グループの代表者には、プレゼンテーション形式で結論を発表してもらう。
達成目標
時事問題を議論する課程で、Critical Thinking（批判的思考）を養い、物事を多角的に捉える力を身につける。また就職活動における面接を見据え、パブリック・スピーキング力を強化する。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	より多くの人がベジタリアンになるべきだ		授業計画	小学生･中学生･高校生はチームスポーツで競うべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	レストラン･お店は週末はクローズするべきだ		授業計画	若年層の SNS の利用を制限するべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	豊かな国は､貧しい国をもっと支援するべきだ		授業計画	輸入食材より、地元の食材を買うべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	動物園を撤廃するべきだ		授業計画	日本は副業を認めるべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	各国は､キャッシュレス化を進めるべきだ		授業計画	各国は死刑を撤廃するべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	専門学生･大学生は卒業後も両親と一緒に住むべきだ		授業計画	オリンピックを中止するべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	各国は､ホームレスをもっと支援するべきだ		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	日本はカジノを導入するべきだ			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜(その他)＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習 I	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
ビジネス場面における英語の使用においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、聞き手の「英語力」や「社会的地位」に合わせて英語を発話する必要が有る。この授業では、中上級程度の英文法を学習し、自分自身のコンフォートゾーンを抜け出し、場面に合わせて文法を使い分けられるようになるよう学習する。
達成目標
多くの英語学習者は、英語力がある一定のレベルに達すると、自分が知っている英単語のみを繰り返し使ってしまう傾向に有る為、自分自身が伝えたいニュアンスに応じて、英文法を使い分けられるようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit1 Present and Past		授業計画	Unit9 Reported Speech
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit2 Present Perfect and Past		授業計画	Unit10 Questions and Auxiliary Verbs
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit3 Present Perfect and Past		授業計画	Unit11 -ing and the infinitive 1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit4 Future		授業計画	Unit12 -ing and the infinitive 2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit5 Modals1		授業計画	Unit13 -ing and the infinitive 3
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit6 Modals2		授業計画	Unit14 -ing and the infinitive 4
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit7 If and Wish		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回の授業の復習			
	授業計画	Unit8 Passive			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%

教科書　著者名　Raymond Murphy
　　タイトル　English Grammar in Use - Intermediate
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
ビジネス場面における英語の使用においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、聞き手の「英語力」や「社会的地位」に合わせて英語を発話する必要が有る。この授業では、時制や前置詞等のニュアンスを学習し、「場面」や「聞き手」に合わせて文法を使い分けられるようになるよう学習する。
達成目標
多くの英語学習者は、英語力がある一定のレベルに達すると、自分が知っている英単語のみを繰り返し使ってしまう傾向に有る為、自分自身が伝えたいニュアンスに応じて、英文法を使い分けられるようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit1 A rticles and Nouns1		授業計画	Unit9 Conjunctions and Prepositions2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit2 A rticles and Nouns2		授業計画	Unit10 Prepositions1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit3 Pronouns and Determiners 1		授業計画	Unit11 Prepositions2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit4 Pronouns and Determiners 2		授業計画	Unit12 Prepositions3
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit5 Relatives Clauses		授業計画	Unit13 Phrasal Verbs1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit6 Adjectives and Adverbs 1		授業計画	Unit13 Phrasal Verbs2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit7 Adjectives and Adverbs 2		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回の授業の復習			
	授業計画	Unit8 Conjunctions and Prepositions1			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%

教科書　著者名　Raymond Murphy
　　タイトル　English Grammar in Use - Intermediate
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティサービス論Ⅰ	単位	2単位
学科コース	Business Management course		
講師名	小池　勝也		
実務経験 教員紹介	航空会社でのマネージャー職・コンサルタント業・組織開発		

講義概要
企業がマネジメントすべき対象が「モノ」から「コト」へ拡大してきている。本講義では「ホスピタリティとは何か」という根本的な問いについて再確認し、ホスピタリティが企業経営や産業構造に与える影響について考える。また、高度なホスピタリティを生み出す企業について、事例をもとにその企業文化や経営戦略について考察する。
達成目標
産業のサービス化が加速する中で、今後の企業経営において重要な「ホスピタリティ」を理解する。そして、自らが企業の一員となって顧客と接する際に、経営側の視点に立ってホスピタリティを考え実践できるようになる。

授業計画

1	事前学習	「コト消費」の意味を調べる	9	事前学習	有名鉄道会社のHPを閲覧する
	授業計画	講義ガイダンス なぜ「ホスピタリティ産業論」を学ぶのか		授業計画	ホスピタリティ産業の事例研究④／鉄道業界
	事後学習	産業分類について理解する		事後学習	ホスピタリティを強みとする企業
2	事前学習	産業別労働人口の推移を調べる	10	事前学習	有名テーマパークのHPを閲覧する
	授業計画	ホスピタリティ産業の歴史と現状 なぜ産業はサービス化するのか		授業計画	ホスピタリティ産業の事例研究⑤／テーマパーク
	事後学習	サービス化の原因を理解する		事後学習	ホスピタリティを強みとする企業
3	事前学習	ホスピタリティを強みとする企業	11	事前学習	有名冠婚葬祭企業のHPを閲覧する
	授業計画	ホスピタリティ産業とは 経営にとってなぜホスピタリティが重要なのか		授業計画	ホスピタリティ産業の事例研究⑥／冠婚葬祭
	事後学習	差別化要因としてのホスピタリティ		事後学習	ホスピタリティを強みとする企業
4	事前学習	日本の労働人口の推移を調べる	12	事前学習	有名流通小売企業のHPを閲覧する
	授業計画	ホスピタリティ産業の未来①少子高齢化や訪日外国人増加への対応		授業計画	ホスピタリティ産業の事例研究⑦／流通・小売業界
	事後学習	効率化とホスピタリティの関係		事後学習	ホスピタリティを強みとする企業
5	事前学習	業務の無人化の事例を調べる	13	事前学習	有名医療介護企業のHPを閲覧する
	授業計画	ホスピタリティ産業の未来② ホスピタリティ産業とAI化		授業計画	ホスピタリティ産業の事例研究⑧／医療・介護業界
	事後学習	差別化要因としてのホスピタリティ		事後学習	ホスピタリティを強みとする企業
6	事前学習	有名旅行会社のHPを閲覧する	14	事前学習	業界分類を理解する
	授業計画	ホスピタリティ産業の事例研究①／旅行業界		授業計画	講義振り返り ホスピタリティ産業の現状と未来について
	事後学習	ホスピタリティを強みとする企業		事後学習	事例研究のポイントを整理
7	事前学習	有名ホテルのHPを閲覧する	15	事前学習	ホスピタリティの重要性を再確認
	授業計画	ホスピタリティ産業の事例研究②／宿泊業界		授業計画	定期試験
	事後学習	ホスピタリティを強みとする企業		事後学習	業界で望まれる人材像について
8	事前学習	有名航空会社のHPを閲覧する			
	授業計画	ホスピタリティ産業の事例研究③／航空業界			
	事後学習	ホスピタリティを強みとする企業			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講義において適宜参考図書を例示する
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	簿記Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記･簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か　意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	売掛金・買掛金について調べる
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし､勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B) の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2単位
学科コース	Business Management course		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになってます。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	子記録債権･電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（３）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権･債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表　簿記Ｉの具体的作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳　株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権･債務の記帳　これからの時代の債権・債務を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（２）　貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務的種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（１）決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	範囲の復習をしっかりやろう
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（２）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Microsoft Word の操作を中心に、コンピュータによる文書作成の基礎を学びます。 Word の基本操作、日本語による文章入力、ビジネス文書の作成ルールなどについて実習による習得します。 講義内容は MOS Word 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） Microsoft Word の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅） 希望者は MOS Word を受験・合格

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「ガイダンス・コンピュータの基礎」 コンピュータのしくみ、入力方法		授業計画	「リスト」 箇条書きの作成、段落番号の作成
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
2	事前学習	ローマ字の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語入力」 ローマ字による日本語入力方法		授業計画	「クリップボード・検索と置換」 コピー・移動、検索、置換
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	ローマ字の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語文章入力」 文節の漢字変換を伴う短文入力方法		授業計画	「目次、用紙設定」 目次の追加、用紙・余白等の設定
	事後学習	入力練習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定１」フォント種、サイズ等の設定、文字揃えの設定		授業計画	「表の作成１」 表の作成、デザイン変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定２」フォントの色、インデント、あいさつ文		授業計画	「表の作成２」 表のレイアウト設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「行と段落」 行間の設定、段落設定		授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	テストに向けての総復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	定期試験
	事後学習	テストの見直し		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「テーマ、スタイル」 テーマの変更、スタイルの設定			
	事後学習	操作の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名　FOM 出版
　　タイトル　Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Microsoft Excel の操作を中心に、コンピュータによる表計算・分析の基礎を学びます。 Excel の基本操作、データ分析の基礎、集計作業、グラフ作成などについて実習による習得します。 講義内容は MOS Excel 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度）※通年 Microsoft Excel の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅） 希望者は MOS Excel を受験・合格

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「Excel の基礎」Excel の画面説明、新規作成・保存方法		授業計画	「並べ替え・フィルタ」データの並べ替え、フィルタ（絞込み）操作
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
2	事前学習	前回の操作の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「セルの扱い」セルの基本操作、オートフィルによるコピー		授業計画	「入力規則」 データの入力規則の操作
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	前回の操作の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「四則演算」セル参照による演算、絶対参照・相対参照		授業計画	「グラフの作成」棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフの作成
	事後学習	入力練習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「表の作成・画面操作」 罫線の設定、塗りつぶし、行列の固定		授業計画	「グラフの編集」 グラフの詳細設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「オート SUM」 基本的な関数（SUM・AVERAGE など）		授業計画	「印刷」 印刷設定、表示モードの変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「条件付き関数」 SUMIF・AVERAGEIF、COUNTIF		授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	前回の操作の復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「文字列操作」 LEFT・RAIGHT・MID		授業計画	定期試験
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	テストに向けての総復習			
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説			
	事後学習	テストの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名　FOM 出版
　　タイトル　Microsoft Excel 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅰ	単位	2単位
学科コース	Business Management course		
講師名	町　隆美		
実務経験教員紹介	印刷会社での法人営業		

講義概要
本講義では、Japan as No.1と謳われた日本的経営について考察していく。日本的経営方法は現在の日本企業にも踏襲されている部分も多い。本校卒業後、日本企業に就職する学生にとっては、理解しておかなければならないシステム、考え方を解説していく。
達成目標
日本の企業文化を理解するとともに、企業の海外進出のフェーズが理解できるようになること。そして、自国に進出している日系企業について分析できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	オリエンテーション 日本的経営とは何か。		授業計画	日本企業の海外進出 ２）海外進出の段階について
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
2	事前学習	前回ノートの確認	10	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 １）人的管理について		授業計画	日本企業の海外進出 ３）海外進出の方法
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
3	事前学習	前回ノートの確認	11	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ２）組織の制度と構造		授業計画	日本企業の海外進出 ４）企業の海外戦略
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
4	事前学習	前回ノートの確認	12	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ３）従業員の意識		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ①SONY
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
5	事前学習	前回ノートの確認	13	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ４）経営戦略		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ②NISSAN
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
6	事前学習	前回ノートの確認	14	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ５）日本の産業構造について		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ③ヤクルト
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
7	事前学習	前回ノートの確認	15	事前学習	授業の復習
	授業計画	中間テスト		授業計画	期末試験
	事後学習	試験の振り返り		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回ノートの確認			
	授業計画	日本企業の海外進出について １）戦後の日本経済史（為替を中心）			
	事後学習	復習課題を行う			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　山田　英二
　　タイトル　新しいグローバルビジネスの教科書
　　出版社　　PHP新書
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	畠　裕章		
実務経験 教員紹介	総合電機メーカーの家電部門の国内工場設計 23 年、国内事業企画 3 年、同部門の海外生産拠点で会社経営を 15 年実務経験。		

講義概要
前半は経営学で学んだ経営の考え方、社会環境などの知識の理解を深めるために、実際の会社の経営事例や最近のビジネスモデル事例を学ぶ。後半は、企業経営に役立つ経理・財務諸表（損益計算書 PL、貸借対照表 BS）を学び、実際の企業の財務諸表を読み解く練習を行う。
達成目標
ケーススタディーを通じて、経営学Ⅰ&Ⅱで学んだ経営戦略、組織作りなどの知識を実際の経営に活用できるよう応用力を高めると共に経営に必須の財務・会計に慣れてもらうことを目的とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	8 時限目の復習
	授業計画	社会課題研究：持続可能な開発目標 SDGs		授業計画	財務・会計ラーメン屋の開店を考える（初期投資と収益）
	事後学習	１時限目の課題		事後学習	9 時限目の課題
2	事前学習	１時限目の復習	10	事前学習	9 時限目の復習
	授業計画	企業研究富士重工（1）富士重工の集中（ニッチ）戦略		授業計画	企業経営に必要な 3 つの財務諸表、アップルの財務諸表を読む
	事後学習	2 時限目の課題		事後学習	10 時限目の課題
3	事前学習	2 時限目の復習	11	事前学習	10 時限目の復習
	授業計画	企業研究富士重工（2）北米市場での成功		授業計画	財務・会計　損益計算書 PL の見方
	事後学習	2 時限目の課題		事後学習	11 時限目の課題
4	事前学習	3 時限目の復習	12	事前学習	11 時限目の復習
	授業計画	企業研究ヤマト運輸（1）アマゾンとの利益取り合い構造		授業計画	財務･会計　トヨタの損益計算書 PL を読む
	事後学習	4 時限目の課題		事後学習	12 時限目の課題
5	事前学習	4 時限目の復習	13	事前学習	12 時限目の復習
	授業計画	企業研究ヤマト運輸（2）ヤマト運輸の経営課題の分析		授業計画	財務・会計　貸借対照表 BS の見方
	事後学習	5 時限目の課題		事後学習	13 時限目の課題
6	事前学習	5 時限目の復習	14	事前学習	13 時限目の復習
	授業計画	ロジカルシンキング（プロジェクトスケジューリング）		授業計画	財務･会計　トヨタの貸借対照表 BS の見方
	事後学習	6 時限目の課題		事後学習	14 時限目の課題
7	事前学習	6 時限目の復習	15	事前学習	14 時限目の復習
	授業計画	個人から資金を集める「クラウドファウンデイング」		授業計画	経営に必要な会計力と戦略思考力，アマゾンとアップルの PL、BS 比較
	事後学習	7 時限目の課題		事後学習	なし
8	事前学習	7 時限目の復習			
	授業計画	モノの販売からサービスの販売へ「アズ・ア・サービス」			
	事後学習	8 時限目の課題			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　太田　康弘
　　タイトル　ビジネススクールで教える経営分析
　　出版社　　日本経済新聞出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネス検定対策Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
英語と日本語を並立し、適切な言語知識と用法を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の２級の資格取得,TOEIC 目標スコア達成を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語での自己紹介･当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の基礎 日本の都市、地方 2
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の地勢１		授業計画	英語表現の基礎 日本の交通
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の地勢２		授業計画	英語表現の基礎 日本のインフラストラクチャー
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（古代から中世）1		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活文化１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（古代から中世）2		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活文化２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	復習
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（近代）３		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本通史（近代）４		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の基礎 日本の都市、地方１			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　江口裕之
　　タイトル　英語で語る日本事情 2020
　　出版社　　The Japan Times
参考書　著者名　　山口百々男
　　タイトル　英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産
　　出版社　　三修社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネス検定対策Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
英語と日本語の両方を駆使し、適切な言語知識を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の２級の資格取得、TOEIC800 点取得を目指す。 日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語での自己紹介･当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活様式（衣類・住居）2
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の地理と気候１		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活様式（食べ物・飲み物）1
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の地理と気候２		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活様式（食べ物・飲み物）2
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の歴史（古代から中世）1		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活様式（年中行事）1
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の歴史（古代から中世）2		授業計画	英語表現の基礎 日本の生活様式（年中行事）2
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本の歴史（近代）1		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本の歴史（近代）2		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の基礎 日本の生活様式（衣類・住居）1			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　江口裕之
　　タイトル　英語で語る日本事情 2020
　　出版社　　The Japan Times
参考書　著者名　　山口百々男
　　タイトル　英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産
　　出版社　　三修社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネス検定対策Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期の学習内容を踏まえ、英語と日本語の両方の適切な言語知識を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の 3 級または２級の資格取得,TOEIC800 点取得を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産４
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の慣習・儀式１		授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産５
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の慣習・儀式２		授業計画	英語表現の基礎 日本の観光地
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の宗教１		授業計画	英語表現の基礎 日本の観光の課題
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の基礎 日本の宗教２		授業計画	英語表現の基礎 インバウンドデザイン
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産１		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産２		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の基礎 日本の世界遺産３			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　江口裕之
　　タイトル　英語で語る日本事情 2020
　　出版社　　The Japan Times
参考書　著者名　　山口百々男
　　タイトル　英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産
　　出版社　　三修社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネス検定対策Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
ビジネス場面や実社会における英語の発話においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、場面に応じた「語彙」を選択し、英語を発話する必要がある。この授業では、より高度且つ専門的な英単語を学習し、「場面」や聞き手の「社会的地位」に合わせて英語を発話するための、語彙力を養う。
達成目標
英語のネイティブスピーカーが使い分けている、「語彙」の微妙なニュアンスの差について理解し、日常的な会話のみならず、E メール作成等の軽度なビジネス場面においても、適した「語彙」を選択できる力を養う。

授業計画

1	事前学習	前回の授業の復習	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Economy and finance		授業計画	Technology for the future
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Personal finance		授業計画	Energy
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	The media: in print		授業計画	Permission
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	The media: internet and email		授業計画	Complaining and protesting
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Advertising		授業計画	Apology
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	The news		授業計画	Complimenting and praising
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Industries		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回の授業の復習			
	授業計画	Technology and its impact			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　Michael McCarthy, Felicity O'dell
　　タイトル　English Vocabulary in Use - Advanced
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習 I	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	SAM		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
This course is designed to structure around the real business situations where effective e-mail writing is necessary for successful communication.
達成目標
Students will better be able to write business e-mails in a variety of situations.

授業計画

1	事前学習	Syllabus check	9	事前学習	Review
	授業計画	Formal or informal		授業計画	Advice and suggestions
	事後学習	E-mail writing		事後学習	E-mail writing
2	事前学習	Review	10	事前学習	Review
	授業計画	Key phrases, opening and closing		授業計画	Job application
	事後学習	E-mail writing		事後学習	E-mail writing
3	事前学習	Review	11	事前学習	Review
	授業計画	Attachments		授業計画	Being direct and brief
	事後学習	E-mail writing		事後学習	E-mail writing
4	事前学習	Review	12	事前学習	Review
	授業計画	Arranging a meeting		授業計画	Being indirect and polite
	事後学習	E-mail writing		事後学習	E-mail writing
5	事前学習	Review	13	事前学習	Review
	授業計画	Invitations and directions		授業計画	Comparing cultures
	事後学習	E-mail writing		事後学習	E-mail writing
6	事前学習	Review	14	事前学習	Review
	授業計画	Inquiries and orders		授業計画	Review and prepare for exam
	事後学習	E-mail writing		事後学習	E-mail writing
7	事前学習	Review	15	事前学習	Review
	授業計画	Complaints		授業計画	Final exam
	事後学習	E-mail writing		事後学習	Review of the exam
8	事前学習	Review			
	授業計画	Apologies			
	事後学習	E-mail writing			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜課題＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	SAM		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
The course is designed to provide students with the English language needs of professionals working in the tourism industry.
達成目標
Students will be able to build confidence in professional skills relevant to the tourism industry.

授業計画

1	事前学習	Syllabus check	9	事前学習	Reading
	授業計画	Introduction		授業計画	Culture, presenting proposal
	事後学習	Review		事後学習	Vocabulary
2	事前学習	Review	10	事前学習	Vocabulary
	授業計画	Designing a tour, marketing		授業計画	Hotel statistics, transforming the team
	事後学習	Vocabulary		事後学習	Vocabulary
3	事前学習	Vocabulary	11	事前学習	Vocabulary
	授業計画	Transport and travel, improving service		授業計画	Personal qualities
	事後学習	Vocabulary		事後学習	Vocabulary
4	事前学習	Vocabulary	12	事前学習	Vocabulary
	授業計画	Facilities and services		授業計画	Socializing and small talk
	事後学習	Vocabulary		事後学習	Vocabulary
5	事前学習	Vocabulary	13	事前学習	Group work
	授業計画	Features and attractions, offering advice		授業計画	Group presentation 1
	事後学習	Vocabulary		事後学習	Group work
6	事前学習	Vocabulary	14	事前学習	Group work
	授業計画	Geographical features, planning a coach tour		授業計画	Group presentation 2
	事後学習	Vocabulary		事後学習	Review
7	事前学習	Vocabulary	15	事前学習	Review
	授業計画	Sectors in niche tourism, client security		授業計画	Final exam
	事後学習	Review		事後学習	Review of the exam
8	事前学習	Review			
	授業計画	Mid-term exam			
	事後学習	Review			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜課題＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅰ	単位	単位
学科コース	Business Management course		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社での法人営業		

講義概要
本講義では、Japan as No.1 と謳われた日本的経営について考察していく。日本的経営方法は現在の日本企業にも踏襲されている部分も多い。本校卒業後、日本企業に就職する学生にとっては、理解しておかなければならないシステム、考え方を解説していく。
達成目標
日本の企業文化を理解するとともに、企業の海外進出のフェーズが理解できるようになること。そして、自国に進出している日系企業について分析できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	オリエンテーション 日本的経営とは何か。		授業計画	日本企業の海外進出 ２）海外進出の段階について
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
2	事前学習	前回ノートの確認	10	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 １）人的管理について		授業計画	日本企業の海外進出 ３）海外進出の方法
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
3	事前学習	前回ノートの確認	11	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ２）組織の制度と構造		授業計画	日本企業の海外進出 ４）企業の海外戦略
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
4	事前学習	前回ノートの確認	12	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ３）従業員の意識		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ①SONY
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
5	事前学習	前回ノートの確認	13	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ４）経営戦略		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ②NISSAN
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
6	事前学習	前回ノートの確認	14	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ５）日本の産業構造について		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ③ヤクルト
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
7	事前学習	前回ノートの確認	15	事前学習	授業の復習
	授業計画	中間テスト		授業計画	期末試験
	事後学習	試験の振り返り		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回ノートの確認			
	授業計画	日本企業の海外進出について １）戦後の日本経済史（為替を中心）			
	事後学習	復習課題を行う			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　山田　英二
　　タイトル　新しいグローバルビジネスの教科書
　　出版社　　PHP 新書
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ	単位	単位
学科コース	Business Management course		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
この授業では、日本のみならず、世界各国の時事問題を使用し、オーバーラッピングや、シャドーイング、サイト・トランスレーションといった通訳技法について実践し、日本語及び英語の両言語の底上げを図る。社会性の高い時事に英語で触れ、理解を深めると共に、4 技能（読む・聞く・話す・書く）の全ての力を伸ばす。
達成目標
上記の通訳技法である、オーバーラッピング、シャドーイング、サイト・トランスレーションの実践を行い、英語の総合力を底上げする。日常会話だけでなく、国際的な時事問題についても、通訳できる力を養う。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN①		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	シラバスの確認	10	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN②		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	シラバスの確認	11	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN③		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	シラバスの確認	12	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN④		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	シラバスの確認	13	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑤		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	シラバスの確認	14	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑥		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	シラバスの確認	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	シラバスの確認			
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　CNN ENGLISH EXPRESS
　　出版社　　朝日出版社

年度	2021 年度	学期	前期通常
科目名	マーケティング戦略	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Everett Ofari		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Clarifies the role of marketing in business and emphasizes the need for planning and execution
達成目標
Explaining the Marketing Concept and the importance of positioning and branding

授業計画

1	事前学習	Check the syllabus	9	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	What is marketing?		授業計画	The art of persuasion
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Read the applicable pages	10	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	The Marketing Concept		授業計画	Digital marketing
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Read the applicable pages	11	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Core Benefit / The Buyer's Perception		授業計画	Sponsorship
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Read the applicable pages	12	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Role of marketing in business		授業計画	Direct marketing
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Read the applicable pages	13	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Segmentation, Targeting, and Positioning		授業計画	How to execute a marketing plan
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Read the applicable pages	14	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Branding		授業計画	Creativity
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Read the applicable pages	15	事前学習	Review
	授業計画	The Marketing Mix		授業計画	Final Test
	事後学習	Review		事後学習	Review
8	事前学習	Read the applicable pages			
	授業計画	Marketing Communications			
	事後学習	Review			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%

教科書　著者名　Andrew Whalley
　　タイトル　Strategic Marketing
　　出版社　Bookboon (www.bookboon.com)
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期通常
科目名	経営戦略	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Everett Ofari		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Clarifies the importance of planning and the multiple ways in which companies can plan for success
達成目標
Understanding the wide range of strategies that need to be integrated to achieve success

授業計画

1	事前学習	Check the syllabus	9	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Why strategy is important		授業計画	Culture
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Read the applicable pages	10	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	How to craft an overarching strategy		授業計画	SWOT Analysis
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Read the applicable pages	11	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Schools and levels of strategy		授業計画	Generic Strategy
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Read the applicable pages	12	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Types of strategy		授業計画	Managing change
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Read the applicable pages	13	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Stakeholder Theory		授業計画	Growth and Decline
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Read the applicable pages	14	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	External Analysis		授業計画	Globalization and International Strategy
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Read the applicable pages	15	事前学習	Review
	授業計画	Internal Analysis		授業計画	Final Test
	事後学習	Review		事後学習	Review
8	事前学習	Read the applicable pages			
	授業計画	Human Resources Management			
	事後学習	Review			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%

教科書　著者名　Neil Ritson
　　タイトル　Strategic Management
　　出版社　Bookboon (www.bookboon.com)
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期通常
科目名	ビジネスマナーⅢ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	井上由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
1 年次に学んだビジネスマナーの理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。就職活動において企業と接する際に必要となるビジネスメールのやり取りや、携帯電話のマナーと応対、名刺の取り扱いなどを習得する。企業訪問の際の振る舞いや受付方法を学ぶ。社会人の常識として知っておきたい基礎用語を学習する。
達成目標
ビジネスメールのマナーを守って企業の人事担当とやり取りが出来る。ビジネス文書送付の際の添え状を作成出来る。郵便物の宛名を正しく書ける。報告書やレポートの書き方、社会人常識基礎用語がわかる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	会社訪問体験を書き出す
	授業計画	1 年間の成長を振り返り 2 年次の学習目標を設定する		授業計画	会社訪問の準備　受付での振る舞いロールプレイング
	事後学習	1 年次の復習ポイントを洗いだす		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
2	事前学習	3 か月後の姿を言語化する	10	事前学習	名刺デザインを考える
	授業計画	オンラインコミュニケーションの身だしなみ　画面越しの会話テクニック		授業計画	名刺交換　紹介の仕方５つのケースロールプレイング
	事後学習	オンラインの際の背景を整える		事後学習	名刺を 5 枚作成する
3	事前学習	自己 PR の準備をする	11	事前学習	日本企業の役職を復習しておく
	授業計画	内定に繋がる自己アピール　仕事に繋がる自己紹介の準備方法		授業計画	様々な場面の席次　応接室･会議室･エレベーター・車など
	事後学習	自己 PR を修正し内容を整える		事後学習	フォームを使って小テスト
4	事前学習	身近なビジネス文書を集める	12	事前学習	雑談の話題を見つける
	授業計画	ビジネス文書の基本形　履歴書送付状（下書き）作成　宛名書き実習		授業計画	心の壁を取り除く雑談力の伸ばし方ショートスピーチ
	事後学習	PC で添え状を作成する		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
5	事前学習	メールの利用体験を書き出す	13	事前学習	５W3H について予習しておく
	授業計画	ビジネスメールのマナー　面接のお礼メールを下書き		授業計画	日報・報告書の役割と書き方　守秘義務と情報の取り扱い
	事後学習	お礼メール下書きを PC 入力する		事後学習	授業内容を報告書形式でまとめる
6	事前学習	1 年次の電話応対を復習する	14	事前学習	配布資料を読んでおく
	授業計画	携帯電話のマナーと活用　挨拶･基本動作実習		授業計画	各種資料を引用・要約する際のルール著作権
	事後学習	電話応対定型句集を作成する		事後学習	引用を使ってレポートを作成する
7	事前学習	頭語・結語について調べる	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	ビジネスコミュニケーションツールの使い分け		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	具体的な訪問先を見つけておく			
	授業計画	訪問アポイントメントの取り方　メールの場合、電話の場合の実習			
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われるビジネスマナー完全版
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	後期通常
科目名	ビジネスマナーⅣ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	井上由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
2 年間の総仕上げとして、社会人として知っておきたい大人のマナーについて学習する。ビジネスマナーは勿論のこと、冠婚葬祭の基礎知識、食事のマナー、ビジネスチャンスに繋がる季節の行事や日本のしきたりなど、人として高評価を得られるような知識に触れ、日本社会に対しての理解を深めるとともに人間力を磨く。
達成目標
冠婚葬祭の目的や意義を理解し、ビジネスマンとして対応出来るようになる。会食の席で堂々とふるまえるような食事のマナーを学び、品格ある行動が出来るようになる。社会人常識マナー検定 2 級レベルの知識を身につける。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題
	授業計画	ビジネスマナーⅠ・Ⅱ・Ⅲの振り返りと今後の課題を確認		授業計画	和食のマナー　日本料理の基礎知識 箸使いの作法
	事後学習	ビジネスマナーⅣの目標を設定する		事後学習	箸使いの練習をする
2	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句①	10	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭の目的と意義　冠婚葬祭とビジネスの関係		授業計画	西洋料理のマナー　食事の仕方とカトラリーの使い方
	事後学習	自国の通過儀礼について調べる		事後学習	ナイフ・フォークで食事をする
3	事前学習	社会常識　ことわざ・慣用句②	11	事前学習	社会常識　ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭　日本の主な通過儀礼「冠」のしきたり		授業計画	中華料理のマナー　中華料理の基礎知識と回転卓の作法
	事後学習	自国の結婚について調べる		事後学習	食事のマナーについてレポート作成
4	事前学習	社会常識　欧文略語	12	事前学習	社会常識　総合問題①
	授業計画	冠婚葬祭　「婚」のしきたり　招待客としてのマナー		授業計画	縦書きのビジネス文書　案内状・招待状・お礼状
	事後学習	自国の葬儀について調べる		事後学習	お礼状を出す相手を決める
5	事前学習	社会常識　主要国名と首都名	13	事前学習	社会常識　総合問題②
	授業計画	冠婚葬祭　「葬」のしきたり　ビジネスにおける訃報対応		授業計画	縦書き手書きのお礼状　下書き文章を作成する
	事後学習	自国の季節行事について調べる		事後学習	筆ペンを準備する
6	事前学習	税金や社会保障制度に関する用語	14	事前学習	社会常識　総合問題③
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり①　季節の行事		授業計画	筆ペンの使い方実習　お礼状を清書し仕上げる
	事後学習	自国と日本の行事を比較する		事後学習	フォームを使って授業内容報告
7	事前学習	社会常識　時事問題	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	冠婚葬祭　「祭」のしきたり②　暦と二十四節気		授業計画	定期試験
	事後学習	冠婚葬祭の学習レポートを作成する		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	社会常識　コミュニケーション問題			
	授業計画	食事のマナー　食文化と歴史　食事とビジネスの関係			
	事後学習	フォームを使って授業内容報告			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 2 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2021 年度	学期	前期通常
科目名	プレゼンテーションⅢ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
「より多くの人がベジタリアンになるべきだ」等の、身近ではあるが、社会性の高い時事問題について、グループ内で日本語で議論をし、メリット・デメリットを検討してもらった上で、賛成もしくは反対の結論を出し発表してもらう。グループの代表者には、プレゼンテーション形式で結論を発表してもらう。
達成目標
時事問題を議論する課程で、Critical Thinking（批判的思考）を養い、物事を多角的に捉える力を身につける。また就職活動における面接を見据え、パブリック・スピーキング力を強化する。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	より多くの人がベジタリアンになるべきだ		授業計画	小学生・中学生・高校生はチームスポーツで競うべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	レストラン・お店は週末はクローズするべきだ		授業計画	若年層の SNS の利用を制限するべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	豊かな国は、貧しい国をもっと支援するべきだ		授業計画	輸入食材より、地元の食材を買うべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	動物園を撤廃するべきだ		授業計画	日本は副業を認めるべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	各国は、キャッシュレス化を進めるべきだ		授業計画	各国は死刑を撤廃するべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	専門学生・大学生は卒業後も両親と一緒に住むべきだ		授業計画	オリンピックを中止するべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	各国は、ホームレスをもっと支援するべきだ		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	日本はカジノを導入するべきだ			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期通常
科目名	プレゼンテーションⅣ	単位	2単位
学科コース	Business Management course		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
貧困や飢餓、差別等、国際社会が面している社会性の高い時事問題について、グループ内で日本語で議論をし、メリット・デメリットを検討してもらった上で、賛成もしくは反対の結論を出し発表してもらう。グループの代表者には、プレゼンテーション形式で結論を発表してもらう。
達成目標
時事問題を議論する課程で、Critical Thinking（批判的思考）を養い、物事を多角的に捉える力を身につける。また会議やプレゼン等、実社会に必要なパブリック・スピーキング力を強化する。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題①		授業計画	時事問題⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	シラバスの確認	10	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題②		授業計画	時事問題⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	シラバスの確認	11	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題③		授業計画	時事問題⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	シラバスの確認	12	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題④		授業計画	時事問題⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	シラバスの確認	13	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題⑤		授業計画	時事問題⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	シラバスの確認	14	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題⑥		授業計画	時事問題⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	シラバスの確認	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	時事問題⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	シラバスの確認			
	授業計画	時事問題⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期通常
科目名	外国語Ⅲ	単位	2単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
ビジネス場面における英語の使用においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、聞き手の「英語力」や「社会的地位」に合わせて英語を発話する必要が有る。この授業では、より高度な英文法を学習し、自分自身のコンフォートゾーンを抜け出し、場面に合わせて文法を使い分けられるようになるよう学習する。
達成目標
多くの英語学習者は、英語力がある一定のレベルに達すると、自分が知っている英単語のみを繰り返し使ってしまう傾向に有る為、自分自身が伝えたいニュアンスに応じて、英文法を使い分けられるようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Present continuous and present simple 1		授業計画	Future continuous and future perfect (continuous)
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Past simple and present perfect		授業計画	Be to + infinitive; be about to + infinitive
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Past continuous and past simple		授業計画	will, would and used to
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Past perfect and past simple		授業計画	Must and have (got) to
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Present perfect continuous and present perfect		授業計画	Should, ought to and had better
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Past perfect continuous, past perfect and past continuous		授業計画	Linking verbs: be, appear, seem; become, get, etc.
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	will and be going to		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回の授業の復習			
	授業計画	Present simple and present continuous for the future			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜(課題・小テスト)＞：0%

教科書　著者名　Martin Hewings
　　タイトル　English Grammar in Use - Advanced
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期通常
科目名	外国語Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
ビジネス場面における英語の使用においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、聞き手の「英語力」や「社会的地位」に合わせて英語を発話する必要が有る。この授業では、時制や前置詞等の微妙なニュアンスの違いについて学習し、「場面」や「聞き手」に合わせて文法を使い分けられるようになるよう学習する。
達成目標
多くの英語学習者は、英語力がある一定のレベルに達すると、自分が知っている英単語のみを繰り返し使ってしまう傾向に有る為、自分自身が伝えたいニュアンスに応じて、英文法を使い分けられるようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Gradable and non-gradable adjectives 2		授業計画	Adverbial clauses of time
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Participle adjectives and compound adjectives		授業計画	Giving reasons: as, because, etc.
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Adjective + to-infinitive, -ing, that-clause, wh-clause		授業計画	Purposes and results: in order to, so as to, etc.
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Adjectives and adverbs		授業計画	Contrasts
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Adjectives and adverbs: comparative and superlative forms		授業計画	If 1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Comparative phrases and clauses		授業計画	If 2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Degree adverbs aad focus adverbs		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回の授業の復習			
	授業計画	Comment adverbs and viewpoint adverbs			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜(課題・小テスト)＞：0%

教科書　著者名　Martin Hewings
　　タイトル　English Grammar in Use - Advanced
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期通常
科目名	外国語演習Ⅲ	単位	2単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
ビジネス場面における英語の使用においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、聞き手の「英語力」や「社会的地位」に合わせて英語を発話する必要が有る。この授業では、より高度な英文法を学習し、自分自身のコンフォートゾーンを抜け出し、場面に合わせて文法を使い分けられるようになるよう学習する。
達成目標
多くの英語学習者は、英語力がある一定のレベルに達すると、自分が知っている英単語のみを繰り返し使ってしまう傾向に有る為、自分自身が伝えたいニュアンスに応じて、英文法を使い分けられるようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Using passives		授業計画	Agreement between subject and verb 2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Verb + two objects		授業計画	Agreement between subject and verb 3
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Verb + -ing forms and infinitives 1		授業計画	A/ an, the and zero article 1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Verb + -ing forms and infinitives 2		授業計画	A/ an, the and zero article 2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Reporting people’s words and thoughts		授業計画	A/ an, the and zero article 3
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Tense choice in reporting		授業計画	Some and any
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Should in that-clauses; the present subjunctive		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回の授業の復習			
	授業計画	Agreement between subject and verb 1			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜(課題・小テスト)＞：0%

教科書　著者名　Martin Hewings
　　タイトル　English Grammar in Use - Advanced
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期通常
科目名	外国語演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
ビジネス場面における英語の使用においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、聞き手の「英語力」や「社会的地位」に合わせて英語を発話する必要が有る。この授業では、時制や前置詞等のニュアンスを学習し、「場面」や「聞き手」に合わせて文法を使い分けられるようになるよう学習する。
達成目標
多くの英語学習者は、英語力がある一定のレベルに達すると、自分が知っている英単語のみを繰り返し使ってしまう傾向に有る為、自分自身が伝えたいニュアンスに応じて、英文法を使い分けられるようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit1 Present and Past		授業計画	Unit9 Reported Speech
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit2 Present Perfect and Past		授業計画	Unit10 Questions and Auxiliary Verbs
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit3 Present Perfect and Past		授業計画	Unit11 -ing and the infinitive 1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit4 Future		授業計画	Unit12 -ing and the infinitive 2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit5 Modals1		授業計画	Unit13 -ing and the infinitive 3
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Unit6 Modals2		授業計画	Unit14 -ing and the infinitive 4
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit7 If and Wish		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回の授業の復習			
	授業計画	Unit8 Passive			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　Raymond Murphy
　　タイトル　English Grammar in Use - Intermediate
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期集中
科目名	卒業演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
この授業では、CNN や BBC 等の社会性の高い時事問題を使用し、オーバーラッピングや、シャドーイング、サイト・トランスレーションといった通訳技法について紹介し、実際にトレーニングを行う。社会性の高い時事に英語で触れ、理解を深めると共に、4 技能（読む・聞く・話す・書く）の全ての力を伸ばす。
達成目標
上記の通訳技法である、オーバーラッピング、シャドーイング、サイト・トランスレーションのトレーニングを行い、英語の総合力を底上げする。日常会話や簡易な時事について、急な通訳依頼にも対応できる素地を養う。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN①		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	シラバスの確認	10	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN②		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	シラバスの確認	11	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN③		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	シラバスの確認	12	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN④		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	シラバスの確認	13	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑤		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	シラバスの確認	14	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑥		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	シラバスの確認	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	シラバスの確認			
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　CNN ENGLISH EXPRESS
　　出版社　　朝日出版社

年度	2021年度	学期	前期集中
科目名	卒業演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	Business Management course		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
貧困や飢餓、差別等、国際社会が面している社会性の高い時事問題について、グループ内で日本語で議論をし、メリット・デメリットを検討してもらった上で、賛成もしくは反対の結論を出し発表してもらう。グループの代表者には、プレゼンテーション形式で結論を発表してもらう。
達成目標
時事問題を議論する課程で、Critical Thinking（批判的思考）を養い、物事を多角的に捉える力を身につける。また就職活動における面接を見据え、パブリック・スピーキング力を強化する。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題①		授業計画	時事問題⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	シラバスの確認	10	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題②		授業計画	時事問題⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	シラバスの確認	11	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題③		授業計画	時事問題⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	シラバスの確認	12	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題④		授業計画	時事問題⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	シラバスの確認	13	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題⑤		授業計画	時事問題⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	シラバスの確認	14	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題⑥		授業計画	時事問題⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	シラバスの確認	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	時事問題⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	シラバスの確認			
	授業計画	時事問題⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期集中
科目名	卒業演習Ⅲ	単位	2単位
学科コース	Business Management course		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
日本のみならず、国際社会が面している社会性の高い時事問題について、グループ内で日本語で議論をし、メリット・デメリットを検討してもらった上で、賛成もしくは反対の結論を出し発表してもらう。グループの代表者には、プレゼンテーション形式で結論を発表してもらう。
達成目標
時事問題を議論する課程で、Critical Thinking（批判的思考）を養い、物事を多角的に捉える力を身につける。また会議やプレゼン等、就職後の場面に必要なパブリック・スピーキング力を強化する。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題①		授業計画	時事問題⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	シラバスの確認	10	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題②		授業計画	時事問題⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	シラバスの確認	11	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題③		授業計画	時事問題⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	シラバスの確認	12	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題④		授業計画	時事問題⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	シラバスの確認	13	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題⑤		授業計画	時事問題⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	シラバスの確認	14	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題⑥		授業計画	時事問題⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	シラバスの確認	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	時事問題⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	シラバスの確認			
	授業計画	時事問題⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜(課題・小テスト)＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期通常
科目名	情報処理Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Microsoft Word と PowerPoint の操作を中心に、コンピュータによる文書作成やプレゼン資料の作成について学びます。 日本語による文章入力、画像編集、書類デザインなどについて実習による習得します。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） Microsoft Word の基本操作 Microsoft PowerPoint の基本操作

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「1 年時の復習小テスト」 小テストと解説		授業計画	「画像（写真・イラスト）」 画像の挿入・編集
	事後学習	テストの見直し		事後学習	操作の復習
2	事前学習	前回の操作の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「テーマ、スタイル」 テーマの変更、スタイルの設定		授業計画	「図形」図形の追加・編集、、テキストボックスの追加
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	前回の操作の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「リスト」 箇条書きの作成、段落番号の作成		授業計画	「PowerPoint の基本」 画面構成、スライド追加、テーマ
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「クリップボード・検索と置換」 コピー・移動、検索、置換		授業計画	「スライドの作成・編集」 フォント・段落・箇条書き設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「目次、用紙設定」 目次の追加、用紙・余白等の設定		授業計画	「アニメーション・画面切り替え」
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「表の作成１」 表の作成、デザイン変更		授業計画	「スライドショーの実行と印刷」 スライドショーの設定、印刷設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
7	事前学習	前回の操作の復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「表の作成２」 表のレイアウト設定		授業計画	定期試験
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「ヘッダーとフッター」ヘッダー、フッターの設定、ページ番号			
	事後学習	操作の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期集中
科目名	情報処理Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Microsoft Excel の操作を中心に、コンピュータによる表計算・分析の基礎を学びます。 Excel の基本操作、データ分析の基礎、集計作業、グラフ作成などについて実習による習得します。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） Microsoft Excel の基本操作

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「Excel の基礎」 Excel の画面説明、新規作成・保存方法		授業計画	「並べ替え･フィルタ」 データの並べ替え、フィルタ（絞込み）操作
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
2	事前学習	前回の操作の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「セルの扱い」セルの基本操作、オートフィルによるコピー		授業計画	「入力規則」 データの入力規則の操作
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	前回の操作の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「四則演算」セル参照による演算、絶対参照・相対参照		授業計画	「グラフの作成」棒グラフ･円グラフ･折れ線グラフの作成
	事後学習	入力練習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「表の作成・画面操作」 罫線の設定、塗りつぶし、行列の固定		授業計画	「グラフの編集」 グラフの詳細設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「オート SUM」 基本的な関数（SUM・AVERAGE など）		授業計画	「印刷」 印刷設定、表示モードの変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「条件付き関数」 SUMIF・AVERAGEIF、COUNTIF		授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	前回の操作の復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「文字列操作」 LEFT・RAIGHT・MID		授業計画	定期試験
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	テストに向けての総復習			
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説			
	事後学習	テストの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期通常
科目名	経営戦略分析	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Eugene Tango		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Corporate finance and its practical applications (based on case studies and other materials)
達成目標
Understanding corporate finance concepts and their applications in the real world

授業計画

1	事前学習	Check the syllabus	9	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Introduction and basics of finance Why finance is important		授業計画	Case study 5 (startups)
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Read the applicable pages	10	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Corporate finance concepts 1		授業計画	Corporate finance in the real world 1 Capital markets
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Read the applicable pages	11	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Corporate finance concepts ２		授業計画	Corporate finance in the real world 2 Mergers and acquisitions
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Read the applicable pages	12	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Corporate finance concepts 3		授業計画	Corporate finance in the real world 3 Restructuring
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Read the applicable pages	13	事前学習	Review the applicable pages
	授業計画	Case study 1 (technology)		授業計画	Review from Day 1 to Day 12
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Read the applicable pages	14	事前学習	Review the applicable pages
	授業計画	Case study 2 (retail/consumer)		授業計画	Review from Day 1 to Day 12
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Read the applicable pages	15	事前学習	Review
	授業計画	Case study 3 (materials)		授業計画	Final Test
	事後学習	Review		事後学習	Review
8	事前学習	Read the applicable pages			
	授業計画	Case study 4 (infrastructure)			
	事後学習	Review			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%
教科書　著者名　　Bookboon
　　タイトル　Corporate Finance
　　出版社　　Bookboon (www.bookboon.com)
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期通常
科目名	財務分析	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Eugene Tango		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Introduction to corporate finance (key concepts and basic analysis)
達成目標
Understanding the basics of corporate finance, including review of financial statements

授業計画

1	事前学習	Check the syllabus	9	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Introduction and basics of finance 1 Why finance is important		授業計画	Capital budgeting
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Read the applicable pages	10	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Basics of finance 2 Key terms in financial statements		授業計画	Market efficiency
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Read the applicable pages	11	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Basics of finance 3 Financial ratios		授業計画	Corporate finance and valuation 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Read the applicable pages	12	事前学習	Read the applicable pages
	授業計画	Understanding financials 1 Intro case study (comparison of 11 major companies)		授業計画	Corporate finance and valuation 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Read the applicable pages	13	事前学習	Review the applicable pages
	授業計画	Understanding financials 2 Intro case study (comparison of 3 tech companies)		授業計画	Review from Day 1 to Day 12
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Read the applicable pages	14	事前学習	Review the applicable pages
	授業計画	Understanding financials 3 Intro case study (analysis of an energy company-1)		授業計画	Review from Day 1 to Day 12
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Read the applicable pages	15	事前学習	Review
	授業計画	Risk, return and opportunity cost 1 Intro case study (analysis of an energy company-2)		授業計画	Final Test
	事後学習	Review		事後学習	Review
8	事前学習	Read the applicable pages			
	授業計画	Risk, return and opportunity cost 2			
	事後学習	Review			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%

教科書　著者名　Bookboon
　　タイトル　Corporate Finance
　　出版社　Bookboon (www.bookboon.com)

参考書　著者名　Mihir A. Desai
　　タイトル　How Finance Works
　　出版社　HBR Press

年度	2021 年度	学期	前期集中
科目名	時事研究Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社の法人営業を担当		

講義概要
本講義では、Japan as No.1 と謳われた日本的経営について考察していく。日本的経営方法は現在の日本企業にも踏襲されている部分も多い。本校卒業後、日本企業に就職する学生にとっては、理解しておかなければならないシステム、考え方を解説していく。
達成目標
日本の企業文化を理解するとともに、企業の海外進出のフェーズが理解できるようになること。そして、自国に進出している日系企業について分析できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	オリエンテーション 日本的経営とは何か。		授業計画	日本企業の海外進出 ２）海外進出の段階について
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
2	事前学習	前回ノートの確認	10	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 １）人的管理について		授業計画	日本企業の海外進出 ３）海外進出の方法
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
3	事前学習	前回ノートの確認	11	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ２）組織の制度と構造		授業計画	日本企業の海外進出 ４）企業の海外戦略
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
4	事前学習	前回ノートの確認	12	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ３）従業員の意識		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ①SONY
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
5	事前学習	前回ノートの確認	13	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ４）経営戦略		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ②NISSAN
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
6	事前学習	前回ノートの確認	14	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ５）日本の産業構造について		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ③ヤクルト
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
7	事前学習	前回ノートの確認	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	中間テスト		授業計画	期末試験
	事後学習	なし		事後学習	振り返り
8	事前学習	前回ノートの確認			
	授業計画	日本企業の海外進出について １）戦後の日本経済史（為替を中心）			
	事後学習	復習課題を行う			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　山田　英二
　　タイトル　新しいグローバルビジネスの教科書
　　出版社　　PHP 新書
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期集中
科目名	時事研究Ⅳ	単位	2単位
学科コース	Business Management course		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社の法人営業を担当		

講義概要
日本経済新聞を中心に国内外のニュースの内容把握とそのニュースについての経済的、社会的、政治的背景を考察して行きます。 「聴く日経」を活用し、耳からニュースを聞き取る聴解力を伸ばします。同じニュースを新聞紙面から読み取り、縦書き文章の読解力を伸ばしていきます。そして、自身の知識として積み上げていきます。
達成目標
その時その時に話題になっている経済ニュースが理解できるようになること。 就職活動に備えての時事知識及び一般知識を修得すること

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	宿題をやる
	授業計画	オリエンテーション 講義のルール説明など		授業計画	新聞記事⑦　外食関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	復習		事後学習	語彙を調べる
2	事前学習	宿題をやる	10	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事①　新入社員関連記事１ 宿題配布		授業計画	新聞記事⑧　労働関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
3	事前学習	宿題をやる	11	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事②　新入社員関連記事２ 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	新聞記事⑨　株主総会関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
4	事前学習	宿題をやる	12	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事③　五月病関連記事 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	新聞記事⑩　消費者関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
5	事前学習	宿題をやる	13	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事④　物流関連記事 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	新聞記事⑪　海外進出関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
6	事前学習	宿題をやる	14	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事⑤　株主総会関連記事１ 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	総まとめ
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
7	事前学習	宿題をやる	15	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事⑥　株主総会関連記事２ 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	期末試験
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	宿題をやる			
	授業計画	中間テスト			
	事後学習	試験の振り返り			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　なし
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期通常
科目名	接遇外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
1 年時の学習内容を踏まえ、英語と日本語を対比させながら英語の言語知識と用法を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に用い、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上をはかる。また、インバウンドなどホスピタリティ産業の分野での課題を考察し、自らの効果的かつ魅力的な提案を発表する。
達成目標
観光英検試験の２級の資格取得,それぞれの TOEIC スコアの達成を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語での自己紹介･当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の活用 日本の伝承、風俗２
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の活用 日本の古典芸能１		授業計画	英語表現の活用 日本の食文化１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の活用 日本の古典芸能２		授業計画	英語表現の活用 日本の食文化２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の活用 日本の美術１		授業計画	英語表現の活用 日本の食文化、外食産業１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の活用 日本の美術２		授業計画	英語表現の活用 日本の食文化、外食産業２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の活用 日本の家屋、建築１		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の活用 日本の家屋、建築２		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の活用 日本の伝承、風俗１			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　江口裕之
　　タイトル　英語で語る日本事情 2020
　　出版社　　The Japan Times
参考書　著者名　　山口百々男
　　タイトル　英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産
　　出版社　　三修社

年度	2021 年度	学期	後期通常
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期の学習内容を踏まえ、応用知識を発展的に学び、アウトプット活動を行う。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の２級または３級の資格取得、TOEIC800 点取得を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の応用 日本のあるべき姿の考察１
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本の産業１		授業計画	英語表現の応用 日本のあるべき姿の考察２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本の産業２		授業計画	英語表現の応用　日本のあるべき姿の考察、プレゼンテーション１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本の家族問題		授業計画	英語表現の応用　日本のあるべき姿と考察、プレゼンテーション２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本の変化と課題１		授業計画	英語表現の応用　日本のあるべき姿の考察、プレゼンテーション３
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の応用 日本の変化と課題２		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の応用 日本の中枢（東京）１		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の応用 日本の中枢（東京）２			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　江口裕之
　　タイトル　英語で語る日本事情 2020
　　出版社　　The Japan Times
参考書　著者名　　山口百々男
　　タイトル　英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産
　　出版社　　三修社

年度	2021 年度	学期	前期通常
科目名	課程演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	善福　大		
実務経験 教員紹介	人材派遣会社にて経営管理部に所属し経営戦略、組織管理、マーケティング方針の策定を行う。		

講義概要
マーケティングは「売れる仕組み」を考えることです。仕組みは「誰に」「何を」「どのように」を基本に様々な課題についての考え方が必要です。この考え方は様々なビジネスの場面で活用が可能です。本講義ではマーケティングを学ぶことで基本的なビジネス思考を身に着けます。
達成目標
マーケティングのフレームワークから分析手法まで基本的な知識を身に着けます。またマーケティング課題に関する取り組み方を事例をもとに学び、様々なビジネス場面における考え方を身に着けます。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	マーケティングとは何か。マーケティングの意味を伝える。		授業計画	マーケティングにおける目標（KPI と KGI について）
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	自分の KPI を立ててみる
2	事前学習	講義資料の確認	10	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	顧客、市場とは何か。アンゾフのマトリックス		授業計画	売上分析の方法（よくある効果測定の方法をしる）
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
3	事前学習	講義資料の確認	11	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	市場分析の手法（３C 分析、ファイブフォース）		授業計画	プロモーション活動の基本。プロモーションにおける大切な考え方。
	事後学習	３C 分析、５F の復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
4	事前学習	講義資料の確認	12	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	自社の強みとは（SWOT、STP 策定）		授業計画	最近の PR 活動について、流行の PR 手法を知る
	事後学習	SWOT、STP 策定の復習		事後学習	実際の PR 活動を調べてくる
5	事前学習	講義資料の確認	13	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	マーケティングリサーチとは何か。どんな手法があるか		授業計画	BtoB マーケティングとは何か、会社同士のやり取りをしる
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
6	事前学習	講義資料の確認	14	事前学習	前期資料の確認
	授業計画	マーケティングミックスの策定（４P の基本）		授業計画	前期のまとめと総復習を行う。前期講義の質問を受ける。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の確認
7	事前学習	前講義の復習	15	事前学習	前期資料の復習
	授業計画	マーケティングミックスの策定(実際の４P 分析)		授業計画	試験日
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	試験の復習
8	事前学習	講義資料の確認			
	授業計画	マーケティングミックスの策定(ブランディングとは何か)			
	事後学習	ブランディングについて復習する			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　中野崇
　　タイトル　いちばんやさしいマーケティングの教本
　　出版社　　株式会社インプレス
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期集中
科目名	課程演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	善福　大		
実務経験 教員紹介	人材派遣会社にて経営管理部に所属し経営戦略、組織管理、マーケティング方針の策定を行う。		

講義概要
働く上で会社や団体など様々な場面で「組織」に所属することが一般的です。組織を理解することはよりよく働くためには重要な要素です。本講義では「組織とは何か」を中心とし、組織構造からマネジメントまで幅広く抑え、組織行動の基本を身に着けます。
達成目標
組織とは何か、組織構造の基本、組織学習など実際の会社組織がどのように運営されているか、日本の会社組織をもとに基本的な考え方を身に着けます。また組織内で働く人材の動かし方や意思決定の方法、を学びます。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	経営・組織とは何か。組織の成り立ちを伝える		授業計画	組織として成長するには何が必要か、組織学習について知る。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
2	事前学習	講義資料を読む。	10	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	会社組織とは何か。現代社会の会社はどのような形があるのか知る		授業計画	組織の力を発揮するために外部組織との連携の重要さを知る。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
3	事前学習	講義資料を読む。	11	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	組織体制の種類。組織体制にはどのような種類があるのかを知る。		授業計画	組織を変えるためには何が必要か。組織変革について知る。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
4	事前学習	講義資料の確認	12	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	個人に能力を発揮してもらう。リーダーシップとは何か。		授業計画	組織イノベーションとは何か、組織開発について知る。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
5	事前学習	講義資料の確認	13	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	ベクトルを揃える。従業員の行動を揃えるためには何が必要か。		授業計画	人事評価制度など組織で働く上で必要な基本的な知識を身に着ける。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
6	事前学習	講義資料の確認	14	事前学習	前期講義資料を再度目を通す
	授業計画	より良い意思決定を行う。組織における意思決定は何を基準とするのか		授業計画	前期講義の総復習。質問などテストに向けたまとめ講義
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
7	事前学習	講義資料の確認	15	事前学習	講義の復習
	授業計画	環境と折り合う。組織は内部だけでなく環境にも左右されることを知る。		授業計画	テスト
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	講義資料の確認			
	授業計画	個々人の成長を促すためには組織としてどうすれば良いか。			
	事後学習	講義資料の読み込み、復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　鈴木竜太
　　タイトル　はじめての経営学　経営組織論
　　出版社　　東洋経済新報社

年度	2021年度	学期	前期集中
科目名	特別演習Ⅲ	単位	2単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
ビジネス場面における英語の使用においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、聞き手の「英語力」や「社会的地位」に合わせて英語を発話する必要が有る。この授業では、各文法の微妙なニュアンスの違いについて学習し、「場面」や「聞き手」に合わせて文法を使い分けられるようになるよう学習する。
達成目標
多くの英語学習者は、英語力がある一定のレベルに達すると、自分が知っている英単語のみを繰り返し使ってしまう傾向に有る為、自分自身が伝えたいニュアンスに応じて、英文法を使い分けられるようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Much (of), Many (of), a lot of, lots (of), etc.		授業計画	Gradable and non-gradable adjectives 1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Few, little, less, fewer		授業計画	Gradable and non-gradable adjectives 2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Other relative words: whose, when, whereby, etc.		授業計画	If I were you…; imagine he were to win１
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Participle clauses with adverbial meaning 1		授業計画	If I were you…; imagine he were to win２
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Participle clauses with adverbial meaning 2		授業計画	if … not and unless; if and whether; etc. 1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Do so; such		授業計画	if … not and unless; if and whether; etc. 2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	Position of adjectives		授業計画	期末試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	テスト勉強			
	授業計画	中間テスト			
	事後学習	復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：0%

教科書　著者名　Martin Hewings
　　タイトル　English Grammar in Use - Advanced
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期集中
科目名	特別演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
ビジネス場面における英語の使用においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、聞き手の「英語力」や「社会的地位」に合わせて英語を発話する必要が有る。この授業では、ネイティブが使い分けているニュアンスの差について学習し、「場面」や「聞き手」に合わせて文法を使い分けられるようになるよう学習する。
達成目標
多くの英語学習者は、英語力がある一定のレベルに達すると、自分が知っている英単語のみを繰り返し使ってしまう傾向に有る為、自分自身が伝えたいニュアンスに応じて、英文法を使い分けられるようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Prepositions of position and movement		授業計画	It …1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Between and among１		授業計画	It …２
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Between and among２		授業計画	Focusing: it-clauses and what-clauses
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Prepositions of time１		授業計画	Inversion 1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Prepositions of time２		授業計画	Inversion 2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Talking about exceptions		授業計画	Review
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Prepositions after verbs		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回の授業の復習			
	授業計画	Prepositions after nouns			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%

教科書　著者名　Martin Hewings
　　タイトル　English Grammar in Use - Advanced
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期通常
科目名	経済学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社の法人営業を担当		

講義概要
ビジネスにおける先見性を養うにあたり、世界経済の動きを知ることが必要な時代となりました。経済学Ⅰでは、第二次世界大戦が終わってからの日本の経済についての歴史を学びます。経済史だけではなく、歴史を学ぶことの大切さについても実感させ、これからの先見性養成に役立てられるような講義展開を行います。
達成目標
日本経済史を理解し、基礎的な経済学用語を知ること。留学生においては、その当時の自国の歴史と比較し、自国の歴史についても、他者に説明できるようになる。そして、グローバルな視点を養う。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	貿易摩擦について調べる
	授業計画	オリエンテーション 経済学とは		授業計画	日本経済史④ 貿易摩擦からプラザ合意
	事後学習	本日のノート整理		事後学習	本日のノート整理
2	事前学習	自国の人口総数を調べる	10	事前学習	現地生産とは調べる
	授業計画	人口と経済の関係性① 世界の人口動態と GDP		授業計画	1980 年代の日米貿易について 現地生産化
	事後学習	本日のノート整理		事後学習	本日のノート整理
3	事前学習	日本の人口動態について調べる	11	事前学習	バブル経済について調べる
	授業計画	人口と経済の関係性② 日本の人口変化と GDP		授業計画	日本経済史⑤ プラザ合意からバブル経済
	事後学習	本日のノート整理		事後学習	本日のノート整理
4	事前学習	人口と経済力について調べる	12	事前学習	前回のノートをチェックする
	授業計画	人口と経済の関係性③ グループワーク「自国の人口変化と経済力」		授業計画	日本経済史⑥ バブル崩壊から失われた 20 年
	事後学習	本日のノート整理		事後学習	本日のノート整理
5	事前学習	資料の見直し	13	事前学習	リーマンショックについて調べる
	授業計画	日本経済史① 戦後から高度経済成長期		授業計画	日本経済史⑦ リーマンショックと世界経済
	事後学習	本日のノート整理		事後学習	本日のノート整理
6	事前学習	高度経済成長について復習する	14	事前学習	資料の見直し
	授業計画	日本経済史② 高度成長期からニクソンショック		授業計画	前期復習
	事後学習	高度経済成長についてまとめる		事後学習	本日のノート整理
7	事前学習	ニクソンショックについて調べる	15	事前学習	資料の見直し
	授業計画	日本経済史③ ニクソンショック、石油ショック		授業計画	期末試験
	事後学習	石油ショックについてまとめる		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	資料の見直し			
	授業計画	中間テスト			
	事後学習	本日のノート整理			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　特になし
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期通常
科目名	経済学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社の法人営業を担当		

講義概要
経済理論の基礎であるミクロ経済、マクロ経済を学び、前期で学んだ日本の経済状況を経済理論で説明していきます。そして、現在の経済状況を経済理論を用いて理解できるようにケースを用い、グループでのディスカッションを行います。先見性が持てるように経済理論を習得していきます。
達成目標
経済学の基礎理論の理解、世界経済史の理解を通じて、経済の変化がビジネスに与える影響を読み解けるようになる。世界の経済時流を理解できるようになるグループディスカッションによる意見交換ができるようになる

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	復習 日本経済史		授業計画	マクロ経済① マクロ経済とは（GDP）
	事後学習	ノートをまとめる		事後学習	指定課題の提出
2	事前学習	事前配布の用語を調べる	10	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	ミクロ経済とマクロ経済とは 希少性と価格		授業計画	マクロ経済② 三面等価の原則
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	指定課題の提出
3	事前学習	事前配布の用語を調べる	11	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	ミクロ経済①　価格と需要の関係/需要曲線/供給曲線		授業計画	マクロ経済③ 需要・国民所得の決定メカニズム
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	指定課題の提出
4	事前学習	事前配布の用語を調べる	12	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	ミクロ経済② 需要・価格弾力性		授業計画	マクロ経済④ 財市場と貨幣市場（IS-LM 曲線）
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	指定課題の提出
5	事前学習	事前配布の用語を調べる	13	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	ミクロ経済③ 家計の消費（限界効用・代替効果）		授業計画	マクロ経済⑤ 家計の消費行動・企業の投資行動
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	指定課題の提出
6	事前学習	事前配布の用語を調べる	14	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	ミクロ経済④ 企業の目的（生産要素・利潤最大化）		授業計画	マクロ経済⑥ 政府の存在・政府の役割
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	指定課題の提出
7	事前学習	事前配布の用語を調べる	15	事前学習	講義の復習
	授業計画	ミクロ経済⑤ 企業の目的（完全競争・市場取引の利益）		授業計画	期末試験
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	講義の復習			
	授業計画	中間テスト			
	事後学習	テストの振り返り			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　井堀利宏著、日本経済新聞など
　　タイトル　「大学 4 年間の経済学が 10 時間で学べる」
　　出版社　　角川出版

年度	2021 年度	学期	前期通常
科目名	ビジネス英語 I	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
ビジネス場面における英語の使用においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、聞き手の「英語力」や「社会的地位」に合わせて英語を発話する必要がある。この授業では、より高度な英単語を学習し、自分自身のコンフォートゾーンを抜け出し、場面に合わせて英単語を使い分けられるようになるよう学習する。
達成目標
多くの英語学習者は、英語力がある一定のレベルに達すると、自分が知っている英単語のみを繰り返し使ってしまう傾向にある為、自分自身が伝えたいニュアンスに応じて、英単語を使い分けられるようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN①		授業計画	At work: colleagues and routines
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN②		授業計画	At work: job satisfaction
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN③		授業計画	At work: careers
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN④		授業計画	Describing the world
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Cramming for success		授業計画	Weather and climate
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Education: debates and issues		授業計画	Brick walls and glass ceilings
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Applying for a job		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回の授業の復習			
	授業計画	Job interviews			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（小テスト）＞：25%

教科書　著者名　Michael McCarthy, Felicity O'dell
　　タイトル　English Vocabulary in Use - Advanced
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル　CNN ENGLISH EXPRESS
　　出版社　朝日出版社

年度	2021 年度	学期	後期通常
科目名	ビジネス英語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	Business Management course		
講師名	Kyra		
実務経験 教員紹介			

講義概要
ビジネス場面や実社会における英語の発話においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、場面に応じた「語彙」を選択し、英語を発話する必要がある。この授業では、より高度な英単語を学習し、「場面」や聞き手の「社会的地位」に合わせて英語を発話するための、語彙力を養う。
達成目標
英語のネイティブスピーカーが使い分けている、「語彙」の微妙なニュアンスの差について理解し、日常的な会話のみならず、E メール作成等の軽度なビジネス場面においても、適した「語彙」を選択出来る力を養う。

授業計画

1	事前学習	前回の授業の復習	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Taking root and reaping rewards		授業計画	History
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	The animal kingdom		授業計画	The haves and the have-nots
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Our endangered world		授業計画	British politics
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Here to help: customer service		授業計画	International politics
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Authorities: customs and police		授業計画	The letter of the law
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Beliefs		授業計画	War and peace
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Festivals in the cultural context		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回の授業の復習			
	授業計画	Talking about language			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（小テスト）＞：25%

教科書　著者名　Michael McCarthy, Felicity O'dell
　　タイトル　English Vocabulary in Use - Advanced
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	実用外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	井上　誕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本語の会話において、特に重要となる会話表現の文型の場面ごとの使い方を確認し、話し相手との関係性による表現の変化や、感情によるアクセントの変化など、微妙なニュアンスではあるが、そこを間違ってしまうと伝わり方も大きく変わってしまう点を確認しながら会話力の基礎を学ぶ。
達成目標
会話相手との関係性や距離感などによって、表現を使い分けたり、聞き手の感情を読み取りながら、話し手の感情の込め方をコントロールすることで、スムーズかつ「空気を読んだ」会話が実践できるようになることを目指す。

授業計画

1	事前学習	テキスト該当部の予習	9	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	基本最重要文型①　～ね／～よ／～よね		授業計画	重要文型⑤　～ていい[許可]／～ないと／～ません
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
2	事前学習	テキスト該当部の予習	10	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	基本最重要文型②　～か／～の？／～の		授業計画	重要文型⑥　～って[話題]／～けど[話題]／～はいい
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
3	事前学習	テキスト該当部の予習	11	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	基本最重要文型③　～んだ／～んです／～って		授業計画	重要文型⑦　～にいい／～でいい／～しか～ない
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
4	事前学習	テキスト該当部の予習	12	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型①　～てる／～とく／～ちゃう		授業計画	重要文型⑧　～とか／～なら／～なんか
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
5	事前学習	テキスト該当部の予習	13	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型②　～ところ／～たばかり／～たら		授業計画	重要文型⑨　～ばかり／～みたい／～という
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
6	事前学習	テキスト該当部の予習	14	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型③　～たり／～といい／～そう		授業計画	重要文型⑩　～ということ／～ていい[ほめる]／けっこう
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
7	事前学習	前半部の総復習	15	事前学習	総復習
	授業計画	小テスト		授業計画	期末テスト
	事後学習	理解できなかった内容の振り返り		事後学習	理解できなかった内容の振り返り
8	事前学習	テキスト該当部の予習			
	授業計画	重要文型④　～はずがない／～わけじゃない／～わけにはいかない			
	事後学習	扱った会話表現の音声確認			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：60%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　水谷　信子
　　タイトル　わかる！話せる！日本語会話
　　出版社　　Ｊリサーチ出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	実用外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	井上　誕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本語の会話において、特に重要となる会話表現の文型の場面ごとの使い方を確認し、話し相手との関係性による表現の変化や、感情によるアクセントの変化など、微妙なニュアンスではあるが、そこを間違ってしまうと伝わり方も大きく変わってしまう点を確認しながら会話力の基礎を学ぶ。
達成目標
会話相手との関係性や距離感などによって、表現を使い分けたり、聞き手の感情を読み取りながら、話し手の感情の込め方をコントロールすることで、スムーズかつ「空気を読んだ」会話が実践できるようになることを目指す。

授業計画

1	事前学習	テキスト該当部の予習	9	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型⑪　ほんと（う）に／あのう／ねえ		授業計画	重要文型⑱　～ので／～のに／～って［理由］
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
2	事前学習	テキスト該当部の予習	10	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型⑫　ほら／あれ／さあ		授業計画	重要文型⑲　～もの／なるほど／で、～
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
3	事前学習	テキスト該当部の予習	11	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型⑬　まあ／そしたら／～な		授業計画	重要文型⑳　～さ／～ね
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
4	事前学習	テキスト該当部の予習	12	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型⑭　～なあ／～かな／～かなあ		授業計画	こそあど①　この／こっち／こちら
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
5	事前学習	テキスト該当部の予習	13	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型⑮　～かも／～きがする／～でしょ		授業計画	こそあど②　こう／こんな／こういう
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
6	事前学習	テキスト該当部の予習	14	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型⑯　～じゃない／～みたい／～っけ		授業計画	その他　なにか／なんと／やっぱり
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
7	事前学習	前半部の総復習	15	事前学習	総復習
	授業計画	小テスト		授業計画	期末テスト
	事後学習	理解できなかった内容の振り返り		事後学習	理解できなかった内容の振り返り
8	事前学習	テキスト該当部の予習			
	授業計画	重要文型⑰　～し／～けど［婉曲］／～けど［単純接続］			
	事後学習	扱った会話表現の音声確認			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：60%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　水谷　信子
　　タイトル　　わかる！話せる！日本語会話
　　出版社　　Ｊリサーチ出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネス外国語 I	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	土肥　義充		
実務経験 教員紹介			

講義概要
大学・大学院への進学だけでなく、日本企業等への就職希望者を対象に、最新のビジネス日本語を学びながらビジネス文化への理解と知識を深め、将来現場で役に立つ実践的なコミュニケーション能力を養う。聴読解を通しての情報収集力、そして発話力を身につけながら総合的な日本語能力の向上を図る。
達成目標
①ビジネス慣習の把握と理解　②歴史・文化に根付く「ことわざ・慣用語」と最新カタカナ語の習得　②新聞、テレビ、ネット情報の積極的な取得　③それらを社会、ビジネス現場で活かせる適応力を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自主課題学習
	授業計画	自己紹介と TIBC 卒業後の将来の目標について		授業計画	「ビジネス日本語」3 課会話練習
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義復習
2	事前学習	自主課題学習	10	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課読解		授業計画	「ビジネス日本語」3 課までの復習と慣用語
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自主課題学習	11	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課文法		授業計画	「ビジネス日本語」4 課読解と文法
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自主課題学習	12	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課会話		授業計画	「ビジネス日本語」4 課会話練習
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自主課題学習	13	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課会話練習		授業計画	「ビジネス日本語」5 課読解と文法
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自主課題学習	14	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」2 課読解と文法		授業計画	「ビジネス日本語」5 課会話練習
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自主課題学習	15	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」2 課会話練習		授業計画	「ビジネス日本語」5 課までの復習と慣用語
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
8	事前学習	自主課題学習			
	授業計画	「ビジネス日本語」3 課読解と文法			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　千駄ヶ谷日本語教育研究所
　　タイトル　ケーススタディで学ぶ　ビジネス日本語
　　出版社　　スリーエー
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で紹介
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネス外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	土肥　義充		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期「ビジネス外国語Ⅰ」の継続。大学・大学院進学だけでなく、日本企業等への就職を希望者を対象に、最新のビジネス日本語を学びながらビジネス文化への理解と知識を深め、将来現場で役に立つ実践的なコミュニケーション能力を養う。聴読解を通しての情報収集力、そして発話力を身につけながら総合的な日本語能力の向上を図る。
達成目標
①ビジネス慣習の把握と理解　②歴史・文化に根付く「ことわざ・慣用語」と最新カタカナ語の習得　②新聞、テレビ、ネット情報の積極的な取得　③それらを社会、ビジネス現場で活かせる適応力を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	前期の総復習と講義の進め方＆学習方法など		授業計画	ビジネス日本語中級（９）会話／慣用語
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義復習と宿題
2	事前学習	自習課題の学習	10	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（６）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１０）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
3	事前学習	自習課題の学習	11	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（６）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１０）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
4	事前学習	自習課題の学習	12	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（７）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１１）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
5	事前学習	自習課題の学習	13	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（７）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１１）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
6	事前学習	自習課題の学習	14	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（８）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１２）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
7	事前学習	自習課題の学習	15	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（８）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１２）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	テストの振り返り
8	事前学習	自習課題の学習			
	授業計画	ビジネス日本語中級（９）読解・文法／慣用語			
	事後学習	講義復習と宿題			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　千駄ヶ谷日本語教育研究所
　　タイトル　ケーススタディで学ぶ　ビジネス日本語
　　出版社　　スリーエー
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で紹介
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	横田 真央		
実務経験教員紹介	生命保険会社での法人営業・個人営業		

講義概要
本講義では、日本の会社に入る際に必要なビジネスレベルの会話や、ビジネスメールで使う語彙や文法等を学ぶ。ロールプレイや、グループディスカッションでのアウトプットを繰り返していくことで、難易度の高い語彙を使用語彙として定着させていく。
達成目標
日本の会社で働くためのビジネスレベルの語彙や文法を理解し、正しい使い方ができるようにする。また、日本人独特の婉曲的な表現を学び、目上の人に対して失礼のない会話ができるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	オリエンテーション（講義のルール等）上司の話の聞き方、話しかけ方		授業計画	目上の人に弁解や、反論をする際の言葉遣い
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
2	事前学習	前回の講義内容の復習	10	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	自己分析、自己 PR（性格を表す語彙を学ぶ）		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　1
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
3	事前学習	前回の講義内容の復習	11	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	ビジネスの電話をかける際、受ける際の日本語　1		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　2
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
4	事前学習	前回の講義内容の復習	12	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	ビジネスの電話をかける際、受ける際の日本語　2		授業計画	目上の人と雑談をする際のテーマ、言葉遣い
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
5	事前学習	前回の講義内容の復習	13	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	上司に報告、連絡、相談をする際の言葉遣い		授業計画	グループでロールプレイ　目上の人と雑談をする場面
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
6	事前学習	前回の講義内容の復習	14	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	上司に依頼をする際、依頼を断る際の言葉遣い		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　3
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
7	事前学習	前回の講義内容の復習	15	事前学習	全講義内容の復習
	授業計画	アポイントを取る際の言葉遣い、メールの書き方		授業計画	定期試験
	事後学習	小テスト		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の講義内容の復習			
	授業計画	会議・打ち合わせをする際の言葉遣いとマナー			
	事後学習	小テスト			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：60%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　植木香・木下由紀子・藤井美音子
　　タイトル　伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力 日本で働くための「４つの能力」養成ワークブック
　　出版社　　国書刊行会

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	中村　光子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
サービス接遇検定に出題される内容を題材とし、日本語でのサービス接遇に対する心構えや応対の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどの基礎を学ぶ。ビジネスの中で、顧客の気持ちを理解するための実務スキルや知識を身につける為、訓練をする。
達成目標
接客に留まらず、日本語でサービス接遇に対する心構えや応対の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどの基礎を学ぶ。ビジネスの中で、顧客の気持ちを理解するための実務スキルや知識が身につける。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	前回の講義の復習
	授業計画	サービス接遇とは？		授業計画	敬語の応用、ロールプレイによりマナーを学習する②
	事後学習	パワーポイント確認、課題		事後学習	パワーポイント確認、課題
2	事前学習	前回の講義の復習	10	事前学習	前回の講義の復習
	授業計画	接遇における身だしなみの基本、サービスとホスピタリティの基本①		授業計画	実務技能、問題処理①
	事後学習	パワーポイント確認、課題		事後学習	パワーポイント確認、課題
3	事前学習	前回の講義の復習	11	事前学習	前回の講義の復習
	授業計画	接遇における身だしなみの基本、サービスとホスピタリティの基本②		授業計画	実務技能、問題処理②
	事後学習	パワーポイント確認、課題		事後学習	パワーポイント確認、課題
4	事前学習	前回の講義の復習	12	事前学習	前回の講義の復習
	授業計画	依頼形、否定形、クッション言葉①		授業計画	支払いに関する用語、業界用語、電話対応とメモの取り方
	事後学習	パワーポイント確認、課題		事後学習	パワーポイント確認、課題
5	事前学習	前回の講義の復習	13	事前学習	前回の講義の復習
	授業計画	依頼形、否定形、クッション言葉②		授業計画	総まとめ
	事後学習	パワーポイント確認、課題		事後学習	パワーポイント確認、課題
6	事前学習	前回の講義の復習	14	事前学習	前回の講義の復習
	授業計画	社外と社内の人間関係、敬語の基本①		授業計画	小テスト
	事後学習	パワーポイント確認、課題		事後学習	パワーポイント確認、課題
7	事前学習	前回の講義の復習	15	事前学習	前回の講義の復習
	授業計画	社外と社内の人間関係、敬語の基本②		授業計画	解答見直し、間違えた問題の復習
	事後学習	パワーポイント確認、課題		事後学習	テストの振り返り
8	事前学習	前回の講義の復習			
	授業計画	敬語の応用、ロールプレイによりマナーを学習する①			
	事後学習	パワーポイント確認、課題			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語表現Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	菰田　有香		
実務経験 教員紹介			

講義概要
「中級からはじめるニュースの日本語　聴解 40」の教科書を使い、聴解トレーニングをおこなう。日本のニュースを追うことで、日本の時事を理解し、そこに出てくる新しい語彙や表現方法を身に付けていく。また、ニュースに続けて読む練習及び正確に聞き取りができているかディクテーションをおこなう。
達成目標
日本語のヒアリング力のアップやニュースでの話し方に慣れることを目的とする。また、ニュースに出てくる時事問題で新しい語彙や表現方法を獲得し、発話練習では自然な日本語のアクセントを身に付ける。

授業計画

1	事前学習	日々のニュースチェック	9	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
2	事前学習	日々のニュースチェック	10	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
3	事前学習	日々のニュースチェック	11	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
4	事前学習	日々のニュースチェック	12	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
5	事前学習	日々のニュースチェック	13	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
6	事前学習	日々のニュースチェック	14	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
7	事前学習	日々のニュースチェック	15	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
8	事前学習	日々のニュースチェック			
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。			
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　瀬川由美・紙谷幸子・北村貞幸
　　タイトル　中級からはじめるニュースの日本語　聴解 40
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語表現Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	上村　佑生		
実務経験 教員紹介			

講義概要
「ニュースの日本語　聴解 50」の教科書を使い、聴解トレーニングをおこなう。日本のニュースを追うことで、日本の時事を理解し、そこに出てくる新しい語彙や表現方法を身に付けていく。また、ニュースに続けて読む練習、正確に聞き取りができているかディクテーション及び要約をおこなう。
達成目標
日本語のヒアリング力のアップやニュースでの話し方に慣れることを目的とする。また、ニュースに出てくる時事問題で新しい語彙や表現方法を獲得し、発話練習では自然な日本語のアクセントを身に着ける。

授業計画

1	事前学習	日々のニュースチェック	9	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
2	事前学習	日々のニュースチェック	10	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
3	事前学習	日々のニュースチェック	11	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
4	事前学習	日々のニュースチェック	12	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
5	事前学習	日々のニュースチェック	13	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
6	事前学習	日々のニュースチェック	14	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
7	事前学習	日々のニュースチェック	15	事前学習	日々のニュースチェック
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。		授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認		事後学習	講義内の語彙や表現の再確認
8	事前学習	日々のニュースチェック			
	授業計画	教科書を 2 課ずつ進行及び直近のニュース展開から時事を理解する。			
	事後学習	講義内の語彙や表現の再確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　瀬川由美・紙谷幸子・北村貞幸
　　タイトル　ニュースの日本語　聴解 50
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	総合外国語Ⅰ（文法）	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	櫻井　紀子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
初級から中級までの文法を学習する。文法の意味・使い方を押さえ、いつ使うのか場面を伝え、使える日本語が不可欠だと考える。日本語の基本的文法はもとより、日本文化にもトピックを広げて学習していく。学習した文法を output できるように、反復継続を行っていく。
達成目標
通訳・翻訳の仕事に就く、または日本企業に就職するために、完結した一文で、正しい日本語の基礎を身に着ける。基本を最低限理解し、使用・応用できるように授業中では、会話、文作、板書を書き写すことを行う。

授業計画

1	事前学習	N3 語彙・文法　復習	9	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	N3 語彙･文法　プリント取り組み･解説		授業計画	７課　複文構造　複文の中の「は」と「が」・自制
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	本日学習部分の復習
2	事前学習	本日の学習部分の予習	10	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	１課　いろいろな働きをする助詞①		授業計画	８課　名詞修飾
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	本日学習部分の復習
3	事前学習	本日の学習部分の予習	11	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	１課　いろいろな働きをする助詞②		授業計画	９課　複文を作る言葉　１　時間
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	本日学習部分の復習
4	事前学習	本日の学習部分の予習	12	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	２課　話題の取り立て		授業計画	１０課　複文を作る言葉　２
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	本日学習部分の復習
5	事前学習	本日の学習部分の予習	13	事前学習	今までの学習部分の復習
	授業計画	３課　助詞の働きをする言葉　１		授業計画	１課から８課まで復習
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	今までの復習
6	事前学習	本日の学習部分の予習	14	事前学習	今までの学習部分の復習
	授業計画	4 課　助詞の働きをする言葉　２		授業計画	期末試験
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	今までの復習
7	事前学習	本日の学習部分の予習	15	事前学習	今までの学習部分の復習
	授業計画	５課　助詞の働きをする言葉　３		授業計画	期末試験／レポート／FB
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	今までの復習
8	事前学習	本日の学習部分の予習			
	授業計画	６課　名詞化の方法「こと」と「の」			
	事後学習	本日学習部分の復習			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：60%　＜レポート＞：20%

教科書　著者名　　友松悦子・和栗雅子
　　タイトル　中級日本語文法要点整理ポイント２０
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	総合外国語Ⅱ（文法）	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	櫻井　紀子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
次年時進級、就職活動に向け、前期で学習した文法項目を使用し、面接、エントリーシートで完結した文章作成を促す。携帯電話に頼ることなく、自然な日本語が出てくるように反復継続を行う。集中して指示を聞きとり、メモをすることができるように指導。
達成目標
基本的な文法の理解定着、応用。教師の指示を理解することができる。質問を理解し、それに答えることができる日本語力を目指す。基本的な漢字の読み書きは当然、板書を書き写す速さも身に着ける。

授業計画

1	事前学習	前期の復習	9	事前学習	本日部分の予習
	授業計画	前期の復習		授業計画	１５課　決まった使い方の副詞
	事後学習	本日の復習		事後学習	本日の復習
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	本日部分の予習
	授業計画	前期の復習		授業計画	１６課　接続の言葉
	事後学習	本日の復習		事後学習	本日の復習
3	事前学習	本日部分の予習	11	事前学習	本日部分の予習
	授業計画	９課　複文を作る言葉　１		授業計画	１７課　語彙を広げる
	事後学習	本日の復習		事後学習	本日の復習
4	事前学習	本日部分の予習	12	事前学習	本日部分の予習
	授業計画	１０課　複文を作る言葉　２		授業計画	１８課　硬い文章
	事後学習	本日の復習		事後学習	本日の復習
5	事前学習	本日部分の予習	13	事前学習	本日部分の予習
	授業計画	１１課　複文を作る言葉　３		授業計画	１９課　丁寧な言い方
	事後学習	本日の復習		事後学習	本日の復習
6	事前学習	本日部分の予習	14	事前学習	本日部分の予習
	授業計画	１２課　否定の言い方		授業計画	２０課　会話・文章のまとまり
	事後学習	本日の復習		事後学習	本日の復習
7	事前学習	本日部分の予習	15	事前学習	今までの復習
	授業計画	１３課　私からの発信　１		授業計画	期末試験
	事後学習	本日の復習		事後学習	期末テストの復習
8	事前学習	本日部分の予習			
	授業計画	１４課　私からの発信　２			
	事後学習	本日の復習			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：60%　＜レポート＞：20%

教科書　著者名　　友松悦子・和栗雅子
　　タイトル　中級日本語文法要点整理ポイント２０
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	通訳翻訳概論 I	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	中村　光子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
シーンを設定し通訳者、翻訳者に必要なスキルを積む訓練をします。主に、ビジネス通訳、放送通訳、通訳ガイド、実務翻訳、映像翻訳、文芸翻訳を基礎とし、ビジネス場面を想定し、各業界の専門用語や、ビジネス日本語、そして TPO に合った言い回し力、表現力を身に付ける。
達成目標
場面により通訳者、翻訳者のスキルや、言い回し、心遣いが異なる為、通訳者、翻訳者になる為の基礎を身に着ける。的確な訳し方ができるよう訓練すると同時に、母国語と日本語力を高め、瞬時に文章、言葉の趣旨を理解する。

授業計画

1	事前学習	主な通訳、翻訳の種類学習	9	事前学習	小説の内容理解
	授業計画	実用ベトナム語技能検定の問題例を日本語訳する。		授業計画	文芸翻訳を行う。ベトナム語の小説に出てくる場面を日本語訳する。
	事後学習	パワーポイント確認、文章の練習		事後学習	パワーポイント確認、文章の練習
2	事前学習	カーディーラーについての理解	10	事前学習	観光地への理解
	授業計画	お客様と職員の仲介となり、購入までの手続きの通訳をする		授業計画	旅行会社に勤めるツアーガイドとして通訳ガイドに実践する。
	事後学習	パワーポイント確認、文章の練習		事後学習	パワーポイント確認、文章の練習
3	事前学習	ドラマの広告についての理解	11	事前学習	使用方法などを予め見比べる
	授業計画	ドラマ予告内容を理解し、映像翻訳と放送通訳をする。		授業計画	コスメや機械などの使用方法を実務翻訳する。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方、文章の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方、文章の練習
4	事前学習	ニュースについての理解	12	事前学習	ニュースについて理解する
	授業計画	ニュースには文章と放送がある。ニュース記事の実務翻訳実践学習する。		授業計画	放送通訳について学ぶ。放送ニュースの通訳をする。
	事後学習	パワーポイント確認、文章の練習		事後学習	パワーポイント確認、文章の練習
5	事前学習	実習生採用企業についての理解	13	事前学習	ビジネスメールについての理解
	授業計画	協同組合で必要とされる実習生採用の渡航、面接場面で通訳を行う。		授業計画	貿易業務で使用される、ビジネスメールを実務翻訳する。
	事後学習	パワーポイント確認、文章の練習		事後学習	パワーポイント確認、文章の練習
6	事前学習	医療通訳、医療翻訳についての理解	14	事前学習	電話応対について理解する
	授業計画	病院における診察時の通訳をする。医療用語を翻訳する。		授業計画	ビジネス場面で使われる電話応対について理解し、通訳をする。
	事後学習	パワーポイント確認、文章の練習		事後学習	パワーポイント確認、文章の練習
7	事前学習	領事書類についての理解	15	事前学習	空港内のしくみの理解
	授業計画	実務翻訳として領事書類の翻訳をする。		授業計画	通訳ガイドの中でも、ホテルに勤める職員として案内業務に実践する。
	事後学習	パワーポイント確認、文章の練習		事後学習	パワーポイント確認、文章の練習
8	事前学習	国際交流動画の確認			
	授業計画	エンターテイメントに関する放送通訳の実践をする。			
	事後学習	パワーポイント確認、話し方、文章の練習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	通訳翻訳概論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	中村　光子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本科目はビジネス通訳・翻訳により専門性の高いスキルを身に付ける。習った翻訳概論をベースとして、スキルアップの練習をしていくため、通訳・翻訳概要の理解と同時にビジネス日本語を高めることを重点に学習します。質の高い通訳、翻訳の力をつけるための訓練をします。
達成目標
場面により通訳、翻訳のスキルや、言い回し、心遣いが異なる為、通訳、翻訳に関して前期に学んだ基礎を踏まえ、専門性の高いスキルを身に付ける。そして、質の高い通訳力や翻訳力を高める。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	通訳技術、知識とビジネス日本語を身に着ける。		授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
3	事前学習	講義資料の見直し	11	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
4	事前学習	講義資料の見直し	12	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
5	事前学習	講義資料の見直し	13	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
6	事前学習	講義資料の見直し	14	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	総まとめ
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
7	事前学習	講義資料の見直し	15	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	総まとめ
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
8	事前学習	講義資料の見直し			
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。			
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅰ（プレゼン）	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	矢澤　健太郎		
実務経験 教員紹介			

講義概要
特別演習Ⅰ（経営基礎）という講義科目のため、経済、経営の基礎的用語を理解することに主眼を置く。学術的体系の理論と、それが実務においていかに実践されたかという「理論と実践」の両面から授業を展開する。授業では、自分の問いを持ち、先行研究を整理・検討し、自らの見解を示すことを繰り返していく。
達成目標
授業はアクティブ・ラーニング（双方向の対話型授業）を取り入れる。学生自らが「先生はこのように説明したが、私は次のように考える」という自分の見解を述べるようになることを到達目標とする。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「市場」(「しじょう」と「いちば」の違い)		授業計画	「日本の雇用形態」(正社員、契約社員、派遣社員の違い)
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本の新聞を読んでみる
2	事前学習	前回勉強した内容の復習	10	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「投資と融資」、「投資家と債権者の違い」		授業計画	「経済危機と銀行封鎖」(銀行封鎖の危機の歴史から学ぶ)
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本の新聞を読んでみる
3	事前学習	前回勉強した内容の復習	11	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「金利と利息」(変動金利と固定金利の利点など)		授業計画	「赤字倒産と黒字倒産」(なぜ黒字で倒産するのか)
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本の新聞を読んでみる
4	事前学習	前回勉強した内容の復習	12	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「株価とは何か」(株価＝配当÷利子率の公式について)		授業計画	「日本の給与体系」(基本給、資格手当、役職手当、残業手当など)
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本の新聞を読んでみる
5	事前学習	前回勉強した内容の復習	13	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「為替（かわせ)」(お金自体が商品になるのは何故か)		授業計画	「日本銀行とメインバンク」(日本銀行の役割とは？)
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本の新聞を読んでみる
6	事前学習	前回勉強した内容の復習	14	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「粗利」(実務家の考える利益には何があるか)		授業計画	前期のまとめ＋定期試験への対策
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本の新聞を読んでみる
7	事前学習	前回勉強した内容の復習	15	事前学習	定期試験対策
	授業計画	「開発経済という用語」(国の豊かさの基準と各国の比較)		授業計画	定期試験（文章問題を 2 題出題）
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
8	事前学習	前回勉強した内容の復習			
	授業計画	「SDGｓ」(サステナビリティとは何か)			
	事後学習	日本の新聞を読んでみる			

評価方法　　出席状況：70%　定期試験：30%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　教科書は使用しない。担当教員による自作プリントを配布。
　　出版社
参考書　著者名　　岸本 重陳
　　タイトル　『新版 経済のしくみ 100 話 』
　　出版社　　岩波書店（岩波ジュニア新書）(1994 年出版)

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	矢澤　健太郎		
実務経験 教員紹介			

講義概要
特別演習Ⅱ（経営基礎）という講義科目のため、経済、経営の基礎的用語を理解することに主眼を置く。学術的体系の理論と、それが実務においていかに実践されたかという「理論と実践」の両面から授業を展開する。授業では、自分の問いを持ち、先行研究を整理・検討し、自らの見解を示すことを繰り返していく。
達成目標
授業はアクティブ・ラーニング（双方向の対話型授業）を取り入れる。学生自らが「先生はこのように説明したが、私は次のように考える」という自分の見解を述べるようになることを到達目標とする。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「家計、企業、政府の経済は、何が同じで、何が違うのか」		授業計画	「日本経済の現状」（なぜゼロ金利が続いているのですか？）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
2	事前学習	前回勉強した内容の復習	10	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「資本主義体制の成立と発展の歴史から学ぶ」		授業計画	「公害と地球環境危機」（企業の社会的存在意義との関連で考える）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
3	事前学習	前回勉強した内容の復習	11	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「生産の仕組みと企業の役割」（社会の経済制度とは何か）		授業計画	「経済援助は貧困を削減できるのか？」（経済支援のあり方について）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本の新聞を読んでみる
4	事前学習	前回勉強した内容の復習	12	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「市場経済の機能と限界」（価格と価値は何が違うのか）		授業計画	「中小企業が支える日本経済」（大企業が常に良いとは限らない理由）
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
5	事前学習	前回勉強した内容の復習	13	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「グローバル化経済のもとでの国民所得と経済成長」		授業計画	「国際経済体制の展開」（多国籍企業の条件とは？）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
6	事前学習	前回勉強した内容の復習	14	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「金融の仕組みと機能」（銀行、証券会社、ヘッジファンドとは？）		授業計画	後期のまとめ＋定期試験への対策
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
7	事前学習	前回勉強した内容の復習	15	事前学習	定期試験対策
	授業計画	「財政の仕組みと機能」（赤字国債って健全なのですか？）		授業計画	定期試験（文章問題を 2 題出題）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
8	事前学習	前回勉強した内容の復習			
	授業計画	「日本経済のあゆみ」（財閥解体からバブル崩壊まで）			
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる			

評価方法　　出席状況：70%　定期試験：30%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　教科書は使用しない。担当教員による自作プリントを配布。
　　出版社
参考書　著者名　　岸本 重陳
　　タイトル　『新版 経済のしくみ 100 話 』
　　出版社　　岩波書店（岩波ジュニア新書）（1994 年出版）

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	井上　誕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本語の N3 から N1 の文法を表現別に学習する。レベル別ではなく、表現別に学習することで、日本語能力にこだわることなく、個々の理解を促す取組みが可能となる。インプットからなるべく幅広いアウトプットを念頭に置いた授業展開とする。
達成目標
日本語の N3 から N1 の重要表現文型を学習、理解し、使用できるようにする。学生の自己学習においても、インプットからなるべく複数のアウトプットを生み出す思考を習慣化させる。

授業計画

1	事前学習	授業準備	9	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の強調表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	N3 から N1 の時間２表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	まとめのプリント
2	事前学習	まとめのプリント	10	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の話題表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	N3 から N1 の起点、終点表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	まとめのプリント
3	事前学習	まとめのプリント	11	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の限定表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	N3 から N1 の限界、範囲表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	まとめのプリント
4	事前学習	まとめのプリント	12	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の付帯、非付帯表現の文型の学習、内容理解度チェック問題		授業計画	N3 から N1 の進行、相関関係表現文型の学習、内容理解度チェック問題
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	まとめのプリント
5	事前学習	まとめのプリント	13	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の否定表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	N3 から N1 の可能、不可能表現の文型の学習、内容理解度チェック問題
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	まとめのプリント
6	事前学習	まとめのプリント	14	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の部分否定表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	これまでに学習した表現の復習、確認、
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	テスト勉強
7	事前学習	まとめのプリント	15	事前学習	総復習
	授業計画	N3 から N1 の時点、場面の文型の学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	定期試験
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	テストの振り返り
8	事前学習	まとめのプリント			
	授業計画	N3 から N1 の時間１表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題			
	事後学習	まとめのプリント			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	井上　誕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本語の N3 から N1 の文法を表現別に学習する。レベル別ではなく、表現別に学習することで、日本語能力にこだわることなく、個々の理解を促す取組みが可能となる。インプットからなるべく幅広いアウトプットを念頭に置いた授業展開とする。
達成目標
日本語の N3 から N1 の重要表現文型を学習、理解し、使用できるようにする。学生の自己学習においても、インプットからなるべく複数のアウトプットを生み出す思考を習慣化させる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の比較、程度の表現の文型学習、内容理解度チェック		授業計画	N3 から N1 の無関係表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	まとめのプリント
2	事前学習	まとめのプリント	10	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の対比表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	N3 から N1 の無視、例外表現の文型学習と、内容理解度チェック問題
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	まとめのプリント
3	事前学習	まとめのプリント	11	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の非限定表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	N3 から N1 の例示表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	まとめのプリント
4	事前学習	まとめのプリント	12	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の付加表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	N3 から N1 の逆説、譲歩表現１の文型学習と、内容理解度チェック問題
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	まとめのプリント
5	事前学習	まとめのプリント	13	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の評価の視点表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	N3 から N1 の逆説、譲歩表現２の文型学習と、内容理解度チェック問題
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	まとめのプリント
6	事前学習	まとめのプリント	14	事前学習	まとめのプリント
	授業計画	N3 から N1 の判断の立場の表現の文型学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	今期の学習内容の復習
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	テスト勉強
7	事前学習	まとめのプリント	15	事前学習	総復習
	授業計画	N3 から N1 の基準表現の文型の学習と、内容理解度チェック問題		授業計画	定期試験
	事後学習	まとめのプリント		事後学習	テストの振り返り
8	事前学習	まとめのプリント			
	授業計画	N3 から N1 の関連、対応表現の文型学習と、内容理解度チェック問題			
	事後学習	まとめのプリント			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	通訳技術・翻訳技術 I	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	中村　光子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本科目はビジネス通訳・翻訳により専門性の高いスキルを身に付ける。習った翻訳概論をベースとして、スキルアップの練習をしていくため、通訳・翻訳概要の理解と同時にビジネス日本語を高めることを重点に学習します。質の高い通訳、翻訳の力をつけるための訓練をします。
達成目標
場面により通訳、翻訳のスキルや、言い回し、心遣いが異なる為、通訳、翻訳に関して前期に学んだ基礎を踏まえ、専門性の高いスキルを身に付ける。そして、質の高い通訳力や翻訳力を高める。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	通訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
3	事前学習	講義資料の見直し	11	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
4	事前学習	講義資料の見直し	12	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
5	事前学習	講義資料の見直し	13	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
6	事前学習	講義資料の見直し	14	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	総まとめ
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
7	事前学習	講義資料の見直し	15	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。		授業計画	総まとめ
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
8	事前学習	講義資料の見直し			
	授業計画	翻訳技術、知識とビジネス日本語を身に付ける。			
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	小池　勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT 企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
社会人として知っておくべき一般常識、時事問題から、私たちに関係の深い身の回りのトピックを選び、その背景や生活、業界、社会に与える影響について理解を深める。特に 1 年次では、問題意識の醸成を意識して、課題認識に必要な基礎的な用語、考え方、フレームワークについて具体的な例を示しながら学ぶ。
達成目標
講義で取り上げる重要なキーワードの意味を正しく理解し、それを基に私たちの周りで起こっている様々な問題の原因や対策、解決について当事者意識を持ち、自分なりに意見を整理して他者に発表できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自分の強み弱みを考えておく
	授業計画	講義ガイダンス なぜ「時事問題」を学ぶのか？		授業計画	テーマ「コア・コンピタンス」 競争力を生み出す強みとは
	事後学習	毎日ニュースを確認しよう		事後学習	興味のある企業の強みを調べる
2	事前学習	自分の価値観の特徴を考えておく	10	事前学習	信用できるものの実例を考えておく
	授業計画	テーマ「マインドセット」 人や組織が持っている思考パターン		授業計画	テーマ「信頼」 ビジネスにおける信用・信頼とは
	事後学習	自分のマインドセットを知る		事後学習	自分の信用力について考えてみる
3	事前学習	自分が共感するものを見つける	11	事前学習	貧困の意味を調べておく
	授業計画	テーマ「共感」 他者と喜怒哀楽の感情を共有する		授業計画	テーマ「貧困のない世界」 貧困と持続可能性について
	事後学習	共感に対する自分の傾向を知る		事後学習	自分にできる行動を実行する
4	事前学習	管理者とリーダーの違いを考える	12	事前学習	環境問題の実例を調べておく
	授業計画	テーマ「管理者とリーダー」 他者を導く能力		授業計画	テーマ「地球保護」 地球保護と持続可能性について
	事後学習	リーダーシップを発揮しよう		事後学習	自分にできる行動を実行する
5	事前学習	常識を変えた商品を調べてみる	13	事前学習	豊さとは何かについて考えておく
	授業計画	テーマ「パラダイムとパラダイムシフト」競争のルールが変わる		授業計画	テーマ「平和と豊かさ」 豊さの追求と持続可能性について
	事後学習	パラダイムシフトを予想してみよう		事後学習	自分にできる行動を実行する
6	事前学習	自分の好きな企業の CSR を調べる	14	事前学習	後半の講義のノート整理
	授業計画	テーマ「CSR＝企業の社会的責任」 ビジネスで社会をより良く変える		授業計画	講義のまとめ（期末試験前の振り返り）
	事後学習	自分の好きな企業の CSR を調べる		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	前半の講義のノート整理	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	事例研究（ビデオ視聴）		授業計画	期末テストこれまで学修したキーワードの理解度をテストする
	事後学習	ビデオの感想をまとめてみる		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	他者から感謝された経験をまとめる			
	授業計画	テーマ「貢献＝Contribution」 義務・責任と貢献を考える			
	事後学習	自分が貢献できる事を実行してみる			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：60%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　新聞、Web サイトなどから適宜引用
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅱ	単位	2単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	小池　勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
SDGｓを考える上で参考となる最新のトピックスを取り上げ、国際的な社会人として知っておくべき課題と、それが今後の自分自身の生活や仕事にどのような影響を及ぼす可能性があるのかを考える。講義は学生にとって身近に感じられる事例を取り上げ、双方向のディスカッションを重視する。
達成目標
SDGｓを理解し、課題に対して「自分の考えをまとめ、それを他者に伝え理解してもらう」という体験を通じて、客観的多角的に課題を認識し、主体的に意見を表明して他者と合意形成することの重要性を理解する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	発表内容をまとめておく
	授業計画	講義ガイダンス なぜ「SDGｓ」を学ぶのか？		授業計画	選んだ目標について、グループの意見をまとめ発表する
	事後学習	SDGｓとは何かを理解する		事後学習	他のグループの発表内容を理解する
2	事前学習	目標１、２について調べておく	10	事前学習	目標１３、１４について調べておく
	授業計画	「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」		授業計画	「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」
	事後学習	ディスカッションの内容を整理する		事後学習	ディスカッションの内容を整理する
3	事前学習	目標３、４について調べておく	11	事前学習	目標１５，１６について調べておく
	授業計画	「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに」		授業計画	「陸の豊かさも守ろう」「平和と公正をすべての人に」
	事後学習	ディスカッションの内容を整理する		事後学習	ディスカッションの内容を整理する
4	事前学習	目標５、６について調べておく	12	事前学習	目標１７について調べておく
	授業計画	「ジェンダー平等を実現しよう」「安全な水とトイレを世界中に」		授業計画	「パートナーシップで目標を達成しよう」
	事後学習	ディスカッションの内容を整理する		事後学習	ディスカッションの内容を整理する
5	事前学習	発表内容をまとめておく	13	事前学習	発表内容をまとめておく
	授業計画	選んだ目標について、グループの意見をまとめ発表する		授業計画	選んだ目標について、グループの意見をまとめ発表する
	事後学習	他のグループの発表内容を理解する		事後学習	他のグループの発表内容を理解する
6	事前学習	目標７、８について調べておく	14	事前学習	これまでの講義のノート整理
	授業計画	「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」「働きがいも経済成長も」		授業計画	講義のまとめ（期末試験前の振り返り）
	事後学習	ディスカッションの内容を整理する		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	目標９、１０について調べておく	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	「産業と技術革新の基盤をつくろう」「人や国の不平等をなくそう」		授業計画	期末試験
	事後学習	ディスカッションの内容を整理する		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	目標１１、１２について調べておく			
	授業計画	「住み続けられるまちづくりを」「つくる責任、つかう責任」			
	事後学習	ディスカッションの内容を整理する			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（　　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナー	単位	2単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴37年　イメージコンサルタント歴15年　話し方指導16年　ビジネスマナー講師歴10年		

講義概要
学生と社会人との違いを認識し、ビジネスシーンでの身だしなみや最低限守るべきマナー・ルールを学ぶとともに、日本社会で信頼され、活躍できる人材の育成を目指す。また、多国籍の集団の中で、良好な人間関係を築くための対面およびオンラインコミュニケーションを学び、日常生活でも実践できるよう指導する。
達成目標
ビジネススーツを正しく着こなす。好印象の挨拶・お辞儀などの基本動作が出来るようになる。就業マナーや会社組織、敬語の使い分け、電話応対の基本知識を理解し、実践できるようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	他国出身の友達を5人　紹介準備
	授業計画	講義の進め方とルール、当科目の学習目的を理解し目標をたてる		授業計画	指示の受け方　報告・連絡・相談と5W3H
	事後学習	3か月後の姿を言語化する		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
2	事前学習	自己紹介の内容となる材料を集める	10	事前学習	敬語置き換え一覧表を印刷する
	授業計画	共に過ごす未来を意識した自己紹介の準備方法		授業計画	ビジネス会話の基本　敬語の種類と動詞の置き換え一覧表作成
	事後学習	1分間自己紹介の準備をする		事後学習	敬語置き換え一覧表を覚える
3	事前学習	自己紹介を声に出して5回練習する	11	事前学習	フォームを使って敬語小テスト
	授業計画	学生と社会人の違いを５つの視点で比較する		授業計画	敬語の使い分け　内と外　間違いやすい敬語
	事後学習	フォームで自己紹介内容を報告		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
4	事前学習	外出準備の行動を言語化する	12	事前学習	日常生活で敬語会話を積極的に実践
	授業計画	大人としての自己責任　第一印象の重要性　メラビアンの法則		授業計画	ビジネスコミュニケーションの優先順位と使い分け
	事後学習	第一印象要点を200字でまとめる		事後学習	フォームで敬語会話の実践報告
5	事前学習	身だしなみチェック表を記入する	13	事前学習	興味のある日本企業のHPを探す
	授業計画	おしゃれと身だしなみの違い　スーツの着方　準備と手入れ方法		授業計画	電話応対①　電話のかけ方マナー　電話メモの取り方
	事後学習	スーツの手入れと靴磨きをする		事後学習	アポ電話の台詞を用意する
6	事前学習	姿勢の良い人の特徴を観察する	14	事前学習	電話応対会話資料を印刷する
	授業計画	正しい姿勢での立ち方・座り方・お辞儀・入退出動作実習		授業計画	電話応対②　電話の取り次ぎ　状況別応対シミュレーション
	事後学習	1日3回各1分間壁立ち姿勢確認		事後学習	配布資料を確認しノートを整備する
7	事前学習	身近な人の役職を調べる	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	日本企業のタテ組織、ヨコ組織　人間関係構築の基本		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームで役職名問題を解く		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	配布資料を確認しノート整備			
	授業計画	シーン別挨拶の実習　オンライン画面の映り方イメージアップ法			
	事後学習	初対面の相手への挨拶練習10回			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われる図解ビジネスマナー
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Microsoft Word の操作を中心に、コンピュータによる文書作成の基礎を学びます。 Word の基本操作、日本語による文章入力、ビジネス文書の作成ルールなどについて実習による習得します。 講義内容は MOS Word 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） Microsoft Word の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅） 希望者は MOS Word を受験・合格

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「ガイダンス・コンピュータの基礎」 コンピュータのしくみ、入力方法		授業計画	「リスト」 箇条書きの作成、段落番号の作成
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
2	事前学習	ローマ字の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語入力」 ローマ字による日本語入力方法		授業計画	「クリップボード・検索と置換」 コピー・移動、検索、置換
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	ローマ字の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語文章入力」 文節の漢字変換を伴う短文入力方法		授業計画	「目次、用紙設定」 目次の追加、用紙・余白等の設定
	事後学習	入力練習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定１」フォント種、サイズ等の設定、文字揃えの設定		授業計画	「表の作成１」 表の作成、デザイン変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定２」フォントの色、インデント、あいさつ文		授業計画	「表の作成２」 表のレイアウト設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「行と段落」 行間の設定、段落設定		授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	テストに向けての総復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	定期試験
	事後学習	テストの見直し		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「テーマ、スタイル」 テーマの変更、スタイルの設定			
	事後学習	操作の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名　FOM 出版
　　タイトル　Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Microsoft Word と PowerPoint の操作を中心に、コンピュータによる文書作成やプレゼン資料の作成について学びます。 日本語による文章入力、画像編集、書類デザインなどについて実習による習得します。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） Microsoft Word の基本操作 Microsoft PowerPoint の基本操作

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「1 年時の復習小テスト」 小テストと解説		授業計画	「画像（写真・イラスト）」 画像の挿入・編集
	事後学習	テストの見直し		事後学習	操作の復習
2	事前学習	前回の操作の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「テーマ、スタイル」 テーマの変更、スタイルの設定		授業計画	「図形」図形の追加・編集、、テキストボックスの追加
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	前回の操作の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「リスト」 箇条書きの作成、段落番号の作成		授業計画	「PowerPoint の基本」 画面構成、スライド追加、テーマ
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「クリップボード・検索と置換」 コピー・移動、検索、置換		授業計画	「スライドの作成・編集」 フォント・段落・箇条書き設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「目次、用紙設定」 目次の追加、用紙・余白等の設定		授業計画	「アニメーション・画面切り替え」
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「表の作成１」 表の作成、デザイン変更		授業計画	「スライドショーの実行と印刷」 スライドショーの設定、印刷設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
7	事前学習	前回の操作の復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「表の作成２」 表のレイアウト設定		授業計画	定期試験
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「ヘッダーとフッター」ヘッダー、フッターの設定、ページ番号			
	事後学習	操作の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経営学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	矢澤　健太郎		
実務経験 教員紹介			

講義概要
経営学Ⅰという講義科目のため、マネジメントの基礎的概念を理解することに主眼を置く。学術的体系の理論と、それが実務においていかに実践されたかという「理論と実践」の両面から授業を展開する。授業では、自分の問いを持ち、先行研究を整理・検討し、自らの見解を示すことを繰り返していく。
達成目標
授業はアクティブ・ラーニング（双方向の対話型授業）を取り入れる。学生自らが「先生はこのように説明したが、私は次のように考える」という自分の見解を述べるようになることを到達目標とする。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	豊かな社会とは？（戦後の奇跡的な経済発展について）		授業計画	市場から管理へ（商業社会、産業社会の概念の大切さ）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
2	事前学習	前回勉強した内容の復習	10	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	大企業とは何か（社会の経済的制度の考え方）		授業計画	ドラッカーの企業論（なぜドラッカーは企業を社会的制度と考えたのか）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
3	事前学習	前回勉強した内容の復習	11	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「生産の仕組みと企業の役割」（社会の経済制度とは何か）		授業計画	企業と官僚制（マックス・ウェーバーの支配理論）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本の新聞を読んでみる
4	事前学習	前回勉強した内容の復習	12	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	企業の長期戦略（多角化と商品戦略、企業の寿命など）		授業計画	企業の社会的責任（企業は環境問題に責任がとれるのか）
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
5	事前学習	前回勉強した内容の復習	13	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	企業の国際化（多国籍企業と海外進出のプロセス）		授業計画	家としての日本企業（日本企業の行動様式の特質）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
6	事前学習	前回勉強した内容の復習	14	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	株式会社の機能と構造（資本構造、組織構造、株主の権利と利益）		授業計画	前期のまとめ＋定期試験への対策
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
7	事前学習	前回勉強した内容の復習	15	事前学習	定期試験対策
	授業計画	株式会社の法制度と実態との乖離（ガバナンスとはなぜ必要なのか）		授業計画	定期試験（文章問題を 2 題出題）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
8	事前学習	前回勉強した内容の復習			
	授業計画	大企業を支配するのは誰か（会社は誰のものか）			
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる			

評価方法　　出席状況：70%　定期試験：30%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　教科書は使用しない。担当教員による自作プリントを配布。
　　出版社
参考書　著者名　　三戸公
　　タイトル　『管理とは何か 』
　　出版社　　文眞堂（2002 年出版）

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	矢澤　健太郎		
実務経験 教員紹介			

講義概要
経営学Ⅱという講義科目のため、マネジメントの基礎的概念を理解することに主眼を置く。学術的体系の理論と、それが実務においていかに実践されたかという「理論と実践」の両面から授業を展開する。授業では、自分の問いを持ち、先行研究を整理・検討し、自らの見解を示すことを繰り返していく。
達成目標
授業はアクティブ・ラーニング（双方向の対話型授業）を取り入れる。学生自らが「先生はこのように説明したが、私は次のように考える」という自分の見解を述べるようになることを到達目標とする。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	企業形態の違い（大企業と中小企業のメリット、デメリット）		授業計画	マックス・ウェーバーの「人間疎外」の概念
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
2	事前学習	前回勉強した内容の復習	10	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	組織の多角化と再編成（拡大と縮小のメリット、デメリット）		授業計画	バーナードの組織論（経済人仮説と全人仮説の違い）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
3	事前学習	前回勉強した内容の復習	11	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	組織文化と企業倫理（社長の性格で変化する組織文化）		授業計画	ドラッカーの管理論（自由＝責任ある選択の管理論）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本の新聞を読んでみる
4	事前学習	前回勉強した内容の復習	12	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	経営理念とプラットフォーム（経営ビジョンと組織の形態）		授業計画	日本型人事システム（家としての日本企業）
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
5	事前学習	前回勉強した内容の復習	13	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	販売戦略と組織編成（垂直統合、水平統合、コングロマリットの異同）		授業計画	組織論、管理論の再確認（テイラー、バーナード、ドラッカー）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
6	事前学習	前回勉強した内容の復習	14	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	リーダーってどんな人（リーダーシップの諸理論）		授業計画	後期のまとめ＋定期試験への対策
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
7	事前学習	前回勉強した内容の復習	15	事前学習	定期試験対策
	授業計画	マズローの欲求段階説とモチベーションの諸理論		授業計画	定期試験（文章問題を 2 題出題）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
8	事前学習	前回勉強した内容の復習			
	授業計画	異文化組織（グローカリゼーションという用語）			
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる			

評価方法　　出席状況：70%　定期試験：30%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　教科書は使用しない。担当教員による自作プリントを配布。
　　出版社
参考書　著者名　　三戸公
　　タイトル　『管理とは何か 』
　　出版社　　文眞堂（2002 年出版）

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	簿記Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記･簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か　意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	売掛金・買掛金について調べる
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし､勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B) の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	子記録債権･電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（３）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権･債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表　簿記Ｉの具体的作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳　株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権･債務の記帳　これからの時代の債権・債務を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（２）　貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務的種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（１）決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	範囲の復習をしっかりやろう
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（２）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネス検定Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、商業簿記の基礎を解説する。そのうえで株式会社における簿記手続き（簿記一巡）の知識を提供するだけではなく、その先にある会計の世界への「入場チケット」を提供するものである。広く深い世界である会計とそれを支える簿記という技術の基礎的で包括的な理解の初歩を目指す（中級レベル）
達成目標
現実のビジネスの取引について理解し、基礎的な財務諸表の読み方が分かるようになる。全経簿記 3 級から日商簿記 3 級程度の知識を得て、資格試験に合格できるようになる。そして、その先にチャレンジする（中級レベル）

授業計画

1	事前学習	宿題プリント	9	事前学習	宿題プリント
	授業計画	その他債権債務（立替・預り、前払・前受）について解説する①		授業計画	決算整理仕訳とその仕訳と計算法について解説③
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
2	事前学習	宿題プリント	10	事前学習	宿題プリント
	授業計画	その他債権債務（立替・預り、前払・前受）について解説する②		授業計画	決算整理仕訳とその仕訳と計算法について解説④
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
3	事前学習	宿題プリント	11	事前学習	宿題プリント
	授業計画	その他債権債務（立替・預り、前払・前受）について解説する③		授業計画	総合問題（精算表など）について解説する①
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
4	事前学習	宿題プリント	12	事前学習	宿題プリント
	授業計画	その他債権債務（未収・未払、仮払・仮受）について解説する④		授業計画	総合問題（精算表など）について解説する①
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
5	事前学習	宿題プリント	13	事前学習	宿題プリント
	授業計画	その他の費用について解説する		授業計画	総合問題（精算表など）について解説する②
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
6	事前学習	宿題プリント	14	事前学習	宿題プリント
	授業計画	税金の記帳（法人税や消費税等）について解説する		授業計画	総合問題（精算表など）について解説する③
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
7	事前学習	宿題プリント	15	事前学習	なし
	授業計画	決算整理仕訳とその仕訳と計算法について解説①		授業計画	定期試験
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	なし
8	事前学習	宿題プリント			
	授業計画	決算整理仕訳とその仕訳と計算法について解説②			
	事後学習	授業中のプリントの復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　講義において適宜参考図書を例示する
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	実用外国語Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	井上　誕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本語の会話において、特に重要となる会話表現の文型の場面ごとの使い方を確認し、話し相手との関係性による表現の変化や、感情によるアクセントの変化など、微妙なニュアンスではあるが、そこを間違ってしまうと伝わり方も大きく変わってしまう点を確認しながら会話力の基礎を学ぶ。
達成目標
会話相手との関係性や距離感などによって、表現を使い分けたり、聞き手の感情を読み取りながら、話し手の感情の込め方をコントロールすることで、スムーズかつ「空気を読んだ」会話が実践できるようになることを目指す。

授業計画

1	事前学習	テキスト該当部の予習	9	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	基本最重要文型①　～ね／～よ／～よね		授業計画	重要文型⑤　～ていい[許可]／～ないと／～ません
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
2	事前学習	テキスト該当部の予習	10	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	基本最重要文型②　～か／～の？／～の		授業計画	重要文型⑥　～って[話題]／～けど[話題]／～はいい
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
3	事前学習	テキスト該当部の予習	11	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	基本最重要文型③　～んだ／～んです／～って		授業計画	重要文型⑦　～にいい／～でいい／～しか～ない
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
4	事前学習	テキスト該当部の予習	12	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型①　～てる／～とく／～ちゃう		授業計画	重要文型⑧　～とか／～なら／～なんか
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
5	事前学習	テキスト該当部の予習	13	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型②　～ところ／～たばかり／～たら		授業計画	重要文型⑨　～ばかり／～みたい／～という
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
6	事前学習	テキスト該当部の予習	14	事前学習	テキスト該当部の予習
	授業計画	重要文型③　～たり／～といい／～そう		授業計画	重要文型⑩　～ということ／～ていい[ほめる]／けっこう
	事後学習	扱った会話表現の音声確認		事後学習	扱った会話表現の音声確認
7	事前学習	前半部の総復習	15	事前学習	総復習
	授業計画	小テスト		授業計画	期末テスト
	事後学習	理解できなかった内容の振り返り		事後学習	理解できなかった内容の振り返り
8	事前学習	テキスト該当部の予習			
	授業計画	重要文型④　～はずがない／～わけじゃない／～わけにはいかない			
	事後学習	扱った会話表現の音声確認			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：60%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　水谷　信子
　　タイトル　わかる！話せる！日本語会話
　　出版社　　Ｊリサーチ出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	実用外国語Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	井上　誕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
ニュースの内容を聞き取る、新聞の内容を読み取るなど、生活の中で必要な日本語の実用能力を鍛えて伸ばす。「聞く」だけでなく、「聞いて書く」、「読む」だけでなく「読んで話す」といった四技能を様々な角度からつなぎ合わせ、インプットからただのアウトプットではなく、複合的なアウトプットができるような訓練をする。
達成目標
得た情報を自分の頭の中で整理をし、その情報に自分の意見や考えを加えた形でまとめた情報を発信できるようにする。その課程をスムーズにすることで、実用的、さらに応用的なコミュニケーション能力の修得を目指す。

授業計画

1	事前学習	教材の新語彙を調べ理解しておく。	9	事前学習	私の今週一番のニュースを決める。
	授業計画	最新ニュースを見て、聞いて、読んで、自分の意見をまとめ、発表。		授業計画	私の今週一番のニュースの発表。意見交換。ディスカッション。
	事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。		事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。
2	事前学習	教材の新語彙を調べ理解しておく。	10	事前学習	私の今週一番のニュースを決める。
	授業計画	最新ニュースを見て、聞いて、読んで、自分の意見をまとめ、発表。		授業計画	私の今週一番のニュースの発表。意見交換。ディスカッション。
	事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。		事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。
3	事前学習	教材の新語彙を調べ理解しておく。	11	事前学習	私の今週一番のニュースを決める。
	授業計画	最新ニュースを見て、聞いて、読んで、自分の意見をまとめ、発表。		授業計画	私の今週一番のニュースの発表。意見交換。ディスカッション。
	事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。		事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。
4	事前学習	教材の新語彙を調べ理解しておく。	12	事前学習	私の今週一番のニュースを決める。
	授業計画	最新ニュースを見て、聞いて、読んで、自分の意見をまとめ、発表。		授業計画	私の今週一番のニュースの発表。意見交換。ディスカッション。
	事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。		事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。
5	事前学習	教材の新語彙を調べ理解しておく。	13	事前学習	私の今週一番のニュースを決める。
	授業計画	最新ニュースを見て、聞いて、読んで、自分の意見をまとめ、発表。		授業計画	私の今週一番のニュースの発表。意見交換。ディスカッション。
	事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。		事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。
6	事前学習	教材の新語彙を調べ理解しておく。	14	事前学習	私の今週一番のニュースを決める。
	授業計画	最新ニュースを見て、聞いて、読んで、自分の意見をまとめ、発表。		授業計画	私の今週一番のニュースの発表。意見交換。ディスカッション。
	事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。		事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。
7	事前学習	教材の新語彙を調べ理解しておく。	15	事前学習	総復習
	授業計画	前回までに扱った内容の理解度測定としての小テスト		授業計画	期末試験
	事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。		事後学習	理解できなかった問題の振り返り
8	事前学習	私の今週一番のニュースを決める。			
	授業計画	私の今週一番のニュースの発表。意見交換。ディスカッション。			
	事後学習	当日扱ったニュースを検索し読む。			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：60%　＜（　　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネス外国語Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	土肥　義充		
実務経験 教員紹介			

講義概要
大学・大学院への進学だけでなく、日本企業等への就職を希望者を対象に、最新のビジネス日本語を学びながらビジネス文化への理解と知識を深め、将来現場で役に立つ実践的なコミュニケーション能力を養う。聴読解を通しての情報収集力、そして発話力を身につけながら総合的な日本語能力の向上を図る。
達成目標
①ビジネス慣習の把握と理解　②歴史・文化に根付く「ことわざ・慣用語」と最新カタカナ語の習得　②新聞、テレビ、ネット情報の積極的な取得　③それらを社会、ビジネス現場で活かせる適応力を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自主課題学習
	授業計画	自己紹介と TIBC 卒業後の将来の目標について		授業計画	「ビジネス日本語」3 課会話練習
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義復習
2	事前学習	自主課題学習	10	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課読解		授業計画	「ビジネス日本語」3 課までの復習と慣用語
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自主課題学習	11	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課文法		授業計画	「ビジネス日本語」4 課読解と文法
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自主課題学習	12	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課会話		授業計画	「ビジネス日本語」4 課会話練習
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自主課題学習	13	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課会話練習		授業計画	「ビジネス日本語」5 課読解と文法
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自主課題学習	14	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」2 課読解と文法		授業計画	「ビジネス日本語」5 課会話練習
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自主課題学習	15	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」2 課会話練習		授業計画	「ビジネス日本語」5 課までの復習と慣用語
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
8	事前学習	自主課題学習			
	授業計画	「ビジネス日本語」3 課読解と文法			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　千駄ヶ谷日本語教育研究所
　　タイトル　ケーススタディで学ぶ　ビジネス日本語
　　出版社　　スリーエー
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で紹介
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネス外国語Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	土肥　義充		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期「ビジネス外国語Ⅰ」の継続。大学・大学院進学だけでなく、日本企業等への就職を希望者を対象に、最新のビジネス日本語を学びながらビジネス文化への理解と知識を深め、将来現場で役に立つ実践的なコミュニケーション能力を養う。聴読解を通しての情報収集力、そして発話力を身につけながら総合的な日本語能力の向上を図る。
達成目標
①ビジネス慣習の把握と理解　②歴史・文化に根付く「ことわざ・慣用語」と最新カタカナ語の習得　②新聞、テレビ、ネット情報の積極的な取得　③それらを社会、ビジネス現場で活かせる適応力を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	前期の総復習と講義の進め方＆学習方法など		授業計画	ビジネス日本語中級（９）会話／慣用語
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義復習と宿題
2	事前学習	自習課題の学習	10	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（６）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１０）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
3	事前学習	自習課題の学習	11	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（６）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１０）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
4	事前学習	自習課題の学習	12	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（７）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１１）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
5	事前学習	自習課題の学習	13	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（７）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１１）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
6	事前学習	自習課題の学習	14	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（８）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１２）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
7	事前学習	自習課題の学習	15	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（８）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１２）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	テストの振り返り
8	事前学習	自習課題の学習			
	授業計画	ビジネス日本語中級（９）読解・文法／慣用語			
	事後学習	講義復習と宿題			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　千駄ヶ谷日本語教育研究所
　　タイトル　ケーススタディで学ぶ　ビジネス日本語
　　出版社　　スリーエー
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で紹介
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティⅠ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	小池　勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT 企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
一般的に「ホスピタリティ」とは、「おもてなし」や「心配り」など、サービスの延長線上にあるものとして混同、誤解されている場合が多い。本講義では、様々な事例を紹介しながら、サービスとホスピタリティの違い、「相手の立場になって、考え、行動する」というホスピタリティの基本的な考え方を学ぶ。
達成目標
サービスが一定水準の対応を提供する「1 人対多数」の技術であるのに対し、ホスピタリティとは「1 人対 1 人」の関係構築能力である。各自が普段の生活の中でホスピタリティを発揮できるようその本質を理解する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	旅客運送業の Web サイトを調べる
	授業計画	講義ガイダンス　なぜ「ホスピタリティ論」を学ぶのか？		授業計画	②業界・職業研究／「バス・鉄道・航空業界」の仕事について
	事後学習	生活の中でホスピタリティを探す		事後学習	旅客運送業界を理解する
2	事前学習	サービスとは何かを調べる	10	事前学習	宿泊業界の Web サイトを調べる
	授業計画	「社会のサービス化とは」モノ消費からコト消費、イミ消費の時代へ		授業計画	③業界・職業研究／「旅館・ホテル業界」の仕事について
	事後学習	消費スタイルの変遷を理解する		事後学習	宿泊業界を理解する
3	事前学習	サービスの商品例を調べる	11	事前学習	テーマパークの Web サイトを調べる
	授業計画	「商品としてのサービス」 サービスとは何か？		授業計画	④業界・職業研究／「テーマパーク」の仕事について
	事後学習	なぜサービスを買うのかを理解する		事後学習	テーマパーク業界を理解する
4	事前学習	サービスの評価方法を調べる	12	事前学習	飲食小売業界の Web サイトを調べる
	授業計画	「サービス品質とは？」 サービス品質の特徴と品質基準		授業計画	⑤業界・職業研究／「飲食・小売り業界」の仕事について
	事後学習	サービスの良し悪しを理解する		事後学習	飲食小売業界を理解する
5	事前学習	ホスピタリティとは何かを調べる	13	事前学習	冠婚葬祭業界の Web サイトを調べる
	授業計画	サービスとホスピタリティの違い ホスピタリティの定義とサービスとの関係		授業計画	⑥業界・職業研究／「冠婚葬祭業界」の仕事について
	事後学習	ホスピタリティの定義を理解する		事後学習	冠婚葬祭業界を理解する
6	事前学習	組織文化とは何かについて調べる	14	事前学習	これまでの講義のノート整理
	授業計画	「組織文化とホスピタリティ」 ホスピタリティが生まれやすい企業文化とは？		授業計画	講義のまとめ（期末試験前の振り返り）
	事後学習	組織文化とは何かを理解する		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	ホスピタリティ産業とは何か調べる	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	「ホスピタリティ産業の未来」 現状と今後の課題		授業計画	期末試験
	事後学習	ホスピタリティ産業の課題を知る		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	旅行業界の Web サイトを調べる			
	授業計画	①業界・職業研究／「旅行業界」の仕事について			
	事後学習	旅行業界を理解する			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　　課題・小テスト　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　教科書は指定せず、適宜、プリント等を配布
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル　新聞、Web サイトなどから適宜引用
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティⅡ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	中村　光子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
人間の心理を学び、サービス業界のホスピタリティを学ぶ。サービスとホスピタリティの違いと価値観を実感し学ぶことで自らホスピタリティ精神を身に付ける。人間の心理を理解することにより、団体生活や社会生活に活かせるような価値観をつくる。
達成目標
航空業界、ホテル業界、ラグジュアリーブランド業界、ブライダル業界のサービスとホスピタリティの違いと価値観を実感し学ぶ。心からのおもてなしや、思いやりに留まらず、真のホスピタリティ精神を身に付ける。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	人間の心理と心づかい①		授業計画	人間の心理とホテル業界の心づかい③
	事後学習	パワーポイント確認		事後学習	パワーポイント確認
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	人間の心理と心づかい②		授業計画	人間の心理とラグジュアリーブランド業界の心づかい①
	事後学習	パワーポイント確認		事後学習	パワーポイント確認
3	事前学習	講義資料の見直し	11	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	人間の心理と心づかい③		授業計画	人間の心理とラグジュアリーブランド業界の心づかい②
	事後学習	パワーポイント確認		事後学習	パワーポイント確認
4	事前学習	講義資料の見直し	12	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	人間の心理と航空業界の心づかい①		授業計画	人間の心理とブライダル業界の心づかい①
	事後学習	パワーポイント確認		事後学習	パワーポイント確認
5	事前学習	講義資料の見直し	13	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	人間の心理と航空業界の心づかい②		授業計画	人間の心理とブライダル業界の心づかい②
	事後学習	パワーポイント確認		事後学習	パワーポイント確認
6	事前学習	講義資料の見直し	14	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	人間の心理と航空業界の心づかい③		授業計画	総まとめ
	事後学習	パワーポイント確認		事後学習	パワーポイント確認
7	事前学習	講義資料の見直し	15	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	人間の心理とホテル業界の心づかい①		授業計画	小テスト
	事後学習	パワーポイント確認		事後学習	テスト振り返り
8	事前学習	講義資料の見直し			
	授業計画	人間の心理とホテル業界の心づかい②			
	事後学習	パワーポイント確認			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語表現Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	井上　誕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日常生活場面からビジネス場面まで、日本語を使いこなすために必要な上級レベルの文法を、意味や文法的な接続の理解だけでなく、実際に正しく使用するためのポイント、また使ってはいけない状況、話者の感情などもふまえながら解説していく。
達成目標
各文法を使ったときと使わないときで違ってくる意味合いをはっきりしているものから、微妙なものまで、きちんと理解をし、実際に自身で正しい意味、適切な感情をふまえて使用できるようになることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成	9	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成
	授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解①		授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解⑨
	事後学習	講義内容をふまえての例文作成		事後学習	講義内容をふまえての例文作成
2	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成	10	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成
	授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解②		授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解⑩
	事後学習	講義内容をふまえての例文作成		事後学習	講義内容をふまえての例文作成
3	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成	11	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成
	授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解③		授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解⑪
	事後学習	講義内容をふまえての例文作成		事後学習	講義内容をふまえての例文作成
4	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成	12	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成
	授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解④		授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解⑫
	事後学習	講義内容をふまえての例文作成		事後学習	講義内容をふまえての例文作成
5	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成	13	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成
	授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解⑤		授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解⑬
	事後学習	講義内容をふまえての例文作成		事後学習	講義内容をふまえての例文作成
6	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成	14	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成
	授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解⑥		授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解⑭
	事後学習	講義内容をふまえての例文作成		事後学習	講義内容をふまえての例文作成
7	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成	15	事前学習	講義範囲の総復習
	授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容をふまえての例文作成		事後学習	試験出題範囲の見直し
8	事前学習	自身の理解の範囲での例文作成			
	授業計画	上級文法の正確な使用と話者の感情についての理解⑧			
	事後学習	講義内容をふまえての例文作成			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：60%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語表現Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	井上　誕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
総合外国語Ⅰ～Ⅲで学習した文法についての知識をふまえ、最終的にさまざまな角度から「日本語文法」にアプローチ、理解することで、確固たる自信を持って、ビジネスレベルまでの文法の使い方を習得できるよう演習をしながら確認を行っていく。
達成目標
ビジネスレベルまでの日本語文法を、自信を持って正しい場面で、正しい感情で、正しい発音で使用できるようになる。また自身の理解だけでなく、間違った使い方に違和感を感じられるようなレベルを目指す。

授業計画

1	事前学習	使用文法について場面を設定する	9	事前学習	誤用を探し理由を考える
	授業計画	文法と場面の理解①		授業計画	誤用を正しく訂正する②
	事後学習	使用場面を理解した上での例文作成		事後学習	誤用訂正の課題
2	事前学習	使用文法について場面を設定する	10	事前学習	誤用を探し理由を考える
	授業計画	文法と場面の理解②		授業計画	誤用を正しく訂正する③
	事後学習	使用場面を理解した上での例文作成		事後学習	誤用訂正の課題
3	事前学習	使用文法について場面を設定する	11	事前学習	文法を使用したストーリーを考える
	授業計画	文法と場面の理解③		授業計画	指定された文法を使用したショートストーリー作成①
	事後学習	使用場面を理解した上での例文作成		事後学習	他社のストーリーの音読
4	事前学習	相似文法の違いを考察する	12	事前学習	文法を使用したストーリーを考える
	授業計画	相似文法の適切な選択①		授業計画	指定された文法を使用したショートストーリー作成②
	事後学習	文法ごとの適切な例文作成		事後学習	他社のストーリーの音読
5	事前学習	相似文法の違いを考察する	13	事前学習	文法を使用したストーリーを考える
	授業計画	相似文法の適切な選択②		授業計画	指定された文法を使用したショートストーリー作成③
	事後学習	文法ごとの適切な例文作成		事後学習	他社のストーリーの音読
6	事前学習	相似文法の違いを考察する	14	事前学習	事前課題
	授業計画	相似文法の適切な選択③		授業計画	総まとめ
	事後学習	文法ごとの適切な例文作成		事後学習	復習
7	事前学習	相似文法の違いを考察する	15	事前学習	講義範囲の総復習
	授業計画	相似文法の適切な選択④		授業計画	定期試験
	事後学習	文法ごとの適切な例文作成		事後学習	試験出題範囲の見直し
8	事前学習	誤用を探し理由を考える			
	授業計画	誤用を正しく訂正する①			
	事後学習	誤用訂正の課題			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：60%　＜（　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	総合外国語Ⅲ（文法）	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	櫻井　紀子		
実務経験 教員紹介	２００８年に日本語教師となり、日本語学校、専門学校、大学、インターナショナルスクール、企業、business　person、海外を経験し、現在に至る。		

講義概要
初級から中級までの文法を学習する。文法の意味・使い方を押さえ、いつ使うのか場面を伝え、使える日本語が不可欠だと考える。日本語の基本的文法はもとより、日本文化にもトピックを広げて学習していく。学習した文法を output できるように、反復継続を行っていく。
達成目標
通訳・翻訳の仕事に就く、または日本企業に就職するために、完結した一文で、正しい日本語の基礎を身に着ける。基本を最低限理解し、使用・応用できるように授業中では、会話、文作、板書を書き写すことを行う。

授業計画

1	事前学習	N3 語彙・文法　復習	9	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	N3 語彙･文法　プリント取り組み･解説		授業計画	７課　複文構造　複文の中の「は」と「が」・自制
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	本日学習部分の復習
2	事前学習	本日の学習部分の予習	10	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	１課　いろいろな働きをする助詞①		授業計画	８課　名詞修飾
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	本日学習部分の復習
3	事前学習	本日の学習部分の予習	11	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	１課　いろいろな働きをする助詞②		授業計画	９課　複文を作る言葉　１　時間
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	本日学習部分の復習
4	事前学習	本日の学習部分の予習	12	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	２課　話題の取り立て		授業計画	１０課　複文を作る言葉　２
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	本日学習部分の復習
5	事前学習	本日の学習部分の予習	13	事前学習	今までの学習部分の復習
	授業計画	３課　助詞の働きをする言葉　１		授業計画	１課から８課まで復習
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	今までの復習
6	事前学習	本日の学習部分の予習	14	事前学習	今までの学習部分の復習
	授業計画	4 課　助詞の働きをする言葉　２		授業計画	期末試験
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	今までの復習
7	事前学習	本日の学習部分の予習	15	事前学習	今までの学習部分の復習
	授業計画	５課　助詞の働きをする言葉　３		授業計画	期末試験／レポート／FB
	事後学習	本日学習部分の復習		事後学習	今までの復習
8	事前学習	本日の学習部分の予習			
	授業計画	６課　名詞化の方法「こと」と「の」			
	事後学習	本日学習部分の復習			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：60%　＜レポート＞：20%

教科書　著者名　　友松悦子・和栗雅子
　　タイトル　中級日本語文法要点整理ポイント２０
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	総合外国語Ⅳ（文法）	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	櫻井　紀子		
実務経験教員紹介	２００８年に日本語教師となり、日本語学校、専門学校、大学、インターナショナルスクール、企業、business　person、海外を経験し、現在に至る。		

講義概要
面接、エントリーシートで使用できる生きた文法指導を行う。基本的な語彙が欠如していることから、語彙の定着・広がり、基本文法まで掘り下げ、文法導入を行う。携帯電話に頼ることなく、自然な日本語が出てくるように反復継続を行う。集中して指示を聞きとり、メモをすることができるように指導。
達成目標
基本的な文法の理解定着、応用。教師の指示を理解することができる。質問を理解し、それに答えることができる日本語力を目指す。基本的な漢字の読み書きは当然、板書を書き写す速さも身に着ける。

授業計画

1	事前学習	本日の学習部分の予習	9	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	９　非限定・付加		授業計画	１６　強調Ⅰ
	事後学習	本日の復習		事後学習	本日の復習
2	事前学習	本日の学習部分の予習	10	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	１０　比較・程度・対比		授業計画	１６　強調Ⅱ
	事後学習	本日の復習		事後学習	本日の復習
3	事前学習	本日の学習部分の予習	11	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	１１　判断の立場		授業計画	１７　話題
	事後学習	本日の復習		事後学習	本日の復習
4	事前学習	本日の学習部分の予習	12	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	１１－Ⅱ　評価の視点		授業計画	１８　逆転・譲歩①
	事後学習	本日の復習		事後学習	本日の復習
5	事前学習	本日の学習部分の予習	13	事前学習	本日の学習部分の予習
	授業計画	１２　基準		授業計画	１８　逆転・譲歩②
	事後学習	本日の復習		事後学習	本日の復習
6	事前学習	本日の学習部分の予習	14	事前学習	期末テスト復習
	授業計画	１３　関連・対応		授業計画	期末テスト復習
	事後学習	本日の復習		事後学習	期末テスト復習
7	事前学習	本日の学習部分の予習	15	事前学習	期末テスト復習
	授業計画	１４　無関係・無視・例外		授業計画	期末テスト
	事後学習	本日の復習		事後学習	期末テスト復習
8	事前学習	本日の学習部分の予習			
	授業計画	１５　例示			
	事後学習	本日の復習			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：60%　＜レポート＞：20%

教科書　著者名　　友松悦子・宮本淳・和栗雅子
　　タイトル　どんなときどう使う日本語表現文型５００
　　出版社　　アルク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅲ（プレゼンスキルⅢ）	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	矢澤　健太郎		
実務経験 教員紹介			

講義概要
特別演習Ⅲ（プレゼンテーション）という講義科目のため、情報伝達の有効な手段となり得る優れたプレゼンテーションを目標にし、いかに相手に論理的に、説得的に伝えることができるのか。自分の問題を持ちながら、相手に伝えるプレゼンスキルを事例や先行研究を通じて学んでいく。
達成目標
①「問題（テーマ）を持つ→先行研究の整理・検討→自分の見解を示す」練習を繰り返す。 ②後期に実施予定の「プレゼンテーション大会」を目標として、毎回の授業を実践の場として発表練習を繰り返す。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「プレゼンテーションって何か」（どうなったら成功なの？）		授業計画	「プレゼンテーションの準備」（時間、内容の見直し）
	事後学習	日常の出来事から自分の問題を持つ		事後学習	日常の出来事から自分の問題を持つ
2	事前学習	特になし	10	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「伝えたいことを整理する」（テーマの決定）		授業計画	「図やデザインなどの視覚を意識したスライド作り」
	事後学習	日常の出来事から自分の問題を持つ		事後学習	日常の出来事から自分の問題を持つ
3	事前学習	今週考えた自分の問題の整理	11	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「目標とゴールを考える」（発表の大まかなイメージを持つ）		授業計画	「自分で質疑応答を考え、質問を想定したリハーサル」
	事後学習	日常の出来事を自分の問題を持つ		事後学習	日常の出来事から自分の問題を持つ
4	事前学習	今週考えた自分の問題の整理	12	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「伝えたいことを書き出す」（書き出したことを分類する）		授業計画	「様々なプレゼンスキルを学ぶ」（メリハリ、アイコンタクトなど）
	事後学習	日常の出来事を自分の問題を持つ		事後学習	日常の出来事から自分の問題を持つ
5	事前学習	今週考えた自分の問題の整理	13	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「ストーリーを作る」（聞き手の立場で考える）		授業計画	「グループワークの成果報告①」（他人の発表から何を学ぶか）
	事後学習	日常の出来事から自分の問題を持つ		事後学習	日常の出来事から自分の問題を持つ
6	事前学習	今週考えた自分の問題の整理	14	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「説得力を持たせるために、証拠や具体例を考える」		授業計画	「グループワークの成果報告②」（他人の発表から何を学ぶか）
	事後学習	日常の出来事を自分の問題を持つ		事後学習	日常の出来事から自分の問題を持つ
7	事前学習	今週考えた自分の問題の整理	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	中間発表（実際に発表のプレッシャーを体験してみる）		授業計画	定期試験（文章問題を 2 題出題）
	事後学習	日常の出来事から自分の問題を持つ		事後学習	言葉そのものを問う練習
8	事前学習	今週考えた自分の問題の整理			
	授業計画	「スライドの構成を見直す」（文章の簡潔、明瞭、論理性）			
	事後学習	日常の出来事から自分の問題を持つ			

評価方法　　出席状況：70%　定期試験：30%　＜その他＞：0%

教科書　著者名　　山崎 紅
　　タイトル　『小学生からはじめる　伝える力が身につく本：プレゼンテーション』
　　出版社　　日経 BP 社（2015 年）
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅳ（プレゼンスキルⅣ）	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	矢澤　健太郎		
実務経験 教員紹介			

講義概要
特別演習Ⅳ（プレゼンテーション）という講義科目のため、情報伝達の有効な手段となり得る優れたプレゼンテーションを目標にし、いかに相手に論理的に、説得的に伝えることができるのか。自分の問題を持ちながら、相手に伝えるプレゼンスキルを事例や先行研究を通じて学んでいく。
達成目標
①「問題（テーマ）を持つ→先行研究の整理・検討→自分の見解を示す」練習を繰り返す。 ②後期に実施予定の「プレゼンテーション大会」を目標として、毎回の授業を実践の場として発表練習を繰り返す。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「コミュニケーションの発達史（前編）」（その分類、段階、比較）		授業計画	「グループワーク②」（すでに言われてきたことの整理・検討）
	事後学習	言葉そのものを問う練習		事後学習	言葉そのものを問う練習
2	事前学習	特になし	10	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「コミュニケーションの発達史（後編）」（その分類、段階、比較）		授業計画	「グループワーク③」（大まかな起承転結のイメージ作り）
	事後学習	言葉そのものを問う練習		事後学習	言葉そのものを問う練習
3	事前学習	今週考えた自分の問題の整理	11	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「ノートの書き方」（効果的なノートの取り方について）		授業計画	「グループワーク④」（質疑応答を想定したスライド作り）
	事後学習	言葉そのものを問う練習		事後学習	言葉そのものを問う練習
4	事前学習	今週考えた自分の問題の整理	12	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「レポートと小論文の違い」（問題のとらえ方の視点から考える）		授業計画	「発表リハーサル」（論理性、明確さ、事実認識の正確さ、など）
	事後学習	言葉そのものを問う練習		事後学習	言葉そのものを問う練習
5	事前学習	今週考えた自分の問題の整理	13	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「帰納と演繹の違い」（論理学の論点から学ぶ）		授業計画	「グループワークの成果報告①」（他人の発表から何を学ぶか）
	事後学習	言葉そのものを問う練習		事後学習	言葉そのものを問う練習
6	事前学習	今週考えた自分の問題の整理	14	事前学習	今週考えた自分の問題の整理
	授業計画	「問題のつかみ方」（アイデアをどのようにつかむのか）		授業計画	「グループワークの成果報告②」（他人の発表から何を学ぶか）
	事後学習	言葉そのものを問う練習		事後学習	言葉そのものを問う練習
7	事前学習	今週考えた自分の問題の整理	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	「問題提起から結論まで、作業ごとの難しさを外観する」		授業計画	定期試験（文章問題を 2 題出題）
	事後学習	言葉そのものを問う練習		事後学習	言葉そのものを問う練習
8	事前学習	今週考えた自分の問題の整理			
	授業計画	「グループワーク①」（テーマ作り：問題をとらえる）			
	事後学習	言葉そのものを問う練習			

評価方法　　出席状況：70%　定期試験：30%　＜その他＞：0%

教科書　著者名　　山崎 紅
　　タイトル　『小学生からはじめる　伝え方が身につく本：プレゼンテーション』
　　出版社　　日経 BP 社（2015 年）
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	矢澤　健太郎		
実務経験 教員紹介			

講義概要
外国語演習Ⅲでは、経営学の基礎理論を取り上げ、「分類、段階、比較アプローチ」の体系的な理解を目標とする。卒業後、自分で問題をつかみ、先行研究を整理し、自らの見解を示す練習をしていれば、どのような現実的な問題に直面しても対処していけると考えるため、授業では「問題をつかむ」ことに焦点を当てる。
達成目標
授業はアクティブ・ラーニング（双方向の対話型授業）を取り入れる。学生自らが「先生はこのように説明したが、私は次のように考える」という自分の見解を述べるようになることを到達目標とする。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	経営学の理論の体系（科学とは何か。科学的管理とは何か）		授業計画	バーナードの「求めざる結果」と随伴的結果
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
2	事前学習	前回勉強した内容の復習	10	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	科学的管理の創始（フレデリック・テイラーから学ぶ）		授業計画	人間関係の科学化（メイヨーとバーナード）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
3	事前学習	前回勉強した内容の復習	11	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	テイラー・システムとフォード・システムの違いについて		授業計画	ハーバート・サイモンの人間仮説と意志決定論
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本の新聞を読んでみる
4	事前学習	前回勉強した内容の復習	12	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	管理の真髄（メアリー・フォレットから学ぶ）		授業計画	管理論の現在（ピーター・ドラッカーから学ぶ）
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
5	事前学習	前回勉強した内容の復習	13	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	フォレットの『創造的経験』の「コンフリクト（対立）」のとらえかた		授業計画	管理観、利潤観の変遷と知識社会のゆくえ
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
6	事前学習	前回勉強した内容の復習	14	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	現代管理論の基礎（チェスター・バーナードから学ぶ）		授業計画	前期のまとめ＋定期試験への対策
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
7	事前学習	前回勉強した内容の復習	15	事前学習	定期試験対策
	授業計画	バーナードの全人仮説とパラダイム転換について		授業計画	定期試験（文章問題を 2 題出題）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
8	事前学習	前回勉強した内容の復習			
	授業計画	「組織」の概念とシステム・アプローチについて			
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる			

評価方法　　出席状況：70%　定期試験：30%　＜その他＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　教科書は使用しない。担当教員による自作プリントを配布。
　　出版社
参考書　著者名　　三戸公
　　タイトル　『管理とは何か 』
　　出版社　　文眞堂（2002 年出版）

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	矢澤　健太郎		
実務経験 教員紹介			

講義概要
外国語演習Ⅳでは、経営学のバーナード、ドラッカー、日本的経営の理論を取り上げ、この 3 つの論点について問題をつかむ形で集中的に考えていく。バーナードは組織、ドラッカーは管理、日本的経営の「理論」を学ぶことで、卒業後、日本企業での「実践」に役立つことを目標にしていく。
達成目標
授業はアクティブ・ラーニング（双方向の対話型授業）を取り入れる。学生自らが「先生はこのように説明したが、私は次のように考える」という自分の見解を述べるようになることを到達目標とする。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	なぜバーナードの組織論とドラッカーの管理論が重要なのか		授業計画	日本型人事システムの特質（新規学卒一括採用とは？）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
2	事前学習	前回勉強した内容の復習	10	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	人間観の変化（経済人仮説から全人仮説へ）		授業計画	社長と取締役、安定株主構造（階統制と能力主義）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
3	事前学習	前回勉強した内容の復習	11	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	全人仮説によって展開された協働体系と組織		授業計画	護送船団方式とバブル崩壊後の変化
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本の新聞を読んでみる
4	事前学習	前回勉強した内容の復習	12	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	person としての個人と、human としての人間（バーナード）		授業計画	日本の従業員の組織意識（ウチとソトの概念）
	事後学習	日本の新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
5	事前学習	前回勉強した内容の復習	13	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	ドラッカーの新しい史観（財産社会から組織社会へ）		授業計画	日本的経営のゆくえ（日本的経営は崩壊したのかどうか）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
6	事前学習	前回勉強した内容の復習	14	事前学習	前回勉強した内容の復習
	授業計画	「顧客の創造」と経営者の役割（組織機能・組織維持とは？）		授業計画	後期のまとめ＋定期試験への対策
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
7	事前学習	前回勉強した内容の復習	15	事前学習	定期試験対策
	授業計画	組織の目的的結果と随伴的結果（経営者の責任論）		授業計画	定期試験（文章問題を 2 題出題）
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる		事後学習	日本経済新聞を読んでみる
8	事前学習	前回勉強した内容の復習			
	授業計画	「家」としての日本企業（日本企業の従業員行動の現実）			
	事後学習	日本経済新聞を読んでみる			

評価方法　　出席状況：70%　定期試験：30%　＜その他＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　教科書は使用しない。担当教員による自作プリントを配布。
　　出版社
参考書　著者名　　三戸公
　　タイトル　『管理とは何か 』
　　出版社　　文眞堂（2002 年出版）

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	通訳実務Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	中村　光子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
業種ごとにシーンを設定しロールプレイにより通訳者に必要なスキルを積む訓練をします。主に、ビジネス通訳、放送通訳、通訳ガイドを基礎としビジネス場面を想定し、各業界の専門用語や、ビジネス日本語、そして TPO に合った言い回し力を応用し自ら考え実践します。
達成目標
業種により通訳者のスキルや、言い回し、心遣いが異なる為、日本で生活をする為の知識や法律を学び理解し、より社会生活で実践できるようなスキルを高め、企業が求める通訳人材の育成を目指します。

授業計画

1	事前学習	通訳､翻訳の種類学習放送通訳の準備	9	事前学習	介護施設についての理解
	授業計画	主な通訳翻訳分野を理解しエンターテイメントの放送通訳の実践をする。		授業計画	介護施設で実際に必要となる場面を設定し、ビジネス通訳をする。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
2	事前学習	労働災害保険の理解	10	事前学習	大使館の領事業務についての理解
	授業計画	協同組合で通訳士、及び、生活指導員となり業務に関する通訳をする。		授業計画	大使館での領事業務手続きに関するビジネス通訳をする。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
3	事前学習	ベトナムサパの観光について理解	11	事前学習	世界的なブランドショップについて
	授業計画	旅行会社に勤めるツアーガイドとして通訳業務に実践する。		授業計画	世界ブランドが国際展示会を開催する際に通訳ガイドをする。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
4	事前学習	不動産、管理会社の業務の理解	12	事前学習	ベトナムのニュースについて理解する
	授業計画	外国籍の方が賃貸契約をする場面でビジネス通訳をする。		授業計画	ベトナムの番組を日本語で放送通訳をする。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
5	事前学習	法廷や捜査現場の理解	13	事前学習	市役所での手続きについての理解
	授業計画	警察署で必要とされる民間通訳人の取り調べの通訳に実践する。		授業計画	外国籍の方が日本居住する際の諸手続きに関する通訳を実践する。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
6	事前学習	医療通訳の重要性について理解	14	事前学習	教育機関についての理解
	授業計画	外国籍の方が病院を利用する場面で医療通訳をする。		授業計画	留学生が在籍する教育機関での通訳を実践する。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
7	事前学習	ドラマの広告放送で､登場人物の趣旨を理解する	15	事前学習	今までの復習をする
	授業計画	ベトナム語のニュースを日本語で放送通訳する		授業計画	入国管理局、法務局での諸手続きの通訳実践学習。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
8	事前学習	空港内のしくみの理解			
	授業計画	空港に勤める職員として空港での通訳ガイドを実践する。			
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	通訳実務Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	中村　光子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期科目を踏まえ業種ごとにシーンを設定しロールプレイにより通訳士に必要なスキルを高めます。主に、ビジネス通訳、放送通訳、通訳ガイドを基礎としビジネス場面を想定し、各業界の専門用語や、ビジネス日本語、そしてTPO に合った言い回し力を応用し自ら考え実践します。
達成目標
業種における専門用語スキルや、言い回し、心遣いが異なる為、日本で生活をする為の知識や法律を学び理解し、より社会生活で実践できるようなスキルを高め、企業が求める通訳人材を育成を目指します。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	ビジネス通訳をテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。		授業計画	ビジネス通訳をテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	放送通訳をテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。		授業計画	放送通訳をテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
3	事前学習	講義資料の見直し	11	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	通訳ガイドをテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。		授業計画	通訳ガイドをテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
4	事前学習	講義資料の見直し	12	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	ビジネス通訳をテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。		授業計画	ビジネス通訳をテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
5	事前学習	講義資料の見直し	13	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	放送通訳をテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。		授業計画	放送通訳をテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
6	事前学習	講義資料の見直し	14	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	通訳ガイドをテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。		授業計画	通訳ガイドをテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
7	事前学習	講義資料の見直し	15	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	ビジネス通訳をテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。		授業計画	総まとめ
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習		事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習
8	事前学習	講義資料の見直し			
	授業計画	放送通訳をテーマに、専門用語、業界用語を利用した通訳力を高める。			
	事後学習	パワーポイント確認、話し方の練習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	翻訳実務 I	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	Nguyen Thi Thiem		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この授業ではまず事前に出した課題を学生が自分で翻訳します。授業時間でグループワークを行います。ほかのメンバーと翻訳した原稿を交換して、見てもらい、意見を交わします。クラスメイトの意見を聞いた後、自分が翻訳した文章を見直します。最後に皆で翻訳していきます。
達成目標
自分で翻訳した文章を客観的に見直すことが狙いです。クラスメイトの訳をみて、情報交換でき、もっといい表現がみつかるかもしれません。この授業でベトナム語の表現力を養うことも一つの目標です。

授業計画

1	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。	9	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。
	授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。		授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。
	事後学習	出現した新しい表現を復習します		事後学習	出現した新しい表現を復習します
2	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。	10	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。
	授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。		授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。
	事後学習	出現した新しい表現を復習します		事後学習	出現した新しい表現を復習します
3	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。	11	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。
	授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。		授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。
	事後学習	出現した新しい表現を復習します		事後学習	出現した新しい表現を復習します
4	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。	12	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。
	授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。		授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。
	事後学習	出現した新しい表現を復習します		事後学習	出現した新しい表現を復習します
5	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。	13	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。
	授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。		授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。
	事後学習	出現した新しい表現を復習します		事後学習	出現した新しい表現を復習します
6	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。	14	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。
	授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。		授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。
	事後学習	出現した新しい表現を復習します		事後学習	出現した新しい表現を復習します
7	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。	15	事前学習	全部の課題を復習します
	授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。		授業計画	期末試験
	事後学習	出現した新しい表現を復習します		事後学習	新しい単語と表現のリストを作成
8	事前学習	事前に課題を自分で翻訳します。			
	授業計画	グループワークをした後、皆で翻訳作業を行います。			
	事後学習	出現した新しい表現を復習します			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（　課題　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　新聞記事
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	翻訳実務Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	Nguyen Thi Thim		
実務経験 教員紹介			

講義概要
身につけた逐次通訳の基礎的なスキルの上に、もう少しレベルが高い教材（ニュース、インタビュー、スピーチ）を用いて、本格的な逐次通訳訓練を実施します。本講義では、まず音声教材を聞き、リプロダクション（逐次リピーティング）をやってから、言い換え練習をしながら、内容確認して行きます。最後に逐次通訳活動を行います。
達成目標
同時通訳を開始する前に、逐次通訳スキルを定着できるのを目標とします。通訳演習を通して、生徒の全般的な語学力を高め、最終的に社内通訳者としての逐次通訳技能が取得でき、語学学習が同時にできることを目指します。

授業計画

1	事前学習	先週のトピックニュースを確認する	9	事前学習	先週のトピックニュースを確認する
	授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。		授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。
	事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習		事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習
2	事前学習	先週のトピックニュースを確認する	10	事前学習	先週のトピックニュースを確認する
	授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。		授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。
	事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習		事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習
3	事前学習	先週のトピックニュースを確認する	11	事前学習	先週のトピックニュースを確認する
	授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。		授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。
	事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習		事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習
4	事前学習	先週のトピックニュースを確認する	12	事前学習	先週のトピックニュースを確認する
	授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。		授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。
	事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習		事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習
5	事前学習	先週のトピックニュースを確認する	13	事前学習	先週のトピックニュースを確認する
	授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。		授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。
	事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習		事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習
6	事前学習	先週のトピックニュースを確認する	14	事前学習	先週のトピックニュースを確認する
	授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。		授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。
	事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習		事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習
7	事前学習	先週のトピックニュースを確認する	15	事前学習	先週のトピックニュースを確認する
	授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。		授業計画	定期試験
	事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習		事後学習	シャドーイング、リプロダクション
8	事前学習	先週のトピックニュースを確認する			
	授業計画	先週のトピックニュースの音声を聞き、逐次通訳を行います。			
	事後学習	リプロダクションの練習、語彙学習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経営学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	前田　恭孝		
実務経験教員紹介	銀行の本社で計画策定、目標設定、業績管理、商品・チャネル開発、マーケティングを、経営コンサルタントとして戦略策定、組織変革、マーケティング推進などを推進していました。		

講義概要
経営学が対象とする企業とは何か、その活動や管理を説明する経営学の基本的な概念・理論を幅広く学びます。授業では、概念・理論がつくられた背景、今日の企業活動の何を説明できるかを実例を使って説明します。経営学Ⅰでは、企業形態、コーポレートガバナンス、伝統的理論、近代組織論などを取り上げます。
達成目標
皆さんが会社に入ったとき、経営学の諸概念・理論を使って、自分の仕事の会社のなかでの意味・意義や、仕事に問題があったときどこが問題かを上司・同僚に説明できるようになることを目指します。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	株式会社とは何か（企業の種類、株式会社の特徴と社会的責任）		授業計画	サイモンの経営管理論 1（手段・目的連鎖、意思決定過程等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
2	事前学習	前週のノートの確認	10	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	経営学の成立と伝統的理論 1（20 世紀初頭の産業界と経営学の成立）		授業計画	サイモンの経営管理論 2（合理性の限界、あいまい理論等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
3	事前学習	前週のノートの確認	11	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	経営学の成立と伝統的理論 2(テーラーの科学的管理論など)		授業計画	組織形態 1（組織定義、各種形態等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
4	事前学習	前週のノートの確認	12	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	株式会社の独占行動と統治 1（独占形態、独占禁止法等）		授業計画	組織形態 2（ネットワーク組織、自己組織化等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
5	事前学習	前週のノートの確認	13	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	株式会社の独占行動と統治 2（コーポレート・ガバナンス）		授業計画	中小企業と最近の動向 1（中小企業の定義と現状）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
6	事前学習	前週のノートの確認	14	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	企業活動の説明スキーム（経営資源、ドメイン等）		授業計画	中小企業と最近の動向 2（スタートアップ等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
7	事前学習	前週のノートの確認	15	事前学習	実施済小テストの復習
	授業計画	バーナードの近代的管理論 1(人間モデル、協働システム等)		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の復習、小テスト		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前週のノートの確認			
	授業計画	バーナードの近代的管理論 2(公式組織、意思決定等)			
	事後学習	該当箇所の復習、小テスト			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講義プレゼン資料とサマリーを授業後に配布する
　　出版社
参考書　著者名　　日本経営協会監修
　　タイトル　経営学検定試験公式テキスト「経営学の基本」
　　出版社　　中央経済社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	前田　恭孝		
実務経験教員紹介	銀行の本社で計画策定、目標設定、業績管理、商品・チャネル開発、マーケティングを、経営コンサルタントとして戦略策定、組織変革、マーケティング推進などを推進していました。		

講義概要
経営学が対象とする企業とは何か、その活動や管理を説明する経営学の基本的な概念・理論を幅広く学びます。授業では、概念・理論がつくられた背景、今日の企業活動の何を説明できるかを実例を使って説明します。経営学Ⅱでは、組織文化論、組織学習論、組織行動論などを取り上げます。
達成目標
皆さんが会社に入ったとき、経営学の諸概念・理論を使って、自分の仕事の会社のなかでの意味・意義や、仕事に問題があったときどこが問題かを上司・同僚に説明できるようになることを目指します。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	経営計画・管理 1（計画種類、編成プロセス、管理サイクル）		授業計画	組織変革・イノベーション 1（組織変革の定義と捉え方）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
2	事前学習	前週のノートの確認	10	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	経営計画・管理 2（実務での計画例）		授業計画	組織変革・イノベーション 2（断続平衡論、相互モデル等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
3	事前学習	前週のノートの確認	11	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	環境と組織 1（コンティンジェンシー論、組織認識論）		授業計画	モチベーション論 1（欲求階層説、X 理論 Y 理論）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
4	事前学習	前週のノートの確認	12	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	環境と組織 2（生態学的変化とイナクトメント）		授業計画	モチベーション論 2（期待理論、公正理論、内発・外発）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
5	事前学習	前週のノートの確認	13	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	組織文化 1（文化論の始まり、強い文化論）		授業計画	リーダーシップ論・小集団活動 1（PM 理論、状況理論等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
6	事前学習	前週のノートの確認	14	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	組織文化 2（強い文化論への批判とマルチ文化）		授業計画	リーダーシップ論・小集団活動 2（QC 活動、CDGM 等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
7	事前学習	前週のノートの確認	15	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	組織の意味論・学習 1（意味による協働、組織学習の定義）		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の復習、小テスト		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前週のノートの確認			
	授業計画	組織の意味論・学習 2（ダブルループ学習、意味生成理論）			
	事後学習	該当箇所の復習、小テスト			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜(その他)＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講義プレゼン資料とサマリーを授業後に配布する
　　出版社
参考書　著者名　　日本経営協会監修
　　タイトル　経営学検定試験公式テキスト「経営学の基本」
　　出版社　　中央経済社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティング戦略	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	金森　尚人		
実務経験 教員紹介	これまで 40 年間海外政府機関において通商、マーケティング、観光を専門職として従事。また国内外（タイ、ミャンマー）の大学にて、日本ビジネススタンダードとビジネスマナーを指導。		

講義概要
昨年のマーケティング授業の知識を活かし、本講義ではマーケティング戦略手法を学んでいく。マーケティングを広義に捉えると、経営学と商業学の分野に関連を持つので、大変扱う範囲は広範である。あくまでマーケティング思考(論理的思考)を培い、現実社会の個人生活、社会活動に役立てるための講義をおこなう
達成目標
マーケティングの戦略手法を学び、論理的、合理的思考で個人生活において「勝つ確率」を最大限高めて快適に過ごせ、社会人としてのビジネス活動で、今後本講義で獲得した専門知識と論理的思考で実践的な適応をめざす

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	オリエンテーションおよびマーケティングの意味の復習		授業計画	競争市場のマーケティング戦略とは（２）「ターゲット戦略」を説明
	事後学習	マーケティングとは何かを復習		事後学習	該当講義の復習
2	事前学習	マーケティングミックスを予習	10	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	マーケティングミックスの復習と戦略における重要性		授業計画	競争市場のマーケティング戦略（３）「ポジショニング戦略」を説明
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
3	事前学習	マーケティングのフレームワーク	11	事前学習	事前に語彙を検索予習
	授業計画	マーケティング戦略に役立つフレームワーク グループディスカッション		授業計画	インターネットマーケティングとコンテクストマーケティング
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
4	事前学習	フレームワークを復習	12	事前学習	事前に語彙を検索予習
	授業計画	マーケティング戦略における STP		授業計画	ポストモダンマーケティングと経験マーケティングとは　ロールプレイ
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	PPT にて講義の復習
5	事前学習	フレームワークを復習	13	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	STP、4P, 3C, USP の関係性を検証		授業計画	コンテクストデザインマーケティングとは　ロールプレイ
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
6	事前学習	4P を予習	14	事前学習	PPT にてこれまでの授業のまとめ
	授業計画	スターバックスとニトリのケーススタディ　グループディスカッション		授業計画	授業のまとめ
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
7	事前学習	STP、4P を予習	15	事前学習	試験準備
	授業計画	各フレームワークの具体的な事例を紹介　コカ・コーラ、ユニクロ、花王		授業計画	定期試験
	事後学習	各フレームワークを復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	PPT にて予習			
	授業計画	競争市場のマーケティング戦略とは（１）「コンセプト戦略」を説明			
	事後学習	該当講義の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜その他＞：0%

教科書　著者名　　講義において適宜 PPT にて講義を行い、学生にファイルを送信する。
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　沼上幹
　　タイトル　マーケティング戦略
　　出版社　　有斐閣アルマ

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営戦略	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	前田　恭孝		
実務経験 教員紹介	銀行の本社で計画策定、目標設定、業績管理、商品・チャネル開発、マーケティングを、経営コンサルタントとして戦略策定、組織変革、マーケティング推進などを推進していました。		

講義概要
経営戦略の基本的な概念や理論を理解するとともに、企業が実際に行っている経営戦略を学びます。この講義では、アクション・ラーニング的に、皆さんにテキストの音読、ノート作り、いくつかの理論について身の回り 5 メートルの例による説明をしてもらいます。
達成目標
授業におけるテキストの音読、ノート作り、身の回り 5 メートルの例による説明を通して、抽象性の高い経営戦略の概念や理論を、皆さんが日本語で理解して、他人に説明できるようになることを目指します。

授業計画

1	事前学習	該当ページの単語調べ	9	事前学習	該当ページの単語調べ
	授業計画	戦略概念、戦略の系譜		授業計画	コスト・リーダーシップ戦略
	事後学習	授業で指示した事項の調査		事後学習	授業で指示した事項の調査
2	事前学習	該当ページの単語調べ	10	事前学習	該当ページの単語調べ
	授業計画	企業における戦略レベル		授業計画	差別化戦略、集中戦略
	事後学習	授業で指示した事項の調査		事後学習	授業で指示した事項の調査
3	事前学習	該当ページの単語調べ	11	事前学習	該当ページの単語調べ
	授業計画	経営資源と経営戦略		授業計画	バリューチェーン
	事後学習	授業で指示した事項の調査		事後学習	授業で指示した事項の調査
4	事前学習	該当ページの単語調べ	12	事前学習	該当ページの単語調べ
	授業計画	SWOT 分析		授業計画	研究開発戦略
	事後学習	授業で指示した事項の調査		事後学習	授業で指示した事項の調査
5	事前学習	該当ページの単語調べ	13	事前学習	該当ページの単語調べ
	授業計画	製品ライフサイクル		授業計画	生産戦略
	事後学習	授業で指示した事項の調査		事後学習	授業で指示した事項の調査
6	事前学習	該当ページの単語調べ	14	事前学習	該当ページの単語調べ
	授業計画	PPM		授業計画	人事戦略
	事後学習	授業で指示した事項の調査		事後学習	授業で指示した事項の調査
7	事前学習	該当ページの単語調べ	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	成長戦略		授業計画	定期試験
	事後学習	授業で指示した事項の調査		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	該当ページの単語調べ			
	授業計画	競争戦略			
	事後学習	授業で指示した事項の調査			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　日本経営協会監修
　　タイトル　経営学検定試験公式テキスト「経営学の基本」
　　出版社　　中央経済社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	貿易商業外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	金森　尚人		
実務経験 教員紹介	これまで 40 年間海外政府機関において通商、マーケティング、観光を専門職として従事。また国内外（タイ、ミャンマー）の大学にて、日本ビジネススタンダードとビジネスマナーを指導。		

講義概要
激変するグローバルビジネス環境下、国際貿易の果たす役割の高まりを受け、本講義では貿易の知識を学び、輸入輸出の全体像と取引の流れを学習する。講師の実務経験から貿易実務を、また国際ビジネススタンダードである貿易英語を学び、国際人としての必須な「ビジネス英語」に興味を持ち学習できる環境づくりをする。
達成目標
貿易知識の取得はもちろん、輸入輸出に必要は書類の形式とインコタームズを習得する。貿易英語を学ぶことで、ビジネス英語に触れる機会を与え、卒業後も社会生活や企業活動の中で必要となる知識と問題解決力を習得する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	貨物の引き取りの手順を調べる
	授業計画	貿易取引と国内取引の違い、貿易取引のリスクを学習		授業計画	貨物引き取り準備と引き渡しを学習
	事後学習	PPT にて学習内容を確認		事後学習	荷物引き渡しまでの流れを確認
2	事前学習	貿易実務の特徴を調べる	10	事前学習	貿易取引の準備には何が必要か
	授業計画	貿易取引に関わる人たち（１）（２）、役割を理解する		授業計画	貿易実務の基礎(取引準備から契約、取引先、信用調査)を学習する
	事後学習	それぞれの役割を確認		事後学習	取引準備の確認
3	事前学習	貿易実務の特徴を調べる	11	事前学習	交渉に関しての注意点とは
	授業計画	貿易取引に関わる人たち（３）の役割と貿易の 3 つの流れを理解		授業計画	取引交渉から承諾、契約までを学習
	事後学習	それぞれの役割を確認		事後学習	契約上の注意すべき点を復習
4	事前学習	貿易実務の仕事の流れを調べる	12	事前学習	輸出時の信用状（L/C）決済とは
	授業計画	輸出実務の仕事の流れを学習、市場調査、契約、信用状の説明		授業計画	信用状と決済の仕組みを学習し、船積書類の種類とその用途を説明
	事後学習	PPT にて輸出の流れを確認		事後学習	信用状(L/C)決済の復習
5	事前学習	輸出に関わる業務を調べる	13	事前学習	外国為替とはなにか
	授業計画	船積の準備、貨物の船積、商品代金の請求などを説明		授業計画	外国為替のしくみと、それに伴う貿易英語(金額表示、メール等)を学習
	事後学習	PPT にて輸出の流れを確認		事後学習	貿易英語を復習、定型文を暗記
6	事前学習	輸入の仕事を調べる（１）	14	事前学習	貿易英語と定型文の暗記
	授業計画	輸入実務の仕事の流れを学習。輸入交渉から契約までを学ぶ。		授業計画	前期講義の取りまとめ
	事後学習	PPT にて流れを確認		事後学習	前期の復習
7	事前学習	輸入の仕事を調べる（２）	15	事前学習	試験の準備
	授業計画	「信用状の開設」の意味。L/C とは何か、その役割とは、を学習。		授業計画	定期テスト
	事後学習	PPT にて流れを確認		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	L/C を調べる			
	授業計画	通知銀行の役割、保険申込、手形決済と代金支払いを学習			
	事後学習	L/C の流れを確認する			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　片山立志
　　タイトル　貿易実務の本
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　片山立志
　　タイトル　貿易のしくみ
　　出版社　　日本能率協会マネジメントセンター

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	貿易商業外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	金森　尚人		
実務経験 教員紹介	これまで 40 年間海外政府機関において通商、マーケティング、観光を専門職として従事。また国内外（タイ、ミャンマー）の大学にて、日本ビジネススタンダードとビジネスマナーを指導。		

講義概要
後期では輸出輸入時に必要となる書類とその流れを中心に学習。また書類がすべて英語表記となっており、その貿易英語もあわせ学習する。またビジネス英語の 1/3 が定型文であることから、貿易英語からコレポンに必要なビジネス英語まで拡げ定型文暗記学習する。
達成目標
貿易実務を学習すると同時に、貿易英語を学び、そこから国際ビジネススタンダードでもあるビジネス英語の定型文を学習し、グローバル社会で、今後学生が将来の活躍の場で実践的に適用できるようする。

授業計画

1	事前学習	インコタームズとは何かを予習	9	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	インコタームズ、取引条件を学習。それに伴う貿易英語を学習（１）		授業計画	コンテナ船と在来船による輸送(FCL と LCL)、船荷証券の発行
	事後学習	貿易英語を復習、定型文を暗記		事後学習	PPT にて復習
2	事前学習	インコタームズ最新版を予習	10	事前学習	教科書にて予習
	授業計画	最新インコタームズを学習し、それに伴う貿易英語を学習（２）		授業計画	輸入実務の流れ。船積通知の役割と荷受け・通関手続き
	事後学習	貿易英語を復習、暗記		事後学習	該当授業の復習
3	事前学習	PPT にて保険の予習	11	事前学習	教科書にて予習
	授業計画	輸入時の関税と通関、貿易取引での保険		授業計画	輸入申告と通関手続き、荷物の引き取り
	事後学習	保険の種類を復習		事後学習	該当授業の復習
4	事前学習	教科書にて予習	12	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	海上輸送と航空輸送のしくみを学習		授業計画	貿易実務に関わる書類の見方と特徴を説明（１）貿易英語を学習
	事後学習	授業の復習		事後学習	該当授業の復習
5	事前学習	教科書にて予習	13	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	輸出業務の流れと書類の作成、インボイスとパッキングリストの重要性		授業計画	その他貿易に関わる書類の見方と形式を説明（２）貿易英語を学習
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当授業の復習
6	事前学習	教科書にて予習	14	事前学習	試験に備え学習
	授業計画	通関・船積手続きの依頼。フォワーダーの役割と書類の流れ		授業計画	これまでの講義の復習とまとめ
	事後学習	該当授業の復習		事後学習	試験に備え、学習
7	事前学習	教科書にて予習	15	事前学習	0
	授業計画	船の選定、航空貨物の輸出と通関運送から保税地域の役割		授業計画	定期テスト
	事後学習	該当授業の復習		事後学習	試験問題の見直し
8	事前学習	教科書にて予習			
	授業計画	通関書類の作成と輸出申告・輸出許可、フォワーダーの役割			
	事後学習	該当授業の復習			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　片山立志
　　タイトル　貿易実務の本
　　出版社　　成美堂出版
参考書　著者名　　片山立志
　　タイトル　貿易のしくみ
　　出版社　　日本能率協会マネジメントセンター

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	椙山　裕子		
実務経験 教員紹介	食品メーカーでの勤務経験（食品管理）		

講義概要
日本の会社で働くにあたり、日本のビジネスマナーを学ぶことがとても重要です。秘書検定の実問題を解いていくことを通して、各状況に応じた上司や来客に対するふるまい方や、職務知識の習得を目指します。職場にて、周囲の人に対する思いやりや気遣いができ、上司の適切なサポートができるように学んでいきます。
達成目標
秘書検定の試験内容、時間配分、解き方を把握し、３級の試験合格を目指します。さらに問題が解けるだけではなく、難しい日本語表現を理解し、場面に応じた適切な言い方やふるまい方について理解します。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	オリエンテーション（講義の進め方、注意事項等）		授業計画	第 118 回過去問１～１７解説。役職の順位、福利厚生。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	10	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問１～１０解説。秘書とは？秘書検定とは？等		授業計画	第 118 回過去問１８～３５解説。上司への言葉遣い、事務用品の名称等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
3	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	11	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問１１～２３解説。専門用語とその意味。等		授業計画	第 117 回過去問１～１７解説。お礼の品の送り方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	12	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 122 回過去問２４～３５解説。上司と客へのあいさつの仕方。等		授業計画	第 117 回過去問１８～３５解説。客から用件を伺う際の振舞い方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	13	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 120 回過去問１～１７解説。秘書の仕事に対する心がけ。等		授業計画	第 116 回過去問１～１７解説。パーティーでの身だしなみ。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	14	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	第 120 回過去問１８～３５解説。尊敬語、謙譲語、封筒の敬称。等		授業計画	第 116 回過去問１８～３５解説。名刺へのメモの仕方。等
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	15	事前学習	講義スライドを見直す。
	授業計画	第 119 回過去問１～１６解説。ミスを注意された時の心持ち。等		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく			
	授業計画	第 119 回過去問１７～３５解説。来客へのお茶出しの仕方。等			
	事後学習	講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　実務技能検定協会
　　タイトル　秘書検定３級実問題集
　　出版社　早稲田教育出版
参考書　著者名　佐藤一明
　　タイトル　秘書検定３級に面白いほど受かる本
　　出版社　KADOKAWA

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	中村　光子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
ビジネスマナーの理解を深め、社会人として必要な知識を積み上げる。就職活動を通じて企業側と接する際に必要なビジネスメールのやり取りや、マナーと電話応対、郵便の知識などを習得する。企業訪問時の振る舞いや受付方法を学ぶ。社会人の常識としての常識を学習する。
達成目標
就職活動のみならず社会人としての基礎的なビジネス知識を身につける。添え状を作成し、封筒に正しく宛名、ビジネス文書、ビジネスメールの書き方が分かる。BJT ビジネス日本語能力テストに出題されるビジネス日本語を身に付ける。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。		授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。		授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
3	事前学習	講義資料の見直し	11	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。		授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
4	事前学習	講義資料の見直し	12	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。		授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
5	事前学習	講義資料の見直し	13	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。		授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
6	事前学習	講義資料の見直し	14	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。		授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
7	事前学習	講義資料の見直し	15	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。		授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題		事後学習	パワーポイント確認、復習課題
8	事前学習	講義資料の見直し			
	授業計画	ビジネスマナー、ビジネス日本語の理解を深め、確認テストを行う。			
	事後学習	パワーポイント確認、復習課題			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	椙山　裕子		
実務経験 教員紹介	食品メーカーでの勤務経験（食品管理）		

講義概要
日本の会社で働くにあたり、日本のビジネスマナーを学ぶことがとても重要です。秘書検定の実問題を解いていくことを通して、各状況に応じた上司や来客に対するふるまい方や、職務知識の習得を目指します。職場にて、周囲の人に対する思いやりや気遣いができ、上司の適切なサポートができるように学んでいきます。
達成目標
秘書検定の試験内容、時間配分、解き方を把握し、２級の試験合格を目指します。さらに問題が解けるだけではなく、難しい日本語表現を理解し、場面に応じた適切な言い方やふるまい方ができるようになります。

授業計画

1	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	9	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	後輩の指導。社内文書と書き方。ファイリング。弔事、葬儀について。		授業計画	コンピューター用語。電子メール。秘書の身だしなみ。上司の出張。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	10	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	補佐機能の本質。接遇用語。電話応対。社内文書。上書きの書き方。		授業計画	お茶の出し方。結婚祝い、慶事と種類。訃報を受けた時の対応。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
3	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	11	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	カタカナ語、略語。秘文書の扱い方。企業秘密。郵送方法。雑誌整理。		授業計画	説明と忠告。メモの作成。名刺整理。報告・説明・断り方・苦情処理。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	12	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	尊敬語、謙譲語。来客対応。上書き、宛名。		授業計画	文書の種類。財務用語。上司について知る範囲と印鑑の扱い。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	13	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	郵便の種類。会社用語。環境整備、職場のレイアウト。		授業計画	スケジュール管理。コンピューター用語。来客の案内・対応。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	14	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく
	授業計画	二重敬語。上司の出張。不意の客の対応。会議の開催案内。		授業計画	カタログ整理。内線電話の対応。会議用語、手紙。小切手と手形。
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく	15	事前学習	講義スライドを見直す。
	授業計画	グラフの種類と書き方。秘書の仕事の限界。経営用語。		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	講義箇所の問題に目を通しておく			
	授業計画	法律用語。複数の業務の依頼。業務の引継ぎ。予約のある客の対応。			
	事後学習	講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　佐藤一明
　　タイトル　秘書検定２級に面白いほど受かる本
　　出版社　　KADOKAWA
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	実用外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本語資格取得を目的とするとともに、多様な日本語文章に対応できる読解能力を鍛えるための講義を行う。JLPT 日本語能力試験 N1（読解）、日本留学試験（日本語・読解）、ビジネス日本語能力テスト対策の他、多様な分野から多くの文章に触れる機会を提供、総合的な読み込む力を養っていく。
達成目標
①日本語で書かれた多様な文章に対応できる能力を育成し、文章に対する総合的な読解力を向上させる。 ②論理的思考力を養成する。 ③各種日本語試験に合格または高得点を獲得できる能力を育成する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	演習問題の解き直し
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	実践演習（２）　EJU 日本留学試験　解答解説
	事後学習	講義復習		事後学習	講義の復習
2	事前学習	自習課題学習	10	事前学習	自習課題学習
	授業計画	読解の基礎（１）　①マーカー・指示語・接続語　②問題演習		授業計画	読解の解法（３）　問いを解く技術　①問題演習　②解答と解説
	事後学習	課題解答		事後学習	講義の復習
3	事前学習	前回講義の復習	11	事前学習	自習課題学習
	授業計画	読解の基礎（２）　①様々な文章の型とマーカー　②問題演習		授業計画	読解の解法（４）　問いを解く技術　①問題演習　②解答と解説
	事後学習	課題解答		事後学習	講義の復習
4	事前学習	前回講義の復習	12	事前学習	自習課題学習
	授業計画	実践演習（１）　JLPT 日本語能力試験 N１　テスト演習		授業計画	実践演習（３）　JLPT 日本語能力試験 N１　テスト演習
	事後学習	演習問題の解き直し		事後学習	演習問題の解き直し
5	事前学習	演習問題の解き直し	13	事前学習	演習問題の解き直し
	授業計画	実践演習（１）　JLPT 日本語能力試験 N１　解答解説		授業計画	実践演習（３）　JLPT 日本語能力試験 N１　解答解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自習課題学習
	授業計画	読解の解法（１）　文章の仕組み　①問題演習　②解答と解説		授業計画	読解の解法（５）　実用的な文章　①問題演習　②解答と解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	読解の解法（２）　文章の仕組み　①問題演習　②解答と解説		授業計画	定期試験
	事後学習	講義の復習		事後学習	定期試験復習
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	実践演習（２）　EJU 日本留学試験テスト演習			
	事後学習	演習問題の解き直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　福岡理恵子・清水知子・初鹿野阿れ・中村則子・田代ひとみ
　　タイトル　　『新完全マスター 読解 日本語能力試験 N1』
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル　　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	実用外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本語資格取得を目的とするとともに、多様な日本語文章に対応できる読解能力を鍛えるための講義を行う。JLPT 日本語能力試験 N1（読解）、日本留学試験（日本語・読解）、ビジネス日本語能力テスト対策を実践演習中心に進めるとともに、多様な分野から多くの文章に触れる機会を提供、総合的な読み込む力を養っていく。
達成目標
①日本語で書かれた多様な文章に対応できる能力を育成し、文章に対する総合的な読解力を向上させる。 ②論理的思考力を養成する。 ③各種日本語試験に合格または高得点を獲得できる能力を育成する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	実践演習（３）　JLPT 日本語能力試験 N１　テスト演習
	事後学習	講義復習		事後学習	演習問題の解き直し
2	事前学習	自習課題学習	10	事前学習	演習問題の解き直し
	授業計画	読解の解法（１）　内容理解　①問題演習　②解答と解説		授業計画	実践演習（３）　JLPT 日本語能力試験 N１　解答解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	自習課題学習
	授業計画	読解の解法（２）　内容理解・主張理解　①問題演習　②解答と解説		授業計画	読解の解法（４）　現代文（評論文）　①問題演習　②解答と解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	自習課題学習
	授業計画	実践演習（１）　EJU 日本留学試験テスト演習		授業計画	読解の解法（５）　現代文（評論文）　①問題演習　②解答と解説
	事後学習	演習問題の解き直し		事後学習	講義の復習
5	事前学習	演習問題の解き直し	13	事前学習	自習課題学習
	授業計画	実践演習（１）　EJU 日本留学試験解答解説		授業計画	読解の解法（６）　現代文（随筆）　①問題演習　②解答と解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自習課題学習
	授業計画	読解の解法（３）　統合理解・情報検索　①問題演習　②解答と解説		授業計画	読解の解法（７）　現代文（随筆）　①問題演習　②解答と解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	実践演習（２）　JLPT 日本語能力試験 N１　テスト演習		授業計画	定期試験
	事後学習	演習問題の解き直し		事後学習	定期試験復習
8	事前学習	演習問題の解き直し			
	授業計画	実践演習（２）　JLPT 日本語能力試験 N１　解答解説			
	事後学習	講義の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　福岡理恵子・清水知子・初鹿野阿れ・中村則子・田代ひとみ
　　タイトル　　『新完全マスター 読解 日本語能力試験 N1』
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル　　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネス外国語 I	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	土肥　義充		
実務経験 教員紹介			

講義概要
大学・大学院への進学だけでなく、日本企業等への就職希望者を対象に、最新のビジネス日本語を学びながらビジネス文化への理解と知識を深め、将来現場で役に立つ実践的なコミュニケーション能力を養う。聴読解を通しての情報収集力、そして発話力を身につけながら総合的な日本語能力の向上を図る。
達成目標
①ビジネス慣習の把握と理解　②歴史・文化に根付く「ことわざ・慣用語」と最新カタカナ語の習得　②新聞、テレビ、ネット情報の積極的な取得　③それらを社会、ビジネス現場で活かせる適応力を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自主課題学習
	授業計画	自己紹介と TIBC 卒業後の将来の目標について		授業計画	「ビジネス日本語」3 課会話練習
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義復習
2	事前学習	自主課題学習	10	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課読解		授業計画	「ビジネス日本語」3 課までの復習と慣用語
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自主課題学習	11	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課文法		授業計画	「ビジネス日本語」4 課読解と文法
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自主課題学習	12	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課会話		授業計画	「ビジネス日本語」4 課会話練習
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自主課題学習	13	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課会話練習		授業計画	「ビジネス日本語」5 課読解と文法
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自主課題学習	14	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」2 課読解と文法		授業計画	「ビジネス日本語」5 課会話練習
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自主課題学習	15	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」2 課会話練習		授業計画	「ビジネス日本語」5 課までの復習と慣用語
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
8	事前学習	自主課題学習			
	授業計画	「ビジネス日本語」3 課読解と文法			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　千駄ヶ谷日本語教育研究所
　　タイトル　ケーススタディで学ぶ　ビジネス日本語
　　出版社　　スリーエー
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で紹介
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネス外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	土肥　義充		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期「ビジネス外国語Ⅰ」の継続。大学・大学院進学だけでなく、日本企業等への就職を希望者を対象に、最新のビジネス日本語を学びながらビジネス文化への理解と知識を深め、将来現場で役に立つ実践的なコミュニケーション能力を養う。聴読解を通しての情報収集力、そして発話力を身につけながら総合的な日本語能力の向上を図る。
達成目標
①ビジネス慣習の把握と理解　②歴史・文化に根付く「ことわざ・慣用語」と最新カタカナ語の習得　②新聞、テレビ、ネット情報の積極的な取得　③それらを社会、ビジネス現場で活かせる適応力を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	前期の総復習と講義の進め方＆学習方法など		授業計画	ビジネス日本語中級（９）会話／慣用語
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義復習と宿題
2	事前学習	自習課題の学習	10	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（６）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１０）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
3	事前学習	自習課題の学習	11	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（６）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１０）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
4	事前学習	自習課題の学習	12	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（７）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１１）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
5	事前学習	自習課題の学習	13	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（７）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１１）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
6	事前学習	自習課題の学習	14	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（８）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１２）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
7	事前学習	自習課題の学習	15	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（８）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１２）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	0
8	事前学習	自習課題の学習			
	授業計画	ビジネス日本語中級（９）読解・文法／慣用語			
	事後学習	講義復習と宿題			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　千駄ヶ谷日本語教育研究所
　　タイトル　ケーススタディで学ぶ　ビジネス日本語
　　出版社　　スリーエー
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で紹介
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	接遇外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	横田 真央		
実務経験教員紹介	生命保険会社での法人営業・個人営業		

講義概要
本講義では、日本の会社に入る際に必要なビジネスレベルの会話や、ビジネスメールで使う語彙や文法等を学ぶ。ロールプレイや、グループディスカッションでのアウトプットを繰り返していくことで、難易度の高い語彙を使用語彙として定着させていく。
達成目標
日本の会社で働くためのビジネスレベルの語彙や文法を理解し、正しい使い方ができるようにする。また、日本人独特の婉曲的な表現を学び、目上の人に対して失礼のない会話ができるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	オリエンテーション（講義のルール等）上司の話の聞き方、話しかけ方		授業計画	目上の人に弁解や、反論をする際の言葉遣い
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
2	事前学習	前回の講義内容の復習	10	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	自己分析、自己 PR（性格を表す語彙を学ぶ）		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　1
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
3	事前学習	前回の講義内容の復習	11	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	ビジネスの電話をかける際、受ける際の日本語　1		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　2
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
4	事前学習	前回の講義内容の復習	12	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	ビジネスの電話をかける際、受ける際の日本語　2		授業計画	目上の人と雑談をする際のテーマ、言葉遣い
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
5	事前学習	前回の講義内容の復習	13	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	上司に報告、連絡、相談をする際の言葉遣い		授業計画	グループでロールプレイ　目上の人と雑談をする場面
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
6	事前学習	前回の講義内容の復習	14	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	上司に依頼をする際、依頼を断る際の言葉遣い		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　3
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
7	事前学習	前回の講義内容の復習	15	事前学習	全講義内容の復習
	授業計画	アポイントを取る際の言葉遣い、メールの書き方		授業計画	定期試験
	事後学習	小テスト		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の講義内容の復習			
	授業計画	会議・打ち合わせをする際の言葉遣いとマナー			
	事後学習	小テスト			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：60%　＜（ その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　植木香・木下由紀子・藤井美音子
　　タイトル　伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力 日本で働くための「４つの能力」養成ワークブック
　　出版社　　国書刊行会

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
日本のビジネスシーンにおいて、円滑なコミュニケーションが出来るよう会話術を習得する。また、就職活動に向けて自己と向き合い、長所・短所・強み・弱みを言えるようになる。東京都内および、全国各地の地名や、ビジネス会話に登場する用語の語彙を増やし、何気ない雑談力を身につけ、会話対応力を磨く。
達成目標
東京 23 区名と 47 都道府県名および県庁所在地の名前を覚え、その場所と名産などがわかる。自分の長所・短所を伝えられるようになる。進路決定に向けて社会人らしい日本語会話や必要な情報収集が出来る。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識　欧文略語
	授業計画	前期の成長と変化を振り返り､後期の目標を設定する		授業計画	1 分間自己 PR 発表とフィードバック
	事後学習	近い未来の姿を言語化する		事後学習	他者の自己 PR の感想を書く
2	事前学習	東京 23 区名を 10 区ピックアップ	10	事前学習	興味のある企業の HP を 3 社選ぶ
	授業計画	グループディスカッション『働く目的』について		授業計画	企業 HP 情報から情報を読み解く　企業研究の目的と方法を明確にする
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	興味を持った会社情報をレポート
3	事前学習	気になる日本企業を見つける	11	事前学習	1 週間以内のニュースを 3 つ選ぶ
	授業計画	グループディスカッション『日本の企業を知ろう』		授業計画	ビジネスにつながる雑談の材料を探す方法
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	笑顔と姿勢のトレーニング
4	事前学習	企業 HP の求人情報を探す	12	事前学習	名のりの練習 30 回
	授業計画	働くときの基礎知識　賃金や保障に関する用語を学ぶ		授業計画	模擬面接　入室から退出までをロールプレイング
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	スーツの手入れをする
5	事前学習	身近な人から仕事の話を聞く	13	事前学習	靴を磨く
	授業計画	身近な人々の職業から職種を学ぶ職種用語を知る		授業計画	模擬面接　自己 PR・長所・短所を伝えるロールプレイング
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
6	事前学習	社会常識　カタカナ用語	14	事前学習	留学の動機を確認する
	授業計画	自分と仕事を結びつける　やりたい仕事と出来ること		授業計画	模擬面接　来日理由を伝えるロールプレイング
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	ロープレの振り返りレポート作成
7	事前学習	社会常識　カタカナ用語	15	事前学習	定期試験の準備をする
	授業計画	学生時代に頑張ったことについて振り返り、自己 PR の材料を見つける		授業計画	定期試験の準備をする
	事後学習	他者の良いところを言語化する		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	社旗常識　欧文略語			
	授業計画	他者評価分析　長所・強み・短所・弱みに落とし込む			
	事後学習	自己 PR を 250 字で書く			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　令和 3 年度版社会人常識マナー検定試験　最新過去問題集 3 級
　　出版社　　公益社団法人　全国経理教育協会

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語表現Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	松尾　悦子		
実務経験 教員紹介	大学院・企業・日本語学校で、研究員、ビジネスパーソン、大学進学希望学生に対して、基礎から超級まで幅広く指導		

講義概要
日本語能力試験 N1 の文法項目を整理し学習すると同時に上級語彙の習得のために実践問題を解いていく。
達成目標
日本語能力試験 N1 の文法知識の習得と上級語彙の定着。

授業計画

1	事前学習	予習	9	事前学習	予習
	授業計画	逆接①に関する表現の文法解説と N1 語彙問題		授業計画	可能不可能①に関する表現の文法解説と N1 語彙問題
	事後学習	復習		事後学習	復習
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	条件①に関する表現の文法解説と N1 語彙問題		授業計画	可能不可能②に関する表現の文法解説と N1 語彙問題
	事後学習	復習		事後学習	復習
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	条件②に関する表現の文法解説と N1 語彙問題		授業計画	話題・評価の基準①に関する表現の文法解説と N1 語彙問題
	事後学習	復習		事後学習	復習
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	逆説条件①に関する表現の文法解説と N1 語彙問題		授業計画	話題・評価の基準②に関する表現の文法解説と N1 語彙問題
	事後学習	復習		事後学習	復習
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	逆説条件②に関する表現の文法解説と N1 語彙問題		授業計画	比較対象①に関する表現の文法解説と N1 語彙問題
	事後学習	復習		事後学習	復習
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	目的・手段①に関する文法解説と N1 語彙問題		授業計画	比較対象②に関する表現の文法解説と N1 語彙問題
	事後学習	復習		事後学習	復習
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	原因理由①に関する表現の文法解説と N1 語彙問題		授業計画	総合問題と試験
	事後学習	復習		事後学習	復習
8	事前学習	予習			
	授業計画	原因理由②に関する表現の文法解説と N1 語彙問題			
	事後学習	復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（ その他）＞：0%

教科書　著者名　　友松悦子・福島佐知・中村かおり
　　タイトル　新完全マスター文法 N1
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語表現Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
今講義は、コミュニケーション力を上げることをいちばんの目的としている。さまざまなスタイルの学習を通して、聴解力はもちろん、説明力、推察力、発音や、音節など普通の日本語学習では伸ばしずらい点、あまり学習しない点にもフォーカスした講義内容となっている。
達成目標
日本語のさまざまな表現、独特な表現を理解すること。自分の日本語に自信を持ち、日本語を話すことに楽しみを感じ、積極的に日本語を話すようになること。話すスピード、伝わる話し方などを意識させる。

授業計画

1	事前学習	日本語を話す準備	9	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	体の部位を使った表現をグループでシェア		授業計画	都道府県または１から 12 月についてプレゼン
	事後学習	意見をまとめる		事後学習	評価と反省
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	テーマについて考える
	授業計画	前回グループで話し合った体の部位を使った表現について発表する		授業計画	日本で観光したい場所についてフリートーク
	事後学習	発表内容をシェア		事後学習	次回の学習内容について考える
3	事前学習	プレゼン準備	11	事前学習	テーマについて考える
	授業計画	都道府県または１から１２月についてプレゼンのための説明、準備		授業計画	旅行会社の社員になったつもりで、好きな観光地をコマースする
	事後学習	評価と反省		事後学習	次回の発表準備
4	事前学習	プレゼン準備	12	事前学習	発表準備
	授業計画	都道府県または１から１２月についてプレゼン		授業計画	前回のプランをグループごとに発表する
	事後学習	評価と反省		事後学習	評価と反省
5	事前学習	プレゼン準備	13	事前学習	テーマについて考える
	授業計画	都道府県または１から１２月についてプレゼン		授業計画	自分の将来について考える。プレゼンテーション準備
	事後学習	評価と反省		事後学習	発表準備
6	事前学習	プレゼン準備	14	事前学習	発表準備
	授業計画	都道府県または１から１２月についてプレゼン		授業計画	自分の将来について、プレゼンテーションを行う
	事後学習	評価と反省		事後学習	評価と反省
7	事前学習	プレゼン準備	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	都道府県または１から１２月についてプレゼン		授業計画	定期試験
	事後学習	評価と反省		事後学習	振り返り
8	事前学習	プレゼン準備			
	授業計画	都道府県または１から１２月についてプレゼン			
	事後学習	評価と反省			

評価方法　　出席状況：60%　定期試験：40%　＜(その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	総合外国語Ⅰ（文法）	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	松尾　悦子		
実務経験教員紹介	大学院・企業・日本語学校で研究員、ビジネスパーソン、大学進学希望学生に対して、日本語を基礎から超級まで幅広く指導。		

講義概要
日本語能力試験 N1 の文法項目を整理し学習すると同時に上級語彙の習得のために実践問題を解いていく。
達成目標
日本語能力試験 N1 の文法知識の習得と上級語彙の定着。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	予習
	授業計画	N1 模擬試験聴解		授業計画	関連・無関係の文法２に関する解説と N1 語彙問題
	事後学習	なし		事後学習	復習
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	時間関係文法１に関する解説と N1 漢字問題		授業計画	様子の文法の解説と N1 語彙問題
	事後学習	復習		事後学習	復習
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	時間関係文法２に関する解説と N1 漢字問題		授業計画	付随行動の文法の解説と N1 語彙問題
	事後学習	復習		事後学習	復習
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	範囲や限度の文法に関する解説と N1 漢字問題		授業計画	逆説の文法１に関する解説と N1 語彙問題
	事後学習	復習		事後学習	復習
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	限定・非限定・付加の文法に関する解説と N1 語彙問題		授業計画	逆説の文法２に関する解説と N1 語彙問題
	事後学習	復習		事後学習	復習
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	例示の文法解説と N1 語彙問題		授業計画	条件の文法解説と N1 語彙問題
	事後学習	復習		事後学習	復習
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	今までの文型の復習		授業計画	期末テスト
	事後学習	復習		事後学習	復習
8	事前学習	予習			
	授業計画	関連･無関係の文法１に関する解説と N1 語彙問題			
	事後学習	復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（ その他）＞：0%

教科書　著者名　　友松悦子・福島佐知・中村かおり
　　タイトル　新完全マスター文法 N1
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	総合外国語Ⅱ（文法）	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	松尾　悦子		
実務経験 教員紹介	大学院・企業・日本語学校で、研究員、ビジネスパーソン、大学進学希望学生に対して、基礎から超級まで幅広く指導経験。		

講義概要
日本語能力試験 N1 に関する文法項目を整理し学習すると同時に上級語彙の習得のために実践問題を解いていく。
達成目標
日本語能力試験 N1 の文法知識の習得と上級語彙の定着。

授業計画

1	事前学習	予習	9	事前学習	予習
	授業計画	可能・不可能・禁止表現に関する文法解説と N1 文法実践問題		授業計画	動詞を元にした文法形式①を解説する
	事後学習	復習		事後学習	復習
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	話題･評価の基準表現に関する文法解説と N1 文法実践問題		授業計画	動詞を元にした文法形式②を解説する
	事後学習	復習		事後学習	復習
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	比較・対照表現に関する文法解説と N1 文法実践問題		授業計画	古語を使った文法形式を解説する
	事後学習	復習		事後学習	復習
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	結末･最終の状態表現に関する文法解説と N1 文法実践		授業計画	（もの・こと・ところ）を使った表現の整理とポイント解説
	事後学習	復習		事後学習	復習
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	強調表現に関する文法解説と N1 文法実践問題		授業計画	二つの言葉をセットにして言い方を整理し解説する
	事後学習	復習		事後学習	復習
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	主張・断定表現に関する文法解説と N1 語彙実践問題		授業計画	複合助詞について解説する
	事後学習	復習		事後学習	復習
7	事前学習	予習	15	事前学習	復習
	授業計画	評価・感想表現に関する文法解説と N1 文法実践問題		授業計画	期末試験
	事後学習	復習		事後学習	復習
8	事前学習	予習			
	授業計画	心情･強制的思いの表現に関する文法解説と N1 文法実践問題			
	事後学習	復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　友松悦子・福島佐知・中村かおり
　　タイトル　新完全マスター文法 N1
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	通訳翻訳概論Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
本講義では翻訳と通訳の基礎を学ぶ。通訳の訓練法に基づき、さまざまなトレーニングを通して速やかに言葉が変換できる能力を育てる。音声、映像、文章など多彩なコンテンツを利用し、日本語から中国語への通訳、翻訳にチャレンジする。
達成目標
日本語を聞く、話す、読むことを通して、日本語で思考することを定着させる。さらに通訳、翻訳の実践練習から中国語と日本語の二つの言語の表現の違いに気づき、場面に沿った自然な訳を見出せるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	導入編。通訳と翻訳の仕事と目指す目標。		授業計画	通訳の訓練法⑧ノート・テイキング
	事後学習	内容の振り返り		事後学習	配布資料の再確認
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	通訳の訓練法①クイックレスポンス		授業計画	通訳練習：今日のニュース 翻訳練習：絵本を読もう①
	事後学習	語彙の再確認		事後学習	配布資料の再確認
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	通訳の訓練法②シャドウィング		授業計画	通訳練習：今日のニュース 翻訳練習：絵本を読もう②
	事後学習	配布資料の再確認		事後学習	配布資料の再確認
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	通訳の訓練法③リプロダクション		授業計画	通訳練習：今日のニュース 翻訳練習：新聞記事を読もう①
	事後学習	配布資料の再確認		事後学習	配布資料の再確認
5	事前学習	前回の復習	13	事前学習	前回の復習
	授業計画	通訳の訓練法④リテンション		授業計画	通訳練習：今日のニュース 翻訳練習：新聞記事を読もう②
	事後学習	配布資料の再確認		事後学習	配布資料の再確認
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	通訳の訓練法⑤サイト・トランスレーション		授業計画	前期のおさらい。通訳翻訳上達の心得。
	事後学習	配布資料の再確認		事後学習	これまでの内容を復習する
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	これまでの資料を読み直す
	授業計画	通訳の訓練法⑥スラッシュ・リーディング		授業計画	定期試験
	事後学習	配布資料の再確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回の復習			
	授業計画	通訳の訓練法⑦サマライゼーション			
	事後学習	配布資料の再確認			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（　　課題・小テスト　）＞：10%

教科書　著者名　　武吉　次朗
　　タイトル　「日中中日　翻訳必携　基礎編」
　　出版社　　日本僑報社
参考書　著者名　　塚本　慶一
　　タイトル　「新版　中国語通訳への道」
　　出版社　　大修館書店

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	通訳翻訳概論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
本講義では二本立の形で通訳と翻訳の練習を交互に行う。通訳練習では、学生がペア、あるいはグループで、様々な場面における会話を　“劇場型”の形式で再現する。また別のグループが通訳として会話の内容を逐次通訳する（日本語⇔中国語）。翻訳練習では最新の情報を中心に幅広い題材の文章を日本語から中国語に訳す。
達成目標
日常生活におけるさまざまな場面で使用頻度の高い表現を身につけ、日本語でスムーズに会話できることを目指す。さらに、原稿のない会話を通訳することを通して、通訳として必要な能力や心構えを身につける。

授業計画

1	事前学習	通訳と翻訳の違いについて調べる。	9	事前学習	当日のトップニュースを確認する
	授業計画	会話＆通訳練習「買い物」		授業計画	会話＆通訳練習 「病院」
	事後学習	実演した会話を書き直して整理する		事後学習	実演した会話を書き直して整理する
2	事前学習	当日のトップニュースを確認する	10	事前学習	当日のトップニュースを確認する
	授業計画	翻訳練習 ビジネス・貿易関連の新聞記事		授業計画	翻訳練習 日本文化を紹介する関連記事
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える		事後学習	文章を読み直し、単語を覚える
3	事前学習	当日のトップニュースを確認する	11	事前学習	当日のトップニュースを確認する
	授業計画	会話＆通訳練習「美容室」		授業計画	会話＆通訳練習 「乗り換え」
	事後学習	実演した会話を書き直して整理する		事後学習	実演した会話を書き直して整理する
4	事前学習	当日のトップニュースを確認する	12	事前学習	当日のトップニュースを確認する
	授業計画	翻訳練習 旅行・観光スポット		授業計画	翻訳練習 詩を読んでみよう
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える		事後学習	詩を読み直し、単語を覚える
5	事前学習	当日のトップニュースを確認する	13	事前学習	当日のトップニュースを確認する
	授業計画	会話＆通訳練習 「両替」		授業計画	会話＆通訳練習 「観光ガイドを体験する」
	事後学習	実演した会話を書き直して整理する		事後学習	実演した会話を書き直して整理する
6	事前学習	当日のトップニュースを確認する	14	事前学習	当日のトップニュースを確認する
	授業計画	翻訳練習 中国事情の関連記事		授業計画	翻訳練習 短編小説
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える		事後学習	文章を読み直し、単語を覚える
7	事前学習	当日のトップニュースを確認する	15	事前学習	これまでの資料を復習する
	授業計画	会話＆通訳練習 「ホテル」		授業計画	定期試験
	事後学習	実演した会話を書き直して整理する		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	当日のトップニュースを確認する			
	授業計画	翻訳練習 絵本を読む			
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（　　課題・小テスト　）＞：20%

教科書　著者名　　武吉　次朗
　　タイトル　「日中中日　翻訳必携　基礎編」
　　出版社　　日本僑報社
参考書　著者名　　塚本　慶一
　　タイトル　「新版　中国語通訳への道」
　　出版社　　大修館書店

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社での法人営業		

講義概要
本講義はプレゼンテーション発表を中心に進めていく。事前にテーマ（身近な話題）を与え、パワーポイントで発表する内容を準備し、グループで翌週のプレゼンテーションに臨む。また、聴き手として他のグループの発表に対する評価を行う。
達成目標
プレゼンテーションの方法を学ぶことによって、自分の意図を相手に伝える能力を養うことが目的。必要な資料の取捨選択や発表の流れを決める事などを通して、メンバーの協働を促し、チームワーク力を高める。

授業計画

1	事前学習	プレゼンテーションの活用例	9	事前学習	発表内容の確認
	授業計画	プレゼンテーションとは何か プレゼンテーションについて講義する		授業計画	実践　グループ発表⑧
	事後学習	グループで発表の準備を行う		事後学習	次回発表する課題の準備
2	事前学習	発表内容の確認	10	事前学習	発表内容の確認
	授業計画	実践　グループ発表①　東京のお薦め観光スポット		授業計画	実践　グループ発表⑨
	事後学習	次回発表する課題の準備		事後学習	次回発表する課題の準備
3	事前学習	発表内容の確認	11	事前学習	発表内容の確認
	授業計画	実践　グループ発表②		授業計画	実践　グループ発表⑩
	事後学習	次回発表する課題の準備		事後学習	次回発表する課題の準備
4	事前学習	発表内容の確認	12	事前学習	発表内容の確認
	授業計画	実践　グループ発表③		授業計画	実践　グループ発表⑪
	事後学習	次回発表する課題の準備		事後学習	次回発表する課題の準備。
5	事前学習	発表内容の確認	13	事前学習	発表内容の確認。
	授業計画	実践　グループ発表④		授業計画	実践　グループ発表⑫
	事後学習	次回発表する課題の準備		事後学習	次回発表する課題の準備。
6	事前学習	発表内容の確認	14	事前学習	発表内容の確認
	授業計画	実践　グループ発表⑤		授業計画	実践　グループ発表⑬
	事後学習	次回発表する課題の準備		事後学習	テスト課題の準備
7	事前学習	発表内容の確認	15	事前学習	発表準備
	授業計画	実践　グループ発表⑥		授業計画	定期試験（発表実演）
	事後学習	次回発表する課題の準備		事後学習	発表の振り返り
8	事前学習	発表内容の確認			
	授業計画	実践　グループ発表⑦			
	事後学習	次回発表する課題の準備			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社での法人営業		

講義概要
前期に続き、プレゼンテーション発表を中心に進めていく。事前にテーマ（社会、文化）を与え、パワーポイントで発表する内容を準備し、グループで翌週のプレゼンテーションに臨む。また、聴き手としてプレゼンテーションに参加させるため、他のグループの発表に対する講評を行わせる。
達成目標
プレゼンテーションの方法を学ぶことによって、自分の意図を相手に伝える能力を養うことが目的。必要な資料の取捨選択や発表の流れを決める事などを通して、メンバーの協働を促し、チームワーク力を高める。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	発表内容の確認
	授業計画	良いプレゼンテーションについての再確認。		授業計画	実践　グループ発表⑧
	事後学習	グループで発表の準備を行う		事後学習	次回発表する課題の準備
2	事前学習	発表内容の確認	10	事前学習	発表内容の確認
	授業計画	実践　グループ発表①　日本の社会問題		授業計画	実践　グループ発表⑨
	事後学習	次回発表する課題の準備。		事後学習	次回発表する課題の準備
3	事前学習	発表内容の確認	11	事前学習	発表内容の確認
	授業計画	実践　グループ発表②		授業計画	実践　グループ発表⑩
	事後学習	次回発表する課題の準備		事後学習	次回発表する課題の準備
4	事前学習	発表内容の確認	12	事前学習	発表内容の確認
	授業計画	実践　グループ発表③		授業計画	実践　グループ発表⑪
	事後学習	次回発表する課題の準備		事後学習	次回発表する課題の準備
5	事前学習	発表内容の確認	13	事前学習	発表内容の確認
	授業計画	実践　グループ発表④		授業計画	実践　グループ発表⑫
	事後学習	次回発表する課題の準備		事後学習	次回発表する課題の準備
6	事前学習	発表内容の確認	14	事前学習	発表内容の確認
	授業計画	実践　グループ発表⑤		授業計画	実践　グループ発表⑬
	事後学習	次回発表する課題の準備		事後学習	テスト課題の準備
7	事前学習	発表内容の確認	15	事前学習	発表準備
	授業計画	実践　グループ発表⑥		授業計画	定期試験（発表実演）
	事後学習	次回発表する課題の準備		事後学習	発表の振り返り
8	事前学習	発表内容の確認			
	授業計画	実践　グループ発表⑦			
	事後学習	次回発表する課題の準備			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、各提示された日本社会に関わる各種資料（文字・映像・音声）をもとに、資料の内容を分析・調査・考察し、日本への理解を深めることを目的とする。日本語能力の向上を図るとともに、言語の背景となる日本の思想・文化・社会に対する知識を身につける。
達成目標
①資料の分析・調査・考察能力を育成する。②論理的思考力を養成する。 ③日本の思想・文化・社会への理解を深める。 ④日中通訳の際に必須の、言語背景となる日中の社会間の類似・相違を理解し、知識を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	日本の文化（２）　文字資料をもとに日本文化の潮流を知る
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	自習課題学習	10	事前学習	自習課題学習
	授業計画	基礎（１）　資料分析の際の着眼点と日本の検索ツールについて学ぶ		授業計画	日本の文化（３）　映像・文字資料をもとに日本文化について学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	自習課題学習
	授業計画	基礎（２）　資料分析の際の着眼点と日本の検索ツールについて学ぶ		授業計画	日本の文化（４）　映像・文字資料をもとに日本文化について学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（１）　映像資料をもとに現代日本の社会問題について学ぶ		授業計画	日本の文化（５）　映像・文字資料をもとに日本文化について学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（２）　映像資料をもとに現代日本の社会問題について学ぶ		授業計画	日本の思想（１）　映像・文字資料をもとに日本人の思想について学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（３）　映像資料をもとに現代日本の社会問題について学ぶ		授業計画	日本の思想（２）　映像・文字資料をもとに日本人の思想について学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	定期試験準備
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	日本の社会（４）　文字資料をもとに現代日本の社会問題について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	講義復習		事後学習	定期試験復習
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	日本の文化（１）　文字資料をもとに日本文化の潮流を知る			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜資料配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、前期「外国語演習Ⅰ」に引き続き、各提示された日本社会に関わる各種資料（文字・映像・音声）をもとに、資料の内容を分析・調査・考察し、日本への理解を深めることを目的とする。日本語能力の向上を図るとともに、言語の背景となる日本の思想・文化・社会に対する知識を身につける。口頭発表も行ってもらう。
達成目標
①資料の分析・調査・考察能力を育成する。②論理的思考力を養成する。 ③日本の思想・文化・社会への理解を深める。 ④日中通訳の際に必須の、言語背景となる日中の社会間の類似・相違を理解し、知識を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	日本の思想と文化（２）　映像・文字資料をもとに日本について学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	自習課題学習	10	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（１）　映像・文字資料をもとに日本の社会問題について学ぶ		授業計画	日本の思想と文化（３）　映像・文字資料をもとに日本について学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（２）　映像・文字資料をもとに日本の社会問題について学ぶ		授業計画	日本の思想と文化（４）　映像・文字資料をもとに日本について学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（３）　映像・文字資料をもとに日本の社会問題について学ぶ		授業計画	日本の思想と文化（５）　映像・文字資料をもとに日本について学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（４）　映像・文字資料をもとに日本の社会問題について学ぶ		授業計画	日本の思想と文化（６）　映像・文字資料をもとに日本について学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（５）　音声資料をもとに日本の社会問題について学ぶ		授業計画	日本の思想と文化（７）　映像・文字資料をもとに日本について学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	日本の社会（６）　音声資料をもとに日本の社会問題について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	講義復習		事後学習	定期試験復習
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	日本の思想と文化（１）　映像・文字資料をもとに日本について学ぶ			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜資料配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	通訳技術・翻訳技術 I	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
本講義は、「通訳翻訳概論」で学んできたスキルを活用しながら進めていく。日本語の短編映像資料を選定し、全編のセリフ起こし作業を行う。その後、台本をもとに中国語に翻訳し、字幕作成にチャレンジする。
達成目標
日本語のセリフを繰り返し聞くことによって、正確に理解できるようにする。また、グループ単位で分担して作業することによって、チームワーク力を高め、協力しながら課題をクリアすることを目指す。

授業計画

1	事前学習	好きな日本の映像作品を挙げる	9	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	約 30 分間の映像（アニメ）を視聴し、パーツに分け、分担を決める。		授業計画	テレビドラマを視聴し、パーツに分けて分担を決める。
	事後学習	グループで発表準備		事後学習	グループで発表準備
2	事前学習	発表内容について打ち合わせる	10	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	書き起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す①		授業計画	書き起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳する①
	事後学習	書き起こしたセリフの確認		事後学習	起こしたセリフの確認。
3	事前学習	発表内容について打ち合わせる	11	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	書き起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す②		授業計画	書き起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳する②
	事後学習	書き起こしたセリフの確認		事後学習	書き起こしたセリフの確認
4	事前学習	発表内容について打ち合わせる	12	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す③		授業計画	起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳する③。
	事後学習	全体的な流れを整理する		事後学習	授業資料の確認
5	事前学習	発表内容について打ち合わせる	13	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	ドキュメンタリー番組を視聴し、パーツに分けて分担を決める。		授業計画	中国語の番組を視聴しながら、ナレーションを日本語に訳す。
	事後学習	グループで発表準備		事後学習	グループで発表準備
6	事前学習	発表内容について打ち合わせる	14	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	書き起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す①		授業計画	順番にナレーションを日本語に訳す。
	事後学習	書き起こしたセリフの確認		事後学習	授業資料の確認
7	事前学習	発表内容について打ち合わせる	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	書き起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す②		授業計画	定期試験
	事後学習	書き起こしたセリフの確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	発表内容について打ち合わせる			
	授業計画	書き起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す③			
	事後学習	全体的な流れを確認する			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（　　課題・小テスト　）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	通訳技術・翻訳技術Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
前期集中で学んだ「通訳翻訳技術Ⅰ」の続き。今までに身に付けた通訳翻訳の力を、実践練習の中で活用する。日本語の短編映像資料を選定し、全編のセリフ起こし作業を行う。その後、作成した台本をもとに中国語に翻訳し、字幕作成を行う。
達成目標
日本語のセリフを繰り返し聞くことによって、正確に理解できるようにする。グループ単位で分担して作業することによって、チームワーク力を高め、協力して課題をクリアすることを目指す。

授業計画

1	事前学習	好きな日本の映像作品を挙げる	9	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	約 45 分間の映像（アニメ）を視聴し、パーツに分け、分担を決める。		授業計画	テレビドラマを視聴し、パーツに分けて分担を決める。
	事後学習	発表内容の準備		事後学習	グループて打ち合わせる
2	事前学習	発表内容について打ち合わせる	10	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	書き起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す①		授業計画	起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す①
	事後学習	書き起こしたセリフの確認		事後学習	起こしたセリフの確認
3	事前学習	発表内容について打ち合わせる	11	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	書き起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す②		授業計画	起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す②
	事後学習	書き起こしたセリフの確認		事後学習	起こしたセリフの確認
4	事前学習	発表内容について打ち合わせる	12	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	書き起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す③		授業計画	起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す③
	事後学習	授業資料の確認		事後学習	全体の流れを確認する
5	事前学習	発表内容について打ち合わせる	13	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	ドキュメンタリー番組を視聴し、パーツに分けて分担を決める。		授業計画	中国語の番組を視聴しながら、ナレーションを日本語に訳す。
	事後学習	発表内容の準備		事後学習	グループて打ち合わせる
6	事前学習	発表内容について打ち合わせる	14	事前学習	発表内容について打ち合わせる
	授業計画	起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す①		授業計画	順番にナレーションを日本語に訳す
	事後学習	起こしたセリフの確認		事後学習	全体の流れを確認する
7	事前学習	発表内容について打ち合わせる	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す②		授業計画	定期試験
	事後学習	起こしたセリフの確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	発表内容について打ち合わせる			
	授業計画	起こしたセリフを順番に発表し、中国語に訳す③			
	事後学習	全体的な流れを確認する			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（　　課題・小テスト　）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	通訳翻訳特別演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
通訳、翻訳はさまざまな業界でどのように生かされているかについて学生によりイメージができるように、小説、ドラマ、ゲーム、流行歌などに携わる翻訳者、医療・福祉業界、観光ホテル業界などで通訳者として活躍している方々を招き、仕事の経験談を語って頂き、通訳翻訳の醍醐味を伝える。
達成目標
さまざまな業界で働く通訳者・翻訳者の具体的な仕事の内容について知ってもらい、どのような知識や能力が求められるかを把握することで、より明確な目標設定やキャリアプランを立てられるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	導入。前期授業の全体のガイダンス。		授業計画	テレビドラマの翻訳①
	事後学習	宿題（練習問題）		事後学習	配布資料の振り返り
2	事前学習	配布資料の予習	10	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	医療通訳①　医療通訳の現状		授業計画	テレビドラマの翻訳②
	事後学習	アンケートの記入		事後学習	配布資料の振り返り
3	事前学習	配布資料の予習	11	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	医療通訳② 医学の知識、医学用語の日中対訳		授業計画	小説の翻訳①
	事後学習	配布資料の振り返り		事後学習	配布資料の振り返り
4	事前学習	配布資料の予習	12	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	医療通訳③ 医学の知識、糖尿病について		授業計画	小説の翻訳②
	事後学習	配布資料の振り返り		事後学習	配布資料の振り返り
5	事前学習	配布資料の予習	13	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	医療通訳④ 医学の知識、認知症について		授業計画	流行歌の翻訳
	事後学習	配布資料の振り返り		事後学習	配布資料の振り返り
6	事前学習	配布資料の予習	14	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	通訳案内士の仕事① 通訳案内士という資格		授業計画	ゲームの翻訳
	事後学習	配布資料の振り返り		事後学習	配布資料の振り返り
7	事前学習	配布資料の予習	15	事前学習	これまでの内容の復習
	授業計画	通訳案内士の仕事② 通訳案内士に必要な知識		授業計画	期末試験
	事後学習	配布資料の振り返り		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布資料の予習			
	授業計画	通訳案内士の仕事③ ホテルでの仕事			
	事後学習	配布資料の振り返り			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	通訳翻訳特別演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
前期に続き、医療通訳、通訳案内士、書籍、ドラマの翻訳という分野に焦点を当て、講師の方々が仕事での経験談を伝える一方、実際に通訳、翻訳にチャレンジする。通訳・翻訳を仕事として携わる際に幅広い範囲の知識に触れることにより、視野を広げる。
達成目標
病院での診察の場面での通訳、観光地でのお客さんを案内するなど、具体的な場面での通訳がある程度できるように練習を重ねる。一方で、小説、ドラマの翻訳練習を通して、より質の高い訳を目指す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料の振り返り。
	授業計画	医療通訳①		授業計画	通訳案内士④
	事後学習	課題を済ませる。		事後学習	課題を済ませる
2	事前学習	配布資料の振り返り。	10	事前学習	配布資料の振り返り。
	授業計画	医療通訳②		授業計画	通訳案内士⑤
	事後学習	配布資料の振り返り。		事後学習	課題を済ませる
3	事前学習	配布資料の振り返り。	11	事前学習	配布資料の振り返り。
	授業計画	医療通訳③		授業計画	小説の翻訳①
	事後学習	課題を済ませる		事後学習	課題を済ませる
4	事前学習	配布資料の振り返り。	12	事前学習	配布資料の振り返り。
	授業計画	医療通訳④		授業計画	小説の翻訳②
	事後学習	課題を済ませる		事後学習	課題を済ませる
5	事前学習	配布資料の振り返り。	13	事前学習	配布資料の振り返り。
	授業計画	医療通訳⑤		授業計画	ドラマの翻訳①
	事後学習	課題を済ませる		事後学習	課題を済ませる
6	事前学習	配布資料の振り返り。	14	事前学習	配布資料の振り返り。
	授業計画	通訳案内士①		授業計画	ドラマの翻訳②
	事後学習	配布資料の振り返り。		事後学習	課題を済ませる
7	事前学習	配布資料の振り返り。	15	事前学習	これまでの内容の復習。
	授業計画	通訳案内士②		授業計画	期末試験。
	事後学習	課題を済ませる		事後学習	0
8	事前学習	配布資料の振り返り。			
	授業計画	通訳案内士③			
	事後学習	課題を済ませる			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本の映像作品を時系列で取り上げる。作品の鑑賞・分析を通して、日本の昔と今、社会の変遷を知り、現代日本の成り立ちや在り様についての理解を深める。講義後半では、少人数のグループに分かれ、テーマを一つ選んでプレゼン発表を行ってもらう。
達成目標
①主要な日本の映像作品と、その社会的意義・社会への影響についての知識を深める。 ②グループワークを通じ、協調性、リーダーシップを育成する。 ③レジュメ作成、口頭発表を通じ、伝達力を向上させる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	プレゼン準備（１） ①グループ割り　②テーマ決め
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（１）　TV ドラマ作品		授業計画	プレゼン準備（２）　①レジュメ・PPT 作成　②スピーチ原稿作成
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（２）　TV ドラマ作品		授業計画	プレゼン準備（３）　①レジュメ・PPT 作成　②スピーチ原稿作成
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（３）　TV ドラマ作品		授業計画	プレゼン発表（１）　①グループ発表　②ディスカッション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（４）　実写映画作品		授業計画	プレゼン発表（２）　①グループ発表　②ディスカッション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（５）　実写映画作品		授業計画	プレゼン発表（３）　①グループ発表　②ディスカッション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（６）　実写映画作品		授業計画	定期試験
	事後学習	講義復習		事後学習	振り返り
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	日本の映像文化の変遷（７）　実写映画作品			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜資料配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜紹介
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本のサブカルチャーをテーマに、映像作品や評論・ニュース記事等の文字資料等を取り上げる。映像作品の鑑賞・分析、文字資料の考察を通して、日本の昔と今、社会の変遷を知り、現代日本文化および現代日本社会の構造についての理解を深める。
達成目標
①主要な日本の映像作品と、その社会的意義・社会への影響についての知識を深める。 ②日本のサブカルチャーの変遷を学び、現代日本文化への理解を深める。 ③日本の現代社会の構造や抱える問題について理解する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	キャラクターと日本人（３） キャラクター産業論
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（１） アニメ作品		授業計画	キャラクターと日本人（４） キャラクター産業論
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	自宅課題学習
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（２） アニメ作品		授業計画	メジャーカルチャーとサブカルチャー 日本の社会構造と文化の担い手
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	自宅課題学習
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（３） アニメ作品		授業計画	メジャーカルチャーとサブカルチャー 日本の社会構造と文化の担い手
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	自宅課題学習
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（４） アニメ作品		授業計画	メジャーカルチャーとサブカルチャー 日本の社会構造と文化の担い手
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自宅課題学習
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（５） アニメ作品		授業計画	メジャーカルチャーとサブカルチャー 日本の社会構造と文化の担い手
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	試験の準備
	授業計画	キャラクターと日本人（２） キャラクター文化論		授業計画	試験
	事後学習	講義復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	キャラクターと日本人（３） キャラクター産業論			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜資料配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜紹介
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナー	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
学生と社会人との違いを認識し、ビジネスシーンでの身だしなみや最低限守るべきマナー・ルールを学ぶとともに、日本社会で信頼され、活躍できる人材の育成を目指す。また、多国籍の集団の中で、良好な人間関係を築くための対面およびオンラインコミュニケーションを学び、日常生活でも実践できるよう指導する。
達成目標
ビジネススーツを正しく着こなす。好印象の挨拶・お辞儀などの基本動作が出来るようになる。就業マナーや会社組織、敬語の使い分け、電話応対の基本知識を理解し、実践できるようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	他国出身の友達を 5 人　紹介準備
	授業計画	講義の進め方とルール、当科目の学習目的を理解し目標をたてる		授業計画	指示の受け方　報告・連絡・相談と 5 W3H
	事後学習	3 か月後の姿を言語化する		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
2	事前学習	自己紹介の内容となる材料を集める	10	事前学習	敬語置き換え一覧表を印刷する
	授業計画	共に過ごす未来を意識した自己紹介の準備方法		授業計画	ビジネス会話の基本　敬語の種類と動詞の置き換え一覧表作成
	事後学習	1 分間自己紹介の準備をする		事後学習	敬語置き換え一覧表を覚える
3	事前学習	自己紹介を声に出して 5 回練習する	11	事前学習	フォームを使って敬語小テスト
	授業計画	学生と社会人の違いを５つの視点で比較する		授業計画	敬語の使い分け　内と外　間違いやすい敬語
	事後学習	フォームで自己紹介内容を報告		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
4	事前学習	外出準備の行動を言語化する	12	事前学習	日常生活で敬語会話を積極的に実践
	授業計画	大人としての自己責任　第一印象の重要性　メラビアンの法則		授業計画	ビジネスコミュニケーションの優先順位と使い分け
	事後学習	第一印象要点を 200 字でまとめる		事後学習	フォームで敬語会話の実践報告
5	事前学習	身だしなみチェック表を記入する	13	事前学習	興味のある日本企業の HP を探す
	授業計画	おしゃれと身だしなみの違い　スーツの着方　準備と手入れ方法		授業計画	電話応対①　電話のかけ方マナー　電話メモの取り方
	事後学習	スーツの手入れと靴磨きをする		事後学習	アポ電話の台詞を用意する
6	事前学習	姿勢の良い人の特徴を観察する	14	事前学習	電話応対会話資料を印刷する
	授業計画	正しい姿勢での立ち方・座り方・お辞儀・入退出動作実習		授業計画	電話応対②　電話の取り次ぎ　状況別応対シミュレーション
	事後学習	1 日 3 回各 1 分間壁立ち姿勢確認		事後学習	配布資料を確認しノートを整備する
7	事前学習	身近な人の役職を調べる	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	日本企業のタテ組織、ヨコ組織　人間関係構築の基本		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームで役職名問題を解く		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	配布資料を確認しノート整備			
	授業計画	シーン別挨拶の実習　オンライン画面の映り方イメージアップ法			
	事後学習	初対面の相手への挨拶練習 10 回			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われる図解ビジネスマナー
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	大崎　健一		
実務経験 教員紹介			

講義概要
主に、①Windows の操作、②タイピング、③Word の操作について学習します。Word の操作では、基本的な操作については網羅的に扱い、一般的な文章作成技術を身につけることを目標とします。合わせて、カタカナ語や、ビジネス文章の作成ルールについても学習します。
達成目標
①正しい手順で Windows の操作が行える。②タッチタイピング（５分６００字）、日本語タイピング（５分４００字） ③Word の基本的な操作を理解し、正しい手順で Word 文章の作成が行える。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	オリエンテーション、Windows の基礎操作		授業計画	編集機能（フォント）、表操作（作成、サイズ変更、配置）
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	学習内容の復習
2	事前学習	前回内容の復習	10	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	マルチタスク操作、キーボード入力、エクスプローラ操作		授業計画	表操作（行列操作、結合分割、スタイル、オプション）
	事後学習	ローマ字の練習		事後学習	学習内容の復習
3	事前学習	ローマ字の練習	11	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	ローマ字のテスト、タッチタイピングの練習		授業計画	いろいろな書式、段組み、ドロップキャップ、ページ罫線
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	学習内容の復習
4	事前学習	ローマ字の復習	12	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	Word 入門、日本語入力（ひらがな、カタカナ、漢字）		授業計画	画像（挿入、サイズ変更、配置）、ワードアート
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	学習内容の復習
5	事前学習	前回内容の復習	13	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	日本語入力（漢字）、記号の入力、手書き入力		授業計画	図形描画（挿入、色、テーマ）、スマートアート
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	学習内容の復習
6	事前学習	前回内容の復習	14	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	文節変換、変換中の修正方法、その他の入力		授業計画	試験のための復習、問題演習
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	試験のための学習
7	事前学習	前回内容の復習	15	事前学習	試験のための学習
	授業計画	書式設定、複写削除移動、編集機能（揃え、箇条書き、インデント）		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回内容の復習			
	授業計画	ビジネス文章のルール（頭語結語、あいさつ文、記書き）			
	事後学習	学習内容の復習			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　実教出版企画開発部
　　タイトル　30 時間でマスターWord2016
　　出版社　　実教出版
参考書　著者名　　FOM 出版
　　タイトル　よくわかる MOS Word 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM 出版

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	大崎　健一		
実務経験 教員紹介			

講義概要
主に、①Excel の操作、②タイピングについて学習します。①Excel の操作では、Excel の基本的な操作を網羅的に扱い、表計算ソフトの仕組みを理解し、ワークシートを作成する技術を身に着けることを目標とします。タイピング技術は、前期より引き続き向上を図ります。
達成目標
①表計算ソフトの仕組み、および、Excel の基本的な操作を理解し、正しい手順で Excel のワークシートを作成できる。②タッチタイピング（５分６００文字）、日本語タイピング（５分４００文字）

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	オリエンテーション、Excel の基礎操作		授業計画	グラフ操作（3D グラフ、複合グラフ、ドーナツグラフ等）
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	学習内容の復習
2	事前学習	前回内容の復習	10	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	セルの入力、セルの選択、オートフィル、関数（SUM）		授業計画	関数（RANK、VLOOKUP、INDEX）
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	学習内容の復習
3	事前学習	前回内容の復習	11	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	行・列の操作（挿入、削除）、関数（AVARAGE）、相対参照		授業計画	関数（LEN、LEFT、RIGHT、MID）
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	学習内容の復習
4	事前学習	前回内容の復習	12	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	表示形式、文字の配置、罫線、セルのスタイル		授業計画	関数（SUMIF、AVARAGEIF、CONUTIF）
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	学習内容の復習
5	事前学習	前回内容の復習	13	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	絶対参照、表示形式、文字属性の変更（フォント、サイズ等）		授業計画	試験のための復習、問題演習
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	学習内容の復習
6	事前学習	前回内容の復習	14	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	関数(MAX、MIN、COUNT、COUNTA、ROUND)		授業計画	試験のための復習、問題演習
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	試験のための学習
7	事前学習	前回内容の復習	15	事前学習	試験のための学習
	授業計画	IF 関数と、条件付き書式		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回内容の復習			
	授業計画	グラフ操作(棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ等)			
	事後学習	学習内容の復習			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名　　実教出版企画開発部
　　タイトル　30 時間でマスターExcel2016
　　出版社　　実教出版
参考書　著者名　　FOM 出版
　　タイトル　よくわかる MOS Excel 2016 対策テキスト＆問題集
　　出版社　　FOM 出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	簿記Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記･簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ
	事後学習	簿記とは何か　意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	売掛金・買掛金について調べる
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし､勘定口座に転記する意義を学ぶ		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B）の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	泉谷　尚俊		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになってます。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
この授業は、ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、財務諸表の一連の作成プロセスを修得することを到達目標とする

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	子記録債権･電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（３）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権･債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表　簿記Ｉの具体的作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳　株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権･債務の記帳　これからの時代の債権・債務を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（２）　貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務的種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（１）決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	範囲の復習をしっかりやろう
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（２）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級問題集
　　出版社　　カリアック

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	実用日本語Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
BJT ビジネス日本語能力テスト対策を実施する。BJT の中でも特に聴読解・聴解分野対策に力を入れる。まずは、BJT 特有の聴読解・聴解の問題形式に慣れてもらい、問題演習を重ねることで、BJT 聴読解・聴解分野への問題対応力を育成、高得点獲得を目指す。
達成目標
①BJT ビジネス日本語能力テストにおいて、高得点を獲得できる力を育成する。 ②総合的な日本語聴解力の向上を目指す。 ③ビジネス用語や表現に慣れる。 ④ビジネスシーンで使用される接遇日本語表現に慣れる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	BJT 対策（６）　読解 ①問題演習　②解答解説
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	自習課題学習
	授業計画	実践演習（１）　BJT ビジネス日本語能力テスト　テスト演習		授業計画	BJT 対策（７）　読解 ①問題演習　②解答解説
	事後学習	演習問題の解き直し		事後学習	講義復習
3	事前学習	演習問題の解き直し	11	事前学習	テスト演習に向けた復習
	授業計画	実践演習（１）　BJT ビジネス日本語能力テスト　解答解説		授業計画	実践演習（２）　BJT ビジネス日本語能力テスト　テスト演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	演習問題の解き直し
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	演習問題の解き直し
	授業計画	BJT 対策（１）　聴解・聴読解 ①問題演習　②解答解説		授業計画	実践演習（２）　BJT ビジネス日本語能力テスト　解答解説
	事後学習	講義復習		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	テスト演習に向けた復習
	授業計画	BJT 対策（２）　聴解・聴読解 ①問題演習　②解答解説		授業計画	実践演習（３）　BJT ビジネス日本語能力テスト　テスト演習
	事後学習	講義復習		事後学習	演習問題の解き直し
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	演習問題の解き直し
	授業計画	BJT 対策（３）　聴解・聴読解 ①問題演習　②解答解説		授業計画	実践演習（３）　BJT ビジネス日本語能力テスト　解答解説
	事後学習	講義復習		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	試験に向けた復習
	授業計画	BJT 対策（４）　聴解・聴読解 ①問題演習　②解答解説		授業計画	試験
	事後学習	講義復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	BJT 対策（５）　読解 ①問題演習　②解答解説			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講義の中で適宜資料配布
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講義の中で適宜紹介
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	実用日本語Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、日本社会で日本人とともに学び・働くための知識・教養を深めることを最終目的とする。日本の映像作品・文学作品・音楽作品の鑑賞と分析を通し、関連する日本語や知識の獲得を行う。また、随時、中国の作品との比較検討を行っていく。
達成目標
①主要な日本の映像作品・文学作品・音楽作品を知る。 ②①の社会的意義・社会への影響についての知識を深める。 ③日本の思想・文化・社会への理解を深める。④日中通訳翻訳の際に必要な言語・知識の幅を広げる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自宅課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	日本の文学作品の変遷と日本社会の変容（２）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	自宅課題学習
	授業計画	日本の映像作品の変遷と日本社会の変容（１）		授業計画	日本の文学作品の変遷と日本社会の変容（３）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	自宅課題学習
	授業計画	日本の映像作品の変遷と日本社会の変容（２）		授業計画	日本の文学作品の変遷と日本社会の変容（４）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	自宅課題学習
	授業計画	日本の映像作品の変遷と日本社会の変容（３）		授業計画	日本文学からみる日本の思想・文化　「あはれ」と「をかし」（１）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	自宅課題学習
	授業計画	日本の音楽作品の変遷と日本社会の変容（１）		授業計画	日本文学からみる日本の思想・文化　「あはれ」と「をかし」（２）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自宅課題学習
	授業計画	日本の音楽作品の変遷と日本社会の変容（２）		授業計画	日本文学からみる日本の思想・文化　「あはれ」と「をかし」（３）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	なし
	授業計画	日本の音楽作品の変遷と日本社会の変容（３）		授業計画	試験
	事後学習	講義復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	日本の文学作品の変遷と日本社会の変容（１）			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜資料配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜紹介
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネス外国語Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	土肥　義充		
実務経験 教員紹介			

講義概要
大学・大学院への進学だけでなく、日本企業等への就職を希望者を対象に、最新のビジネス日本語を学びながらビジネス文化への理解と知識を深め、将来現場で役に立つ実践的なコミュニケーション能力を養う。聴読解を通しての情報収集力、そして発話力を身につけながら総合的な日本語能力の向上を図る。
達成目標
①ビジネス慣習の把握と理解　②歴史・文化に根付く「ことわざ・慣用語」と最新カタカナ語の習得　②新聞、テレビ、ネット情報の積極的な取得　③それらを社会、ビジネス現場で活かせる適応力を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自主課題学習
	授業計画	自己紹介と TIBC 卒業後の将来の目標について		授業計画	「ビジネス日本語」3 課会話練習
	事後学習	講義資料見直し		事後学習	講義復習
2	事前学習	自主課題学習	10	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課読解		授業計画	「ビジネス日本語」3 課までの復習と慣用語
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自主課題学習	11	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課文法		授業計画	「ビジネス日本語」4 課読解と文法
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自主課題学習	12	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課会話		授業計画	「ビジネス日本語」4 課会話練習
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自主課題学習	13	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」1 課会話練習		授業計画	「ビジネス日本語」5 課読解と文法
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自主課題学習	14	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」2 課読解と文法		授業計画	「ビジネス日本語」5 課会話練習
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自主課題学習	15	事前学習	自主課題学習
	授業計画	「ビジネス日本語」2 課会話練習		授業計画	「ビジネス日本語」5 課までの復習と慣用語
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
8	事前学習	自主課題学習			
	授業計画	「ビジネス日本語」3 課読解と文法			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　千駄ヶ谷日本語教育研究所
　　タイトル　ケーススタディで学ぶ　ビジネス日本語
　　出版社　　スリーエー
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で紹介
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネス外国語Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	土肥　義充		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期「ビジネス外国語Ⅰ」の継続。大学・大学院進学だけでなく、日本企業等への就職を希望者を対象に、最新のビジネス日本語を学びながらビジネス文化への理解と知識を深め、将来現場で役に立つ実践的なコミュニケーション能力を養う。聴読解を通しての情報収集力、そして発話力を身につけながら総合的な日本語能力の向上を図る。
達成目標
①ビジネス慣習の把握と理解　②歴史・文化に根付く「ことわざ・慣用語」と最新カタカナ語の習得　②新聞、テレビ、ネット情報の積極的な取得　③それらを社会、ビジネス現場で活かせる適応力を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	前期の総復習と講義の進め方＆学習方法など		授業計画	ビジネス日本語中級（９）会話／慣用語
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習と宿題
2	事前学習	自習課題の学習	10	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（６）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１０）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
3	事前学習	自習課題の学習	11	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（６）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１０）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
4	事前学習	自習課題の学習	12	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（７）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１１）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
5	事前学習	自習課題の学習	13	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（７）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１１）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
6	事前学習	自習課題の学習	14	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（８）読解・文法／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１２）読解・文法／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習と宿題
7	事前学習	自習課題の学習	15	事前学習	自習課題の学習
	授業計画	ビジネス日本語中級（８）会話／慣用語		授業計画	ビジネス日本語中級（１２）会話／慣用語
	事後学習	講義復習と宿題		事後学習	講義復習
8	事前学習	自習課題の学習			
	授業計画	ビジネス日本語中級（９）読解・文法／慣用語			
	事後学習	講義復習と宿題			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（　　課題・小テスト　）＞：25%

教科書　著者名　　千駄ヶ谷日本語教育研究所
　　タイトル　ケーススタディで学ぶ　ビジネス日本語
　　出版社　　スリーエー
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で紹介
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティⅠ	単位	2単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	飛鳥　政明		
実務経験 教員紹介	40年以上の飲食関連全般の実務経験。「ホスピタリティ」関連は(株)オリエンタルランドグループで「ディズニー流のホスピタリティ」を17年指導経験あり。		

講義概要
あらゆる産業において、企業理念として「顧客満足」を掲げている会社が多いなか、この「顧客満足」を実践できる人財が必要となる。学生自身がホスピタリティの意味を理解し、どのような考え方、どのような言動を身につけなければならないかという理論および日常的なホスピタリティマインド発揮のための基盤の確立を目指す。
達成目標
学生が卒業後、社会人となり職場からも顧客からも信頼され、本人だけでなく会社からも必要とされる人財となるように学修を深める。そして自ら率先してホスピタリティを理解し実践できる人財にすることが目標。

授業計画

1	事前学習	本講義で学ぶ内容を理解する	9	事前学習	配布資料の事前予習
	授業計画	オリエンテーション、自己紹介、授業内容の説明、ルールなどを説明		授業計画	顧客満足とホスピタリティ（顧客の心理、顧客満足とは）
	事後学習	オリエンテーションの内容を復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
2	事前学習	「ホスピタリティ」とは何か考える	10	事前学習	自身がクレームを受けたことの有無
	授業計画	「ホスピタリティ」と「サービス」の違いを理解する		授業計画	クレーム対応とは？自身の体験を基に検証。2度と起こさないためには
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
3	事前学習	「ホスピタリティ」産業とは	11	事前学習	アルバイト先での環境について
	授業計画	「ホスピタリティ」産業にはどのようなものがあるか考える		授業計画	職場環境（従業員満足、メンタルヘルス、ハラスメント）を考える
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
4	事前学習	配布資料の確認	12	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	人財育成とホスピタリティ（ホスピタリティを発揮できる人財の育成）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
5	事前学習	配布資料の確認と予習	13	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	企業と社会（企業の社会的責任とホスピタリティ、コンプライアンス）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
6	事前学習	自分の心の知能指数とは	14	事前学習	過去の配布資料の再確認
	授業計画	ホスピタリティの原点とはなにか。その為には、まず自分を知ること		授業計画	前期配布資料のまとめと復習。前期試験の概要説明
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	試験対策の復習
7	事前学習	配布資料の確認と予習	15	事前学習	筆記試験の予習
	授業計画	交流分析、自我状態（心のなりたち・エゴグラム）を知る		授業計画	筆記試験の実施と前期のまとめとフィードバックを行う
	事後学習	エゴグラムをチェックリストの確認		事後学習	講義内容の復習
8	事前学習	コミュニケーションはなぜ必要？			
	授業計画	コミュニケーションとホスピタリティ（聴き方、話し方）			
	事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：100%　＜（ その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本ホスピタリティ協会
　　タイトル　ホスピタリティ検定
　　出版社　　(株)経済法令研究会

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティⅡ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	小池　勝也		
実務経験 教員紹介	海外旅行代理店、外資系航空会社で勤務した後、起業。上場企業のパートナーとして IT 企業の経営や、人事・組織開発のコンサルティング業務に従事。		

講義概要
前期のホスピタリティⅠで学んだことをベースに、「サービス」や「ホスピタリティ」がお客様や従業員自身に与える様々な影響を考察する。その上で、日本の「おもてなし」や西欧の「ホスピタリティ」の心がどこから生まれてきているのか、その歴史や文化的な背景を学び、「ホスピタリティ」とは何かを、より深く学んでいく。
達成目標
ホスピタリティの学びを通じて、仕事をお客様のためだけでなく、自分のため、会社のため、社会のためと重ねて捉える考え方を理解する。そして同時に、マーケティングにおけるホスピタリティの重要性を理解する。

授業計画

1	事前学習	前期の学習内容を復習しておく	9	事前学習	観光における日本の魅力を考える
	授業計画	講義ガイダンス 「ホスピタリティⅠ」の振り返り		授業計画	ホスピタリティとおもてなし 訪日外国人誘客に与える影響について
	事後学習	ホスピタリティの意味を再確認する		事後学習	おもてなしの長所と短所を理解する
2	事前学習	やりがいとは何かを考えておく	10	事前学習	４P 分析を復習しておく
	授業計画	「感情労働」とは何か　接客活動における感情のコントロール		授業計画	ホスピタリティが「製品」に与える影響について事例から考える
	事後学習	感情管理の重要性を理解する		事後学習	付加価値について理解する
3	事前学習	良いサービスの事例を考える	11	事前学習	顧客は何に対して対価を払うのか
	授業計画	「サービス」と「ホスピタリティ」の違い　提供のプロセスを理解する		授業計画	ホスピタリティが「価格」に与える影響について事例から考える
	事後学習	1 対多と 1 対 1 の違いを理解する		事後学習	なぜ高価でも買ってしまうのか
4	事前学習	お客様とはどのような人かを考える	12	事前学習	「無人化」の長所短所を考える
	授業計画	「顧客」とは誰か 顧客の立場になって考え行動する		授業計画	ホスピタリティが「流通」に与える影響について事例から考える
	事後学習	顧客の視点を理解する		事後学習	流通に人間が介在する意味とは
5	事前学習	「品質」の意味を調べる	13	事前学習	製品購入の決め手は何かを考える
	授業計画	サービス品質を考える　「真実の瞬間」評判はどう生まれるのか		授業計画	ホスピタリティが「販売促進」に与える影響について事例から考える
	事後学習	身近な「真実の瞬間」を考えてみる		事後学習	ホスピタリティは販売促進に有効か
6	事前学習	顧客が満足する要素を調べる	14	事前学習	ホスピタリティの重要性を整理する
	授業計画	顧客満足と顧客エンゲージメント 顧客と企業の結びつきを考える		授業計画	後期振り返り　現代ビジネスにおけるホスピタリティの重要性について
	事後学習	「顧客満足」の重要性を理解する		事後学習	ホスピタリティが注目される理由
7	事前学習	従業員が満足する要素を調べる	15	事前学習	重要語句の意味を整理しておく
	授業計画	従業員満足と従業員エンゲージメント従業員と企業の結びつきを考える		授業計画	定期試験ホスピタリティがマーケティングに与える影響について考える
	事後学習	「従業員満足」の重要性を理解する		事後学習	講義の重要ポイントを振り返る
8	事前学習	企業の存在価値とは何かを考える			
	授業計画	地域社会とホスピタリティ 企業と地域社会の結びつきを考える			
	事後学習	企業の存在価値を理解する			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：70%　＜（平常点）＞：20%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講義において適宜参考図書を例示する
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語表現Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
JLPT 日本語能力試験 N1 の文字語彙対策を行うとともに、さまざまな場面における多様な日本語の表現について学ぶ。漢字は日中共通のものも多いが、使用場面やニュアンスの異なるものも少なくない。授業を通し、日本語の文字・語彙能力を鍛え、立場や場面に応じた適切な表現が出来るようにしていくことを目的とする。
達成目標
①JLPT 日本語能力試験 N1 合格を目指す。 ②授業で毎回実施する N1 文字語彙小テストで、正答率８割以上を目指す。 ③日本のさまざまな場面や立場で使用される日本語表現を習得、進路決定に繋げる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	演習問題の解き直し
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	実践演習（１）　JLPT 日本語能力試験 N１　解答解説
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	自習課題学習	10	事前学習	自習課題学習
	授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（１） ②多様な日本語表現（１）		授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（７） ②多様な日本語表現（７）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	自習課題学習
	授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（２） ②多様な日本語表現（２）		授業計画	実践演習（２）　JLPT 日本語能力試験 N１　テスト演習
	事後学習	講義復習		事後学習	演習問題の解き直し
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	演習問題の解き直し
	授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（３） ②多様な日本語表現（３）		授業計画	実践演習（２）　JLPT 日本語能力試験 N１　解答解説
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	自習課題学習
	授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（４） ②多様な日本語表現（４）		授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（８） ②多様な日本語表現（８）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自習課題学習
	授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（５） ②多様な日本語表現（５）		授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（９） ②多様な日本語表現（９）
	事後学習	講義復習		事後学習	定期試験準備
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（６） ②多様な日本語表現（６）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義復習		事後学習	定期試験復習
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	実践演習（１）　JLPT 日本語能力試験 N１　テスト演習			
	事後学習	演習問題の解き直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜資料配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語表現Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期「日本語表現Ⅲ」に引き続き、JLPT 日本語能力試験 N1 の文字語彙対策を行うほか、さまざまな場面における多様な日本語の表現についても学ぶ。日本語の文字・語彙能力を一層鍛え、立場や場面に応じた適切な表現が出来るようにしていく。日本語資格獲得と、通訳翻訳の際に役立つ豊かな語彙能力獲得が最終目的である。
達成目標
①JLPT 日本語能力試験 N1 合格を目指す。 ②授業で毎回実施する N1 文字語彙小テストで、正答率８割以上を目指す。 ③日本のさまざまな場面や立場で使用される日本語表現を習得、進路決定に繋げる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	実践演習（２）　JLPT 日本語能力試験 N１　テスト演習
	事後学習	講義復習		事後学習	演習問題の解き直し
2	事前学習	自習課題学習	10	事前学習	演習問題の解き直し
	授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（１） ②多様な日本語表現（１）		授業計画	実践演習（２）　JLPT 日本語能力試験 N１　解答解説
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	自習課題学習
	授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（２） ②多様な日本語表現（２）		授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（６） ②多様な日本語表現（６）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	自習課題学習
	授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（３） ②多様な日本語表現（３）		授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（７） ②多様な日本語表現（７）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	自習課題学習
	授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（４） ②多様な日本語表現（４）		授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（８） ②多様な日本語表現（８）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自習課題学習
	授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（５） ②多様な日本語表現（５）		授業計画	①JLPT 日能試 N1 文字語彙（９） ②多様な日本語表現（９）
	事後学習	講義復習		事後学習	定期試験準備
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	実践演習（１）　JLPT 日本語能力試験 N１　テスト演習		授業計画	定期試験
	事後学習	演習問題の解き直し		事後学習	定期試験復習
8	事前学習	演習問題の解き直し			
	授業計画	実践演習（１）　JLPT 日本語能力試験 N１　解答解説			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜資料配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	総合外国語Ⅲ（文法）	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	菰田　有香		
実務経験 教員紹介	ブライダル宝飾業界にて接客販売、店舗管理及び法人営業 他コールセンターにてコミュニケーターとして電話応対		

講義概要
「新完全マスターN1 文法」を使い、日本語能力試験 N1 の文法表現を学習する。日本語レベルの低い学生、高い学生の両方が学べるよう、その文法を使う場面がイメージしやすいように例文等で補足し、さらに実際に自分が使う場面を想定して自分の表現として定着するように指導する。
達成目標
日本語能力試験 N1 合格 試験だけでなく、実際の生活や仕事で自分の表現として使えるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	語彙確認
	授業計画	1 課　時間関係 1～3、練習問題		授業計画	8 課　逆接、練習問題
	事後学習	短文作成		事後学習	短文作成、問題（1 課～8 課）
2	事前学習	語彙確認	10	事前学習	語彙確認
	授業計画	1 課　時間関係 4～6、練習問題		授業計画	9 課　条件、練習問題
	事後学習	短文作成		事後学習	短文作成
3	事前学習	語彙確認	11	事前学習	語彙確認
	授業計画	2 課　範囲の始まり・限度、練習問題		授業計画	10 課　逆接条件、練習問題
	事後学習	短文作成		事後学習	短文作成
4	事前学習	語彙確認	12	事前学習	語彙確認
	授業計画	3 課　限定・非限定・付加、練習問題		授業計画	11 課　目的・手段、練習問題
	事後学習	短文作成		事後学習	短文作成
5	事前学習	語彙確認	13	事前学習	語彙確認
	授業計画	4 課　例示、練習問題、問題（1 課～4 課）		授業計画	12 課　原因・理由、練習問題
	事後学習	短文作成、問題（1 課～4 課）		事後学習	短文作成、問題（1 課～12 課）
6	事前学習	語彙確認	14	事前学習	語彙確認
	授業計画	問題解答確認、5 課、練習問題		授業計画	13 課　可能・不可能・禁止、練習問題
	事後学習	短文作成		事後学習	短文作成
7	事前学習	語彙確認	15	事前学習	語彙確認
	授業計画	6 課　様子、練習問題		授業計画	14 課　話題・評価の基準
	事後学習	短文作成		事後学習	短文作成
8	事前学習	語彙確認			
	授業計画	7 課　付随行動、練習問題			
	事後学習	短文作成			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜(その他）＞：10%

教科書　著者名　　友松悦子・福島佐知・中村かおり
　　タイトル　新完全マスター文法　日本語能力試験 N1
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	総合外国語Ⅳ（文法）	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	菰田　有香		
実務経験 教員紹介	ブライダル宝飾業界にて接客販売、店舗管理及び法人営業 他コールセンターにてコミュニケーターとして電話応対		

講義概要
「新完全マスターN1 文法」を使い、日本語能力試験 N1 の文法表現を学習する。日本語レベルの低い学生、高い学生の両方が学べるよう、その文法を使う場面がイメージしやすいように例文等で補足し、さらに実際に自分が使う場面を想定して自分の表現として定着するように指導する。
達成目標
日本語能力試験 N1 合格 試験だけでなく、実際の生活や仕事で自分の表現として使えるようになる。

授業計画

1	事前学習	語彙確認	9	事前学習	語彙確認、文法形式の整理 E
	授業計画	15 課　比較対象、練習問題		授業計画	文法形式の整理 E 確認、文法形式の整理 F
	事後学習	短文作成		事後学習	中文作成
2	事前学習	語彙確認	10	事前学習	語彙確認、文法形式の整理 G
	授業計画	16 課　結末・最終の状態、練習問題		授業計画	文法形式の整理 G 確認、文の文法 1 課 文の組み立て 1
	事後学習	短文作成、問題（1 課～16 課）		事後学習	文の文法 1 課復習
3	事前学習	語彙確認	11	事前学習	語彙確認
	授業計画	17 課　強調、練習問題		授業計画	文の文法 2 課　文の組み立て 2、3 課 文の組み立て 3
	事後学習	短文作成		事後学習	文の文法 3 課復習
4	事前学習	語彙確認	12	事前学習	語彙確認
	授業計画	18 課　主張・断定、練習問題		授業計画	文の文法 3 課確認、文章の文法 1 課　時制
	事後学習	短文作成		事後学習	文章の文法 1 課まとめ
5	事前学習	語彙確認	13	事前学習	語彙確認
	授業計画	19 課　評価・感想、練習問題		授業計画	文章の文法 1 課確認、2 課　条件を表す文
	事後学習	短文作成		事後学習	文章の文法 2 課まとめ
6	事前学習	語彙確認	14	事前学習	語彙確認
	授業計画	20 課　心情・強制的思い、練習問題		授業計画	文章の文法 2 課確認、3 課　視点を動かさない手段 1
	事後学習	短文作成、問題（1 課～20 課）		事後学習	文章の文法 3 課まとめ
7	事前学習	語彙確認、文法形式の整理 A	15	事前学習	語彙確認
	授業計画	文法形式の整理 A 確認、文法形式の整理 B		授業計画	文章の文法 3 課確認、4 課　視点を動かさない手段 2
	事後学習	中文作成		事後学習	なし
8	事前学習	語彙確認、文法形式の整理 C			
	授業計画	文法形式の整理 C 確認、文法形式の整理 D			
	事後学習	中文作成			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（ その他）＞：10%

教科書　著者名　　友松悦子・福島佐知・中村かおり
　　タイトル　新完全マスター文法　日本語能力試験 N1
　　出版社　　スリーエーネットワーク
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、各提示された日本社会に関わる各種資料（文字・映像・音声）をもとに、資料の内容を分析・調査・考察していく。１年次に培った日本語と日本に対する知識の更なる向上を図り、言語の背景となる日本の思想・文化・社会に対する理解を深める。
達成目標
①資料を分析・調査・考察する能力の鍛錬を通じ、言語力と知識の向上を図る。 ②論理的思考力を養成する。 ③日本の思想・文化・社会への理解を深め、通訳・翻訳の際に必要な背景知識を高める。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	日本の文化（２）　文字資料から日本文化への理解を深める
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	自習課題学習	10	事前学習	自習課題学習
	授業計画	基礎（１）　資料分析の際の着眼点と日本の検索ツールについて確認する		授業計画	日本の文化（３）　映像・文字資料から日本文化への理解を深める
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	自習課題学習
	授業計画	基礎（２）　資料分析の際の着眼点と日本の検索ツールについて確認する		授業計画	日本の文化（４）　映像・文字資料から日本文化への理解を深める
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（１）　映像資料から現代日本の社会問題について考察する		授業計画	日本の文化（５）　映像・文字資料から日本文化への理解を深める
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（２）　映像資料から現代日本の社会問題について考察する		授業計画	日本の思想（１）　映像・文字資料から日本人の思想と思考の傾向を学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（３）　映像資料から現代日本の社会問題について考察する		授業計画	日本の思想（２）　映像・文字資料から日本人の思想と思考の傾向を学ぶ
	事後学習	講義復習		事後学習	定期試験準備
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	日本の社会（４）　文字資料から現代日本の社会問題について考察する		授業計画	定期試験
	事後学習	講義復習		事後学習	定期試験復習
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	日本の文化（１）　文字資料から日本文化への理解を深める			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜資料配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義前半では、前期「特別演習Ⅲ」に引き続き、日本社会における各種資料（映像・文字）をもとに、資料内容の分析・考察を行う。後半では、主に音声資料をもとに、ノートテイキングの練習をすすめる。日本社会への理解と知識を深めるとともに、資料を分析する力、的確に読み・聞き、それを文章にまとめる力を育成する。
達成目標
①資料を分析・調査・考察する能力および言語力の向上。 ②論理的思考力の養成。③音声情報をノートにまとめられる力の育成。 ③日本の思想・文化・社会への理解を深め、通訳・翻訳の際に必要な背景知識を高める。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	音声資料(会話)からポイントを聞き取りノートにまとめる（１）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	自習課題学習	10	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（１）　映像・文字資料をもとに日本の社会問題を考察する		授業計画	音声資料(会話)からポイントを聞き取りノートにまとめる（２）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（２）　映像・文字資料をもとに日本の社会問題を考察する		授業計画	音声資料(会話)からポイントを聞き取りノートにまとめる（３）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（３）　映像・文字資料をもとに日本の社会問題を考察する		授業計画	音声資料(メディア)からポイントを聞き取りノートにまとめる
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本の社会（４）　映像・文字資料をもとに日本の社会問題を考察する		授業計画	視覚資料（図表・グラフ）のある音声資料の内容を的確に理解する（１）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自習課題学習
	授業計画	音声資料（独話）からポイントを聞き取りノートにまとめる（１）		授業計画	視覚資料（図表・グラフ）のある音声資料の内容を的確に理解する（２）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	音声資料（独話）からポイントを聞き取りノートにまとめる（２）		授業計画	定期試験
	事後学習	講義復習		事後学習	定期試験復習
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	音声資料（独話）からポイントを聞き取りノートにまとめる（３）			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜資料配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、総合的な文章読解能力の向上を旨とする。読解ストラテジーを学び、それを効果的に使用することで、速読および内容の正確な把握を可能とすることを目指す。各種日本語資格試験における読解試験の対策であることは無論、長めの日本語文章（評論文）にも挑戦することで、確かな読解能力を培う。
達成目標
①総合的な文章読解能力の向上を目指す。 ②論理的思考力を養成する。 ③読解ストラテジーを身につけ、読解の速度と精度を UP する。 ④JLPT N1 読解、EJU 日本語読解で高得点獲得を目指す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	語彙確認
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	総合日本語演習①（聞く・読む）—経済・金融—
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	なし	10	事前学習	語彙確認
	授業計画	読解ストラテジーを学ぶ（１）スキミング①		授業計画	総合日本語演習②（聞く・読む）—政治・行政—
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	語彙確認
	授業計画	読解ストラテジーを学ぶ（２）スキミング②		授業計画	総合日本語演習③（聞く・読む）—社会・生活—
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	語彙確認
	授業計画	読解ストラテジーを学ぶ（３）スキミング③		授業計画	総合日本語演習④（聞く・書く）—経済・金融—
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	前回のポイントを整理する	13	事前学習	語彙確認
	授業計画	読解ストラテジーを学ぶ（４）スキャニング①		授業計画	総合日本語演習⑤（聞く・書く）—政治・行政—
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	語彙確認
	授業計画	読解ストラテジーを学ぶ（５）スキャニング②		授業計画	総合日本語演習⑥（聞く・書く）—社会・生活—
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	語彙確認
	授業計画	実践演習　日本語読解問題（評論文）テスト演習		授業計画	総合日本語演習⑦　まとめ
	事後学習	講義復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	実践演習　日本語読解問題（評論文）解答解説			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%
教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
本講義では、ドキュメンタリー番組の映像資料を教材として用いる。視聴した後内容に沿って小テストを行う。リスニング力、語彙力、理解力を鍛えるとともに映像から社会勉強、情報収集をはかる。最後にドキュメンタリーの内容について学生（2 名ほど）に感想を発表してもらう。
達成目標
映像を見ながらナレーションや登場人物が話したことを集中して聞く。メモを取ることで内容の理解を促進し、語彙を増やすことにつながる。また、内容に基づき感想などを述べる練習を通して、口頭表現力を高める。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の単語を復習する
	授業計画	映像資料①を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。		授業計画	映像資料⑨を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。
	事後学習	小テストの内容を見直し確認する		事後学習	小テストの内容を見直し確認する
2	事前学習	ニュース番組を５～10 分間見る	10	事前学習	前回の単語を復習する
	授業計画	映像資料②を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。		授業計画	映像資料⑩を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。
	事後学習	小テストの内容を見直し確認する		事後学習	小テストの内容を見直し確認する
3	事前学習	ニュース番組を５～10 分間見る	11	事前学習	前回の単語を復習する
	授業計画	映像資料③を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。		授業計画	映像資料⑪を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。
	事後学習	小テストの内容を見直し確認する		事後学習	小テストの内容を見直し確認する
4	事前学習	ニュース番組を５～10 分間見る	12	事前学習	前回の単語を復習する
	授業計画	映像資料④を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。		授業計画	映像資料⑫を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。
	事後学習	小テストの内容を見直し確認する		事後学習	小テストの内容を見直し確認する
5	事前学習	ニュース番組を５～10 分間見る	13	事前学習	前回の単語を復習する
	授業計画	映像資料⑤を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。		授業計画	映像資料⑬を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。
	事後学習	小テストの内容を見直し確認する		事後学習	小テストの内容を見直し確認する
6	事前学習	ニュース番組を５～10 分間見る	14	事前学習	前回の単語を復習する
	授業計画	映像資料⑥を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。		授業計画	映像資料⑭を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。
	事後学習	小テストの内容を見直し確認する		事後学習	小テストの内容を見直し確認する
7	事前学習	ニュース番組を５～10 分間見る	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	映像資料⑦を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。		授業計画	定期試験
	事後学習	小テストの内容を見直し確認する		事後学習	振り返り
8	事前学習	前回の単語を復習する			
	授業計画	映像資料⑧を視聴し、内容に関する小テストを行い、感想を述べる。			
	事後学習	小テストの内容を見直し確認する			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	通訳実務Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
通訳、翻訳はさまざまな業界でどのように活かされているかについて学生によりイメージができるように、小説、ドラマ、ゲーム、流行歌などに携わる翻訳者、医療・福祉業界、観光ホテル業界などで通訳者として活躍している方々を招き、仕事の経験談を語って頂き、通訳翻訳の醍醐味を伝える。
達成目標
さまざまな業界で働く通訳者・翻訳者の具体的な仕事の内容について知ってもらい、どのような知識や能力が求められるかを把握することで、より明確な目標設定やキャリアプランを立てられるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	導入。前期授業の全体のガイダンス		授業計画	テレビドラマの翻訳①
	事後学習	宿題（練習問題）		事後学習	配布資料の振り返り
2	事前学習	配布資料の予習	10	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	医療通訳①　医療通訳の現状		授業計画	テレビドラマの翻訳②
	事後学習	アンケートの記入		事後学習	配布資料の振り返り
3	事前学習	配布資料の予習	11	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	医療通訳② 医学の知識、医学用語の日中対訳		授業計画	小説の翻訳①
	事後学習	配布資料の振り返り		事後学習	配布資料の振り返り
4	事前学習	配布資料の予習	12	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	医療通訳③ 医学の知識、糖尿病について		授業計画	小説の翻訳②
	事後学習	配布資料の振り返り		事後学習	配布資料の振り返り
5	事前学習	配布資料の予習	13	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	医療通訳④ 医学の知識、認知症について		授業計画	流行歌の翻訳
	事後学習	配布資料の振り返り		事後学習	配布資料の振り返り
6	事前学習	配布資料の予習	14	事前学習	配布資料の予習
	授業計画	通訳案内士の仕事① 通訳案内士という資格		授業計画	ゲームの翻訳
	事後学習	配布資料の振り返り		事後学習	配布資料の振り返り
7	事前学習	配布資料の予習	15	事前学習	これまでの内容の復習
	授業計画	通訳案内士の仕事② 通訳案内士に必要な知識		授業計画	定期試験
	事後学習	配布資料の振り返り		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布資料の予習			
	授業計画	通訳案内士の仕事③ ホテルでの仕事			
	事後学習	配布資料の振り返り			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（　　課題・小テスト　）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	翻訳実務Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
前期に続き、医療通訳、通訳案内士、書籍、ドラマの翻訳という分野に焦点を当て、講師の方々が仕事での経験談を伝える一方、実際に通訳、翻訳にチャレンジする。通訳・翻訳を仕事として携わる際に幅広い範囲の知識に触れることにより、視野を広げる。
達成目標
病院での診察の場面での通訳、観光地でのお客さんを案内するなど、具体的な場面での通訳がある程度できるように練習を重ねる。一方で、小説、ドラマの翻訳練習を通して、より質の高い役を目指す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料の振り返り
	授業計画	医療通訳①		授業計画	通訳案内士④
	事後学習	課題を済ませる		事後学習	課題を済ませる
2	事前学習	配布資料の振り返り	10	事前学習	配布資料の振り返り
	授業計画	医療通訳②		授業計画	通訳案内士⑤
	事後学習	課題を済ませる		事後学習	課題を済ませる
3	事前学習	配布資料の振り返り	11	事前学習	配布資料の振り返り
	授業計画	医療通訳③		授業計画	小説の翻訳①
	事後学習	課題を済ませる		事後学習	課題を済ませる
4	事前学習	配布資料の振り返り	12	事前学習	配布資料の振り返り
	授業計画	医療通訳④		授業計画	小説の翻訳②
	事後学習	課題を済ませる		事後学習	課題を済ませる
5	事前学習	配布資料の振り返り	13	事前学習	配布資料の振り返り
	授業計画	医療通訳⑤		授業計画	ドラマの翻訳①
	事後学習	課題を済ませる		事後学習	課題を済ませる
6	事前学習	配布資料の振り返り	14	事前学習	配布資料の振り返り
	授業計画	通訳案内士①		授業計画	ドラマの翻訳②
	事後学習	課題を済ませる		事後学習	課題を済ませる
7	事前学習	配布資料の振り返り	15	事前学習	配布資料の振り返り
	授業計画	通訳案内士②		授業計画	期末試験
	事後学習	課題を済ませる		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布資料の振り返り			
	授業計画	通訳案内士③			
	事後学習	課題を済ませる			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	通訳翻訳総合演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
本講義では一年次の基礎訓練を踏まえ、引き続き二本立の形で通訳と翻訳の練習を交互で行う。通訳の練習においてはニュースなどの音声や、映像資料を用いて、視聴しながらセリフを中国語に逐次通訳する。一方、翻訳においては小説、新聞記事、エッセイなどを精選し、朗読しながら中国語に訳す。
達成目標
日常生活における様々な場面において日本語から中国語への通訳ができるように鍛える。また、文学作品を翻訳する練習を通して、「信・達・雅」を意識し、その場面に相応しい表現について考え、より質の高い訳を目指す。

授業計画

1	事前学習	通訳と翻訳の違いについて調べる	9	事前学習	前回の内容を振り返る
	授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく		授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく
	事後学習	セリフを整理する		事後学習	セリフを整理する
2	事前学習	小説の内容を確認する	10	事前学習	小説の内容を確認する
	授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく		授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える		事後学習	文章を読み直し、単語を覚える
3	事前学習	前回の内容を振り返る	11	事前学習	前回の内容を振り返る
	授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく		授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく
	事後学習	セリフを整理する		事後学習	セリフを整理する
4	事前学習	小説の内容を確認する	12	事前学習	小説の内容を確認する
	授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく		授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える		事後学習	文章を読み直し、単語を覚える
5	事前学習	前回の内容を振り返る	13	事前学習	前回の内容を振り返る
	授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく		授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく
	事後学習	セリフを整理する		事後学習	セリフを整理する
6	事前学習	小説の内容を確認する	14	事前学習	小説の内容を確認する
	授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく		授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える		事後学習	文章を読み直し、単語を覚える
7	事前学習	前回の内容を振り返る	15	事前学習	これまでの資料を復習する
	授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく		授業計画	定期試験
	事後学習	セリフを整理する		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	小説の内容を確認する			
	授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく			
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　武吉　次朗
　　タイトル　「日中中日　翻訳必携　実戦編」
　　出版社　　日本僑報社
参考書　著者名　　塚本　慶一
　　タイトル　「新版　中国語通訳への道」
　　出版社　　大修館書店

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	通訳翻訳総合演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験 教員紹介	会議、展示会、訪問団同行通訳、コミュニティ通訳など多数経験。建築、美容、語学、心理学、市役所発信書類などの翻訳経験豊富。		

講義概要
本講義では前期の延長線として、引き続き二本立の形で通訳と翻訳の練習を交互で行う。通訳の練習においてはニュースなどの音声、映像資料を用いて、視聴しながらセリフを中国語に逐次通訳する。一方、翻訳においては小説、新聞記事、エッセイなどを精選し、朗読しながら中国語に訳す。
達成目標
日常生活におけるさまざまな場面において日本語→中国語の通訳ができるように鍛える。また、文学作品を翻訳する練習を通して、「信・達・雅」を意識し、その場面に相応しい表現について考え、より質の高い訳を目指す。

授業計画

1	事前学習	通訳と翻訳の違いについて調べる	9	事前学習	前回の内容を振り返る
	授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく		授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく
	事後学習	セリフを整理する		事後学習	セリフを整理する
2	事前学習	小説の内容を確認する	10	事前学習	小説の内容を確認する
	授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく		授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える		事後学習	文章を読み直し、単語を覚える
3	事前学習	前回の内容を振り返る	11	事前学習	前回の内容を振り返る
	授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく		授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく
	事後学習	セリフを整理する		事後学習	セリフを整理する
4	事前学習	小説の内容を確認する	12	事前学習	小説の内容を確認する
	授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく		授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える		事後学習	文章を読み直し、単語を覚える
5	事前学習	前回の内容を振り返る	13	事前学習	前回の内容を振り返る
	授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく		授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく
	事後学習	セリフを整理する		事後学習	セリフを整理する
6	事前学習	小説の内容を確認する	14	事前学習	小説の内容を確認する
	授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく		授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える		事後学習	文章を読み直し、単語を覚える
7	事前学習	前回の内容を振り返る	15	事前学習	これまでの資料を復習する
	授業計画	映画を視聴しながら、セリフを起こし、中国語に訳していく		授業計画	定期試験
	事後学習	セリフを整理する		事後学習	振り返り
8	事前学習	小説の内容を確認する			
	授業計画	小説を読みながら中国語に訳していく			
	事後学習	文章を読み直し、単語を覚える			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　武吉　次朗
　　タイトル　「日中中日　翻訳必携　実戦編」
　　出版社　　日本僑報社
参考書　著者名　　塚本　慶一
　　タイトル　「新版　中国語通訳への道」
　　出版社　　大修館書店

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代社会の様々な問題について体系的に学習、および概観する。また、現代社会で、常識とされる知識についても演習形式で復習・確認をしていく。そして最新の時事用語や今、話題となっている人物や最新事情についてもしっかり学習をしていく。
達成目標
ビジネスの場や社会生活で役に立つ現代の国際社会への理解を深める。世界や社会の出来事を学び、社会人として相応しい知識と能力を身に付け、教養を広げることで将来の選択肢を広げることが目的である。

授業計画

1	事前学習	科学技術の現状を調べる	9	事前学習	地球温暖化を調べる
	授業計画	科学技術の発達について理解し、説明できる。		授業計画	地球温暖化を含めた様々な環境問題を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
2	事前学習	生命倫理を調べる	10	事前学習	環境保全の取り組みを調べる
	授業計画	生命倫理について理解を深め、説明できる		授業計画	国際的な環境保全活動と頑丈を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
3	事前学習	ジニ係数を調べる	11	事前学習	社会保障の歴史を調べる
	授業計画	不平等やその是正への取り組みを理解し、説明できる		授業計画	社会保障制度の現状と課題を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
4	事前学習	法の性質を調べる	12	事前学習	イギリスの社会保障を調べる
	授業計画	法の下の平等について理解を深め、説明できる		授業計画	イギリスの社会保障制度を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
5	事前学習	差別とは何かを調べる	13	事前学習	アメリカの社会保障を調べる
	授業計画	差別の歴史やその是正の取り組みを理解し、説明できる		授業計画	アメリカの社会保障制度を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
6	事前学習	主要国の食料自給率を調べる	14	事前学習	日本の社会保障を調べる
	授業計画	食料問題や現状などを理解し、説明できる		授業計画	日本の社会保障制度の現状と課題を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
7	事前学習	世界の資源状況を調べる	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	資源枯渇問題や現状を理解し、説明できる		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	再生可能エネルギーを調べる			
	授業計画	主要国のエネルギー政策や現状を理解し、説明できる			
	事後学習	配布プリントを読んでくる			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%　＜(その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代社会の様々な問題について体系的に学習、および概観する。また、現代社会で、常識とされる知識についても演習形式で復習・確認をしていく。そして最新の時事用語や今、話題となっている人物や最新事情についてもしっかり学習をしていく。
達成目標
本講義では世界における様々な出来事について理解を深め、日本社会で社会人として働き始めた時に、周囲の社員とあるいは仕事で関係する人たちと自然に会話ができるまでの知識を身に着けることを目指す。

授業計画

1	事前学習	日本の財政状況を調べる	9	事前学習	中東国々の経済体制を調べる
	授業計画	日本経済の実態と特徴を理解し、説明できる		授業計画	中東の経済・社会の特徴を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
2	事前学習	議院内閣制を調べる	10	事前学習	EU を調べる
	授業計画	日本の政治体制の特徴を理解し、説明できる		授業計画	EU の経済・社会体制の特徴を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
3	事前学習	高齢化率の定義を調べる	11	事前学習	ブレグジットを調べる
	授業計画	日本の高齢化率と高齢化の特徴を理解し、説明できる		授業計画	英国の EU 離脱の背景と課題点を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
4	事前学習	主要国の合計特殊出生率を調べる	12	事前学習	BRICS を調べる
	授業計画	日本の少子化の現状とその特徴を理解し、説明できる		授業計画	BRICS の経済・社会の特徴を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
5	事前学習	再生可能エネルギーを調べる	13	事前学習	NEXT11 を調べる
	授業計画	日本のエネルギー政策を理解し、説明できる		授業計画	NEXT11 の国々の経済の特徴を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
6	事前学習	消費税の歴史を調べる	14	事前学習	グローバル化を調べる
	授業計画	消費税の歴史を理解し、消費増税について考える		授業計画	グローバリゼーションとローカライゼーションについて考える
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
7	事前学習	働き方改革を調べる	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	働き方改革とは何かを理解し、説明できる		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	振り返り
8	事前学習	ASEAN を調べる			
	授業計画	ASEAN の経済・社会の特徴を理解し、説明できる			
	事後学習	配布プリントを読んでくる			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%　＜(その他) ＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社
参考書　著者名　　朝日新聞社
　　タイトル　朝日キーワード就職 2021
　　出版社　　朝日新聞出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経営学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	石塚　直樹		
実務経験 教員紹介			

講義概要
経営の意思決定には多くの判断軸があり、さまざまな切り口から多面的な分析が必要となる。本講義では経営戦略を立案する際に必要となる基本的なフレームワークを丁寧に解説し、学生がその手法を理論的に理解した上で、実際のビジネスに活用できるスキルを習得する。
達成目標
本講義では授業で学んだ基礎知識を実務に活用する目的で小テストを実施する。その上で学生自身が経営者として新規事業に挑戦することを想定し、同事業を成功に導く経営計画を立案できるレベルを到達目標とする。

授業計画

1	事前学習	本講義に関する質問整理	9	事前学習	HD 企業の IR サイトの閲覧
	授業計画	・オリエンテーション１ ・オリエンテーション２		授業計画	・アンゾフの成長マトリクス１ ・アンゾフの成長マトリクス２
	事後学習	本講義を受講する目的および到達目標の確認		事後学習	講義ノートの整理と復習
2	事前学習	企業ＨＰでＰＬなどを閲覧	10	事前学習	小テストの準備
	授業計画	・損益計算書 ・損益分岐点と損益分岐点売上高		授業計画	・PLC 導入期（事例研究） ・PLC 成長期（事例研究）
	事後学習	講義ノートの整理と復習		事後学習	出題された小テストの要点整理
3	事前学習	企業ＨＰで経営理念などを閲覧	11	事前学習	好きなブランド商品に関する情報収集
	授業計画	・経営目標と予算計画１ ・経営目標と予算計画２		授業計画	・PLC 成熟期（事例研究） ・PLC 衰退期（事例研究）
	事後学習	講義ノートの整理と復習		事後学習	講義ノートの整理と復習
4	事前学習	企業の危機管理の関する書籍を参照	12	事前学習	小テストの準備
	授業計画	・リスクマネジメント２		授業計画	・経営環境分析と STP 分析 ・４P 戦略
	事後学習	講義ノートの整理と復習		事後学習	出題された小テストの要点整理
5	事前学習	企業の危機管理の関する書籍を参照	13	事前学習	企業ＨＰで経営計画などを閲覧
	授業計画	・リスクマネジメント２		授業計画	・経営計画の立案（１） ・経営計画の発表（１）
	事後学習	講義ノートの整理と復習		事後学習	講義ノートの整理と復習
6	事前学習	小テストの準備	14	事前学習	企業ＨＰで経営計画などを閲覧
	授業計画	・SWOT 分析１ ・SWOT 分析２		授業計画	・経営計画の立案（２） ・経営計画の発表（２）
	事後学習	出題された小テストの要点整理		事後学習	講義ノートの整理と復習
7	事前学習	自身の就職活動に関する考え方を整理	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	・SWOT 分析（事例研究１） ・SWOT 分析（事例研究２）		授業計画	・期末試験
	事後学習	講義ノートの整理と復習		事後学習	出題された期末試験の要点整理
8	事前学習	小テストの準備			
	授業計画	・PPM（事例研究１） ・PPM（事例研究２）			
	事後学習	出題された小テストの要点整理			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜小テスト＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　プリント教材を使用する
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　日本経済新聞　　東洋経済
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	前田　恭孝		
実務経験教員紹介	銀行の本社で計画策定、目標設定、業績管理、商品・チャネル開発、マーケティングを、経営コンサルタントとして戦略策定、組織変革、マーケティング推進などを推進していました。		

講義概要
経営学が対象とする企業とは何か、その活動や管理を説明する経営学の基本的な概念・理論を幅広く学びます。授業では、概念・理論がつくられた背景、今日の企業活動の何を説明できるかを実例を使って説明します。経営学Ⅱでは、組織文化論、組織学習論、組織行動論などを取り上げます。
達成目標
皆さんが会社に入ったとき、経営学の諸概念・理論を使って、自分の仕事の会社のなかでの意味・意義や、仕事に問題があったときどこが問題かを上司・同僚に説明できるようになることを目指します。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	経営計画・管理 1（計画種類、編成プロセス、管理サイクル）		授業計画	組織変革・イノベーション 1（組織変革の定義と捉え方）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
2	事前学習	前週のノートの確認	10	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	経営計画・管理 2（実務での計画例）		授業計画	組織変革・イノベーション 2（断続平衡論、相互モデル等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
3	事前学習	前週のノートの確認	11	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	環境と組織 1（コンティンジェンシー論、組織認識論）		授業計画	モチベーション論 1（欲求階層説、X 理論 Y 理論）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
4	事前学習	前週のノートの確認	12	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	環境と組織 2（生態学的変化とイナクトメント）		授業計画	モチベーション論 2（期待理論、公正理論、内発・外発）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
5	事前学習	前週のノートの確認	13	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	組織文化 1（文化論の始まり、強い文化論）		授業計画	リーダーシップ論・小集団活動 1（PM 理論、状況理論等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
6	事前学習	前週のノートの確認	14	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	組織文化 2（強い文化論への批判とマルチ文化）		授業計画	リーダーシップ論・小集団活動 2（QC 活動、CDGM 等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
7	事前学習	前週のノートの確認	15	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	組織の意味論・学習 1（意味による協働、組織学習の定義）		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の復習、小テスト		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前週のノートの確認			
	授業計画	組織の意味論・学習 2（ダブルループ学習、意味生成理論）			
	事後学習	該当箇所の復習、小テスト			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（ その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講義プレゼン資料とサマリーを授業後に配布する
　　出版社
参考書　著者名　　日本経営協会監修
　　タイトル　経営学検定試験公式テキスト「経営学の基本」
　　出版社　　中央経済社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	貿易商業外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	金森　尚人		
実務経験 教員紹介	これまで 40 年間海外政府機関において通商、マーケティング、観光を専門職として従事。また国内外（タイ、ミャンマー）の大学にて、日本ビジネススタンダードとビジネスマナーを指導。		

講義概要
激変するグローバルビジネス環境下、国際貿易の果たす役割の高まりを受け、本講義では貿易の知識を学び、輸入輸出の全体像と取引の流れを学習する。講師の実務経験から貿易実務を、また国際ビジネススタンダードである貿易英語を学び、国際人としての必須な「ビジネス英語」に興味を持ち学習できる環境づくりをする。
達成目標
貿易知識の取得はもちろん、輸入輸出に必要は書類の形式とインコタームズを習得する。貿易英語を学ぶことで、ビジネス英語に触れる機会を与え、卒業後も社会生活や企業活動の中で必要となる知識と問題解決力を習得する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	貨物の引き取りの手順を調べる
	授業計画	貿易取引と国内取引の違い、貿易取引のリスクを学習		授業計画	貨物引き取り準備と引き渡しを学習
	事後学習	PPT にて学習内容を確認		事後学習	荷物引き渡しまでの流れを確認
2	事前学習	貿易実務の特徴を調べる	10	事前学習	貿易取引の準備には何が必要か
	授業計画	貿易取引に関わる人たち（１）（２）、役割を理解する		授業計画	貿易実務の基礎(取引準備から契約、取引先、信用調査)を学習する
	事後学習	それぞれの役割を確認		事後学習	取引準備の確認
3	事前学習	貿易実務の特徴を調べる	11	事前学習	交渉に関しての注意点とは
	授業計画	貿易取引に関わる人たち（３）の役割と貿易の 3 つの流れを理解		授業計画	取引交渉から承諾、契約までを学習
	事後学習	それぞれの役割を確認		事後学習	契約上の注意すべき点を復習
4	事前学習	貿易実務の仕事の流れを調べる	12	事前学習	輸出時の信用状（L/C）決済とは
	授業計画	輸出実務の仕事の流れを学習、市場調査、契約、信用状の説明		授業計画	信用状と決済の仕組みを学習し、船積書類の種類とその用途を説明
	事後学習	PPT にて輸出の流れを確認		事後学習	信用状(L/C)決済の復習
5	事前学習	輸出に関わる業務を調べる	13	事前学習	外国為替とはなにか
	授業計画	船積の準備、貨物の船積、商品代金の請求などを説明		授業計画	外国為替のしくみと、それに伴う貿易英語(金額表示、メール等)を学習
	事後学習	PPT にて輸出の流れを確認		事後学習	貿易英語を復習、定型文を暗記
6	事前学習	輸入の仕事を調べる（１）	14	事前学習	貿易英語と定型文の暗記
	授業計画	輸入実務の仕事の流れを学習 輸入交渉から契約までを学ぶ		授業計画	前期講義の取りまとめ
	事後学習	PPT にて流れを確認		事後学習	前期の復習
7	事前学習	輸入の仕事を調べる（２）	15	事前学習	試験の準備
	授業計画	「信用状の開設」の意味 L/C とは何か、その役割とは、を学習		授業計画	定期テスト
	事後学習	PPT にて流れを確認		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	L/C を調べる			
	授業計画	通知銀行の役割、保険申込、手形決済と代金支払いを学習			
	事後学習	L/C の流れを確認する			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：70%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　　片山立志
　　タイトル　貿易実務の本
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　片山立志
　　タイトル　貿易のしくみ
　　出版社　　日本能率協会マネジメントセンター

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本経済に関する最新の経済情報と基礎的な経済理論を踏まえながら、日本経済が直面している課題とそれに対処するためのマクロ経済政策を学ぶ。主な内容としては、①政府の役割と経済政策の基本的な考え方、②景気の変動、③財政政策と財政健全化への課題、④中央銀行の役割、⑤持続可能な社会保障制度への取組みなどを扱う。
達成目標
経済政策の基礎的な知識を習得し、経済学の基礎的な概念を使いこなして、経済政策上の論点を理解できる。また政府の経済政策について、世間の評論に流されるのではなく、自ら評価できるようになることが目標である。

授業計画

1	事前学習	貨幣の役割を調べてみる。	9	事前学習	政策金利とは何かを調べてみる
	授業計画	貨幣の役割や世界の通貨制度について		授業計画	政策金利とは何か。政策金利と景気との関係について
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
2	事前学習	金融の種類を調べてみる	10	事前学習	財政の役割を調べてみる
	授業計画	直接金融と間接金融の仕組みと違いについて		授業計画	財政とは何か。財政の仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
3	事前学習	銀行の役割を調べてみる	11	事前学習	フィスカル・ポリシーを調べる
	授業計画	銀行の三大業務と信用創造機能について		授業計画	フィスカル・ポリシーの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
4	事前学習	日本銀行の役割を調べてみる	12	事前学習	累進課税とは何かを調べてみる
	授業計画	中央銀行とは何か。その役割や機能について		授業計画	ビルト･イン･スタビライザーの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
5	事前学習	金融政策とは何かを調べてみる	13	事前学習	ポリシー・ミックスを調べる
	授業計画	中央銀行の行う金融政策の仕組みと役割について		授業計画	ポリシー・ミックスの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
6	事前学習	インフレーションを調べる	14	事前学習	基礎的財政支出を調べる
	授業計画	通貨供給量と物価との関係について		授業計画	日本のプライマリーバランスの現状と課題について
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
7	事前学習	公開市場操作を調べる	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	公開市場操作の仕組みと役割について		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	公定歩合とは何かを調べてみる			
	授業計画	預金準備率操作と公定歩合操作について			
	事後学習	配布プリントを読んでくる			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜(その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社
参考書　著者名　伊坂治康成
　　タイトル　ハイレベル総合科目（改訂版）
　　出版社　アスク出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本語のアウトプット能力、伝達力の向上を主目的とした講義を行う。「話す」「書く」日本語スキルを上げていくことは無論、優れた「伝達力」を身につけていくことを目指す。単なるアウトプットではなく、相手に伝わる発話・文章作成能力を身につけることが、本講義の最終目標である。
達成目標
①日本語「話す」「書く」スキルを向上させる。　②論理的思考能力を養成する。 ③多様な発話表現・文章表現を獲得する。④伝達力を育成する。 ⑤進学・就職試験に対応できる力を身につける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	テーマ型小論文（２）指定されたテーマについて小論文を作成する
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	自習課題学習	10	事前学習	自習課題学習
	授業計画	原稿用紙の使い方と文体　原稿用紙使用時のルール等について確認する		授業計画	テーマ型小論文　プレゼン発表（１） ①発表　②ディスカッション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	自習課題学習
	授業計画	志望理由書の作成（１）　志望理由書に求められるものを理解する		授業計画	テーマ型小論文　プレゼン発表（２） ①発表　②ディスカッション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	自習課題学習
	授業計画	志望理由書の作成（２） 志望理由書を作成する		授業計画	課題文型小論文 ①問題演習　②解説
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	自習課題学習
	授業計画	志望動機を伝える（１） ①発表　②ディスカッション		授業計画	課題文型小論文　プレゼン発表（１） ①発表　②ディスカッション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自習課題学習
	授業計画	志望動機を伝える（２） ①発表　②ディスカッション		授業計画	課題文型小論文　プレゼン発表（２） ①発表　②ディスカッション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	小論文の基礎 小論文の３つの型を理解する		授業計画	定期試験
	事後学習	講義復習		事後学習	試験振り返り
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	テーマ型小論文（１） Ｂ・Ｓ法（Brain Storming）			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　講義の中で適宜資料配布
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　講義の中で適宜紹介
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、国際社会・経済に関する最新の国際情報と基礎的な経済理論を概観する。主な内容としては、①国際社会の成立と国際法、②国際連盟と国際連合、③戦後のブレトンウッズ体制、④GATT と WTO、⑤欧州統合（EU）などを扱う。
達成目標
この授業を通して、現実の国際社会・経済にまつわる出来事に関心を持ち、現代の複雑な国際経済のメカニズムを論理的に分析することで、日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察できることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	国際法とは何かを調べる	9	事前学習	金本位制度とは何かを調べる
	授業計画	国際社会の成立と国際法を理解し、説明できる		授業計画	金本位制と金・ドル本位制の違いを理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
2	事前学習	国連の役割を調べる	10	事前学習	WTO とは何かを調べる
	授業計画	国際連盟と国際連合の違いを理解し、説明できる		授業計画	GATT と WTO の違いを理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
3	事前学習	ODA とは何かを調べる	11	事前学習	TPP について調べる
	授業計画	日本の ODA の現状を理解し、説明できる		授業計画	地域的経済統合とは何かを理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
4	事前学習	NPO・NGO とは何かを調べる	12	事前学習	マーストリヒト条約を調べる
	授業計画	NPO・NGO の活動を理解し、説明できる		授業計画	欧州統合（EU)の歴史を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
5	事前学習	世界の軍縮の歴史を調べる	13	事前学習	経済統合の形を調べる
	授業計画	軍縮の歴史を理解し、説明できる		授業計画	FTA・EPA の違いを理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
6	事前学習	南北問題とは何かを調べる	14	事前学習	経常収支とは何かを調べる
	授業計画	南北問題・南南問題を理解し、説明できる		授業計画	国際収支を理解し、説明できる
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	配布プリントを読んでくる
7	事前学習	ブレトンウッズ体制を調べる	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	ブレトンウッズ体制を理解し、説明できる		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	IMF の役割を調べる			
	授業計画	IMF・IBRD の役割を理解し、説明できる			
	事後学習	配布プリントを読んでくる			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（ その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	翟　宇華		
実務経験教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
日本の企業に就職し、日本人と一緒に仕事をする際に、適切に相互理解をし、効果的に業務に当たることが必要になっている。日本企業、日本の組織の文化や特徴への理解を深めることが大切である。具体的な事例を通して日本の企業文化について調べ、情報を共有する。
達成目標
日本の慣習に適応するために、日本の組織の文化や特徴を理解することが前提となります。事例を通して認識を深めると同時に、柔軟性をもつ国際人の一員としてより実践的なビジネススキルを高めることを目指す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	ここ 10 年間の不祥事を調べる
	授業計画	日本の会社員の働き方、キャリアに対する考え方など「日本型経営」		授業計画	日本企業の不祥事②
	事後学習	事例を探す		事後学習	内容の振り返り
2	事前学習	トヨタに関する情報を集める	10	事前学習	ここ 10 年間の不祥事を調べる
	授業計画	世界的に有名な日本企業の経営①		授業計画	日本企業の不祥事③
	事後学習	内容の振り返り		事後学習	内容の振り返り
3	事前学習	資生堂に関する情報を集める	11	事前学習	“失われた 10 年”を調べる
	授業計画	世界的に有名な日本企業の経営②		授業計画	日本企業が直面する脅威と課題
	事後学習	内容の振り返り		事後学習	内容の振り返り
4	事前学習	任天堂に関する情報を集める	12	事前学習	アマゾンについて調べる
	授業計画	世界的に有名な日本企業の経営③		授業計画	世界のトップ企業に目を向ける①
	事後学習	内容の振り返り		事後学習	内容の振り返り
5	事前学習	ソフトバンクの情報を集める	13	事前学習	アマゾンについて調べる
	授業計画	世界的に有名な日本企業の経営④		授業計画	世界のトップ企業に目を向ける②
	事後学習	内容の振り返り		事後学習	内容の振り返り
6	事前学習	ユニクロの情報を集める	14	事前学習	日本で働くとはについて考える
	授業計画	世界的に有名な日本企業の経営⑤		授業計画	日本の企業に就職するメリット、デメリット
	事後学習	内容の振り返り		事後学習	内容の振り返り
7	事前学習	あなたが知っている中小企業	15	事前学習	今までの復習
	授業計画	日本の中小企業の力		授業計画	期末試験
	事後学習	内容の振り返り		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ここ 10 年間の不祥事を調べる			
	授業計画	日本企業の不祥事①			
	事後学習	内容の振り返り			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　資料を随時配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	実用外国語Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	山北　麻美		
実務経験 教員紹介	英語・日本語講師(小学校・短期大学・企業・個人) 語学・留学カウンセリング(企業・学生) 児童英語テキスト・マニュアル作成異文化、理解及び英会話研修(企業) 留学生サポート		

講義概要
本講義では、外国語とその文化・風習・行事に触れることで理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感・習得する。Listening/Speaking 技能を中心とし、コミュニケーションとしての英語を実践を踏まえながら練習し習得する。
達成目標
・ナチュラルスピードの英語を理解する。 ・自分の意見を英語で伝え、コミュニケーションをとれるような英語力を養う。 ・英語圏の文化・風習・行事を知ることで日本と比較しながらより興味と理解を深める。

授業計画

1	事前学習	英語で話す心構えを準備する	9	事前学習	復習
	授業計画	オリエンテーション･自己紹介･daily questions		授業計画	Shopping　基本的なやりとりと海外の風習・気を付ける事
	事後学習	復習		事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	復習	10	事前学習	復習
	授業計画	Daily Activities① 一般動詞の普通文・疑問文		授業計画	海外での英語　ホテルで使う表現・さまざまな宿泊施設
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習	11	事前学習	復習
	授業計画	Daily Activities②　過去形の疑問文・否定文		授業計画	趣味　好みの度合いに関する様々な表現と Q&A
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習	12	事前学習	復習
	授業計画	Vacation① 休暇の過ごし方について Q&A		授業計画	Quantities 単位の表現法・海外の食料品について
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
5	事前学習	復習	13	事前学習	復習
	授業計画	英語を書く時によく使われる省略形 英文履歴書		授業計画	海外の日常動画から文化と表現を学ぶ 発表の準備
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	英文履歴書② 英語での自己アピールの方法		授業計画	発表の準備および発表
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
7	事前学習	復習	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	いろいろな誘い方 相手に合わせた表現方法		授業計画	定期試験
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	難しかった内容の復習
8	事前学習	復習			
	授業計画	洋服・身の回りの英語 比較級を使った様々な表現			
	事後学習	ポイントの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（発表・授業態度）＞：20%

教科書　著者名　　毎回プリントを配布
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Susan Stempleski
　　タイトル　Talk time１，２
　　出版社　　Oxford

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	実用外国語Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	山北　麻美		
実務経験 教員紹介	英語・日本語講師(小学校・短期大学・企業・個人) 語学・留学カウンセリング(企業・学生) 児童英語テキスト・マニュアル作成異文化、理解及び英会話研修(企業) 留学生サポート		

講義概要
本講義では、外国語とその文化・風習・行事に触れることで理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感・習得する。Listening/Speaking 技能を中心とし、コミュニケーションとしての英語を実践を踏まえながら練習し習得する。
達成目標
・ナチュラルスピードの英語を理解する。 ・自分の意見を英語で伝え、コミュニケーションをとれるような英語力を養う。 ・英語圏の文化・風習・行事を知ることで日本と比較しながらより興味と理解を深める。

授業計画

1	事前学習	復習	9	事前学習	復習
	授業計画	道案内①　外国人に道案内できるような基本的な表現		授業計画	旅行①　旅行の時に使える表現を理解し練習する
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	復習	10	事前学習	復習
	授業計画	道案内②　建物内の位置表現や解らない時の尋ね方		授業計画	旅行②　website をみて予約法などリアルな英語を理解する
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習	11	事前学習	復習
	授業計画	乗換　外国人に乗換方法を教えるときの表現		授業計画	旅行③　自分でトラベルプランを作りポイントを含め英語で発表する
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習	12	事前学習	復習
	授業計画	病気･体調不良　持病や体調不良の時に説明できるような基本表現		授業計画	デイベート　身近なものを題材にデイベート形式で話す
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
5	事前学習	復習	13	事前学習	復習
	授業計画	トラブル　災害･忘れ物などトラブルの際に伝えられる表現		授業計画	クリスマス 海外のクリスマスと日本の比較(動画)
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	歌から学ぶさまざまな表現 提案・お願いなど		授業計画	後期の総復習(文法・単語・表現を使って会話練習)
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
7	事前学習	復習	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	Cooking① 料理にまつわる英語 thanks giving		授業計画	定期試験
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	難しかった内容の復習
8	事前学習	復習			
	授業計画	Cooking②　自分の好きなものの作り方を英語で表現する			
	事後学習	ポイントの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（発表・授業態度）＞：20%

教科書　著者名　　毎回プリントを配布
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Susan Stempleski
　　タイトル　Talk time1, ２
　　出版社　　Oxford

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネス外国語Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
日常的な英会話に必要な「文法知識」を整理すると共に、会話の練習を行うことで、「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、自分自身の力で発話をし、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	スピーチ練習：Food		授業計画	最上級
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	形容詞		授業計画	in/ at/ on（場所を表す前置詞１）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	スピーチ練習：School		授業計画	in/ at/ on（場所を表す前置詞２）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	副詞		授業計画	時を表す前置詞
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	スピーチ練習：Hobbies		授業計画	期間を表す前置詞
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	比較級１		授業計画	before/ after/ during/ while
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	比較級２		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	not as … as （原級を用いた比較）			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）
　　出版社　　Cambridge University Press

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネス外国語Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
この授業では、CNN や BBC 等の社会性の高い時事問題を使用し、オーバーラッピングや、シャドーイング、サイト・トランスレーションといった通訳技法について紹介し、実際にトレーニングを行う。社会性の高い時事に英語で触れ、理解を深めると共に、4 技能（読む・聞く・話す・書く）の全ての力を伸ばす。
達成目標
上記の通訳技法トレーニングである、オーバーラッピング、シャドーイング、サイト・トランスレーションのトレーニングを行い、英語の総合力を底上げする。日常会話程度の急な通訳依頼にも対応できる素地を養う。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	Lesson９の単語を調べる
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN①		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	Lesson２の単語を調べる	10	事前学習	Lesson10 の単語を調べる
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN②		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	Lesson３の単語を調べる	11	事前学習	Lesson11 の単語を調べる
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN③		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	Lesson４の単語を調べる	12	事前学習	Lesson12 の単語を調べる
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN④		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	Lesson５の単語を調べる	13	事前学習	Lesson13 の単語を調べる
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑤		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	Lesson６の単語を調べる	14	事前学習	Lesson14 の単語を調べる
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑥		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	Lesson７の単語を調べる	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	Lesson８の単語を調べる			
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　CNN ENGLISH EXPRESS
　　出版社　　朝日出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティⅠ	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	飛鳥　政明		
実務経験 教員紹介	40年以上の飲食関連全般の実務経験。「ホスピタリティ」関連は(株)オリエンタルランドグループで「ディズニー流のホスピタリティ」を17年指導経験あり。		

講義概要
あらゆる産業において、企業理念として「顧客満足」を掲げている会社が多いなか、この「顧客満足」を実践できる人財が必要となる。学生自身がホスピタリティの意味を理解し、どのような考え方、どのような言動を身につけなければならないかという理論および日常的なホスピタリティマインド発揮のための基盤の確立を目指す。
達成目標
学生が卒業後、社会人となり職場からも顧客からも信頼され、本人だけでなく会社からも必要とされる人財となるように学修を深める。そして自ら率先してホスピタリティを理解し実践できる人財にすることが目標。

授業計画

1	事前学習	本講義で学ぶ内容を理解する	9	事前学習	配布資料の事前予習
	授業計画	オリエンテーション、自己紹介、授業内容の説明、ルールなどを説明		授業計画	顧客満足とホスピタリティ（顧客の心理、顧客満足とは）
	事後学習	オリエンテーションの内容を復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
2	事前学習	「ホスピタリティ」とは何か考える	10	事前学習	自身がクレームを受けたことの有無
	授業計画	「ホスピタリティ」と「サービス」の違いを理解する		授業計画	クレーム対応とは？自身の体験を基に検証。2度と起こさないためには
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
3	事前学習	「ホスピタリティ」産業とは	11	事前学習	アルバイト先での環境について
	授業計画	「ホスピタリティ」産業にはどのようなものがあるか考える		授業計画	職場環境（従業員満足、メンタルヘルス、ハラスメント）を考える
	事後学習	授業内容の復習を行う		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
4	事前学習	配布資料の確認	12	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	人財育成とホスピタリティ（ホスピタリティを発揮できる人財の育成）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
5	事前学習	配布資料の確認と予習	13	事前学習	配布資料の確認と予習
	授業計画	ホスピタリティマナーとはなにかを動画およびパワーポイントで説明		授業計画	企業と社会（企業の社会的責任とホスピタリティ、コンプライアンス）
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習
6	事前学習	自分の心の知能指数とは	14	事前学習	過去の配布資料の再確認
	授業計画	ホスピタリティの原点とはなにか。その為には、まず自分を知ること		授業計画	前期配布資料のまとめと復習。前期試験の概要説明
	事後学習	配布資料の確認と授業内容の復習		事後学習	試験対策の復習
7	事前学習	配布資料の確認と予習	15	事前学習	筆記試験の予習
	授業計画	交流分析、自我状態（心のなりたち・エゴグラム）を知る		授業計画	筆記試験の実施と前期のまとめとフィードバックを行う
	事後学習	エゴグラムをチェックリストの確認		事後学習	講義内容の復習
8	事前学習	コミュニケーションはなぜ必要？			
	授業計画	コミュニケーションとホスピタリティ（聴き方、話し方）			
	事後学習	配布資料に基づき、講義内容の復習			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：100%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　日本ホスピタリティ協会
　　タイトル　ホスピタリティ検定
　　出版社　　(株)経済法令研究会

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティⅡ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
一般的に、「ホスピタリティ」とは「おもてなし」や「心配り」など、サービスの延長線上にあるもの、もしくはサービスを補充するものとして混同・誤解されている場合が多い。本講義では、ホスピタリティ産業と呼ばれる業界の様々な事例を紹介しながら、サービスとホスピタリティの違いやホスピタリティの基本的な考え方を学ぶ。
達成目標
ホスピタリティの基本的な考え方を理解したうえで、ホスピタリティ産業にはどのような業種業態があるのか、そこで発揮されるべき「ホスピタリティ」はどんなことなのかを学び、普段の生活の中でも発揮できるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ガイダンス なぜ、「ホスピタリティ論」を学ぶのか		授業計画	業界・職業研究②（バス・鉄道・航空）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	モノ消費からコト消費の時代へ		授業計画	業界・職業研究③（旅館・ホテル）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	サービスとは何か？		授業計画	業界・職業研究④（テーマパーク）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	サービス品質の特徴と品質基準		授業計画	業界・職業研究⑤（飲食・小売）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ホスピタリティの定義とサービスとの関係		授業計画	業界・職業研究⑥（冠婚葬祭事業）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	ホスピタリティが生まれやすい企業文化とは？		授業計画	テスト対策
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト勉強
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	現状と今後の課題		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく			
	授業計画	業界・職業研究①（旅行）			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（授業態度）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　資料を随時配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	外国語会話Ⅲ	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
日常的な英会話に必要な「語彙力」を強化すると共に、会話の練習を行う事で、「文法運用能力」を高める事を目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」と言う事が多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、自分自身の力で発話をし、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit① Learning		授業計画	Unit⑨ Communication and technology
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit② The world around us		授業計画	Unit⑩ Social issues
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③ People		授業計画	Unit⑪ Concepts
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④ Daily life		授業計画	Unit⑫ Functional language
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤ Education and study		授業計画	Unit⑬ Word formation
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥ Work and business		授業計画	Unit⑭ Phrase building
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦ Leisure and entertainment		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧ Tourism			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜(その他)＞：0%

教科書　著者名　Michael McCarthy, Felicity O'Dell
　　タイトル　English Vocabulary in Use: Pre-Intermediate and Intermediate
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語会話Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
自分自身や身近な事柄について会話をする為に必要な「語彙力」を強化すると共に、会話の練習を行う事で、「文法運用能力」を高める事を目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」と言う事が多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、自分自身の力で発話をし、身近な事柄ににについて英語でコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit① Efective vocabulary learning		授業計画	Unit⑨Phrasal verbs and verb-based expressions1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit② Topics		授業計画	Unit⑩Phrasal verbs and verb-based expressions2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③ Feelings and actions		授業計画	Unit⑪Phrasal verbs and verb-based expressions3
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④ Basic concepts		授業計画	Unit⑫ Varieties and styles1
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤ Connecting and linking words		授業計画	Unit⑬ Varieties and styles2
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥ Word formation		授業計画	Unit⑭ Varieties and styles3
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦ Words and pronunciation		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧ Counting people and things			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名　Michael McCarthy, Felicity O'Dell
　　タイトル　English Vocabulary in Use: Pre-Intermediate and Intermediate
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語表現Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
1 年時の学習内容を踏まえ、引き続き、英語と日本語の両方を駆使し、適切な言語知識を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の２級または３級の資格取得、TOEIC100 点アップを目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語での自己紹介･当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の応用 日本の人のこころ 2
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本のスポーツと余暇		授業計画	英語表現の応用 日本の政治１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本の美術		授業計画	英語表現の応用 日本の政治２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本の工芸		授業計画	英語表現の応用 日本の経済１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本の舞台芸術・音楽		授業計画	英語表現の応用 日本の経済２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の応用 日本の文学		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の応用 日本のポップカルチャー・マスコミ		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の応用 日本人のこころ１			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　江口裕之
　　タイトル　英語で語る日本事情 2020
　　出版社　　The Japan Times
参考書　著者名　　山口百々男
　　タイトル　英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産
　　出版社　　三修社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語表現Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
日常的な英会話に必要な「文法知識」を整理すると共に、会話の練習を行うことで、「文法運用能力」を高めることを目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」ということが多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。出席率、小テスト、期末テストを基に評価を行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、自分自身の力で発話をし、日常会話レベルのコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit①		授業計画	Unit⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit②		授業計画	Unit⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③		授業計画	Unit⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④		授業計画	Unit⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤		授業計画	Unit⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥		授業計画	Unit⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）、（中級編）
　　出版社　　Cambridge University Press

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	総合外国語Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	山北　麻美		
実務経験 教員紹介	英語・日本語講師(小学校・短期大学・企業・個人)　語学・留学カウンセリング(企業・学生) 児童英語テキスト・マニュアル作成		

講義概要
本講義では、外国語とその文化・風習・行事に触れることで理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感・習得する。Listening/Speaking 技能を中心とし、コミュニケーションとしての英語を実践を踏まえながら練習し習得する。
達成目標
・ナチュラルスピードの英語を理解する。 ・自分の意見を英語で伝え、コミュニケーションをとれるような英語力を養う。 ・英語圏の文化・風習・行事を知ることで日本と比較しながらより興味と理解を深める。

授業計画

1	事前学習	前期授業内容の見直し	9	事前学習	復習
	授業計画	海外での英語①　レストランで使う表現・海外でのマナー①		授業計画	ビジネス英語② 丁寧な表現（面談・交渉）
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	復習	10	事前学習	復習
	授業計画	海外での英語②　　レストランで使う表現②・海外でのマナー②		授業計画	ビジネス英語③ 丁寧な表現（提案・確認）
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習	11	事前学習	復習
	授業計画	海外での英語③　空港や駅で使う表現・海外でのマナー③		授業計画	動画で学ぶ世界の文化(Valentine's day)
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習	12	事前学習	復習
	授業計画	海外での英語④機内や移動中に使う表現・海外でのマナー④		授業計画	ビジネス英語④ 丁寧な表現（電話）
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
5	事前学習	復習	13	事前学習	復習
	授業計画	動画やニュースからリアルタイムの海外情報を収集し発表する		授業計画	ビジネス英語⑤ 丁寧な表現（会食）
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	発表の準備 自分が選んだ国について調べる		授業計画	ビジネス英語⑥ 丁寧な表現（接客英語）
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
7	事前学習	復習	15	事前学習	復習
	授業計画	発表（presentation） 準備した内容を英語で発表する		授業計画	総復習　動画で学ぶ世界の文化(St.patrick day)
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
8	事前学習	復習			
	授業計画	ビジネス英語① 丁寧な表現（挨拶・自己紹介・応対）			
	事後学習	ポイントの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　毎回プリントを配布
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Susan Stempleski
　　タイトル　Talk time１，２
　　出版社　　Oxford

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	総合外国語Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
ビジネス場面における英語の使用においては、「正確さ」や「ニュアンス」が重要となり、話し手は、聞き手の「英語力」や「社会的地位」に合わせて英語を発話する必要がある。この授業では、より高度な英単語を学習し、自分自身のコンフォートゾーンを抜け出し、場面に合わせて英単語を使い分けられるようになるよう学習する。
達成目標
多くの英語学習者は、英語力がある一定のレベルに達すると、自分が知っている英単語のみを繰り返し使ってしまう傾向にある為、自分自身が伝えたいニュアンスに応じて、英単語を使い分けられるようになる事を目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN①		授業計画	At work: colleagues and routines
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回の授業の復習	10	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN②		授業計画	At work: job satisfaction
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回の授業の復習	11	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN③		授業計画	At work: careers
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回の授業の復習	12	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN④		授業計画	Describing the world
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回の授業の復習	13	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Cramming for success		授業計画	Weather and climate
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回の授業の復習	14	事前学習	前回の授業の復習
	授業計画	Education: debates and issues		授業計画	Brick walls and glass ceilings
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回の授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Applying for a job		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回の授業の復習			
	授業計画	Job interviews			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（小テスト）＞：25%

教科書　著者名　Michael McCarthy, Felicity O'dell
　　タイトル　English Vocabulary in Use - Advanced
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル　CNN ENGLISH EXPRESS
　　出版社　朝日出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
「より多くの人がベジタリアンになるべきだ」等の社会性の高い時事問題について、グループ内で日本語で議論をし、メリット・デメリットを検討してもらった上で、賛成もしくは反対の結論を出し発表してもらう。グループの代表者には、プレゼンテーション形式で結論を発表してもらう。
達成目標
時事問題を議論する課程で、Critical Thinking（批判的思考）を養い、物事を多角的に捉える力を身につける。また就職活動における面接を見据え、パブリック・スピーキング力を強化する。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	より多くの人がベジタリアンになるべきだ		授業計画	小学生･中学生･高校生はチームスポーツで競うべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	レストラン･お店は週末はクローズするべきだ		授業計画	若年層の SNS の利用を制限するべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	豊かな国は､貧しい国をもっと支援するべきだ		授業計画	輸入食材より、地元の食材を買うべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	動物園を撤廃するべきだ		授業計画	日本は副業を認めるべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	各国は､キャッシュレス化を進めるべきだ		授業計画	各国は死刑を撤廃するべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	専門学生･大学生は卒業後も両親と一緒に住むべきだ		授業計画	オリンピックを中止するべきだ
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	各国は､ホームレスをもっと支援するべきだ		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	日本はカジノを導入するべきだ			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅳ	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
貧困や飢餓、差別等、国際社会が面している社会性の高い時事問題について、グループ内で日本語で議論をし、メリット・デメリットを検討してもらった上で、賛成もしくは反対の結論を出し発表してもらう。グループの代表者には、プレゼンテーション形式で結論を発表してもらう。
達成目標
時事問題を議論する課程で、Critical Thinking（批判的思考）を養い、物事を多角的に捉える力を身につける。また会議やプレゼン等、実社会に必要なパブリック・スピーキング力を強化する。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題①		授業計画	時事問題⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	シラバスの確認	10	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題②		授業計画	時事問題⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	シラバスの確認	11	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題③		授業計画	時事問題⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	シラバスの確認	12	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題④		授業計画	時事問題⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	シラバスの確認	13	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題⑤		授業計画	時事問題⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	シラバスの確認	14	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	時事問題⑥		授業計画	時事問題⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	シラバスの確認	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	時事問題⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	シラバスの確認			
	授業計画	時事問題⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	通訳翻訳総合演習 I	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
CNN World News を使用し、様々なトピックや分野に関連した語彙やフレーズや、内容理解に必要な文法を学びます。時事問題から読み取れる背景や各国の文化の違いを学びながら、収録された音声を使用した音読トレーニングを通して発音やリスニングの向上を目指します。
達成目標
・ニュースの内容理解に必要な語彙力、文法力を養う ・シャドーイングなどの音読トレーニング法を学ぶ ・時事問題を通して多様な文化を理解し視野を広げる

授業計画

1	事前学習	テキストの確認	9	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	自己紹介とシラバスの確認		授業計画	CNN World News 4（音読）
	事後学習	テキストの確認		事後学習	音声を使用し音読練習
2	事前学習	テキストの確認	10	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN World News 1（内容理解）		授業計画	CNN World News 5（内容理解）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
3	事前学習	音声を使用し音読練習	11	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN World News 1（音読）		授業計画	CNN World News 5（音読）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
4	事前学習	音声を使用し音読練習	12	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN World News 2（内容理解）		授業計画	CNN World News 6（内容理解）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
5	事前学習	音声を使用し音読練習	13	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN World News 2（音読）		授業計画	CNN World News 6（音読）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
6	事前学習	音声を使用し音読練習	14	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN World News 3（内容理解）		授業計画	音読発表
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
7	事前学習	音声を使用し音読練習	15	事前学習	前期の復習
	授業計画	CNN World News 3（音読）		授業計画	期末テスト
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	振り返り
8	事前学習	音声を使用し音読練習			
	授業計画	CNN World News 4（内容理解）			
	事後学習	音声を使用し音読練習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（発表）＞：20%

教科書　著者名　　真野泰
　　タイトル　30 second CNN World News: Culture and Society in a Changing World
　　出版社　　株式会社 朝日出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	通訳翻訳総合演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
CNN World News を使用し、様々なトピックや分野に関連した語彙やフレーズや、内容理解に必要な文法を学びます。時事問題から読み取れる背景や各国の文化の違いを学びながら、収録された音声を使用した音読トレーニングを通して発音やリスニングの向上を目指します。
達成目標
・ニュースの内容理解に必要な語彙力、文法力を養う ・シャドーイングなどの音読トレーニング法を学ぶ ・時事問題を通して多様な文化を理解し視野を広げる

授業計画

1	事前学習	テキストの確認	9	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	シラバスの確認		授業計画	CNN World News 10（音読）
	事後学習	テキストの確認		事後学習	音声を使用し音読練習
2	事前学習	テキストの確認	10	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN World News 7（内容理解）		授業計画	CNN World News 11（内容理解）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
3	事前学習	音声を使用し音読練習	11	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN World News 7（音読）		授業計画	CNN World News 11（音読）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
4	事前学習	音声を使用し音読練習	12	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN World News 8（内容理解）		授業計画	CNN World News 12（内容理解）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
5	事前学習	音声を使用し音読練習	13	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN World News 8（音読）		授業計画	CNN World News 12（音読）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
6	事前学習	音声を使用し音読練習	14	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN World News 9（内容理解）		授業計画	音読発表
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
7	事前学習	音声を使用し音読練習	15	事前学習	前期の復習
	授業計画	CNN World News 9（音読）		授業計画	期末テスト
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	振り返り
8	事前学習	音声を使用し音読練習			
	授業計画	CNN World News 10（内容理解）			
	事後学習	音声を使用し音読練習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（発表）＞：20%

教科書　著者名　　真野泰
　　タイトル　30 second CNN World News: Culture and Society in a Changing World
　　出版社　　株式会社 朝日出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社の法人営業		

講義概要
日本経済新聞を中心に国内外のニュースの内容把握とそのニュースについての経済的、社会的、政治的背景を考察して行きます。 「聴く日経」を活用し、耳からニュースを聞き取る聴解力を伸ばします。同じニュースを新聞紙面から読み取り、縦書き文章の読解力を伸ばしていきます。そして、自身の知識として積み上げていきます。
達成目標
その時その時に話題になっている経済ニュースが理解できるようになること。 就職活動に備えての時事知識及び一般知識を修得すること

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	宿題をやる
	授業計画	オリエンテーション 講義のルール説明など		授業計画	新聞記事⑦　外食関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	復習		事後学習	語彙を調べる
2	事前学習	宿題をやる	10	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事①　新入社員関連記事１ 宿題配布		授業計画	新聞記事⑧　労働関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
3	事前学習	宿題をやる	11	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事②　新入社員関連記事２ 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	新聞記事⑨　株主総会関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
4	事前学習	宿題をやる	12	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事③　五月病関連記事 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	新聞記事⑩　消費者関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
5	事前学習	宿題をやる	13	事前学習	宿題をやる
	授業計画	新聞記事④　物流関連記事 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	新聞記事⑪　海外進出関連記事 前回宿題解説、宿題配布
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	語彙を調べる
6	事前学習	宿題をやる	14	事前学習	復習
	授業計画	新聞記事⑤　株主総会関連記事１ 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	総まとめ
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	復習
7	事前学習	宿題をやる	15	事前学習	復習
	授業計画	新聞記事⑥　株主総会関連記事２ 前回宿題解説、宿題配布		授業計画	期末試験
	事後学習	語彙を調べる		事後学習	振り返り
8	事前学習	宿題をやる			
	授業計画	中間テスト			
	事後学習	振り返り			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　なし
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社の法人営業		

講義概要
経済理論の基礎であるミクロ経済、マクロ経済を学び、前期で学んだ日本の経済状況を経済理論で説明していきます。そして、現在の経済状況を経済理論を用いて理解できるようにケースを用い、グループでのディスカッションを行います。先見性が持てるように経済理論を習得していきます。
達成目標
経済学の基礎理論の理解、世界経済史の理解を通じて、経済の変化がビジネスに与える影響を読み解けるようになる。世界の経済時流を理解できるようになる。グループディスカッションによる意見交換ができるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	復習 日本経済史		授業計画	マクロ経済① マクロ経済とは（GDP）
	事後学習	ノートをまとめる		事後学習	指定課題の提出
2	事前学習	事前配布の用語を調べる	10	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	ミクロ経済とマクロ経済とは 希少性と価格		授業計画	マクロ経済② 三面等価の原則
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	指定課題の提出
3	事前学習	事前配布の用語を調べる	11	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	ミクロ経済① 価格と需要の関係/需要曲線/供給曲線		授業計画	マクロ経済③ 需要・国民所得の決定メカニズム
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	指定課題の提出
4	事前学習	事前配布の用語を調べる	12	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	ミクロ経済② 需要・価格弾力性		授業計画	マクロ経済④ 財市場と貨幣市場（IS-LM 曲線）
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	指定課題の提出
5	事前学習	事前配布の用語を調べる	13	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	ミクロ経済③ 家計の消費（限界効用・代替効果）		授業計画	マクロ経済⑤ 家計の消費行動・企業の投資行動
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	指定課題の提出
6	事前学習	事前配布の用語を調べる	14	事前学習	事前配布の用語を調べる
	授業計画	ミクロ経済④ 企業の目的（生産要素・利潤最大化）		授業計画	マクロ経済⑥ 政府の存在・政府の役割
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	指定課題の提出
7	事前学習	事前配布の用語を調べる	15	事前学習	復習
	授業計画	ミクロ経済⑤ 企業の目的（完全競争・市場取引の利益）		授業計画	期末試験
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	振り返り
8	事前学習	テスト勉強			
	授業計画	中間テスト			
	事後学習	振り返り			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　井堀利宏著、日本経済新聞など
　　タイトル　「大学 4 年間の経済学が 10 時間で学べる」
　　出版社　　角川出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティング	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	善福　大		
実務経験 教員紹介	人材派遣会社にて経営管理部に所属し経営戦略、組織管理、マーケティング方針の策定を行う。		

講義概要
マーケティングは「売れる仕組み」を考えることです。仕組みは「誰に」「何を」「どのように」を基本に様々な課題についての考え方が必要です。この考え方は様々なビジネスの場面で活用が可能です。本講義ではマーケティングを学ぶことで基本的なビジネス思考を身に着けます。
達成目標
マーケティングのフレームワークから分析手法まで基本的な知識を身に着けます。またマーケティング課題に関する取り組み方を事例をもとに学び、様々なビジネス場面における考え方を身に着けます。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	マーケティングとは何か。マーケティングの意味を伝える。		授業計画	マーケティングにおける目標（KPI と KGI について）
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	自分の KPI を立ててみる
2	事前学習	講義資料の確認	10	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	顧客、市場とは何か。アンゾフのマトリックス		授業計画	売上分析の方法（よくある効果測定の方法をしる）
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
3	事前学習	講義資料の確認	11	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	市場分析の手法（３C 分析、ファイブフォース）		授業計画	プロモーション活動の基本。プロモーションにおける大切な考え方。
	事後学習	３C 分析、５F の復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
4	事前学習	講義資料の確認	12	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	自社の強みとは（SWOT、STP 策定）		授業計画	最近の PR 活動について、流行の PR 手法を知る
	事後学習	SWOT、STP 策定の復習		事後学習	実際の PR 活動を調べてくる
5	事前学習	講義資料の確認	13	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	マーケティングリサーチとは何か。どんな手法があるか		授業計画	BtoB マーケティングとは何か、会社同士のやり取りをしる
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の読み込み、復習
6	事前学習	講義資料の確認	14	事前学習	前期資料の確認
	授業計画	マーケティングミックスの策定（４P の基本）		授業計画	前期のまとめと総復習を行う。前期講義の質問を受ける。
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	講義資料の確認
7	事前学習	前講義の復習	15	事前学習	前期資料の復習
	授業計画	マーケティングミックスの策定(実際の４P 分析)		授業計画	試験日
	事後学習	講義資料の読み込み、復習		事後学習	試験の復習
8	事前学習	講義資料の確認			
	授業計画	マーケティングミックスの策定(ブランディングとは何か)			
	事後学習	ブランディングについて復習する			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　中野崇
　　タイトル　いちばんやさしいマーケティングの教本
　　出版社　　株式会社インプレス
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	英語Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
身近な事柄について会話をする為に必要な「語彙力」を強化すると共に、会話の練習を行う事で、「文法運用能力」を高める事を目標とする。日本人学習者の多くは、英語を「知っている」にも関わらず、「使えない」と言う事が多い為、「知っていて、且つ使える」状態を目指し、トレーニングを行う。
達成目標
日々の挨拶や、趣味や家族、週末や休暇の予定、旅先でのホテルやレストランなどの英語が必要な場面において、自分自身の力で発話をし、身近な事柄にについて英語でコミュニケーションが行えることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit① Learning		授業計画	Unit⑨ Connecting and linking
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	前回授業の復習	10	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit② Word formation		授業計画	Unit⑩ The world around us
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	前回授業の復習	11	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit③ Phrase building①		授業計画	Unit⑪ People
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	前回授業の復習	12	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit④ Phrase building②		授業計画	Unit⑫ Daily of life
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	前回授業の復習	13	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑤ Phrase building②		授業計画	Unit⑬ Work
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	前回授業の復習	14	事前学習	前回授業の復習
	授業計画	Unit⑥ Parts of speech①		授業計画	Unit⑭ Leisure and entertainment
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	前回授業の復習	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	Unit⑦ Parts of speech②		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	前回授業の復習			
	授業計画	Unit⑧ Parts of speech③			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（その他）＞：0%

教科書　著者名　Michael McCarthy, Felicity O'Dell
　　タイトル　English Vocabulary in Use: Pre-Intermediate and Intermediate
　　出版社　Cambridge University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	英語Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任		

講義概要
この授業では、CNN や BBC 等の社会性の高い時事問題を使用し、オーバーラッピングや、シャドーイング、サイト・トランスレーションといった通訳技法について紹介し、実際にトレーニングを行う。社会性の高い時事に英語で触れ、理解を深めると共に、4 技能（読む・聞く・話す・書く）の全ての力を伸ばす。
達成目標
上記の通訳技法トレーニングである、オーバーラッピング、シャドーイング、サイト・トランスレーションのトレーニングを行い、英語の総合力を底上げする。日常会話程度の急な通訳依頼にも対応できる素地を養う。

授業計画

1	事前学習	シラバスの確認	9	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN①		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑨
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	シラバスの確認	10	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN②		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑩
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	シラバスの確認	11	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN③		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑪
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	シラバスの確認	12	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN④		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑫
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	シラバスの確認	13	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑤		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑬
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	シラバスの確認	14	事前学習	シラバスの確認
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑥		授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑭
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
7	事前学習	シラバスの確認	15	事前学習	テスト範囲について学習
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑦		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト範囲の復習
8	事前学習	シラバスの確認			
	授業計画	通訳技法トレーニング：CNN⑧			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：25%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　CNN ENGLISH EXPRESS
　　出版社　　朝日出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	観光外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
1 年時の学習内容を踏まえ、英語と日本語を並立させ、英語の適切な言語知識と用法を学ぶ。ビジュアル教材やテキストを有効に用い、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上をはかる。また、インバウンドなどホスピタリティ産業の分野での課題を考察し、自らの効果的かつ魅力的な提案を発表する。
達成目標
観光英検試験の２級の資格取得,それぞれの TOEIC スコアの達成を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語での自己紹介･当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の活用 日本の伝承、風俗２
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の活用 日本の古典芸能１		授業計画	英語表現の活用 日本の食文化１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の活用 日本の古典芸能２		授業計画	英語表現の活用 日本の食文化２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の活用 日本の美術１		授業計画	英語表現の活用 日本の食文化、外食産業１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の活用 日本の美術２		授業計画	英語表現の活用 日本の食文化、外食産業２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の活用 日本の家屋、建築１		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の活用 日本の家屋、建築２		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の活用 日本の伝承、風俗１			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　江口裕之
　　タイトル　英語で語る日本事情 2020
　　出版社　　The Japan Times
参考書　著者名　　山口百々男
　　タイトル　英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産
　　出版社　　三修社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	観光外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期の学習内容を踏まえ、応用知識を発展的に学び、アウトプット活動を行う。ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光・世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
観光英検試験の２級または３級の資格取得、TOEIC650 点取得を目指す。日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深める。英語と日本語の両方による適切なコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	学習用品、教室等の確認	9	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	当科目の学習意義と目標の確認		授業計画	英語表現の応用 日本のあるべき姿の考察１
	事後学習	自己紹介の英文ライティング		事後学習	英文ライティングによるまとめ
2	事前学習	事前にテキストを読了しておく	10	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本の産業１		授業計画	英語表現の応用 日本のあるべき姿の考察２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
3	事前学習	事前にテキストを読了しておく	11	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本の産業２		授業計画	英語表現の応用 日本のあるべき姿の考察、プレゼンテーション１
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
4	事前学習	事前にテキストを読了しておく	12	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本の家族問題		授業計画	英語表現の応用 日本のあるべき姿と考察、プレゼンテーション２
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
5	事前学習	事前にテキストを読了しておく	13	事前学習	事前にテキストを読了しておく
	授業計画	英語表現の応用 日本の変化と課題１		授業計画	英語表現の応用 日本のあるべき姿の考察、プレゼンテーション３
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	英文ライティングによるまとめ
6	事前学習	事前にテキストを読了しておく	14	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の応用 日本の変化と課題２		授業計画	定期試験に向けた要点整理の確認
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	定期試験に向けた要点整理
7	事前学習	事前にテキストを読了しておく	15	事前学習	定期試験に向けた要点整理
	授業計画	英語表現の応用 日本の中枢（東京）１		授業計画	定期試験
	事後学習	英文ライティングによるまとめ		事後学習	試験のレビュー、復習
8	事前学習	事前にテキストを読了しておく			
	授業計画	英語表現の応用 日本の中枢（東京）２			
	事後学習	英文ライティングによるまとめ			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　江口裕之
　　タイトル　英語で語る日本事情 2020
　　出版社　　The Japan Times
参考書　著者名　　山口百々男
　　タイトル　英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産
　　出版社　　三修社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
CNN World News を使用し、様々なトピックや分野に関連した語彙やフレーズや、内容理解に必要な文法を学びます。時事問題から読み取れる背景や各国の文化の違いを学びながら、収録された音声を使用した音読トレーニングを通して発音やリスニングの向上を目指します。
達成目標
・ニュースの内容理解に必要な語彙力、文法力を養う ・シャドーイングなどの音読トレーニング法を学ぶ ・時事問題を通して多様な文化を理解し視野を広げる

授業計画

1	事前学習	テキストの確認	9	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	シラバスの確認		授業計画	CNN News Listening 4（音読）
	事後学習	テキストの確認		事後学習	音声を使用し音読練習
2	事前学習	テキストの確認	10	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN News Listening 1（内容理解）		授業計画	CNN News Listening 5（内容理解）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
3	事前学習	音声を使用し音読練習	11	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN News Listening 1（音読）		授業計画	CNN News Listening 5（音読）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
4	事前学習	音声を使用し音読練習	12	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN News Listening 2（内容理解）		授業計画	CNN News Listening 6（内容理解）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
5	事前学習	音声を使用し音読練習	13	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN News Listening 2（音読）		授業計画	CNN News Listening 6（音読）
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
6	事前学習	音声を使用し音読練習	14	事前学習	音声を使用し音読練習
	授業計画	CNN News Listening 3（内容理解）		授業計画	音読発表
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	音声を使用し音読練習
7	事前学習	音声を使用し音読練習	15	事前学習	前期の復習
	授業計画	CNN News Listening 3（音読）		授業計画	期末テスト
	事後学習	音声を使用し音読練習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	音声を使用し音読練習			
	授業計画	CNN News Listening 4（内容理解）			
	事後学習	音声を使用し音読練習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　CNN English Express 編集部
　　タイトル　CNN ニュース・リスニング
　　出版社　　株式会社 朝日出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	善福　大		
実務経験 教員紹介	人材派遣会社にて経営管理部に所属し経営戦略、組織管理、マーケティング方針の策定を行う。		

講義概要
マーケティングは対面でのやり取りではなくデジタル技術を活用したマーケティングが現在の主流となっています。本講義では現代のマーケティングとして主流であるインターネットなど IT を活用したデジタルマーケティングについて学び、現代マーケティングの基礎を学びます。
達成目標
デジタルマーケティングについての基礎を学び、これからのマーケティングがどのように行われていくのかを知りデジタル社会に通用する知識を身に着けます。また IT を発信する側の考えを知りビジネス理解を深めます。

授業計画

1	事前学習	事前講義資料の確認	9	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	前期マーケティングのおさらいとこれからのマーケティング		授業計画	新たなサービス提供方法であるサブスクリプションについて学ぶ
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
2	事前学習	事前講義資料の確認	10	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	マーケティングにおける世界観を構築するブランディングについて		授業計画	デジタルマーケティングにおける価値観の伝え方
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
3	事前学習	事前講義資料の確認	11	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	デジタルマーケティングでの顧客へのアプローチの仕方を知る		授業計画	つながりとコミュニティマーケティングについて学ぶ
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
4	事前学習	事前講義資料の確認	12	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	変化するインターネット検索における SEO について知る		授業計画	ＳＤＧｓから学ぶ社会を考えたマーケティング手法について学ぶ
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
5	事前学習	事前講義資料の確認	13	事前学習	事前講義資料の確認
	授業計画	デジタル化が進む中で日本社会における DX 問題について学ぶ		授業計画	マーケティングの未来、これからのマーケティングについて学ぶ
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
6	事前学習	事前講義資料の確認	14	事前学習	後期資料の確認
	授業計画	EC サイトの仕組みと DtoC について学ぶ		授業計画	後期授業の総復習
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	講義資料の読み込み
7	事前学習	事前講義資料の確認	15	事前学習	後期資料の読み込み
	授業計画	リアルとデジタルを統合するユーザー体験型の仕組みについて学ぶ		授業計画	テスト
	事後学習	講義資料の読み込み		事後学習	テストの復習
8	事前学習	事前講義資料の確認			
	授業計画	消費スタイルの変化とシェアリングエコノミーについて学ぶ			
	事後学習	講義資料の読み込み			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　押切孝雄
　　タイトル　デジタルマーケティングの教室
　　出版社　マイナビ
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社での法人営業担当		

講義概要
ビジネスにおける先見性を養うにあたり、世界経済の動きを知ることが必要な時代となりました。経済学Ⅰでは、第二次世界大戦が終わってからの日本の経済についての歴史を学びます。経済史だけではなく、歴史を学ぶことの大切さについても実感させ、これからの先見性養成に役立てられるような講義展開を行います。
達成目標
日本経済史を理解し、基礎的な経済学用語を知ること。留学生においては、その当時の自国の歴史と比較し、自国の歴史についても、他者に説明できるようになる。そして、グローバルな視点を養う。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	貿易摩擦について調べる
	授業計画	オリエンテーション 経済学とは		授業計画	日本経済史④ 貿易摩擦からプラザ合意
	事後学習	本日のノート整理		事後学習	本日のノート整理
2	事前学習	自国の人口総数を調べる	10	事前学習	現地生産とは調べる
	授業計画	人口と経済の関係性① 世界の人口動態と GDP		授業計画	1980 年代の日米貿易について 現地生産化
	事後学習	本日のノート整理		事後学習	本日のノート整理
3	事前学習	日本の人口動態について調べる	11	事前学習	バブル経済について調べる
	授業計画	人口と経済の関係性② 日本の人口変化と GDP		授業計画	日本経済史⑤ プラザ合意からバブル経済
	事後学習	本日のノート整理		事後学習	本日のノート整理
4	事前学習	人口と経済力について調べる	12	事前学習	前回のノートをチェックする
	授業計画	人口と経済の関係性③ グループワーク「自国の人口変化と経済力」		授業計画	日本経済史⑥ バブル崩壊から失われた 20 年
	事後学習	本日のノート整理		事後学習	本日のノート整理
5	事前学習	特になし	13	事前学習	リーマンショックについて調べる
	授業計画	日本経済史① 戦後から高度経済成長期		授業計画	日本経済史⑦ リーマンショックと世界経済
	事後学習	本日のノート整理		事後学習	本日のノート整理
6	事前学習	高度経済成長について復習する	14	事前学習	特になし
	授業計画	日本経済史② 高度成長期からニクソンショック		授業計画	前期復習
	事後学習	高度経済成長についてまとめる		事後学習	特になし
7	事前学習	ニクソンショックについて調べる	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	日本経済史③ ニクソンショック、石油ショック		授業計画	期末試験
	事後学習	石油ショックについてまとめる		事後学習	振り返り
8	事前学習	テスト勉強			
	授業計画	中間テスト			
	事後学習	復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　特になし
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	町　隆美		
実務経験教員紹介	印刷会社の法人営業		

講義概要
本講義では、Japan as No.1 と謳われた日本的経営について考察していく。日本的経営方法は現在の日本企業にも踏襲されている部分も多い。本校卒業後、日本企業に就職する学生にとっては、理解しておかなければならないシステム、考え方を解説していく。
達成目標
日本の企業文化を理解するとともに、企業の海外進出のフェーズが理解できるようになること。そして、自国に進出している日系企業について分析できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	オリエンテーション 日本的経営とは何か。		授業計画	日本企業の海外進出 ２）海外進出の段階について
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
2	事前学習	前回ノートの確認	10	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 １）人的管理について		授業計画	日本企業の海外進出 ３）海外進出の方法
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
3	事前学習	前回ノートの確認	11	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ２）組織の制度と構造		授業計画	日本企業の海外進出 ４）企業の海外戦略
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
4	事前学習	前回ノートの確認	12	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ３）従業員の意識		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ①SONY
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
5	事前学習	前回ノートの確認	13	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ４）経営戦略		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ②NISSAN
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
6	事前学習	前回ノートの確認	14	事前学習	前回ノートの確認
	授業計画	日本的経営 ５）日本の産業構造について		授業計画	日本企業の海外進出 ケーススタディ③ヤクルト
	事後学習	復習課題を行う		事後学習	復習課題を行う
7	事前学習	前回ノートの確認	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	中間テスト		授業計画	期末試験
	事後学習	試験の振り返り		事後学習	振り返り
8	事前学習	前回ノートの確認			
	授業計画	日本企業の海外進出について １）戦後の日本経済史（為替を中心）			
	事後学習	復習課題を行う			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　山田　英二
　　タイトル　新しいグローバルビジネスの教科書
　　出版社　　PHP 新書
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経営学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	前田　恭孝		
実務経験教員紹介	銀行の本社で計画策定、目標設定、業績管理、商品・チャネル開発、マーケティングを、経営コンサルタントとして戦略策定、組織変革、マーケティング推進などを推進していました。		

講義概要
経営学が対象とする企業とは何か、その活動や管理を説明する経営学の基本的な概念・理論を幅広く学びます。授業では、概念・理論がつくられた背景、今日の企業活動の何を説明できるかを実例を使って説明します。経営学Ⅰでは、企業形態、コーポレートガバナンス、伝統的理論、近代組織論などを取り上げます。
達成目標
皆さんが会社に入ったとき、経営学の諸概念・理論を使って、自分の仕事の会社のなかでの意味・意義や、仕事に問題があったときどこが問題かを上司・同僚に説明できるようになることを目指します。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	株式会社とは何か（企業の種類、株式会社の特徴と社会的責任）		授業計画	サイモンの経営管理論 1（手段・目的連鎖、意思決定過程等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
2	事前学習	前週のノートの確認	10	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	経営学の成立と伝統的理論 1（20 世紀初頭の産業界と経営学の成立）		授業計画	サイモンの経営管理論 2（合理性の限界、あいまい理論等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
3	事前学習	前週のノートの確認	11	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	経営学の成立と伝統的理論 2（テーラーの科学的管理論など）		授業計画	組織形態 1（組織定義、各種形態等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
4	事前学習	前週のノートの確認	12	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	株式会社の独占行動と統治 1（独占形態、独占禁止法等）		授業計画	組織形態 2（ネットワーク組織、自己組織化等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
5	事前学習	前週のノートの確認	13	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	株式会社の独占行動と統治 2（コーポレート・ガバナンス）		授業計画	中小企業と最近の動向 1（中小企業の定義と現状）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
6	事前学習	前週のノートの確認	14	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	企業活動の説明スキーム（経営資源、ドメイン等）		授業計画	中小企業と最近の動向 2（スタートアップ等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
7	事前学習	前週のノートの確認	15	事前学習	実施済小テストの復習
	授業計画	バーナードの近代的管理論 1（人間モデル、協働システム等）		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の復習、小テスト		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前週のノートの確認			
	授業計画	バーナードの近代的管理論 2（公式組織、意思決定等）			
	事後学習	該当箇所の復習、小テスト			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講義プレゼン資料とサマリーを授業後に配布する
　　出版社
参考書　著者名　　日本経営協会監修
　　タイトル　経営学検定試験公式テキスト「経営学の基本」
　　出版社　　中央経済社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	前田　恭孝		
実務経験教員紹介	銀行の本社で計画策定、目標設定、業績管理、商品・チャネル開発、マーケティングを、経営コンサルタントとして戦略策定、組織変革、マーケティング推進などを推進していました。		

講義概要
経営学が対象とする企業とは何か、その活動や管理を説明する経営学の基本的な概念・理論を幅広く学びます。授業では、概念・理論がつくられた背景、今日の企業活動の何を説明できるかを実例を使って説明します。経営学Ⅱでは、組織文化論、組織学習論、組織行動論などを取り上げます。
達成目標
皆さんが会社に入ったとき、経営学の諸概念・理論を使って、自分の仕事の会社のなかでの意味・意義や、仕事に問題があったときどこが問題かを上司・同僚に説明できるようになることを目指します。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	経営計画・管理 1（計画種類、編成プロセス、管理サイクル）		授業計画	組織変革・イノベーション 1（組織変革の定義と捉え方）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
2	事前学習	前週のノートの確認	10	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	経営計画・管理 2（実務での計画例）		授業計画	組織変革・イノベーション 2（断続平衡論、相互モデル等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
3	事前学習	前週のノートの確認	11	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	環境と組織 1（コンティンジェンシー論、組織認識論）		授業計画	モチベーション論 1（欲求階層説、X理論Y理論）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
4	事前学習	前週のノートの確認	12	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	環境と組織 2（生態学的変化とイナクトメント）		授業計画	モチベーション論 2（期待理論、公正理論、内発・外発）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
5	事前学習	前週のノートの確認	13	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	組織文化 1（文化論の始まり、強い文化論）		授業計画	リーダーシップ論・小集団活動 1（PM理論、状況理論等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
6	事前学習	前週のノートの確認	14	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	組織文化 2（強い文化論への批判とマルチ文化）		授業計画	リーダーシップ論・小集団活動 2（QC活動、CDGM等）
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習、小テスト
7	事前学習	前週のノートの確認	15	事前学習	前週のノートの確認
	授業計画	組織の意味論・学習 1（意味による協働、組織学習の定義）		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の復習、小テスト		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前週のノートの確認			
	授業計画	組織の意味論・学習 2（ダブルループ学習、意味生成理論）			
	事後学習	該当箇所の復習、小テスト			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル　講義プレゼン資料とサマリーを授業後に配布する
　　出版社
参考書　著者名　　日本経営協会監修
　　タイトル　経営学検定試験公式テキスト「経営学の基本」
　　出版社　　中央経済社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティ論	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
一般的に、「ホスピタリティ」とは「おもてなし」や「心配り」など、サービスの延長線上にあるもの、もしくはサービスを補充するものとして混同・誤解されている場合が多い。本講義では、ホスピタリティ産業と呼ばれる業界の様々な事例を紹介しながら、サービスとホスピタリティの違いやホスピタリティの基本的な考え方を学ぶ。
達成目標
ホスピタリティの基本的な考え方を理解したうえで、ホスピタリティ産業にはどのような業種業態があるのか、そこで発揮されるべき「ホスピタリティ」はどんなことなのかを学び、普段の生活の中でも発揮できるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ガイダンス なぜ、「ホスピタリティ論」を学ぶのか		授業計画	業界・職業研究②（バス・鉄道・航空）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	モノ消費からコト消費の時代へ		授業計画	業界・職業研究③（旅館・ホテル）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	サービスとは何か？		授業計画	業界・職業研究④（テーマパーク）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	サービス品質の特徴と品質基準		授業計画	業界・職業研究⑤（飲食・小売）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ホスピタリティの定義とサービスとの関係		授業計画	業界・職業研究⑥（冠婚葬祭事業）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	ホスピタリティが生まれやすい企業文化とは？		授業計画	テスト対策
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト勉強
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	現状と今後の課題		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく			
	授業計画	業界・職業研究①（旅行）			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（授業態度）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　資料を随時配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティ人材論	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
現在では、感情的知性が求められている。その中で、知識や情報をコントロールし、他社との信頼に基づいたコミュニケーションのあり方や人間だけが持つ他社への共感という心の動きに着目し、ホスピタリティ産業に従事する人材が持つべき社会性やコミュニケーション能力について考察する。
達成目標
「相手の立場に立って考え行動する」という顧客への共感や、顧客との信頼関係が不可欠になるので、顧客満足の最大化のために、授業で学んだ事を生かして、普段の生活から誠実さや責任感を身に付ける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ガイダンス なぜホスピタリティ人材論を学ぶのか？		授業計画	感情労働におけるコミュニケーションとその特質
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	感情労働の拡大		授業計画	感情労働と心の商品化
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	感情的知性「EI」 なぜ「EI」が重要なのか		授業計画	「接客」の特質 非接客活動と接客活動
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	事例研究①		授業計画	事例研究③
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	共感の 3 タイプ 認知的共感・情動的共感・共感的行動		授業計画	サービスパーソンとホスピタリストのちがい
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	前回までの復習
	授業計画	顧客に提供する 3 つの価値 経済的価値・機能的価値・感情的価値		授業計画	テスト対策
	事後学習	授業の復習		事後学習	前回までの復習
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	授業の復習
	授業計画	第 3 の場所（サードプレイス）		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく			
	授業計画	事例研究②			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（授業態度）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティングⅠ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	金森　尚人		
実務経験 教員紹介	これまで 40 年間海外政府機関において通商、マーケティング、観光を専門職として従事。また国内外（タイ、ミャンマー）の大学にて、日本ビジネススタンダードとビジネスマナーを指導。		

講義概要
マーケティングに関する基礎的な知識を学ぶ。マーケティングと一言で言ってもその分野は多岐に渡るため、講師のこれまでの実務経験を通して、学生がマーケティングを学ぶことで、日常生活においてビジネスの仕組みが理解でき、失敗を極力少なく出来ることを理解できるよう、現実社会の実例を示しながら講義を進める
達成目標
マーケティングの理論と実務について理解する。マーケティング思考(論理的思考）を培い、日常生活にまた社会人として「勝つ確率」を最大限に高められるように習慣づける。実例を通して企業経営に対して関心を持つ

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	PPT にて STP を予習
	授業計画	オリエンテーション　マーケティングとは、マーケティング思考とは		授業計画	セグメンテーションによる顧客分類とターゲティングによる顧客絞り込み
	事後学習	マーケティング思考を検証		事後学習	該当授業の復習
2	事前学習	個人生活でのマーケティングとは	10	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	企業として、個人としてのマーケティングとは何かを説明		授業計画	価値創造－商品企画とブランディングを説明　グループディスカッション
	事後学習	該当授業の復習		事後学習	該当授業の復習
3	事前学習	企業のマーケティングとはを予習	11	事前学習	インターネットにおける情報とは
	授業計画	企業のマーケティングとは、グループディスカッションとロールプレイ		授業計画	価値伝達－販売促進とチャネル展開を説明　グループディスカッション
	事後学習	PPT で復習		事後学習	PPT にて復習
4	事前学習	スターバックスについて予習	12	事前学習	Fact と Finding を予習
	授業計画	マーケティングミックスとは？企業の成功例、失敗例を説明		授業計画	情報収集と分析－マーケティングリサーチ　グループディスカッション
	事後学習	PPT にて該当講義の復習		事後学習	マーケティングリサーチを復習
5	事前学習	マーケティングミックスの予習	13	事前学習	PPT より予習
	授業計画	4P、4C に関してグループディスカッションとロールプレイ		授業計画	マーケティング戦略とは、その重要性
	事後学習	該当講義の復習		事後学習	該当講義の復習
6	事前学習	3C とは	14	事前学習	前期講義の疑問点をまとめる
	授業計画	マーケティング理論の基礎、STP 理論を説明		授業計画	前期講義のまとめ
	事後学習	PPT にて該当講義の復習		事後学習	前期講義の復習
7	事前学習	STP を予習	15	事前学習	期末試験への取り組み
	授業計画	STP 理論に関してグループディスカッションとロールプレイ		授業計画	定期試験
	事後学習	該当授業の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	ポジショニングとは			
	授業計画	ポジショニングの重要性と 4P、3C の関係を説明			
	事後学習	PPT にて STP を復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　講義において適宜資料(PPT)を準備
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　蛭川速
　　タイトル　マーケティングの基本教科書
　　出版社　　日本能率協会マネジメントセンター

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	マーケティングⅡ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	金森　尚人		
実務経験 教員紹介	これまで 40 年間海外政府機関において通商、マーケティング、観光を専門職として従事。また国内外（タイ、ミャンマー）の大学にて、日本ビジネススタンダードとビジネスマナーを指導。		

講義概要
後期では、マーケティング戦略の、アクティブラーニング（ケーススタディーとディスカッション、ディベート）を実施、企業のマーケティング戦略の実例を検証する。社会におけるビジネス活動と結び付けて理解する。マーケティング戦略が学生の日常生活に、またビジネス社会において失敗を極力少なくすることが出来ることを学ぶ。
達成目標
マーケティングの戦略手法を知り、その知識を学生が現実社会におけるビジネス活動と結びつけて理解できるようにする。また習得した専門知識を将来の活躍の場で適用できるようにすることを目指す。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	マーケティングの戦略とは？フレームワークと手順を学ぶ（１）		授業計画	ブランディング戦略とは、そのメリットとデメリット
	事後学習	前期の学習を復習		事後学習	該当授業の復習
2	事前学習	前期学習でのフレームワークを確認	10	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	マーケティングの戦略とは？フレームワークと手順を学ぶ（２）		授業計画	インバウンドマーケティングとは、そのメリットとデメリット
	事後学習	該当授業を復習		事後学習	該当授業の復習
3	事前学習	グループディスカッションの準備	11	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	事例でマーケティング戦略を解説(ライフネット生命、Laxus)		授業計画	インフルエンサーマーケティングとは、そのメリットとデメリット
	事後学習	該当授業を復習		事後学習	該当授業の復習
4	事前学習	グループディスカッションの準備	12	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	事例からマーケティング戦略の成功ポイントを学ぶ		授業計画	ターゲットマーケティングとは、その成功例
	事後学習	該当授業を復習		事後学習	該当授業の復習
5	事前学習	PPT にて予習	13	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	マーケティング戦略立案に欠かせない代表的なフレームワーク		授業計画	マーケティング戦略の最終ブラッシュアップ　グループディスカッション
	事後学習	フレームワークを完全に復習、修得		事後学習	該当授業の復習
6	事前学習	グループディスカッションの準備	14	事前学習	試験対策として総まとめをする
	授業計画	マーケティング戦略での成功例（日本マクドナルド、レッドブル）		授業計画	マーケティングの総まとめ
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	試験準備をする
7	事前学習	グループディスカッションの準備	15	事前学習	講義の復習
	授業計画	マーケティング戦略での成功例（ライザップ、スタジオアリス）		授業計画	定期試験
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	PPT にて予習			
	授業計画	プロモーションミックスとは、そのメリットとデメリット			
	事後学習	該当授業の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　講義において適宜資料を配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　沼上幹
　　タイトル　マーケティングⅡ戦略
　　出版社　　有斐閣アルマ

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	流通論Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
メーカー、卸売業、小売業、最終消費者という流通経路の基礎を学ぶ。特に小売業の業務に特化したリテールマーケティングを学び、接客や取扱商品の知識、経済の動きなどを考えた店舗経営のノウハウを学ぶ。流通論Ⅰでは「小売業の類型」を中心に学ぶ。
達成目標
小売業の特性、接客や取扱商品の知識を学んで、「日本商工会議所主催　リテールマーケティング検定 3 級」の知識を身に着けることを目標とする。この授業を通して検定合格レベルの知識習得を目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	流通論概要、流通とは何か、現在の流通の概要と重要性について		授業計画	小売業の類型⑧店舗別小売業の基本知識について②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型①小売業の定義と役割について		授業計画	小売業の類型⑨店舗別小売業の基本知識について③
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型②組織小売業の種類と役割について		授業計画	小売業の類型⑩店舗別小売業の基本知識について④
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型③チェーンストアの特長について		授業計画	小売業の類型⑪店舗別小売業の基本知識について⑤
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型④販売形態の種類と特徴について		授業計画	小売業の類型⑫店舗別小売業の基本知識について⑥
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	小売業の類型⑤インターネット社会と小売業の関係について		授業計画	小売業の類型⑬商店街とショッピングセンターについて
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	小売業の類型⑥業種と業態の違い、専業店について		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	小売業の類型⑦店舗別小売業の基本知識について①			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　ユーキャン販売士検定試験研究会
　　タイトル　販売士検定 3 級速習テキスト＆問題集
　　出版社　　自由国民社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	流通論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
メーカー、卸売業、小売業、最終消費者という流通経路の基礎を学ぶ。特に小売業の業務に特化したリテールマーケティングを学び、接客や取扱商品の知識、経済の動きなどを考えた店舗経営のノウハウを学ぶ。流通論Ⅱでは「マーチャンダイジング」「マーケティング」を中心に学ぶ。
達成目標
小売業の特性、接客や取扱商品の知識を学んで、「日本商工会議所主催　リテールマーケティング検定 3 級」の知識を身に着けることを目標とする。この授業を通して検定合格レベルの知識習得を目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング①商品の分類と本体要素		授業計画	マーケティング②顧客満足経営と顧客維持政策
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング②マーチャンダイジングの基本		授業計画	マーケティング③商圏設定と立地、出店の基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング③商品計画、販売計画の策定		授業計画	マーケティング④インバウンドに対するプロモーション①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング④仕入計画の基本、発注、物流の基本		授業計画	マーケティング⑤インバウンドに対するプロモーション②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング⑤価格設定の基本、利益構造		授業計画	マーケティング⑥売り場の形態と売り場作りの基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング⑥在庫管理の基本と、販売管理の基本		授業計画	マーケティング⑦照明・光源・色彩の考え方
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	マーチャンダイジング⑦POS システムと活用方法		授業計画	単位認定のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	マーケティング①顧客満足経営と顧客維持政策			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　ユーキャン販売士検定試験研究会
　　タイトル　販売士検定 3 級速習テキスト＆問題集
　　出版社　　自由国民社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	簿記Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものです。大企業から中小企業や個人商店にいたるまで簿記会計を用いています。このように広く利用されている会計の知識や技能を身に付けることは、今後において必ず有用であると思われます。決して難しいものではありません。日々の積み重ねが大切です。休まず頑張りましょう。
達成目標
ビジネス言語の一つである会計の基本用語および簿記の基本構造を理解し、会社における日常取引について仕訳および記帳することができる。日商簿記検定試験３級レベルの商業簿記の知識や技能を習得する

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	簿記一巡の確認をする
	授業計画	ガイダンス　企業の簿記の意味と目的・種類について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表の作成方法について学ぶ
	事後学習	簿記の意味と目的を理解する。		事後学習	練習問題を自力解き理解する
2	事前学習	事前にテキストで調べる	10	事前学習	事前にテキストで調べる
	授業計画	資産・負債・資本の意味・形式を明らかにし貸借対照表の作成方法学ぶ		授業計画	主要簿と補助簿の概要について学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成を理解する。		事後学習	再度復習をしておく
3	事前学習	事前にテキストで調べる	11	事前学習	現金とは何か、テキストで調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	現金・預金の記帳　現金・当座預金・小口現金について学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成を理解する。		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	5 つの要素を確認する	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と３分法と仕入帳・売上帳・商品有高帳を解説
	事後学習	勘定科目を覚える		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	取引要素の結合関係を再度確認する	13	事前学習	掛取引とは何か、テキストで調べる
	授業計画	仕訳と転記　取引を要素別に分け、勘定口座に転記する手続きを学ぶ。		授業計画	掛取引の記帳　売掛金と買掛金・クレジット売掛金について学ぶ
	事後学習	取引の 8 要素を理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	事前にテキストで調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　受取手形勘定と支払手形勘定の記帳方法を学ぶ
	事後学習	記帳方法を理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	事前にテキストで調べる	15	事前学習	範囲内の練習問題を繰り返し行う
	授業計画	決算の予備手続きから帳簿決算の手続きについて学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	決算手続きの順序を理解する		事後学習	範囲内の内容を理解する
8	事前学習	事前にテキストで調べる			
	授業計画	決算の予備手続きから帳簿決算の手続きについて学ぶ			
	事後学習	練習問題を自力解き理解する			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　講義において適宜参考図書を例示する
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものです。大企業から中小企業や個人商店にいたるまで簿記会計を用いています。このように広く利用されている会計の知識や技能を身に付けることは、今後において必ず有用であると思われます。決して難しいものではありません。日々の積み重ねが大切です。休まず頑張りましょう。
達成目標
ビジネス言語の一つである会計の基本用語および簿記の基本構造を理解し、会社における日常取引について仕訳および記帳することができる。日商簿記検定試験３級レベルの商業簿記の知識や技能を習得する

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	電子記録債権・電子記録債務会計処理について学ぶ		授業計画	決算整理（３）決算整理仕訳（減価償却・経過勘定項目）を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	商品売買取引以外の債権・債務の記帳について学ぶ		授業計画	精算表と財務諸表　簿記Ｉの具体的作成方法を学ぶ
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	固定資産とは何か？事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の記帳　株式の発行と剰余金の配当と処分について学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1） 損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	税金の記帳　企業の税務の基礎 および処理を学ぶ		授業計画	損益計算書と貸借対照表（２） 貸借対照表の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
6	事前学習	証ひょうに何があるのか事前に 調べる	14	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	帳簿の実務的種類
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算整理（１） 決算整理の意義について学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	範囲の復習をしっかりやろう
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	決算整理（２）決算整理仕訳（売上原価・貸倒引当金）を学ぶ			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　講義において適宜参考図書を例示する
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーション研究Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
ビジネスプレゼンテーションスキルを身に付けるために、基本の動作や基本フォーマットからの資料の作り方を学び、実践練習に向けての基礎を身に付ける。また、日本国内の地域性やグローバル企業などについて学び、それぞれの問題点や解決策を話し合い、発表の場を設ける。
達成目標
前期集中講義で実施される、ビジネスプレゼンテーションコンテストに向けての発表基礎力を身に付ける。また、自ら問題点の発見、解決策の提示を行い、より良い改善策が実行できるようなスキルを身に付ける。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーションの基本的なコツを身に付ける①		授業計画	相手に理解してもらう話し方・共感力を学ぶ
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	レポート提出②
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーションの基本的なコツを身に付ける②		授業計画	日本の地域研究からのプレゼンテーション①
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーションの基本構成を身に付ける①		授業計画	日本の地域研究からのプレゼンテーション②
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーションの基本構成を身に付ける②		授業計画	日本の地域研究からのプレゼンテーション③
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーション資料の作り方を身に付ける①		授業計画	日本の地域研究からのプレゼンテーション④
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーション資料の作り方を身に付ける②		授業計画	日本の地域研究からのプレゼンテーション⑤
	事後学習	レポート提出①		事後学習	レポート提出③
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	「話し上手は聞き上手」 ～相手にきちんと伝えるために～		授業計画	定期試験
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく			
	授業計画	「納得」の提示 ～「Yes」を言ってもらうためには～			
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（レポート）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　初回にプリントを配布。以降、毎回使用。
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーション研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
ケーススタディを行う。いくつかのテーマから選び、「現状」「問題点」「解決策」をグループワークで話し合いを行い、パワーポイントにまとめて発表する。また、意見交換を行い、発表全体の改善点を全員に求め、さらにスキルアップできるようにする。
達成目標
グループで資料作成・内容の討議・発表を行うことで、プレゼンスキルの大幅アップを目指す。また、2 回目以降の発表に向けて改善することで、より良い発表と最低限のビジネスプレゼンをマスターできる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	グループで事前打ち合わせ
	授業計画	ケーススタディから学ぶ①（ＰＰ資料作成）		授業計画	ケーススタディから学ぶ③（ＰＰ資料作成）
	事後学習	ＰＰ資料作成		事後学習	ＰＰ資料作成
2	事前学習	グループで事前打ち合わせ	10	事前学習	グループで事前打ち合わせ
	授業計画	ケーススタディから学ぶ①（ＰＰ資料作成）		授業計画	ケーススタディから学ぶ③（ＰＰ資料作成）
	事後学習	ＰＰ資料作成		事後学習	ＰＰ資料作成
3	事前学習	グループで事前打ち合わせ	11	事前学習	グループで事前打ち合わせ
	授業計画	ケーススタディから学ぶ①（グループ発表）		授業計画	ケーススタディから学ぶ③（グループ発表）
	事後学習	ＰＰ資料作成		事後学習	ＰＰ資料作成
4	事前学習	グループで事前打ち合わせ	12	事前学習	グループで事前打ち合わせ
	授業計画	ケーススタディから学ぶ①（グループ発表）		授業計画	ケーススタディから学ぶ③（グループ発表）
	事後学習	レポート提出①		事後学習	レポート提出④
5	事前学習	グループで事前打ち合わせ	13	事前学習	事前資料を読んでおく
	授業計画	ケーススタディから学ぶ②（ＰＰ資料作成）		授業計画	プロのプレゼンスキルを身に付ける①（VTR 視聴あり）
	事後学習	ＰＰ資料作成		事後学習	レポート提出⑤
6	事前学習	グループで事前打ち合わせ	14	事前学習	事前資料を読んでおく
	授業計画	ケーススタディから学ぶ②（ＰＰ資料作成）		授業計画	プロのプレゼンスキルを身に付ける②（VTR 視聴あり）
	事後学習	ＰＰ資料作成		事後学習	レポート提出⑥
7	事前学習	グループで事前打ち合わせ	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	ケーススタディから学ぶ②（グループ発表）		授業計画	定期試験
	事後学習	ＰＰ資料作成		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	グループで事前打ち合わせ			
	授業計画	ケーススタディから学ぶ②（グループ発表）			
	事後学習	レポート提出②			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（プレゼンテーション）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　毎回プリントを配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	国際関係論Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
これからのグローバル社会で活躍するためには、世界で起こっている政治・経済・社会問題にしっかりと目を向け、自分たちで解決策を提示して、実行していかなければならない。本講義では、国際的な諸問題の中から最低限身に付けておくべき知識を学び、それらの解決策を自分なりに提示できるようにしていく。
達成目標
国際的な問題の知識を学んだうえで、その中から「問題発見・問題分析・問題解決」を行えるようにしていく。自ら考え行動することで、就職先の企業はもちろん、国際的な社会で活躍できる人財育成を行っていく。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	オリエンテーション・先進国と発展途上国		授業計画	資源・エネルギー問題②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	新興国の発展		授業計画	世界の環境問題①
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	資本主義と社会主義		授業計画	世界の環境問題②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	人口爆発①		授業計画	世界の環境問題③
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
5	事前学習	前回の復習	13	事前学習	今までの総復習
	授業計画	人口爆発②		授業計画	試験前対策①
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	試験準備
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	今までの総復習
	授業計画	食糧問題①		授業計画	試験前対策②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	試験準備
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	試験準備
	授業計画	食糧問題②		授業計画	定期試験
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	試験後の再考察
8	事前学習	前回の復習			
	授業計画	資源・エネルギー問題①			
	事後学習	授業内容をノートを見て復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　資料を随時配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	国際関係論Ⅱ	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
前期に学んだことを踏まえ、日本と世界を比較した際に、どのような違いがあるのかということを考察していく。また、日本がどのように世界と関りを持ち、どのように発展をしてきたのかを、世界の国・地域との関係性を見ながら学んでいく。モデルケースも用いながら、グローバルな視点で物事を考えられるようにしていく。
達成目標
国際的な問題の知識を学んだうえで、その中から「問題発見・問題分析・問題解決」を行えるようにしていく。自ら考え行動することで、就職先の企業はもちろん、国際的な社会で活躍できる人財育成を行っていく。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	オリエンテーション・日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える①		授業計画	日本企業と世界企業を比較し、それぞれのちがいを考察する
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える②		授業計画	世界が一つになるために、私たちが行うこと
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える③		授業計画	SDGｓとは①
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える①		授業計画	SDGｓとは②
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	今までの総復習
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える②		授業計画	試験前対策①
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験準備
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	今までの総復習
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える③		授業計画	試験前対策②
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験準備
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	試験準備
	授業計画	（モデルケース）日本企業が世界に与える働きを考察する①		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく			
	授業計画	（モデルケース）日本企業が世界に与える働きを考察する②			
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（レポート）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　資料を随時配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経済学Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	増村　幸次		
実務経験教員紹介	銀行や証券会社などの金融機関において、株価を算定するための企業の分析手法を教えておりました。		

講義概要
本講義「経済学Ⅰ」では、一国の経済活動を扱うマクロ経済学を学習する。特に国内総生産（GDP）がどのように計算されているのかを理解するとともに、金融についても理解することを目標とする。現在日本では、コロナ不況によって経済が停滞しているので、学習する内容と現実の経済との関連性を重視して理解させる。
達成目標
国内総生産（GDP）の支出面および分配面の内容ならびに計算方法を理解させ、金融についてもお金がどのように世の中に出回っているのか理解させるために、2 限目以降は講義の冒頭で前回の復習を取り入れ理解を深める。

授業計画

1	事前学習	事前配布した資料を読んでおく	9	事前学習	5 限目から 8 限目までの復習
	授業計画	経済とは何かを理解させるとともに、付加価値について学習する		授業計画	財市場の総復習
	事後学習	付加価値について復習する		事後学習	5 限目から 8 限目までの復習
2	事前学習	1 限目の資料を読んでおく	10	事前学習	事前配布資料を読んでおく
	授業計画	もう 1 つの付加価値の計算方法について学習する		授業計画	金融①について学習する
	事後学習	付加価値の計算について復習する		事後学習	直接金融と間接金融の復習
3	事前学習	2 限目の資料を読んでおく	11	事前学習	10 限目の資料を読んでおく
	授業計画	付加価値のタイプ①について学習する。		授業計画	金融②について学習する
	事後学習	GDP の分配面について復習する		事後学習	マネーストックの復習
4	事前学習	3 限目の資料を読んでおく	12	事前学習	11 限目の資料を読んでおく
	授業計画	付加価値のタイプ②および三面等価の原則について学習する		授業計画	金融③について学習する
	事後学習	三面等価の原則を復習する		事後学習	信用創造の復習
5	事前学習	4 限目の資料を読んでおく	13	事前学習	12 限目の資料を読んでおく
	授業計画	財市場①について学習する。		授業計画	金融④について学習する
	事後学習	GDP の支出面について復習する		事後学習	日本銀行の役割の復習
6	事前学習	5 限目の資料を読んでおく	14	事前学習	10 限目から 13 限目までの復習
	授業計画	財市場②について学習する。		授業計画	金融の総復習
	事後学習	GDP と三面等価の関係を復習する		事後学習	10 限目から 13 限目までの復習
7	事前学習	6 限目の資料を読んでおく	15	事前学習	1 限目から 13 限目の内容確認
	授業計画	財市場③について学習する。		授業計画	定期試験
	事後学習	ケインズ型消費関数を復習する		事後学習	定期試験の見直し
8	事前学習	7 限目の資料を読んでおく			
	授業計画	財市場④について学習する。			
	事後学習	乗数効果について復習する			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　講義では、毎回資料プリントを配布する。
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経済学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	増村　幸次		
実務経験教員紹介	銀行や証券会社などの金融機関において、株価を算定するための企業の分析手法を教えておりました。		

講義概要
本講義「経済学Ⅱ」では、「経済学Ⅰ」で学習した内容をさらに進めた位置づけとして捉え、マクロ経済学で取り扱う財政政策と金融政策について学習する。特に、財政政策による経済的効果ならびに金融政策による経済的効果ついて理解することができるようにすることを目標とする。
達成目標
財政政策ならびに金融政策を分析する際に必要となる IS-LM 分析の考え方が理解できるように、財市場および金融市場に重点をおいて学習させ、2 限目以降は講義の冒頭で前回の復習を取り入れ理解を深める。

授業計画

1	事前学習	貨幣について復習しておく	9	事前学習	4 限目の内容を読んでおく
	授業計画	貨幣供給①（貨幣の機能、マネーストック、信用創造）		授業計画	貨幣市場①（貨幣市場の均衡と LM 曲線）
	事後学習	預金が増える仕組みを復習する		事後学習	LM 曲線と形状を復習する
2	事前学習	1 限目の内容を読んでおく	10	事前学習	9 限目の内容を読んでおく
	授業計画	貨幣供給②（日本銀行とハイパワードマネー、乗数効果、買いオペ）		授業計画	貨幣市場②（LM 曲線のシフトと形状）
	事後学習	お金が出回る仕組みを復習する		事後学習	LM 曲線の傾きを復習する
3	事前学習	2 限目の内容を読んでおく	11	事前学習	7 限目と 8 限目の内容を読んでおく
	授業計画	貨幣需要（保有動機、取引需要、投機的需要）		授業計画	財政政策の効果と IS-LM 分析①
	事後学習	債券の仕組みを復習する		事後学習	財政政策を復習する
4	事前学習	3 限目の内容を読んでおく	12	事前学習	11 限目の内容を読んでおく
	授業計画	貨幣市場（需要と供給の均衡も流動性のわな）		授業計画	財政政策の効果と IS-LM 分析②
	事後学習	お金の需要と供給を復習する		事後学習	財政政策の有効を復習する
5	事前学習	財市場の内容を読んでおく	13	事前学習	9 限目と 10 限目の内容を読んでおく
	授業計画	財市場①（総需要の範囲）		授業計画	金融政策の効果と IS-LM 分析①
	事後学習	国内だけの範囲を復習する		事後学習	金融政策を復習する
6	事前学習	5 限目の内容を読んでおく	14	事前学習	13 限目の内容を読んでおく
	授業計画	財市場②（有効需要の原理、乗数効果）		授業計画	金融政策の効果と IS-LM 分析②
	事後学習	波及効果を復習する		事後学習	金融政策の無効を復習する
7	事前学習	6 限目の内容を読んでおく	15	事前学習	1 限目から 13 限目の復習
	授業計画	財市場③（財市場の均衡と IS 曲線）		授業計画	定期試験
	事後学習	IS 曲線と形状を復習する		事後学習	定期試験の見直し
8	事前学習	7 限目の内容を読んでおく			
	授業計画	財市場④（IS 曲線のシフトと形状）			
	事後学習	IS 曲線の傾きを復習する			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　講義では、毎回資料プリントを配布する。
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外食産業論	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
少子高齢化による市場規模の伸び悩み及びコロナ禍とういう厳しい状況における日本の外食産業の現状と将来について、多様なデータを基に分析し理解を深めていく。また、外食産業をカテゴリー別にとらえ、各カテゴリーの主要な企業、チェーン店の経営戦略と最新動向、今後の展望についてケーススタディを中心に学ぶ。
達成目標
外食産業全体の現状と今後の展望を総合的に理解することを目標とする。また、業界のカテゴリーごとの特徴や具体的な企業、業態展開を体系的に整理し、代表的な企業の様々な戦略について理解を深めることを目標とする

授業計画

1	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	外食とは何か　外食・中食・内食の定義と概要		授業計画	カフェ業界ケーススタディ：ドトール、スターバックス、コメダ珈琲店等
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
2	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	日本の外食産業の歴史①　すかいらーく、マクドナルド、吉野家等の誕生		授業計画	外食業界研究④麺、肉等の専門業態の概要と最新動向
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
3	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	日本の外食産業の歴史②　バブル経済崩壊後の外食産業		授業計画	麺、肉等業態ケーススタディ：日高屋、ペッパーフードサービス等
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
4	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	外食業界研究①　ファーストフード業界の概要と最新動向		授業計画	外食業界研究⑤　回転寿司、居酒屋業界の概要と最新動向
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
5	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	ファーストフード業界ケーススタディ：マクドナルド、すき家等		授業計画	回転寿司、居酒屋業界ケーススタディ：スシロー、鳥貴族、串カツ田中等
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
6	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	外食業界研究②　ファミリーレストラン業界の概要と最新動向		授業計画	最新の外食産業の動向と問題点、グローバル展開等について
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
7	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	ファミレス業界ケーススタディ：サイゼリヤ、すかいらーく HD 等		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	外食業界研究③カフェ業界の概要と最新動向			
	事後学習	受講後のノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　東洋経済新報社編
　　タイトル　「会社四季報」業界地図 2021 年版
　　出版社　　東洋経済新報社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネスコミュニケーションⅠ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	横田　真央		
実務経験 教員紹介	生命保険会社での法人営業・個人営業		

講義概要
本講義では、グループディスカッションや、スピーチの発表などを通じて、論理的な思考や、問題解決力、語彙力の向上、更に、グループで意見を出し合い、協力して一つの問題に対する意見をまとめることで、コミュニケーション能力を育てることを目的としている。
達成目標
N1 レベルの語彙力と文法を理解し、会話の中で使用していくことで、自然な会話ができるようにする。また、ニュースを読み、時事問題に対する意見を発表することを通じて、日本社会に対する知識を深める。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	ニュースを読む
	授業計画	オリエンテーション（講義の進め方、ルールなど）		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション⑦
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	レポート提出
2	事前学習	ニュースを読む	10	事前学習	ニュースを読む
	授業計画	グループディスカッションのやり方について		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション⑧
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
3	事前学習	ニュースを読む	11	事前学習	ニュースを読む
	授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション①		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション⑨
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
4	事前学習	ニュースを読む	12	事前学習	ニュースを読む
	授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション②		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション⑩
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
5	事前学習	ニュースを読む	13	事前学習	ニュースを読む
	授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション③		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション⑪
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
6	事前学習	ニュースを読む	14	事前学習	ニュースを読む
	授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション④		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション⑫
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
7	事前学習	ニュースを読む	15	事前学習	ニュースを読む
	授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション⑤		授業計画	試験
	事後学習	レポート提出		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	ニュースを読む			
	授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション⑥			
	事後学習	レポート提出			

評価方法　　出席状況：60%　定期試験：40%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	横田　真央		
実務経験 教員紹介	生命保険会社での法人営業・個人営業		

講義概要
本講義では、日本の会社に入る際に必要なビジネスレベルの会話や、ビジネスメールで使う語彙や文法等を学ぶ。ロールプレイや、グループディスカッションでのアウトプットを繰り返していくことで、難易度の高い語彙を使用語彙として定着させていく。
達成目標
日本の会社で働くためのビジネスレベルの語彙や文法を理解し、正しい使い方ができるようにする。また、日本人独特の婉曲的な表現を学び、目上の人に対して失礼のない会話ができるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	オリエンテーション（講義のルール等）上司の話の聞き方、話しかけ方		授業計画	目上の人に弁解や、反論をする際の言葉遣い
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
2	事前学習	前回の講義内容の復習	10	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	自己分析、自己 PR（性格を表す語彙を学ぶ）		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　1
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
3	事前学習	前回の講義内容の復習	11	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	ビジネスの電話をかける際、受ける際の日本語　1		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　2
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
4	事前学習	前回の講義内容の復習	12	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	ビジネスの電話をかける際、受ける際の日本語　2		授業計画	目上の人と雑談をする際のテーマ、言葉遣い
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
5	事前学習	前回の講義内容の復習	13	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	上司に報告、連絡、相談をする際の言葉遣い		授業計画	グループでロールプレイ　目上の人と雑談をする場面
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
6	事前学習	前回の講義内容の復習	14	事前学習	前回の講義内容の復習
	授業計画	上司に依頼をする際、依頼を断る際の言葉遣い		授業計画	ケーススタディ　グループディスカッション　3
	事後学習	小テスト		事後学習	小テスト
7	事前学習	前回の講義内容の復習	15	事前学習	全講義内容の復習
	授業計画	アポイントを取る際の言葉遣い、メールの書き方		授業計画	定期試験
	事後学習	小テスト		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の講義内容の復習			
	授業計画	会議・打ち合わせをする際の言葉遣いとマナー			
	事後学習	小テスト			

評価方法　　出席状況：60%　定期試験：40%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　植木香・木下由紀子・藤井美音子
　　タイトル　伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力 日本で働くための「４つの能力」養成ワークブック
　　出版社　　国書刊行会

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	横田　真央		
実務経験教員紹介	生命保険会社での法人営業・個人営業		

講義概要
本講義は、日本語能力試験の N2 相当の読解演習を中心に行い、読解に必要なテクニックを身に付けることを目的としている。読解問題を通して語彙や文法も学び、アウトプットを繰り返すことで、学生の使用語彙を増やし、自然な日本語が使えるようにする。
達成目標
７月の日本語能力試験で N2、N1 に合格すること。また、日本語能力試験に合格するための力だけを伸ばすのではなく、日常会話やメールでの誤用を減らすために、語彙や文法の理解を深めることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	オリエンテーション（講義のルール、進め方等説明）		授業計画	日本語能力試験 N2 相当の読解の問題演習５
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
2	事前学習	文法、語彙の復習	10	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	N2 レベルの日本語能力試験模試（読解・文法）		授業計画	日本語能力試験 N2 相当の読解の問題演習６
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
3	事前学習	文法、語彙の復習	11	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	日本留学試験の作文模試（二項対立型作文）		授業計画	日本語能力試験 N2 相当の読解の問題演習７
	事後学習	文法、語彙の復習		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
4	事前学習	文法、語彙の復習	12	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	２、３回目の講義で行った模試のフィードバック		授業計画	日本語能力試験 N2 相当の読解の問題演習８
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
5	事前学習	文法、語彙の復習	13	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	日本語能力試験 N2 相当の読解の問題演習１		授業計画	日本語能力試験 N2 相当の読解の問題演習９
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
6	事前学習	文法、語彙の復習	14	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	日本語能力試験 N2 相当の読解の問題演習２		授業計画	敬語（尊敬語、謙譲語、丁寧語）の確認・練習
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
7	事前学習	文法、語彙の復習	15	事前学習	講義で扱った文法の復習
	授業計画	日本語能力試験 N2 相当の読解の問題演習３		授業計画	定期試験
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	文法、語彙の復習			
	授業計画	日本語能力試験 N2 相当の読解の問題演習４			
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認			

評価方法　　出席状況：60%　定期試験：40%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名　①安藤栄里子、足立尚子　②清水正幸、奥山貴之
　　タイトル　①必ずできる！ＪＬＰＴ「読解」N2　②日本語学習者のための読解厳選テーマ 10 中上級
　　出版社　①株式会社アルク　②凡人社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	横田　真央		
実務経験教員紹介	生命保険会社での法人営業・個人営業		

講義概要
本講義では、日本語能力試験 N1 相当の読解、聴解の問題演習を中心に行い、読解や聴解に必要なテクニックを身に付けることを目的としている。同時に語彙や文法の使用場面についても整理をし、ビジネスレベルの日本語を理解できるようにする。
達成目標
12 月の日本語能力試験で N1 に合格すること。また、日本語能力試験に合格するための力だけを伸ばすのではなく、ビジネスレベルの語彙や文法に対する理解を深め、会話の中で使えるようにすることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	オリエンテーション（講義のルール、進め方等説明）		授業計画	日本語能力試験 N1 相当の読解の問題演習５
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
2	事前学習	文法、語彙の復習	10	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	N１レベルの日本語能力試験　模擬試験（読解・文法）		授業計画	日本語能力試験 N1 相当の聴解の問題演習１
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
3	事前学習	文法、語彙の復習	11	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	N１レベルの日本語能力試験　模擬試験（聴解）		授業計画	日本語能力試験 N1 相当の聴解の問題演習２
	事後学習	文法、語彙の復習		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
4	事前学習	文法、語彙の復習	12	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	２、３回目の講義で行った模試のフィードバック		授業計画	日本語能力試験 N1 相当の聴解の問題演習 3
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
5	事前学習	文法、語彙の復習	13	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	日本語能力試験 N1 相当の読解の問題演習１		授業計画	日本語能力試験 N1 相当の聴解の問題演習４
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
6	事前学習	文法、語彙の復習	14	事前学習	文法、語彙の復習
	授業計画	日本語能力試験 N1 相当の読解の問題演習２		授業計画	日本語能力試験 N1 相当の聴解の問題演習５
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認
7	事前学習	文法、語彙の復習	15	事前学習	講義で扱った文法の復習
	授業計画	日本語能力試験 N1 相当の読解の問題演習３		授業計画	定期試験
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	文法、語彙の復習			
	授業計画	日本語能力試験 N1 相当の読解の問題演習４			
	事後学習	講義で使用した文法、語彙の確認			

評価方法　　出席状況：60%　定期試験：40%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　松岡龍美
　　タイトル　　絶対合格！日本語能力試験 徹底トレーニング N1 聴解
　　絶対合格！日本語能力試験 徹底トレーニング N1 読解
　　出版社　　アスク出版

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナー	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	井上　由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 37 年　イメージコンサルタント歴 15 年　話し方指導 16 年　ビジネスマナー講師歴 10 年		

講義概要
学生と社会人との違いを認識し、ビジネスシーンでの身だしなみや最低限守るべきマナー・ルールを学ぶとともに、日本社会で信頼され、活躍できる人材の育成を目指す。また、多国籍の集団の中で、良好な人間関係を築くための対面およびオンラインコミュニケーションを学び、日常生活でも実践できるよう指導する。
達成目標
ビジネススーツを正しく着こなす。好印象の挨拶・お辞儀などの基本動作が出来るようになる。就業マナーや会社組織、敬語の使い分け、電話応対の基本知識を理解し、実践できるようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	他国出身の友達を 5 人　紹介準備
	授業計画	講義の進め方とルール、当科目の学習目的を理解し目標をたてる		授業計画	指示の受け方　報告・連絡・相談と 5 W3H
	事後学習	3 か月後の姿を言語化する		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
2	事前学習	自己紹介の内容となる材料を集める	10	事前学習	敬語置き換え一覧表を印刷する
	授業計画	共に過ごす未来を意識した自己紹介の準備方法		授業計画	ビジネス会話の基本　敬語の種類と動詞の置き換え一覧表作成
	事後学習	1 分間自己紹介の準備をする		事後学習	敬語置き換え一覧表を覚える
3	事前学習	自己紹介を声に出して 5 回練習する	11	事前学習	フォームを使って敬語小テスト
	授業計画	学生と社会人の違いを５つの視点で比較する		授業計画	敬語の使い分け　内と外　間違いやすい敬語
	事後学習	フォームで自己紹介内容を報告		事後学習	フォームを使って学習内容を報告
4	事前学習	外出準備の行動を言語化する	12	事前学習	日常生活で敬語会話を積極的に実践
	授業計画	大人としての自己責任　第一印象の重要性　メラビアンの法則		授業計画	ビジネスコミュニケーションの優先順位と使い分け
	事後学習	第一印象要点を 200 字でまとめる		事後学習	フォームで敬語会話の実践報告
5	事前学習	身だしなみチェック表を記入する	13	事前学習	興味のある日本企業の HP を探す
	授業計画	おしゃれと身だしなみの違い　スーツの着方　準備と手入れ方法		授業計画	電話応対①　電話のかけ方マナー　電話メモの取り方
	事後学習	スーツの手入れと靴磨きをする		事後学習	アポ電話の台詞を用意する
6	事前学習	姿勢の良い人の特徴を観察する	14	事前学習	電話応対会話資料を印刷する
	授業計画	正しい姿勢での立ち方・座り方・お辞儀・入退出動作実習		授業計画	電話応対②　電話の取り次ぎ　状況別応対シミュレーション
	事後学習	1 日 3 回各 1 分間壁立ち姿勢確認		事後学習	配布資料を確認しノートを整備する
7	事前学習	身近な人の役職を調べる	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	日本企業のタテ組織、ヨコ組織　人間関係構築の基本		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームで役職名問題を解く		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	配布資料を確認しノート整備			
	授業計画	シーン別挨拶の実習　オンライン画面の映り方イメージアップ法			
	事後学習	初対面の相手への挨拶練習 10 回			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　高橋書店編集部
　　タイトル　　さすが！と言われる図解ビジネスマナー
　　出版社　　株式会社高橋書店

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Microsoft Word の操作を中心に、コンピュータによる文書作成の基礎を学びます。 Word の基本操作、日本語による文章入力、ビジネス文書の作成ルールなどについて実習による習得します。 講義内容は MOS Word 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） Microsoft Word の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅） 希望者は MOS Word を受験・合格

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「ガイダンス・コンピュータの基礎」コンピュータのしくみ 入力方法		授業計画	「リスト」 箇条書きの作成、段落番号の作成
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
2	事前学習	ローマ字の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語入力」ローマ字による日本語入力方法		授業計画	「クリップボード・検索と置換」 コピー・移動、検索、置換
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	ローマ字の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語文章入力」 文節の漢字変換を伴う短文入力方法		授業計画	「目次、用紙設定」 目次の追加、用紙・余白等の設定
	事後学習	入力練習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定１」 フォント種、サイズ等の設定、文字揃えの設定		授業計画	「表の作成１」 表の作成、デザイン変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定２」フォントの色、インデント、あいさつ文		授業計画	「表の作成２」 表のレイアウト設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「行と段落」 行間の設定、段落設定		授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	テストに向けての総復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	定期試験
	事後学習	テストの見直し		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「テーマ、スタイル」 テーマの変更、スタイルの設定			
	事後学習	操作の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名　FOM 出版
　　タイトル　Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Microsoft Excel の操作を中心に、コンピュータによる表計算・分析の基礎を学びます。 Excel の基本操作、データ分析の基礎、集計作業、グラフ作成などについて実習による習得します。 講義内容は MOS Excel 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度）※通年 Microsoft Excel の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅） 希望者は MOS Excel を受験・合格

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「Excel の基礎」Excel の画面説明、新規作成・保存方法		授業計画	「並べ替え・フィルタ」データの並べ替え、フィルタ（絞込み）操作
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
2	事前学習	前回の操作の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「セルの扱い」セルの基本操作、オートフィルによるコピー		授業計画	「入力規則」データの入力規則の操作
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	前回の操作の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「四則演算」セル参照による演算、絶対参照・相対参照		授業計画	「グラフの作成」棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフの作成
	事後学習	入力練習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「表の作成・画面操作」罫線の設定、塗りつぶし、行列の固定		授業計画	「グラフの編集」 グラフの詳細設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「オート SUM」 基本的な関数（SUM・AVERAGE など）		授業計画	「印刷」 印刷設定、表示モードの変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「条件付き関数」 SUMIF・AVERAGEIF、COUNTIF		授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	前回の操作の復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「文字列操作」 LEFT・RAIGHT・MID		授業計画	定期試験
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	テストに向けての総復習			
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説			
	事後学習	テストの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名　FOM 出版
　　タイトル　Microsoft Excel 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経営戦略分析Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
経営戦略の分析に必要な基本的手法について解説するとともに、分析ツールとして重要な代表的なフレームワークについて学ぶ。具体的には分析の基本である環境分析と環境分析の基本フレームワークである SWOT 分や 3C 分析、その他様々なフレームワークについて解説する。
達成目標
経営戦略の分析に必要な基本スキルであるフレームワークについての知識の習得を目標とする。2 年次に履修する「経営戦略分析Ⅱ」におけるフレームワークを用いた実践的な分析が可能となるような基本を学ぶ。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	「経営戦略基礎」、企業の経営戦略とは何か		授業計画	外部環境分析基本フレームワーク②ファイブフォース分析
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	戦略立案のための基本的な分析フレームワーク		授業計画	戦略立案のためのフレームワーク①クロス SWOT
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	環境分析の基本フレームワーク①SWOT 分析		授業計画	戦略立案のためのフレームワーク②STP
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	環境分析の基本フレームワーク②3C 分析		授業計画	戦略立案のためのフレームワーク③ポジショニングマップ
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	内部環境分析の基本フレームワーク①　VRIO 分析		授業計画	戦略立案のためのフレームワーク④競争地位別戦略
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	内部環境分析の基本フレームワーク②　バリューチェーン分析		授業計画	戦略立案のためのフレームワーク⑤ブルーオーシャン戦略
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	内部環境分析の基本フレームワーク③　コアコンピタンス		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	外部環境分析の基本フレームワーク①　PEST 分析			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	計算能力演習Ⅰ（簿記）	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、商業簿記の基礎を解説する。そのうえで株式会社における簿記手続き（簿記一巡）の知識を提供するだけではなく、その先にある会計の世界への「入場チケット」を提供するものである。広く深い世界である会計とそれを支える簿記という技術の基礎的で包括的な理解の初歩を目指す（中級レベル）
達成目標
現実のビジネスの取引について理解し、基礎的な財務諸表の読み方が分かるようになる。全経簿記 3 級から日商簿記 3 級程度の知識を得て、資格試験に合格できるようになる。そして、その先にチャレンジする（中級レベル）

授業計画

1	事前学習	宿題プリント	9	事前学習	宿題プリント
	授業計画	その他債権債務（立替・預り、前払・前受）について解説する①		授業計画	決算整理仕訳とその仕訳と計算法について解説③
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
2	事前学習	宿題プリント	10	事前学習	宿題プリント
	授業計画	その他債権債務（立替・預り、前払・前受）について解説する②		授業計画	決算整理仕訳とその仕訳と計算法について解説④
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
3	事前学習	宿題プリント	11	事前学習	宿題プリント
	授業計画	その他債権債務（立替・預り、前払・前受）について解説する③		授業計画	総合問題（精算表など）について解説する①
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
4	事前学習	宿題プリント	12	事前学習	宿題プリント
	授業計画	その他債権債務（未収・未払、仮払・仮受）について解説する④		授業計画	総合問題（精算表など）について解説する①
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
5	事前学習	宿題プリント	13	事前学習	宿題プリント
	授業計画	その他の費用について解説する		授業計画	総合問題（精算表など）について解説する②
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
6	事前学習	宿題プリント	14	事前学習	宿題プリント
	授業計画	税金の記帳（法人税や消費税等）について解説する		授業計画	総合問題（精算表など）について解説する③
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
7	事前学習	宿題プリント	15	事前学習	なし
	授業計画	決算整理仕訳とその仕訳と計算法について解説①		授業計画	定期試験
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	なし
8	事前学習	宿題プリント			
	授業計画	決算整理仕訳とその仕訳と計算法について解説②			
	事後学習	授業中のプリントの復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　商工会議所福利研修センター
　　タイトル　日商簿記３級テキスト
　　出版社　　カリアック
参考書　著者名　　講義において適宜参考図書を例示する
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	計算能力演習Ⅱ（簿記）	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義では、商業簿記の基礎を解説する。そのうえで株式会社における簿記手続き（簿記一巡）の知識を提供するだけではなく、その先にある会計の世界への「入場チケット」を提供するものである。広く深い世界である会計とそれを支える簿記という技術の基礎的で包括的な理解を目指す（上級レベル）
達成目標
現実のビジネスの取引について理解し、基礎的な財務諸表の読み方が分かるようになる。全経簿記 3 級から日商簿記 3 級程度の知識を得て、資格試験合格できるようになる。そして、その先にチャレンジする（上級レベル）

授業計画

1	事前学習	宿題プリント	9	事前学習	宿題プリント
	授業計画	伝票会計 伝票の集計・集計表からの元帳転記にについて		授業計画	株式会社の税金（法人税・住民税・事業税）の処理について
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
2	事前学習	宿題プリント	10	事前学習	宿題プリント
	授業計画	帳簿の組織と複合仕訳帳の記入方法、元帳への転記について		授業計画	株式会社の資本① 増資・資本準備金・利益準備期の処理について
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
3	事前学習	宿題プリント	11	事前学習	宿題プリント
	授業計画	当座預金、その他の預金について		授業計画	株式会社の資本② 任意積立金・剰余金の配当処分
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
4	事前学習	宿題プリント	12	事前学習	宿題プリント
	授業計画	商業手形・金融手形の処理と手形記入帳の記入方法		授業計画	本支店会計制度と合併の財務諸表作成
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
5	事前学習	宿題プリント	13	事前学習	宿題プリント
	授業計画	クレジット売掛金、電子記録債権・債務、商品券について		授業計画	総合問題による演習①
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
6	事前学習	宿題プリント	14	事前学習	宿題プリント
	授業計画	売買目的有価証券の評価方法		授業計画	総合問題による演習②
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	授業中のプリントの復習
7	事前学習	宿題プリント	15	事前学習	なし
	授業計画	棚卸商品の評価方法		授業計画	定期試験
	事後学習	授業中のプリントの復習		事後学習	なし
8	事前学習	宿題プリント			
	授業計画	固定資産の評価（減価償却・売却）と引当金について			
	事後学習	授業中のプリントの復習			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　桑原 知之
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式テキスト２級
　　出版社　　ネットスクール出版
参考書　著者名　　経理教育研究会
　　タイトル　完全分類全経簿記２級商業簿記
　　出版社　　英光社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	マーケティング戦略	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	金森　尚人		
実務経験 教員紹介	これまで 40 年間海外政府機関において通商、マーケティング、観光を専門職として従事。また国内外（タイ、ミャンマー）の大学にて、日本ビジネススタンダードとビジネスマナーを指導。		

講義概要
昨年のマーケティング授業の知識を活かし、本講義ではマーケティング戦略手法を学んでいく。マーケティングを広義に捉えると、経営学と商業学の分野に関連を持つので、大変扱う範囲は広範である。あくまでマーケティング思考(論理的思考)を培い、現実社会の個人生活、社会活動に役立てるための講義をおこなう
達成目標
マーケティングの戦略手法を学び、論理的、合理的思考で個人生活において「勝つ確率」を最大限高めて快適に過ごせ、社会人としてのビジネス活動で、今後本講義で獲得した専門知識と論理的思考で実践的な適応をめざす

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	オリエンテーションおよびマーケティングの意味の復習		授業計画	競争市場のマーケティング戦略とは（２）「ターゲット戦略」を説明
	事後学習	マーケティングとは何かを復習		事後学習	該当講義の復習
2	事前学習	マーケティングミックスを予習	10	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	マーケティングミックスの復習と戦略における重要性		授業計画	競争市場のマーケティング戦略（３）「ポジショニング戦略」を説明
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
3	事前学習	マーケティングのフレームワーク	11	事前学習	事前に語彙を検索予習
	授業計画	マーケティング戦略に役立つフレームワーク グループディスカッション		授業計画	インターネットマーケティングとコンテクストマーケティング
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
4	事前学習	フレームワークを復習	12	事前学習	事前に語彙を検索予習
	授業計画	マーケティング戦略における STP		授業計画	ポストモダンマーケティングと経験マーケティングとは　ロールプレイ
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	PPT にて講義の復習
5	事前学習	フレームワークを復習	13	事前学習	PPT にて予習
	授業計画	STP、4P, 3C, USP の関係性を検証		授業計画	コンテクストデザインマーケティングとは　ロールプレイ
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
6	事前学習	4P を予習	14	事前学習	PPT にてこれまでの授業のまとめ
	授業計画	スターバックスとニトリのケーススタディ　グループディスカッション		授業計画	授業のまとめ
	事後学習	PPT にて復習		事後学習	該当講義の復習
7	事前学習	STP、4P を予習	15	事前学習	試験準備
	授業計画	各フレームワークの具体的な事例を紹介　コカ・コーラ、ユニクロ、花王		授業計画	定期試験
	事後学習	各フレームワークを復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	PPT にて予習			
	授業計画	競争市場のマーケティング戦略とは（１）「コンセプト戦略」を説明			
	事後学習	該当講義の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　講義において適宜 PPT にて講義を行い、学生にファイルを送信する。
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　沼上幹
　　タイトル　マーケティング戦略
　　出版社　　有斐閣アルマ

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	経営戦略	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
「経営戦略」とは「企業が継続的、長期的に成長するための戦略」であり、企業の中心となる思考である。 授業を通じて、経営戦略を構成する重要な要素を学び、戦略的な視点から企業を見る力を身につける。 また、戦略策定に用いられるフレームワークを理解することでその策定に至るプロセスを学ぶ。
達成目標
経営戦略を策定する際に必要な様々なフレームワークを理解し、実際の企業の経営戦略の構築プロセスを理解すること、また企業が今後どのような戦略を取るべきか、自ら考える力を身に付けることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	企業経営の基本的な考え方、理念、ビジョン、ミッション		授業計画	競争戦略③ポーターの競争戦略：コスト・リーダーシップ戦略
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	経営戦略の基本：戦略と戦術の違い、経営戦略の 3 つの分類		授業計画	競争戦略④ポーターの競争戦略：集中戦略（ニッチ戦略）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	成長戦略①アンゾフの成長ベクトル理論とその他の企業戦略		授業計画	競争戦略⑤ブルーオーシャン戦略の概要と事例
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	成長戦略②多角化戦略とシナジー効果について		授業計画	その他の経営戦略①機能別戦略の基本と概要
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	成長戦略③PLC（プロダクト・ライフサイクル）		授業計画	その他の経営戦略②生産戦略の基本とトヨタ自動車の生産戦略
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	成長戦略④PPM（プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント）		授業計画	その他の経営戦略③イノベーション理論の基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	競争戦略①マイケル･ポーターの競争戦略理論の基本		授業計画	単位認定のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	競争戦略②ポーターの競争戦略:差別化戦略			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	組織論Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	福田　幸俊		
実務経験 教員紹介	・東証 1 部上場企業の組織運営、補佐として 12 年に渡る経験あり。 ・経営コンサルタントとして 30 社以上の企業指導の経験あり。		

講義概要
経営だけに問わず社会で広く活動するための必要な組織について学ぶ。組織学の系譜をたとり現在に至るまでの流れをたどり同時に組織と組織論の限界を理解する。理論と現実の社会で起こっている事象をリンクし理論の正しさと同時に現実とのギャップについても認識し最適な組織の在り方を学ぶ。
達成目標
前半は組織論の基本と構造を中心に学び構造改善のためのちゅうもくすべき箇所・方法を理解する。後半はキャリア形成と組織文化について学び、組織論Ⅱで実施する実際の企業への組織改善提案となる基礎を身に着ける

授業計画

1	事前学習	PREP 法を復習する	9	事前学習	機能別組織とは
	授業計画	オリエンテーション（自己紹介、講義最終の目標とルールの提示）		授業計画	組織の適切な大きさ、肥大化と硬直化、パーキンソンの法則
	事後学習	一人の組織は存在するか考察する		事後学習	肥大化硬直化の改善さ実例
2	事前学習	意思決定とは何か調べる	10	事前学習	官僚制の歴史
	授業計画	組織の定義の考察、3 要素と組織意思決定のプロセスを		授業計画	インセティブシステムと官僚制組織の改善
	事後学習	コミュニケーション方法		事後学習	改善方法を提案する
3	事前学習	自らの労働体験と給料を振り返る	11	事前学習	自らをジョブデザインをする
	授業計画	誘因と貢献、組織の境界、組織と環境		授業計画	ライフスタイルとジョブデザイン、コミュニケーション、技術論
	事後学習	誘因と貢献のバランス		事後学習	自らのジョブデザインの見直し
4	事前学習	ドメインについての復習	12	事前学習	組織構造と文化
	授業計画	環境の戦略的選択、限定された合理化、囚人のジレンマ		授業計画	行動環境と組織文化の定義、形成、機能、革新
	事後学習	囚人のジレンマの脱出法		事後学習	マッキンゼーの 7S
5	事前学習	組織の外部資源依存とは何か	13	事前学習	自己承認欲求の例を上げる
	授業計画	不確実性への対応方法と利害者パワーとは何か、その対応方法		授業計画	モチベーション理論（マズロー、アダルファー多）
	事後学習	外部資源依存の危険性		事後学習	自己実現のための障害を考える
6	事前学習	組織を統治するためのポイント	14	事前学習	リーダーシップの具体例
	授業計画	個体群生態学モデル、スペシャリストとジェネラリスト、慣性の法則		授業計画	マネジメントコントロール、リーダーシップ、職場集団のダイナミックス
	事後学習	変革に失敗した会社例		事後学習	リーダーシップ限界例
7	事前学習	ステークホルダーとは何か	15	事前学習	授業の総括
	授業計画	組織の目標の作り方、コンフリクトと暫定解決、目標の変化		授業計画	定期試験
	事後学習	コンフリクトの重要性		事後学習	自己採点。復習。
8	事前学習	スタッフとは何か			
	授業計画	組織の有効性と能率、有効性を図るモデル、ラインとスタッフの違い			
	事後学習	組織図上のスタッフ部門の確認			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　桑田耕太郎・田尾雅夫
　　タイトル　組織論
　　出版社　　有斐閣アルマ
参考書　著者名
　　タイトル　中小企業白書、日本経済新聞、日経 MJ などを適宜使用する
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	組織論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	福田　幸俊		
実務経験 教員紹介	・東証 1 部上場企業の組織運営、補佐として 12 年に渡る経験あり。 ・経営コンサルタントとして 30 社以上の企業指導の経験あり。		

講義概要
経営のライフサイクルと変革につき学ぶ。特に公的組織とボランタリー組織を中心としつつ、第三セクターの成功要因としっぱだけに問わず社会で広く活理論の正しさと同時に現実とのギャップについても認識し最適な組織の在り方を講義と議論を並行して行い模索する。なお人的資源管理は別講義で詳細を補うこととする。
達成目標
経営学の一環の観点からコンフリクトを受け入れ、リーダーシップを発揮しつつ、全体の価値観を変えることができること、高い倫理を保ち、組織を守りつつ変革できる組織設立の提言ができるようになる。

授業計画

1	事前学習	創業を仮定したスケジュール	9	事前学習	ヒューマンサービスとは何か
	授業計画	創業から経営安定までのイベント（ダーウィンの海他）		授業計画	ヒューマンサービス組織と官僚制組織の特徴
	事後学習	創業失敗のリスク		事後学習	両者の長所、短所を比較する
2	事前学習	ライフサイクルモデルとは	10	事前学習	プロボノとは何か
	授業計画	組織のサイフサイクルモデル。組織構造、組織文化両面からのアプローチ		授業計画	プロシェッションとプロボノ、経営管理の課題
	事後学習	会社を例にあげたＬＣＭの位置関係		事後学習	なぜプロボノが盛んになるのか
3	事前学習	抵抗勢力とは何か	11	事前学習	ボランタリスムの発祥
	授業計画	組織発展のモデルと組織変革への障害（抵抗勢力）		授業計画	ボランタリスム、収益組織とボランタリー組織の違い
	事後学習	劇的に発展した会社例の例示		事後学習	ボランタリー組織の実態
4	事前学習	慣性の法則の復習	12	事前学習	ボランタリー組織の収入源
	授業計画	戦略的組織変革の必要性と移行プロセスのマネジメント		授業計画	ボランタリー組織運用の課題と組織への支援策
	事後学習	移行失敗時のリスク		事後学習	ボランタリー組織への公的支援
5	事前学習	組織にとってのイノベーション	13	事前学習	ネットワーク組織とは何か
	授業計画	組織の自己学習、経営者と管理者の役割の違いと内容		授業計画	ネットワーク組織とインターネットの活用と課題
	事後学習	プレイングマネジャーとは		事後学習	インターネットの在り方
6	事前学習	公的セクターとは	14	事前学習	経営学とは何か
	授業計画	公的セクターの成り立ち、長所と欠点、将来性		授業計画	経営学と組織論の位置づけを総括し、課題を考える
	事後学習	将来性のつき自らの意見を考察する		事後学習	授業の総括を行う
7	事前学習	資本主義と社会主義	15	事前学習	試験準備
	授業計画	行政サービスの構造（夜警国家と福祉国家、社会主義）		授業計画	定期試験
	事後学習	各国の行政サービスの実態		事後学習	自己採点、復習
8	事前学習	世界の高齢化社会の実態			
	授業計画	日本における超高齢社会と地方自治の実態と将来			
	事後学習	自国の地方自治への提言			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　桑田耕太郎・田尾雅夫
　　タイトル　組織論
　　出版社　　有斐閣アルマ
参考書　著者名
　　タイトル　中小企業白書、日本経済新聞、日経 MJ などを適宜使用する
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	消費者行動論	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
経済が時代とともに変化するのと同じように、消費者の心理や行動も変化してきている。本講義では、消費者行動の歴史をもとに、様々なモデルを用いて消費者心理を学んでいく。また、どのように消費者へアプローチしていくか、マーケティング的視点も用いながら理解を深めていく。
達成目標
「消費」とは何か、購買プロセスやライフスタイルの変化が与える影響は何かということを事例を用いながら学び、今後、どのようにしてビジネスに活かしていくことができるかを考えることを目標としていく。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	消費者行動論とは①･消費者行動論の歴史		授業計画	平成の消費者行動②（コト消費･トキ消費・イミ消費）
	事後学習	レポート提出①		事後学習	レポート提出⑨
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	消費者行動論とは②・ＥＬＭモデル		授業計画	非計画購買と衝動購買
	事後学習	レポート提出②		事後学習	レポート提出⑩
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	消費者が行動に至るまでの過程①（AIDMA・AISAS）		授業計画	ケーススタディ②
	事後学習	レポート提出③		事後学習	レポート提出⑪
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	消費者が行動に至るまでの過程②（AISEAS・SIPS・DUALAISEAS）		授業計画	ライフサイクルアプローチ・ライフコースアプローチ
	事後学習	レポート提出④		事後学習	レポート提出⑫
5	事前学習	指定された企業の HP を確認する	13	事前学習	今までの総復習
	授業計画	ケーススタディ①		授業計画	試験前対策①
	事後学習	レポート提出⑤		事後学習	試験準備
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	今までの総復習
	授業計画	高度経済成長期の消費者行動		授業計画	試験前対策②
	事後学習	レポート提出⑥		事後学習	試験準備
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	試験準備
	授業計画	バブル期前後の消費者行動		授業計画	定期試験
	事後学習	レポート提出⑦		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	前回の復習			
	授業計画	平成の消費者行動①			
	事後学習	レポート提出⑧			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　資料を随時配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	ビジネスプレゼンテーションⅠ	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	横田　真央		
実務経験教員紹介	生命保険会社での法人営業・個人営業		

講義概要
本講義は、企画力や、論理的に相手を説得できる思考力を向上させることを目的としている。これまでに学んだプレゼンテーションの技術を応用し、グループで一つのプレゼンテーションを作り上げていく中で、コミュニケーション能力を向上させる。
達成目標
グループで討議した内容をまとめ、資料を用いながら相手を納得させるためのプレゼンテーション能力を養う。 また、資料を使い、その資料からわかることを読み取り、自分の知識として身に付けていく。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	オリエンテーション（授業の進め方等）ケーススタディ①		授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑥
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
2	事前学習	前回の講義の復習	10	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	ビジネス文書の書き方について（メール）１		授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑦
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
3	事前学習	前回の講義の復習	11	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	ビジネス文書の書き方について（企画書）２		授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑧
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
4	事前学習	前回の講義の復習	12	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成①		授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑨
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
5	事前学習	プレゼン準備	13	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成②		授業計画	グループごとにプレゼンテーション発表　１
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
6	事前学習	プレゼン準備	14	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成③		授業計画	グループごとにプレゼンテーション発表　２
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
7	事前学習	プレゼン準備	15	事前学習	全講義の振り返り
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成④		授業計画	定期試験
	事後学習	レポート提出		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	プレゼン準備			
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑤			
	事後学習	レポート提出			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：20%　＜（　プレゼン内容　）＞：60%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	ビジネスプレゼンテーションⅡ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	横田　真央		
実務経験教員紹介	生命保険会社での法人営業・個人営業		

講義概要
前期に学んだビジネスプレゼンテーションⅠの応用。テーマに沿ってケーススタディを学び、グループで話し合いを設け、プレゼンテーションを作成し、発表する。その中で、社会に出た時に必要なコミュニケーション力や、相手を納得させるための論理的な発言など、高度なテクニックを学ぶ。
達成目標
グループで討議した内容をまとめ、資料を用いながら相手を納得させるためのプレゼンテーション能力を養う。 また、資料を使い、その資料からわかることを読み取り、自分の知識として身に付けていく。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	オリエンテーション（授業の進め方等）ケーススタディ①		授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑧
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
2	事前学習	前回の講義の復習	10	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成①		授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑨
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
3	事前学習	前回の講義の復習	11	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成②		授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑩
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
4	事前学習	前回の講義の復習	12	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成③		授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑪
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
5	事前学習	プレゼン準備	13	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成④		授業計画	グループごとにプレゼンテーション発表　1
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
6	事前学習	プレゼン準備	14	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑤		授業計画	グループごとにプレゼンテーション発表　2
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
7	事前学習	プレゼン準備	15	事前学習	全講義の振り返り
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑥		授業計画	試験
	事後学習	レポート提出		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	プレゼン準備			
	授業計画	企業研究　グループディスカッション、資料作成⑦			
	事後学習	レポート提出			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：20%　＜（　プレゼン内容　）＞：60%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経営シミュレーションⅠ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
本講義では、1 年生で学んだ経営、マーケティング、財務関連知識及び 2 年生で学んだ経営戦略、組織論などの知識を活かし、グループワーク演習を通じて企業経営のシミュレーション（BG21）を行う。その中で、企業における意思決定能力やデータ分析能力の向上を図る。
達成目標
演習を通じて組織運営能力、意思決定能力、データ分析能力、問題発見能力、問題解決能力の基礎力を養成する。特に内部環境の変化と経営上の問題点についての分析力を高め、どのように意思決定するかを実践的に習得する。

授業計画

1	事前学習	配布プリントの通読（ルール）	9	事前学習	前回までの進捗状況確認
	授業計画	経営シミュレーション講義の概要説明、「BG21」ルール説明		授業計画	本演習（初級編）、第 3 期　結果分析 第 4 期　仕入・販売（意思決定）
	事後学習	BG の設定課題の通読		事後学習	data 入力確認作業
2	事前学習	前回までの進捗状況確認	10	事前学習	前回までの進捗状況確認
	授業計画	練習（初級編）仕入　販売シミュレーション（意思決定）		授業計画	本演習（初級編） 第 4 期　結果分析　通期分析
	事後学習	data 入力確認作業		事後学習	data 入力確認作業
3	事前学習	前回までの進捗状況確認	11	事前学習	前回までの進捗状況確認
	授業計画	練習（初級編）第 1 期　結果分析　第 2 期　仕入・販売　（意思決定		授業計画	本演習（初級編） 通期　最終報告レポート作成
	事後学習	data 入力確認作業		事後学習	data 入力確認作業
4	事前学習	前回までの進捗状況確認	12	事前学習	BG の結果の整理と data 確認
	授業計画	練習（初級編）第 2 期　結果分析　問題点の発見と解決策		授業計画	結果報告演習（初級編） チームプレゼンテーション準備①
	事後学習	data 入力確認作業		事後学習	プレゼン担当部分の個人練習
5	事前学習	前回までの進捗状況確認	13	事前学習	プレゼン担当部分の個人練習
	授業計画	本演習（初級編）第 1 期　仕入・販売シミュレーション(意思決定)		授業計画	結果報告演習（初級編） チームプレゼンテーション準備②
	事後学習	data 入力確認作業		事後学習	プレゼン担当部分の個人練習
6	事前学習	前回までの進捗状況確認	14	事前学習	プレゼン担当部分の個人練習
	授業計画	本演習（初級編）第 1 期　結果分析 第 2 期　仕入・販売（意思決定		授業計画	結果報告演習（初級編） チームプレゼンテーション　本発表
	事後学習	data 入力確認作業		事後学習	プレゼン自己評価と期末試験対策
7	事前学習	前回までの進捗状況確認	15	事前学習	期末試験受験のための総復習
	授業計画	本演習（初級編）第 2 期　結果分析 中間報告レポート作成		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	data 入力確認作業		事後学習	期末試験受験後の自己評価
8	事前学習	前回までの進捗状況確認			
	授業計画	本演習（初級編） 第 3 期　仕入・販売(意思決定)			
	事後学習	data 入力確認作業			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：30%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　プリント教材を配布
　　出版社
参考書　著者名　野々山 隆幸
　　タイトル　ビジネスゲーム演習~意思決定能力・データ分析能力・プレゼンテーション能力を育てる
　　出版社　ピアソンエドゥケーション

年度	2021年度	学期	後期
科目名	経営シミュレーションⅡ	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
前期で行った企業経営のシミュレーション「BG21」の理解を深め、戦略面からの高度な意思決定が行えるよう演習する。また、前期とは異なる難易度の高い設定を用いて、ビジネスゲームのシミュレーションを行い、株主総会を想定したプレゼンテーションを行う。
達成目標
演習を通じて組織運営能力、意思決定能力、データ分析能力、問題発見能力、問題解決能力の更なる向上を図る。特に戦略面を重視した意思決定と、株主総会を想定したプレゼンテーション能力を養う。

授業計画

1	事前学習	配布プリントの通読	9	事前学習	前回までの進捗状況確認
	授業計画	経営シミュレーションⅡ講義の概要説明、「BG21」設定説明		授業計画	本演習（中級編） 第3期　結果分析　第4期　意思決定
	事後学習	BGの設定課題の通読		事後学習	data入力確認作業
2	事前学習	前回までの進捗状況確認	10	事前学習	前回までの進捗状況確認
	授業計画	練習（中級編）　設定内容の確認と戦略決定　第1期意思決定		授業計画	本演習（中級編） 第4期　結果分析　通期分析
	事後学習	data入力確認作業		事後学習	data入力確認作業
3	事前学習	前回までの進捗状況確認	11	事前学習	前回までの進捗状況確認
	授業計画	練習（中級編）第1期　結果分析　第2期　意思決定		授業計画	本演習（中級編） 通期　最終報告レポート作成
	事後学習	data入力確認作業		事後学習	data入力確認作業
4	事前学習	前回までの進捗状況確認	12	事前学習	BGの結果の整理とdata確認
	授業計画	練習（中級編）第2期　結果分析　問題点の発見と解決策		授業計画	結果報告演習（中級編） チームプレゼンテーション準備①
	事後学習	data入力確認作業		事後学習	プレゼン担当部分の個人練習
5	事前学習	設定内容部分の通読	13	事前学習	プレゼン担当部分の個人練習
	授業計画	本演習（中級編）設定内容の確認と戦略決定　第1期意思決定		授業計画	結果報告演習（中級編） チームプレゼンテーション準備②
	事後学習	data入力確認作業		事後学習	プレゼン担当部分の個人練習
6	事前学習	前回までの進捗状況確認	14	事前学習	プレゼン担当部分の個人練習
	授業計画	本演習（中級編）第1期　結果分析　第2期　意思決定		授業計画	結果報告演習（中級編） チームプレゼンテーション　本発表
	事後学習	data入力確認作業		事後学習	プレゼン自己評価と期末試験対策
7	事前学習	前回までの進捗状況確認	15	事前学習	期末試験受験のための総復習
	授業計画	本演習（初級編）第2期　結果分析　中間報告レポート作成		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	data入力確認作業		事後学習	期末試験受験後の自己評価
8	事前学習	前回までの進捗状況確認			
	授業計画	本演習（中級編）戦略の変更等の確認　第3期　意思決定			
	事後学習	data入力確認作業			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル　プリント教材を配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　ビジネスゲーム演習 意思決定能力・データ分析能力・プレゼンテーション能力を育てる
　　出版社　ピアソンエドゥケーション

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	卒業演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	横田　真央		
実務経験教員紹介	生命保険会社での法人営業・個人営業		

講義概要
本講義は、社会人になった際に必要となる、論理的で相手を納得させるプレゼンテーションができる力をつけることを目的としている。グループに分かれ、一つのプレゼンテーションを作り上げていく中で、日本企業への知識を深め、チームで協力して作業ができるコミュニケーション能力を身に付ける。
達成目標
説得力があり、聴いた人の印象に残るプレゼンテーションが作れるような、論理的な思考を育てる。また、クラスメートと協力をして作業を進めることで、自分の仕事に対する責任感や、チームワークを学ぶ。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	オリエンテーション（講義の進め方、講義のルール等）		授業計画	グループディスカッション（プレゼンの準備）６
	事後学習	授業資料の確認		事後学習	レポート提出
2	事前学習	企業研究	10	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	ケーススタディ１(アイリスオーヤマの商品開発)		授業計画	グループディスカッション（プレゼンの準備）７
	事後学習	授業資料の確認		事後学習	レポート提出
3	事前学習	企業研究	11	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	ケーススタディ２（富士フィルム・アイリスオーヤマ）		授業計画	グループディスカッション（プレゼンの準備）８
	事後学習	授業資料の確認		事後学習	レポート提出
4	事前学習	プレゼン準備	12	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	グループディスカッション(プレゼンの準備）１		授業計画	グループディスカッション（プレゼンの準備）９
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
5	事前学習	プレゼン準備	13	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	グループディスカッション(プレゼンの準備）２		授業計画	グループ毎にプレゼンテーション発表、質疑応答　１
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
6	事前学習	プレゼン準備	14	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	グループディスカッション(プレゼンの準備）３		授業計画	グループ毎にプレゼンテーション発表、質疑応答　２
	事後学習	レポート提出		事後学習	レポート提出
7	事前学習	プレゼン準備	15	事前学習	講義の復習
	授業計画	グループディスカッション(プレゼンの準備）４		授業計画	定期試験
	事後学習	レポート提出		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	プレゼン準備			
	授業計画	グループディスカッション(プレゼンの準備）５			
	事後学習	レポート提出			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：20%　＜（　プレゼン内容　）＞：60%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	卒業演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
1 年次に身に付けたプレゼンテーションスキルの応用。テーマに沿ってケーススタディを学び、グループで話し合いを設け、プレゼンテーションを作成し、発表する。その中で、社会に出た時に必要なコミュニケーション力や、相手を納得させるための論理的な発言など、高度なテクニックを学ぶ。
達成目標
グループで討議した内容をまとめ、資料を用いながら相手を納得させるためのプレゼンテーション能力を養う。また、資料を使い、その資料からわかることを読み取り、自分の知識として身に付けていく。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	グループで事前打ち合わせ
	授業計画	オリエンテーション･ケーススタディ①		授業計画	プレゼンテーション準備③
	事後学習	レポート提出①		事後学習	PP 資料作成③
2	事前学習	グループで事前打ち合わせ	10	事前学習	グループで事前打ち合わせ
	授業計画	ケーススタディ②		授業計画	プレゼンテーション準備④
	事後学習	レポート提出②		事後学習	PP 資料作成④
3	事前学習	グループで事前打ち合わせ	11	事前学習	グループで事前打ち合わせ
	授業計画	ケーススタディ③		授業計画	プレゼンテーション準備⑤
	事後学習	レポート提出③		事後学習	PP 資料作成⑤
4	事前学習	グループで事前打ち合わせ	12	事前学習	グループで事前打ち合わせ
	授業計画	ケーススタディ④		授業計画	プレゼンテーション発表①
	事後学習	レポート提出④		事後学習	PP 資料作成
5	事前学習	グループで事前打ち合わせ	13	事前学習	グループで事前打ち合わせ
	授業計画	ケーススタディ⑤		授業計画	プレゼンテーション発表②
	事後学習	レポート提出⑤		事後学習	PP 資料作成
6	事前学習	グループで事前打ち合わせ	14	事前学習	今までの資料の確認
	授業計画	ケーススタディ⑥		授業計画	試験事前対策
	事後学習	レポート提出⑥		事後学習	今までの資料の確認
7	事前学習	グループで事前打ち合わせ	15	事前学習	試験準備
	授業計画	プレゼンテーション準備①		授業計画	定期試験
	事後学習	PP 資料作成①		事後学習	定期試験の再考察
8	事前学習	グループで事前打ち合わせ			
	授業計画	プレゼンテーション準備②			
	事後学習	PP 資料作成②			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　資料を随時配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	横田　真央		
実務経験教員紹介	生命保険会社での法人営業・個人営業		

講義概要
本講義では、世界の経営者等のスピーチから、相手の印象に残る話し方の技術、プレゼンテーションの構成等を学び、自分のものにしていくことを目的としている。また、時事についても学んでいくことで、社会人にとって必要な知識を身に付けていく。
達成目標
スピーチを聴いた相手の印象に残り、感動させるような話し方の技術や、目的に合わせた言葉選びに対する感覚を身に付ける。また、効果的なプレゼンテーションの構成、資料の作成ができるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	オリエンテーション（講義のルール、進め方等説明）スピーチの技術		授業計画	スピーチ原稿、パワーポイント、資料作成　2
	事後学習	レポート		事後学習	資料作成
2	事前学習	前回の講義の復習	10	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	ケーススタディ　スピーチの構成の研究　1		授業計画	スピーチ原稿、パワーポイント、資料作成　3
	事後学習	レポート		事後学習	資料作成
3	事前学習	前回の講義の復習	11	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	ケーススタディ　スピーチの構成の研究　2		授業計画	スピーチ発表　質疑応答、評価シート記入　1
	事後学習	レポート		事後学習	レポート
4	事前学習	前回の講義の復習	12	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	ケーススタディ　スピーチでの話術の研究　1		授業計画	スピーチ発表　質疑応答、評価シート記入　2
	事後学習	レポート		事後学習	レポート
5	事前学習	前回の講義の復習	13	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	ケーススタディ　スピーチでの話術の研究　2		授業計画	スピーチ発表　質疑応答、評価シート記入　3
	事後学習	レポート		事後学習	レポート
6	事前学習	前回の講義の復習	14	事前学習	講義資料の確認
	授業計画	時事問題（環境問題について）ディベート　1		授業計画	スピーチ発表　質疑応答、評価シート記入　4
	事後学習	レポート		事後学習	レポート
7	事前学習	前回の講義の復習	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	時事問題（日本の社会問題）ディベート　2		授業計画	定期試験
	事後学習	レポート		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回の講義の復習			
	授業計画	スピーチ原稿、パワーポイント、資料作成　1			
	事後学習	資料作成			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：20%　＜（　スピーチ内容　）＞：60%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　ガー・レイノルズ
　　タイトル　世界最高のプレゼン教室
　　出版社　　日経 BP 社

年度	2021年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティ経営論Ⅰ	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
「ホスピタリティ」の概念や理念が、どのように企業経営に活かされているのか。当講義では、顧客満足、従業員満足を追求している企業の実例をケーススタディとして用いながら、「ホスピタリティ」とは何か、CS、ESとの関係性などを経営者の視点から考えることを学ぶ。
達成目標
サービスプロフィットチェーンにおける「CSとESの関係」、「利益向上とESの関係」、「ESを高めるために重要なこと」などを経営者の視点から論理的に考察し、将来の自分の仕事に活かすことを目標とする。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリント通読	9	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	ホスピタリティとは何か、「相手の立場に立って考える」ことの重要性		授業計画	従業員満足を高める要因について①「トータルリワード（総報酬）」
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリント通読	10	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	サービスレベルとホスピタリティ①5段階のサービスレベル		授業計画	従業員満足を高める要因について②「働きやすい企業ランキング」分析
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリント通読	11	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	サービスレベルとホスピタリティ②サービスプロフィットチェーンとは		授業計画	従業員満足を高める要因について③「働きやすい企業ランキング」分析
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリント通読	12	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	顧客満足度とは何か①顧客満足度と売上・利益の関係性		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリント通読	13	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	顧客満足度とは何か②ホスピタリティと顧客満足度の関係		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリント通読	14	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	企業ケーススタディ①、グランドハイアット東京の経営理念・行動指針		授業計画	企業ケーススタディ③ディズニーリゾートの危機管理分析③
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリント通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	企業ケーススタディ②、加賀屋のホスピタリティ・ケーススタディ①		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリント通読			
	授業計画	企業ケーススタディ②、加賀屋のホスピタリティ・ケーススタディ②			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティ経営論Ⅱ	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
前期に学習した「ホスピタリティ経営論Ⅰ」を更に発展させ、「ホスピタリティサービスを提供できる人材を育てられること」を主眼に置き、学習する。スタッフの視点だけではなく、経営者としての視点が身に着けられるよう、顧客・従業員エンゲージメントや、企業理念がホスピタリティに与える影響を学ぶ。
達成目標
「ホスピタリティサービスを提供できる人材を育てられること」を理解できるようになり、より経営的な視点からホスピタリティを捉え、将来企業でマネジメント職に就いた場合に活かせる考え方を身に着けることを目指す。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリント通読	9	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	前期内容　復習、ES→ホスピタリティ→サービスレベル→CSの連鎖		授業計画	ケーススタディ②「大東建託」のホスピタリティと研修制度②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリント通読	10	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント①より高い従業員満足を得るための条件とは		授業計画	ケーススタディ③「星野リゾート」のホスピタリティマネジメント①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリント通読	11	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント②　総報酬とESの関係性について		授業計画	ケーススタディ③「星野リゾート」のホスピタリティマネジメント②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリント通読	12	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	従業員エンゲージメント③顧客エンゲージメントとの関係		授業計画	観光業のホスピタリティ、インバウンドビジネスの概要①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリント通読	13	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	経営戦略基礎、「理念の共有」とホスピタリティの関係		授業計画	観光業のホスピタリティ、インバウンドビジネスの概要②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリント通読	14	事前学習	事前配布プリント通読
	授業計画	企業ケーススタディ①「TESSEI」のホスピタリティと現場力①		授業計画	ホスピタリティ経営について総復習、理念の共有・研修・実践について
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリント通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	企業ケーススタディ①「TESSEI」のホスピタリティと現場力②		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリント通読			
	授業計画	ケーススタディ②「大東建託」のホスピタリティと研修制度①			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	会計学総論Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	古屋　俊雄		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代のビジネス・スキルに不可欠となっている簿記の知識をさらに一歩高め、なぜそのような会計処理を行うのかといった理由や会計処理の違いによって生じる長所、短所などを理解することにより、会計の基本から実務で活用する技術までを解説する。
達成目標
就職試験で簿記の講義を受けた、簿記検定に合格したというアピールをしても、現実の仕事においては簿記の授業では解説していない事柄に直面することがある。よって本講義ではそのギャップを埋めることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	予習
	授業計画	会計学とは　数量･単価に関する計算　個別法　先入先出法		授業計画	損益計算書の作成　勘定式と報告式　売上高の部
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	平均法(移動平均法　総平均法)　最終仕入原価法		授業計画	損益計算書の作成　売上原価　販売費および一般管理費
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	売価還元法　商品評価損　企業会計原則　継続性の原則		授業計画	損益計算書の作成　営業外損益　特別損益項目
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	固定資産　取得原価　耐用年数　残存価額　備忘価値　定額法　新定額法		授業計画	損益計算書の作成　総合問題演習 1 初級編
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	旧定率法　250%定率法　200%定率法　定率法の長所と短所		授業計画	損益計算書の作成　総合問題演習 1 中級編
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	級数法　生産高比例法　取替法　法定耐用年数		授業計画	損益計算書の分析　収益性の分析　2 社比較
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	引当金の定義と種類　貸倒引当金　一般債権		授業計画	総復習および定期試験のための総復習問題　解説
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
8	事前学習	予習			
	授業計画	貸倒懸念債権　破産更生債権等の引当金設定			
	事後学習	講義資料の見直し			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：80%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　武田守
　　タイトル　会計の基本と実務
　　出版社　三修社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021年度	学期	後期
科目名	会計学総論Ⅱ	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	古屋　俊雄		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期の会計学総論Ⅰの応用。現代のビジネス・スキルに不可欠となっている簿記の知識をさらに一歩高め、なぜそのような会計処理を行うのかといった理由や会計処理の違いによって生じる長所、短所などを理解することにより、会計の基本から実務で活用する技術までを解説する。
達成目標
就職試験で簿記の講義を受けた、簿記検定に合格したというアピールをしても、現実の仕事においては簿記の授業では解説していない事柄に直面することがある。よって本講義ではそのギャップを埋めることを目標とする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算1		授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算4
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
2	事前学習	予習	10	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算2		授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算5
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
3	事前学習	予習	11	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算3		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法1
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
4	事前学習	予習	12	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算4		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法2
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
5	事前学習	予習	13	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　個別原価計算5		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法3
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
6	事前学習	予習	14	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算1		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法4
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
7	事前学習	予習	15	事前学習	予習
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算2		授業計画	会計学関連知識　キャッシュフロー計算書　直接法5
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	講義資料の見直し
8	事前学習	予習			
	授業計画	会計学関連知識　原価計算　総合原価計算3			
	事後学習	講義資料の見直し			

評価方法　　出席状況：10%　定期試験：80%　＜（課題・小テスト）＞：10%

教科書　著者名　武田守
　　タイトル　会計の基本と実務
　　出版社　三修社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	企業統治論Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社での法人営業		

講義概要
・コーポレートガバナンスの重要性がますます高まる昨今、組織の一員として意識するべき内容を扱う。 ・事例を紹介し、ガバナンス不全が企業へ与える影響について学び、コーポレートガバナンスのイメージをつかむ。
達成目標
・コーポレートガバナンスの理解 ・企業人として、従業員としてのコーポレートガバナンスの重要性の理解する

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる
	授業計画	オリエンテーション コーポレートガバナンスとは何か。		授業計画	コーポレートガバナンス・コード① 概要（目的、特徴、5 つの基本原則）
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	本日のノートをまとめる
2	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	10	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる
	授業計画	会社とは何か。 株主や役員とは何か。		授業計画	コーポレートガバナンス・コード② 基本原則１、２
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	本日のノートをまとめる
3	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	11	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる
	授業計画	コーポレートガバナンスにおけるステークホルダーの位置づけ		授業計画	コーポレートガバナンス・コード③ 基本原則３，４
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	本日のノートをまとめる
4	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	12	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる
	授業計画	企業と投資家のかかわり① 終戦直後 1950 年～1960 年代		授業計画	コーポレートガバナンス・コード④ 基本原則４（経営戦略・公表・ROE）
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	本日のノートをまとめる
5	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	13	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる
	授業計画	企業と投資家のかかわり② 高度経済成長における日本的経営（1960 年～70 年代）		授業計画	コーポレートガバナンス・コード⑤ 基本原則５
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	本日のノートをまとめる
6	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	14	事前学習	大塚家具のホームページを確認する
	授業計画	企業と投資家のかかわり③ 企業不祥事への対応（1980 年代）		授業計画	ケーススタディ 大塚家具経営権争い
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	レポート作成
7	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	企業と投資家のかかわり④ 投資家保護思考（2000 年代～）		授業計画	期末試験
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる			
	授業計画	日本型コーポレートガバナンス･コードとスチュワードシップコード			
	事後学習	本日のノートをまとめる			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名　　特になし
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	企業統治論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町　隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社での法人営業		

講義概要
・コーポレートガバナンスの中のコンプライアンスについて重点的に学ぶ。 ・事例を紹介し、コンプライアンス違反が企業へ与える影響について学び、社会に出てから困らないようにする。 ・事例では注目されたコンプライアンス違反について考察する
達成目標
コンプライアンスとは何かの理解及び企業人として、従業員としてのコンプライアンスの重要性の理解

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる
	授業計画	コーポレートガバナンスの復習 コンプライアンスとは何か（概要）		授業計画	コンプライアンス事例　不正受給 震災関連の助成金、介護報酬を不正
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	本日のノートをまとめる
2	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	10	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる
	授業計画	コンプライアンス事例　不正会計① 藤崎金属　継承時における違反		授業計画	コンプライアンス事例　労働環境 株式会社電通　労働基準法とは、過労死とは
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	本日のノートをまとめる
3	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	11	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる
	授業計画	コンプライアンス事例　不正会計② カネボウ株式会社　粉飾決算		授業計画	コンプライアンス事例　食品衛生 不二家、フーズフォーカス
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	本日のノートをまとめる
4	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	12	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる
	授業計画	コンプライアンス事例　不正会計③ オリンパス株式会社　欧米企業と日本企業の違い		授業計画	コンプライアンス事例　個人情報 株式会社ベネッセ
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	本日のノートをまとめる
5	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	13	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる
	授業計画	コンプライアンス事例　不正会計④ 株式会社てるみくらぶ		授業計画	コンプライアンス違反への対処① 危機管理
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	本日のノートをまとめる
6	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	14	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる
	授業計画	コンプライアンス事例　偽装事件① 東洋ゴム株式会社、船場吉兆		授業計画	コンプライアンス違反への対処② 社員教育
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	本日のノートをまとめる
7	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	コンプライアンス事例　偽装事件② 三菱自動車　リコール隠し VTR 視聴		授業計画	期末試験
	事後学習	本日のノートをまとめる		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布の語彙の意味を調べる			
	授業計画	コンプライアンス事例　偽装事件③ 三菱自動車　燃費偽装			
	事後学習	本日のノートをまとめる			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　浜辺洋一郎
　　タイトル　「知らない」では済まされない！ コンプライアンスの実践知識
　　出版社　　PHP ビジネス新書

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	基本情報技術Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介			

講義概要
情報処理技術者試験「IT パスポート」の内容を中心に、企業の仕組み、法務、経営戦略、事業戦略、経営管理などを学びます。また、時事問題（ニュースや技術動向）を随時取り上げて、社会の変化に対する感性を養います。
達成目標
ビジネス現場におけるシステムの役割を理解し、システム運用者として必要な知識や振る舞いを習得する。 企業における IT 戦略の位置づけや将来性について理解し、具体的なシステムの活用イメージを理解する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「ガイダンス・企業活動」 目的、学習内容、企業活動の目的等		授業計画	「事業戦略」 事業戦略、事業戦略策定の流れ
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
2	事前学習	テキストの予習	10	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「企業の仕組み」 経営資源、経営目標、CSR、PDCA		授業計画	「戦略目標の策定」 戦略目標策定のための情報分析手法
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
3	事前学習	テキストの予習	11	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「経営戦略」 BC、HRM、人材育成		授業計画	「経営分析手法」 SWOT 分析、PPM、3C 分析
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
4	事前学習	テキストの予習	12	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「OR・IE１」オペレーションズリサーチ、各種グラフ		授業計画	「問題解決手法」 RFM 分析、フィッシュボーンチャート
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
5	事前学習	テキストの予習	13	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「OR・IE２」 PRET、管理図、レーダーチャート		授業計画	「経営管理」 CRM、SCM、VM
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
6	事前学習	テキストの予習	14	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「法務１」著作権法、知的財産権関連法、不正競争防止法		授業計画	「経営管理」 VCM、ナレッジマネジメント、QC
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
7	事前学習	テキストの予習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「法務２」労働関連法規、契約関連法規、IT 関連法規		授業計画	定期試験
	事後学習	テキストの復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	テストに向けての総復習			
	授業計画	「小テスト・解説」企業と法務分野の小テストおよび解説			
	事後学習	テストの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名　　滝口　直樹
　　タイトル　ゼロからはじめる IT パスポートの教科書
　　出版社　　とりい書房
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	基本情報技術Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介			

講義概要
情報処理技術者試験「IT パスポート」の内容を中心に、コンピュータのしくみ、ネットワーク、マルチメディアの基本を学びます。 また、時事問題（ニュースや技術動向）を随時取り上げて、社会の変化に対する感性を養います。
達成目標
コンピュータのしくみを理解したうえで、適切なコンピュータを選べる程度の能力を身に付ける ビジネス現場におけるシステムの役割を理解し、システム運用者として必要な知識や振る舞いを習得する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「コンピュータの基礎」五大装置（五大機能）、コンピュータの分類		授業計画	「ネットワークの基本」 ネットワークの種類
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
2	事前学習	テキストの予習	10	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「CPU」演算・制御の役割、CPU の内部構造		授業計画	「LAN の構成」LAN 構成機器（モデム・ルータ・ハブ等）の理解
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
3	事前学習	テキストの予習	11	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「メモリ」 RAM と ROM、HDD、外部メディア		授業計画	「インターネットのしくみ」 インターネット技術（TCP/IP）
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
4	事前学習	テキストの予習	12	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「入出力装置」キーボード、マウス、モニタ、プリンタ		授業計画	「インターネットサービス」 WWW・e メール・ソーシャルメディア
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
5	事前学習	テキストの予習	13	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「ソフトウェア」 OS の種類と役割、アプリケーションソフトウェア		授業計画	「マルチメディア」 マルチメディアの定義とファイル
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
6	事前学習	テキストの予習	14	事前学習	テキストの予習
	授業計画	「システム」システム構成、クライアントサーバシステム		授業計画	「マルチメディア応用」マルチメディアファイルのしくみと作成
	事後学習	テキストの復習		事後学習	テキストの復習
7	事前学習	テキストの予習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「システム運用」多重化、バックアップ、非常時対策など		授業計画	定期試験
	事後学習	テキストの復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	テストに向けての総復習			
	授業計画	「小テスト・解説」企業と法務分野の小テストおよび解説			
	事後学習	テストの見直し			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名　　滝口　直樹
　　タイトル　ゼロからはじめる IT パスポートの教科書
　　出版社　　とりい書房
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	貿易実務Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋　靖治		
実務経験 教員紹介	輸出入業務（約 38 年間→服部セイコー）貿易実務貿易英語講師 （約 25 年間→ジェトロ国際ビジネス、明治大学社会人センター、国際商業会議所日本委員会、東京都中小企業振興公社等）		

講義概要
貿易取引は、国際的なモノ・サービスの売買取引である。貿易業務が、どんな流れ（プロセス）で、どんな方法で行われているのか、それぞれの業務がどういう意味を持っているのかを説明する。売買契約書、代金決済と信用状、貨物の運送、貨物海上保険、輸出入手続きや関税のはたらきなど。
達成目標
貿易業務にたずさわる際に必要な基本的な事柄を理解し、身につけること。売買取引や輸出入の手続きの意味や考え方を理解し,現実の場面に適用できる応用力（勉強した知識を総合して考えること）を身につけること。

授業計画

1	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	9	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	貿易取引とは。貿易取引は、だれが何のためにおこなうのか。		授業計画	売買契約の成立（取引条件の合意）。売買契約書の作成。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
2	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	10	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	貿易取引の流れ。輸出取引の流れ（プロセス）。輸入取引の流れ。		授業計画	インコタームズ（売買契約における取引条件）（その１）
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
3	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	11	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	貿易取引のしくみ。貿易取引と国内取引。ことば、商慣習、通貨。		授業計画	インコタームズ（売買契約における取引条件）（その２）
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
4	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	12	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	貿易取引のルール。輸出国のルール。輸入国のルール。		授業計画	輸出の規制。輸入の規制。売買契約における取引条件。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
5	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	13	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	WTO 世界貿易機関。FTA 自由貿易協定。EPA 経済連携協定。		授業計画	代金の決済。送金為替。取立為替。為替とはなにか。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
6	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	14	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	ワシントン条約。モントリオール議定書。ウィーン売買条約。		授業計画	荷為替信用状。信用状とはなにか。信用状のしくみ。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
7	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	15	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	市場調査（取引相手のニーズを調べる）。カントリーリスク。		授業計画	定期試験。これまでに勉強したことを復習し、確認する。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	試験問題を再考し、理解する。
8	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。			
	授業計画	取引相手を探す。信用調査。取引の勧誘、引き合い、申し込み、承諾。			
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜学習態度＞：0%

教科書　著者名　　髙橋 靖治
　　タイトル　貿易のしくみと実務
　　出版社　　同文館出版株式会社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	貿易実務Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋　靖治		
実務経験 教員紹介	輸出入業務（約 38 年間→服部セイコー）貿易実務貿易英語講師 （約 25 年間→ジェトロ国際ビジネス、明治大学社会人センター、国際商業会議所日本委員会、東京都中小企業振興公社等）		

講義概要
貿易取引は、国際的なモノ・サービスの売買取引である。貿易業務が、どんな流れ（プロセス）で、どんな方法で行われているのか、それぞれの業務がどういう意味を持っているのかを説明する。売買契約書、貨物の運送、コンテナリゼーション、貿易貨物の運送書類、貨物海上保険、輸出入通関手続き、関税、外国為替など。
達成目標
貿易業務にたずさわる際に必要な基本的な事柄を理解し、身につけること。売買取引や輸出入の手続きの意味や考え方を理解し、現実の場面に適用できる応用力（勉強した知識を総合して考えること）を身につけること。

授業計画

1	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	9	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	荷為替信用状（その２）。信用状の開設。信用状の種類。		授業計画	貨物海上保険（３）。英文貨物海上保険証券を読む。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
2	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	10	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	貿易貨物の運送。海上運送、個品運送、用船運送、定期船、不定期船。		授業計画	貿易保険（非常危険と信用危険）。PL 保険。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
3	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	11	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	コンテナ輸送。在来船とコンテナ船。コンテナターミナル。		授業計画	輸出通関手続き。原則的な輸出通関手続きと特定輸出通関手続き。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
4	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	12	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	船荷証券（１）。船荷証券のはたらきと種類。船荷証券の危機。		授業計画	輸入通関手続き。原則的な輸入通関手続きと特例輸入通関手続き。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
5	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	13	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	船荷証券（２）。船荷証券を読む。荷送人、荷受人、到着貨物通知先。		授業計画	関税（輸入税）。関税率の種類。一般特恵関税。FTA 特恵関税。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
6	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	14	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。
	授業計画	航空運送と国際複合運送。航空運送状。国際複合運送証券。		授業計画	外国為替。外国為替取引。外国為替市場。外国為替と内国為替。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	教科書の該当ページを再読する。
7	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。	15	事前学習	教科書の該当ページを復習する。
	授業計画	貨物海上保険（１）。売買条件と保険。保険金額と保険料率。保険料。		授業計画	定期試験（これまでに勉強したことを復習し確認する）。
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。		事後学習	試験問題を再考し理解する。
8	事前学習	教科書の該当ページを読むこと。			
	授業計画	貨物海上保険（２）。英文貨物海上保険証券。担保危険とてん補の範囲。			
	事後学習	教科書の該当ページを再読する。			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜学習態度＞：0%

教科書　著者名　　高橋 靖治
　　タイトル　貿易のしくみと実務
　　出版社　　同文館出版株式会社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	財務分析Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	増村　幸次		
実務経験教員紹介	銀行や証券会社などの金融機関において、株価を算定するための企業の分析手法を教えておりました。		

講義概要
本講義「財務分析Ⅰ」では、簿記の講義や会計学の講義で学習した内容をさらに進めた位置づけとして捉え、財務分析で必要な財務諸表の見方を学習する。と同時に、上場会社で実際に行われている収益性分析、安全性分析およびキャッシュフロー分析を理解し、基本的な企業分析ができるようにすることを目標とする。
達成目標
収益性分析の 6 つの指標、安全性分析の 6 つの指標およびキャッシュフロー分析の 3 つの指標がすべて計算することができるように、講義において演習を取り入れ、目標が達成できるように学習する。

授業計画

1	事前学習	簿記で学習した貸借対照表の復習	9	事前学習	5 限目の内容を読んでおく
	授業計画	貸借対照表について、財務分析での見方を学習する		授業計画	企業分析①（安全性分析の分析手法を学ぶ①）
	事後学習	貸借対照表の見方を理解する		事後学習	安全性分析手法を理解する
2	事前学習	簿記で学習した損益計算書の復習	10	事前学習	9 限目の内容を読んでおく
	授業計画	損益計算書について、財務分析での見方を学習する		授業計画	企業分析②（安全性分析の分析手法を学ぶ②）
	事後学習	損益計算書の見方を理解する		事後学習	安全性分析手法を理解する
3	事前学習	1 限目の内容を読んでおく	11	事前学習	8 限目の内容を読んでおく
	授業計画	安全性分析①について学習する		授業計画	企業分析③（収益性分析の分析手法を学ぶ①）
	事後学習	３つの分析指標を理解する		事後学習	収益性分析手法を理解する
4	事前学習	3 限目の内容を読んでおく	12	事前学習	11 限目の内容を読んでおく
	授業計画	安全性分析②について学習する		授業計画	企業分析④（収益性分析の分析手法を学ぶ②）
	事後学習	３つの分析指標を理解する		事後学習	収益性分析手法を理解する
5	事前学習	3 限目と 4 限目の内容を読んでおく	13	事前学習	事前資料を読んでおく
	授業計画	安全性分析の総復習		授業計画	キャッシュフロー計算書について学習する
	事後学習	６つの安全性分析指標の総復習		事後学習	仕組みを理解する。
6	事前学習	2 限目の内容を読んでおく	14	事前学習	13 限目の資料を読んでおく
	授業計画	収益性分析①について学習する		授業計画	キャッシュフロー計算書の分析手法について学習する
	事後学習	3 つの分析指標を理解する		事後学習	３つの指標を理解する
7	事前学習	6 限目の内容を読んでおく	15	事前学習	1 限目から 12 限目までの内容確認
	授業計画	収益性分析②について学習する。		授業計画	定期試験
	事後学習	3 つの分析指標を理解する		事後学習	定期試験の見直し
8	事前学習	6 限目と 7 限目の内容を読んでおく			
	授業計画	収益性分析の総復習			
	事後学習	６つの収益性分析指標の総復習			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　講義では、毎回資料プリントを配布する。
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	財務分析Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	増村　幸次		
実務経験教員紹介	銀行や証券会社などの金融機関において、株価を算定するための企業の分析手法を教えておりました。		

講義概要
本講義「財務分析Ⅱ」では、「財務分析Ⅰ」で学習した内容をさらに進めた位置づけとして捉た収益性分析および安全性分析について学習する。と同時に、株式価値を算定するために行われている 1 株あたりの分析指標についても学習する。これにより、実際の企業分析ができるようにすることを目標とする。
達成目標
収益性分析は利益率と回転率に分解し、安全性分析は損益分岐点分析を学習するとともに、1 株あたり分析では PER と PBR などの計算できるように、講義では演習を取り入れ、目標が達成できるように学習する。

授業計画

1	事前学習	財務分析Ⅰの収益性分析の復習	9	事前学習	8 限目の内容を読んでおく
	授業計画	収益性分析の復習と資本利益率を学習する		授業計画	収益性分析②（収益性分析の分析手法を学ぶ②）
	事後学習	分解の意味を理解する		事後学習	収益性分析手法を理解する
2	事前学習	1 限目の内容を読んでおく	10	事前学習	8 限目と 9 限目の内容を読んでおく
	授業計画	売上高利益率を学習する		授業計画	収益性分析③（収益性分析の分析手法を学ぶ③）
	事後学習	４つの分析指標を理解する		事後学習	収益性分析手法を理解する
3	事前学習	1 限目の内容を読んでおく	11	事前学習	損益計算書の内容確認
	授業計画	回転率①を学習する		授業計画	安全性分析①（損益分岐点分析を学習する）
	事後学習	3 つの分析指標を理解する		事後学習	変動費と固定費の分解を理解する
4	事前学習	3 限目の内容を読んでおく	12	事前学習	11 限目の内容を読んでおく
	授業計画	回転率②と回転期間を学習する		授業計画	安全性分析②（損益分岐点分析を学習する）
	事後学習	４つの分析指標を理解する		事後学習	３つの分析指標を理解する
5	事前学習	3 限目と 4 限目の内容を読んでおく	13	事前学習	財務諸表の内容確認
	授業計画	総資本利益率と分解を学習する		授業計画	1 株あたり分析①(株式投資の分析指標を学ぶ)
	事後学習	分解の意味を理解する		事後学習	4 つの分析指標を理解する
6	事前学習	5 限目の内容を読んでおく	14	事前学習	キャッシュフロー計算書の内容確認
	授業計画	自己資本利益率と分解を学習する		授業計画	1 株あたり分析②(株式投資の分析指標を学ぶ)
	事後学習	財務レバレッジを理解する		事後学習	４つの分析指標を理解する
7	事前学習	6 限目の内容を読んでおく	15	事前学習	1 限目から 12 限目までの内容確認
	授業計画	自己資本比率の復習		授業計画	定期試験
	事後学習	3 つの分解の意味を理解する		事後学習	定期試験の見直し
8	事前学習	1 限目から 7 限目までの内容確認			
	授業計画	収益性分析①(収益性分析の分析手法を学ぶ①)			
	事後学習	収益性分析手法を理解する			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：50%　＜（　その他　）＞：0%

教科書　著者名　　講義では、毎回資料プリントを配布する。
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	経営戦略分析Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
１年次の「経営戦略」の講義で学んだ「成長戦略」、「競争戦略」、「機能別戦略」の代表的な事例をとり上げ分析する。分析方法は「経営戦略分析Ⅰ」で学習した、内部環境分析、外部環境分析を中心に、様々な分析方法を用いていく。事例については、日本企業の最新事例をとり上げる。
達成目標
経営戦略の分析手法を使って実践的な分析ができることを目標とする。同時に「成長戦略」、「競争戦略」、「機能別戦略」の戦略フレームワークを、企業がどのように実践しているか、事例を通じて理解する。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	「成長戦略」事例研究①　市場拡大戦略の事例		授業計画	「競争戦略」事例研究⑤　集中戦略の事例①
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	「成長戦略」事例研究②　市場浸透戦略の事例		授業計画	「競争戦略」事例研究⑥　集中戦略の事例②
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	「成長戦略」事例研究③　製品開発戦略の事例①		授業計画	「機能別戦略」事例研究①　人事戦略の事例
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	「成長戦略」事例研究④　製品開発戦略の事例②		授業計画	「機能別戦略」事例研究②　財務戦略の事例
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	「競争戦略」事例研究①　差別化戦略の事例①		授業計画	「機能別戦略」事例研究③　生産戦略の事例
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	「競争戦略」事例研究②　差別化戦略の事例②		授業計画	「機能別戦略」事例研究④　技術戦略の事例
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	「競争戦略」事例研究③　コストリーダーシップ戦略の事例①		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	「競争戦略」事例研究④　コストリーダーシップ戦略の事例②			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　　講義において適宜資料プリントを配布する
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅰ（税法）	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	髙橋　雅巳		
実務経験教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業		

講義概要
我々の最も身近な税金の一つである「所得税」についての知識と計算スキルについて学ぶ。所得税の基本である「10 種類の所得」分類と計算方法、所得控除、税額控除などの各種控除と、所得税の納付税額の計算まで、所得税の一連の計算方法について学ぶ。
達成目標
各種所得の金額の計算、所得控除額の計算、課税所得金額の計算、納付税額の計算までの一連の所得税額計算についての実践的なスキルを習得する。申告納税制度や源泉徴収などの仕組みを理解する。

授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得税の概要と所得税の仕組み、所得税の基本的な計算について		授業計画	所得控除額の計算①（個人的事情を考慮した所得控除）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算①（利子所得、配当所得）		授業計画	所得控除額の計算②（社会政策目的、経済政策目的の所得控除）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	課題の実施とサブノートの復習
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算②（不動産所得）		授業計画	課税総所得金額の計算の総合演習（例題の演習と解答解説）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算③（事業所得）		授業計画	各種税額控除の意義の計算（例題の演習と解答解説）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算④（給与所得、退職所得）		授業計画	納付税額の計算（例題の演習と解答解説）
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算⑤（山林所得、譲渡所得）		授業計画	所得税の申告、納付の手続、その他の手続等
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	所得の分類と各種所得金額の計算⑥（一時所得、雑所得）		授業計画	単位取得のため、及び学習効果と到達度確認ための定期試験の実施
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	定期試験受験後の自己評価
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	10 種類の所得の総まとめと課税標準の計算			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法　　出席状況：25%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：25%

教科書　著者名　全国経理教育協会編
　　タイトル　令和 3 年版　入門税法
　　出版社　清文社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2021 年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅱ（地方創生）	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
本講義では、日本の地方での問題点や地方ビジネスをテーマにした講義を行う。近年、地方では少子高齢問題や地方格差など、様々な問題点を抱えている。これらの問題点を解決するために、日本政府は「地方創生」を掲げ、解決に取り組んできた。地方ではどのようなことが行われているか、ケーススタディを用いて、理解を深めていく。
達成目標
日本の地方の問題点を理解し、どのようなビジネスが行われているかを注意深く見る。また、企業や自治体の取り組みを見ることで理解を深めたうえで、自らの就職に役立てる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ガイダンス 日本の中央と地方のちがい		授業計画	地方で働くということ 都市圏と地方での仕事・生活のちがい
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	日本の地方の問題点①		授業計画	ケーススタディ① 千葉県旭市の取り組み
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	日本の地方の問題点②		授業計画	ケーススタディ② 山形県鶴岡市の取り組み
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	日本の地方の問題点③		授業計画	ケーススタディ③ 福島県いわき市の取り組み
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	地方創生とは？/地方創生が必要な理由		授業計画	ケーススタディ④ 徳島県神山町の取り組み
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	今までの復習
	授業計画	地方創生事業①（交付金・政府機関の地方移転）		授業計画	テスト対策
	事後学習	授業の復習		事後学習	今までの復習
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	今までの復習
	授業計画	地方創生事業②（情報・人材支援）		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく			
	授業計画	地方創生事業③（地域再生・計画）			
	事後学習	授業の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　資料を随時配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社